Fujitsu Software
Systemwalker Operation Manager

よくあるご質問（FAQ）

共通	購入相談	設計／開発	構築（導入／移行）
運用／保守	技術サポート	その他	

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager の Job Designer は、オプション製品ですか？
Q: ジョブネットやジョブの操作にある「停止」と「無効」はどのように違うのですか？
Q: ポリシー情報の抽出／配付時に、ジョブネットの有効／無効に関する情報は含まれていますか？また、ポリシー情報の配付先で、Systemwalker Operation Manager は起動している必要がありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で使用しているポート番号 9327 は、ネットワークジョブ関連で、どのような時に使用されますか？
Q: 新旧バージョンが混在したときのサーバとクライアントの接続可能範囲と接続時の機能範囲を教えてください。
Q: ジョブネット登録数の上限値および推奨値が記載されているマニュアルを教えてください。
Q: 月末の処理で数か月分を 1 日でテストしたいのですが、その方法を教えてください。
Q: ネットワークジョブ実行で、スケジュールサーバ（AIX 版）、実行サーバ（Solaris 版）の運用で制限事項や機能差異などがあれば教えてください。
Q: Windows Server OS にクライアントを導入できますか？
Q: 製品仕様について、以下の内容について教えてください。
［カレンダ］：可能登録数
［プロジェクト］：可能登録数
［ジョブネット］：1 プロジェクトに対しての可能登録数
［ジョブ］：1 ジョブネットに対しての可能登録数
Q: Systemwalker Operation Manager で、スケジュールサーバと実行サーバの製品バージョンが異なる場合、ネットワークジョブの投入はできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V10 では、クライアントで接続すると、左下にホストツリーが表示されていて、該当のホストに接続できましたが、V11 以降ではそのような機能はなくなってしまいましたか？
Q: クライアントをサイレントインストールすることはできますか？
Q: Windows ファイアウォールを使用する際に、Systemwalker Operation Manager で必要な設定を教えてください。
Q: ジョブネットの中で、他のジョブネットを呼び出すことはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で設定する OS アカウントのパスワード最大文字数は何文字ですか？
Q: ジョブの最大同時実行数がいくつか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタの共有ディスク上に格納される内容と、ポリシー情報で共有すべき内容を教えてください。
Q: 対応しているすべてのプラットフォームについて教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager の Standard Edition と Enterprise Edition の機能差を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で使用する日付は、製品独自で保持している日付ではなく、OS のシステム時刻ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager をインストールしたあと、再起動は即時に行われますか？
Q: スケジュールサーバを Standard Edition、実行サーバを Enterprise Edition の構成にした場合、機能制限などはありませんか？また、メッセージ連携についても問題ありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager V16.0.0 が Windows Server 2016 に対応しているか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager に添付されている Job Designer が動作する Excel のバージョンを教えてください。また、Job Designer を利用する環境に Systemwalker Operation Manager が導入されている必要はありますか？
Q: マニュアルに、ドメインユーザで使用する場合は、NetBIOS over TCP/IP を有効にする必要があると記載されています。理由を教えて

ください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタサーバへの適用に際し、メインシステムとサブシステムの 2 つで運用する場合、共有ストレージに作成する物理ディスクリソースのドライブは 2 つに分けた方がよいですか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降のスケジュールサーバから、V13.2.0 以前の実行サーバにネットワークジョブを投入する際に、ジョブネット名およびジョブネット名称の文字数制限は、V13.2.0 以前にあわせる必要がありますか？

Q: 起動時にアカウントおよびパスワードを入力する必要があるか教えてください。

Q: ドメイン環境（プライマリドメイン・セカンダリドメイン）で使用する予定ですが、何か影響がありますか？

Q: 「ジョブの作成や設定変更が可能なユーザー」や「ジョブの起動または再起動や監視だけが可能なユーザー」のように、権限の異なるユーザーでの運用はできますか？

Q: Java の Web アプリケーションを利用して、C 言語ライブラリを呼び出す方法はありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、マニュアル「クラスタ適用ガイド」に、状態遷移プロシジャのクラス「SystemState3」を指定するように記載されていますが、必ずこのクラスを指定しなければいけないのですか？

Q: Systemwalker Operation Manager のマニュアル「導入手引書」に記載されている共有メモリの設定について、V13.2 では 5 万以上（shminfo_shmmax）、V13.3 では 7 万以上となっています。V13.2 の場合でも、7 万以上を設定したほうがいいですか？

Q: Systemwalker Operation Manager V17.0.0 の Job Designer を使って、Systemwalker Operation Manager V13.4.0 のジョブネット情報を変更・更新する際に気をつけることを教えてください。

Q: バージョンアップによる非互換について教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降のクライアントは、Windows 7 と Internet explorer 8 に対応していますか？

Q: UNIX サーバから Windows サーバへの業務連携でファイル転送する場合のポート番号と、ジョブでメッセージ連携する場合のポート番号をそれぞれ教えてください。

Q: サブシステムかプロジェクトなどで環境変数を切り替えるような処理方式はありますか？

Q: 間隔起動のジョブネットに対する jobschcontrol コマンドについて、オプションの pause と disable の違いを教えてください。

Q: ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウで指定できる［終了予定時刻］の意味を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能を使う予定はありません。この場合、スケジュール分散のデータベースディレクトリを共有ディスクへ移動したときに、何か影響はありますか？

Q: Solaris 環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition を使用します。サブシステムの作成手順および削除手順について教えてください。

Q: 標準でポート番号 6200 番台で通信をするかどうか教えてください。また、全体のポートを自動的にスキャンするような機能もあれば教えてください。

Q: ジョブネットの［メッセージ事象一覧］ウィンドウで、事象発生回数がカウントされています。jobschmsgclear コマンド以外に、リセットされることがありますか？

Q: ジョブの履歴情報を、コマンドラインで出力することはできますか？

Q: Systemwalker Operation Manager V11 から V13.3.0 で、スケジュール済みのジョブネットが既定時間に稼働しなかった場合、自動的にメッセージを SYSLOG に出力できますか？

Q: 実行サーバのバージョン／レベルが混在していても問題ありませんか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合はスケジュール分散）を使用しています。持ち越し状態のジョブネットがあり、jobschmsgevent コマンドでメッセージを発行した場合、持ち越されたジョブネットだけ実行されますか？また、当日分のジョブネットはメッセージを受信しませんか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、サポートしている Solaris 10 のユーザーパスワードの暗号化のアルゴリズムを教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、複数のメッセージ事象を待ち受けるジョブネットの場合、発生済みのメッセージ事象はフェールオーバ時に消えてしまいますか？

Q: ライセンスキーが存在するのか教えてください。あるならば、現状のライセンスキーの確認方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の導入を検討しています。PRIMECLUSTER の Fsystem リソースは、Systemwalker Operation Manager 単独でリソース作成したほうがいいのですか？Oracle などとまとめて Fsystem0 に登録しても問題ないですか？

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition および Enterprise Edition で、インストールされるパッケージ名を教えてください。

Q: 実行サーバの OS 起動時に、スケジュールサーバ上に登録されているジョブネットを起動することはできますか？

Q: Systemwalker Operation Manager の媒体を紛失しました。製品の入手方法があれば教えてください。

Q: 「.NET Framework」を使用する機能はありますか？

Q: クライアント画面を、複数の端末で参照操作できますか？

Q: クライアント画面を、WEB ブラウザで操作することはできますか？

Q: Systemwalker Operation Manager の統合監視機能は、Standard Edition でも利用できますか？

Q: CPU の増設に伴い、ライセンスを増やすことを検討しています。その際、Systemwalker Operation Manager の作業が必要になりますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、1 つのサーバのカレンダの内容を変更すると、他のサーバのカレン

ダの値も、自動的に変更する機能はありますか？
Q: MIB 情報を管理しているか教えてください。
Q: Fujitsu XML Library がバンドルされていますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、サーバの構築を検討しています。リプレイスになり、サーバが代わりますが、同じ Systemwalker Operation Manager に乗せかえることで、ライセンス上の問題が発生しないか、教えてください。
Q: ジョブネットを毎日起動させたく、ジョブネットの起動日を設定しています。3 年分しか保持できないのか、教えてください。
Q: タスクを使用して、Oracle のバッチを起動しています。これらのバッチはエラーコードを返します。このコードを、Systemwalker Operation Manager では、認識して、正常／異常を判断できますか？
Q: ガントチャートを印刷する方法を教えてください。また、ガントチャートを表示し、印刷する操作を、コマンドなどで自動化できませんか？
Q: クライアント業務連携で、どのようなことができるのか教えてください。
Q: 登録できるプロジェクト数、ジョブネット数の制限値について教えてください。
Q: setecode コマンドを使用してバッチファイルの終了コードを指定する場合に、最終行に exit が必要か教えてください。
Q: キューに実行中のジョブが溜まっていて削除したいので、削除方法を教えてください。
Q: Job Designer で、動作実績表示を行う際に、必要となる稼働実績情報ファイル(JOBDB)の所在を教えてください。
Q: クライアント業務連携機能の処理に使用するポート番号を教えてください。
Q: バックアップコマンド mpbko を使用して、成功か失敗かの値を取得する場合、どうすればよいですか？
Q: クライアントにクライアント業務連携を導入していますが、ログオフを行うと、クライアント業務連携ができません。サービスに登録するなどして、ログオフを行っても連携することはできますか？
Q: ジョブネットを無効化した場合でも、起動予定時刻が過ぎると、イベントログ/SYSLOG に警告メッセージを出力させるにはどうしたらいいですか？
Q: fcopysvr コマンドでサーバ間のファイル転送するときに、送信先に同一ファイル名が存在する場合、エラー、上書き、または追記のどの動作をとりますか？また、エラーにする方法はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 のジョブネットに登録した、Arcserve r12 のバックアップジョブを実行したところ、実行中のまま完了しません。原因と対処方法を教えてください。
Q: ジョブネットに対して、複数の起動時刻を定義することはできますか？例えば、「毎日 0:30 に実行する」ジョブネット A に、「1 月 1 日に限って 18:30 に実行する」というような定義をすることはできますか？
Q: 仮想 OS に Systemwalker Operation Manager をインストールしますが、動作保証されていますか？
Q: ジョブに任意のパラメタを渡したいのですが、この処理を Systemwalker Operation Manager で行う場合、どのような方法がありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 で、IIS のインストール有無によって、利用できる機能の差異について教えてください。
Q: メッセージ事象の発行とジョブネットの起動を、イベントログに出力することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager にカレンダを登録していますが、別のサーバにも登録したいので、エクスポートする方法を教えてください。
Q: 日変わり時刻を意識して日付情報を取得する方法を教えてください。例えば、日変わり時刻が 8 時 10 分の場合、7 月 2 日 7 時は、7 月 1 日として出力したいです。
Q: マニュアルの導入手引書にあるポート番号の一覧からポートを設定する場合、備考欄に記載のある「業務連携の内部制御用」のポートは、送信元とあて先は同じシステムですか？
Q: jobschprintcsv -n コマンドを使用して、Systemwalker Operation Manager 上のジョブネットのステータスを確認することはできますか？
Q: 登録ジョブを Administrator ユーザで起動する場合、クライアントから Administrator でログインして作成すればよいですか？
Q: Systemwalker Operation Manager の導入されているサーバから、Systemwalker Operation Manager が導入されていないサーバで実行しているスクリプトの実行結果を監視することはできますか？
Q: ジョブネット名とジョブネット名称は、変更できますか？
Q: グループ配下のジョブネットをコピーすることなく、他のグループで利用できますか？
Q: ジョブネット実行前の確認をジョブネットごとに実施できますか？
Q: ガントチャートに前日分と当日分のジョブネット実行履歴を表示できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、同時に起動できるジョブネット数を教えてください。
Q: グループ登録しているジョブネットが異常終了したときに、異常終了したジョブネットを再起動する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、あるプロジェクトのジョブネットやグループの内容を CSV などで出力し、実行モジュールのフルパスなどを変更した上で、別プロジェクトとして取り込むことはできますか？
Q: ポリシー抽出で、ポリシー情報を全く指定しないとジョブネットはコピーされませんか？
Q: 異常終了したジョブネットを先頭から再起動させる方法を教えてください。
Q: 登録されているジョブネット一覧を、Systemwalker Operation Manager のジョブスケジューラ情報印刷を使用して出力しています。テキストデータで出力する方法があれば教えてください。
Q: 同時実行ジョブ数を調査するコマンドはありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステム運用を検討しています。現在はスケジュールサーバだけをサブシステム運用したいと考えていますが、実行サーバもサブシステム運用する場合のメリットを教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.0.0 から V13.3.1 の Web 連携機能で、Ajax を使用する通信はありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager がイベントログに出力しているメッセージの種類（エラー、警告、および情報）の判断基準について教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager が出力するメッセージについて、Systemwalker Operation Manager の障害検知の観点で、イベントログ以外に監視するものはありますか？
Q: Active Directory 環境で、ユーザーにパスワードの有効期限を設定した場合、Systemwalker Operation Manager の観点での注意点を教えてください。
Q: 1 つのジョブネットに対して、2 つのスケジューリングができますか？ （例：月～土を 1:00 起動／日を 2:00 起動）
Q: Job Designer を利用するにあたり、Systemwalker Operation Manager のマニュアル「導入ガイド（手引書）」に記載されているポート以外に利用するポートがあれば教えてください。
Q: 任意のタイミングでサーバに転送されてくるファイルを、ファイル転送が完了したことを契機に別フォルダに移動する機能はありますか？
Q: Java Plug-in のアップデートを実施した場合、Systemwalker Operation Manager に影響があるか教えてください。
Q: ジョブの分散実行機能は、Standard Edition と Enterprise Edition のどちらで利用できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition の動作指定で、CPU の利用コア数を指定できますか？
Q: ジョブネットが異常終了した場合にアラーム通知する機能はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.0.0～V13.3.1 で、監視／操作に関する機能を Web ブラウザから使用する場合、Web サーバの OS として Red Hat Enterprise Linux 5.1 はサポートされていますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.0.0～V13.3.1 には、ジョブ実行サーバおよびスケジュールサーバという位置付けのサーバがありますが、Systemwalker Operation Manager の監視／操作に関する機能を Web ブラウザから使用するための Web サーバを搭載するサーバとしては、スケジュールサーバを Web サーバにするほうがいいのですか？
Q: 使用するメモリを設定する画面があるか教えてください。
Q: SYSLOG に出力するメッセージを教えてください。
Q: 導入済みの Systemwalker Operation Manager を何らかの方法で無効化させて、別のサーバに導入する場合、ライセンス上問題のない方法を教えてください。
Q: LANG の設定に関して、Systemwalker Operation Manager V13.0.0 は EUC でしたが、V13.2.0 以降では UTF-8 になっています。その理由を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager を導入するにあたり、OS で確認できる資源（CPU／メモリ／ファイルシステム使用容量／ディスク I/O／ネットワークなど）以外で、製品として動作しなくなるような障害を未然に防ぐ観点で、監視しておいた方がいい項目があったら教えてください。
Q: ジョブネットの実行結果の履歴、およびジョブの実行履歴の出力内容について教えてください。また、各ログのファイル形式を教えてください。
Q: Red Hat Enterprise Linux AS release 4.6 を 5.3 にアップする場合、Systemwalker Operation Manager V13.0.0 では対応していますか？
Q: /var ディレクトリ配下の以下のファイルについて、ログの切り替わり（ローテーション）が行われるかどうかを教えてください。
/var/opt/FJSVftlo/trc/f3cvtrc.log
/var/opt/FJSVJMCMN/log/mpjmsrv.log
/var/opt/FJSVJMCMN/spool/mjespoolx_syst/debug.log
/var/opt/FJSVJOBSC/log/jobsch_end.log
/var/opt/FJSVJOBSC/log/jobsch_start.log
/var/opt/FJSVJOBSC/log/tskwnsrv.log
/var/opt/FJSVstem/log/jobschmsgeventex.log
/var/opt/FJSVstem/log/stempolapp.log
/var/opt/FJSVMJS/var/spool/mjes/log/debug.log
/var/opt/FJSVMJS/var/spool/mjes/log/mjnetcln.log
/var/opt/FJSVMJS/var/spool/mjes/log/mjscnsl.log
/var/opt/FJSVMJS/var/spool/mjes/log/mjsoba.log
Q: Red Hat Enterprise Linux 上で動作する Systemwalker Operation Manager で、AF_UNIX や STREAM を用いた内部ソケット通信をしているか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、1:1 運用待機のクラスタシステムにおいて、一部のサブシステムを非クラスタ運用にした場合、待機系で qsub コマンドは問題なく使用できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、1:1 運用待機のクラスタシステムにおいて、一部のサブシステムを非クラスタ運用にした場合、サブシステム 0 は非クラスタシステムでなければならないとのことですが、ディスクはローカルディスクまたは共有ディスクのどちらに配置しなければいけないのですか？
Q: 導入ガイド／導入手引書に記述されているメッセージキューに関するシステムパラメタの設定値について、標準的な値として「200」という数値があります。その「200」の根拠（計算式）を教えてください。
Q: Job Designer を使用してジョブネットの登録を実行した結果の確認方法を教えてください。
Q: 前回履歴（標準出力や標準エラー出力）に使用できる文字のコード範囲を教えてください。
Q: ジョブの出力情報はクライアント画面で見ることができるとマニュアルに記載があります。デマンドジョブでも見ることはできますか？
Q: OS の root のパスワードを変更した場合の影響を教えてください。
Q: コマンド実行時にシェル名称を引数に設定する処理方法を教えてください。
Q: 以下のミドルウェアをインストールしたいのですが、インストールの推奨順序がありましたら教えてください。

Systemwalker Centric Manager Standard Edition
Systemwalker Operation Manager Standard Edition
Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition (Agent for Business)
Interstage Application Server Standard-J Edition
PRIMECLUSTER Global Link Services
UpdateAdvisor

- Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 にバージョンアップする場合、分散実行機能と旧互換分散機能がありますが、どちらを利用するとよいですか？
- Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition において、ジョブのマスタデータを自動生成する機能について詳細を教えてください。
- Q: Solaris 環境で Non-global Zone を複数構築した際に、Systemwalker Operation Manager における制限はありますか？
- Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で提供されている、複数サブシステムの意味を教えてください。
- Q: Systemwalker Operation Manager のカレンダ登録を行いました。そこで、カレンダ登録した情報の確認方法について教えてください。
- Q: 運用環境を退避する際に、退避データ格納先にネットワークドライブを指定しても問題がないか教えてください。
- Q: Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の Systemwalker Operation Manager のログ監視の設定において、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの［オプション］メニューで［イベント監視の条件定義］が選択できません。選択できるようにする手順を教えてください。
- Q: シェルスクリプトを直接実行した場合と、Systemwalker Operation Manager から実行した場合とで、使用される環境変数（LANG）が異なります。Systemwalker Operation Manager の動作について教えてください。
- Q: Systemwalker Centric Manager の scentricmgr（サービス/デーモンの起動コマンド）を実行させています。Systemwalker Centric Manager のサービス／デーモンの起動は成功していますが、そのジョブが終了しないことがあります。原因と対処方法を教えてください。
- Q: IPC 資源を利用するのか教えてください。利用している場合は使用する ID の範囲を教えてください。
- Q: サーバと異なるバージョンの Systemwalker Operation Manager をクライアントにインストールしましたが、サーバと接続が行えません。原因と対処方法を教えてください。
- Q: route コマンド、in.routed デーモン、in.rdisc デーモンを使用（起動）することがありますか？また、上記 3 つのコマンド、デーモン以外の何らかの方法でルーティングテーブルを操作することがありますか？
- Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 の運用を行っているサーバに、インストールされている JRE1.5 Update 6 を JRE1.5 Update 12 にアップデートします。Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありますか？
- Q: インストール種別「サーバ」機能を選択してインストールしていますが、「クライアント」機能を追加でインストールできますか？
- Q: Solaris 10 の環境に Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.4.0 をインストールします。必要な OS のパッチを教えてください。
- Q: ウイルス検索対象から除外しなければならないファイル／ディレクトリがあれば教えてください。
- Q: サーバリプレースにより、物理サーバの仮想化を検討しています。Systemwalker Operation Manager を VMware 製品で仮想化できますか？
- Q: 和暦元号が「平成」から新規の元号に変更になった場合に、Systemwalker Operation Manager への影響はありますか？
- Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 を運用している OS を、Red Hat Enterprise Linux 5.1 から 5.6 にアップデートしたいのですが、Systemwalker Operation Manager に何か影響はありますか？
- Q: Solaris コンテナに対応している Systemwalker Operation Manager のバージョンを教えてください。
- Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントと Systemwalker Centric Manager の運用管理クライアントを共存させると何か問題がありますか？
- Q: ハードリプレイスで、機種を PRIMEPOWER から SPARC M10 サーバまたは SPARC Enterprise サーバに変更予定です。Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？
- Q: Systemwalker Centric Manager Global Enterprise Edition が導入されている PC に、Systemwalker Operation Manager のクライアントをインストールしたいのですが、問題はありますか？
- Q: アクセス制御について記載されているマニュアルを教えてください。
- Q: SupportDesk サービス契約をしています。アップグレードを行うためのメディアの入手方法を教えてください。
- Q: Systemwalker Operation Manager を利用しています。次版製品への更新は、有償／無償のどちらになりますか？
- Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を導入したクラスタ構成のシステムについて、CPU の増設予定があります。CPU 増設の時期が両ノード同時ではない場合に、注意すべきことはありますか？

【購入相談】

- Q: Systemwalker Operation Manager の機能・特長は？
- Q: Systemwalker Operation Manager の、Standard Edition、Enterprise Edition、Global Enterprise Edition はどう違いますか？
- Q: Systemwalker Operation Manager の自動運転ではどのようなことができますか？
- Q: マルチプロセッサの場合のプロセッサライセンスの考え方を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager の V13 と V16 および V17 で、ライセンス形態に変更はありませんか？
Q: 1 台のサーバに対して、複数台の PC にクライアントをインストールして接続する場合、別途ライセンスを購入する必要がありますか？
Q: アップグレードサービスで、アップグレード元の製品がサーバライセンスで、アップグレード先の製品がプロセッサライセンスの場合、要求数はいくつ指定すればよいですか？
Q: Systemwalker Operation Manager 手配時に、バージョン／レベルを誤って古いものを手配してしまいました。新しいバージョン／レベルにアップデートすることはできますか？
Q: ライセンスの有効期限を教えてください。

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager は、ハッピーマンデー法に対応していますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブ、ジョブネット、グループ、プロジェクトとは何のことですか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、日変わり時刻とは何ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、ジョブの実行結果は、何をもとに正常・異常の判断をするのですか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、ジョブの実行結果に従い、後続の処理を分岐することはできますか？また、分岐したあとに、フローを合流させることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、ジョブネットは何を契機に起動されますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、特定の営業日に、ジョブネットを起動できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、大量のジョブネット/ジョブを一括して登録する方法はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、定義情報を csv 形式や制御文で移行できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、1 つのサーバ上に、複数のスケジューラを動作させることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、1 つのサーバ上に、複数のジョブ実行環境を動作させることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のジョブ間の連携図（フロー図）は Excel 上で扱うことができますか？
Q: ジョブネットの同時実行に関して、Systemwalker Operation Manager の設定項目や起動目安（見積もり方法）があれば教えてください。
Q: ジョブスケジューラコマンドを利用して、登録および削除を行う場合、処理時間はどのくらいかかりますか？
Q: 設計書どおりにジョブネットの登録やデマンドジョブの登録（フォルダ管理下）がされているかどうかを確認するためにテキストベースで情報を取得したいのですが、方法（コマンド）を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager において、異なるサーバに対してメッセージ事象を発行（メッセージ連携）する方法を教えてください。
Q: バッチファイル内で setecode コマンドを使用していない場合、バッチファイル内のコマンドの復帰値はどのように取得されますか？
Q: ファイルコピーを行うコマンドをバッチファイルでジョブに登録し動作させましたが、バッチファイル内で終了コードが 1 と返ってきたために、Systemwalker Operation Manager が異常終了と判断してしまいました。Systemwalker Operation Manager はバッチプログラム内ではどのように処理を判断していますか？動作を教えてください。
Q: シェルスクリプトまたはバッチファイルが異常終了した際に、ジョブの状態表示が赤になりません。環境変数などの設定が必要かどうか教えてください。

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager がサポートしているクラスタシステム製品を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager の旧バージョンレベルから新バージョンレベルへの資産の移行方法を教えてください。
Q: Systemwalker には SAP ERP(R/3)のジョブ管理機能があるそうですが、SAP（Unicode）に対してジョブ登録・管理は問題なくできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager において、ジョブを設定する際に実行予測時間、打ち切り時間等を設定できますが、指定した時間を超過した場合に、両方の設定では何が違うのですか？また、それぞれ設定時間を越えた場合、ジョブはどのような動きになりますか？
Q: Systemwalker Operation Manager の、動作する OS は？
Q: Systemwalker Operation Manager では、異なるシステム間での連携は可能ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、バックアップ作業の自動化は可能ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットやグループの登録情報をインポート、エクスポートできますか？
Q: 現在、別ドメインにあるクラスタ構成のスケジュールサーバと実行サーバを同一ドメインに変更します。この際、ドメインユーザーを使用してネットワークジョブを投入することはできますか？
Q: Web 連携の設定方法を教えてください。
Q: インストールする際、スタートアップアカウントはローカルアカウントでインストールし、導入後にドメインアカウントに変更して運用する手順を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager を移行する際に、現行システムを停止する必要がありますか？また、現行システムを停止しないで移行する方法はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ネットワークでつながっていないサーバ間でジョブネット定義を移行できますか。
Q: ジョブネットを別サーバに移行する際、移行先サーバにあわせて設定変更を行いたいです。移行先サーバに反映させる前に定義を変更できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントをインストールしたマシンの IP アドレスやホスト名を変更する場合、

Systemwalker Operation Managerで必要となる作業について教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition でクラスタシステムを構築する場合、サブシステム構築は必須なのか教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のマニュアル「クラスタ適用ガイド」で、実行サーバをクラスタ構築する記載を見つけられませんでした。実行サーバはクラスタ構築できないのですか？

Q: 必要分のライセンスは保有している状況で、サーバの CPU を増設する際、Systemwalker Operation Managerで考慮することを教えてください。

Q: 旧バージョンをアンインストール後に、新バージョンをインストールする予定ですが、旧バージョンのアンインストール後に、手動でディレクトリやレジストリキーの削除などが必要ですか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降のインストールディレクトリ配下の mpcmtool/audit にあるテキストファイルをバックアップしないでシステムを復元した場合、システムに与える影響はありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境で、データベースディレクトリだけを変更する方法を教えてください。

Q: スケジュールサーバを 32bit 版の Windows OS で立ち上げていますが、実行サーバとして 64bit 版の Windows OS を追加します。32bit 版と 64bit 版の混在環境になりますが、問題点があれば教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のサーバから Standard Edition のサーバにジョブネット定義情報を移行する方法を教えてください。

Q: UpdateAdvisor 形式の修正が適用されている状態ですが、Systemwalker Operation Managerをアンインストールすると、適用されている修正もすべて消えるか教えてください。

Q: ポリシー情報の抽出／配付で、カレンダ情報の移行を実施した際、移行元のカレンダが移行先にない場合、または移行先にあるカレンダ情報が移行元にない場合はどのようになりますか？

Q: コールドスタンバイ用のサーバの構築を行いますが、ジョブグループ、ジョブネット、およびジョブを移行する方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、スケジュールサーバがクラスタ構成です。実行サーバで環境設定を行いますが、ネットワークが接続されていない状態で［環境設定］－［運用情報の定義］－［クラスタ設定］シートの設定を行っても問題ありませんか？

Q: アップグレードインストールの方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、テストモード環境をサブシステムに構築する手順を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステムを新規作成するにあたり、既存のジョブネットを新規作成のサブシステムに移行する方法を教えてください。

Q: Global Zone/Non-global Zone 環境によって、Systemwalker Operation Managerのインストール方法は変わりますか？

Q: 性能テストに伴い、片方のノードの CPU を 1 つオフラインにして、1CPU で動作させる場合、どのような影響があるのか教えてください。

Q: HP 版 Systemwalker Operation Managerの環境を、上位バージョンの他 OS 版 Systemwalker Operation Managerに移行したいのですが、HP 版で設定していたジョブネットなどの設定情報を移行できますか？

Q: mpbko／mprso コマンド、および swmove／swtrans コマンドの用途の違いを教えてください。

Q: 1 台のサーバ内に複数の Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降の環境を設定する際、ジョブの定義を繰り返し使用したいのですが、使用しているディレクトリだけを環境単位で一括で変更できるかどうか教えてください。

Q: ジョブネットメモの定義情報について、他サーバに移行する方法を教えてください。

Q: 本番環境と被災対策環境を設計しています。被災対策環境でジョブネットなどの動作を抑止する方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Managerを導入している環境で、サーバのネットワーク設定を変更する予定です。サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、および IP アドレスの変更による影響と、その対処方法について教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ環境への組み込み時にサブシステム 0 をクラスタへ登録し、サブシステム 1 以降をローカルに配置することはできますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、下位バージョンから上位バージョンへの移行作業において、クラスタ環境で複数サブシステムにポリシーを配付するタイミングについて教えてください。

Q: Systemwalker Operation Managerで、V13 のクライアントを V17 のクライアントにアップグレードインストールすることはできますか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 Windows 版から Systemwalker Operation Manager V13.2.0 Windows for Itanium 版に Systemwalker Operation Managerの環境定義情報および定義情報を移行することはできますか？

Q: プロジェクト単位でバックアップリストアが行えるか教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition において、待機系の方に設定されているアクセス権が運用系より多い状態で、運用系で mkbat コマンドで出力したファイルを待機系で実行してアクセス権の反映をした場合、待機系だけにある定義は残りますか？

Q: クライアント端末の導入時、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能をインストールしませんでした。導入方法を教えてください。

Q: コマンド mpbko と swcolinf を同時に実行した場合、競合によりファイルが不整合を起こす可能性はありますか？

Q: ジョブネットの移行方法を教えてください。

Q: サーバの入れ替え（リプレース）および検証環境から本番環境への移行など、Systemwalker Operation Managerを別サーバへ移行する方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を、クラスタ環境から別サーバのクラスタ環境へ移行したいです。移行元と移行先の共有ドライブが別の場合（例 移行元：z ドライブ、移行先：y ドライブ）、移行が行えるかについて教えてください。

Q: Windows OS をインストール後、Systemwalker Operation Manager をインストールし、Systemwalker Operation Manager のホスト名など、何も設定を行っていない状態の環境で、Windows OS のホスト名を変更することで何か影響はありますか？

Q: 定義情報などが格納されるディレクトリを教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager をリストアをする際に、リストアコマンド mprso は Systemwalker Operation Manager の停止中に投入しても問題がないか教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition において、他システムに環境を移行する際、ポリシー配付先がクラスタの場合、注意事項はありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しています。移行元の V13 は、1:1 の運用待機でサブシステム運用していません。移行先の Systemwalker Operation Manager V17 は、相互待機でサブシステム運用する予定です。この環境でも移行できますか？

Q: Systemwalker Operation Manager の実行サーバを導入している Red Hat Enterprise Linux を 3.6 から 3.9 へバージョンアップします。それに伴い、スケジュールサーバ（Windows）で何か必要な作業が発生するか教えてください。

Q: ポリシー抽出／配付を使用して環境移行を行いますが、環境移行直後にジョブが起動しないようにする方法を教えてください。

Q: バージョンアップを実施する際、媒体にバックアップしてリストアすることはできますか？

Q: クラスタ構成のシステムで Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しています。運用系と待機系の両方で、同時に Systemwalker Operation Manager の各プロジェクトに新規アカウントの権限を追加する方法を教えてください。

Q: ジョブネットの移行を行いますが、無効や停止状態も引き継ぐことができますか？

Q: ポリシー抽出／配付とバックアップ／リストア(mpbko／mprso)の違いを教えてください。

Q: Windows の［スタート］/［アプリ］メニューから［Systemwalker Operation Manager］を選択しましたが、クライアント機能がありませんでした。クライアントインストールはできていないということですか？

Q: SafeCLUSTER のクラスタ環境において、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のバックアップ手順を教えてください。

Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition が稼働しているシステムがあります。別サーバで新規にクラスタ環境を構築して、システムを移行する手順を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントをインストールしました。クライアントからマスタスケジュール管理（V13.3.1 以前では、スケジュール分散)機能だけをアンインストールできますか？

Q: 同一マシンで Systemwalker Operation Manager を V13.0.0 から V13.3.0 にレベルアップする場合、登録された資産はどのようにしたら移行できますか？

Q: Red Hat Enterprise Linux の環境に、Systemwalker Operation Manager をインストールしました。システムパラメタチューニングするかどうかの判断材料、資料、適正値算出方法について教えてください。

Q: 同一バージョンレベルにおいて Standard Edition から Enterprise Edition にエディションアップする手順を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 が導入されているサーバの OS を、Red Hat Enterprise Linux 5.1 から Red Hat Enterprise Linux 5.3 にバージョンアップした場合の影響について教えてください。

Q: 現在「/etc/sysconfig/i18n」の設定が「ja_JP.UTF-8」になっていますが、Systemwalker Operation Manager をインストールするにあたって、変更が必要ですか？

Q: 分散実行先サーバのマザーボードを交換するため、サーバを停止します。その間も運用を行いますが、何か問題はありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しており、V13 から V17 にバージョンアップをする予定です。クラスタ環境からシングル環境に変更します。これらの変更をする上で考慮すべき点があれば教えてください。

Q: バックアップ連携コマンド mpback が BrightStor ARCserve Backup r11.5 に対応しているかどうか教えてください。

Q: ジョブネット定義を復元するために Systemwalker Operation Manager の運用中にリストア（mprso）することはできますか？

Q: Solaris 環境の Systemwalker Operation Manager で作成したジョブネットの情報およびカレンダ情報を、同一バージョンレベルの Linux 環境の Systemwalker Operation Manager に移行する方法を教えてください。

Q: ジョブネット定義を復元する方法を教えてください。

Q: 同時起動ジョブネット数により、カーネルパラメタ「kernel.msgmnb」の値を設定する必要がありますが、この値が極端に大きすぎたりすると、どのような影響がありますか？

Q: SystemcastWizard を使用して、コールドスタンバイの Systemwalker Operation Manager をバックアップ／リストアできますか？

Q: Systemwalker Operation Manager がインストールされた複数のサーバのうち 1 台を NetVault で代表バックアップ実施後、複数のサーバに NetVault でリストアした場合、Systemwalker Operation Manager では動作保証していますか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.0 から V13.3 以降にジョブネットを移行する手順を教えてください。

Q: Solaris 10 の環境から Solaris 11 の環境にリプレイスします。定義の移行手順について教えてください。

Q: サーバ環境の移行をします。ユーザー環境（アクセス権）だけ移行することはできますか？

Q: クラスタ環境の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の移行について、クラスタに登録したままで、swmove コマンドと swtrans コマンドを使用して移行できますか？

Q: swmove コマンドによる環境移行時の業務への影響と、出力されるファイルの容量について教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールすることによって、Tomcat がインストールされることがありますか？
Q: Solaris 版の Systemwalker Operation Manager で、クライアントは Solaris 上にインストールする必要がありますか？
Q: Windows Server で Active Directory のドメインコントローラを作成する場合、Systemwalker Operation Mangaer をインストールするのは、ドメインコントローラの作成前ですか、それともあとですか？
Q: 旧環境から新環境に移行する際、5 台のサーバから 1 台のサーバにデータを集約することはできますか？
Q: MpWalker/JM 2.0 から Systemwalker Operation Manager V13 にデータ移行することはできますか？できる場合、移行手順を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V17.0.0 の新規環境の構築を検討しています。他の既存サーバには Systemwalker Operation Manager V16.0.0 をインストール済みです。別サーバに新規環境を構築する場合、V16.0.0 がよいですか？または V17.0.0 がよいですか？バージョンの違いによる非互換および変更点を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の運用待機のクラスタ構成で、サブシステム運用を検討しています。この場合、一部のサブシステムをクラスタ化することに問題はありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager クライアントマシンにおいて、Systemwalker ユーザーに書込み権限を許可する必要があるフォルダ名を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition をサブシステムがない状態のクラスタ構成で構築しています。これをサブシステム運用に変更したいと思います。 設定変更の作業の流れ、サービスの停止などを教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で、分散実行先のサーバを 4 台から 2 台に変更しました。除外したサーバでジョブが実行されていないか確認する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager を Solaris 11 に導入したいです。kernel パラメタのチューニングについて、共有メモリとメッセージキューは加算なのか最大値なのか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager の移行作業において、swmove 移行用退避コマンドを使用した場合、同じ環境に入っている Systemwalker Centric Manager に影響がありますか？
Q: ネットワークジョブを実行する際に使用しているプロトコルの種類とポート番号を教えてください。また、番号はバージョンによって変更ありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager をインストールした際に選択した、インストール種別やオプション機能の選択内容を、製品インストール後に確認する方法を教えてください。
Q: 現状のジョブネットの定義をベースに、ジョブネット制御文を使用してほかのシステムへ展開を考えていますが、起動日ビットパターンについては移行対象外にしたいです。ジョブネット制御文中の、起動日ビットパターンを削除して問題ありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition インストール時にデフォルトで設定される起動スクリプトのファイル名を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で使用するポート番号が、別製品ですでに使用されていた場合はどのようになりますか？
Q: Systemwalker Operation Manager をインストールしているサーバで、Arcserve を使用してバックアップした際に、Systemwalker Operation Manager の関連ファイルで、stdout というファイルがスキップされました。スキップされて問題ないファイルですか？
Q: Systemwalker Operation Manager のあるバージョン／レベルのクライアントを利用している環境に別のバージョン／レベルの Systemwalker Operation Manager クライアントをインストールしたいのですが、共存できますか？
Q: 既存環境のポリシーを抽出し、新規環境に配付を行いたいのですが、抽出元と配付先がネットワークで接続されていない場合、どのように対応をしたらいいか教えてください。
Q: Systemwalker Centric Manager と別のドライブに Systemwalker Operation Manager をインストールしたいと考えていますが、問題ありませんか？
Q: ジョブネット移行を予定しています。ジョブネットの移行方法は、現行サーバからのポリシー抽出し、移行先サーバへのポリシー配付という手順で対応を予定しています。この場合、2 台の現行サーバのジョブネットを 1 台の移行先サーバに移行することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager の移行において、プラットフォームが異なるため、jobschprint コマンド、jobschsetnet コマンド、および jobschsetgrp コマンドを使用して移行する予定ですが、グループの登録とジョブネットの登録は、どちらを先に実行するべきですか？
Q: ポリシー配付元でジョブ、ジョブネットおよびグループを無効状態にしている場合、そのステータスはポリシー配付先に引き継がれますか？
Q: Systemwalker Operation Manager を新規にインストールしていますが、以下のエラーが発生し、正常にインストールできません。原因と対処方法を教えてください。

```
------------------------------
Microsoft Visual C++ 2005 Redistributable
------------------------------
Microsoft Visual C++ commandline option syntax error typecommand /? for error
  [   OK   ]
------------------------------
```

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を WSFC のクラスタ構成で運用しています。運用系で変更した定義情報をポリシー配付で待機系に反映させる方法を教えてください。
Q: Windows サーバで運用していた Systemwalker Operation Manager のジョブを、Linux サーバ（文字コード：UTF-8）へ移行したところ、コメント行の文字数オーバーにより、移行できないジョブがありました。原因と対処方法を教えてください。
Q: 本番環境からテスト環境へ運用環境を復元しようとしたところ、「アクセスが拒否されました。」と出力され、復元ができません。原因と対処

方法について教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 から V13.3.0 へバージョンアップ後、ジョブの標準出力および標準エラー出力のファイル名が変わりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 をインストール中に、「この種別では Web 連携機能がインストールされますが、IIS がインストールされていないため設定処理は行いません」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.1 をインストール後、Systemwalker Operation Manager を起動したところ、 以下のエラーメッセージが出力されました。原因と対応方法を教えてください。

＜エラーメッセージ＞

component start : sh /opt/FJSVJMCMN/etc/rc3.d/start_jmcmn
/opt/FJSVJMCMN/bin/jmnetsv: error while loading shared libraries: libelf.so.1: cannot open shared object file: No such file or directorycomponent start : sh /opt/FJSVJMCMN/etc/rc0.d/stsjmcmn

Q: Linux サーバに Systemwalker Operation Manager V13.3.0 をインストールしている際に、以下のエラーメッセージが出力されて、 インストールを継続できません。原因と対処方法を教えてください。

****
Invalid instration CD for RHEL4.use a correct instration CD and RUN setup.
****

Q: Windows 7 に Systemwalker Centric Manager V13.3.0 のリモート監視、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 を インストールをしようとしたところ、以下のエラーメッセージが出てインストールができません。原因と対処方法を教えてください。

＜エラーメッセージ＞

「このシステムの環境変数（PATH）には、非常に多くのパスが設定されているため、本製品のインストールによって設定するパスが有効になりません。インストールを続行するには、必要のないパスを削除して環境変数（PATH）を短くする必要があります。」

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0(Windows Server 2008)から、V16.0.0(Windows Server 2016)へ移行させたところ、ジョブ投入 API が復帰値-1 で異常終了するようになりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のインストール後に追加機能をインストールし忘れたと思い、再度製品メディアを挿入しましたが、その機能にすでにチェックがついています。この機能がインストールされているか確認する方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager がインストールされている環境において、一部のデータを誤って削除してしまいました。Systemwalker Operation Manager の再インストール方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager とで、同じポート番号(下記)が使用されていました。問題ないか教えてください。

・イベント監視
JMEVT1 9371/tcp
・ アクション管理
JMACT1 9369/tcp
JMACT2 9370/tcp
JMACT3 6961/tcp
・ セキュリティ
mpaclmgr 4013/tcp
・ リモート電源制御
JMPWR 9373/tcp

Q: V11 から V13.4.0 へバージョンアップする際に、確認すべき非互換項目について教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で必要なディスク容量について、教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の実行サーバで、信頼ホストの定義をします。スケジュールサーバがクラスタ（1:1 運用待機）運用のため、[信頼ホスト名]には運用系／待機系各々の物理ホスト名（IP アドレス）と論理ホスト名（IP アドレス）のどちらを設定したらいいですか？

Q: Systemwalker Operation Manager を最新版にバージョンアップします。ユーザーアカウントに「バッチジョブとしてログオン」の権限を与える手順を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager を最新版にバージョンアップします。ユーザーアカウントに「バッチジョブとしてログオン」の権限を与える必要のあるユーザーを確認する方法を教えてください。

Q: バージョンアップの手順や注意事項は、どのマニュアルに記載されていますか？

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールした直後に、エラーメッセージ「MpJmSrv: ERROR: 0028: shmget() No space left on device」がメッセージファイルに出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: カレンダ情報をポリシー抽出／配付で移行します。移行先サーバが複数サブシステム運用をしている場合、すべてのサブシステムに対してポリシー配付を行う必要がありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager をサーバにインストールしましたが、[Systemwalker Operation Manager]ウィンドウを起動させるメニューが見つかりません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager を導入しているシステムを、WORKGROUP からドメインメンバに変更します。ローカルユーザーでログオンする場合に、Systemwalker Operation Manager として問題はありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0 のクライアントをインストールし、起動しようとすると「.NET Framework があ

りません。インストールしてください。」とエラーが出ました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager を DMZ のサーバ上に導入し運用することが可能か教えてください。

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager では、実行結果の表示はできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットの起動日が、休日設定した日と重なった場合はどうなりますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、起動日のシフト処理は、シフトされた日が休日の場合どうなりますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、複数サーバのジョブスケジュールを 1 台のクライアントから監視できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブの実行制御ではどのような制御ができますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブ間の排他とはどのようなことですか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、一日の運用開始時刻を 0 時以外に指定できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、複数台のスケジューラをまとめて監視することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、ジョブネットのツリー上での表示順を変えることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、ガントチャート画面は時間に合わせて自動的にスクロールされますか？
Q: Systemwalker Operation Manager には、テスト環境から本番環境へ移行するときに、簡単・確実にジョブ定義を移行できる機能はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager では、動的にパラメタの値を変えながら、ジョブを起動できますか？
Q: jobschmsgevent コマンドでメッセージを発行したときに、受け取り先のジョブネットが存在しない場合、どのような動作を示すのかを教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、［ジョブネットの確認操作を有効とする］にチェックを入れていますが、フェールオーバ時のジョブネット自動再起動を行うサンプルコード［abendrerun.c］を使用した場合、自動的に再起動しますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタのスケジュールサーバで「実行継続モード」が有効と無効による違いによって、クラスタフェールオーバ時に実行中のジョブがどのように扱われますか？
Q: サーバを再起動した場合、発生済みのメッセージ事象はクリアされてしまいますか？
Q: サーバ再起動時に、ジョブネットの設定やジョブのステータスがどうなるか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER から Systemwalker Operation Manager が起動されているか確認する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、バックアップで mpbko コマンドを使用しますが、クラスタ環境での使用方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager が同居している環境で、mpfwsec を poperationmgr 実行時に一括で停止するには、-a オプションを使用すればよいですか？
Q: ジョブの操作（例えば、手動でジョブを起動するときなど）を行う際に、確認ダイアログ（実行するか否かの「はい」「いいえ」の確認）を出す設定方法を教えてください。
Q: ネットワークジョブに対して環境変数を渡す際の変数値について、例えば全角文字やスペースを含む文字列を設定する場合など、使用上の注意点や制限事項などがあったら教えてください。
Q: ネットワークジョブ動作中に、スケジュールサーバと実行サーバ間のネットワークが遮断された場合、実行サーバで実行中のジョブはキャンセルされてしまいますか？
Q: Systemwalker Operation Manager の画面でカレンダを選択し、右クリックすると使用状況を表示できます。ここでカレンダを使用しているジョブネット名を［カレンダ使用状況］ダイアログボックスで確認できますが、この情報をファイル出力できますか？
Q: 実行されたジョブの出力情報（標準出力／標準エラー出力）が参照できますが、過去（前日や前々日）の出力情報も参照できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager から Systemwalker Centric Manager への通知について、「MpJobsch」で通知されるものと、「Jobschexit」で通知されるものがあります。原因を教えてください。
Q: ジョブの実行ユーザーをドメインユーザーにする方法を教えてください。
Q: Windows のサーバを Systemwalker Operation Manager の実行サーバとして使用しています。スケジュールサーバから実行されるジョブが、どの実行サーバで使用されているかの情報を、実行サーバ側で取得する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降の Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のサブシステムから、V13.3.0 以降の Standard Edition の実行サーバに対して、ジョブを依頼することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager をドメイン参加させた場合の必要な作業を教えてください。
Q: ジョブの前回履歴の表示内容をバックアップする方法を教えてください。
Q: カレンダの操作を行う場合に必要な権限を教えてください。
Q: 階層化されているジョブネットにおいて、親ジョブネットの起動日を変更すれば、子ジョブネット側の起動日も反映されるのか教えてください。
Q: ユーザー種類で、参照だけ（ジョブの起動ができない）のユーザーを作る手順を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降の標準出力（stdout）および標準エラー出力（stderr）のファイル命名規約は変更されたのですか？
Q: 一般権限を持った OS ユーザーで、Systemwalker Operation Manager にログインして、プロジェクトの権限変更などを行うことはできますか？

Q: 特定時間以降にイベントビューアに出力された特定メッセージを条件としてジョブネットを起動できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のクライアント業務連携の fcopycli ファイル転送コマンドで、あるサーバ A から共有フォルダが存在するサーバ B にファイルを転送していますが「指定された第二ボリューム情報の獲得に失敗しました」のエラーで失敗します。対処方法を教えてください。
Q: ガントチャートの表示で翌日（未来日付）のジョブネットの起動予定は確認できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタ構成で運用している場合、運用系に設定されたどのような情報が待機系に引き継がれないのですか？
Q: サービスまたはデーモンが停止したことを監視する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のサーバが 2 台あり、片方のサーバには「%¥Systemwalker¥MPWALKER.JM¥mpjmcl¥work¥policy」配下にファイルが存在しますが、もう片方のサーバには存在しません。この違いによってどのような機能差が生じますか？
Q: ジョブが異常終了した場合に、翌日以降のジョブネット実行時に確認操作を不要とする方法を教えてください。
Q: ディレクトリ名に半角スペースを含むコマンドをジョブとして登録できますか？
Q: ジョブが強制終了、異常終了した場合に、Systemwalker Centric Manager のマネージャに opfmt で通知しても問題ありませんか？
Q: 間隔起動のジョブネットを特定の時間から間隔起動を行うようにする設定方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3 以降で、ジョブネットごとに複写起動による起動の上限値はありますか？上限値がある場合、そのカウンタをクリアするタイミングはいつですか？特にタイミングはなく自動でクリアされないのであれば、クリアするための方法を教えてください。
Q: 子ジョブネットに起動日を設定しましたが、非起動日にも子ジョブネットが起動します。起動日だけ起動させる方法を教えてください。
Q: ジョブの終了コードについて、ジョブとして登録した実行プログラムやバッチプログラムなどの終了コードが、0 の場合だけが正常終了で、それ以外の場合は異常終了とみなされますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のアクション定義画面で、メールでの通知機能を使用する場合に、メールアドレスの登録可能数の最大値を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のジョブネットの状態を Systemwalker Centric Manager の標準スクリプトなどを使用して監視する方法があれば教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の業務連携コマンドについて、クラスタ構成のマシンに対して、仮想 IP を使用して共有ディスクにファイル転送できるか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ジョブスケジューラの定義情報を GUI からエクスポートする機能がありますが、同等の操作をコマンドで実行することはできますか？
Q: スケジュールサーバから SAP サーバにジョブ実行依頼を行ったあと、SAP サーバのジョブのステータスを確認するためのコマンドはありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager から起動した NetCOBOL のバッチジョブに対して、正常や異常と判断する項目が何か教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、［運用情報の定義］で設定する［クラスタ設定］について、［スケジュールサーバ設定］および［実行サーバ設定］は何を行うために設定するのか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタ設定したサーバをアンインストールしないで、クラスタ設定だけを解除する方法を教えてください。
Q: ユーザーごとに権限の変更はできますか？
Q: 登録ジョブネットを 1 日に複数回起動させた場合、すべての起動履歴を確認できますか？また、ジョブについても確認できますか？
Q: グループ内ジョブネットの単独再起動はできますか？また、できるのであれば、単独再起動の方法を教えてください。
Q: UNIX 版スケジュールサーバから Windows 版の実行サーバ上のバッチファイルを、Administrator 権限または任意のユーザーで実行する方法を教えてください。
Q: カレンダ機能での一般的な国民の休日や祝日の設定方法と、設定済のテンプレートが公開されていないか教えてください。
Q: クライアント画面上で、手動で強制終了の操作を行う場合と、jobschcontrol コマンドのオプションで cancel を指定した場合とで、ジョブネットに対する操作結果に違いが生じますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2 以降の機能で、メッセージ連携を使用しています。送り元でメッセージが発生したかどうかと、送り先の方でメッセージが届いたかどうかを確認する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager を連携させて、ジョブが正常終了したことを通知するための設定を教えてください。
Q: あるジョブネットに対してメッセージ事象を発生させていますが、発生させたメッセージの消去方法と消去できたことの確認方法を教えてください。
Q: 0 時をまたがってジョブを実行します。日をまたいだジョブについても、前日の処理として実行する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager がインストールされているディレクトリにセットされている変数を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で使用しているスタートアップアカウントに対して、ローカルのログオンを拒否する設定にしたいのですが、何か影響はありますか？
Q: あるジョブネットを毎年 4 月と 10 月の第 3 営業日だけ起動したい。のですが、［ジョブネットのプロパティ］－［起動日］タブから基準情報を選択していますが意図した設定になりません。どのように設定すればよいのですか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、1 つのジョブネットに 2 つのジョブが登録されていて、このうちの 1 つを無効化した状態

にしたまま jobschsetnet コマンドで定義変更（具体的には起動時間の変更）をした場合、無効化していたジョブが無効解除されてしまうのですか？

Q: 「実行ユーザ名」に「AD¥administrator」のように、ドメインの administrator を指定できますか？

Q: 起動日雛形（月曜日から金曜日が起動日）を起動日に設定しているジョブネットを、特定の休日（日曜日）に起動させたいのですが、［運用予定］ウィンドウからジョブネットを 1 つずつ起動するように設定するしか方法はありませんか？

Q: プロジェクトをまたいだジョブネットの起動はできますか？設定方法を教えてください。

Q: プロジェクト名／ジョブネット名は変更できますか？変更方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブを実行した際に、実行サーバ側のキューが停止状態だった場合、スケジュールサーバ上のジョブは実行中になりますが、これは正常な動作ですか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.0.0 から V13.3.0 までのスケジュール分散機能で、クラスタ用サービスを登録します。stemregservice.exe コマンドで指定するユーザ名は、ドメインのユーザでも問題ないですか？

Q: 毎月特定の日を非稼働日に設定していますが、その特定の日が土曜、日曜、または祭日だった場合、非稼働日を振り替えることはできますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステムの使用を検討しています。その際ジョブスケジューラ用のポートをサーバの services に登録するようマニュアルに書いてあります。ここで指すサーバとは、実行サーバとスケジュールサーバのどちらですか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、［リカバリモードで起動した時、全てのキューを停止する］または［デーモン起動時に全てのキューを停止状態とする］をチェックしている場合、フェールオーバ後にキューを稼働状態で起動できますか？

Q: Systemwalker Operation Manager が実行するアプリケーション側からの戻り値を受ける場合の推奨方法を教えてください。

Q: 監視ホストおよび監視許可ホストをホスト名で定義していますが、IP アドレスに変更することによって、既存のジョブネットに影響があるか教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境で、リソースの依存関係を設定する場合、事前にサービスを停止する必要がありますか？

Q: jobschmsgevent コマンドの復帰値について、マニュアル「リファレンスマニュアル」を参照しましたが、復帰値の記載がありません。正常終了および異常終了の復帰値を教えてください。

Q: 移行元で起動していた終了処理ジョブネットを、移行先でも起動させたいのですが、設定方法を教えてください。

Q: 再起動後のサーバに対してメッセージ事象を発行したいと考えています。メッセージ事象の受信は、再起動後のサーバでも正常に行われるのか教えてください。

Q: 毎月最終月曜日に起動させたくない場合の定義として、毎月最終月曜日を休日とするカレンダを作成しました。ジョブネットのプロパティで毎日起動にして、カレンダで上記カレンダを選択しました。休日の取り扱いで「起動しない」を設定しました。この方法で実現可能ですか？なお、ジョブネット自体はメッセージ起動のジョブネットです。

Q: [監視ホストの定義]ウィンドウに表示されている定義名の一部分のホスト名を、削除ではなく、表示させないようにしたいのですができますか？

Q: クライアントの起動時、指定ユーザーでログインウィンドウを省略することはできますか？

Q: サービスのスタートアップアカウントに指定したユーザーについて、OS のパスワードを変更した後、［コントロールパネル］の［管理ツール］－［サービス］にある Systemwalker Operation Manager のサービスに設定されているパスワードを変更していない状態で、クラスタのフェールオーバが発生した場合、Systemwalker Operation Manager では、どのようなエラーメッセージがイベントログに出力されますか？

Q: インストール先フォルダを調べる方法について教えてください。

Q: ジョブの前回履歴には何が表示されますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタ構成で Oracle と Systemwalker Operation Manager をリソースグループで管理する場合、同じグループに所属させるときの問題点はありますか？

Q: 各プロジェクトに設定されている使用可能なユーザーとその各ユーザーに与えられているアクセス権の設定状況を確認する方法を教えてください。

Q: OS ログイン時に Administrator ではなく、別のユーザーでログインした場合、Systemwalker Operation Manager のクライアントは起動できますか？Administrators グループにそのユーザーを含める必要がありますか？

Q: 起動日雛形を使用して、ジョブネットを 4 月の第 2 営業日と第 4 営業日だけ起動するように設定するための方法を教えてください。

Q: 「日次」、「週末」、および「月末」の 3 つのジョブネットがあります。通常は「日次」だけで、週末は「日次」と「週末」、月末は「日次」と「月末」、週末および月末は「日次」「週末」「月末」の順番で起動させるには、どうしたらいいですか？

Q: Administrator のパスワードを変更した際、どのような時に、何をする必要がありますか？ なお、Systemwalker Operation Manager サービスのスタートアップアカウントには Administrator を指定していません。

Q: サーバのユーザーパスワードを変更することで、連携するサーバとパスワードが不一致になる場合に考えられる影響を教えてください。

Q: システムの文字コードを変更した際の影響について教えてください。

Q: ［ジョブを所有者の権限で実行する］のチェックの有無によって、スケジュールサーバから、そのサーバとは別ドメインとなる実行サーバのバッチをネットワークジョブ実行する場合の作業を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager が出力するログファイルについて、ログ出力先および各ログのファイル形式について教えてください。

Q: 現在稼働しているシステムに対して、出口プログラム「jobsch.exit」を配置しても動作に影響はありませんか？また設定を行った出口プログラム「jobsch.exit」で障害が発生した場合、動作に影響はありませんか？

Q: Job Designer で一括登録を行う場合、ジョブネット間で先行や後続といった実行順序の定義は行えますか？
Q: ポリシー抽出／配付機能を使用して、カレンダ情報を配付する場合、SYSTEM_CALENDAR の情報も含まれますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステムごとに持つ稼働実績情報ファイルを一本化することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、クライアントの監査ログで出力される「LOGIN_OMGRCLIENT」は、［Systemwalker Operation Manager［ログイン］］ウィンドウでログインの成功または失敗に関わらずログが出力されますか？
Q: ジョブ実行時のカレントディレクトリが PATH 環境変数の先頭に追加されるのは正常な動作ですか？
Q: デフォルトゲートウェイに対して、SNMP トラップをあげるような設定があるのかどうか教えてください。
Q: 子ジョブネットや孫ジョブネットに「起動日のみ有効」の項目を設定できますか？
Q: MANPATH は用意されていますか？ man コマンドでコマンドの解説を参照したいです。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、ジョブが流れている場合、PRIMECLUSTER の保守モードに切り替えることで、ジョブに影響が出るのか教えてください。
Q: mjdjalt コマンドで実行中のジョブ数より小さい値を指定した場合、実行中のジョブはどうなりますか？また、残りジョブ実行枠 1 のキューに対して、優先順位が同じ job を同時に投入した場合、どのような優先順位になりますか？
Q: ジョブ実行制御の qsub コマンドを使いシェルを実行しようとしています。qsub コマンドはシェルの終了を待たずに復帰しますが、終了を待ち合わせる方法はありますか？
Q: ジョブネットが停止中にサービス／デーモンを停止しました。サービス／デーモン停止中に起動条件を満たし、そのあとにサービス／デーモンを起動しました。停止解除を実施しましたが、ジョブネットが起動されません。これは正常な動作ですか？
Q: メモリ増設する場合、Systemwalker Operation Manager で実施する必要がある作業を教えてください。
Q: デフォルトパスワード長を 8 文字から 9 文字に変更し、root のパスワードを 9 文字以上にする計画があります。Systemwalker Operation Manager V13.2.0 および V13.3.0 の運用に影響を与えないようにするには、何文字までにすればよいですか？
Q: Systemwalker Operation Manager の「ジョブの実行予測時間」および「ジョブネットの終了予定時刻」の遅延メッセージを、Systemwalker Centric Manager で監視したいのですが、どのような監視方法がありますか？
Q: カレンダ機能がありますが、このカレンダの情報を出力する方法はありますか？
Q: プロジェクト単位にユーザーのアクセス権を設定できますが、登録できるユーザー数には制限がありますか？
Q: ジョブでファイル作成を行うと、ファイル権限のグループが swadmin で作成されます。どのようなルールで権限が設定されているのですか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、データベースディレクトリ配下に格納されるジョブの前回履歴を削除することによって、クラスタのフェールオーバの処理が速くなるか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager でスケジュールされているジョブネットを、状態に関係なく強制起動させる方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のジョブで、jobschmsgevent コマンドのパラメタ「:プロジェクト名」に環境変数 JOBSCH_PROJECT を使用できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、監査ログの保存日数を mpsetlogsend_omgr コマンドで設定していますが、期限を過ぎても古い監査ログファイルが削除されないのはなぜですか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ化した実行サーバで、hvshut -l でクラスタを停止したあと、shutdown したいのですが、方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のクライアント機能だけをインストールした Windows の PC から、GUI ではなく、コマンドでサーバ（Solaris または Windows）側のジョブネットを起動できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、SYSLOG の facility=local0～7 を使用して、ログを出力しているか教えてください。また、使用している場合は何番を使用しているか教えてください。
Q: ジョブネットが異常終了した場合は「Mpjobsch: エラー: 9002」【Windows 版】／「MpJobsch: ERROR: 0330」【UNIX 版】のエラーメッセージが出力されますが、これをジョブの異常終了時にも適用できますか？
Q: プロジェクトを削除したいのですが登録されているジョブネットをすべて削除しなければなりません。ジョブスケジューラデータベースディレクトリ配下の「プロジェクト名.xxx」ファイルを、すべて手動で削除してもいいですか？
Q: 4 つのジョブを A→B→C→D と登録している 1 つのジョブネットで、C のジョブがエラーになった場合、B の正常終了しているジョブから起動を行いたいのですが、何か方法はありますか？
Q: クライアント画面の［表示］－［表示開始時刻］の設定は、サーバに接続する各クライアントで設定する項目なのか、サーバ上で一括管理される設定なのか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、jobschmsgevent -c コマンドのサフィックス機能を使用して、複写起動をしたジョブネットは自動的に削除されますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のサーバに接続して環境設定画面を起動できるユーザーを教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager の機能を利用して、他のシステムの Systemwalker Operation Manager が起動されたことを確認する方法について教えてください。
Q: クライアントで表示される文字のフォントを大きくすることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、起動条件を持たないジョブネットを大量に登録した際の、ジョブスケジューラやジョブ実行制御等への影響について教えてください。
Q: ユーザーのパスワードを変更する際に、必要になる作業について教えてください。
Q: ETERNUS NR1000 の Snapshot と Snapmirror 機能を使って、バックアップをとっています。Snapmirror でバックアップデータを取得する際、Systemwalker Operation Manager のサービス/デーモンを停止する必要があるか教えてください。

Q: ジョブネットで OS 再起動のジョブを流しています。OS 再起動後に、続きのジョブを実行したいのですが、何か良い方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、マニュアル「クラスタ適用ガイド Windows 編」の「Microsoft(R) Fail Over Clustering システム運用時のポリシーの配付/適用」の手順 7 で mpcssave コマンドを実行するマシンはどのマシンですか？
Q: ジョブネットで、異なるサーバで実行させるジョブに、先行後続関係を持たせることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER を使用したクラスタ環境でテストモードを使用する方法を教えてください。
Q: ジョブネット一覧を CSV で出力したいのですが、どのようにすればよいか教えてください。
Q: テストモードでの運用について、テストモードを設定すると、見た目でテストモードに変わっていることはわかりますか？また仮想時間を変更するたびにサービスの再起動が必要ですか？
Q: タイムアウト時間やタイムアウト発生時のリトライ回数についての設定項目を教えてください。
Q: ジョブの状態を詳細に出力するコマンドを教えてください。
Q: 環境設定ウィンドウにある［監視ホスト］ボタンは、どういうときに設定が必要ですか？
Q: マニュアル「運用ガイド」または「使用手引書」に記載されている「JOBSCH_JOBNET_DATE」環境変数はどのタイミングで値が設定されますか？
Q: 「JOBSCH_JOBNET_DATE」環境変数に設定された値を利用しての運用において、特定のジョブネットを指定して、環境変数の値を取得できますか？
Q: オンラインヘルプで、［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シートの実行ユーザで［省略した場合は、従来どおりのユーザ権限でジョブを実行します］とあります。「従来どおりのユーザ権限」の内容を教えてください。
Q: jobschcontrol コマンドを使用してジョブネットを無効状態にする予定です。jobschcontrol コマンドは即反映される(完了復帰型)コマンドですか？
Q: mpbko コマンドを使用したバックアップで取得されるファイルの一覧を教えてください。
Q: 移行先にすでに同名のグループとジョブネットが存在する場合に、名前を変更してコピーするオプションを教えてください。
Q: OS 起動時、Systemwalker Operation Manager のデーモンは自動起動されると認識していますが、自動起動のための設定作業などは必要ですか？
Q: OS 起動時の Systemwalker Operation Manager のデーモン自動起動の際に、シェルなどを読み込んでいますか？また、シェルが存在した場合、シェル格納場所を教えてください。
Q: 非起動日の設定および非起動日の設定確認をコマンドで行うことができますか？
Q: スケジュールサーバから実行サーバにネットワークジョブとして長時間ジョブを依頼し、依頼後にスケジュールサーバがダウンした場合、ネットワークジョブとして実行されたジョブはどうなりますか？
Q: キュー名を変更することはできますか？
Q: クライアントで、ジョブの操作は一切行わせずに、ジョブネット状態の表示だけ行わせるようなセキュリティ設定ができますか？
Q: 休日情報制御文を作成してカレンダを登録していますが、登録できるカレンダに上限はありますか？
Q: jobschsetproject コマンドを使用した場合、プロジェクト名を変更することはできますか？
Q: Systemwalker のプロジェクトの削除方法として、dbz、grz、または jsp ファイル（V13.3.1 以前の場合は、dbx、grp、または jsp ファイル）を直接削除する方法は動作保証されていますか？
Q: mpbko コマンドによるバックアップ時のジョブのステータスやリストア時の注意事項を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のサービスを停止しないで、時刻補正を行った場合の影響を教えてください。 時刻補正は、NTP サーバに接続して行う予定で、時間をかけて時刻の補正を行う予定です。
Q: ジョブネットを右クリックして［起動日］から任意の日を起動日にしましたが、その後設定が削除されてしまいました。原因を教えてください。
Q: 毎月 1 日に実行されるジョブネット A があり、毎月 3 日に実行されるジョブネット B があります。この場合、ジョブネットの A および B を待ち合わせて、ジョブネット C を起動することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、クラスタを構成している環境について、フェールオーバ後に Systemwalker Operation Manager でスケジューリングされているジョブネットを起動させない方法を教えてください。
Q: 他のサーバにあるシェルを、ネットワークジョブとして動作させる場合の PATH 環境変数は、どのような順番で設定されるのかを教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V17.0.0 で、サーバリプレイスのため、旧サーバからポリシー抽出し、新サーバにポリシー配付を行ったところ、ジョブの基本情報に設定してあったコメントがすべて文字化けしました。原因と対処方法について教えてください。
Q: 間隔起動を指定したジョブネットの実行中に、次の起動時刻になった場合、実行中の処理完了後に起動できていない分の処理が即実行されますか？
Q: リカバリジョブに「元のジョブの再起動」を実行させる際、指定した時間に再実行させる方法を教えてください。
Q: ジョブとして登録できるファイルについて教えてください。
Q: 「キューごとのジョブ多重度が無制限」および「システム全体のジョブ多重度が 30」と設定している場合に、31 個以上ジョブを同時に実行すると実行待ちが生じますか？
Q: 「システム全体のジョブ多重度が 30」と設定している場合に、31 個以上ジョブを同時に実行させることはできますか？
Q: ジョブ多重度設定値の上限は「各キュー」および「システム全体」共に最大値が 99(V17.0.0 以降は 999)という認識であっていますか？それとも「各キュー」の上限値は無制限で、「システム全体」の上限値が 99(V17.0.0 以降は 999)となるのですか？

Q: 起動条件がメッセージだけのジョブネットの終了予定時刻を設定できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER システムにおけるカレンダデーモンの停止方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、デマンドジョブの分散実行運用を行っています。キューに設定しているホストグループについて、処理内容の同一のものが設定されているキューを、同一のホストグループに変更する方法を教えてください。
Q: V13.2.0 以降の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、監査ログ出力先として、/var/opt/FJSVftlo/audit/を指定しています。クラスタ構成で運用する場合、このディレクトリは共有されず、それぞれのサーバに蓄積されますか？
Q: Systemwalker Centric Manager で Systemwalker Operation Manager のプロセス監視をするにあたって、監視対象にしたほうが良いプロセス名を教えてください。
Q: ジョブネットが終了遅延した際に SYSLOG にメッセージを出力できますか？
Q: ジョブの実行予測時間を定義しています。このジョブが終了遅延すると SYSLOG にメッセージ出力されますが、このメッセージの中でコマンド名ではなく、ジョブ名を出力することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で運用中の環境において、以下のサービス停止を検討しています。Systemwalker Operation Manager の動作には問題ありませんか？
 # /etc/init.d/gamagent stop
 # /etc/init.d/srvmagt stop
 # /etc/init.d/eecd stop
 # /etc/init.d/srvmagt_scs stop
 # /etc/init.d/trpsrvd stop
 # /etc/init.d/sv_fwdserver stop
 # /etc/init.d/snmpd stop
Q: Systemwalker Operation Manager の Linux サーバから qsub コマンドを使って、Windows サーバ上のバッチコマンドを実行しています。Windows サーバ上で起動された処理がループ状態になった場合の対処方法として、処理時間（エラップス）や CPU 時間リミット制限は可能ですか？また、手動で停止することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.3.0 で、MSCS 環境でのクラスタ環境下においてのスタートアップアカウントの変更方法について教えてください。
Q: ユーザのパスワードを変更して、MSCS クラスタ構成の運用系で以下の認証エラーが出力された場合、V11 から V13.6.0 までの Systemwalker Operation Manager の業務に影響はありますか？また、クラスタの切り替えは発生しますか？
AP:Userenv: エラー: 1006:xxxx.xxxxx ドメインにバインドできません。(資格情報が無効です)。グループ ポリシーの処理は中止されました。
SY:LSASRV: 警告: 40960:SPNEGO (Negotiator) :サーバー xxxx/xxxxx.xxxx.xxxxxx/xxxx.xxxxxx@xxxx.xxxxxx の認証エラーを検出しました。 認証プロトコル xxxxxxxx からのエラー コードは "実行しようとしたログオンは無効です。ユーザー名または認証情報に誤りがあります。(0xc000006d)" でした。データ:6d0000c0
Q: ヒープの使用領域を 1 分ごとに取得するようにしました。ジョブを実行すると高くなる部分が存在します。Systemwalker Operation Manager の「Systemwalker MpMjes サービス」が利用する、デスクトップの領域を特定する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のバックアップしたデータから、設定内容を確認できますか？
Q: メッセージ事象の発生回数がクリアされる時間は日変わり時刻になりますか？
Q: カレンダの起動日／休日をコマンドで変更する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V12.0L10 では、shutdown.exe が提供されていましたが、V13 以降の環境には shutdown.exe はないのですか？
Q: クラスタ環境で、poperationmgr コマンドで Systemwalker Operation Manager が正常に停止したことを確認する方法を教えてください。
Q: ログファイル（jobdb*.log）サイズが最大値（99MB）まで拡張された状態で jobschprint -g yyyy mm dd でジョブの履歴を表示した時、動作が遅くなりますか？
Q: ジョブが異常終了したときにシェルやバッチを実行する方法はありますか？
Q: クラスタサーバでの運用中にカレンダ情報を途中で変更した場合、登録済みのジョブに対してカレンダ情報の不具合は起きますか？
Q: バックアップを採取したあとに新規にプロジェクトとジョブネットを登録し、バックアップのリストアを行いましたが、新規に登録したプロジェクトとジョブネットが登録されたままです。この動きは正しい動作ですか？
Q: バックアップを採取したあとに新規にプロジェクトとジョブネットを登録し、バックアップのリストアを行いました。バックアップ後に作成された起動日雛形はリストア時に削除されますか？
Q: jobdb1.log のログはあり、かつ jobdb2.log、jobdb3.log がまだ生成されていない状態で、強制的にローテーションして jobdb2.log と jobdb3.log を生成させる方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブスケジューラに登録されているジョブネットの情報を一括でテキストまたは CSV などに出力する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager をアンインストールして再度インストールしなおす際、アンインストールする前の設定値を一度全部退避しておいて再インストールした Systemwalker Operation Manager に対して復元する方法を教えてください。
Q: ジョブネット履歴を CSV ファイルに出力する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Job Designer は、MetaFrame にインストールしても問題ありませんか？

Q: 運用日の月末 2 日前だけに起動するジョブネットを作成する方法を教えてください。
Q: ジョブの開始と完了の予測時間の監視について、1 日 1 回の制約はありますか？
Q: ポリシー抽出配付について、ジョブネットの状態は抽出元のステータスがそのまま移行先に反映されますか？
Q: 環境設定の起動パラメタの定義にある［ジョブネット起動 API］と［メッセージ待ち合わせ］の項目がグレーアウトになっていますが正常な状態ですか？
Q: jobschsetnet -sent コマンドで起動日制御文を登録する場合、すでにジョブネットの起動日に設定されている日付を execday オペランドで起動日に指定することはできますか？
Q: クラスタ環境の場合、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition の起動方法と停止方法を教えてください。
Q: 各製品のバージョン情報のハードコピーを採取したいのですが、F3crfver コマンドを使用すれば画面上でバージョン情報を表示できますか？
Q: ［環境設定］－［共通パラメタ］項目から swadmin のユーザを使用できる設定を行いましたが、swadmin に属しているユーザが、Systemwalker Operation Manager でログインすると、ジョブ自身が見えません。原因を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager でジョブネットを構成し、5 分間隔で実行しています。毎回実行される標準出力をまとめて採取する方法はありますか？
Q: セキュリティの観点から、Systemwalker Operation Manager をインストールしているディレクトリ、ファイルに対してパーミッションの変更を検討しています。パーミッションの変更は動作保証していますか？
Q: ジョブネット／ジョブの設定やスケジュール、実行結果などを参照するだけで、変更／実行を行うことができないユーザーを作成する方法を教えてください。
Q: クライアントインストール時に入力を求められるユーザを、インストール後に削除、または変更しても問題ありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、ジョブ実行制御のパラメタを変更後、クラスタサービスを止めずに Systemwalker Operation Manager を再起動する手順を教えてください。
Q: ジョブのカレントディレクトリに誤ったディレクトリを設定をした場合、ジョブは異常終了しますか？
Q: ジョブネットの一覧と、ジョブネットに登録してあるジョブの一覧、ジョブの中身を見るためのコマンドを教えてください。
Q: mpbko コマンドはシングルユーザモードで実行できますか？
Q: ジョブネットまたはジョブが遅延している場合に、アラームを通知するなどの監視ができますか？
Q: ジョブネット終了後、ファイル転送処理を実行したいのですが、ジョブネット終了時にシェルスクリプトを実行することはできますか？
Q: メッセージが発生しているにも関わらず起動されないジョブネットに対して、jobschprint コマンドで開始遅延を確認できるオプションを教えてください。
Q: 出力結果を電子ファイルで出力したいのですが、ジョブの実行履歴はどこに出力されるか教えてください。また、ログをコピーする際、Systemwalker Operation Manager を停止する必要はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.0.0、V13.1.0、および V13.2.0 で、jobschprint などのコマンドがリモートデスクトップ環境でエラーとなって実行できない理由を教えてください。
Q: 現状 1 つのプロジェクトで複数のジョブネットに対してポリシーの配付を行っています。ジョブネットごとにポリシー配付することはできますか？
Q: インストールフォルダの JOBDB の領域のログを採取したいのですが、ログがアクセス中でも採取してよいですか？
Q: 文字コードが EUC の既存サーバから、UTF-8 のサーバに環境移行できますか？
Q: ジョブおよびジョブネットの停止、無効などを実施するジョブの作成方法を教えてください。
Q: プロジェクトの所有者とジョブの実行ユーザーは異なるユーザーを指定しても問題ないですか？
Q: ジョブを所有者の権限で実行する、ジョブ所有者情報の定義追加、といった環境設定を実施後、サービスの再起動は必要ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager の情報をバックアップ／リストアする方法を教えてください。
Q: Windows Server で DCOM を停止したときの、Systemwalker Operation Manager への影響を教えてください。
Q: メンバサーバの Active Directory ドメイン移行時の、注意点について教えてください。
Q: グループ内の複数のジョブネットの動作で、先行ジョブネットが異常終了した場合でも後続ジョブネットを起動させる方法はありますか？
Q: ローカルジョブでは環境変数 JC_jobname でジョブ名は取得できましたが、ネットワークジョブの場合、実行サーバ側のジョブで、ジョブ名を取得する方法を教えてください。
Q: ジョブのプロパティにある［終了コードに関わらず正常］のチェックボックスにチェックを付けると、ジョブが異常終了した場合でも正常終了し、状態を変更しなくても後続のジョブは起動しますか？
Q: 新規サーバに対して Systemwalker Operation Manager をインストールする際、ホスト名や IP アドレスに関連する留意点はありますか？
Q: グループ内に矢印で紐付けないジョブネットを配置した場合、そのジョブネットの動作はどのようなものになりますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、ジョブネット数 255 超えのメッセージが発生します。制限なのですか？
Q: ジョブネットを起動する直前に確認のメッセージを表示させるような設定はないか教えてください。
Q: カレンダを使用したジョブネットの運用予定日（起動日）の確認方法を教えてください。
Q: カレンダ作成で、休日とする日（土曜、日曜、および祝祭日）の設定方法について教えてください。
Q: jobschprint -r コマンドの出力結果にある standnet の項目の意味を教えてください。
Q: 終日 5 分おきに流していたジョブを、特定の時間（例えば 5:00 から 6:00 の間）だけ流さないようにする設定はできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、ジョブスケジューラの操作履歴の参照方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager 導入済環境のサーバマシンをドメインコントローラに昇格する方法を教えてください。

Q: クラスタ構成の運用時、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のジョブが実行中にフェールオーバが発生し、異常終了（実行中断状態）になった場合、このジョブネットに対して何も操作をしなければ再起動されることはありませんか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、ジョブ実行中にフェールオーバが発生した場合、終了コード 239 で異常終了し、ジョブの前回履歴が表示されないため該当ジョブがどこまで進んだのかを判断ができません。実行履歴がわかるログファイルなどはありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager のユーザー設定で、「何でもできる Admin ユーザー」、「ジョブを手動実行できるユーザー」、および「参照だけできるユーザー」の切り分け方法を教えてください。

Q: 間隔起動のジョブネットで、ジョブが異常終了した場合に次回分の起動が自動で起動されないようにすることはできますか？

Q: Systemwalker Operation Manager から実行するジョブを Administrator ユーザー（ビルトインアカウント）で動作させるための設定方法を教えてください。

Q: パッチ適用時に異常が発生した場合の、戻し方を教えてください。

Q: ジョブネットのプロパティにある［起動日］タブから設定を行った場合、起動日ウィンドウから確認できるスケジュール以降のスケジューリングは有効となりますか？

Q: クラスタ構成を組んでいる Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の環境で、バックアップを取得する際のタイミングを教えてください。

Q: クラスタ構成の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition サーバで、カレンダ情報は共有されていますか？

Q: カレンダ機能だけをバックアップ／リストアできますか？

Q: クラスタ環境で、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のカレンダの自動反映が実施されているかどうかの確認方法を教えてください。

Q: クラスタ環境の場合、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のジョブのログファイルは共有ディスクに配置されますか？

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブとして、自動でバックアップを実施する方法を教えてください。

Q: 同一サーバで、Systemwalker Operation Manager のバックアップデータから部分的にリストアできますか？

Q: 実行サーバでジョブを実行中に、クラスタ環境のスケジュールサーバでクラスタ切り替えを行った場合、実行サーバ側のジョブ走行には問題ありませんか？

Q: ジョブネットを起動させるコマンドで、階層化されたジョブネットの子ジョブネットを起動させる方法を教えてください。

Q: スケジュールサーバ A、B の環境で A からジョブネットを起動させるコマンドを使用し、B のジョブネットを起動させる方法を教えてください。

Q: ファイル転送コマンドで、FTP の完了を待ってからファイル転送をする方法はありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降のバージョンで拡張ユーザ管理機能を使用する場合、監査ログには拡張ユーザのアカウントは出力されますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で拡張ユーザ管理機能を使用する場合、1:1 の運用待機構成の両ノードに対して mpsetusermode コマンドを実行する必要がありますか？

Q: 監視ホストを登録している場合、相手先のサーバは拡張ユーザ管理機能を有効にする必要がありますか？

Q: ジョブネットのプロパティで、起動条件の設定をなしから間隔起動に変更した場合、設定の反映に再起動は必要ですか？また、他のジョブネットへの影響はありますか？

Q: 基準ジョブネットに起動日が設定されていない場合、基準ジョブネットを利用する側のジョブネットも起動しませんか？

Q: 現在 1 つのサブシステムで Systemwalker Operation Manager を運用していますが、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のマスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能を使用して複数のサブシステムで運用できますか？

Q: Systemwalker Operation Manager がインストールされているドメインコントローラを降格し、再昇格する場合に必要な設定を教えてください。

Q: Gigabit Ethernet カードの交換によって、Systemwalker Operation Manager のサーバの MAC アドレスおよび /etc/ethers が変わります。設定変更などの影響の有無について教えてください。

Q: ジョブ実行履歴の保存日数の変更方法を教えてください。

Q: OS のバージョンによってインストール方法は変わりますか？

Q: ［ジョブネットの起動予定時刻を過ぎても実行されない場合に通知を行う］を有効にしています。起動遅延のステータスになったジョブネットが SYSLOG に出力される条件を教えてください。

Q: クラスタシステムにリソース登録できる Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のデーモンを教えてください。

Q: ジョブおよびジョブネットは、一定の時間が経つとジョブ自体を異常終了させる制限時間の設定ができますか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降のポリシー抽出と配付について、［環境定義］シートの各項目の内容を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager が出力するジョブの出力ファイルについて、ファイルの内容、ファイル名、格納先、およびログファイルは循環して使用されるかどうかを教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降が出力する監査ログファイルについて、ログファイルの内容、ファイル名、格納先、およびログファイルは循環して使用されるかどうかを教えてください。

Q: クラスタ環境で共有を行っている環境で、Systemwalker Operation Manager の管理領域があります。UFS ダンプと TAR コマンドでバックアップを取得、退避させておいてリストアできるか教えてください。

Q: 常駐プロセス（サービス）の死活監視を行いますが、対象プロセス名を教えてください
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、サブシステムごとに稼働実績ファイルを持つことはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ適用の手順について、クラスタアプリケーションを 2 つ用意し、それぞれで Systemwalker Operation Manager を動作させたい（両ノードまたは片ノードで動作する）場合、2 ノード相互待機の構成で問題ありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、ジョブネット実行中に日変わり処理が行われ、後続のジョブネットに持ち越し処理を行っている場合、翌日になってもそのジョブは実行され、さらにその日に再度スケジューリングされますか？
Q: 開始遅延状態のジョブネットを、日変わり時刻の到来で再スケジュールされず翌日に持ち越して実行可能にする方法について、より変更作業量が小さく運用影響の出ない方法を教えてください。
Q: 稼働実績ファイルに記録される日時について教えてください。
Q: ［ジョブネットの確認操作を有効にする］にチェックを入れた場合、入れなかった場合の動きについて教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition V13.3.0 以降追加された、「ジョブネット起動時の可変パラメタ付与」機能はグローバルサーバ上のジョブに対しても利用できますか？
Q: jobschsetproject コマンドでプロジェクトを追加した際、既存のジョブなどの停止をせずにそのまま実行できるかどうか教えてください。
Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition を使用します。calcphost.def の IP アドレスの指定について、物理アドレスと仮想アドレスのどちらを指定すればよいですか？
Q: Systemwalker Operation Manager Job Designer で使用できる Systemwalker Operation Manager のバージョンを教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition V13.3.0 以降で、クラスタ環境でスケジュールサーバから、実行サーバの待機系に対し、ネットワークジョブの発行はできますか？
Q: 本番システムから待機システムに、Systemwalker Operation Manager のジョブスケジューラの定義情報の定期的な移行をする際、jobschprint コマンドと jobschsetnet コマンドを利用して問題ないですか？ 具体的な操作手順は以下を想定しています。
　jobschprint -r コマンドで制御文出力
　出力された制御文内の待機系環境に依存した部分（依頼先ホスト名など）を編集
　編集した制御文を待機系環境に転送
　待機系環境で jobschsetnet コマンドで転送された制御文によってジョブ制御情報を登録
またこの場合、登録した情報を無効状態で登録できるか教えてください。
Q: ジョブを停止した場合と無効化した場合で、ジョブがどのように動作するか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edotion で、クラスタシステムからネットワークジョブを投入する場合の設定について教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager は、FLEXlm でライセンス管理を行う製品であるか教えてください。
Q: ジョブネット制御文やプロジェクト制御文に、複数のジョブネットやプロジェクトの情報を記述して登録できるかどうか教えてください。
Q: 現在無効にされているジョブネット、ジョブの情報を抽出する方法を教えてください。
Q: サービス起動停止をユーザー側で制御することはできますか？
Q: サービス起動抑止コマンド（swstop）とサービス起動抑止解除コマンド（swstart）を使い、サービスの起動制御を行っています。このコマンドを利用することによって Systemwalker Centric Manager も、同時にサービス起動抑止がされてしまうのか教えてください。
Q: ジョブの実行の優先度設定が、Systemwalker 内のどの範囲内で最優先となるのか教えてください。
Q: ジョブスケジュールの起動日（特異日）設定後にサービス再起動を行うと、カレンダや起動日雛形を変更したときと同様に設定が消去されますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ構成で、一方のノードで日変わり時刻やシステムカレンダの設定を変えると、もう一方のノードにも反映されるのか教えてください。
Q: MpMjes:WARNING 10091 に関して、マニュアルに解決方法が載っており、その中に jmmode コマンドの continue、cancel、および check という項目があります。これらを実行することによるシステムへの影響について教えてください。
Q: プロジェクト情報制御文でプロジェクトの所有者を、システム管理者の root ユーザーとして定義しています。この所有者を拡張ユーザ管理機能を利用し、Systemwalker Operation Manager ユーザーへ変更することはできますか？
Q: 運用中のジョブの正常終了コード上限値を変更する際に、ジョブネットの変更画面とジョブネットの監視画面で変更した場合の違いを教えてください。
Q: ジョブネットが終了した際、他の Systemwalker Operation Manager が入っているサーバでその終了を検出し、続けてジョブネットを起動させるような設定はできますか？
Q: ジョブネットの起動条件に「開始予定時刻」がありますが、これはメッセージ事象が発生しても開始予定時刻になると起動するものなのか、開始予定時刻には関係がなく、メッセージ事象が発生すると、すぐに起動するものなのか教えてください。
Q: ジョブネットの起動条件の「時刻起動」に複数の時刻を指定し、それぞれの起動時刻の到来、かつメッセージ事象の発生を条件として起動させることはできますか？
Q: プロジェクトの所有者およびジョブ実行ユーザーに「root」を指定しています。「root」ユーザーのパスワード変更による Systemwalker Operation Manager への影響を教えてください。
Q: クラスタ環境で運用するときに、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の動作環境の定義を、どのタイミングで適用すべきか教えてください。このとき、クラスタ登録前、クラスタ登録後で、必要な定義はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log のサイズを 3 個合計 99MB にしています。この 99MB は、ジョブの出力情報「プロジェクト名_ジョブネット名_xxx.log」ファイルを含まないサイズという認識でいいです

か？

Q: Systemwalker Operation Manager で、クライアント画面のカレンダの一覧の表示順序をソートすることはできますか？

Q: 毎月第 4 土曜日 25:00～29:00 の間で、サーバをリブートするジョブネットがあります。このジョブネットに対して、第 4 土曜日 0:00～24:00 の間に、jobschcontrol コマンドを実行した場合、ジョブネットを無効状態にすることはできますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition でのリストア手順について、1:1 運用待機構成の場合は、運用系で mprso コマンドでリストアした後、mpcssave コマンドを実行するということでよいですか？

Q: ジョブネット A と、ジョブネット B があります。ジョブネット B は、ジョブネット A が発行するメッセージ事象の発生を待っています。異常終了したジョブネット B を手動で再起動し、状態が実行中の場合、その間に発生したメッセージ事象の、発生回数はカウントされますか？

Q: キューを停止し、デーモンを停止／起動した場合、デーモン起動後に、ジョブネットが自動起動したのですが、正しい動作ですか？

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットの複写のコマンドを実行する際に必要な権限を教えてください。

Q: ジョブネットのプロパティで、起動条件タブとメッセージタブで開始予定を設定する場合、（ANDTIME）の持ち越し処理で、起動条件である起動予定時刻が到来し、待ち合わせていたメッセージ事象が発生するまで、メッセージは残留しますか？

Q: 実行継続モードを設定する場合、設定対象となるサーバはどれになるか教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、スケジュールサーバをクラスタ運用しています。「テストモード」を有効にするには、再起動が必要とのことですが、テストモードが有効になるのはいつですか？

Q: 「仮想時間」の設定は、Systemwalker Operation Manager の再起動が行われた時点で適用されますか？

Q: 「仮想時間」の設定を行わない場合、Systemwalker Operation Manager の再起動完了後に、実時刻で動くという認識でよいですか？

Q: 複数メッセージを待ち受けているジョブネットに、同じメッセージが複数回発行され、メッセージがそろった場合、メッセージ事象のカウント方法について教えてください。

Q: 起動予定時刻にジョブネットが実行中であった場合、ジョブネットが終了次第、実行されますか？または、ジョブネットが二重起動されますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition の運用中、マスタプロジェクトに、新規ユーザーのアクセス権を付与しました。日変わり時刻を過ぎて、当日分のプロジェクト（PJ+MMDD）が生成されても、アクセス権が付与されていません。アクセス権が付与される設定方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager の移行（バージョンアップ移行）を、移行コマンド（swmove、swtrans）で実施した場合、［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウの［起動日］シートの［シフト処理］の情報は、正しく、移行、反映されますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、1:1 運用待機のクラスタ構成の場合、クラスタの一方のサーバでバックアップしたデータを、もう一方のサーバにリストアすることは問題ありませんか？ なお、リストア先では、共有ディスクをマウントした状態です。

Q: mpbko コマンドで-SN を指定した場合、Systemwalker Centric Manager のデーモンは停止しますか？

Q: Systemwalker Operation Manager の mpbko コマンドで-SN を指定しない場合、なぜ、Systemwalker Centric Manager のデーモンが停止するのですか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、ジョブネットから jobschprint コマンドを実行する場合、jobschmsgevent コマンドと同様に、-sys オプション指定なしで、ジョブネットが設置されている同一のサブシステム上で、コマンドを実行できるか教えてください。

Q: サーバ業務連携コマンドの execasvr（アプリケーション起動コマンド）の使い分けを教えてください。通常のネットワークジョブでも、似たような動きになるのに、このコマンドが用意されている意図を確認したいです。

Q: ジョブスケジューラが SYSLOG に出力したログの内容が、Systemwalker Centric Manager の Systemwalker コンソール上に英語で表示されました。設定変更で日本語に変えられますか？

Q: jobschsetnet コマンドでジョブネットを登録する場合、子ジョブネットをすべて登録したあとに、親ジョブネットを登録する手順で正常に階層化ジョブネットを登録できますか？

Q: 日変わり時刻について教えてください。例えば 22 時を日変わり時刻にした場合、22 時は時刻が 0 時とみなされるのですか？次の日付変更が 22 時に行われるのですか？

Q: ジョブネットの動作について、特定の時間だけジョブを起動させない設定方法を教えてください。

Q: クライアント機能を、Windows の起動と同時にユーザー名およびパスワードの入力を省略して起動することはできますか？

Q: マニュアル「運用ガイド」または「使用手引書」に記載されている「ネットワークジョブの実行サーバを二重化」について、第 1 候補が異常とみなされる条件を教えてください。

Q: 起動予定時刻に無効状態となっているジョブネットを、起動予定時刻が過ぎたあとに無効解除すると、起動しますか？起動しない場合は、起動させる方法を教えてください。

Q: ジョブネットが受け取ることのできるメッセージ事象の発生回数の上限値 255 回を超えてメッセージ事象を受け取ることはできますか？

Q: ジョブネットおよびジョブの管理方法を教えてください。

Q: スケジュールサーバで SYSTEM_CALENDAR の内容を変更しましたが、この変更内容は実行サーバにも反映されますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER に割り当てられる IP アドレスを変更した際の影響を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 では、LDAP サーバとの連携できますか？

Q: クラスタ構成の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition に対して、論理 IP アドレスを使ってネットワークジョブを投入したい。qsub コマンドでクラスタ構成の論理 IP アドレスに対してジョブを投入できますか？

Q: クラスタ構成の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition に対して、

論理 IP アドレスを使ってネットワークジョブを投入する場合の動作について、ジョブの中で jobschprint コマンドを実行した場合、運用系の情報が返ってきますか？

Q: リストアを行った場合、ジョブネット登録時と同じ状態に復元されますか？

Q: jobschchecktime コマンドで、日変わり時刻をまたいで待ち合わせをする方法を教えてください。

Q: 分散実行のキュー制御をしている場合、それがどのサーバで実行されていたのかを、どうすれば確認できますか？

Q: 日変わり時刻を 4:00 に設定しています。時刻指定で 22:00 に起動し、4:00 前に完了するジョブがあります。このジョブを手動で実行し、「正常終了」の状態になりました。この状態でジョブは、起動条件に従って自動実行されますか？

Q: 分散実行を定義しているサーバで、「実行中ジョブ数÷［構成ホスト名］で指定した多重度」が同じ値の場合、どのサーバで実行が優先されますか？

Q: Java の VM をアップグレードすることで、Systemwalker Operation Manager に不具合が発生しますか？

Q: リカバリジョブについて、複数のジョブを先行ジョブに指定して実行することはできますか？

Q: ディスクのクリーンアップを目的に、定期的に「jobschbackup」フォルダの prm、jsp ファイルを削除したいと考えています。両ファイルを削除した場合の影響を教えてください。

Q: jobschprintcsv -n コマンドで出力されるジョブネットの出力順序はどのような順序になっていますか？

Q: グループやジョブネットの設定を変更した場合、どのように変更されたかを確認する方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の 2 ノード相互待機環境で、ユーザーにプロジェクトの参照権を付与する手順を教えてください。

Q: [監視－ジョブ]ウィンドウ－[前回履歴]シートの右下に［フォント］ボタンがありますが、一度変更しても記憶されずに元に戻ってしまいます。記憶させておくことはできませんか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、Systemwalker Operation Manager クライアントからジョブスケジューラ画面を起動している状態でクラスタ切り替えが発生した場合、クラスタ切り替え後は F5 キーで画面が更新されますか？または、切断されて再度接続する必要がありますか？

Q: ［環境設定］－［運用情報］－［ネットワーク］シートで、［ネットワークジョブで、接続エラー時のリトライの動作を変更する］をチェックしない場合の動作について教えてください。

Q: OS の webconsole サービスを停止した場合、Systemwalker Operation Manager に影響があるかどうか教えてください。

Q: 起動時刻を設定したジョブネット内のジョブは、同時並行で実行されますか？

Q: ジョブの終了コードが「0」と「21」の場合だけを正常終了として出力させる方法を教えてください。

Q: システムに導入している Systemwalker Operation Manager が、SPARC M10 および SPARC Enterprise の XSCF の動作に影響するかどうか教えてください。影響する場合にはどのようなメッセージが出力されるのか教えてください。

Q: デマンドジョブのジョブフォルダパスを変更する手順を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のコマンドで、ジョブネット名を変更する手順と、変更されたことを確認する方法を教えてください。

Q: ジョブおよびジョブネットの修正ミスに備えて定義のバックアップ／リストアをポリシーの抽出／配付で行いたいと考えています。ジョブおよびジョブネットだけの修正を行う場合、ポリシーを抽出する際にはどの項目を抽出すればよいですか？

Q: 実行継続モードの設定の有無によって、ローカルジョブの実行結果に違いは発生しますか？

Q: ジョブネットで 255 個を超えるメッセージ事象を受信した場合、エラーになるのか教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントから IP アドレス指定でサーバに接続しています。クライアント側でサーバのホスト名および IP アドレスを「hosts」ファイルに定義する必要はありますか？

Q: ジョブネット異常終了出口プログラムを作成予定です。リファレンスマニュアルには、C 言語で作成した例が記載されていましたが、シェルスクリプトでも実現できますか？

Q: 移行用退避（swmove）コマンドで退避される資源には、ジョブに登録されているコマンドも含まれますか？

Q: Systemwalker Operation Manager のマニュアル「導入ガイド」の「A.4 ジョブ実行制御に関する情報」に書かれているジョブ実行制御のスプールディレクトリはバックアップする必要があるのかないのか教えてください。

Q: jobschprint -l コマンドに前年（昨年）の年月を指定して実行した場合、正常に表示できますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］の設定は、間隔起動やメッセージ事象発生時を起動条件にしているジョブネットでは有効になりませんか？

Q: ジョブネットの中に 5 個の連続するジョブがあります。その中の 2 個目のジョブが異常終了しました。その際に［リカバリ操作］で［指定のジョブから起動］を選択することで、エラーが発生したジョブから再実行できますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、グローバルサーバ連携のジョブを実行した際に終了コード 128 で異常終了になりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ構成で切り替えを行った際、以下のエラーメッセージが表示され、Systemwalker Operation Manager が起動できませんでした。
クラスタソフトのメッセージ 「Process(/opt/FJSVJMCMN/etc/script/omgr_smonitor) has stopped.」
Systemwalker Operation Manager のメッセージ 「MpMjes: ERROR: 10063: mjsdaemon : The environment of the sub-system number does not exist.」
原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ構成（2 ノード相互待機）で切り替えを行った際に、Systemwalker Operation Manager の起動ができませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、サブシステム 0 が起動

しません。起動されるタイミングと、起動しない原因を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、ホスト連携処理で異常が発生しました。ホスト側のログを見る限りでは、異常は発生していないようです。原因について教えてください。 なお、エラーメッセージ「mfexecu:GJL111E:受信に失敗しました。」が出力されていました。

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition V13.2.0 以前で、登録できるプロジェクトの最大数（256 まで）を拡張することはできますか？

Q: qsub コマンドでジョブを実行した際、「ジョブ名.o ジョブ番号」、「ジョブ名.e ジョブ番号」、および「ジョブ名.l ジョブ番号」の 3 つのファイルが作成されますが、指定した場所に作成するオプションがあれば教えてください。

Q: プロジェクトの所有者権限と更新権限を保持しているユーザーID のユーザー名はそのままで、UID を変更する手順を教えてください。また、その際の注意点等があれば教えてください。

Q: 終了を待たずにデマンドジョブをいくつも起動することはできますか？

Q: qsub コマンドは、ジョブの終了を待ち合わせないで、ジョブがキューに投入された時点で復帰しますが、Systemwalker Operation Manager の画面上からジョブを投入した場合も同様の動作になりますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、ジョブの出力情報に「GS:getwrk:エラー:獲得する業務一覧情報がありません。」というメッセージが出てきます。正常終了、異常終了等に関わらず出力されていますが、どのような経緯で出力されるものですか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステムを構築した場合、Systemwalker Operation Manager クライアントからはどのように見えますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、ポリシーの抽出／配付を行いましたが、Global Enterprise Edition 固有の設定は配付されませんでした。Global Enterprise Edition の設定はポリシーの抽出対象外ですか？

Q: ジョブのパラメタ欄を更新時に「ジョブ情報の一部が更新できませんでした。再度、ジョブネットを保存してください。」のエラーが発生しました。原因と対処方法について教えてください。

Q: ［起動日］シートを選択できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 毎日 19:30 に起動されるジョブが起動されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、運用系と待機系のサーバについて、ジョブスケジューラのアクセス権の設定が同じであることを確認するための方法を教えてください。

Q: ジョブネット実行中にシステムを再起動した場合、起動予定日時はクリアされてしまいますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、運用系と待機系のサーバにおいて、ユーザー名が同じでもユーザーID が違っていると、クラスタ切り替え時およびその後の動作に問題が発生しますか？

Q: jobdb(n).log について、ログファイルの inode が変更されることはありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager の jobdb(n).log について、ログファイルへのログ出力は追記されるという認識でよいですか？

Q: グループを 30 分間隔で複数回実行するような設定はできますか？

Q: あるメッセージ事象を待ち受けているジョブネットを特定する方法はありますか？

Q: Systemwalker Operation Manager の画面で［接続ホスト名］コンボボックスに表示されるホストを追加したいのですが、追加方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で、プロジェクトへのアクセス権の設定方法について教えてください。

Q: キューの多重度とシステムの多重度の違いについて教えてください。

Q: ジョブネットの実行履歴など、ログだけをバックアップ／リストアする方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントで、［発生状況］ボタンで［メッセージ事象一覧］ウィンドウが表示されますが、メッセージの発生回数をカウントするのは意味があるのですか？

Q: グループ内ジョブネットに登録されているジョブネット中の 1 つのジョブが異常終了したまま日変わり時刻を迎えました。異常終了したジョブは、本日の起動時間を迎えると起動されますか？

Q: データベースディレクトリの変更方法を教えてください。 環境設定の画面でグレーアウトされている状況です。

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブは、任意に LANG 指定をしない場合、「LANG=C」で実行されますか？

Q: クライアントへのログインユーザは、OS のユーザを参照しているのですか？または Systemwalker Operation Manager 独自の一覧を参照しているのですか？独自の一覧を参照している場合、その一覧を抽出する方法を教えてください。

Q: グループ内の先頭ジョブネットは、時刻起動で動作するのですが、これは正常な動作ですか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、ジョブネットの登録や修正などを行った場合、ログなどに変更した情報が履歴として出力されますか？

Q: システム全体の多重度を 99 から 999 に変更しようと考えています。変更する場合のリソース消費量等の考慮すべき点について教えてください。

Q: jobschprint -r コマンドを実行すると、ジョブネット制御文およびジョブ制御文で指定した情報を取得できますが、階層化ジョブネットの親ジョブネットを指定して、子ジョブネットの制御文を取得できますか？

Q: ハードディスクの復旧作業を実施しています。/var/opt だけを最新にして、他の領域を過去にバックアップした Systemwalker Operation Manager の情報でリストアしようとしているが動作保証されますか？

Q: 間隔起動で起動するジョブネットについて、次の間隔起動の時間が到来してもジョブネットが実行中だったときの動作について教えてください。

Q: サーバで使用している sendmail の機能を停止した場合、Systemwalker Operation Manager に影響がないのか教えてくださ

い。
Q: コマンドで、ジョブネットの状態（実行中、実行待ち、正常終了、異常終了、疑似正常など）を取得する方法を教えてください。
Q: クライアントの画面から、現在接続している Systemwalker Operation Manager サーバのホスト名を確認する方法を教えてください。
Q: 年が変わったタイミングで作成される 3 年後のカレンダのデフォルトをすべて休日にできますか？
Q: プロジェクトごとにユーザーおよびアクセス権の一覧をコマンドで出力させる方法を教えてください。
Q: ドメイン環境に属している実行サーバがドメインを抜けたあとに、その実行サーバ上でジョブを動作させたときの影響について教えてください。
Q: 特定のジョブネットの状態を取得するコマンドはありますか？
Q: ジョブをスケジュールしています。起動時刻を変更したいので変更方法を教えてください。
Q: 他のサーバのサービス稼働状態を確認して処理を行うジョブネットを作成したいのですが、サービス状態確認コマンド（chksrv）でほかのサーバのサービス稼働状態も確認できますか？
Q: ジョブの登録手順を教えてください。
Q: Windows 版（Windows for Itanium 版ではない）で、電源スケジュールを設定して毎週金曜日にサーバをリブートさせたいです。設定手順を教えてください。
Q: サーバの再起動時に自動でジョブネットが実行されるように設定した場合、そのジョブネットが実行されるタイミングはいつになりますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で 、ジョブネットの削除方法として、スケジュール情報ファイル（*.dbz V13.3.1 以前の場合：*.dbx）を直接削除することは動作保証していますか？
Q: セキュリティ面や誤操作防止の観点から、Systemwalker Operation Manager クライアントからのサーバ接続を抑止したいです。抑止する方法を教えてください。
Q: ［ジョブスケジューラ情報印刷］ウィンドウで印刷種別に［ガントチャート］を選択した場合、ジョブネットの表示履歴に制限があるかどうか教えてください。
Q: OS のネットワーク機能を停止させてから、OS を再起動するジョブネットを作成しようとしていますが、ネットワークインターフェイス無効時にローカルの JSHFORCE ジョブネットは問題なく実行されますか？
Q: バッチファイル起動のジョブを作成しているのですが、ジョブが実行中のままになってしまう現象が発生しました。ジョブの終了タイミングをどのように処理しているのか教えてください。
Q: ジョブネット内のジョブを 1 分間隔でループさせながら実行させるような設定はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13 の環境で jobschprint -r コマンドを実行して出力したジョブネット制御文を、V17 の環境に jobschsetnet -nent コマンドで登録できますか？
Q: ジョブに登録されているプログラムの終了を待たずにジョブを終了させることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のバージョンを V13 から V17 に変更しようと考えています。クラスタ環境ではないのですが、実行サーバはクラスタ環境です。その場合、Standard Edition にするべきか、Enterprise Edition にするべきか教えてください。
Q: ジョブごとに実行する OS のユーザーを変更できますか？
Q: 管理画面にログインする際のユーザー名について、どのユーザーアカウントであれば画面にログインできるか教えてください。
Q: 間隔起動で動作するジョブネットを登録してあります。起動されない場合、何かメッセージが出力されるのか教えてください。
Q: 間隔起動で動作するジョブネットを登録してあります。［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シートで［ジョブネットの起動予定時刻を過ぎても実行されない場合に通知を行う］をチェックしている場合、間隔起動しているジョブネットが起動しないときにメッセージを通知できますか？
Q: 先行ジョブネットが発行したメッセージを受け取ると、数日後に後続ジョブネットが走る設定になっています。後続ジョブネットがメッセージを受け取っているかを確認する方法を教えてください。
Q: クライアント業務連携機能が起動しているか確認する方法を教えてください。
Q: ジョブネット操作の「確認」が有効ではない環境において、ジョブネットが異常終了になった場合、再スケジュールを行う（実行待ち状態にする）にはどのようにするのですか？
Q: バッチファイルで分岐して終了コードを設定していますが、そのコードをそのままジョブの終了コードとして渡す方法を教えてください。
Q: EXECACLI.EXE コマンドを使用し、アプリケーションを起動して、終了を待ち合わせることのできる時間（/WE オプション）がマニュアル上「9600 秒」までになっていますが、この時間を長くすることはできますか？
Q: EXECACLI.EXE コマンドを使用し、アプリケーションを起動して、終了を待ち合わせることのできる時間（/WE オプションを使用）を超過してしまった場合に発生するエラーメッセージを教えてください。
Q: ジョブネット実行中に、OS のイベントビューアにエラーが出力された場合、Systemwalker Centric Manager でエラー検知をしています。このエラーをトリガーにジョブネットを終了することはできますか？
Q: FTP の設定で「匿名接続を許可する」のチェックを各サーバで外そうと検討しているのですが、Systemwalker Operation Manager としては問題ありませんか？
Q: 同時に実行される複数のジョブについて、あるジョブで異常終了した影響が、他のジョブに影響を与えることがありますか？
Q: ドメイン環境および複数サーバ環境において、ネットワークジョブの実行ユーザーの指定方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブがどのユーザーで実行されるかを確認する方法を教えてください。
Q: Windows のサービス「Distributed Link Tracking Client」について、このサービスが停止した場合、Systemwalker Operation Manager で何か考慮すべきことはありますか？
Q: クライアント画面を表示したまま運用することを検討しています。サーバ側でクライアントを自動切断するような設定があるのか教えてください。
Q: ジョブネットが「開始遅延」状態になっています。何か対処が必要ですか？

Q: メッセージ事象をクリアする方法を教えてください。また、Systemwalker Operation Manager クライアント側で、削除する方法はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager を使って、Systemwalker Operation Manager がインストールされていないリモートサーバのバックアップジョブを起動できますか？
Q: ジョブをスタートアップアカウントから所有者の権限で実行するように設定を変更した場合、設定が正常に反映されているか確認する方法を教えてください。
Q: 9:00 から 17:00 まで 5 分間隔で起動するジョブネットがあります。そのジョブネットを 12:00 から 13:00 の間は起動させたくない日がありますが、そのような設定はできますか？
Q: 先頭ジョブで jobschctljob.exe を実行して後続ジョブを停止した場合、後続ジョブは停止中になります。この状態の場合、後続ジョブは多重度にカウントされますか？
Q: 削除したジョブネットの情報はどこかに格納されていますか？また戻すことはできますか？
Q: サービス起動時の後処理として、Windows のコマンドを実行させることはできますか？
Q: レジストリの「RegisteredOrganization」使用者組織名および「RegisteredOwner」使用者名を変更した場合、Systemwalker Operation Manager で設定変更が必要ですか？
Q: ジョブネットの中でジョブを動かす時に一度 sleep させる機能はありますか？
Q: 同一曜日に起動するジョブネット A およびジョブネット B が存在し、それぞれのジョブネットを毎週交互に実行したいです。設定方法を教えてください。
Q: バックアップが途中で失敗した場合、そのバックアップデータはリストアデータとして使用できますか？
Q: システム変更のため、レジストリ設定で HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlset¥Control¥FileSystem の NtfsDisable8dot3NameCreation=0（互換モード）を NtfsDisable8dot3NameCreation=1（旧システム互換機能を無効化）に変更する予定です。Systemwalker Operation Manager で問題が発生するかを教えてください。
Q: Java Plug-in v6.1.1 をサーバにインストールしても、Systemwalker Operation Manager では影響を受けませんか？
Q: ［ジョブを所有者の権限で実行する］定義を保存しました。状態が反映されたかどうかを確認する方法を教えてください。
Q: 親ジョブネット配下の子ジョブネットを起動する条件として、メッセージ事象を待ち合わせることはできますか？
Q: 正常終了コードの上限値を 1 以上に設定しているジョブについて、ほかのジョブからそのジョブが終了コード 0 で終了しているのか、それとも 1 以上に設定した正常終了コードの上限値より小さい値で終了しているかを判別できませんか？
Q: jobschmsgevent コマンドで、メッセージ事象を発生させた場合、ジョブネット単位にそのメッセージ事象が発生したかどうかを確認する方法を教えてください。
Q: ジョブネットの実行時間を特定の時間内に限定し、ジョブネットが指定時刻に終了しなかった場合、強制終了させる設定はできますか？
Q: ジョブネットが指定の時間内に終わらなかった場合、終了遅延を連絡する検知メッセージなどを出力させることはできますか？
Q: グループを作成する際、ジョブネットを 2 つ用意して、それぞれの時刻で起動するように指定をしたいです。設定方法を教えてください。
Q: クラスタ構成で動作する Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のジョブネットについて、実行中のまま切り替わって異常終了したジョブネットを自動的に再起動させる方法を教えてください。
Q: ジョブネットを作成する際に必要となる設定項目の詳細を教えてください。
Q: Oracle の文字コードを変更します。NLS_LANG の値の変更によって、Systemwalker Operation Manager に影響が出るか教えてください。
Q: ジョブが打ち切り時間によって強制終了された場合、リカバリジョブが実行されるかどうか教えてください。
Q: ジョブネットの間隔起動の開始時間にサーバが停止していた状態からサーバを起動する場合、自動で間隔起動は実行されますか？
Q: 認証局証明書を使用する Java アプリケーションはありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、［時刻起動］のジョブネットと、［サーバ起動時に起動］のジョブネットがあります。この 2 つのジョブネットを停止状態とし、システムを停止した状態で起動時刻をまたぎ、そのあとにシステムを起動した場合、ジョブネットはどのような動作をしますか？
Q: Oracle をバージョンアップをすることで、Systemwalker Operation Manager 側で何か設定変更が必要ですか？
Q: ジョブの定義の変更コマンドで、すでにメッセージが発行されているものに対してジョブ定義変更を行った場合、引継ぎされますか？
Q: ポリシー配付時に配付する機能などを選択できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager の機能すべての保守情報を収集するため swcolinf コマンドを実行する場合、オプションとして「-i all」と「-i server」のどちらを付与するのがよいですか？
Q: ミラーリングの解体にともない、デバイス名の変更が生じます。Systemwalker Operation Manager への影響はありますか？
Q: プロジェクト登録作業は他のジョブが起動しているタイミングに行っても問題ないか教えてください。
Q: 何も対処されないで放置されたままの異常終了ジョブネットを、検知する機能や方法があれば教えてください。
Q: 定時起動でシェルスクリプトを動かしています。そのシェルスクリプトで、echo を使用して文字を出力をさせていますが、出力させた文字はどこで参照できるか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition インストール直後の状態で OS のバックアップを行い、リストアされた環境に、サブシステムありの状態の mpbko で採取したバックアップ資源をリストアすることはできますか？
Q: グループに属している 2 つのジョブネットがあり、後続ジョブネットの起動条件がメッセージ事象です。先行ジョブが正常終了し、後続ジョブがメッセージの発生待ちになった場合、グループの状態はどのようになりますか？
Q: OS の内部コマンドを Systemwalker Operation Manager のジョブで実行する方法を教えてください。
Q: jobschcontrol コマンドで別サーバのジョブネットを起動できますか？
Q: ジョブネット制御文の「offsetmode DAY」の意味について教えてください。

Q: 終了処理ジョブネットを利用してリブートを実現させたいです。JSHEND ジョブネットの動作について教えてください。
Q: Windows Update でパッチ適用予定ですが問題ありませんか？
Q: ジョブネット制御文およびジョブ制御文で指定された情報を出力する jobschprint コマンドを動かすときにシステムに負荷がかかりますか？
Q: リモートデスクトップで Systemwalker Operation Manager のサーバを操作できますか？
Q: Windows Management Instrumentation サービス（WMI サービス）を停止した場合、Systemwalker Operation Manager には影響がありますか？
Q: 現在 hosts ファイルに自身の IP アドレスとホスト名だけを記述していますが、エイリアスを追加する予定です。Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありませんか？
Q: OS の/userva スイッチを使用してシステム領域からユーザーメモリ領域を確保しようと思います。Systemwalker Operation Manager は動作保証しますか？
Q: ジョブの終了コードに 2 が返却されています。本当にシェルスクリプトが 2 を返却しているのか確認する方法を教えてください。
Q: 別サーバに発行したイベントもメールアクション実行の対象になりますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition では、クラスタの切り替えや電源の切断を契機として、待ち受けているメッセージは消えますか？
Q: メッセージ事象機能の待ち受けているメッセージが消される契機を教えてください。
Q: スケジュール設定機能で、月末指定の起動日設定はできますか？
Q: 拡張ユーザ設定を実施した場合、OS ユーザーを使用した処理に影響はありますか？
Q: 2009 年 1 月 1 日 8 時 59 分 60 秒のうるう秒と同様に、今後うるう秒が発生した場合、Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありますか？
Q: サブシステムを追加するにあたり kernel.msgmni の値を増やした場合、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition に影響はありますか？
Q: IPv6 に対応していますか？
Q: chkfile.exe -update で指定パスにファイルが置かれたあとに chkfile.exe が起動した場合、どのような動作になりますか？
Q: ジョブネットの有効期間を GUI 以外で変更する方法について教えてください。
Q: ジョブスケジューラのジョブネット名、起動タイミング、ジョブ名、コマンド名、ジョブの開始時刻、およびジョブの終了時刻の情報を標準出力に出力できますか？また、その出力でシステムが停止するなどの影響はありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager のすべてのプロジェクトに対して新規ユーザーに参照権を付与したいです。複数のプロジェクトに対して一括で権限を付与する方法はありますか？
Q: ネットワークジョブに関して、ジョブの実行を実行サーバ側で抑止する方法を教えてください。
Q: 障害発生時、調査資料として保守情報の採取を行っています。Systemwalker Operation Manager では必要な情報だけを選択して採取することはできますか？
Q: ジョブネットに設定されている起動時間の一覧を確認する方法を教えてください。
Q: ジョブに登録したバッチファイルから Linkexpress のコマンドなどを実行していますが、ジョブはコマンドが実行された時点で正常終了となるのか、コマンドの復帰を待って正常終了となるのかわかりません。ジョブが終了するタイミングを教えてください。
Q: ネットワークジョブを実行する際の実行ファイルやバッチファイルは、スケジュールサーバか実行サーバのどちらに配置するのか教えてください。
Q: クライアント画面で、プロジェクトが展開された表示のまま画面を閉じた場合、再度開いた時に、閉じたところからプロジェクトを再開することはできますか？
Q: ジョブネット異常終了のアラーム発生時に Systemwalker Opereation Manager 上で、例えばデバックモードなどで詳しく状況を調べる方法はありますか？
Q: ジョブネットの途中で異常終了が発生し、かつジョブネットが停止しない状態での異常通知を行いたいのですが、ジョブの異常は検知できませんか？
Q: ジョブネットやジョブを登録していますが、それらを無効状態にしてサーバを再起動した場合、無効状態がどうなるのか教えてください。
Q: 「ジョブ 1→ジョブ 2→ジョブ 4」という経路と「ジョブ 1→ジョブ 3→ジョブ 5」という経路で実行されるジョブネットを実行します。ジョブ 3 が異常となった場合、ジョブ 2 とジョブ 4 はそのまま実行し、ジョブ 5 を走らせないための設定を教えてください。
Q: グループを開いてグループの監視画面を表示しましたが、ジョブネットが表示されません。原因と対処方法を教えてください。
Q: SYSTEM_CALENDAR を使用せず個別に作成したカレンダを使用した場合、日変わり時刻の設定を行うことはできますか？
Q: 運用上複数のホスト名を使い分けたく、hosts ファイルについて複数行で同一 IP アドレスに対して複数ホスト名を設定します。この場合、Systemwalker Operation Manager ではどちらのホスト名が採用されますか？
Q: WSFC 構成で登録した Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition 関連リソースを別のグループに移動した場合、移動に関する注意点はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.1.0 以降の 2 台の実行サーバを使用しています。マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合はスケジュール分散）機能を使用していない場合、マスタスケジュール管理機能のサービス（Systemwalker MpStem）は起動していますか？
Q: 新規作成のプロジェクトに登録されるアクセス権の定義情報はどのように決められるのか教えてください。
Q: ジョブの動作はジョブの所有者の権限で起動されると思いますが、起動する際に所有者ユーザーは内部でログインシェルのようなものが動作してログインしてからジョブが動作するのですか？
Q: Systemwalker Operation Manager のコマンドで、ジョブネットの現在の状態を出力する方法を教えてください。
Q: 起動日雛形を利用して毎月第 3 営業日を起動日とすることはできますか？

Q: ジョブネット実行時に WARNING「job net has refused」が発生しました。原因を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager クライアントでアクセス権の設定時に時々接続中のままタイムアウトになります。タイムアウト値を変更できるか教えてください。
Q: 起動日のところに営業日の設定がありますが、月初めが休日の場合、第 1 営業日が設定されるのはどの日か教えてください。
Q: 実行継続モードをスケジュールサーバと実行サーバで統一するために、実行サーバで jmmode コマンドを実行します。スケジュールされているジョブに影響がないか教えてください。
Q: 子ジョブネットに対してカレンダを割り当てて、親ジョブネットと異なるスケジュールで実行させることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のキューがありますが、再起動をするとキューが停止状態になってしまいます。再起動してもキューが停止しない設定方法を教えてください。
Q: ［アクション環境設定］の定義をしておけば、なんらかのイベントが発生した際に、メール送信バッチなどを作成しなくても関係者全員へのメール送信などの操作が自動的に行われますか？
Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のデーモン／サービスを停止する方法を教えてください。
Q: 稼働実績情報ファイルの出力内容のホスト名を、監視ホスト定義のホスト名と同一にするといった、任意のホスト名で出力できますか？
Q: メッセージ連携で利用できるメッセージ事象名の制約をを教えてください。
Q: 業務手続き言語（JCL）の resource 文でジョブの排他属性「占有属性」を指定します。同じリソース名のジョブ A およびジョブ B をキューに投入した場合、ジョブ A が異常終了するとジョブ B は実行されますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.1.0 までのログについて、ユーザーID のログインとログアウト、およびジョブネットでの日時を含めた実行結果が出力されますか？ログの有無を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager が導入されているサーバが数日停止していました。［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］が設定されている場合のサーバ起動時のジョブネット起動について教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager を運用しているサーバで、ネットワーク機器や外部ストレージなどのファームウェアのバージョンを上げようとしています。Systemwalker Operation Manager には影響がありますか？
Q: デザインシートの入手方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しています。サブシステム運用を行っていない A サーバから、サブシステムを行っている B サーバのサブシステム 0 およびサブシステム 1 にネットワークジョブを実行することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager 運用マシンのマザーボード交換の手順および注意点を教えてください。
Q: ERP 自動起動のジョブについてはジョブ終了のステータスがあり、Systemwalker Operation Manager で ERP 自動起動のジョブの終了判断ができるか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager ではジョブスケジューラサービス停止期間中に時刻起動で実行予定だったジョブネットは未実行のステータスとなりますが、この未実行状態をクライアントのガントチャートではなくコマンドで確認する方法はありますか？
Q: ジョブネットの終了遅延監視について、動作を確認したいです。終了予定時刻になってもジョブネットが起動していない場合、必ず終了遅延イベントが発生するのか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.3.0 以降のクラスタ環境について教えてください。キューの設定やログ保存設定などジョブ実行制御の運用情報の定義が待機系へ引き継がれません。この動作は正しい動作ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition V13.3.0 以降のクラスタ環境について教えてください。ジョブ実行制御のスプールディレクトリの設定が、Solaris/Linux/HP-UX/AIX では論理 IP アドレスだけでディレクトリの設定がされていませんが、Windows ではディレクトリと論理 IP の設定がされています。問題がありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition V13.3.0 以降のクラスタ環境について教えてください。Solaris で、データベースディレクトリを/var/opt/FJSVJOBSC ではなく、共有ディスクを直接指定していますが問題ありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition と Standard Edition の Job Designer で機能上の相違点はありますか？
Q: ジョブネットで、何分以内に終了しなければある特定のジョブを実行する、という設定ができるかを教えてください。
Q: 10 から 20 までの終了コードを正常終了とする方法を教えてください。
Q: ジョブが並行するジョブネットで、片方のジョブが正常終了して、もう片方が異常終了した場合、実行中のジョブがすべて終了したら、当該ジョブネットは異常終了しますか？
Q: ［年間の休日設定］で設定した内容は翌年にも引き継がれますか？
Q: Systemwalker Operation Manager について、終了処理ジョブネットで実行するバッチファイル内で記述する shutdown.exe コマンドは、OS で提供されているコマンドですか？
Q: Solaris/Linux/HP-UX/AIX のスケジュールサーバから Windows の 5 台の実行サーバのどれかにジョブを投入したいです。分散実行機能でできますか？
Q: カレンダ設定にある[オプション]メニューに［年間の休日設定］がありますが、この設定の［月の選択］で、［すべての月に設定する］を指定したことを確認する方法はありますか？
Q: ファイルが作成されたことをトリガーにしてジョブネットを起動することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットの異常終了時に Systemwalker Centric Manager に通知する設定になっていますが、どのジョブが異常終了したのか Systemwalker Centric Manager に通知する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition をクラスタ環境で運用しています。環境設定の［運用情報］ボタン－［運用制御］シートのキューで設定するホストグループにサーバを追加する作業は、運用系

だけでよいのか、運用待機両方で必要なのか教えてください。
Q: システム上で実行されたすべてのジョブについて、ジョブ単位の実行履歴を確認する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager にトラブルが発生した場合、初期調査に必要な資料（ログファイルなど）の採取方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のスケジュールサーバを V13.0.0 から V17.0.0 にバージョンアップする際に、実行サーバ側で何か作業が必要ですか？
Q: 異常終了したジョブを自動的に再実行し、再実行後、後続のジョブを実行できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、異常終了したジョブの再実行の方法として、［操作］－［再起動］、［リカバリ操作］、および［フロー再起動］からの起動があると思いますが違いについて教えてください。
Q: ジョブの［プロパティ］－［終了コードに関わらず正常］にチェックしたのですが、ジョブ実行時にチェックが外れてしまいます。ジョブの設定変更を恒久的に変更する方法を教えてください。
Q: ジョブネット実行中に再度メッセージ事象が発生した場合どのように実行されますか？
Q: OS 起動時に Systemwalker Operation Manager を自動起動しない設定方法を教えてください。
Q: ジョブが一定時間経過しても終了しない場合、ジョブは強制終了されるのですか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3 以降で、無効状態のジョブネットを jobschprint -r -operate でジョブネット制御文を作成し、jobschsetnet -nent でジョブネット制御文を登録すると無効状態でジョブネットは登録されますか？
Q: スケジュールサーバから分散実行で複数の実行サーバ上のジョブを起動させ、異常があった場合にどの実行サーバで異常が発生したか、または実行サーバ側でどのようなエラーが発生したかを判別する方法はありますか？
Q: ファイルの監視では、同時に監視するファイル数をいくつ以下で運用すればいいですか？目安を教えてください。
Q: SafeCLUSTER 運用でフェールオーバ時、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition でエラー通知できないか教えてください。
Q: Red Hat Enterprise Linux ES 5 の環境で、Systemwalker Operation Manager V13.2.0 を使用してジョブ運用する際、64bit アプリケーションを動作させる上での留意点などはありますか？
Q: ジョブが異常終了時に「MpJobsch: ERROR: 0330」のメッセージが SYSLOG に出力されますが、「Code=」の部分の値は何の値が出力されるのか教えてください。
Q: Red Hat Enterprise Linux を 4.6 から 5.2 にバージョンアップする予定です。その際、Systemwalker Operation Manager のどのバージョン／レベルをインストールするべきか教えてください。
Q: Solaris/Linux/HP-UX/AIX 系 OS 上で Systemwalker Operation Manager のスケジュールサーバを使用した場合、イベント監視の条件定義を使用したメール送付はできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager をインストールすると、SYSTEM_CALENDAR に、デフォルトで、休日が設定されているのか、教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットを右クリックして、起動日を選択しようとしますが、グレーアウトしています。グレーアウトする原因と対処方法を教えてください。
Q: プロジェクト配下に登録されたジョブネットやグループを、一括で削除する方法を教えてください。
Q: ジョブの設定で、標準出力と、標準エラー出力のファイルを指定する箇所があります。出力ファイルを確認すると、コマンドラインしか出力されていません。処理時間を表示する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition または Enterprise Edition を、CentOS にインストールしたいです。CentOS をサポートしていないと思いますが、不具合はありますか？
Q: ローカルセキュリティポリシーの設定で、「サービスとしてログオン」にある設定を、お客様の運用ルールで、「NETWORK SERVICE」だけにしたいのですが、Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のサービスについて、Windows のサービスから、サービス名のプロパティを選択して、回復タブでエラー発生時に「サービスを再起動する」に設定して運用することに問題はありますか？
Q: キューの作成および削除を行う手順を教えてください。
Q: キューの削除を行う操作は、業務運用中に行っても問題ありませんか？また、設定が反映されるのは、サービスの再起動後ですか？
Q: サーバを再起動する場合、クライアント電源切断を使用して再起動ジョブを組むことはできませんか？ なお、サーバでは、クライアント業務連携が起動していません。
Q: すでに登録済みの［ジョブ名］を変更するには、どのような手順で行えばよいですか？
Q: ジョブネットの履歴の中で、ジョブが実行中断、実行拒否の状態になっています。この状態は、どのような場合に表示されるのか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、複数サーバの監視を設定する際、監視対象サーバの Systemwalker Operation Manager のバージョンの制限はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager と Arcserve で、バックアップ処理を実施するような連携はできますか？
Q: クライアントアプリケーション起動コマンド（EXECACLI.EXE）で、WE オプションの設定について教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager をインストールします。対象のマシンをドメインコントローラに昇格する場合、製品インストール前後のどちらで実施するほうがよいですか？
Q: NTP サーバと NTP クライアントの時刻同期がとれません。正しく時刻同期を取るため、NTP の設定を変更したいのですが、Systemwalker Operation Manager への影響を教えてください。
Q: 3 ヶ月に 1 回起動したいジョブがあります。設定方法を教えてください。
Q: スケジュールサーバ環境を、Systemwalker Operation Manager V17.0.0 以降にバージョンアップしますが、一部のサーバは現行の Systemwalker Operation Manager V13.4.0 が残ります。この環境で問題なく運用できますか？

Q: LAN カードの型番と MAC アドレスの変更、およびチーミングの再設定をする際、Systemwalker Operation Manager では、追加で作業が必要になりますか？また運用に影響はありますか？
Q: 階層化ジョブネットを定義し、子になっているジョブネットを特定の日に起動させる方法を教えてください。
Q: メッセージ事象を連携し、ジョブネットを起動させる設定手順を教えてください。
Q: 実行サーバ上のファイルを削除するのにサーバ業務連携機能を使用します。業務連携コマンドの使用方法を教えてください。
Q: ジョブ制御文を作成する際、子ジョブネットを設定するときに、「jobname_jes（ジョブ実行制御でのジョブ名）」と「jobcomment（コメント）」は設定できますか？
Q: jobschsetnet -nent コマンドを利用してジョブネットを登録する際、コマンドで入力する定義ファイルの格納場所は、どの場所でもよいですか？
Q: Systemwalker Operation Manager のジョブとして、Arcserve Backup のクリーニングを実行するジョブの登録方法を教えてください。
Q: スケジュール登録されているジョブネットがあるサーバをシャットダウンして、スケジュール時刻を過ぎた状態でサーバを起動した場合、ジョブネットの結果ステータスはどのように表示されますか？
Q: ジョブネットのプロパティの［起動日］シートで［起動日雛形］を選択した場合に、起動日雛形基準として「毎週月曜日～土曜日」を選択肢に表示させる方法を教えてください。
Q: A サーバのジョブネットを B サーバに追加・更新を行う方法について、jobschsetnet コマンドで制御文を登録する方法以外にありますか？
Q: ［前回履歴］シートの［ジョブの出力情報（標準出力／標準エラー出力）］の内容が表示されるときと、されないときがありますが、表示される条件を教えてください。
Q: ネットワークドライブ（Active Directory ドメイン上のファイルサーバ）にファイルをコピーする際の Fcopysvr コマンドの設定について教えてください。
Q: ジョブに登録した JCL 文について、どの制御でエラーが発生したのかを確認できますか？
Q: 他システム連携で、他システムから送信されたファイルをトリガとして、ジョブを起動する方式を考えています。chkfile では、-wait オプションを使用した場合、ジョブスケジューラに登録した時点で、ジョブが実行中のままとなるとあります。ジョブが実行中となってキューが詰まることを避けたいのですが、回避方法はありますか？
Q: グループのジョブネットのジョブが異常終了した場合の、自動リカバリの方法について教えてください。
Q: ジョブ名がない（空白の）ジョブが存在するのですが、動作的に問題はありませんか？
Q: ジョブフローの中で、すでに正常終了したジョブから、ジョブネットを再起動させる方法を教えてください。
Q: ジョブネットが長時間実行中となった場合、ジョブネットを強制終了する以外の対処方法はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、実行中のジョブが現在どのようなプロセスを処理しているか、確認する方法を教えてください。
Q: ジョブネットの実行履歴を期間指定（日付や時間）で出力する方法を教えてください。
Q: グループの状態が警告状態になっています。これはどのような状態を意味していますか？またこの状態を解消するためには、サーバのリブートが必要ですか？
Q: 同時実行ジョブ数を 30 以上に設定した状態で、ジョブが実際には同時実行されていないとき、サーバへの影響はありますか？
Q: クラスタ適用ガイドの「2.3.2 ジョブ実行制御への論理 IP アドレスの設定」で、スケジュールサーバがシングル構成で、実行サーバがクラスタ構成の場合に、実行サーバ側で設定する内容を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager が導入されていないサーバで、バッチファイルの起動とリターンコードを確認する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Job Designer で、ジョブネットやジョブを定義して Systemwalker Operation Manager に登録する際、登録できるジョブネットの数およびジョブの数を教えてください。
Q: ［運用予定］ウィンドウに子ジョブネットが表示されていますが、親ジョブネットだけを表示できますか？
Q: ACL マネージャの役割を教えてください。
Q: 自動運用支援（アクション実行、イベント監視、およびアクション管理）が何をする機能か教えてください。
Q: ジョブネットの異常終了を発生させると、Systemwalker Centric Manager にメッセージが 2 件通知されます。なぜ 2 件通知されるのですか？
Q: 日次、週次、および月次のジョブネットがあります。これらのジョブネットが完了したあとに、毎日実行するジョブネットを用意したいです。どのように設定すれば実現できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントからサーバに接続している状態で LAN ケーブルを抜いた場合、エラーが出力されます。これは正常な動作ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3 以降のサーバに接続して、プロジェクト名を入力すると「コード変換により、指定可能な最大バイト数を超えた入力領域があります。」のエラーが出力されます。原因と対処方法を教えてください。
Q: ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウに「［＊］の定義内容は、サービスを再起動後、有効になります。」と記述されていますが、サーバの再起動でも有効になりますか？
Q: 間隔起動のジョブネットが正常終了したあとに、そのあとの間隔起動を実行しないで終了させることはできますか？
Q: キューの制限数までジョブが実行されている状態で、さらにジョブが投入された場合、実行待ちの状態になります。このとき、実行待ちのジョブはどのような順番で実行されるのですか？
Q: キューの制限値はどのようになっていますか？
Q: 1 つのジョブネット内に複数のジョブが構成されています。その複数のジョブを同時に実行させる方法を教えてください。
Q: ソフトウェア上の終了（画面右上の×ボタンクリックなど）を操作しないで、画面を終了することは製品動作上問題ありませんか？

Q: ジョブのスケジュールを組んでいます。起動日を変更する方法を教えてください。
Q: 新規に作成したプロジェクト配下にグループを作成する際、「登録できるジョブネットはありません」とメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。
Q: コンピュータ名を小文字から大文字に変更したときの影響について教えてください。
Q: 条件分岐の要因として、ジョブの終了コード以外に、指定できるものはありますか？
Q: サーバを再起動する場合、Systemwalker Operation Manager のサービスは事前に停止させる必要がありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のサービスを停止するにあたり、実行中のジョブがあればジョブの終了後にサービスを停止することはできますか？
Q: 同一のファイルを作成（更新）するジョブが複数あります。chkfile コマンドは、どのようなタイミングで実行させるべきですか？
Q: パラメタ欄に入力する際、パラメタの中にファイルのパスを指定しても問題ありませんか？その際「C Programfiles」のようにスペースを含んでも問題ありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、同じパラメタの jobschmsgevent コマンドを、1 つのジョブネットに対して、複数のユーザーから同時に複写起動した場合、同時実行されますか？
Q: 階層化ジョブネットの子ジョブネットを、他のジョブネット経由で起動できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブ実行時に実行ユーザーを指定しないで、Systemwalker（システム）ユーザーでジョブ実行した場合は、レジストリの「HKEY_USERS」キーにユーザープロファイルをいつ読み込むのですか？
Q: ジョブネットのステータスが「開始遅延」の状態です。日変わり後に指定した時刻にジョブネットは起動しますか？
Q: ファイル転送コマンド（FCOPYSVR.EXE および fcopysvr）は、どのような処理をして「終了（復帰）」となるのですか？
Q: バッチファイル内などで FCOPYSVR.EXE または fcopysvr コマンドを使用した場合、転送処理そのものが実際に終了していないのに、次のコマンドが実行されてしまうことはありますか？
Q: PRIMERGY 標準のツールで「PROBEPRO」というものがありますが、このツールを停止しても Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありませんか？
Q: ジョブのアイコンの状態を示す輪や×マークの色や、ガントチャート上のジョブネットの状態を示す帯の色をカスタマイズできますか？
Q: SQL Browser サービスが起動していない場合、Systemwalker Operation Manager の動作に影響がありますか？
Q: VBScript 内から jobschcontrol.exe コマンドを起動するようにしたいのですが、VBScript 内でリターンコードを取得できません。サンプルソースがあれば教えてください。
Q: 子ジョブネットで［起動日のみ有効］を設定していない状態です。この状態で、親ジョブネットの起動日を設定していなくて、子ジョブネットだけ起動日を設定している場合、ジョブネットは親も子も起動されませんか？
Q: プロジェクトのアクセス権に設定できるユーザーおよびグループの数には制限がありますか？
Q: ジョブの分散実行について、複数のスケジュールサーバから、同一の実行サーバに対して設定することができますか？
Q: ジョブの分散実行について、複数のスケジュールサーバから、同一の実行サーバに対して設定した場合の動作を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のサービスが起動している場合、ドメイン環境で自動的に行われる時刻同期による影響はありますか？
Q: jobschprint -r コマンドを使用して、ジョブネットの内容をファイル出力し、ジョブネットを削除して、jobschsetnet -nent コマンドで登録した場合、無効状態のステータスは解除されますか？
Q: スケジュールサーバおよび実行サーバが、ドメインのメンバサーバの場合に、実行サーバだけを別のドメインに変更したときの影響を教えてください。
Q: ジョブを強制終了させたときの処理内容を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のグループにおいて、前のジョブネットが終了しなければ、特定の時間になっても次のジョブネットが動作しないようにしたいと考えています。どうすればよいですか？
Q: ジョブスケジューラに「SampleProject」という名前のプロジェクトが存在しますが、製品としてデフォルトで存在するものなのか教えてください。
Q: 起動日雛形を指定しているジョブネットの一覧を表示させるコマンドはありますか？
Q: 後続ジョブを実行させないで、ジョブを中止する方法を教えてください。
Q: 毎月最終営業日だけ起動するようにジョブを登録できますか？
Q: 1 つのサーバに複数のクライアントを接続して、操作しています。あるクライアントでジョブネットの追加／削除を実施した場合、その他のクライアントでログアウトすることなく表示を更新する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のサービスの停止と起動を実行するコマンドを教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager が提供している API を使用してできるジョブの制御を教えてください。
Q: OS が Windows、Linux、および Solaris の環境において、Systemwalker Operation Manager のジョブスケジューラサービス／デーモンとジョブ実行制御サービス／デーモンの開始と停止の手順を教えてください。
Q: ［環境設定］の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートの［コンソールオプション］－［ログ情報をコンソール/SYSLOG に出力する］で指定するログファイルは、Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で設定した監査ログのことですか？
Q: グループが動作中かどうかを確認するコマンドを教えてください。
Q: ポリシー抽出／配付を実施した場合、配付先の元々の情報は上書きされてしまいますか？
Q: 環境設定を実施後、複数のサーバにポリシー配付を実施するとき、効率的にポリシーを配付する方法を教えてください。
Q: サービス／デーモンが起動しているかどうかを確認する方法を教えてください。
Q: サービス・アプリケーション起動機能を利用してサービスを起動する場合、手動で起動するときとは違い、サービス間の起動に時間間隔が十分とれないことが考えられます。そのため、依存関係のあるサービスを起動するときに影響はありませんか？

Q: ［ジョブネットの管理］ウィンドウから表示させるジョブ履歴について、表示可能な日数を増やす方法を教えてください。
Q: /var/spool/mjes/hist/日付.log を確認する方法を教えてください。
Q: 使用している Systemwalker Operation Manager のバージョン、エディション、32bit 版か 64bit 版か、など製品情報を確認する方法について教えてください。
Q: ジョブの標準出力および標準エラー出力（前回履歴の表示内容）はログなどに残りますか？残る場合、ログのファイル名、ローテーション方法、削除可否について教えてください。
Q: 環境設定の［ジョブスケジューラの起動パラメタの定義］において値を変更した場合、ジョブスケジューラサービス／デーモンの再起動で設定は反映されますか？
Q: ジョブネットが異常終了した場合、異常終了した旨のエラーが出力されますが、このメッセージを出力しないようにできますか？
Q: 先行ジョブネットおよび後続ジョブネットはどのようにしたら登録できますか？
Q: 2 つのジョブの正常終了を条件にジョブを起動させることはできますか？
Q: OS 上の GID やユーザー情報（UID、ユーザー名、およびホームディレクトリ）を変更した場合、製品の動作に影響がないか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、待機系で hvshut -l コマンドを実行して RMS を停止し、シャットダウンしています。運用系は OS のシャットダウンだけ（RMS は停止していない）しています。運用系で RMS を停止することによって、Systemwalker Operation Manager に影響がないか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で提供されているパッチを適用する場合、サーバとクライアントで日程をずらして適用しても問題ありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager をインストールするサーバのハードウェアをリプレースする予定です。ソフトウェアのライセンス変更などが必要になりますか？
Q: 停止／起動／状態確認を一括で管理するスクリプトはありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブが 4 つ（ジョブ A、B、C、D）あり、ジョブ B はジョブ A の後続、ジョブ C はジョブ B の後続、ジョブ D はジョブ C の後続ジョブです。このとき、ジョブ B の結果を午前 4 時まで待って、正常終了しなかった、または実行中の場合、後続のジョブ C を起動させることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、フェールオーバが発生し、実行中だったジョブが、終了コード 239 で異常終了しました。このジョブを再起動させる方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で、子ジョブネットが異常終了した場合に、親ジョブネットも異常終了してしまいます。その理由を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition がクラスタシステム（PRIMECLUSTER）に登録されているか確認する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降でクライアントからの操作履歴を採取したいです。クライアントからの操作履歴は監査ログとして、クライアントに格納されますか？また、監査ログの切り替え契機を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のパッチ(緊急修正)適用後に、パッチの適用状況を確認する方法について教えてください。
Q: 無効状態のジョブネットがメッセージ事象を受け取ると、そのメッセージ事象は無視されますか？また、無効解除時には即起動されますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブが 1 つだけ登録されている子ジョブネットのジョブが異常終了した場合に、親ジョブネットを再起動する手順で、子ジョブネットを無効状態にして再起動する場合と、ジョブを無効状態にして再起動する場合では、動作に違いはありますか？
Q: ジョブに対して空き CPU に応じて処理能力を増減させる機能はありますか？
Q: ジョブからシェルスクリプトを起動する時、ログインシェルが bash のときに読み込まれる環境設定ファイルは何ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER を使用してクラスタ運用中、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウから［起動パラメタ］ボタンをクリックして表示される［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの定義を、サービス起動中に反映させることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition と、PRIMECLUSTER（HA Server）の環境で、テストのために意図的に障害を発生させて、正常にフェールオーバが発生することを確認する方法を教えてください。
Q: ジョブネットで 0 以外の異常終了コードを出力した場合に、異常終了したことをイベントログ／SYSLOG に出力しつつ、次の処理を続ける方法を教えてください。
Q: Windows の管理ツールから Systemwalker Operation Manager V13.3.1 以前のスタートアップアカウントのユーザーを削除しても Systemwalker Operation Manager の運用に影響はないかどうか教えてください。
Q: jobschmsgevent コマンドでジョブネットを起動する場合、待ち受けるジョブネットで設定作業は必要ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager のジョブネットについて、Systemwalker Centric Manager と連携してジョブネットの実行状態を監視したいです。設定方法を教えてください。
Q: ジョブを一括登録する手順を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager にログインするユーザーごとに、実行権を有しているジョブネット以外は非表示にすることはできますか？
Q: マニュアル「運用ガイド」の「ウィルスチェック製品を利用している場合の注意」の対処をしていない場合、どのような影響がありますか？
Q: クライアント画面上の［接続ホスト名］の並び順を変更したいです。変更方法を教えてください。
Q: 監視ホストの定義を変更する際、サービス／デーモンの再起動は不要との認識でよいですか？また、設定値が反映されるのは、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウを再度立ち上げるタイミングですか？

Q: 監視ホストの定義を変更した場合、設定変更タイミングですでに立ち上げている［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウへの影響はありますか？
Q: 監視ホストの定義を変更した場合、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウ以外の機能への影響はありませんか？
Q: jobschprint -p コマンドを実行すると Job Name が出力されますが、Job Name が長いため全部表示できません。Job Name の表示幅を広げることはできますか？また、ジョブの状態とジョブネット名称を同時に参照する方法はありますか？
Q: メッセージ起動で 1 日 1 回としていますが、実行中のまま日変わり時刻を過ぎた場合、翌日メッセージが発生するとジョブネットは起動しますか？
Q: ジョブネットに設定しているカレンダを当日に休日に変更することはできますか？また、該当のカレンダを使用しているジョブネットは当日起動しますか？
Q: ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力シート］－［実行中断］チェックボックスにチェックし、［実行中断］を検知できるように設定変更する際の注意点を教えてください。
Q: 別セグメントのサーバに対してメッセージ事象を発行することはできますか？
Q: 運用環境保守ウィザードを使用して運用環境の復元を行う場合、Systemwalker Service Quality Coordinator の停止は必要ですか？
Q: 子ジョブネット内のジョブが異常終了し、異常終了したジョブに対して［リカバリ操作］－［指定のジョブから起動］としてジョブが正常終了した場合、親ジョブネット内の後続ジョブネットは起動しますか？
Q: セキュリティ強化を目的にシステム管理者（root/Administrator）および Systemwalker 用アカウントのパスワードを変更した場合、複数ホストの監視やネットワークジョブなど他サーバと連携していたときに連携先サーバ側でパスワード変更が行われずにパスワード不一致になった際に発生する事象を教えてください。
Q: jobschprint -e コマンドで出力される結果は、固定長の文字列ですか？
Q: ジョブネットが警告状態となった時に、イベントログ／SYSLOG にメッセージを出力することはできますか？
Q: ネットワークジョブに対して環境変数を渡す場合、［登録/監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シート－［環境変数］に値を設定することで正しく引き渡されますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のカレンダを変更した場合、Systemwalker Centric Manager のイベント監視の条件定義機能のアクション条件はいつ反映されるか教えてください。
Q: スケジュールサーバからネットワークジョブとして起動したシェルが実行中にコネクションが切断された場合、実行中のジョブはどのようになるのか教えてください。
Q: スケジュールサーバから実行サーバに対して、Systemwalker Operation Manager としてコネクション切断時に状態確認を行っていますか？
Q: ジョブネットの登録の際にジョブ名を入力しなければなりませんが、マニュアルに UTF-8 の文字コードの場合は日本語の文字が使用できないと記載があります。日本語の文字は使用できませんか？
Q: コマンドを使用して、登録してあるジョブをスキップする方法を教えてください。
Q: すでに存在するグループにジョブネットを追加で登録する場合の手順を教えてください。
Q: ジョブネットのスケジュール登録を行うにあたり、毎時 10 分に 60 分おきでジョブを起動したいのですが、起動条件の指定方法を教えてください。
Q: 特定の期間だけジョブネットが起動しないように設定したいのですが、どのようにすればよいですか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition において、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能のスケジュール情報の配付は、毎日実施するが特定日だけジョブネットを起動しないようにしたいと考えています。配付は実施するがスケジューリングはしないという設定はできますか？
Q: 監査ログの設定を確認する方法を教えてください。
Q: OS で Red Hat Enterprise Linux 5 for x86 を使用した際に、OS の文字コードを EUC にしても Systemwalker Operation Manager Standard Edition および Enterprise Edition を使用できるか教えてください。
Q: ジョブの実行予測時間を変更した際、Systemwalker Operation Manager のサービス再起動は必要ですか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、スケジュール分散環境で同じジョブネットが同時起動するのを防止する方法を教えてください。
Q: ハード異常によりサーバが一時的に停止していましたが、その間に実行されていない Systemwalker Operation Manager のジョブネットの確認方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition は、PRIMECLUSTER HA Server の Application、BasicApplication、SystemState3、または SystemState2 のうち、どのプロシジャリソースに登録していますか？
Q: OS のホスト名を変更することでインストールされている Systemwalker Operation Manager に対して影響があるか教えてください。また、設定変更を行う必要があれば、その方法も教えてください。
Q: キューを停止せずに分散実行のホストグループを追加する方法があるか教えてください。
Q: 文字コードを UTF-8 から Shift_JIS に変更したところ、Systemwalker Operation Manager から出力されるエラーが SYSLOG で文字化けします。Systemwalker Operation Manager から出力されるメッセージをすべて抑止する方法を教えてください。
Q: jobschcontrol コマンドの終了コード値と対応する発生事象について教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager の画面からジョブネットを複数選択して一括削除を行うことはできますか？
Q: ［運用情報の定義］ウィンドウ－［利用機能］シート－［ジョブを所有者の権限で実行する］のデフォルト値が、Windows 版の場合はチェックなし、Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の場合はチェックあり、となっています。プラットフォームによってデフォルト値が異なる理由を教えてください。

Q: xinetd プロセスを内部処理で起動させる動作がないか教えてください。
Q: CPU のハイパースレッドの設定を有効から無効にすることで、Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありますか？
Q: ジョブスケジューラ情報印刷を使用して作成した監視図をファイルで保存し、Visio などで編集できますか？
Q: 日変わり時刻として「07:55」を設定しています。クライアントの時刻表示（起動予定日時や開始日時など）を、日変わり時刻までを前日として表示させることはできますか？
Q: 拡張ユーザ管理機能で設定するパスワードと OS のパスワードは一致させる必要はありますか？
Q: ユーザーに OS への telnet は許可させない設定にしようとしています。OS のユーザーアカウントをロックした状態で Systemwalker Operation Manager を操作できますか？
Q: 日変わり時刻が 07:55 で、毎日 5 時が起動時刻のジョブネットがあります。例えばシステム日付の 20 日に実行させない場合、起動日画面で 20 日を非起動日とすると、システム日付では 21 日が非起動日となってしまいます。システム日付ベースで変更できますか？
Q: ジョブを多重で動かしていますが、そのうちの 1 つが異常終了して、他のジョブは正常終了しました。すべてのジョブが終了のステータスにならなければ異常終了がイベントログ／SYSLOG に通知されないようですが、これは正常動作ですか？
Q: あるジョブが実行中のとき、そのジョブを強制終了しないで後続のジョブを実行することはできますか？
Q: Linux(32bit)版 Systemwalker Operation Manager でカレンダ API は使用できますか？
Q: 親ジョブネットの起動日が 1 日から 10 日、子ジョブネット 1 の起動日が 1 日、および子ジョブネット 2 の起動日が 5 日のジョブネットを作成しています。この親ジョブネットを 20 日に［操作］－［起動］で操作した場合、子ジョブネット 1 および 2 は起動されますか？
Q: ポリシー配付後に、配付が正常に実行されて反映されたことを確認する方法を教えてください。
Q: ファシリティ「syslog」でログ出力する場合はありますか？
Q: Systemwalker Centric Manager との連携についてマニュアルを確認したところ、jobschgetoutput というコマンドが必要になることがわかりましたが、V13.3 から使用できるコマンドでした。V13.2 で同様の動作が実現できないか教えてください。
Q: デュアルブート構成の 2 つの環境の切り替えを行う際に、Systemwalker Operation Manager のサービスを停止する必要はありますか？
Q: スケジュールジョブの前回履歴の表示について、ジョブが動いたときにメッセージが出力されると、標準出力にメッセージが出力されます。このメッセージは SYSLOG にも出力されますか？
Q: Systemwalker Operation Manager に登録してある時刻起動ジョブネットを、日変わり時刻をまたいで実行をする場合、問題はありますか？
Q: 本環境は、Windows OS をインストール後、Systemwalker Operation Manager をインストールし、Systemwalker Operation Manager のホスト名など、何も設定を行っていない状態です。Windows OS のホスト名を変更することによって何か影響はありますか？
Q: ジョブネット名称の登録について文字数の制限はありますか？
Q: ジョブ名の登録について文字数の制限はありますか？
Q: 階層化されたジョブネット（子ジョブネット）は、jobschsetnet -ndel コマンドで削除できますか？
Q: 「MpJobsch: ERROR: 0330」というエラーが発生し、ジョブは終了コード 139 で異常終了しました。終了コード 139 は Systemwalker Operation Manager が出力しているものですか？
Q: ジョブの修正や変更をしたときに、同じジョブネットのジョブ設定（無効状態）が変わらないようにするにはどうすればよいですか？
Q: PRIMECLUSTER で構成されたクラスタ上で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition をクラスタリソースに登録して動作させています。Systemwalker Operation Manager のプロセスが落ちてもフェールオーバをさせない方法を教えてください。
Q: コマンドで、既存のジョブネットにジョブを追加する際に、ジョブネット内のジョブの順番を変更する方法を教えてください。
Q: 拡張ユーザ管理機能を利用していない環境でプロジェクトの所有者を変更します。該当プロジェクトに対する元の所有者、新しい所有者、および設定済ユーザーのアクセス権がどうなるのか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager の、ジョブネット名とジョブネット名称の違いを教えてください。
Q: ジョブの構成で、「A、B、C、D」というジョブがあった場合、通常は順番に構成されます。B だけ実行したくない場合にどのような設定をすればいいか教えてください。
Q: 間隔起動されるジョブネットがありますが、保守のため間隔起動されないよう無効状態にしています。この状態で手動でジョブネットを起動させ動作確認を行う方法を教えてください。
Q: 日変わり時刻を 12 時 00 分とした場合、間隔起動で 12 時 00 分から 11 時 59 分までの間を指定したい場合は、［1200］から［1159］と指定すればよいですか？
Q: ジョブネットの間隔起動で 12 時 00 分から 11 時 59 分までを指定しています。12 時 00 分の日変わり時刻で日変わり処理に時間がかかり、当日の初回のジョブネットが 12 時 05 分の起動となった場合、60 分間隔では次回の起動は 13 時 05 分となりますか？
Q: 毎日 1 回起動するジョブネットがあります。該当のジョブネットが 24 時間以上実行され、翌日の起動予定時刻を超過した場合、翌日起動予定のジョブネットは「開始遅延」になりますか？
Q: ジョブ起動時に一時ファイルが作成されますか？作成される場合、その一時ファイルが削除されるタイミングを教えてください。
Q: ジョブネットが異常終了した場合に出力されるメッセージを教えてください。
Q: ジョブの投入は qsub コマンドでできますか？
Q: ジョブの削除は qdel コマンドでできますか？
Q: jobschmsgevent コマンドはコマンドラインで実行できますか？
Q: 停止または無効の状態を一括で解除する方法はありますか？また、一括解除する際に特定のものだけを解除しないように例外を設けることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Job Designer で一括編集ワークシートからジョブフローを生成する方法を教えてくださ

い。

Q: サーバ再起動時（Systemwalker Operation Manager のサービス再起動時）にジョブネット停止状態は保持されていますか？

Q: 停止状態のジョブネットに対して 2 回以上起動条件が満たされると 2 回目以降は実行拒否状態になるとマニュアルに記載がありますが、停止解除したあとに起動条件が満たされたジョブネットは正常に処理されますか？

Q: Systemwalker Operation Manager の処理で smux サービスを使用していますか？

Q: SNMP の設定ファイルを使用していますか？SNMP を使用していない場合、またはデフォルトの状態のままだと何か運用に問題がありますか？

Q: 分散実行機能により Windows サーバ上で起動されたバッチファイル内で異常を検知した場合は異常を検知したサーバを除き、残りの Windows サーバで分散実行を続行させることはできますか？

Q: acpid サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

Q: cpuspeed サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

Q: ia32el サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

Q: messagebus サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

Q: openibd サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

Q: haldaemon サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

Q: ジョブネットが警告状態や異常終了となった場合に Systemwalker Centric Manager に通知する方法を教えてください。

Q: Systemwalker MpPmonO サービスがどのようなサービスなのか概要を教えてください。またサービスを止めていることによって、どのような影響が出ますか？

Q: Systemwalker Operation Manager で出力されるジョブスケジューラのログファイルの詳細を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で出力されるジョブ実行履歴情報のログには、ジョブの実行履歴が格納されるのですか？また、出力されるログファイルのパス、ログのローテーションの方法、および削除可否について教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で出力される稼働実績情報のログは、どのような設定をしている場合に出力されるログですか？また、出力されるログファイル名とそのパス、ログのローテーションの方法、および削除可否について教えてください。

Q: ジョブの実行ユーザーの確認方法を教えてください。

Q: ジョブの実行予測時間を設定している状態で、実行予測時間を超過した場合に発生するメッセージを教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で、カレンダで休日設定して、ジョブネットのプロパティで[起動日が休日の場合の扱い]（V13.3.0 以前では［休日の取り扱い］）を［起動しない］に設定しているジョブを、休日設定日に［操作］－［起動］で実行した場合、起動しますか？

Q: オンラインバックアップを実施したデータのリカバリ時のジョブネットの状態について、日変わり時刻 0:00、バックアップ実行 1:00、リカバリを 4:00 に実施した場合、以下のようになると思います。正しいですか？
1:00 までに終了したジョブネットについては終了時の状態バックアップ実行中のジョブネットは強制終了状態 2:00～3:00 に実行されたジョブネットは状態表示されず、実行履歴も分からずリカバリ時もスケジューリングされないリカバリ時にスケジュールデーモンが起動されるため、このタイミングでスケジューリングが実施され、4:00 以降のジョブネットについては実行待ちでスケジューリングされる

Q: ジョブネットの中に子ジョブネットを作成しました。終了コードはどのように決まりますか？

Q: サービス／デーモンを再起動する際に、ステータスが「停止中」のジョブネットが存在していても問題ありませんか？また、サービス／デーモン再起動によるメッセージ状態の変更は起きませんか？

Q: サブシステムのない環境から、サブシステムのある環境にネットワークジョブを投入する際に、各サーバで以下のポートを統一する必要がありますか？「jobsch_win1 5001/tcpjobsch_win2 5002/tcpmjsnet1 5101/tcpmjsnet2 5102/tcp」

Q: jobschsetproject コマンドを使用して複数のプロジェクトを登録する場合、プロジェクト情報制御文のファイルに複数のプロジェクトを記載して登録できますか？

Q: 監視ホスト定義を omgrmonitor コマンドで行う場合、CSV ファイルは Shift_JIS にするようにとマニュアルに記載があります。EUC の環境で構築しているので、vi エディタなどで見ると改行等が文字化けしています。問題ありませんか？

Q: jobschmsgevent コマンドの復帰値の意味について教えてください。終了コード 1 と 244 で復帰することがあります。

Q: jobschdeftocsv コマンドで出力した CSV ファイルを使用して、ジョブネット登録バッチを作成および登録すると、ジョブのパラメタ欄の「"」が削除されてしまいます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットの稼働日を jobschsetnet -sent コマンドで設定しましたが、過去日については設定前のままで、稼働日が変更されませんか？

Q: ジョブ実行制御設定で、ジョブレコードを採取しています。ジョブの基本情報の箇所でジョブ名を省略した場合、ジョブレコードの中のジョブ名の項目には何が入りますか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0 のサーバからジョブネットの情報をエクスポートし、V16.0.0 のサーバにインポートした際に、登録情報が変更される、または新規に追加される項目があれば教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager の運用ガイド（使用手引書）の「B.5.2 ジョブの実行環境について」に、Systemwalker Operation Manager で設定される環境変数がありますが、env コマンドを実行すると、JC_CHOST と JC_COMMENT が空になります。設定方法を教えてください。

Q: ジョブ/ジョブネットの実行履歴は、デフォルトで何日分保存されますか。また、保存日数の変更方法を教えてください。

Q: jobschev.txt が存在しない場合の動作を教えてください。

Q: ［起動パラメタ］ウィンドウからログファイルのサイズ変更を実施しました。変更時は、jobdb*.log の最新が jobdb1.log で、1 つ前が jobdb3.log の状態でした。jobdb2.log に存在していた jobdb2.log の内容を、jobdb3.log にコピーし、ジョブ履歴から表示できるようにしました。現状では問題なく動作していますが、このまま運用してよいですか？

Q: ジョブで、簡単に JCL を使用しているかどうか確認する方法を教えてください。

Q: クライアント連携機能を使用したいのですが、クライアント側でクライアント業務連携のアイコンが表示されません。表示方法を教えてください。
Q: シェルをジョブに登録した際、パスでシェルを起動していますか？それとも sh コマンドで起動していますか？また、その際に必要になる権限を教えてください。
Q: ［運用情報の定義］ウィンドウの画面上部にある［ジョブ制御］の多重度と、画面下部にある［キュー］の多重度の意味を教えてください。また、ともに定義されていた場合、どちらの多重度が有効となりますか？
Q: Systemwalker Operation Manager のサーバが 2 つある状態で、1 つのサーバから、もう 1 つのサーバのあるジョブが実行中かどうかを確認する方法があれば、教えてください。
Q: ［登録－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シートのコマンド（シェル）が、カレントディレクトリと同一のディレクトリに格納されている場合、フルパス記載の必要がありますか？
Q: クライアントのログイン情報をログ採取する場合、監査ログの設定方法を教えてください。
Q: クライアントは複数設置できますか？できる場合、操作に対して排他制御されるかどうかを教えてください。
Q: jobschcontrol コマンドでジョブネットの起動操作を行うと、「MpJobsch: ERROR: 0225: ジョブネットは保存中または制御中です」となる場合があります。原因と対処方法を教えてください。
Q: プロジェクトの所有者を確認するためのコマンドを教えてください。
Q: アプリケーションをバックグラウンドで実行できますか？
Q: backup コマンドを-SN オプションで実行した際、ジョブの状態はどのようになりますか？
Q: ネットワークジョブで jobschcontrol コマンドを実行していますが、エラーコード 1 となり失敗してしまいます。理由を教えてください。
Q: サービス／デーモンを再起動しないで、キューの登録および登録したキューを指定したジョブネットの登録はできますか？ なお、ジョブネットの登録は、jobschprint コマンドと jobschsetnet コマンドで行います。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、クラスタ運用をしている場合、リソースが異常（userApplication が Online 時に、Offline、Faulted 状態）になる契機について教えてください。
Q: ジョブネットが待ち受けるメッセージ事象を確認するためのコマンドを教えてください。
Q: ジョブネットの終了予定時刻の設定と、一時変更の設定を行います。ジョブネットの変更が正しく行われたかどうかを確認する方法を教えてください。
Q: クラスタ環境でのバックアップ（mpbko コマンドの実行）は、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のデーモンの停止が必要ですか？
Q: 疑似正常の設定を実施する場合、デーモンの再起動は自動で行われますか？または手動で行う必要がありますか？また、他のサブシステムに影響を与えますか？
Q: 1 つのネットワーク上に 2 台のスケジュールサーバを設置した場合、何か問題はありますか？
Q: クライアント業務連携でアプリケーション起動するとき、実行サーバでスクリーンセーバーロック中であっても実行できますか？
Q: バックアップ／リストアについて、リストア後にスケジュール情報が戻っているかを確認する方法を教えてください。
Q: jobschcontrol コマンドと jobschmsgevent コマンドは、対象のジョブネットの状態を監視して終了するのか、それとも対象のジョブネットの状態の変更を待たずに終了するのかを教えてください。
Q: システムカレンダファイルを、他サーバに手動でコピーして使用しても問題はありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、環境設定画面に設定してある起動パラメタの設定は、運用系と待機系で設定しなくてはいけませんか？クラスタを切り替えた際に、運用系から待機系に引き継がれるのですか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、クラスタ環境を稼働させていますが、クラスタサービスを停止した状態で、Systemwalker Operation Manager を稼働させることはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、クラスタの操作で Systemwalker Operation Manager が再起動されるか教えてください。
Q: Systemwalker Centric Manager との連携で、「ジョブネットの異常終了を監視してジョブネットの再起動／確認により自動的に対処済にさせる場合」と「イベントログ／SYSLOG に出力される実行履歴を利用して監視する場合」の違いを教えてください。
Q: jobschprint コマンドが格納されているパスを教えてください。
Q: swcolinf（保守情報収集コマンド）実行時に採取される情報はどのようなものですか？
Q: swcolinf（保守情報収集コマンド）実行中に、内部ログの排他によるログの更新ができないなど、業務運用への影響はありますか？
Q: mprso コマンドはシングルユーザモードで実行できますか？
Q: mprso リストアコマンドによるリストアを行います。mprso リストアコマンドおよび soperationmgr サービス／デーモン起動コマンド実行後の問題の有無について、確認方法を教えてください。
Q: Oracle の SYSTEM ユーザーのパスワードを変更した際に、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition において影響があるか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、ハードのリプレイス時に、クラスタ環境の Systemwalker Operation Manager のインストール、およびバックアップしておいた情報のリストア以外に作業が必要か教えてください。
Q: 2 つのメッセージを起動条件に動くジョブネットで、1 つのメッセージが到着した状態で翌日になった場合に、メッセージ事象がクリアされるタイミングを教えてください。なお、ジョブネットの設定内容は以下のとおりです。起動条件はメッセージだけ。時刻起動は設定していない。［すべてのメッセージ事象が発生した時に起動］を選択している。［一日一回］は指定していない。
Q: カレンダの情報の削除を、コマンドで実行する方法を教えてください。
Q: ジョブネットの階層化（親ジョブネット）を設定することで、今までメッセージで連携していた日次と月次のジョブネットの起動振り分けを実

現できますか？具体的には、日次処理では、3 つのジョブネットが「X→Y→W」の順番で起動する。また、月次処理では、ジョブネット W が「X→Y→W」と「X→Z→W」というように、ジョブネット Y と Z の両方が終了しないと起動しないようにする。

Q: デマンドジョブの実行履歴を CSV ファイルで確認する方法を教えてください。
Q: ポリシー抽出／配付を使用して、Systemwalker Operation Manager の環境を移行します。移行できない情報はありますか？
Q: 実行中のジョブを強制終了する際、実行されているアプリケーションやシェルスクリプトにシグナルなどが通知されるか教えてください。
Q: ジョブネットの複写時に、複写元と複写先で同一のジョブネット名を指定しても問題がないか教えてください。
Q: ジョブにシェルスクリプトを登録し、ユーザーの.profile を読み込み実行させる方法を教えてください。
Q: 過去のジョブネットの実行履歴の取得方法を教えてください。
Q: ジョブネットの起動時刻（起動間隔）の単位を秒単位で設定できますか？
Q: ジョブネットの状態の種類と意味を教えてください。
Q: 月末に起動し、平日であれば 20:30 に起動し、休日であれば 18:30 に起動するジョブネットの設定方法を教えてください。
Q: クライアントをインストールした際、作成されたスタートアップアカウントのパスワードは変更できますか？できる場合、変更の際の留意事項があれば教えてください。
Q: サーバ上に登録されているジョブネットが、どのカレンダを使用しているかを確認する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境において、環境設定の「起動パラメタ」の設定変更の際、運用を停止させない、またはできるだけ停止時間を短くするような方法を教えてください。
Q: JCL 内で、stepstart 内の skip 文を同時に複数使用できますか？
Q: 「Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MPWALKER.JM¥」が配置されているフォルダのドライブ使用量がいっぱいになったときの影響を教えてください。
Q: バージョンアップの前にポリシーを抽出する場合、業務中に実施しても支障ありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境において、再起動時に考慮すべきサービスを教えてください。
Q: バージョンアップする際、使用ポート番号について、ファイアーウォールの設定を見直す必要があります。jobsch_win1 および jobsch_win2 はどのような運用で必要になりますか？
Q: jobschprint コマンドの-n と-g オプションについて教えてください。
Q: ジョブ実行制御のジョブの多重度を超過した状態でスケジュールジョブを投入した場合、ジョブがどのような状態になるか教えてください。
Q: Windows の標準バックアップ（リストア）機能の ASR（Automated System Recovery)を実行した場合、動作に影響はありますか？
Q: 階層化されているジョブネットで、子ジョブネットが異常終了した際、親ジョブネットも異常終了のままにする方法を教えてください。
Q: ジョブリストファイル（ジョブ名.ｌジョブ番号）を作成しない方法、または定期的に削除する（蓄積されない）方法があれば教えてください。
Q: データベース領域を保持している外部ディスクで、1GB の使用量増加現象が見受けられました。Systemwalker Operation Manager で、突然 1GB もの容量増加が見込まれる要因はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、システム時刻補正時の注意事項を教えてください。また、日付と時刻の設定画面自体を表示しても問題がないかについても教えてください。
Q: 登録されているジョブネットを jobschprint コマンド以外で外的に確認する方法はありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、ジョブスケジューラの設定変更（ジョブの定義修正・カレンダ修正など）をすると、その変更履歴は残りますか？
Q: ジョブが一定時間内に終了しない場合に、ジョブの実行を打ち切りたい(ジョブを異常終了させたい)のですが、設定方法を教えてください。
Q: ジョブを、GUI ではなく、コマンドで強制終了させたいと考えています。ジョブを強制終了させるコマンドはありますか？
Q: jobschcontrol コマンドを利用してジョブネットを停止状態にした場合、そのジョブネットは明示的に停止解除するまで停止し続けますか？また、停止状態のジョブネットがあることを定期的にログやメッセージで出力しますか？
Q: システム日付の変更（未来日付・過去日付）に伴う Systemwalker Operation Manager での注意事項を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ運用時のリストア手順の中で使用する mpaclcls コマンドは、どんな設定をするコマンドですか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用を行っています。1:1 運用待機の構成の場合、mpcssave コマンドを実行するだけで、運用系のセキュリティ情報を共有ディスクに反映できますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、Systemwalker Operation Manager 自身のプロセスを監視するツールはありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しています。状態遷移プロシジャ内でクラスタに登録しているデーモンプロセスを指定された間隔（デフォルト 10 秒）で監視していますが、この値の推奨値、最大値を教えてください。
Q: keepalive 値を変更することを検討しています。現状は、OS の標準値を採用していますが、変更した場合に影響があれば教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition では、クラスタに登録したアプリケーションをプロセス異常終了時に自動的に再起動させることができますか？
Q: qsub コマンドでログ出力を抑止する方法はありますか？
Q: qsub コマンドで出力されるログファイルを、削除した場合の影響を教えてください。

Q: クライアント機能で、ログインアカウントのログインシェルを/sbin/nologin に設定することで、クライアントからの操作に影響が出ることはありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition をクラスタ環境で使用しています。起動時に、起動失敗と判断するために設定されているタイムアウト時間とリトライ回数の値はありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager クライアントにおいて、LinuxOS 上の PAM でアカウントロックされたユーザーでログインすると、ログインできてしまいます。ログインできなくすることはできますか？
Q: ジョブネットが「確認操作の必要あり」で異常終了しています。ジョブネット内のジョブ 1～5 は、数字の順番で実行されるように関連しています。ジョブ 2 が異常終了している状態でジョブ 3 から実行する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager 上に登録したジョブネットを一括削除する方法はありますか？
Q: 特定のジョブネットが決められた時刻までに終了していない場合は、アプリケーションを呼び出すように設定する方法を教えてください。
Q: ジョブ履歴やジョブネット履歴のファイルサイズはどこで設定できますか？
Q: システム時刻の変更による影響および変更する場合の手順について教えてください。
Q: Red Hat Enterprise Linux 環境に Systemwalker Operation Manager が導入されており、かつ、運用しているシステムで IPv6 機能を有効にしても問題ないですか？
Q: Systemwalker Operation Manager クライアントから Linux サーバに接続する際、ログインユーザーのユーザー名とパスワードを入力しないように固定にする方法はありますか？
Q: Linux の udev 機能の by-id 名で運用することで問題がありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境において、プロセスが異常終了した場合の動作について教えてください。
Q: 間隔起動で、日変わり時刻をまたいだスケジュールはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager をインストールしているサーバの hostid が変更されることにより、Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？
Q: Trend Micro ServerProtect for Linux をアップグレードした時、Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？
Q: ジョブネットに時刻起動を設定しましたが、ジョブネット内のジョブに引き継がれています。個別に設定することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、Solaris から Windows へ「dmwf server」というサービスをネットワークジョブで起動しています。「dmwf server」のスタートアップアカウントは、ジョブ実行ユーザーと異なりますが、OS 再起動とジョブ実行による起動で違いはありますか？
Q: 既存ジョブネットを一括して新規プロジェクトに移動する場合の方法を教えてください。
Q: ジョブネットの起動条件として、時刻とメッセージ事象の待ち合わせで登録している場合、起動時刻到来とメッセージ事象発生の AND 条件でジョブネットを起動させる方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブ単位でスケジュールを出力するコマンドはありますか？
Q: 1 つのジョブネットの中に前後関係を持ったジョブが複数登録されています。それぞれのジョブを異なる時間で実行できますか？
Q: 1 つのジョブネットの中に前後関係を持った 3 つのジョブが登録されています。それぞれのジョブを異なる日付で実行できますか？
Q: メッセージ事象を受けるだけのダミーのジョブネットを登録したいのですが、Systemwalker Operation Manager がダミージョブ用として提供しているコマンドなどはありますか？
Q: 現在の時刻および仮想日付の設定がされている場合の時刻をコマンドで確認する方法を教えてください。また、日変わり時刻をコマンドで確認する方法もあわせて教えてください。
Q: 強制終了や異常終了のステータスでない場合にジョブネット内の任意のジョブから手動起動することはできますか？
Q: ジョブの登録時に、実行ユーザーの指定はできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager に登録しているカレンダ情報をファイルに抽出することができますか？その際、稼働日／非稼働日が日付ごとにわかりますか？
Q: ジョブ異常終了のあとに、GUI 画面で［操作］→［確認］操作で復帰処理を行いますが、同じ操作をコマンドラインで実施したいです。方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、サブシステム構成サーバから非サブシステム構成サーバへのネットワークジョブについて、「-rsys 実行先サブシステム番号」の指定は必須ですか？
Q: 未来の日付に対してジョブネットの起動条件を一時的に（特定の日時の範囲で）変更することはできますか？
Q: V13.2.0 以降の Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットの状態ステータスが「停止」になっていた場合に、いつ停止になったか調べる方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 の jobschprint -r コマンドで、出力される内容に「iconposition」とありますが、これは V13.3.0 から提供されたものですか？
Q: ジョブをスケジュール起動しています。ジョブに異常があった場合に、手動で対処しジョブを再起動する方法を GUI とコマンド両方について教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版サーバから Windows サーバのバッチを起動し、Windows バッチで echo 出力させた結果を Systemwalker Operation Manager のジョブの出力情報から見ると、改行が無くなってしまいます。改行コードを出力させる方法を教えてください。
Q: 仮想時間の変更を GUI 操作ではなく、コマンドで実現する方法はありますか？
Q: ジョブネットを実行する時にジョブネットを実行させるかどうか確認の問い合わせを表示させる方法を教えてください。
Q: ジョブネット内のジョブが無効状態のままで、ジョブネットの構成を変更することはできますか？
Q: 休日情報制御文の yearset で EVERY を定義すると、何十年先もこの設定になりますか？

Q: 月・金に起動日を設定しているジョブネットに対し、恒久的に 1 月 1 日を非起動日とする設定方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ジョブネットを強制終了させましたが、次回起動時刻に対象のジョブネットを起動させるために何か操作が必要ですか？
Q: ジョブネットを強制終了させてしまいました。次回起動する場合の影響について教えてください。
Q: 環境設定およびキュー操作を利用するためのユーザーアカウントについて、root 以外で設定を行う方法を教えてください。
Q: jobschmsgevent コマンドを実行した際に「Warning:no access to tty;thus no job control in this shell...」のメッセージが前回履歴に記録されます。原因と対処方法を教えてください。
Q: ジョブが異常終了しても後続のジョブが実行できるように設定する方法はありますか？
Q: Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の Systemwalker Operation Manager の jobschprint -n コマンドで表示されるステータスのうち、開始遅延にあたる「StartDelay」が使用されるようになったバージョンと、ガントチャートに「開始遅延」のステータスが表示されるようになったバージョンは同一ですか？同一である場合それは Windows 版も同様ですか？
Q: jobschmsgevent コマンドでメッセージを出した場合、どこにログが出るか教えてください。
Q: アクション定義で Systemwalker Operation Manager からメールを送信する設定した場合、SNMP サービスが起動しているとメールが送信できないということはありませんか？
Q: Systemwalker Operation Manager の機能で、TCP/UDP ポート（7、9、13、17、19）を使用しているか教えてください。
Q: 業務ジョブを監視する予定ですが、ジョブネットが正常終了しているか否かを確認するコマンドなどはありますか？
Q: java.exe、iGateway.exe を使用する場合がありますか？使用するのであればどのような契機で使用されるのか教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager が入っている環境にドキュメント ハンドリング ソフトウェア「DocuWorks」（富士ゼロックス社製）をインストールしたことにより、不具合が発生したことはありますか？
Q: ワークグループで構築した Systemwalker Operation Manager の環境をアクティブディレクトリのメンバーサーバとしてドメイン参加させた場合、ローカルユーザーでログオンし、ローカルユーザーでジョブを実行していた運用に影響が発生しますか？
Q: ある特定のデマンドジョブをシステム管理者権限で実行できるような方法を具体的に教えてください。
Q: 起動日雛形を新規作成／更新する場合の注意点について教えてください。
Q: システムカレンダの［年間休日の設定］ダイアログボックスの［振替休日を有効にする］の詳細な仕様を教えてください。
Q: OS および Systemwalker Operation Manager のバージョンがスケジュールサーバと異なる実行サーバに対して、ジョブを制御することはできますか？
Q: すでに稼働中のサーバにおいて、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition のクラスタ環境設定が実施されているのか確認する方法を教えてください。
Q: SNMP エージェントのコミュニティ名を public から変更した場合、Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありますか？
Q: Java で作成したアプリケーションを Systemwalker Operation Manager のジョブとして実行した場合に、復帰値を正しく取得することができますか？
Q: ハード保守に伴い、その日に動作するジョブネットを停止しました。停止中に本来のジョブネットの起動時刻を迎えてしまったため、次の開始時間にジョブネットを正常に開始させたいのですが、停止中のジョブネットを「停止解除」すると即起動されるため、回避方法を教えてください。
Q: V13.3.0 以前の Systemwalker Operation Manager をインストールする際に設定したスタートアップアカウントのユーザー名とパスワードを確認する方法を教えてください。
Q: V13.3.0 以前の Systemwalker Operation Manager のインストール時に、パスワードを設定してないユーザーをスタートアップアカウントとして設定できますか？
Q: V13.3.0 以前の Systemwalker Operation Manager のスタートアップアカウントをあとから変更することはできますか？
Q: ジョブネット／ジョブ／グループの操作ミスを防止する目的で、確認ダイアログボックスを表示する設定をしたいと考えています。設定対象はクライアント上の「Jobschr.ini」だけで問題ありませんか？
Q: 起動日雛形を削除するコマンドを教えてください。
Q: 起動日雛形を削除したのですが、正しく削除されたことをコマンドで確認する方法を教えてください。
Q: クライアント業務連携の起動方法を教えてください。
Q: 夜間バッチ業務処理中に停電などが起こった場合、バッチ業務を途中で中断し、マシンを停止したいと考えています。処理中のジョブネットを停止する方法（コマンド）を教えてください。
Q: V13.3.1 以前の Systemwalker Operation Manager において、サーバの Administrator のパスワードを定期的に変更した場合の留意点について教えてください。
Q: Web クライアントのセッションタイムアウトの時間を教えてください。
Q: ジョブネットが異常終了したあと、次回の起動条件の到来により、ジョブネットを起動させる手順（操作）について教えてください。
Q: 登録されているプロジェクトを削除したいので、削除予定のプロジェクトに登録されているジョブネットを別のプロジェクトに登録する方法を教えてください。
Q: ジョブネット内のジョブのいくつかを無効状態にし、ジョブネットにジョブを追加した場合に、無効状態のジョブのステータスは変化しますか？
Q: swmove コマンドを実行するとデーモンが自動停止されますが、起動も自動でされますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition でも swmove コマンドを使用して資産を移行できますか？
Q: swmove コマンドを実行する際の実行ユーザーは root でもよいですか？
Q: 環境設定の設定内容や、登録されているジョブネットの情報などの確認を、GUI 以外で行う方法を教えてください。
Q: 以下のサービスを停止したいと考えています。Systemwalker Operation Manager が、echo（7/tcp，udp）、sunrpc

（111/tcp，udp）、printer（515/tcp）サービスを使用することがないか教えてください。

Q: 監視を推奨しているログを教えてください。

Q: jobschprint -n コマンドの出力結果で、当日に起動予定のジョブネットについて、［Status］が「Normal」の場合と「Wait」の場合があります。［Status］が「Wait」になるのは、どんな条件の場合ですか？

Q: バックアップ／リストア機能について、ジョブネットの無効状態を維持したまま実施することはできますか？

Q: 導入手引書の「ポート番号一覧」に記載されているポート番号が、現在の環境では services ファイルに記載が追加されていないのですが、問題ないか教えてください。

Q: 特定の曜日に実行しているジョブネットがあります。過去に遡り、そのジョブネットの開始時間および終了時間を確認する方法を教えてください。

Q: ジョブネット制御文の「messagemode」について教えてください。

Q: 通常は時刻起動しているジョブネットを特定の日だけ時刻起動させない方法を教えてください。

Q: ジョブおよびジョブネットのコマンドによる手動起動の方法を教えてください。オプションなどの詳細も教えてください。

Q: ジョブのステータス確認、起動操作、異常終了したジョブの再起動、無効および無効解除操作をコマンドで行う方法を教えてください。

Q: 1 つのジョブネット内に、起動順序が Job A→Job B→Job C という前後関係を持った 3 つのジョブがあり、Job B が異常終了している場合にコマンドで Job B だけ再起動する方法および Job B→Job C を再起動する方法を教えてください。

Q: ジョブネットの状態のうち、「疑似正常」と「警告」を使用できるようにするにはどうしたらよいですか？

Q: ジョブネットの状態のうち、「正常終了」、「疑似正常」、「異常終了」および「警告」の終了状態を、ジョブの終了コードごとに自由に割り振ることはできますか？可能な場合はその方法を教えてください。

Q: 「ジョブごとの実行時間」を過去に遡ってテキスト形式で取得することはできますか？

Q: Job Designer で定義したジョブネット定義を英大文字と英小文字で同一の CSV ファイル名で出力したところ、1 つしか出力されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: スケジュールサーバにスケジュール情報を配付しましたが「MpStem: ERROR: 10108: スケジュールサーバが存在しません。(000.000.000.000)」が出力されて、抽出段階ですべて失敗するようになりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager を EUC コードの環境で運用しています。アンインストールしないで Shift_JIS コードに変更できますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を PRIMECLUSTER と連携させています。状態遷移プロシジャの登録結果を確認するため、tskmnsrv プロセスに対して kill コマンドを実行したのですが、状態遷移が起きませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: jobschmsgevent コマンドを実行しましたが「MpJobsch: ERROR: 0017: The jobscheduler failed to attach shared memory.」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットからジョブ（hvshut コマンド）を実行した際に、実行したジョブが最後まで実行されないで、途中で終了してしまいます。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でスケジュール分散／マスタスケジュール管理運用を実施していますが、先日の運用日管理プロジェクトが削除されずに残ってしまいます。原因と対処方法を教えてください。

Q: あるサブシステムから jobschprint -r コマンドで取得した制御文を使用して、jobschsetnet コマンドで別のサブシステムに反映させましたが、起動日のウィンドウ上で設定した特異日が反映されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: 「MpJobsch: ERROR: 0043: プロジェクト名 The jobscheduler failed to read job net information file.」のメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 開発機から本番機への Systemwalker Operation Manager のジョブネットの移行を jobschsetnet -nent コマンドで実施しました。移行先のクライアント上の業務選択ツリーには追加された情報が表示されたのですが、ガントチャートには表示されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールしている環境で、/var ディレクトリ配下を tar コマンドでバックアップするとエラーになります。原因と対処方法を教えてください。

Q: jobschprint コマンドを実行するシェルスクリプトを、Systemwalker Operation Manager の自動運用でスケジュール起動したときと、手動で起動したときとで出力結果に差異があります。原因と対処方法を教えてください。

Q: mpbko -SN コマンドをジョブとして登録し、バックアップした情報を、mprso コマンドでリストアしましたが、バックアップのジョブは正常終了していたのに、リストア時にはバックアップのジョブが異常終了（終了コード 239）になっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットが終了コード 255（40000132）で異常終了しました。原因と対象方法を教えてください。

Q: メッセージ事象を待ち合わせるジョブネットが持ち越しになっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブのコマンド欄にネットワークドライブ上のコマンドを指定できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: FCOPYSVR.EXE を登録しているジョブが終了コード 43 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットの最初のジョブが異常終了したため、後続のジョブが実行されないようにしたいのですが、強制終了しようとすると「実行中または警告状態でないため、強制終了できません」と表示されます。後続のジョブは実行されないのですか？

Q: ネットワークジョブで、環境変数に PATH を設定してバッチファイル／シェルスクリプトを起動させようとしましたが、動作しないで異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager に登録したジョブから、PDF ファイルをプリンタで印刷したいのですが、登録したジョブを実行すると処理が実行中のまま返ってきません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブが終了コード「255」、詳細コード「40000132」で異常終了しましたが、実際の処理は終了していました。原因と対処

方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager を UTF-8 の環境で使用しています。ジョブネットを開いて、プロパティを見ようとしましたが「文字コードがおかしい」という内容のポップアップが出力されて確認できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Windows 版の Systemwalker Operation Manager で、jobschmsgevent コマンドを用いてメッセージ事象を発生させて、そのメッセージを Systemwalker Centric Manager で監視し、アクション定義でメール送信をさせて、正常に動作していますが、Solaris、Linux、HP-UX、または AIX 版の Systemwalker Operation Manager では同様の処理が正常に動作しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: swadmin グループにユーザーを追加することで Systemwalker Operation Manager の使用権限を操作しています。OS のコマンド（usermod など）で swadmin グループに新規追加したユーザーで GUI にログインしたところ、［操作］がグレーアウトされていました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 異常終了したジョブの後続ジョブを選択して、［リカバリ操作］－［指定のジョブから起動］を選択すると「異常終了または強制終了でないため、操作できません。」のメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager の GUI から、異常終了したジョブで右クリックし、［リカバリ操作］－［次のジョブから起動］を選択して、異常終了したジョブの後続ジョブを起動しています。同様な処理をコマンドで実現する方法はありますか？

Q: 複数のジョブが同時に異常終了しました。SYSLOG には「MpMjes: ERROR: 10093: F3CUB_LOG_PIPE write error occurred. error code=」のメッセージが出力されていました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブ実行時に「Unable to find the job file specified. Job not queued.」のメッセージが出力されて、ジョブが失敗しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ［ジョブネットの起動予定時刻を過ぎても実行されない場合に通知を行う］を設定していますが、通知メッセージが出力されるサーバと、出力されないサーバがあります。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager の GUI 上で、あるジョブネットのジョブの色が赤くなっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: ファイル改ざん監視ツール（tripwire）を導入しているのですが、以下のファイルが監視に引っ掛かりました。

/etc/opt/FJSVftlo/pmon/mon_cal.ini
/etc/opt/FJSVftlo/pmon/mon_jobs.ini
/etc/opt/FJSVftlo/pmon/mon_mjs.ini
/etc/opt/FJSVftlo/pmon/monprocesslist

すべて Systemwalker Operation Manager のファイルだと思いますが、これらのファイルが更新されるタイミングを教えてください。

Q: ある時間からジョブの一部が実行遅延の状態となり、その後のジョブも受け付けられない現象が発生しています。原因と対処方法を教えてください。

Q: Arcserve のコマンド「cabatch」を含むバッチをジョブとして実行したところ、権限不足で異常終了します。ローカル実行すると正常終了します。 原因と対処方法を教えてください。

Q: サーバがダウンしたため、サーバを再起動しました。ところが、Systemwalker Operation Manager の時刻起動するグループやジョブネットの先頭ジョブがすべて「実行遅延」となっており、確認したところキューが停止していました。原因と対処方法を教えてください。

Q: クラスタ環境で、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition はクラスタ登録していません。片方のサーバのジョブネットを起動したタイミングで、もう一方のサーバでも同じジョブネットが起動されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition において、クラスタシステムで運用環境保守ウィザードの運用環境の退避を実施して正常終了しましたが、共有ディスク上の必要なデータファイルが退避されていません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager サーバをドメインコントローラとして使用しています。サーバ側に登録されているユーザーID で、ログインできない場合があります。原因と対処方法を教えてください。

Q: NetWorker との共存環境で Systemwalker Operation Manager を使用しています。OS 再起動後、「ERROR: 10002: Systemwalker Operation Manager のプロセス(mpjmsrv)が正常に動作しているか確認してください。」が発生し、Systemwalker Operation Manager の画面が開きません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 前回履歴を確認すると、20000 行以降の標準出力が表示されません。これは正常な動作ですか？

Q: コントロールパネルのサービスで、Systemwalker Operation Manager のジョブ実行制御サービスを停止しましたが、イベントログにプロセス監視のエラーメッセージが出力されませんでした。これは正常動作ですか？

Q: イベントログに「SY:Win32k: Warning: 244:デスクトップ ヒープがなくなったためデスクトップを作成できませんでした。」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を管理しています。ジョブネット履歴は、以前は 2 週間分過去のものが見えていましたが、今は 1 週間程度過去のものまでしか見えません。原因および対処方法を教えてください。

Q: 「MpJobsch: エラー:7300:func=jobschmsgevent -main:ReportEvent()997: 重複した I/O 処理を実行しています。」というメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: 実行サーバのリプレースを行ったあと、ネットワークジョブが異常終了します。また、シェル内の 2 バイト文字が文字化けしています。原因と対処方法を教えてください。

Q: シェルスクリプトを実行するネットワークジョブを実行依頼したところ、ジョブが終了コード 255（詳細コード：40000016）で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 で、別サーバの資産をリストアしたところ、「MpJobsch: ERROR: 0029: The number of projects has exceeded the maximum number (256).」というエラーが発生し、ジョブスケジューラが起動できませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: 時刻とメッセージ事象の両方を待ち合わせているジョブネットが、起動時刻到来前に起動しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 毎週土曜日の午前 9 時に起動するジョブがあります。先週の土曜日の 9 時は起動しないよう設定を行いましたがジョブが起動してしまいました。原因と対処方法を教えてください。

Q: chkfile.exe -wait コマンドを同時時間帯に複数のジョブネットで起動すると、あとから起動したジョブについては状態が実行遅延状態となってしまいます。原因と対処方法を教えてください。

Q: クライアント業務連携を使用して、メッセージが出るジョブを動作させましたが、コンソール画面上に表示されず、リモート接続されている別画面に表示されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブを投入するとログファイル「ジョブ名.I ジョブ番号」と「ジョブ名.log」が大量に出力されています。削除か移動をさせたいですが、操作をして問題ありませんか？

Q: グループを実行中に強制終了させ、ジョブネットをグループに追加しました。そのあと実行待ちの状態になり、「再起動」の操作で「強制終了または異常終了または確認済でないため再起動できません」が表示されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager を導入しているサーバを再起動したところ、MPJMCAL と MPJOBSCH のサービスが起動しなくなりました。イベントログにはエラーメッセージ「MpJmCal: エラー: 7: ファイル操作に失敗しました。(system_calendar)」が出力されています。原因と対処方法を教えてください。

Q: 終了予定時刻が設定されているジョブネットの制御文を出力し、「alarmtime 0500」の行を削除して、「jobschsetnet -nche」でジョブネットを変更しましたが、終了予定時刻が削除されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 実行したジョブで「MJS881S ジョブ名(jobno) COMMUNICATION ERROR OCCURRED FOR dbhost, CODE(2, 274C)」のエラーが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: PRIMECLUSTER 上に構築した Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、フェールオーバ後にプロジェクトのアクセス権を選択した際、「プロジェクトのアクセス権情報が存在しません（2:3）」が表示されます。設定情報は表示されません、また追加操作もできません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアイトからジョブネットの出力情報を開こうとした際に、「出力ファイルのオープンに失敗しました」、「MpJobsch: ERROR: 0412: fopen() Too many open files」、および「MpJobsch: ERROR: 0151: The jobscheduler failed to read job net output information.」のエラーメッセージが表示されます。原因と対処を教えてください。

Q: 毎日起動予定のグループが本日起動しませんでした。原因を教えてください。

Q: グループに所属するジョブネットが「異常終了」し、再起動してジョブネットの状態は「正常終了」になりましたが、グループの状態が「警告」になっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: ファイアウォールから、制限しているポート番号 9327 による通信が行われた旨の「AP: MpCNappl: ERROR: 106: ネットワークで事象が発生しました。」というトラップ通知がありました。ポート番号 9327 は、Systemwalker Opration Manager で使用したようです。原因と対処方法を教えてください。

Q: グループ内ジョブネットの起動日を変更しましたが、起動予定日時が反映されません。正常な動作ですか？

Q: キューの追加を行い、Systemwalker Operation Manager を再起動したところ、既存のキューの多重度が変更されてしまいました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition が、クラスタ環境で使用する状態遷移プロシジャリソースのリソース異常監視間隔および監視ロジックについて教えてください。

Q: fcopysvr を使用したファイル転送をしたところ、転送元ファイルが存在するにもかかわらず、「0xB52B(0x0) 転送元ファイルが見つかりません。」というエラーメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットが異常終了したため確認操作をしようとしましたが、［確認］がグレーアウトされた状態です。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager の処理が遅い状態となっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットがエラーになった場合、Systemwalker Centric Manager に通知する設定にしています。しかし、ジョブが異常終了しても、Systemwalker Centric Manager に通知がされませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: jobschsetnet コマンドを実行時に「MpJobsch: ERROR: 0084: パラメタに誤りがあります 3 行目です」が出力されて、ジョブが異常終了となります。原因と対処方法を教えてください。

Q: cpio コマンドを実行してシステムのバックアップを行っていますが、mjespool ディレクトリ配下のいくつかのファイルのバックアップの取得に失敗してしまいます。原因と対処方法を教えてください。

Q: OS のファイルシステムごとバックアップ／リストア(Solaris の場合:ufsdump／ufsrestore コマンド)を実施したとき、Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？

Q: ポリシーの抽出および配付をしたところ、抽出元と配付先のサーバでファイルサイズの異なるファイルがあります。問題はありますか？

Q: ポリシー抽出で抽出したポリシー情報は、どこに格納されますか？

Q: ターミナルサービスを使ってサーバをリモートで操作したとき、Systemwalker Operation Manager のジョブを登録するコマンドがエラーになります。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 でジョブネットを実行した際に、「MpJobsch:エラー :7300:func=GetTsct : OpenFileMapping() 2:指定されたファイルが見つかりません。」というエラーメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ［登録－ジョブ］ウィンドウの表示が、クライアントによって異なります。原因と対処方法を教えてください。

Q: 電源制御設定で、リブートを毎日 4:00 に実行しています。2 回リブートが実行されました。確認したところ、システム時刻を変更しているようです。2 回リブートが実行された原因を教えてください。

Q: jobschprint コマンドおよび jobschsetnet コマンドでジョブネット情報を登録した際に、V13.2.0 以前ではジョブネット内のジョブの並びが崩れてしまう現象が発生しています。原因と対処方法を教えてください。

Q: 「MpJobsch:エラー:7300:サービス: func=JOBSCH_dbfile_open:CreateFile()32:プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。」および「MpJobsch:エラー:6046:サービス :ログ情報の書き込みに失敗しました」というメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブの実行が起動予定時刻よりも遅れます。原因と対処方法を教えてください。

Q: グループ内の並列した 2 つのジョブネットのうち、1 つが異常終了した場合、再起動することができませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を Microsoft(R) Fail Over Clustering のクラスタシステム上で運用しています。クラスタ構成の待機ノードでバックアップしてリストアしたところ、正常にリストアできませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: Windows スケジュールサーバから Linux 実行サーバへネットワークジョブを実行すると、認証エラー（0x40000913）が表示され、ジョブが異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用（1:1 運用待機、サブシステムなし）をしています。運用系サーバから待機系のサーバに対してジョブを投入できますか？

Q: swadmin グループに参加しているのにもかかわらず、「Not registered to swadmin group.」のメッセージでジョブ実行に失敗します。原因と対処方法について教えてください。

Q: ジョブネット（共有リソースオンライン）が終了コード（243）で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 別サーバの Systemwalker Operation Manager と連携させてジョブを実行していますが、mpjobsch error ; 7300 と 8418 のエラーが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: 運用予定でジョブネットの起動日を設定しましたが、後日確認すると設定内容がリセットされていました。原因と対処方法を教えてください。

Q: メッセージ事象と起動時刻を待ち合わせているジョブネットが、メッセージ受信前に起動されます。

Q: Systemwalker Operation Manager で、あるキューに対してジョブネットを実行すると「終了コード：243 ジョブの出力情報：No Such Queue : bunsan_Queue3. Job not Queue Queued」と出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: クライアント業務連携を実行するジョブを起動すると「0xb007(0x410e): 業務連携エンジンへの処理開始要求が受け付けられませんでした（10061）」のエラーが発生します。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager 運用中のシステムで、サーバシャットダウンから 2 時間ほど経過してから、ジョブが終了コード 239 で異常終了の通知がされました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットを選択し［ジョブ一覧］ウィンドウ上で、［発生状況］をクリックしても、メッセージ事象の発生回数が「0」のままになっているものがあります。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブの異常終了後に、確認処理をしていないのにもかかわらず、ジョブが実行されているようです。原因と対処方法を教えてください。

Q: initfile.txt（Solaris 版、Linux 版、HP-UX 版、AIX 版の場合は、initfile）を編集し、キューの設定をしましたが、設定結果が反映されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブで、リモートサーバ上での認証処理がエラー（0x40000913）となりました。原因と対処方法を教えてください

Q: ジョブネットが疑似正常終了しています。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットが異常終了しました。「MpJobsch，エラー，サービス ，7300，N/A，HANBAIDB，func=JOBSCH_dbfile_write:WriteFile() 112:ディスクに十分な空き領域がありません。」のメッセージが出力されていますが、実際の空き容量は余裕のある状態です。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を Microsoft(R) Fail Over Clustering のクラスタ構成で運用しています。信頼ホストの定義から特定サーバを削除する方法を運用系・待機系それぞれについて教えてください。

Q: ジョブが「MJS810E RECEIVE : STDOUT FILE NOT FOUND ON <ホスト名>」のログを出力し、RC=255(0x40000008)で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: Administrator のパスワードを変更するとジョブが「ユーザ名、またはパスワードが誤っています。」「error code=255(40000913)」で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［テストモード］シートの［仮想時間の設定］で過去日に変更しましたが、反映されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition でクラスタ運用しています。クラスタの運用系で MpJobsch と MpMjes のスタートアップの種類が［手動］となっていても、soperationmgr コマンドで起動され、クラスタリソースもオンラインとなります。原因と対処方法を教えてください。

Q: グループ内に複数のジョブネットがある構成で、いくつかのジョブネットを無効にしています。グループ内の先頭のジョブネットが起動時刻を迎えて起動しましたが、後続のジョブネットが実行待ちのまま起動されませんでした。原因を教えてください。

Q: jobschmsgevent コマンドでメッセージ事象を発生させようとしたところ「エラーコード：6052 間違った形式です」というエラーでジョブが異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 複数サーバ監視ウィンドウから操作対象サーバを選ぶと、ユーザー認証ウィンドウは表示されますが、ID およびパスワードを入力しても操作対象サーバに接続できず、タイムアウトが発生しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: jobdb1.log を退避するジョブが異常終了となりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットの起動条件として、時刻とメッセージ事象の待ち合わせで登録している場合、起動時刻到来とメッセージ事象発生の OR 条件でジョブネットを起動させる方法を教えてください。

Q: ジョブ内でネットワークドライブ接続を実行しています。その状態で OS 再起動すると、ジョブ内で参照しているネットワークドライブ先のファイルを参照できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブを実行すると、［ファイルのコード変換を行う］の定義をしているにもかかわらず、「コード変換に失敗しました」のメッセー

ジが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: 起動時刻とメッセージ事象の AND 条件で起動するグループ内ジョブネットを定義しています。通常は時刻経過後にメッセージを受けて起動しますが、時刻を迎えた時点で起動してしまいました。原因と対処方法を教えてください。

Q: スケジュールサーバを Linux、実行サーバを Windows で運用しています。業務アプリケーション連携の execacli コマンドの/ae パラメタで、パス名に空白がないにもかかわらず「ae オプションに無効な指定が行われました。」のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブとして実行すると正常終了しますが、ローカルで実行すると異常終了してしまいます。原因と対処方法を教えてください。

Q: クライアントでサーバに接続すると「コネクト要求が拒否されました。Systemwalker Operation Manager サーバが起動されていないか、～」のメッセージが出力されます。原因を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。jmmode コマンドで実行継続モードを変更しようとしましたが、変更されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。サーバ再起動時に Systemwalker Operation Manager の OMGRMONITOR リソースが Fault となり、userApplication の自動起動に失敗します。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブスケジューラのサービス／デーモンが起動していないことがあります。原因を教えてください。

Q: ガントチャートの日付が未来の日付になっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。「FJSVcluster: ERROR: prmd: 6782: The process (/opt/FJSVJMCMN/etc/script/omgr_smonitor) was not able to be executed. (errno:2)」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 7 時 50 分に起動するジョブネットがあり、6 月 13 日を非起動日としましたが、起動してしまいました。日変わり時刻は 7 時 55 分です。なぜ起動したのか教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。クラスタ起動時に「MpJobsch: INFO: 0346: 0x0173c005　The IPC resource which corresponded to this key was made.」が SYSLOG に出力されます。メッセージの意味と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理機能（V13.3.1 以前ではスケジュール分散機能）を利用しています。配付したジョブスケジュールが突然消えたため、ジョブが動きません。原因を教えてください。

Q: ジョブネット全体を無効化したあとで、他のスケジュールサーバから抽出したポリシーを無効化したスケジュールサーバへポリシー配付したところ、無効化が解除されジョブが起動してしまいました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブ登録画面の［詳細情報］シートで［実行ユーザ名］を指定すると、255 のエラーを出力しジョブが実行できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 異常終了したジョブネットについて、異常終了の原因を取り除いたあと、何か操作は必要ですか？

Q: 実行継続モードを設定しているにもかかわらず、ネットワークジョブ実行中にスケジュールサーバの再起動をすると、ジョブが 239 で異常終了となります。理由を教えてください。

Q: デーモンを再起動した時に、一部のデーモンが起動しない現象が発生しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: jobschsetnet コマンドにおいて、ジョブネットの req_host の更新が行えず、「エラー：MpJobsch: ERROR: 0086: job に誤りがあります」が出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合はスケジュール分散）機能を利用しています。日ごとスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合は、運用日管理スケジュール）のマスタ設定を行ったプロジェクトのアクセス権が、未来のプロジェクトに反映されません。原因と対処方法を教えください。

Q: ネットワークジョブ起動が失敗します。「MJS819E USERNAME username REFUSED BY HOST(xxxxxx)，BECAUSE PERMISSION DENIED」のエラーが出力され、終了コード「255 (0x40000913)」で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合は、スケジュール分散）機能を利用しています。日変わり時刻が 0:00 で、起動予定時刻が 0:01 のジョブネットが、0:05 に起動されてしまいます。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。f3crhcs2（カレンダデーモン）が起動していません。原因を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。非運用系の待機ノードで、オンラインバックアップを行ったところ、「errno = 2、Server error occured in component : bkmjs」のエラーが発生してバックアップに失敗しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: qsub コマンドでサブミットしたジョブが、約 1 時間後に実行されたようです。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 の環境において、コンソール上から jobschmsgevent コマンドで可変パラメタを指定しましたが、「MpJobsch: ERROR: 0323」が出力されて実行できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: グループ実行中に Systemwalker Operation Manager のサービスを再起動しても、グループが異常終了せずに実行中になります。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブが、実行中のままとなり終了しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 特定のキューだけ停止しています。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしていま

す。マニュアルに従って、Systemwalker Operation Manager を停止したあと、mppviewo コマンドで停止状況を確認しましたが、MpFwsec プロセスが停止されませんでした。原因を教えてください。

Q: グループを強制終了した状態で、グループに登録しているジョブネットを削除すると、未来の日付でスケジューリングされてしまいます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットでジョブを時刻起動した場合に「プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。」のエラーメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: システム時刻に遅れが発生したため、ジョブスケジューリングが基準時刻と合わない状況となりました。対処方法を教えてください。

Q: 運用環境保守ウィザードで運用環境の復元をしたところ、イベントログにエラー「Failed to restore the data」が発生しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブ実行中にサーバを再起動すると、ジョブが異常終了してしまいます。このような状況での正しいサーバの停止／起動方法を教えてください。

Q: セキュリティ製品で保護しているディレクトリに、Systemwalker Operation Manager のプロセスである mjsini がアクセスして、セキュリティのメッセージが 100 個ほど出力されています。原因と対処方法を教えてください。

Q: 「MpJmSrv: ERRPOR: 0037: An error has been detected in Systemwalker ACL Manager (API). (code = 16, 0)」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: プロジェクトを参照すると画面が応答しなくなり、「×」ボタンで画面を閉じました。このとき「MpJobsch:ERROR:0412:read() Connection refused」メッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブの同時実行数を 999 にして ls だけのジョブ 300 個を同時実行したところ、200 個を越えた辺りから遅延します。通常 ls コマンドは、1 分程度で終了しますが、200 個を越えると 5 分ぐらいかかります。原因と対処方法を教えてください。

Q: あるアカウントで Systemwalker Operation Manager のクライアントにログインしましたが、プロジェクトを作成できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Job Designer で「起動日雛形名」にカンマ“，”を含む文字列を追加したところ、「オペランドに入力不可能な文字があります。」というエラーが表示されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブ実行時に「MJS881S:COMMUNICATION ERROR OCCURRED FOR ホスト名，CODE(3，0000)」が出力され、ジョブが失敗しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: jobschcontrol コマンドを実行すると「MpJobsch: ERROR: 0275: プロジェクト名が指定されていません」が発生し、ジョブが異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブの実行に遅延が発生します。原因と対処方法を教えてください。

Q: qstat コマンドでキューの状態表示を確認すると、投入可能ジョブ数が多重度（maxexec）を超えていないのにキューイング中ジョブ数 （que）に「1」が表示されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 保守情報の収集ツールを実行した際に以下のようなエラーが発生しました。原因と対処方法を教えてください。

```
＜保守情報の収集ツールの実行結果＞
  *** INFORMATION ***
  It collected in the following environments.
  (LANG=ja)
  Could not collect the following files due to the following errors.
  Copy these files manually to an appropriate location for each function.
  [FJSVMJS]
  cpio: ”/var/spool/mjes/mjespool/_work/stdout/48805” の fstatat() 中にエラーが発生しました,
  errno 2, ファイルもディレクトリもありません。
  cpio: ”/var/spool/mjes/mjespool/_work/stdout/48817” の fstatat() 中にエラーが発生しました,
  errno 2, ファイルもディレクトリもありません。
     ：：：～省略～（類似メッセージが多数出ている）
  cpio: ”/var/spool/mjes/mjespool/queue1/49011” の fstatat() 中にエラーが発生しました,
  errno 2, ファイルもディレクトリもありません。
  5611008 ブロック
  24 個のエラー
  /var/spool/mjes,br>
```

なお、上記エラーメッセージの後に、以下のメッセージも出力されていました。

Systemwalker Operation Manager information has collected successfully.

Q: 翌日の時刻起動のスケジュールを行っているにもかかわらず、画面の「起動予定日時」に時間が表示されません。原因を教えてください。

Q: グループ内に登録した先行 2 つのジョブネットよりも 3 番目が早く実行されていました。ジョブネットの実行順序を無視して 3 番目が実行されるのはなぜなのですか？

Q: スクリプト単体で実行した際の set の内容と、Systemwalker Operation Manager で同スクリプトを実行した際の set の内容が異なります。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブの実行優先度を指定してジョブを実行しましたが、ジョブの実行優先順位が 31 になっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: 「stdout」というファイルが増えてディスクを圧迫しています。原因と対処方法を教えてください。

Q: 前年にクライアントからエクスポートした CSV ファイルを今年インポートしたところ、ビットパターンの部分でエラーとなりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。mpbko コマンドで取得したバックアップデータを、サイズを大きくした共有ディスクにマウントポイントを変更し、mprso コマンドでリストアしましたが、データがリストアされていません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で、メッセージと時刻の両方で起動するジョブネットを定義しています。メッセージが発生していない状態で起動予定時刻になった場合に、SYSLOG に「MpJobsch 0310」の WARNING が出力されます。本メッセージの出力を抑止する方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、ホスト側の TSS ユーザーID のパスワードを変更した際に、ジョブ連携ができなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブの終了コードの意味が分かりません。

Q: ジョブが異常終了しました。異常終了したジョブの後続ジョブから起動させたい場合の対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットに登録したシェルスクリプト内で、カレントディレクトリ上のコマンドが NOT FOUND となり実行することができません。原因と対処方法を教えてください。

Q: プロジェクト名に半角括弧「(」および「)」が入っていると、jobschprint -r がエラーとなります。原因と対処方法を教えてください。

Q: サーバとクライアント間の通信が切れてしまい、クライアントからジョブネットの状態が確認できない状況になりました。サーバ側でジョブネットを操作する方法を教えてください。

Q: 「fctrlsvr /delete」コマンドで削除されないファイルが存在します。原因と対処方法を教えてください。

Q: スケジュールサーバから実行サーバにネットワークジョブを投入した際、実行サーバの処理はすぐに終了しますが、スケジュールサーバでジョブの状態が更新されるまでに時間がかかります。原因と対処方法を教えてください。

Q: システム起動時にメッセージ発行するジョブネットを作成していますが、本年最初の定期リブート時にそのジョブネットが実行されませんでした。原因と対処方法について教えてください。

Q: システムカレンダ情報が、年が変わったタイミングで、すべてクリアされてしまいました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 夜間バッチが動作する時間帯に複数のジョブが例外コード：0xc0000142 で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: 「MpAosfP: エラー: 156: 電源停止コマンド（MpStpSv.EXE）がみつかりませんでした。電源制御ソフトウェア、およびシステムパスの設定を確認してください。」のエラーが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブが終了コード 239 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager サーバで「AP:MpJobsch: エラー: 9002:ジョブネット :ジョブネットが異常終了しましたジョブネット名称=xxxx ジョブネット名=yyyy コード=2 プロジェクト名=zzzz」と出力されました。原因と対処について教えてください。

Q: ジョブが終了コード 9 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 異常終了したジョブネットが次回の起動時刻で起動するかどうかについて教えてください。

Q: 3 か月に 1 度実行するジョブネット A と日次ジョブネット B を、A→B の順にシーケンシャルに実行する方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ジョブネット実行中にサーバ再起動を行ったところ、ジョブネットが終了コード 239 で異常終了しましたが、Systemwalker Centric Manaegr に通知されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 新規に追加したジョブネットの起動条件を［サーバ起動時に起動］に設定しましたが、サーバを再起動しても対象ジョブネットが起動されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブとして top コマンドを実行するとエラーとなります。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブが「abnormal end code=255.(40000322)」で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 1 クライアントでジョブネットの履歴を参照すると、他のクライアントで応答が返ってきません。原因と対処方法を教えてください。

Q: FCOPYSVR.EXE ファイル転送コマンドが、「0xb005(0x0): 転送元ユーザのパスワード取得に失敗しました。（指定したユーザは登録されていません。）」（V13.2.0 以降では、「0xb005: 転送元アクセスユーザのパスワード取得に失敗しました。」）で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: OS のシステム日付を未来から過去に戻したところ、カレンダの日付は戻らず、ジョブネットも終了状態のままです。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブが実行中のまま終了しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブ実行履歴にアプリケーションによるエラーが出力され、実際ジョブネットが動かない状態になっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: クライアント画面で特定のプロジェクトを選択して、［セキュリティ］－［アクセス権］を操作すると、［アクセス権設定］画面が表示されますが、「ドメイン名の一覧が取得できませんでした」というメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: 終了コード:255 であるにもかかわらず正常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: メッセージ起動するジョブネットが実行中にメッセージ事象が再度発生しましたが、ジョブネットが終了後、ジョブネットは再度起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: handle.exe の実行を含むバッチファイルを Systemwalker Operation Manager のジョブで実行したところ、実行中のままジョブが終了しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: この間までバックアップ処理に失敗すると、メールでの通知がされていたのに、最近メールでの通知がされなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 異常終了のメッセージを別の端末にポップアップすることができません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 異常終了のメッセージを別の端末にポップアップすることができません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブの登録を行う際に、コマンド欄をフルパスで 記述し、かつ、ディレクトリ欄も設定した場合にネットワークジョブが起動できませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: WindowsOS のユーザーのパスワードを変更したところ、ジョブが終了コード 255（0x40000913）で異常終了するようになりまし

た。［ジョブを所有者の権限で実行する］は設定しています。原因と対処方法を教えてください。

Q: 実行継続モードの変更手順を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager をインストール中「00650:セットアップ用 DLL のロードに失敗しました」のポップアップメッセージが出力され、インストールできませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネット内のジョブが異常終了したのに、ジョブネットの状態が「異常終了」とならず、「警告状態」となりました。原因を教えてください。またこの場合に、ジョブネットの状態を「警告状態」ではなく、「異常終了」にするにはどうしたらよいですか？

Q: ファイル転送コマンド FCOPYSVR.EXE を実行すると、以下のメッセージが出力され、ファイル転送ができません。原因と対処方法を教えてください。

■Windows 版

0x29d1 (YYY): FTP サーバのログインに失敗しました

■Solaris、Linux、HP-UX、AIX 版

0xB521 FTP サーバにログインできませんでした。回線接続に失敗しました

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。クラスタ環境下で、資源を共有ディスクに移動したあとに、jmmode コマンドで実行継続モードを変更する方法を教えてください。

Q: ジョブネットの再起動をしたときに、どのジョブから実行されるのか教えてください。

Q: 先行ジョブが異常終了した場合、後続ジョブを実行待ちのままにする方法を教えてください。（2 つのジョブは別ジョブネットです。）

Q: ガントチャートで、実行待ちのジョブネットの［状況］の値が、0/5 であったり 5/5 となっていたりします。［状況］箇所の数値は何を意味しますか？

Q: 「疑似正常」を SYSLOG へ出力する定義を実施する場合、「疑似正常」のファシリティ.レベルの設定は、スケジュールサーバ側だけでよいですか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。Systemwalker Operation Manager のカレンダ情報が、運用系から待機系へ連携しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 操作ミス防止のために、［操作の確認］ダイアログボックスで設定をしていましたが、いつの間にかチェックが外れていました。元に戻す方法を教えてください。

Q: 監視画面で、業務ツリーから［ジョブスケジューラ］を選択すると「ジョブスケジューラサービスと接続中です」のメッセージ表示のまま応答がありません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。依頼元サーバ（1:1 運用待機でサブシステムなし）から各サーバ（シングル構成）／（1:1 運用待機）／（ N:1 運用待機）／（相互待機サブシステム有り）へネットワークジョブを投入し、依頼元サーバで一元管理する方法を教えてください。

Q: /var/opt/FJSVJOBSC/log/配下のファイルのアクセス権の比較を行ったところ、同じ環境のサーバで違いがありました。原因と対処方法を教えてください。

Q: グループに属する特定のジョブネットだけ起動日を変更することはできますか？またその場合、他のジョブネットに影響はありませんか？

Q: 本日分のスケジュールで実行済のグループがあります。そのグループ内のジョブネットの起動日を変更して起動しましたが、起動日が反映されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 本日実行済のグループ内のジョブネットについて追加／修正を考えています。同じ日にグループを再スケジュールさせる方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition 環境のグループ内ジョブネットを、Standard Edition 環境へ移行しようとしたところ、移行できませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットが「実行中」の状態で、サーバをリブートをしたところ、ジョブネットから起動したバッチが途中までしか処理をしませんでした。これは正常な動作ですか？

Q: 直接実行するとコマンドプロンプトが起動するジョブを、Systemwalker Operation Manager から起動したらコマンドプロンプトが起動しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 「セキュリティ」→「アクセス権」の操作をしようとすると「ドメインの一覧が取得できませんでした(0:0)」のエラーが出力されて操作ができません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。Mpsetcluster.exe クラスタ情報の登録／削除コマンドが、Windows のボリュームマウントポイント機能に対応しているか教えてください。

Q: JCL 内の file 文で印刷を行った場合、印刷の終了を待たずに次のジョブが実行されてしまいます。理由を教えてください。

Q: 投入元サーバの各サブシステムからネットワークジョブとして依頼したジョブを、投入先サーバ上のサブシステム 0 に投入する方法を教えてください。

Q: 新規ジョブネットを毎日 1 回の時刻起動で登録したいのですが、設定方法を教えてください。

Q: ジョブネットが終了コード「2」と「172」で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: jobschprint -f 0 コマンドでジョブネットの実行結果の履歴情報を出力していますが、日を持ち越した前日のジョブネットの実行履歴を得ることができません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブの実行途中でジョブの標準出力を参照する方法はありますか？

Q: 文字コードの確認方法を教えてください。

Q: ジョブの LANG 環境変数に C が設定されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブが長時間終わらないため、ジョブを強制終了し、ジョブの実行結果を確認したところ、Y/N の入力要求で止まっていました。ジョブからの入力要求に対して応答を返す方法を教えてください。

Q: ジョブが終了コード「255(000003e7)」で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: グループ内ジョブネットが異常終了したため、グループに対して確認操作を行ったが、異常終了したジョブネットは「異常終了」のままとなっています。何か対処は必要ですか？
Q: ジョブネットの現在の状態が「確認済」の場合、起動することはできるか教えてください。
Q: ジョブとしてバッチファイルを 1 つ登録しています。バッチファイル内に 3 つの処理があり、はじめの 2 つの処理が失敗していて、一番最後の処理が成功していると正常終了となりますが、これは仕様ですか？
Q: ジョブの投入先キュー名を、クライアントの GUI からではなくコマンドで指定する方法を教えてください。
Q: トラブルシューティングガイドには、デフォルトホスト名に自サーバを指定すると、1 つのジョブが 2 回起動するため多重度が消費されると記載してありますが、ジョブ投入上限値の範囲内であれば問題なく動作するということですか？
Q: ジョブに登録したアプリケーションが出力したログを［監視－ジョブ］ウィンドウ－［前回履歴］シートの［ジョブの出力情報（標準出力／標準エラー出力）］画面に表示させる方法を教えてください。
Q: ジョブネット単位にプロジェクト名、ジョブネット名称、ジョブ名、および開始時間を出力する方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のジョブとしてアプリケーションが実行している時、Systemwalker Operation Manager はどういう情報を取得して、アプリケーションの終了とジョブの終了を関連付けているのですか？
Q: ジョブのステータスで、「実行待ち」と「実行遅延」の違いを教えてください。
Q: 富士通の UpdateSite に対応しているバージョンを教えてください。
Q: hvshut コマンドおよび hvcm コマンドを使用して RMS の起動、停止する方法を教えてください。
Q: 共有ディスクに格納すべきファイルを誤って削除してしまいました。Systemwalker Operation Manager を再インストールする以外の復旧方法があれば教えてください。
Q: クライアントからの通信中に障害が起きた場合のタイムアウト時間を教えてください。
Q: 肥大化するログファイルはありますか？
Q: カレンダ設定を変更した際の影響の有無を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager の任意のプロジェクトに、ジョブを使用してシステムをリブートするジョブネットを登録し、システムをリブートする方法を教えてください。
Q: 設定ファイル「UNIX 版：/etc/mjes/initfile」「Windows 版：インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpmjessv¥user¥initfile.txt」(ジョブ実行制御の初期化ファイル)は被監視サーバでも必要ですか？
Q: RAID 電池を交換したところ、バックアップに失敗しました。RAID 電池の交換により、Systemwalker Operation Manager にどのような影響があるのか教えてください。
Q: 「The job net has started.」という Systemwalker Operation Manager のメッセージを SYSLOG に出さないようにすることはできますか？
Q: 7:00 に起動、4:00 に電源切断の設定をしています。年始だけは、8:00 に起動する場合のスケジュールの設定方法を教えてください。
Q: ジョブネットのステータスで、「End delayed」「Start delayed」「Carried over」と表示されています。この意味を教えてください。
Q: ポリシーの抽出を行う場合に、停止状態のジョブに影響があるか教えてください。
Q: ［ジョブ所有者情報の定義］ウィンドウの［状態］が定義済の状態を未定義に変更することはできますか？できるのであればその手順を教えてください。
Q: 「/etc/opt/FJSVftlo/pmon/mon_mjs.ini」ファイルについて教えてください。
Q: 日時起動のジョブネットが現在実行中で、23:59 に次のジョブネットの起動時刻を迎えます。前日に起動したものが終わらないので平行実行させたいのですが、方法を教えてください。
Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager の mpbko コマンドの-SN オプションを使用することはできますか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、単一のサーバで単一のサブシステムのスケジュールサーバから、クラスタ環境で複数サブシステムになっているサーバにネットワークジョブを実行させようとしたところ、エラーが発生しました。構成や運用形態を変更しないでネットワークジョブを投入する方法を教えてください。
Q: 環境変数追加による影響を教えてください。
Q: リモートデスクトップでサーバに接続して Systemwalker Operation Manager を起動し、ジョブスケジューラに登録されたジョブネットをダブルクリックして［監視－ジョブ］ウィンドウを開くとエラーが発生します。原因と対処方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager のジョブネットのバックアップ、リストアを行うために、mpbko コマンドと mprso コマンドを実行しました。その結果、Systemwalker Centric Manager が起動していない状態になったのですが、仕様どおりですか？
Q: BrightStor Arcserve Backup でフルバックアップを行うと、「Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MPWALKER.JM¥mpmjessv¥mjespool¥queue1¥XXXXX¥stdout」ファイルが使用中でスキップされます。原因と対処方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13 以降の、すべての修正（緊急修正・応急修正などすべて）を入手する方法を教えてください。
Q: JSHFORCE ジョブネットが実行されると、実行中のジョブネットが強制終了されます。原因と対処方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13 以降の修正を、UpdateAdvisor を使用せずに修正適用できますか？
Q: メッセージ事象を発行するジョブネットと、発行されたメッセージ事象と時刻の両方を待ち合わせているジョブネットの起動順序が入れ替わりました。原因を教えてください。
Q: 登録済みのグループ内ジョブネットに対して Systemwalker Operation Manager の画面上で起動操作を行おうとしても、「起動」がグレーアウトになっていて、操作できません。原因と対処方法を教えてください。
Q: fcopysvr コマンドでのデータ転送ジョブが異常終了します。原因と対処方法を教えてください。
Q: イベントログに「func=JMSRV_read:recv() ソケット関数にエラーが発生しました（コード=10054）」が発生しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブが終了コード 250 で異常終了し、「Unable to find the job file specified.」「Job not queued.」というメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブに登録したバッチファイルまたはシェルスクリプトを実行すると、正常に動作しているのに［前回履歴］シートの［終了コード］には「255」と出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ドメインコントローラの降格作業があり、該当サーバで Systemwalker Operation Manager のサービスが起動できなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以前において、サービスが起動しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブ自体は成功していますが、ログ上は失敗したメッセージが記録されています。原因と対処方法を教えてください。

Q: chkfile コマンドでネットワークドライブに存在するファイルをチェックすることができません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットが終了コード 256 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager の起動／停止で、soperationmgr コマンドまたは poperationmgr コマンドを実行した際、必ず「Warning /opt/systemwalker/bin/rc.mpfwsec start has been started」の Warning メッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ポリシー情報の配付時に、「配付先サーバのポリシー情報が適用されていないため、ポリシー配付できません。」というメッセージが表示されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 管理者権限で作ったジョブネットを、他のユーザーから確認できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: mpbko コマンドにより環境バックアップ処理が完了すると、Systemwalker Operation Manager のデーモン／サービスがすべて停止されてしまいました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で、以下のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

■Windows 版

MpJobsch: エラー: 7022: XXXX ジョブネットの情報にエラーレコードが見つかりました

■Solaris、Linux、HP-UX、AIX 版

MpJobsch: ERROR: 0043: XXXX ジョブネット情報ファイルの読み込みに失敗しました

Q: ジョブネットの間隔起動で、2100～0830 の間の 10 分間隔で設定すると、開始時刻と終了時刻が矛盾している旨の警告が出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: サーバの再起動を実施したところ、Systemwalker Operation Manager の一部のサービスが起動できなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: サーバをリブート後、メッセージ事象の発生を契機に起動するジョブネットが起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: mprso コマンドでの復元を考えていますが、バージョンアップ前に取得したバックアップデータしかありません。リストアできますか？

Q: システムをリブートしたあと、Systemwalker Operation Manager が自動起動しない時があります。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker MpJobsch サービス、および Systemwalker MpAosfB サービスが起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: 「MpPmonO: エラー: 10002: Systemwalker Operation Manager のプロセスが正常に動作しているか確認してください。」のメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットが起動予定時刻になっても起動されず、以下のメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

■Windows 版

MpJobsch:警告:4305:XXXX YYYY は起動予定時刻を過ぎても起動されませんでした

■Solaris、Linux、HP-UX、AIX 版

MpJobsch: WARNING: 0310: XXXX YYYY は起動予定時刻を過ぎても起動されませんでした

Q: ジョブネットを削除したあと、jobschprint -f コマンドで実行履歴を確認しましたが、結果が表示されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: クラスタの待機系サーバ上で「jobschprintcsv -f 1」を実行したところ、「MpJobsch: ERROR: 0016 JOBDB_PATH が見つかりません」というエラーメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットの起動と同タイミングで jobschprintcsv -n コマンド実行しますが、ジョブネットの状態が実行待ちのままとなっています。原因を教えてください。

Q: 「MpMjes: ERROR: 10092: F3CUB_LOG_PIPE open error occurred.error code=xxxx」のエラーについて、メッセージの意味、原因および対処方法を教えてください。

Q: クライアントからサーバに接続すると「ユーザ名またはパスワードが違います」というメッセージが出力されてログインできません。対処方法を教えてください。

Q: /var/tmp 配下に Systemwalker Operation Manager の複数のファイルが存在し、DISK 容量を圧迫しています。原因と対処方法を教えてください。

Q: 12 月 31 日まで起動していたジョブネットが 1 月 1 日から起動しなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットが実行されない現象が発生します。ジョブ履歴に disabled と skipped と表示があります。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットの起動をメッセージ事象だけで制御している環境で、起動日から除外したにもかかわらず、直前のジョブネットから発行されたメッセージ事象を受け取って起動してしまいました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Windows 環境から Solaris、Linux、HP-UX、AIX 環境へネットワークジョブを実行しようとしたところ、「No such user on this machine. Job not queued.」のエラーとなりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 監視ホストの定義を、クラスタ環境へポリシーの抽出と配付で移行する手順について教えてください。

Q: SYSLOG に「MpJobsch: ERROR: 0422: Failed to convert the standard output or the standard error code for the job. The job result file contains illegal characters.」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: スケジュールサーバに NIC が 2 枚あります。ネットワークジョブ運用において、実行サーバ側が、スケジュールサーバとの通信を行うにあたって、認識してほしいと思っている NIC ではない方を認識しています。これを変更する方法を教えてください。

Q: ジョブ実行履歴情報が当日と前日以外表示できません。ログ保存場所のディレクトリには 7 日分のログがあります。原因と対処方法を教えてください。

Q: サーバ間でメッセージ事象によりジョブネットを連携していますが、メッセージ発行元のメッセージ事象発生時刻より、メッセージ起動の別サーバのジョブネットの起動時刻が早い状態となっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: 時刻起動、かつメッセージ事象を待ち合わせているジョブネットのスケジュールを後日に起動するように変更しましたが、当日にメッセージを受け付けて実行されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブを実行したところ、［監視－ジョブネット］ウィンドウ－［前回履歴］シートで文字化けした内容が表示されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブ実行時に、処理の出力メッセージを確認すると stty のエラーが 1 つ表示されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブが実行中になったまま終了しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブが出力した実行ログと、Systemwalker Operation Manager の［監視－ジョブネット］ウィンドウ－［前回履歴］シートで、内容に差異があります。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブに登録した、日本語を読み込ませるシェルスクリプトが、実行時に異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: ガントチャート画面で、実行履歴があるはずのジョブネットが表示されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: qsub コマンドで-e オプション（標準エラー出力）の指定をしていますが、指定したディレクトリに出力されず、カレントディレクトリに出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: jobschchkfile コマンドで、対象とするファイル名にワイルドカードを指定しましたが、上手く動作しません。原因と対処を教えてください。

Q: ジョブネットを実行したところ，終了コード 255（40000999）で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。「MJS819E USERNAME username REFUSED BY HOST(hostname)，BECAUSE PERMISSION DENIED」

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 で、jobschprint -n コマンドを実行したところ、 以下のエラーが表示されました。原因と対処方法を教えてください。

＜エラーメッセージ＞

MpJobsch:エラー :7300:func=GetTsct:OpenFileMapping() 2:指定されたファイルが見つかりません
MpJobsch:エラー :6017:共有メモリの獲得に失敗しました
MpJobsch:エラー :6014:データベースディレクトリ(DBPATH)が間違っているか、Systemwalker MpJobsch サービスが起動されていません

Q: クライアントのガントチャートに間隔起動のジョブネットの実行履歴が一部表示されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: クライアント業務連携のオプションで待ち時間 300 秒に設定（WE に 300）してバッチファイル起動していますが、数十秒で「0xa98f（0x0）通知イベントの待ち合わせがタイムアウトしました。」が発生します。原因と対処方法を教えてください。

Q: 起動条件が時刻起動でメッセージ事象を待ち受けるジョブネットに対して、日変わり時刻が過ぎたあとにメッセージ事象を発生させましたが、ジョブネットが起動しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で起動しているジョブが終了コード：255（0x00000000）で異常終了します。終了コードの意味やジョブの出力情報が何も表示されていません。原因と対処方法を教えてください。

Q: 以下のエラーメッセージを出力して、tskmnsrv のプロセスが異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

＜エラーメッセージ＞

MpJobsch: ERROR: 0037: The daemon failed to write job net output information.
MpJobsch: INFO: 0053: The jobscheduler daemon has ended.
UX:MpPmonO: ERROR: 10002: Check if the Systemwalker Operation Manager process (tskmnsrv) is running properly.

Q: 緊急修正を適用時、「対象製品またはコンポーネントがインストールされていないか、修正適用管理簿に登録されていません。修正の適用はできません。」が発生し、適用できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: グループに対して、強制終了操作後に再起動操作を実施した際に、「強制終了または、異常終了または、確認済みでないため再起動できません。」が表示されて、再起動操作が実施できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager において、「/opt/FJSVJOBSC/etc/rc3.d/start_jobs did not start daemon」となり、soperationmgr が正常起動しません。原因と対処方法を教えてください。 SYSLOG には以下のメッセージが出力されています。「MpJobsch: ERROR: 0131: Failure in Host IP address retrieval.」

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブが終了コード:255(0x40000913)で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で、ドメインユーザー権限のユーザーに一部のジョブネットの操作権を与えましたが、ジョブネットが見えません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブネットが異常終了したにもかかわらず、イベントログまたは SYSLOG にジョブネットの実行履歴が出力されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: CSV ファイルから jobschsetnet コマンドでジョブネットを登録しようとすると、「jobname_jes」の項目に誤りがあるというエラーメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: 保守情報収集の際に「システムモードが実行モードです。インストールモードに切り替えてください。」とメッセージが出ました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Administrators 権限を持たないユーザーで Systemwalker Operation Manager にログインし、Administrators 権限が必要な処理を行うジョブを実行したところ、権限エラーにならずに、処理が完了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: jobschsetnet -nent コマンドを実行すると「MpJobsch:エラー :6071:定義ファイルがオープンできません」のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: shutdown.exe を実行しシステムをシャットダウンさせるジョブを作成し実行しましたが、終了コード 239 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以前でジョブネットを作成し、V13.3.0 以降にバージョンアップしたあと、jobschprint -r コマンドを実行しましたが、出力結果に iconposition の項目が出力されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager の間隔起動しているジョブネットから「MpJobsch: Warning: 9003: ジョブネット :ジョブネットの実行を拒否しました」というメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: バッチファイルやシェルスクリプトをジョブとして実行していますが、標準出力された情報が前回履歴に表示されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブを実行時に「例外コード 0xc0000142」で異常終了しました。マニュアル「トラブルシューティングガイド」の対処方法にあるデスクトップヒープのサイズを調整することによる影響を教えてください。

Q: ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートで、［実行中断］にチェックを入れましたが、実行中断が発生した際に、「9002/ジョブネットが異常終了しました」というイベントがイベントログに出力され、実行中断であることが分かりません。対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 において、スタートアップアカウントの変更後、ジョブが正常に起動しません。なお、前回履歴に「クライアントは、要求された特権を保有しておりません」と表示されています。原因と対処方法を教えてください。

Q: ポリシー配付後に Systemwalker Operation Manager のサービスを再起動すると、Systemwalker MpMjes サービスが起動されなくなり「MpMjes: エラー: 6107: record パラメタの path オペランドに記述したディレクトリを見つけられませんでした。」のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: 「プロトコルデータの受信ができませんでした」というポップアップメッセージが表示されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 終了処理ジョブネット内のジョブが異常終了した場合、再起動を実施しても「終了処理中のため指定の操作はできません。」というメッセージが表示され実行できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ドメインユーザーをプロジェクトの所有者に設定しようとしたところ、「指定のプロジェクトにはアクセス権がありません。」のメッセージが出力され、プロジェクトの所有者に設定できません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition から抽出したポリシーを、Systemwalker Operation Manager Standard Edition に配付できますか？

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブがエラーコード（0x40000322）で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

＜ジョブ実行制御の前回履歴メッセージ＞

ジョブ実行制御：ジョブ job-name（jobno.hostname）はジョブの実行経過時間の制限値を超えたため強制終了しました。終了コードは 0x40000322 です。

Q: バッチ処理で jobschmsgevent を実行し、発生したメッセージを受信して起動するジョブネットがあり、そのジョブネットを続けて複数回実行させると、イベントログに「MpJobsch: エラー: 7435: XXXX YYYY ZZZZ 可変パラメタが指定されたメッセージ事象は無視されました」が出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネット 1（毎日 8:00 起動）、ジョブネット 2（毎月曜日 10:00 起動）が存在しています。ジョブネット 1 の処理が 2 時間以上かかり、ジョブネット 2 の起動に重なる場合があるため、これを避ける方法を教えてください。

Q: VBS ファイルをジョブとして登録し、実行した際に異常終了となります。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブ実行時に、指定されたパラメタの一部が渡りません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブのコマンド欄に「C:¥Program Files¥....¥xxx.exe」のように指定すると「Unable to find the job file specified. Job not queued.」のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Centric Manager で以下の Systemwalker Operation Manager のメッセージを検知しました。「MpJobsch: 警告: 9004:ジョブネット :ジョブネットの実行をスキップしました」原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager からジョブを実行したところ、追加したシステム環境変数が参照できていません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブで常駐プログラムを起動したところ、設定された打ち切り時間で実行サーバのプロセスが強制終了されました。ネットワークジョブの場合でも、実行サーバ上のプロセスを強制終了するのですか？

Q: 常駐アプリケーションを Systemwalker Operation Manager のジョブとして実行したのですが、実行中のまま終了しません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットの定義情報をエクスポートし、別のサーバへインポートしたところ、ジョブネットメモが登録されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降の監査ログの内容を確認したところ、以下のとおり、「RESTART_JOBNET」の返り値に「F」が記録されていますが、実際にジョブが起動されているログがありません。原因と対処方法を教えてください。

"RESTART_JOBNET","SUBSYSTEM=0;PROJECT=プロジェクト名;JOBNET=ジョブネット名;","ジョブネットを再起動します。",F, "MPJOBSCH","PID=xxxx;",

Q: イベント監視の条件を保存したところ、「29 行目にすべてのメッセージに一致する条件が定義されています…」というメッセージが表示されました。これはどういう意味ですか？

Q: Systemwalker Operation Manager 上でネットワークジョブを利用したジョブが異常終了（0xC0000005）しています。実際のジョブ自体は正常終了しているにもかかわらず、Systemwalker Operation Manager 上では異常終了と判断されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットから起動したバッチファイルが、「jobschExit: エラー: 399:ジョブネットが異常終了しました。～例外コードは 0xc0000005 です」で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

Q: バッチファイルの中で、「echo %username%」を実行しても、Systemwalker Operation Manager のサービスのログオンアカウントが表示されてしまいます。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブで Arcserve のスクリプトを使用し、バックアップを実行すると、「Get equiv failed ... reason : No equivalence exists for this user/host pair」のメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager を運用しているサーバで、標準出力ファイルが肥大化し、ハードディスクの空き容量がなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブの前回履歴に「""の使い方が誤っています。」と出力され、終了コード:255（0x00000000）でジョブが終了します。原因と対処方法を教えください。

Q: バッチファイルの復帰コードとして、setecode コマンド以外の値が引き継がれます。原因と対処方法を教えてください。

Q: アプリケーション起動コマンド（EXECASVR.EXE）を使用して、バッチファイルから Windows サービスを開始するように設定し、正常終了したのですが、実際には実行できていません。手動でコマンドを実行した場合は、問題なく正常に実行されています。原因と対処方法を教えてください。

Q: Java のプログラムをバッチファイルとして Systemwalker Operation Manager のジョブに登録して実行したところ、「実行中」のまま終了しません。バッチファイルの中で設定している環境変数:JAVA_HOME を、JRockit 環境にして実行した場合は Systemwalker Operation Manager は「実行中」のままとなり終了しませんが、JRE 環境にした場合は正常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降において、GUI からエクスポートで出力した CSV ファイルを使用して、jobschsetnet -nent コマンドや jobschsetnet -nche コマンドで登録することができません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ガントチャートおよびジョブネット履歴で、1 日に 1 回しか起動しないはずのグループ配下のジョブネットが 1 日に 2 回実行しているように見えます。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Centric Manager と共存している環境で、Systemwalker Operation Manager の poperationmgr コマンドを実行しましたが、停止されないサービスがあります。原因と対処方法を教えてください。

Q: Job Designer において、Operation ワークシートで登録形態を「削除」とし、ジョブネット削除用のバッチジョブを作成すると、「オペランドの項目長が指定された長さを超えています」というエラーメッセージが出力されます。ファイル名は半角 160 文字以内で指定しています。原因と対処方法を教えてください。

Q: 異なる起動時刻が設定されている 3 つのジョブネットをグループとして登録しました。仮想時間を設定し、グループに含まれるジョブネットが設定した時刻どおりに起動するかどうかを確認したところ、意図していない起動時刻以前のジョブネットが起動されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: クライアント業務連携の電源切断コマンド（POFFCLI.EXE）の「/SD」オプションに「down」を指定して電源を切断しようとしましたが、「電源が切れる状態になりました」の状態で止まってしまいました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 前日にジョブネットが異常終了し、そのままなにも操作せずにいたところ、翌日もスケジュールどおりに起動され、再度異常終了しました。前日に異常終了した場合、翌日以降の起動は抑止したいのですが、そのような運用はできますか？

Q: 複数サーバ監視の画面で、サーバの状態が接続不可やアクセス拒否となっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: ポリシー情報の配付を実施すると、「Systemwalker MpMjes サービスの開始に失敗しました。コード=0x607」のエラーメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

Q: 疑似正常終了が表示されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブ実行時のカレントディレクトリが意図しないディレクトリになっています。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のバッチファイルから rsh を実行する時、実行ユーザーに Administrator を指定しましたが、systemwalker ユーザーで実行され、ジョブが異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネット履歴を参照しようとすると、砂時計のマークが出たままになり、応答がなくなります。原因と対処方法を教えてください。

Q: ネットワークジョブを動作させたところ、「終了コード:255(0x40000132)ネットワークジョブにおいて回線エラー、相手サーバーダウンなど、ジョブの続行が不可能になりました」というエラーが表示されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のプロジェクトに対するアクセス権の設定を Active Directory のグループに対して行いましたが、そのグループに所属しているユーザーでログオンしてもプロジェクトが見えない状態です。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブネットにジョブを追加しましたが、ジョブの［コマンド］欄に Windows のコマンドである「date /t」を入力をするとエラーになります。原因と対処方法を教えください。

Q: ジョブが異常終了しました。異常終了したジョブ以降の特定のジョブから起動させたい場合の対処方法を教えてください。

Q: 拡張ユーザ管理機能で作成した Operation Manager ユーザーをプロジェクトのアクセス権の設定で使用することはできますか？

Q: ジョブネットが異常終了した場合に、メールで管理者に通知させる方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ環境でのログファイルサイズの変更手順を教えてください。

Q: イベントログに出力されるイベント ID が、［9002］の場合はすべて異常終了のメッセージですか？

Q: 日をまたぐ処理を実施する際に、24 時間表記ではなく 48 時間表記にできますか？

Q: ジョブ登録時のディレクトリ指定で、ディレクトリ名に空白が含まれている場合の登録方法を教えてください。
Q: スケジュールサーバと実行サーバの間でシステム時刻に差がある場合、何か問題はありますか？
Q: 無効期間を指定したジョブネットが起動されてしまいました。原因と対処方法を教えてください。
Q: ジョブネット内の特定のジョブだけ特定の日付に起動しないような設定はできますか？
Q: jobschcontrol コマンドはジョブネット単位でジョブネットの操作を行うコマンドですが、ジョブ単位の操作を行うコマンドはありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ジョブネットに［実行予測時間］を設定し、［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］を有効にしていますが、ジョブネットの実行が実行予測時間を超過した場合に Systemwalker Centric Manager へメッセージが通知されません。原因と対処方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 を V13.4.0 にバージョンアップしたときに、jobschmsgevent コマンドはそのまま使用できますか？
Q: サーバ起動時にジョブネットを起動する方法を教えてください。
Q: 終了処理ジョブネットを作成しましたが、シャットダウンできません。原因と対処方法を教えてください。
Q: あるジョブの処理が、想定している実行時間より長くかかっている場合に、処理を打ち切って再起動する方法を教えてください。
Q: ガントチャートで過去の実績を参照すると、表示されるまでに時間がかかります。原因と対処方法を教えてください。
Q: プロジェクトの所有者と実行ユーザー名の両方が設定されていた場合に、スケジュールジョブはどちらの権限で実行されますか？
Q: 実行サーバ側で、ジョブ実行履歴を確認する方法を教えてください。
Q: メッセージ起動するジョブネットを定義しています。このジョブネットが、メッセージ事象が発生したにもかかわらず、起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。
Q: BrightStor Arcserve Backup r11.5 のバックアップジョブを Systemwalker Operation Manager のジョブネットに組み込んで実施していますが、終了コード"25"が出力されました。原因と対処方法を教えてください。
Q: ジョブネット遅延監視の設定をしていますが、警告メッセージが SYSLOG に記録されません。原因と対処方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager クライアントで、ホスト名／ユーザーID／パスワードを指定し［ログイン］ボタンを押すと、待機状態（砂時計）になってしまいログインできません。原因と対処方法を教えてください。
Q: ジョブから起動しているバッチファイル内で、処理がすべて正常終了した場合に「setecode 0」を設定しています。本ジョブがエラーメッセージ「ジョブ実行制御：ジョブ XXXXX の実行中に例外が発生しました。例外コードは 0xc0000005 です。」を出力して異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。
Q: ジョブとしてバッチファイルを起動すると終了コード 255（0xe0434f4d）が出力されました。原因と対処方法を教えてください。
Q: ファイル作成を待つ（chkfile/jobschchkfile）ジョブを定義しています。本ジョブが、ファイル作成途中にもかかわらず正常終了し、後続ジョブが実行されてしまいました。 原因と対処方法を教えてください。
Q: 親ジョブネットの起動日を月曜日から金曜日、子ジョブネットの起動日を月曜日から土曜日と設定していていますが、子ジョブネットが土曜日に起動しません。子ジョブネットを土曜日に起動させるための設定方法を教えてください。
Q: 新規のキューを作成する際、反映させるにはサービス／デーモンの再起動が必要だと聞きました。事前に新規のキューを作成する設定だけしておいて、数日後にサービス／デーモンを再起動させても問題ないですか？
Q: Systemwalker Operation Manager を運用中に、運用予定のないジョブネットの一括削除を行った場合、ジョブネットの実行に遅延が生じることはありますか？
Q: 出力されるジョブ／ジョブネットに関するログについて、説明されているマニュアル箇所を教えてください。
Q: キューの多重度とそのキューで実行中のジョブ総数を確認する方法を教えてください。
Q: [アクション環境設定]ダイアログボックス-[メール]シートの[SMTP サーバ]に IP アドレスを記載しています。将来的に IP アドレスが変更になることを考慮して、これをホスト名に変更しても問題ないですか？
Q: 子ジョブネットやリンクジョブネットに対する「起動」操作はできますか？
Q: ジョブ実行制御の初期化ファイルには、GUI から設定した内容が反映されますか？
Q: 日変わり時刻を 7 時 00 分に設定しています。jobschchecktime コマンドのオプションで「-wt 0800」を指定して、本コマンドが 24 時 00 分に実行された場合、翌日の 8 時 00 分までコマンド実行を待ち合わせますか？
Q: システム時刻を変更する場合に、Systemwalker Operation Manager でバックアップしておくべきファイルを教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager が動作しているサーバが、ドメインコントローラとして動作しています。このサーバをドメインコントローラから降格させるときに、Systemwalker Operation Manager について必要な作業手順を教えてください。
Q: メッセージ「MpJobsch: WARNING: 0332: The job net has skipped. JobNetComment=XXXX JobNetName=YYYY ProjectName=ZZZZ」が出力されました。メッセージが出力された原因と出力させない方法を教えてください。
Q: 起動パラメタの定義の[イベント出力の詳細設定]ウィンドウで設定を変更した場合、すぐに有効になりますか？
Q: 「実行継続モード」とは何ですか？
Q: 強制終了させたジョブは実行させずに、次のジョブから実行させるには、どうしたらいいですか？
Q: Systemwalker Operation Manager のサーバ間で、ネットワークジョブを使用してジョブの実行制御を行いたいと考えています。サブシステム運用でなくても使用できますか？
Q: 手動で起動したジョブの実行時間が一定以上経過した場合にタイムアウト検知がしたいのですが、ジョブを強制終了させる場合も併せて、設定方法を教えてください。
Q: テスト用に作成したキューが不要となったため削除します。反映するにはサービス／デーモンの再起動が必要なため、すぐには反映させず、1 週間後に反映させる予定です。これにより何か不具合は生じますか？
Q: 環境変数である JC_JOBNAME について、ネットワークジョブの場合はジョブ名の末尾に「_」（アンダーバー）が付加されますか？
Q: Systemwalker Operation Manager から実行したバッチジョブの結果と直接バッチジョブを起動した場合の結果とが異なていま

す。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager のポリシー抽出／配付で、[カレンダ]と[スケジュール・起動日雛形]の移行を行いましたが、一部のジョブネットの起動日が反映されていません。原因を教えてください。

Q: 前日に実行予定だったグループが実行待ちの状態になっています。前日分のスケジュールを破棄し、本日分をスケジュールする方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager に登録されたグループが、実行待ちの状態で日変わり時刻を迎えました。翌日も該当グループの起動予定がある場合、どのように起動されますか？

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0 をインストールしましたが、スタートアップアカウントの入力画面がなく、スタートアップアカウントは作成されませんでした。Systemwalker Operation Manager は、どんな権限で動作しますか？

Q: Systemwalker Operation Manager サーバでアクション実行機能を使い、ジョブネットが終了するとクライアントへポップアップ通知する設定をしていますが、ポップアップ通知がされない場合があります。原因と対処方法を教えてください。

Q: ジョブスケジューラに登録されているプロジェクト単位、またはジョブスケジューラ自体を無効化することはできますか？

Q: プロジェクトに付与するアクセス権の設定において、ドメインのグループに対してアクセス権を付与することはできますか？

Q: ジョブネット内の先行ジョブが終わっても、後続ジョブをすぐに起動したくない場合、意図的に先行ジョブの終了を遅らせることはできますか？

Q: ジョブネットが疑似正常終了をした場合のイベントを、Systemwalker Centric Manager で検知させメールを送付するアクションを定義していますが、疑似正常終了してもメールが送付されません。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager で、実行中のグループに当日起動予定のジョブネットを追加しましたが、起動時刻が到来しても該当ジョブネットが起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。

Q: 強制終了させたジョブを再起動させる方法を教えてください。

Q: 同時に起動できるジョブ数（多重度）の制限値を教えてください。

Q: 実行サーバの Systemwalker MpMjes サービスのスタートアップアカウントを「administrator」に変更しました。ネットワークジョブで使用したい環境変数は、「administrator」のユーザー環境変数に登録するのですか？

Q: ある特定の日のジョブネットの起動予定を変更したいので、[運用予定]ウィンドウ、または起動日雛形での変更を考えていますが、それぞれの影響範囲がジョブネットなのかプロジェクト全体なのか教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager サーバ停止状態のまま、ジョブネット起動予定時刻を過ぎました。その後、サーバを手動で起動した場合に該当ジョブネットは起動しますか？

Q: コマンドを直接実行した場合と、Systemwalker Operation Manager のジョブとして実行した場合とで、実行ユーザー／実行ディレクトリ／環境変数にどんな違いがあるかを教えてください。

Q: ジョブ A が異常終了した場合にリカバリジョブが実行されるように定義しています。リカバリジョブの「元のジョブ再起動」設定により、ジョブ A が再実行された結果、再び異常終了した場合にはどうなりますか？

Q: 子ジョブネット内のジョブが異常終了した場合に、子ジョブネットの次のジョブから起動する方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0 以降で、ジョブネットのプロパティから起動日選択のために、カレンダを呼び出し[編集]ボタンを押すと、「実行時エラー”429”ActiveX コンポーネントは、オブジェクトを作成できません。」と表示されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager デーモン再起動時に以下のエラーが出力されます。原因と対処方法を教えてください。
「/opt/FJSVJMCMN/bin/jmnetsv: error while loading shared libraries: libelf.so.1: cannot open shared object file: No such file or directory」

Q: Systemwalker Operation Manager クライアントでジョブスケジューラを選択すると「コネクト要求が拒否されました。Systemwalker Operation Manager サーバが起動されていないか、または、ポート番号が一致しません」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

Q: 起動日設定時に基準情報で[毎月]を指定し[月末]にチェックした場合、閏年や 30 日までしかない月についても、月の末日にジョブネットは起動しますか？

Q: 「基準ジョブネット」とは何ですか？

Q: ジョブ名が格納される JC_JOBNAME 環境変数の内容（ジョブ名）で、先頭にジョブ名にはない「J」が付加されています。問題ありませんか？

Q: あるプロジェクト配下のジョブネットすべての起動日の確認ができるコマンドを教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、1 つのプロジェクトに 255 個を超えてジョブネットを登録したら、メッセージ「MpJobsch: Warning: 0334: ジョブネット数が上限を超えました。」が出力されました。対処方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、1 つのプロジェクトに登録するジョブネット数が、制限値の 255 個を超えてしまった場合、どのような問題が発生しますか？

Q: メッセージ起動ジョブネットを登録しています。発生したメッセージ事象とジョブネットの動作について知りたいので、説明されているマニュアル箇所を教えてください。

Q: jobschprint -g コマンドを実行して出力されるジョブネット実行履歴情報をクリアしたいのですが、クリアする方法を教えてください。

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ運用をしています。ジョブネット実行履歴情報をクリアする手順を教えてください。

Q: ガントチャートの表示情報が格納されているログファイルを教えてください。

Q: イベント発生時にメール通知させたいのですが、SMTP のポート番号の変更方法を教えてください。

Q: イベント発生時にメール通知させたいのですが、SMTP 認証に対応していますか？

Q: ジョブネットのプロパティを変更すると、メッセージ事象の発生状況はクリアされますか？

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、Systemwalker Operation Manager が正常に起動していることを確認する方法を教えてください。
Q: ジョブネットが終了コード 239 で異常終了すると、ID:9002 のイベントが出力されます。終了コード 239（実行中断）の場合はイベント出力しないようにする方法を教えてください。
Q: デスクトップヒープの設定について、Systemwalker Operation Manager をバージョンアップしたことによる影響はありますか？
Q: 当日のスケジュールが反映されるタイミングを変更する方法を教えてください。
Q: 日変わり時刻の変更方法を教えてください。
Q: [ジョブネットのプロパティ]ウィンドウ-[基本情報]シートの「運用指示」がグレーアウトされています。理由を教えてください。
Q: ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［基本情報］シートの「運用指示」は、何を設定する項目か教えてください。
Q: マスタスケジュール管理機能（V13.3.1 以前はスケジュール分散機能）で、「運用指示」の設定内容ごとのジョブネットの動作について教えてください。
Q: マスタスケジュール管理機能（V13.3.1 以前はスケジュール分散機能）で、「運用指示」が有効になるのはいつですか？
Q: グループ内ジョブネットとして先行ジョブネット A に続く後続ジョブネット B を定義しています。ジョブネット B は、メッセージ起動のジョブネットで、起動条件には「起動時刻の到来を待つ」を設定していませんが、起動時刻とメッセージ事象の発生が共に成立しないと起動しません。原因を教えてください。
Q: ジョブネットが「疑似正常」で終了した場合、イベントログ／SYSLOG にメッセージ出力されますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ運用を行っています。運用系から待機系のサーバに対してネットワークジョブを投入しましたが、ジョブを起動できません。理由を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager を停止させずに OS のシステム時刻を変更してしまいました。影響と対処方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 は、SolarisOS のパスワード暗号化方式の MD5 に対応していますか？
Q: ［ジョブを所有者の権限で実行する］の指定の有無でジョブ実行時の権限はどのように変わるか教えてください。
Q: Systemwalker Centric Manager でジョブの監視を行います。Systemwalker Operation Manager でジョブが異常終了した際、ジョブ単位でイベントログ／SYSLOG に出力させて検知するにはどのような方法がありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタ運用しています。フェールオーバを発生させずに Systemwalker Operation Manager の各サービス／デーモンを再起動する方法を教えてください。
Q: ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［メッセージ］シートの［ジョブネット実行中も有効］の指定の有無による動作の違いを教えてください。
Q: 疑似正常を有効にし、イベント出力設定をしています。ジョブネットが疑似正常の場合に、警告メールを送信させたいのですが、設定方法を教えてください。
Q: メッセージ事象を待ち受けるジョブネットを定義しています。このジョブネットを手動で起動した場合にメッセージの発生回数はクリアされますか？
Q: jobschmsgclear コマンドを実行すると、[メッセージ事象一覧]ウィンドウで表示される「発生日時」はクリアされますか？
Q: 複数のメッセージ事象を待ち受けるジョブネットを定義しています。メッセージ事象の発生回数が異なる状態で、このジョブネットに対して jobschmsgclear コマンドを実行すると、発生回数はどうなりますか？
Q: 日変わり時刻をまたいで実行されたジョブネットがあります。このジョブネットが終了した日のガントチャートを確認すると該当ジョブネットが表示されていませんでした。理由を教えてください。
Q: ジョブネット内のあるジョブが異常終了し、ジョブネットが「確認済」の状態となっています。日変わり時刻を迎えると、このジョブネットおよび、ジョブネット内の各ジョブの状態は「実行待ち」に変わりますか？
Q: グループの情報をコマンドで移行する方法を教えてください。
Q: エクスポート／インポート機能を利用し、ジョブネットの情報を同一サーバの別のプロジェクトにコピーします。ジョブネット名が同じために、コピーした別プロジェクトのジョブネットと元々のジョブネットが混同して処理されるようなことはありますか？
Q: ジョブネット情報のエクスポート時に該当のジョブネットが実行中であっても問題ありませんか？また、エクスポート／インポート時に該当のジョブネット以外のジョブネットが実行中であっても問題ありませんか？
Q: ジョブとしてバッチフレームワークジョブを登録します。ジョブ名の規約や制限で、他のジョブとの違いがありますか？
Q: Systemwalker Operation Manager クライアント V13.6.0 以降にて、以下の画面表示に数分かかります。原因と対処方法を教えてください。
- **起動日雛形の新規作成を実施（「新規作成」ボタンの選択。起動日雛形情報ウィンドウの表示）**
- **[起動日(直接指定)] ウィンドウの表示**

Q: ポリシー情報が適用された際に、配付していない情報が存在します。原因を教えてください。
Q: Windows Server 2008 以降では、デスクトップヒープの領域が拡張されていると思いますが、Systemwalker Operation Manager の運用にあたり、デスクトップヒープのチューニングはどのようにすると良いですか？
Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブを実行する際に実行ユーザーを指定したい。どのような設定が必要となるか教えてください。
Q: 「MpJmSrv: ERROR: 0028: socket() Address family not supported by protocol」のメッセージが出力されました。対処方法を教えてください。
Q: 「MpJobsch: ERROR: 0412: socket() Address family not supported by protocol」のメッセージが出力されました。対処方法を教えてください。
Q: Systemwalker Operation Manager で、今年のカレンダ設定時に、昨年のカレンダ情報および起動日情報を参考にしたい。昨年のカレンダ情報および起動日情報を確認する方法を教えてください。

Q: あるファイルの更新を契機にジョブを起動する方法を教えてください。

【技術サポート】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition を現在シングル構成で運用しています。今後クラスタ構成に構築しなおす場合の手順の流れを教えてください。

Q: 疑似正常終了した場合の動作について教えてください。

【その他】

Q: 本番機の不要ファイル削除作業実施中に、当方で内容把握していないファイルの存在を確認しました。ファイル名は［シェル名.o 数字］、［シェル名.e 数字］、［シェル名.l 数字］です。何のファイルかを教えてください。

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager の Job Designer は、オプション製品ですか？

A: V13.0.0 以降は、製品に同梱されています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブネットやジョブの操作にある「停止」と「無効」はどのように違うのですか？

A: 「停止」はジョブネットまたはジョブの実行を一時的に停止します。停止された場合、停止解除されるまで停止状態のジョブは起動されません。停止されたジョブの後続ジョブも起動されません。
「無効」はジョブネットまたはジョブの実行をスキップします。無効状態のジョブおよびジョブネットは、先行のジョブネットまたはジョブが終了した時点で実行されずに、疑似的に正常終了になります。そのため、後続のジョブネットまたはジョブは、停止することなくそのまま実行されます。無効状態のジョブネットまたはジョブの起動順序が来る前に無効解除すれば、無効解除したジョブネットまたはジョブは通常のスケジュールどおりに実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12

【共通】

Q: ポリシー情報の抽出／配付時に、ジョブネットの有効／無効に関する情報は含まれていますか？また、ポリシー情報の配付先で、Systemwalker Operation Manager は起動している必要がありますか？

A: ポリシー情報の抽出時に、ジョブネットの状態も含まれており、ジョブネットが無効状態のものは配付先でも無効状態になります。
また、ポリシー情報の配付時には、配付先のサーバで Systemwalker Operation Manager が起動している必要があります。しかし、ポリシー情報の配付後の設定は、配付先サーバの Systemwalker Operation Manager の再起動後に有効になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager で使用しているポート番号 9327 は、ネットワークジョブ関連で、どのような時に使用されますか？

A: Systemwalker Operation Manager で使用しているポート番号 9327 は、ネットワークジョブの依頼および監視を行う際に使用しています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12

【共通】

Q: 新旧バージョンが混在したときのサーバとクライアントの接続可能範囲と接続時の機能範囲を教えてください。

A: 新バージョンのクライアントから、旧バージョンのサーバには接続できます。この場合、Systemwalker Operation Manager サーバ側で提供されていない機能は使用できません。

なお、旧バージョンのクライアントから、新バージョンのサーバには接続できません。

バージョンレベル間の機能差についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リリース情報
付録 A バージョンレベル間機能差一覧

また、異なるバージョンのクライアント・サーバ間接続のサポート範囲についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
付録 A 旧バージョンとの整合性
A.1 クライアント・サーバ接続のサポート範囲

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブネット登録数の上限値および推奨値が記載されているマニュアルを教えてください。

A: ジョブネット登録数の上限値および推奨値については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
付録 B 制限値
B.2 ジョブのスケジューリングに関する制限値

また、大量のジョブネット登録時の留意事項は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.1 性能のチューニングについて
B.1.1 大量のジョブネットを登録する場合の留意事項

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.2 ジョブネットの動作がおかしい
4.2.2 意図した時間にジョブネット/ジョブが起動しない

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: 月末の処理で数か月分を 1 日でテストしたいのですが、その方法を教えてください。

A: テストモードで実現可能です。Systemwalker Operation Manager の環境設定より仮想時間を設定してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: ネットワークジョブ実行で、スケジュールサーバ（AIX 版）、実行サーバ（Solaris 版）の運用で制限事項や機能差異などがあれば教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の AIX 版および Solaris 版のネットワークジョブ連携に関して制限事項や機能差異はなく同等で

す。なお、運用に際して、公開済みの最新版の Systemwalker Operation Manager の緊急修正を両環境（AIX、Solaris）に適用してください。

プラットフォーム　：Solaris　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【共通】

Q: Windows Server OS にクライアントを導入できますか？

A: クライアントのサーバ OS への導入は、サーバ機能と同居させることで可能です。ただし、サーバ OS に単独でのクライアントの導入は動作を保証していません。
また、Windows for Itanium 版の場合、サーバ機能と同居させても、クライアントの導入は動作を保証していません。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17　V16　V13

【共通】

Q: 製品仕様について、以下の内容について教えてください。
［カレンダ］：可能登録数
［プロジェクト］：可能登録数
［ジョブネット］：1 プロジェクトに対しての可能登録数
［ジョブ］：1 ジョブネットに対しての可能登録数

A: それぞれの登録可能な制限は以下のとおりです。
ただし、マシンスペックなどにより処理性能が異なりますので、下記の値を目安として、十分検証を行った上で運用を行ってください。

■ **［カレンダ］**
カレンダの登録数に上限はありませんが、カレンダの登録数が多くなると、日変わり時刻の到来時やカレンダ編集時の処理などが遅くなる場合がありますので、100 件程度までにすることを推奨します。

■ **［プロジェクト］**
ジョブスケジューラには、最大 1000 個までのプロジェクトを登録できます。
なお、V13.2.0 以前の場合は、最大 256 個までで、複数サブシステムを作成している場合、「サブシステム数×256 個」までとなります。

■ **［ジョブネット］**
Enterprise Edition の場合、1 つのプロジェクト内に登録できるジョブネット数に制限はありませんが、大量のジョブネットを登録した場合、ジョブネット実行時の処理などが遅くなる場合がありますので、検証の上、登録数を調整願います。Standard Edition の場合は、最大 255 個までです。

■ **［ジョブ］**
1 つのジョブネットには、リカバリジョブを含めて最大 255 ジョブまで登録できます。ただし、Interstage 属性のジョブネットには、ジョブを 1 つしか登録できません。
ジョブネットが階層化されている場合、ジョブネットに登録されている子ジョブネット、およびリンクジョブネットは、1 つのジョブとして扱われます。
ジョブネット内の子ジョブネット、およびリンクジョブネットも 1 ジョブと数え、それを含めて合計 255 までのジョブが登録できます。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager で、スケジュールサーバと実行サーバの製品バージョンが異なる場合、ネットワークジョブの投入はできますか？

A: スケジュールサーバと実行サーバとで製品バージョンが異なっても、ネットワークジョブの投入ができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V10 では、クライアントで接続すると、左下にホストツリーが表示されていて、該当のホストに接続できましたが、V11 以降ではそのような機能はなくなってしまいましたか？

A: V11 以降では画面が変わり「複数サーバ監視」機能として、別ウィンドウで管理することになりました。
監視サーバでは、環境設定から「監視ホスト」を定義し、被監視サーバの環境設定では「監視許可ホスト」を定義することで、複数サーバの監視を一元管理できます。
なお、接続先ホストを切り替えるには、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの接続ホスト名のコンボボックスからホストを切り替えることができます。ただし、このコンボボックスで選択できるホストは、監視ホストの定義名が「DEFAULT」の監視ホストの定義で設定されたホストに限られます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: クライアントをサイレントインストールすることはできますか？

A: サイレントインストールできます。
［サイレントインストールの環境作成］において、［インストール種別の選択］で［クライアント］を選択してください。［サイレントインストールの環境作成］は、セットアップ画面から［導入支援ツール］を選択することで表示できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Windows ファイアウォールを使用する際に、Systemwalker Operation Manager で必要な設定を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager で使用するポートをあけてください。
ポート番号については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 C ポート番号一覧
C.1 ポート番号一覧

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブネットの中で、他のジョブネットを呼び出すことはできますか？

A: ジョブネットの中で、他のジョブネットを呼び出すことはできます（ジョブネットを階層化できます）。
ジョブネットの階層化については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書

第 2 章 運用方法
2.2 ジョブスケジューラ
2.2.2 こんなこともできます
ジョブネットを階層化する

呼び出し方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.3 ジョブネットを登録する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager で設定する OS アカウントのパスワード最大文字数は何文字ですか？

A: 環境設定のジョブ所有者情報の定義でユーザーとパスワードを設定しますが、そのパスワードの設定可能文字数は、V13.3.0 以降では最大 50 バイト、V13.2.0 以前では最大 14 バイトです。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブの最大同時実行数がいくつか教えてください。

A: 設定できる最大数（多重度）は 999(V16.0.0 以前では 99)までです。ただし、目安として 30 以内にすることを推奨します。多重度を高く設定すると、デスクトップヒープ（Windows が管理している領域）が枯渇し、ジョブが異常終了する場合があります。31 以上を指定する場合は、十分に検証してから運用してください。
デスクトップヒープが枯渇してジョブの実行に失敗する場合、ジョブが例外コード 0xC0000142 で異常終了します。この場合、以下のマニュアルに対処方法が記載されているので参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.2 ジョブが異常終了する
5.2.16 ジョブが例外コード 0xC0000142 で異常終了する【Windows 版】

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタの共有ディスク上に格納される内容と、ポリシー情報で共有すべき内容を教えてください。

A: 共有ディスクに格納される情報については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 2 章 導入
2.7 資源の共有ディスクへの移動

ポリシー情報で配付が必要な定義については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 2 章 導入
2.9 各ノードで管理される情報の統一

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: 対応しているすべてのプラットフォームについて教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager を導入するサーバおよびクライアントの動作 OS については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 3 章 動作環境
3.2 ソフトウェア資源

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager の Standard Edition と Enterprise Edition の機能差を教えてください。

A: Enterprise Edition で実現できることとしては以下があります。

- 1 つのプロジェクトに登録できるジョブネット数の制限がありません（Standard Edition は 255 個まで）
- 1 つのグループにジョブネットを 255 個まで登録できます（Standard Edition は 50 個まで）
- 複数サブシステム運用により、バッチジョブ大量登録によるスケジューリング遅延がなくなります（Standard Edition にはありません）
- スケジュールを分散する運用により、大量バッチジョブのスケジュールを複数のサーバに分散し、スケジュールジョブの実行負荷を軽減できます（Standard Edition にはありません）
- 複数のサブシステムを運用することにより、運用系とテスト系を同一マシンで実施することができます（Standard Edition にはありません）
- 各種のクラスタ運用形態をサポートすることにより、バッチ業務の高可用性を実現できます（Standard Edition ではクラスタをサポートしていません）

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager で使用する日付は、製品独自で保持している日付ではなく、OS のシステム時刻ですか？

A: 日付は Systemwalker Operation Manager の日変わり時刻によって管理されており、Systemwalker Operation Manager 独自の管理となります。
なお、日変わり時刻を 0:00 として設定した場合は、システム日付と同じになります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールしたあと、再起動は即時に行われますか？

A: インストール後の再起動は任意で行うことができます。しかし、運用のための環境定義などの設定は、再起動後に行う必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: スケジュールサーバを Standard Edition、実行サーバを Enterprise Edition の構成にした場合、機能制限などはありませんか？また、メッセージ連携についても問題ありませんか？

A: 特に機能制限はありません。また、メッセージ連携についても問題ありません。Enterprise Edition は、Standard Edition の機能拡張版に相当し、Enterprise Edition を Standard Edition と同じように使用することに、問題点や制限などはありません。
なお、注意事項として、Enterprise Edition から Standard Edition の Systemwalker Operation Manager に対してメッセージ事象を発生させる場合は、以下のスクリプトを実行してください。
【Windows 版】
[jobschmsgevent.bat]

```
set JOBSCH_SUB_SYSTEM=
jobschmsgevent %*
setecode.exe %ERRORLEVEL%
```

上記スクリプトを実行するためのジョブのコマンド名欄の例を示します。

```
ドライブ名:¥パス名¥jobschmsgevent.bat MsgA HostName
```

【UNIX 版】
[jobschmsgevent.sh]

```
#!/bin/csh
unsetenv JOBSCH_SUB_SYSTEM
jobschmsgevent $*
exit $status
```

上記スクリプトを実行するためのジョブのコマンド名欄の例を示します。

```
/パス名/jobschmsgevent.sh MsgA -h HostName
```

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V16.0.0 が Windows Server 2016 に対応しているか教えてください。

A: 対応しています。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V16

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager に添付されている Job Designer が動作する Excel のバージョンを教えてください。また、Job Designer を利用する環境に Systemwalker Operation Manager が導入されている必要はありますか？

A: Job Designer が動作する Excel のバージョンについては、以下のマニュアルを参照してください。
なお、Job Designer を利用する環境に Systemwalker Operation Manager が導入されている必要はありません。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 3 章 動作環境
3.2 ソフトウェア資源
3.2.4 関連ソフトウェア

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: マニュアルに、ドメインユーザで使用する場合は、NetBIOS over TCP/IP を有効にする必要があると記載されています。理由を教えてください。

A: 認証の際にドメインコントローラに接続する必要があり、その際に NetBIOS over TCP/IP を使用するためです。そのため、NetBIOS over TCP/IP が無効になっていると認証エラーが発生します。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタサーバへの適用に際し、メインシステムとサブシステムの 2 つで運用する場合、共有ストレージに作成する物理ディスクリソースのドライブは 2 つに分けた方がよいですか？

A: フェールオーバを複数サブシステムすべてで行いたい場合は同じドライブにしてください。別々に管理したい場合はドライブを分けてください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降のスケジュールサーバから、V13.2.0 以前の実行サーバにネットワークジョブを投入する際に、ジョブネット名およびジョブネット名称の文字数制限は、V13.2.0 以前にあわせる必要がありますか？

A: ネットワークジョブのジョブネット名およびジョブネット名称の情報は、実行サーバ側に渡らないため V13.2.0 以前にあわせる必要はありません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: 起動時にアカウントおよびパスワードを入力する必要があるか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager クライアントや環境設定を起動する際に、Systemwalker Operation Manager サーバにログインするため、アカウントおよびパスワードを入力する必要があります。
なお、Systemwalker Operation Manager サーバ機能はサービスとして動作するので、Systemwalker Operation Manager サーバ起動時にはアカウントおよびパスワードの入力は必要ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ドメイン環境（プライマリドメイン・セカンダリドメイン）で使用する予定ですが、何か影響がありますか？

A: 導入することについては、特に影響ありません。
ただし、Systemwalker Operation Manager の動作時に、ドメインコントローラーが起動していないと、Systemwalker Operation Manager の処理が正しく動作しない現象や、ドメインコントローラーと Systemwalker Operation Manager の双方の処理によって、サーバ負荷が高くなる影響が考えられますのでご留意ください。
また、今後プライマリドメイン上のサーバを降格／昇格する作業が発生する場合には、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.5 ドメインコントローラへの昇格／ドメインコントローラからの降格

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 「ジョブの作成や設定変更が可能なユーザー」や「ジョブの起動または再起動や監視だけが可能なユーザー」のように、権限の異なるユーザーでの運用はできますか？

A: 権限の異なるユーザーでの運用はできます。
プロジェクトごとに、ユーザーまたはグループ単位で更新権、登録権、操作権、または参照権を設定できます。ただし、ジョブ単位では設定できません。

- ［更新権］：登録権、操作権、および参照権で与えられているすべての権限が実行できます。
- ［登録権］：プロジェクト配下にジョブネットおよびグループを登録できます。参照権も含みます。ただし、ジョブネットおよびグループの強制終了、起動などの操作はできません。
- ［操作権］：強制終了、起動などの操作ができます。参照権も含みます。ただし、プロジェクト配下にジョブネットおよびグループを登録できません。
- ［参照権］：実行状況を監視したり、結果を参照したりすることができます。

今回のご質問の場合、「ジョブの作成や設定変更が可能なユーザー」には［更新権］を、「ジョブの起動または再起動や監視だけが可能なユーザー」には［操作権］を設定することで制御できます。

設定方法については、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの業務選択ウィンドウで、対象プロジェクトをクリックします。次にメニューバーの［セキュリティ］から［アクセス権］を選択します。［アクセス権設定］ウィンドウが表示されるので、プロジェクトにアクセスできるユーザーまたはグループを選択し、アクセス権（更新権／登録権／操作権／参照権）を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Java の Web アプリケーションを利用して、C 言語ライブラリを呼び出す方法はありますか？

A: Systemwalker Operation Manager としては、Java の Web アプリケーションを利用して、C 言語ライブラリを呼び出す方法は提供していません。API を利用したプログラムの作成には、C 言語の利用が必要になります。
ただし、一般的には Java から C 言語ライブラリを呼ぶ方法がありますので、お客様でご確認をお願いいたします。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、マニュアル「クラスタ適用ガイド」に、状態遷移プロシジャのクラス「SystemState3」を指定するように記載されていますが、必ずこのクラスを指定しなければいけないのですか？

A: 必ずしも指定する必要はありません。
「クラスタ適用ガイド」では、リソースクラス名に最も適していると考える「SystemState3」を使用する場合の例を記載しています。
お客様の運用に応じて、「SystemState3」以外の適切な値を設定することもできます。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager のマニュアル「導入手引書」に記載されている共有メモリの設定について、V13.2 では 5 万以上（shminfo_shmmax）、V13.3 では 7 万以上となっています。V13.2 の場合でも、7 万以上を設定したほうがいいですか？

A: V13.2 の場合は 5 万以上を設定すれば問題ありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V17.0.0 の Job Designer を使って、Systemwalker Operation Manager V13.4.0 のジョブネット情報を変更・更新する際に気をつけることを教えてください。

A: V17.0.0 と V13.4.0 のように異なるバージョンレベル間では、ジョブネット制御文およびジョブ制御文で使用できるオペランドに違いがあるため、そのまま登録しようとするとエラーが発生します。
Job Designer の［環境設定表示］－<Systemwalker Operation Manager VL>で、反映させたい Systemwalker Operation Manager のシステム、バージョンを設定してから、Job Designer でジョブネットおよびジョブ情報の変更を行ってください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: バージョンアップによる非互換について教えてください。

A: バージョンが変わることによる非互換情報については、以下のマニュアルを参照してください。

- V13.8.0 以降
  Systemwalker Operation Manager リリース情報
  第 2 章 互換に関する情報

- V13
  Systemwalker Operation Manager バージョンアップガイド
  第 3 章 移行時の注意事項と非互換項目

- V12 / V11
  Systemwalker Operation Manager V12.0L10/12.1 バージョンアップガイド

第 1 章 バージョンアップ時の移行作業【Windows】
第 2 章 バージョンアップ時の移行作業【UNIX】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降のクライアントは、Windows 7 と Internet explorer 8 に対応していますか？

A: Windows 7 には、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 および V13.3.1 は、対応していません。V13.4.0 で対応しています。
Internet explorer 8 には、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 から対応しています。
ただし、下記留意事項があります。
なお、Web 連携を使用していない場合は、特に留意事項はありません。

■Web 連携の留意事項について
Web 連携とオンラインマニュアルを同時に使用したい場合は、Web 連携用の Web サーバとオンラインマニュアルを同居させないでください。
そのほかの留意事項は以下のとおりです。

- **Internet explorer 8 標準準拠モードで動作させた場合**
  ［留意事項］
  Web 連携は機能的に問題なく動作しますが、表示上以下の問題が検出されています。
  - ログイン時、業務ツリーのジョブスケジューラの下線の一部が横にずれて表示されます。
  - ガントチャート（V10 では未提供）の初回表示時、時間を表示しているテーブルだけが横スクロールしないことがあります。

  ［対処方法］
  上記 2 つ目の現象が発生した場合は、表示したガントチャートを閉じて再度表示してください。

- **互換モードで動作させた場合**
  ［留意事項］
  Web 連携では以下の現象が発生します。
  - ガントチャート（V10 では未提供）のヘッダ部分が「処理中です」と表示されてヘッダが表示されません。
  - ジョブネットの履歴、ジョブ一覧、グループ内ジョブネット一覧が「システムエラーが発生しました。」またはヘッダ部分が「処理中です」と表示されて動作しません。

  ［対処方法］
  上記現象が発生した場合、現象が発生したウィンドウをそのままにして再度同じ操作で同じウィンドウを呼び出すと、これらの現象が解消される場合があります。

■オンラインマニュアルについて
常に Quirks モードで表示されます。Web 連携とオンラインマニュアルを同時に使用したい場合は、Web 連携用の Web サーバとオンラインマニュアルを同居させないでください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【共通】

Q: UNIX サーバから Windows サーバへの業務連携でファイル転送する場合のポート番号と、ジョブでメッセージ連携する場合のポート番号をそれぞれ教えてください。

A: ポート番号はそれぞれ以下のとおりです。

■UNIX サーバから Windows サーバへの業務連携でファイル転送する場合のポート番号
外部との通信には FTP の転送を利用するため、以下のポートが利用されます。

- ポート番号:21/tcp

■UNIX サーバから Windows サーバ間で、ジョブでメッセージ連携する場合のポート番号
メッセージ事象を発生させる場合、下記サービス名とポート番号を利用して通信を行います。
- サービス名：jmnet
- ポート番号：9352/tcp

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V12

【共通】

Q: サブシステムかプロジェクトなどで環境変数を切り替えるような処理方式はありますか？

A: V13.3.0 以降では、あります。
サブシステム単位でジョブ定義変数を設定してください。
ジョブ定義変数についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.11 ジョブ定義変数を利用してジョブ登録情報を一括置換する場合

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【共通】

Q: 間隔起動のジョブネットに対する jobschcontrol コマンドについて、オプションの pause と disable の違いを教えてください。

A: pause（停止）状態と、disable（無効）状態の違いは以下のとおりです。

■pause（停止）状態
停止中にジョブネットの起動条件が満たされた場合は、停止解除とともにジョブネットは実行されます。ジョブネットの停止中に、ジョブネットの 2 度目の起動条件が満たされた場合、2 度目の起動条件のジョブネットは実行されません。停止解除とともに最初の起動条件のジョブネットが実行されます。

■disable（無効）状態
無効状態で起動時刻が到来した場合、起動時刻が到来した時点でスキップされ、疑似的に正常終了の状態になります。無効中に次の起動時刻が到来した場合、ジョブネットは起動時刻が到来するごとにスキップされます。

間隔起動のジョブネットについても上記と同一の動作をします。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【共通】

Q: ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウで指定できる［終了予定時刻］の意味を教えてください。

A: ジョブネットがスケジュールどおりに終了するかどうかを監視するための機能です。
［終了予定時刻］で指定した時刻を過ぎてもジョブネットが終了状態でない場合に、対象ジョブネットは「終了遅延」状態としてガントチャート上に表示されます。起動日に起動条件を満たしていない（実行待ち）ジョブネットが［終了予定時刻］を過ぎた場合も「終了遅延」となります。
なお、［終了予定時刻］を過ぎても、対象ジョブネットの処理が打ち切られることはありません。

また、ジョブネットが終了遅延となった場合の動作として、以下の設定が可能です。

- **イベントログ／SYSLOG にメッセージを出力する**
  - **V13.2.0 までのバージョン／レベルの場合**
    ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［イベント出力］シート内［デザイアドステート管理］の［ジョブネットの終了予定時刻を過ぎても終了しない場合に通知を行う］を有効にします。
  - **V13.3.0 以降のバージョン／レベルの場合**
    ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［イベント出力］シート内の［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］をチェックし、［詳細設定］で［デザイアドステート管理（V13.4.0 では［ジョブ／ジョブネットの遅延監視］）の［ジョブネットの終了予定時刻を過ぎても終了しない場合に通知を行う］を有効にします。

- 独自の処理を実行する
  ジョブネット終了遅延出口を利用してください。
  ジョブネット終了遅延出口について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

  Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
  第 19 章 出口情報
  19.8 ジョブネット終了遅延出口

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能を使う予定はありません。この場合、スケジュール分散のデータベースディレクトリを共有ディスクへ移動したときに、何か影響はありますか？

A: マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能を使う予定がない場合は、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）のデータベースディレクトリを共有ディスクへ移動したまま使用しても影響はありません。
なお、マスタスケジュール管理機能を使用しない場合、データベースディレクトリを共有ディスクへ移動させる必要はありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Solaris 環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition を使用します。サブシステムの作成手順および削除手順について教えてください。

A: サブシステムの作成手順、削除手順、および起動／終了手順については、以下のマニュアルを参照してください。

■サブシステムを作成する場合
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.5 複数サブシステム運用の定義
2.5.1 サブシステム環境の作成
2.5.2 サブシステム用のポート番号の設定

■サブシステム環境を削除する場合
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.5 複数サブシステム運用の定義
2.5.4 サブシステム環境の削除【UNIX 版】

■サブシステムを起動および終了する場合
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 1 章 起動・終了
1.1 起動方法
1.1.2 Systemwalker Operation Manager サーバの起動【UNIX 版】
1.2 終了方法
1.2.3 Systemwalker Operation Manager サーバの終了【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 標準でポート番号 6200 番台で通信をするかどうか教えてください。また、全体のポートを自動的にスキャンするような機能もあれば教えてください。

A: 6200 番台のポートは使用していません。また、全体のポートを自動的にスキャンするような機能もありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブネットの［メッセージ事象一覧］ウィンドウで、事象発生回数がカウントされています。jobschmsgclear コマンド以外に、リセットされることがありますか？

A: メッセージ事象発生回数は jobschmsgclear コマンド以外に、リセットされることがあります。
以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.2 ジョブネットの動作がおかしい
4.2.4 メッセージ事象と起動時刻で待ち合わせるジョブネットが、メッセージ事象が発生し起動時刻を過ぎても起動されない

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブの履歴情報を、コマンドラインで出力することはできますか？

A: できます。
mjsview コマンドを利用することにより、ログからジョブの履歴情報を出力できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V11 から V13.3.0 で、スケジュール済みのジョブネットが既定時間に稼働しなかった場合、自動的にメッセージを SYSLOG に出力できますか？

A: できます。

［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］の［イベント出力］にある［デザイアドステート管理］で、ジョブネットが既定時間に稼働しなかった場合に自動的メッセージを SYSLOG に出力できます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V13

【共通】

Q: 実行サーバのバージョン／レベルが混在していても問題ありませんか？

A: 問題ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合はスケジュール分散）を使用しています。持ち越し状態のジョブネットがあり、jobschmsgevent コマンドでメッセージを発行した場合、持ち越されたジョブネットだけ実行されますか？また、当日分のジョブネットはメッセージを受信しませんか？

A: jobschmsgevent コマンドの場合、当日分のジョブネットもメッセージを受け取ります。このため、運用日を意識してメッセージ事象を発生させたい場合は、jobschmsgeventex コマンドの利用を検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、サポートしている Solaris 10 のユーザーパスワードの暗号化のアルゴリズムを教えてください。

A: blowfish および MD5 の暗号化アルゴリズムに対応しています。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、複数のメッセージ事象を待ち受けるジョブネットの場合、発生済みのメッセージ事象はフェールオーバ時に消えてしまいますか？

A: 消えることはありません。
発生したメッセージ事象の情報は共有ディスクに保存されており、フェールオーバ時にはフェールオーバ先の環境に引き継がれます。ただし、フェールオーバ処理中に他サーバからメッセージ事象が発生した場合は、メッセージ事象を受け付けることはできません。その場合、メッセージ事象を発生させたサーバ側でエラーが発生します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ライセンスキーが存在するのか教えてください。あるならば、現状のライセンスキーの確認方法を教えてください。

A: ライセンスキーは存在しません。

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の導入を検討しています。PRIMECLUSTER の Fsystem リソースは、Systemwalker Operation Manager 単独でリソース作成したほうがいいのですか？Oracle などとまとめて Fsystem0 に登録しても問題ないですか？

A: Systemwalker Operation Manager としては、単独でリソース作成しても、他のアプリケーションとリソース共用を行っても、動作に問題はありません。お客様の運用に合わせて設定してください。
なお、Systemwalker Operation Manager のジョブとして、Oracle に SQL 文を発行するなどの処理をしているのであれば、Oracle とのリソースを共用してください。

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition および Enterprise Edition で、インストールされるパッケージ名を教えてください。

A: インストールされるパッケージ名は以下のとおりです。

- FJSVftlo
- FJSVfwseo
- FJSVfwtco
- FJSVjmcal
- FJSVJMCMN
- FJSVJOBSCF
- JSVMJS
- FJSVsnjss

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V12

【共通】

Q: 実行サーバの OS 起動時に、スケジュールサーバ上に登録されているジョブネットを起動することはできますか？

A: できます。
実行サーバ側で、サーバ起動時に起動するネットワークジョブを作成して、その中で、jobschcontrol コマンドを登録してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager の媒体を紛失しました。製品の入手方法があれば教え

てください。

A: メディアを再購入してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q:「.NET Framework」を使用する機能はありますか？

A: あります。

Systemwalker Operation Manager のクライアント機能で使用しています。.NET Framework は、Systemwalker Operation Manager クライアント機能をインストールする前にインストールされている必要があります。Systemwalker Operation Manager をインストールした後に.NET Framework をインストールした場合は、別途必要な作業があります。以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 1 章 Systemwalker Operation Manager を導入する
1.3 Windows へインストールする
1.3.1 インストール前の注意事項
「.NET Framework インストール/アンインストールにあたっての注意」

上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。
なお、V13.3.1 以前のバージョン／レベルでは、.NET Framework を使用する機能はありません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: クライアント画面を、複数の端末で参照操作できますか？

A: できます。

複数の端末で、それぞれ、Systemwalker Operation Manager の管理画面を起動し、そこから 1 台の Systemwalker Operation Manager サーバに接続し、閲覧、操作することができます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V12

【共通】

Q: クライアント画面を、WEB ブラウザで操作することはできますか？

A: Web ブラウザから Web GUI を使用し操作できます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V12

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager の統合監視機能は、Standard Edition でも利用できますか？

A: Systemwalker Operation Manager では、複数サーバ監視以外で、Systemwalker Operartion Manager が導入されている複数サーバの監視を行う機能を提供していません。複数サーバ監視であれば、Standard Edition および Enterprise Edition、ともに提供している機能です。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12

【共通】

Q: CPU の増設に伴い、ライセンスを増やすことを検討しています。その際、Systemwalker Operation Manager の作業が必要になりますか？

A: CPU の増設を行う際に、Systemwalker Operation Manager として必要な作業は、特にありませんが、万が一に備えて、CPU 増設前に、資源のバックアップを行ってください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、1 つのサーバのカレンダの内容を変更すると、他のサーバのカレンダの値も、自動的に変更する機能はありますか？

A: Systemwalker Operation Manager Standard Edition にはありません。ポリシーの抽出／配付機能で、カレンダ情報を一致させてください。Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタ環境の場合に、自動反映する機能があります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12

【共通】

Q: MIB 情報を管理しているか教えてください。

A: 管理していません。MIB 情報は提供していません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12

【共通】

Q: Fujitsu XML Library がバンドルされていますか？

A: Fujitsu XML LIBRARY はバンドルされていません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager で、サーバの構築を検討しています。リプレイスになり、サーバが代わりますが、同じ Systemwalker Operation Manager に乗せかえることで、ライセンス上の問題が発生しないか、教えてください。

A: 旧サーバと新サーバで、プロセッサ数またはコア数の変更がないのであれば、旧サーバから、Systemwalker Operation Manager をアンインストールして、新サーバに、インストールすることで、ライセンスとしては問題ありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12

【共通】

Q: ジョブネットを毎日起動させたく、ジョブネットの起動日を設定しています。3 年分しか保持できないのか、教えてください。

A: **■V13.3.0 以前**
ジョブネットのプロパティで、起動日タブの［毎月］にチェックを入れて、［毎日ボタン］をクリックすることで、3 年後以降も、設定が保持されます。

■V13.4.0 以降
ジョブネットのプロパティの［起動日］シートが変わったため、上記の手順で設定できなくなっています。
［直接指定］で［基準の設定］を［毎年］にし、［曜日の指定］で［すべて選択］ボタンが代わりになります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: タスクを使用して、Oracle のバッチを起動しています。これらのバッチはエラーコードを返します。このコードを、Systemwalker Operation Manager では、認識して、正常／異常を判断できますか？

A: できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ガントチャートを印刷する方法を教えてください。また、ガントチャートを表示し、印刷する操作を、コマンドなどで自動化できませんか？

A: ガントチャートを印刷する場合、［ジョブスケジューラ情報印刷］クライアントを起動して、印刷します。
なお、ガントチャートを印刷するコマンドは提供していません。GUI 上の操作で印刷できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: クライアント業務連携で、どのようなことができるのか教えてください。

A: クライアント業務連携では、以下の機能があります。

- ファイル制御
- アプリケーション起動
- クライアント電源制御

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 登録できるプロジェクト数、ジョブネット数の制限値について教えてください。

A: 制限値は以下のとおりです。

■ジョブスケジューラに登録できるプロジェクト数
Systemwalker Operation Manager V13.2.0 までは、ジョブスケジューラに最大 256 個までのプロジェクトを登録できます。
Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降では、ジョブスケジューラに最大 1000 個までのプロジェクトを登録できます。

■プロジェクトに登録できるジョブネット数
1 つのプロジェクト内に登録できるジョブネット数は、以下のとおりです。
- Standard Edition の場合
  最大 255 個まで登録できます。
- Enterprise Edition の場合
  制限はありません。

■グループに登録できるジョブネット数
1 つのグループ内に登録できるジョブネット数は、以下のとおりです。
- Standard Edition の場合
  最大 50 個まで登録できます。
- Enterprise Edition の場合
  最大 255 個まで登録できます。

なお、登録できるグループ数に制限はありませんが、1 つのジョブネットを複数のグループには登録できないので注意してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: setecode コマンドを使用してバッチファイルの終了コードを指定する場合に、最終行に exit が必要か教えてください。

A: exit は必須ではありません。exit を指定しても指定しなくても構いません。ただし、setecode コマンド以降に、exit 以外の別コマンドは指定しないでください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: キューに実行中のジョブが溜まっていて削除したいので、削除方法を教えてください。

A: qdel コマンドで、キューの中のジョブの削除ができます。
実行中のジョブは、qjstat で情報表示できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Job Designer で、動作実績表示を行う際に、必要となる稼働実績情報ファイル(JOBDB)の所在を教えてください。

A: JOBDB の所在は、［環境設定］－［起動パラメタ］－［データベース］－［データベースディレクトリの設定］に指定されたディレクトリ内の jobdb1.log、jobdb2.log、jobdb3.log となります。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: クライアント業務連携機能の処理に使用するポート番号を教えてください。

A: クライアント業務連携では、以下のポートを使用しています。

- **2685/tcp**
  方向：サーバからクライアントへ（※）
  用途：サーバからのリモートクライアントへのジョブの依頼（※）
  （※）クライアント業務連携は終了監視をしないため、クライアントからサーバへの通信はありません。

- **1952/tcp、1952/udp**
  方向：サーバからクライアントへ
  用途：サーバからのリモートクライアントへの電源投入（マジックパケット）用

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17　V16　V13

【共通】

Q: バックアップコマンド mpbko を使用して、成功か失敗かの値を取得する場合、どうすればよいですか？

A: バッチファイルを作成し、その中でバックアップコマンド mpbko を実行し、復帰値を取得することで、成功か失敗かを判断することができます。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17　V16　V13

【共通】

Q: クライアントにクライアント業務連携を導入していますが、ログオフを行うと、クライアント業務連携ができません。サービスに登録するなどして、ログオフを行っても連携することはできますか？

A: ログオフの状態で連携させることはできません。連携させるクライアント上では、クライアント業務連携が動作していることが前提となります。以下のどちらかの方法でクライアント業務連携の起動を行ってください。

- スタートアッププログラムへの登録による起動
- クライアントにログオンしたユーザーによる手動起動

［スタート］/［アプリ］メニューから［Systemwalker Operation Manager］－［クライアント業務連携］を選択し、起動してください。

なお、クライアント業務連携で、クライアント側にはサービスはありません。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【共通】

Q: ジョブネットを無効化した場合でも、起動予定時刻が過ぎると、イベントログ/SYSLOG に警告メッセージを出力させるにはどうしたらいいですか？

A: 環境設定の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］－［イベント出力］シート（V13.3.0 以降では、［イベント出力］シートから呼ばれる［イベント出力の詳細設定］ウィンドウ）において、［ジョブネットの状態］で［スキップ］にチェックを入れると、イベントログ/SYSLOG に警告メッセージが出力されます。
設定を反映させるためには、ジョブスケジューラサービス／デーモンの再起動が必要です。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【共通】

Q: fcopysvr コマンドでサーバ間のファイル転送するときに、送信先に同一ファイル名が存在する場合、エラー、上書き、または追記のどの動作をとりますか？また、エラーにする方法はありますか？

A: fcopysvr コマンドで指定するファイル名が、転送先にすでに存在する場合、転送先のファイルのデータは、あとから転送したデータで上書きされます。
コマンド単体の動作では、エラーにすることはできません、常に上書きとなります。事前にファイルがあるかどうかを確認する処理を、ご検討ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 のジョブネットに登録した、Arcserve r12 のバックアップジョブを実行したところ、実行中のまま完了しません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブとして、バックアップ連携コマンド（mpsubasx）を使用していたことが原因と考えられます。

［対処方法］
Arcserve r12 は、mpsubasx コマンドには対応していないため、cabatch コマンドをジョブとして定義してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブネットに対して、複数の起動時刻を定義することはできますか？例えば、「毎日 0:30 に実行する」ジョブネット A に、「1 月 1 日に限って 18:30 に実行する」というような定義をすることはできますか？

A: 1 日または連続した期間であれば、ジョブネットの一時変更機能で定義できます。
ベースとなる起動予定のジョブネットを一時変更で、ある期間だけ異なる時刻に起動するように事前に設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 仮想 OS に Systemwalker Operation Manager をインストールしますが、動作保証されていますか？

A: Systemwalker Operation Manager のマニュアルに記載の仮想 OS について、動作保証しています。
以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 3 章　動作環境
3.2 ソフトウェア資源

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブに任意のパラメタを渡したいのですが、この処理を Systemwalker Operation Manager で行う場合、どのような方法がありますか？

A: ジョブスケジューラ API、または、ジョブネットの可変パラメタ起動(V13.3.0 以降の場合)を使用してください。
ジョブスケジューラ API については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 17 章 API 情報
17.2 ジョブスケジューラ API
17.2.3 ジョブネット操作（起動パラメタ指定）API

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

V13.3.0 以降の場合は、ジョブネットの可変パラメタ起動が利用できます。ジョブに引数を与えたい場合、可変パラメタを使用することで任意の値を引数とすることができます。
可変パラメタの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章ジョブをスケジュールする
4.3.13 メッセージ事象発生時に可変パラメタを利用したジョブネット連携をする場合
第 7 章ジョブを操作する
7.4 ジョブネットを可変パラメタ起動する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 で、IIS のインストール有無によって、利用できる機能の差異について教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager 導入環境に IIS をインストールすると、WEB クライアントから、Systemwalker Operation Manager の機能が利用できます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V13

【共通】

Q: メッセージ事象の発行とジョブネットの起動を、イベントログに出力することはできますか？

A: できます。
メッセージ事象の発行およびジョブネットの起動のどちらも、イベントログに出力できます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager にカレンダを登録していますが、別のサーバにも登録したいので、エクスポートする方法を教えてください。

A: カレンダのエクスポートとインポートは、GUI 上から、ポリシーの抽出と配付で行ってください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 日変わり時刻を意識して日付情報を取得する方法を教えてください。例えば、日変わり時刻が 8 時 10 分の場合、7 月 2 日 7 時は、7 月 1 日として出力したいです。

A: JOBSCH_JOBNET_DATE 環境変数に、運用日付（ジョブネットが何日付けの構成で起動しているかを示す値）が「yyyymmdd」の形式で格納されます。こちらを使用してください。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.5 ジョブの実行に関して知っていただきたいこと
B.5.2 ジョブの実行環境について

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアルを参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: マニュアルの導入手引書にあるポート番号の一覧からポートを設定する場合、備考欄に記載のある「業務連携の内部制御用」のポートは、送信元とあて先は同じシステムですか？

A: 「業務連携の内部制御用」のポートについては、データ方向の送信元とあて先は、同一のシステム（サーバならサーバ、クライアントならクライアント）になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: jobschprintcsv -n コマンドを使用して、Systemwalker Operation Manager 上のジョブネットのステータスを確認することはできますか？

A: できます。
コマンドの詳細については、Systemwalker Operation Manager リファレンスマニュアルを参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 登録ジョブを Administrator ユーザで起動する場合、クライアントから Administrator でログインして作成すればよいですか？

A: ジョブの実行ユーザに関しては、Systemwalker Operation Manager のクライアント接続時のユーザーとは、関係がありません。
Systemwalker Operation Manager では、ジョブの実行ユーザは以下のように、設定によって変わります。

■［ジョブを所有者の権限で実行する］が指定されていない場合
ジョブ実行制御サービス（Systemwalker MpMjes）のログオンアカウントで、ジョブが起動されます。

■［ジョブを所有者の権限で実行する］が指定されている場合
「プロジェクトの所有者」またはジョブのプロパティで「実行ユーザ名」を指定している場合は、「実行ユーザ名」でジョブが起動されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager の導入されているサーバから、Systemwalker Operation Manager が導入されていないサーバで実行しているスクリプトの実行結果を監視することはできますか？

A: リモートマシンでのジョブ実行(インストールレス型ジョブ実行制御)を利用することで、Systemwalker Operation Manager が導入されていないサーバのスクリプトを実行し、スクリプトの実行結果を監視することが可能です。
mjrmtjob リモートマシン上のコマンド/シェルスクリプト実行コマンドを利用してください。
（Linux 版 V13.9.0 以降、または、Windows 版/Solaris 版 V16.0.0 以降）
ただし、mjrmtjob コマンドの実行には、リモートマシン用のライセンスが必要です。
詳細は、解説書 2.3.2 こんなこともできます - mjrmtjob コマンドを利用してリモートマシン上でジョブを実行する を参照してください。
なお、上記より以前のバージョンレベルの Systemwalker Operation Manager の機能ではできません。
スクリプトを実行するサーバ上に Systemwalker Operation Manager が導入されていない場合、ジョブの実行を監視できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブネット名とジョブネット名称は、変更できますか？

A: ジョブネット名は、Systemwalker Operation Manager 側で管理する名前で、変更できません。ジョブネット名称は、ガントチャートやクライアント（管理画面 GUI）に表示される名称で、ジョブネットのプロパティから変更できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: グループ配下のジョブネットをコピーすることなく、他のグループで利用できますか？

A: できません。
グループに登録されているジョブネットは、他のグループのジョブネットとして再利用することはできません。複写した新たなジョブネットを新規作成するグループに定義してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブネット実行前の確認をジョブネットごとに実施できますか？

A: 実施できます。
ジョブネットの起動にあたり、オペレーターなどからの操作を待って起動したいということであれば、メッセージ事象の待ち合わせを利用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ガントチャートに前日分と当日分のジョブネット実行履歴を表示できますか？

A: 同時には表示できません。
ガントチャートには現時刻を含む 25 時間分の表示しかできません。切り替えて確認してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、同時に起動できるジョブネット数を教えてください。

A: システムで同時起動できるジョブの数は、999（V16.0.1 以前の場合は 99）です。ジョブネットがいくつ起動できるかは、ジョブネット内のジョブの数に依存します。
また、登録可能なプロジェクト数は、V13.2.0 以前は最大 256、V13.3.0 以降は最大 1000 であり、ジョブネット数は 1 プロジェクトに対して最大 255 です。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: グループ登録しているジョブネットが異常終了したときに、異常終了したジョブネットを再起動する方法を教えてください。

A: ジョブネットの再起動は行えませんので、グループを再起動してください。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 7 章 ジョブを操作する
7.9 グループを操作する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、あるプロジェクトのジョブネットやグループの内容を CSV などで出力し、実行モジュールのフルパスなどを変更した上で、別プロジェクトとして取り込むことはできますか？

A: できます。エクスポート／インポートの機能を使用することでできます。ただし、プロジェクトは手動で作成してください。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章ジョブをスケジュールする
4.5 定義情報をインポート/エクスポートする

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: ポリシー抽出で、ポリシー情報を全く指定しないとジョブネットはコピーされませんか？

A: ポリシー抽出でジョブネット情報をコピーする場合、［登録情報］シートの［スケジュール・起動日雛形］を選択する必要があります。なお、［ポリシーの抽出］ウィンドウで、チェックをつけずに［OK］ボタンをクリックすると、「抽出する情報が選択されてません。」の警告が表示がされて、抽出はできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 異常終了したジョブネットを先頭から再起動させる方法を教えてください。

A: ジョブネットを選択し、右クリックで表示されるメニューから［操作］－［起動］を選択してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 登録されているジョブネット一覧を、Systemwalker Operation Manager のジョブスケジューラ情報印刷を使用して出力しています。テキストデータで出力する方法があれば教えてください。

A: ジョブネットを登録しているサーバ（スケジュールサーバ）上で、jobschprint -n コマンドを実行して、テキストファイルに出力してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 同時実行ジョブ数を調査するコマンドはありますか？

A: 実行中のジョブ数を確認するには、qstat コマンドを実行しください。qstat コマンドで「実行中ジョブ数」をキュー単位で確認できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステム運用を検討しています。現在はスケジュールサーバだけをサブシステム運用したいと考えていますが、実行サーバもサブシステム運用する場合のメリットを教えてください。

A:サブシステムごとに実行インスタンスが分離されるので処理性能が向上します。また、同時実行ジョブ数などの制限値はサブシステム分増えます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.0.0 から V13.3.1 の Web 連携機能で、Ajax を使用する通信はありますか？

A: ありません。
Web 連携機能では Ajax を使用していません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager がイベントログに出力しているメッセージの種類（エラー、警告、および情報）の判断基準について教えてください。

A: 判断基準は以下のとおりです。

- エラー：運用に影響がある可能性が高く、即時対処が必要なメッセージ
- 警告：運用の継続は可能であるが注意や対処が必要なメッセージ
- 情報：対処が不要なメッセージ

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager が出力するメッセージについて、Systemwalker Operation Manager の障害検知の観点で、イベントログ以外に監視するものはありますか？

A: Systemwalker Operation Manager の障害検知の観点では、イベントログ以外に監視が必要なものはありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Active Directory 環境で、ユーザーにパスワードの有効期限を設定した場合、Systemwalker Operation Manager の観点での注意点を教えてください。

A: 以下の点に注意してください。

■Systemwalker Operation Manager V13.0.0～V13.3.1 で、スタートアップアカウントに Active Directory のユーザーを使用する場合
スタートアップアカウントには「無期限パスワードが設定されていること」が条件になっています。
そのため、スタートアップアカウントに Active Directory のユーザーを使用する場合は、有効期限を設定しないでください。

■Systemwalker Operation Manager のクライアントへのログイン時に Active Directory のユーザーを使用する場合
Active Directory のユーザーを使用していて、パスワードの有効期限が切れていた場合、Systemwalker Operation Manager のクライアントへのログイン時の認証に失敗します。

■ジョブの所有者に Active Directory のユーザーを使用する場合
Systemwalker Operation Manager で［ジョブを所有者の権限で実行する］の設定を有効にしていて、プロジェクトの所有者に Active Directory のユーザーを設定している場合、そのプロジェクト配下のジョブは Active Directory のユーザーでジョブが実行されます。
パスワードの有効期限が切れていた場合、認証に失敗するため、ジョブが実行できなくなります。

■業務連携のパスワード管理簿で Active Directory のユーザーを登録する場合
業務連携では、動作に必要なユーザーのパスワードをパスワード管理簿に登録します。そのため、パスワードの有効期限が切れていた場合、認証に失敗するため、業務連携機能が使用できなくなります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 1 つのジョブネットに対して、2 つのスケジューリングができますか？（例：月～土を 1:00 起動／日を 2:00 起動）

A: 1 つのジョブネットに対して、設定できるスケジュールは 1 つだけですが、V13.4.0 以降の場合は、以下の方法で実現できます。
対象のジョブネットをマスタリンクジョブネットとします。2 つのスケジューリング（異なるスケジュール条件）の親ジョブネットを登録し、対象のジョブネットをリンクジョブネットとして配置してください。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章ジョブをスケジュールする
4.1 ジョブのスケジュールに必要な知識
4.1.3 リンクジョブネットについて

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

V13.3.1 以前の場合は、できません。1 つのジョブネットの中で複数のスケジュールを設定することはできません。同じジョブ構成のジョブネットを 2 つ用意し、別々のスケジュールで稼働するよう設定をしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Job Designer を利用するにあたり、Systemwalker Operation Manager のマニュアル「導入ガイド（手引書）」に記載されているポート以外に利用するポートがあれば教えてください。

A: ありません。
Job Designer では、ポートを使用していません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 任意のタイミングでサーバに転送されてくるファイルを、ファイル転送が完了したことを契機に別フォルダに移動する機能はありますか？

A: chkfile コマンド【Windows 版】／jobschchkfile コマンド【Solaris,Linux,HP-UX,AIX 版】を利用した方法があります。

V13.8.0 以降の chkfile コマンドでは、-a オプションを指定することにより、ファイルの作成完了まで待ち合わせることができます。

V13.7.0 以前の chkfile コマンドおよび jobschchkfile コマンドは、ファイルの作成完了を待ち合わせませんが、ファイルの作成を待ち合わせます。ファイルサイズが大きい場合は、作成完了前の作成時点で待ち合わせが解けてしまうため、この場合を考慮し、ファイルを転送完了後に、転送完了を通知するための別ファイルを生成（転送）するような運用を検討してください。そして、その別ファイルを chkfile コマンド／jobschchkfile コマンドで待ち受けるジョブを先行ジョブとして登録し、後続のジョブで本来のファイルを移動する処理を実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Java Plug-in のアップデートを実施した場合、Systemwalker Operation Manager に影響があるか教えてください。

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブの分散実行機能は、Standard Edition と Enterprise Edition のどちらで利用できますか？

A: ジョブの分散実行機能は、Standard Edition および Enterprise Edition のどちらでも利用できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition の動作指定で、CPU の利用コア数を指定できますか？

A: 利用するコア数は指定できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブネットが異常終了した場合にアラーム通知する機能はありますか？

A: メッセージをイベントログ/SYSLOG に出力させることはできます。
ジョブネットの実行結果をイベントログ/SYSLOG に出力し、イベントログ/SYSLOG に出力されたメッセージを Systemwalker Centric Manager で監視およびアラーム通知する運用を検討してください。
ジョブネットの実行結果をイベントログ/SYSLOG に出力する方法や出力されるメッセージの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義
［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シート

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.0.0～V13.3.1 で、監視／操作に関する機能を Web ブラウザから使用する場合、Web サーバの OS として Red Hat Enterprise Linux 5.1 はサポートされていますか？

A: サポートしていません。
Linux 版の Systemwalker Operation Manager では対応していません。Windows 版および Solaris 版だけで対応しています。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.0.0～V13.3.1 には、ジョブ実行サーバおよびスケジュールサーバという位置付けのサーバがありますが、Systemwalker Operation Manager の監視／操作に関する機能を Web ブラウザから使用するための Web サーバを搭載するサーバとしては、スケジュールサーバを Web サーバにするほうがいいのですか？

A: スケジュールサーバを Web サーバにしてください。
ジョブのスケジュール情報や監視情報がスケジュールサーバに存在するためです。

プラットフォーム　: Windows　Solaris
バージョン　: V13

【共通】

Q: 使用するメモリを設定する画面があるか教えてください。

A: メモリを設定する画面はありません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【共通】

Q: SYSLOG に出力するメッセージを教えてください。

A: SYSLOG に出力するメッセージについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 メッセージ集
第 2 章　イベントビューアまたは SYSLOG に出力されるメッセージ

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【共通】

Q: 導入済みの Systemwalker Operation Manager を何らかの方法で無効化させて、別のサーバに導入する場合、ライセンス上問題のない方法を教えてください。

A: 導入済みの Systemwalker Operation Manager をアンインストールし、別サーバに導入してください。
なお、Systemwalker Operation Manager は、プロセッサライセンスです。別サーバのプロセッサ数が、既存のサーバのプロセッサ数よりも多くなる場合には、増加分のプロセッサライセンスが必要になります。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【共通】

Q: LANG の設定に関して、Systemwalker Operation Manager V13.0.0 は EUC でしたが、V13.2.0 以降では UTF-8 になっています。その理由を教えてください。

A: Linux OS がサポートする言語種別の変更に伴い、Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降では UTF-8 をサポートしています。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager を導入するにあたり、OS で確認できる資源（CPU／メモリ／ファイルシステム使用容量／ディスク I/O／ネットワークなど）以外で、製品として動作しなくなるような障害を未然に防ぐ観点で、監視しておいた方がいい項目があったら教えてください。

A: ジョブ終了出口を利用している場合、一時ファイルが作成されます。一時ファイルは、出口プログラム側で削除する必要があり、出口プログラムで削除できなかった場合、一時ファイルが大量に残ってしまうため、容量不足になる可能性があります。一時ファイルの作成先ディレクトリの空き容量にご留意ください。
出口プログラムによる一時ファイルの作成先ディレクトリについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 リファレンス集
第 18 章 出口情報

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブネットの実行結果の履歴、およびジョブの実行履歴の出力内容について教えてください。また、各ログのファイル形式を教えてください。

A: 各ログファイルの内容およびファイル形式は以下のとおりです。

■ジョブネットの実行結果の履歴
ジョブスケジューラ機能が出力するログファイルです。このファイルはテキスト形式です。
ファイルの出力内容については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 8 章 ジョブの履歴を参照する
8.1 ジョブネットの履歴表示
8.2 スケジュールジョブの履歴表示

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

■ジョブの実行履歴
ジョブ実行制御機能が出力するログファイルです。このファイルはバイナリファイルのため直接参照できません。mjsview コマンドでログファイルの内容を編集し、標準出力に形式化して出力します。
ファイルの出力内容については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 7 章 ジョブ実行制御コマンド
7.4 mjsview ログファイル出力コマンド

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Red Hat Enterprise Linux AS release 4.6 を 5.3 にアップする場合、Systemwalker Operation Manager V13.0.0 では対応していますか？

A: 対応していません。
Red Hat Enterprise Linux 5.3 は、Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、対応しています。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V13

【共通】

Q: /var ディレクトリ配下の以下のファイルについて、ログの切り替わり（ローテーション）が行われるかどうかを教えてください。

/var/opt/FJSVftlo/trc/f3cvtrc.log
/var/opt/FJSVJMCMN/log/mpjmsrv.log
/var/opt/FJSVJMCMN/spool/mjespoolx_syst/debug.log
/var/opt/FJSVJOBSC/log/jobsch_end.log
/var/opt/FJSVJOBSC/log/jobsch_start.log
/var/opt/FJSVJOBSC/log/tskwnsrv.log
/var/opt/FJSVstem/log/jobschmsgeventex.log
/var/opt/FJSVstem/log/stempolapp.log
/var/opt/FJSVMJS/var/spool/mjes/log/debug.log
/var/opt/FJSVMJS/var/spool/mjes/log/mjnetcln.log
/var/opt/FJSVMJS/var/spool/mjes/log/mjscnsl.log
/var/opt/FJSVMJS/var/spool/mjes/log/mjsoba.log

A: 質問にあるすべてのログファイルでローテーションが行われます。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Red Hat Enterprise Linux 上で動作する Systemwalker Operation Manager で、AF_UNIX や STREAM を用いた内部ソケット通信をしているか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のカレンダ機能で AF_UNIX および STREAM を用いた内部ソケット通信をしています。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、1:1 運用待機のクラスタシステムにおいて、一部のサブシステムを非クラスタ運用にした場合、待機系で qsub コマンドは問題なく使用できますか？

A: 問題なく使用できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、1:1 運用待機のクラスタシステムにおいて、一部のサブシステムを非クラスタ運用にした場合、サブシステム 0 は非クラスタシステム

でなければならないとのことですが、ディスクはローカルディスクまたは共有ディスクのどちらに配置しなければいけないのですか？

A: ローカルディスクとして配置しなければいけません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 導入ガイド／導入手引書に記述されているメッセージキューに関するシステムパラメタの設定値について、標準的な値として「200」という数値があります。その「200」の根拠（計算式）を教えてください。

A: ジョブネット（ジョブ）を 1 つ起動するごとに、メッセージキューに 4 つのメッセージが送信されます。その 1 つのメッセージ内のホスト名を 10 バイト、および出力ファイルのパス名を 40 バイトと仮定しています。これにより「200」としています。
計算式は以下のとおりです。

4 つ（1 ジョブネット（ジョブ）起動ごとにメッセージキューに送信されるメッセージ数）
×｛10 バイト（ホスト名）＋40 バイト（出力ファイルのパス名）｝＝200 バイト

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Job Designer を使用してジョブネットの登録を実行した結果の確認方法を教えてください。

A: 以下の方法があります。

- Systemwalker Operation Manager の GUI から確認する
- jobschprint －a または jobschprint －r コマンドで確認する

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 前回履歴（標準出力や標準エラー出力）に使用できる文字のコード範囲を教えてください。

A: ジョブの前回履歴（標準出力や標準エラー出力）に出力する文字は、以下の範囲になります。

- ASCII
- ひらがな
- 全角カタカナ
- 漢字（第一水準、第二水準）
- 全角記号

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: ジョブの出力情報はクライアント画面で見ることができるとマニュアルに記載があります。デマンドジョブでも見ることはできますか？

A: デマンドジョブの出力情報は、画面上からは参照できません。出力情報はテキストファイルから直接参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: OS の root のパスワードを変更した場合の影響を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の業務連携機能を使用している場合は、業務連携のパスワード管理簿を修正してください。また、Systemwalker Operation Manager のクライアントからサーバに root で接続する際には、新しいパスワードを入力して、ログインしてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: コマンド実行時にシェル名称を引数に設定する処理方法を教えてください。

A: 環境設定の［運用情報］－［旧互換］で［ジョブ登録時に指定したスクリプトファイルをスプールに複写し、実行する］のチェックを外すことで、シェル名称を引数に設定できます。

なお、チェックされている場合、ジョブ実行制御は、ジョブとして登録されたシェルスクリプトを、ジョブ実行制御のスプールディレクトリに複写して、ファイル名を「ジョブ番号」に変換します。そして、変換したシェルスクリプトをジョブとして起動します。

詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.4 ジョブが正常に動作しない
5.4.14 コマンド名をスクリプトファイルから参照することができない【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 以下のミドルウェアをインストールしたいのですが、インストールの推奨順序がありましたら教えてください。

Systemwalker Centric Manager Standard Edition
Systemwalker Operation Manager Standard Edition
Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition (Agent for Business)
Interstage Application Server Standard-J Edition
PRIMECLUSTER Global Link Services
UpdateAdvisor

A: インストール順序には、制約や注意事項はありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 にバージョンアップする場合、分散実行機能と旧互換分散機能がありますが、どちらを利用するとよいですか？

A: プラットフォーム（Windows、Solaris など）およびバージョンを意識しないで利用できる、分散実行機能の利用を推奨します。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition において、ジョブのマスタデータを自動生成する機能について詳細を教えてください。

A: ジョブのマスタデータを自動生成する機能は、Systemwalker Operation Manager のマスタスケジュール管理機能です。
マスタスケジュール管理機能を使用することで、ジョブネットのスケジュール情報を、運用日ごとに管理／運用することができます。また、スケジュール情報を複数のサーバに配付し、スケジュール処理を実行することができます。マスタスケジュール管理機能を利用することにより、以下のことが可能となります。

- 運用日ごとにスケジュール情報が管理できるため、マスタ情報を変更することなく定義を変更できます。
  特定の日だけスケジュール情報を変更する場合、変更する運用日のスケジュール情報をあらかじめ設定しておくことができます。また、動作後に元の設定に戻すなどの煩雑な作業が不要となります。
- スケジュール情報を複数のサーバに配付できるため、スケジュール処理によるサーバの負荷を分散することができます。【Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版】
- マスタ情報を実際に運用される日を指定して、あらかじめ登録しておくことができます。
  運用中にジョブネットやジョブの定義情報が大幅に変更される場合に、計画的に変更作業ができます。
- 運用日をまたいで持ち越したジョブネットの、当日のスケジュールを制御できます。
  前日のうちに終了しない業務がある場合、前日分の終了を待ち合わせたり、オペレータの判断で対処したりなど、柔軟な対応がとれます。

マスタスケジュール管理機能について詳細は、以下のマニュアルをご参照ください。
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 マスタスケジュール管理 ユーザーズガイド

なお、マスタスケジュール管理機能は、V13.3.1 以前は機能名が異なります。V13.3.1 以前の製品レベルについては、「スケジュール分散機能説明書」をご参照ください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【共通】

Q: Solaris 環境で Non-global Zone を複数構築した際に、Systemwalker Operation Manager における制限はありますか？

A: あります。
Zone 機能を使用した運用における Solaris サーバの電源制御は、サポートしていません。また、V13.3.1 以前の Web 連携機能を利用する場合は、Global Zone/Non-global Zone に関係なく、対象となる Zone へ連携できる Web サーバをインストールしてください。Global Zone に Web サーバがあっても、対象となる Zone に Web サーバがないと、Web 連携機能は利用できません。
なお、Systemwalker Operation Manager では、一つの Zone を一つのサーバとみなして動作しますので、Zone による動きに相違はありません。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17　V16　V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で提供されている、複数サブシステムの意味を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のジョブスケジューラとジョブ実行制御をまとめて「サブシステム」と呼び、サブシステムを 1 つのサーバの中で複数動作させることを「複数サブシステム」といいます。
サブシステムを複数持つことによって、本番用／テスト用など用途に応じて分けて運用することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager のカレンダ登録を行いました。そこで、カレンダ登録した情報の確認方法について教えてください。

A: jobschprint コマンドで確認してください。オプションは、-h、-s、または-l を使用してください。
-h オプションのあとにカレンダ名を指定し、登録されているカレンダの休日を確認できます。
-s オプションで、コマンドの実行ユーザーが参照できるジョブネットの起動日を確認できます。
-l オプションで、指定した年月の運用予定を確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 運用環境を退避する際に、退避データ格納先にネットワークドライブを指定しても問題がないか教えてください。

A: 問題があります。
Systemwalker Operation Managerで運用環境を退避する場合、退避データ格納先にネットワークドライブを指定することはできません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の Systemwalker Operation Manager のログ監視の設定において、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの［オプション］メニューで［イベント監視の条件定義］が選択できません。選択できるようにする手順を教えてください。

A: Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の Systemwalker Operation Manager ではイベント監視の条件定義機能はありませんので、利用できません。Systemwalker Operation Manager のイベント監視の条件定義は Windows 版で提供されている機能です。
イベント監視の条件定義機能を利用する場合は、Windows 版 Systemwalker Operation Manager の購入または Systemwalker Centirc Manager の購入を検討してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: シェルスクリプトを直接実行した場合と、Systemwalker Operation Manager から実行した場合とで、使用される環境変数 （LANG）が異なります。Systemwalker Operation Manager の動作について教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager でジョブを実行する場合、使用する環境変数（LANG）は状況によって異なります。
ジョブスケジューラデーモンは、LANG 環境変数に C を設定して動作しています。このため、ジョブの実行ユーザーのスタートアップシェル（.login .cshrc .profile など）、ジョブ、またはアプリケーション内に LANG 環境変数が設定されていない場合、LANG 環境変数に C が設定された状態でジョブまたはアプリケーションが動作します。

LANG 環境変数に C 以外を設定して動作させたい場合は、LANG 環境変数を以下のように設定してください。

■ログインシェルが csh の場合の設定例（Solaris 版の場合）

.login または.cshrc に以下の設定をします。
- 文字コードが EUC の場合：setenv LANG ja
- 文字コードが Shift_JIS の場合：setenv LANG ja_JP.PCK

■ログインシェルが sh または ksh の場合の設定例（Solaris 版の場合）
.profile に以下の設定をします。
- 文字コードが EUC の場合：LANG=ja;export LANG
- 文字コードが Shift_JIS の場合：LANG=ja_JP.PCK;export LANG

プラットフォーム　：Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Centric Manager の scentricmgr（サービス/デーモンの起動コマンド）を実行させています。Systemwalker Centric Manager のサービス／デーモンの起動は成功していますが、そのジョブが終了しないことがあります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
Systemwalker Operation Manager のジョブから scentricmgr コマンドを実行しているためです。

［対処方法］
scentricmgr コマンド、pcentricmgr コマンドは、Systemwalker Operation Manager のジョブとして実行しないでください。実行した場合、Systemwalker Operation Manager／Systemwalker Centric Manager の動作は保証しません。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【共通】

Q: IPC 資源を利用するのか教えてください。利用している場合は使用する ID の範囲を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager は IPC 資源（共有メモリ、セマフォ、メッセージキュー）を利用します。その際、空いている ID を使用しており、固定で使用していません。ID やキーが獲得できる範囲は、システムが設定できる有限値になります。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【共通】

Q: サーバと異なるバージョンの Systemwalker Operation Manager をクライアントにインストールしましたが、サーバと接続が行えません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
Systemwalker Operation Manager のクライアントのバージョン／レベルが、接続可能なサーバのバージョン／レベルの範囲外であることが原因です。

［対処方法］
クライアントのバージョン／レベルは、サーバのバージョン／レベルと同じか、新しいものにしてください。クライアントとサーバの接続範囲についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
付録 A 旧バージョンとの整合性
A.1 クライアント・サーバ接続のサポート範囲

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: route コマンド、in.routed デーモン、in.rdisc デーモンを使用（起動）することがありますか？また、上記 3 つのコマンド、デーモン以外の何らかの方法でルーティングテーブルを操作することがありますか？

A: Systemwalker Operation Manager では、該当コマンドおよびデーモンは操作していません。ルーティングテーブルを操作することはありません。ルーティングの削除や追加は OS に依存しています。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 の運用を行っているサーバに、インストールされている JRE1.5 Update 6 を JRE1.5 Update 12 にアップデートします。Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありますか？

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以前は、Java を利用していません。このため、JRE1.5 のアップデートによる影響はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V13

【共通】

Q: インストール種別「サーバ」機能を選択してインストールしていますが、「クライアント」機能を追加でインストールできますか？

A: Windows サーバであれば、クライアント機能の追加インストールは可能です。
インストール手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 1 章 Systemwalker Operation Manager を導入する
1.3 Windows へインストールする
1.3.3 インストール手順

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Solaris 10 の環境に Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.4.0 をインストールします。必要な OS のパッチを教えてください。

A: 必要な OS のパッチは、ソフトウェア説明書を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V13

【共通】

Q: ウイルス検索対象から除外しなければならないファイル／ディレクトリがあれば教えてください。

A: ウイルスチェック製品を利用している場合は、以下のディレクトリおよびその配下のディレクトリ／ファイルをウイルスチェックの検索対象としないでください。

- **ジョブ実行制御ディレクトリ**
  インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpmjessv
- **ジョブ実行制御のスプールディレクトリ**
  初期値は、
  インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpmjessv¥mjespool
- **ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ**
  初期値は、
  インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpjobsch¥jobdb
- **カレンダ情報ディレクトリ**
  インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpjmcal¥caldb
- **マスタスケジュール管理機能のデータベースディレクトリ**
  インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpstemsv

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: サーバリプレースにより、物理サーバの仮想化を検討しています。Systemwalker Operation Manager を VMware 製品で仮想化できますか？

A: できます。
VMware には Systemwalker Operation Manager V11.0L10 から対応しています。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: 和暦元号が「平成」から新規の元号に変更になった場合に、Systemwalker Operation Manager への影響はありますか？

A: 影響はありません。
Systemwalker Operation Manager では、和暦の元号を使用した処理はないため、元号が変更されても影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 を運用している OS を、Red Hat Enterprise Linux 5.1 から 5.6 にアップデートしたいのですが、Systemwalker Operation Manager に何か影響はありますか？

A: 影響はありません。
また、アップデートすることで、Systemwalker Operation Manager に適用すべき修正パッチもありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V13

【共通】

Q: Solaris コンテナに対応している Systemwalker Operation Manager のバージョンを教えてください。

A: Solaris コンテナは、global zone/non global zone ともに、Systemwalker Operation Manager V12.1 以降で対応しています。

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントと Systemwalker Centric Manager の運用管理クライアントを共存させると何か問題がありますか？

A: 問題ありません。
Systemwalker Operation Manager のクライアントと Systemwalker Centric Manager の運用管理クライアントが同一マシン上に共存しても、影響および問題はありません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: ハードリプレイスで、機種を PRIMEPOWER から SPARC M10 サーバまたは SPARC Enterprise サーバに変更予定です。Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？

A: SPARC Enterprise への機種変更による影響はありません。
SPARC M10 への機種変更については、Systemwalker Operation Manager V13.4.1 以降のサポートになります。

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Centric Manager Global Enterprise Edition が導入されている PC に、Systemwalker Operation Manager のクライアントをインストールしたいのですが、問題はありますか？

A: 問題ありません。

プラットフォーム : Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【共通】

Q: アクセス制御について記載されているマニュアルを教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のアクセス制御全般については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 4 章 セキュリティ
4.2 Systemwalker Operation Manager のセキュリティ機能

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: SupportDesk サービス契約をしています。アップグレードを行うためのメディアの入手方法を教えてください。

A: SupportDesk Web で、Systemwalker Operation Manager の「アップグレード版要求書」および「アップグレード要求明細書」を入手し、申請してください。申請していただくことで、バージョンアップ／レベルアップ用のメディアが送付されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager を利用しています。次版製品への更新は、有償／無償のどちらになりますか？

A: 製品サポートサービス「SupportDesk」を契約している場合は、「無償」でバージョンアップ／レベルアップできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【共通】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を導入したクラスタ構成のシステムについて、CPU の増設予定があります。CPU 増設の時期が両ノード同時ではない場合に、注意すべきことはありますか？

A: ありません。
CPU 増設時期がずれることにより、クラスタ構成の各ノードの CPU 数が異なった場合でも、Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありません。また、注意すべきこともありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【購入相談】

Q: Systemwalker Operation Manager の機能・特長は？

A: システムの自動運転、業務処理のスケジューリング、ジョブの実行制御などの機能があり、これらをビジュアルな画面で柔軟にきめ細かくできることが特長です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【購入相談】

Q: Systemwalker Operation Manager の、Standard Edition、Enterprise Edition、Global Enterprise Edition はどう違いますか？

A:

- Standard Edition は標準モデルです。
- Enterprise Edition は、Standard Edition の機能に加え、大規模なバッチ業務運用と、業務運用の高信頼性／高性能を実現します。
- Global Enterprise Edition は、メインフレーム（グローバルサーバ、PRIMEFORCE）を含むシステム環境のジョブのスケジュールを実現します。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【購入相談】

Q: Systemwalker Operation Manager の自動運転ではどのようなことができますか？

A:

- サーバ／クライアントの電源制御スケジューリング
  - サーバの電源制御は Windows x86 版、Linux x86 版、Solaris 32bit 版で可能

- サービス／アプリケーションのスケジューリング
  - サービスのスケジューリングは Windows 版で可能
  - アプリケーションのスケジューリングは Windows 版、Solaris 版、Linux 版、Linux for Itanium 版で可能

- オンライン業務（Interstage ワークユニット）のスケジューリング
  - オンライン業務（Interstage ワークユニット）のスケジューリングは、Windows 版、Linux 版、Solaris 版で可能

- バッチ業務、ERP 業務のスケジューリング
  - ERP 業務（SAP ERP）のスケジューリングは、Windows 版、Linux 版、Solaris 版で可能
    （Systemwalker for ERP(R/3)® ジョブ連携が必須）
  - ERP 業務（Oracle E-Business Suite）のスケジューリングは、Linux 版、Solaris 版で可能
    （Systemwalker for Oracle E-Business Suite ジョブ連携が必須）

- 異常のメール通知やコマンド起動
  - Linux 版、Solaris 版は Systemwalker Centric Managerと連携

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【購入相談】

Q: マルチプロセッサの場合のプロセッサライセンスの考え方を教えてください。

A: プロセッサライセンスの場合、基本的にはサーバに搭載されるプロセッサ数に応じたライセンスが必要になります。また、マルチプロセッサの場合は、サーバに搭載されている CPU 数分のライセンスが必要になります。なお、マルチコアプロセッサの場合は、コア数に応じたライセンスが必要となります。
詳細は「富士通製ミドルウェア商品のライセンス体系について」を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【購入相談】

Q: Systemwalker Operation Manager の V13 と V16 および V17 で、ライセンス形態に変更はありませんか？

A: ライセンス形態に変更はありません。
なお、V16 以降の Windows 版/Linux 版では、従来の永続ライセンスに加え、使用許諾期間を 1 か月に限定した「サブスクリプションライセンス」も提供しています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【購入相談】

Q: 1 台のサーバに対して、複数台の PC にクライアントをインストールして接続する場合、別途ライセンスを購入する必要がありますか？

A: 必要ありません。
Systemwalker Operation Manager のクライアントはインストールフリーです。クライアント台数にかかわらず、別途ライセンスを購入する必要はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【購入相談】

Q: アップグレードサービスで、アップグレード元の製品がサーバライセンスで、アップグレード先の製品がプロセッサライセンスの場合、要求数はいくつ指定すればよいですか？

A: アップグレード要求明細書の要求数には、現在保有しているライセンス数を記入してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【購入相談】

Q: Systemwalker Operation Manager 手配時に、バージョン／レベルを誤って古いものを手配してしまいました。新しいバージョン／レベルにアップデートすることはできますか？

A: SupportDesk 契約がある場合は、無償でアップデートすることができます。ご購入いただいた、弊社営業（または、販売会社）へご相談ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【購入相談】

Q: ライセンスの有効期限を教えてください。

A: 本製品のライセンスに有効期限はありません。
環境にあわせて、ライセンスを購入していただきますが、導入時にライセンスの登録は不要で、ライセンスが製品の動作に影響することはありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager は、ハッピーマンデー法に対応していますか？

A: 対応しています。「第 n 週の何曜日が休日」という設定が可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブ、ジョブネット、グループ、プロジェクトとは何のことですか？

A:

- ジョブ
  exe や実行形式ファイルなどのプログラム、bat のバッチファイルやシェルスクリプトなどのことです。
- ジョブネット
  関連あるジョブのまとまりのことです。
  ジョブネット単位に起動・停止の制御を行います。
- グループ
  関連あるジョブネットのまとまりのことです。
  ジョブネットの実行順序を制御できます。
- プロジェクト
  業務内容で分類するグループやジョブネットのまとまりのことです。
  ジョブネットやジョブの更新、操作および参照の権限を持つユーザを登録できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager で、日変わり時刻とは何ですか？

A: 一日の運用開始時刻です。Systemwalker Operation Manager ではこれを任意に指定できます。
V13.9.0 以降では、サブシステムごとに日変わり時刻を定義することもできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager では、ジョブの実行結果は、何をもとに正常・異常の判断をするのですか？

A: ジョブとして登録したプログラムの終了コードをもとに判断しています。バッチファイルの場合は、バッチファイル内で最後に実行された処理の終了コードになるため、Systemwalker Operation Manager では任意のコードで終了するようなコマンドを用意しています。
また、ジョブネットの開始時刻や終了時刻、ジョブネットやジョブの実行時間を監視し、開始や終了が予定時刻より遅れている場合や、長時間実行中の場合は、アラームをあげることも可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager では、ジョブの実行結果に従い、後続の処理を分岐することはできますか？また、分岐したあとに、フローを合流させることはできますか？

A: 可能です。ジョブとして登録したプログラムの終了コードをもとに、複数の後続の処理に分岐することができます。
また、分岐したあとに合流させることもできます。

詳細については、以下のマニュアルを参照してください。
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.1 ジョブのスケジュールに必要な知識

4.1.5 先行ジョブの終了コードによる後続ジョブの切分けについて

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager では、ジョブネットは何を契機に起動されますか？

A: ジョブネットは、以下を契機に起動されます。

- 日付
- 営業日
- 時刻
- 一定間隔の時刻
- サーバ起動時
- メッセージ事象発生時
- 先行のジョブネット終了時
- ファイル転送を待ち合わせ
- 電子メールを待ち合わせ

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager では、特定の営業日に、ジョブネットを起動できますか？

A: ジョブネットを第●営業日、第▲営業日、第■営業日、…というように特定の営業日に起動することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager で、大量のジョブネット/ジョブを一括して登録する方法はありますか？

A: あります。
csv 形式や制御文のファイルからジョブネット/ジョブを一括して登録することができます。
大量のジョブネット/ジョブを定義して一括登録する場合は、Job Designer を利用してください。Job Designer は、定義を Excel 上で行い、ジョブネット定義 CSV ファイルを生成します。
生成した CSV ファイルは、自動生成したバッチで一括登録できます。
また、V13.3.0 以降では、インポート機能により一括登録できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager では、定義情報を csv 形式や制御文で移行できますか？

A: csv 形式や制御文のファイルから定義情報を一括して登録（移行）することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager では、1 つのサーバ上に、複数のスケジューラを動作させることはできますか？

A: 「サブシステム」という機能により 1 つのサーバ上で 10 個までの複数のスケジューラ機能およびジョブ実行環境を動作させることができます。
サブシステムは、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition にて利用可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager では、1 つのサーバ上に、複数のジョブ実行環境を動作させることはできますか？

A: 「サブシステム」という機能により 1 つのサーバ上で 10 個までの複数のスケジューラ機能およびジョブ実行環境を動作させることができます。
サブシステムは、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition にて利用可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブ間の連携図（フロー図）は Excel 上で扱うことができますか？

A: Job Designer を利用して、ジョブ間の連携図（フロー図）を Job Designer のシートに出力できます。また、メッセージ連携しているジョブネット間の連携図（フロー図）を Job Designer のシートに出力できます。印刷することも可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: ジョブネットの同時実行に関して、Systemwalker Operation Manager の設定項目や起動目安（見積もり方法）があれば教えてください。

A: ジョブネットの同時実行について、Solaris、Linux、HP-UX、および AIX 版の場合は以下の設定に留意願います。
詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.2 システムの定義
2.2.3 システムパラメタのチューニング【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

ジョブの多重度については、Systemwalker Operation Manager の環境設定にあるキューの設定画面から定義・変更できます。
詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.8 ジョブ実行制御の定義
2.8.1 運用情報の定義
［キューの作成/編集］ウィンドウ

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: ジョブスケジューラコマンドを利用して、登録および削除を行う場合、処理時間はどのくらいかかりますか？

A: ハード性能、作業時の環境負荷状況、および登録するプロジェクトやジョブネットの構成により変動するため、明確な数値を提示することはできません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: 設計書どおりにジョブネットの登録やデマンドジョブの登録（フォルダ管理下）がされているかどうかを確認するためにテキストベースで情報を取得したいのですが、方法（コマンド）を教えてください。

A: 各種情報について、テキストベースの情報を出力する方法（コマンド）は以下のとおりです。

■カレンダ
jobschprint -h：登録されているカレンダの休日を出力します。
jobschprint -v：登録されているカレンダ名の一覧を出力します。

■起動日雛形
jobschprint -b：起動日雛形名の一覧を出力します。
jobschprint -c：日付設定の起動日雛形を出力します。
jobschprint -d：曜日設定の起動日雛形を出力します。

■プロジェクト
jobschprint -o：登録されているプロジェクト名の一覧を出力します。

■グループ
jobschprint -R：グループ制御文およびグループ内ジョブネット制御文で指定された情報を出力します。
jobschprint -x：登録されているグループについて、現在の状態を出力します。

■ジョブネット、ジョブ
jobschprint -r：ジョブネット制御文およびジョブ制御文で指定された情報を出力します。
jobschprint -j：ジョブネットおよびジョブの一覧を出力します。
jobschprint -n：ジョブネットの現在の状態を出力します。
jobschprint -a：登録されているジョブネットのプロパティ情報を出力します。

■デマンドジョブ
デマンドジョブの情報をコマンド出力することはできません。GUI で確認してください。

■アクセス権情報
mkbat：すでにプロジェクトに設定されているアクセス制御情報からアクセス権設定コマンド（mpsetacl）、所有者のアクセス権設定コマンド（mpchown）のコマンド列を作成します。

なお、登録情報をテキストベースで出力するコマンドは他にもあります。詳細は、リファレンス集を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: Systemwalker Operation Manager において、異なるサーバに対してメッセージ事象を発行（メッセージ連携）する方法を教えてください。

A: 異なるサーバへのメッセージ事象の発行（メッセージ連携）は、以下の注意事項があるため、後述するネットワークジョブを利用しメッセージ事象を発行します。

- 異なる OS 間（Windows - UNIX）では、ホスト名指定の jobschmsgevent コマンドは実行できない
- 実行ユーザーが Administrators グループに所属している必要がある（Windows）
- 実行するユーザーアカウントが、メッセージ事象を発生させるホストにおいても認証が通過する必要がある（Windows）
- 指定したホストに、コマンドを実行したユーザーが登録されている必要がある（Windows）
- 連携するサーバ間のファイアウォールは、NetBIOS インタフェースのポートを制限してはいけない（Windows）

メッセージ事象の発行に失敗した場合、以下のメッセージ（一例）が出力されます。
「MpJobsch: エラー: 7419: メッセージ事象の発生に失敗しました。」
「MpJobsch: エラー: 8418: メッセージ事象の発生に失敗しました。」

ネットワークジョブを利用したメッセージ事象の発行（メッセージ連携）方法は、以下です。
［登録 – ジョブ］ウィンドウで、［ジョブをネットワークジョブとして投入する］をチェックして、有効になった［依頼先ホスト名］にメッセージ発行先の対象サーバ名を入力してください。
なお、実行する jobschmsgevent コマンドでは、［ホスト名（Windows の場合）］または[-h ホスト名（UNIX の場合）]を指定しません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: バッチファイル内で setecode コマンドを使用していない場合、バッチファイル内のコマンドの復帰値はどのように取得されますか？

A: setecode コマンドを使用していないバッチファイルの場合、バッチファイル内で最後に実行されたコマンド（プログラム）の終了コードが復帰値として取得されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: ファイルコピーを行うコマンドをバッチファイルでジョブに登録し動作させましたが、バッチファイル内で終了コードが 1 と返ってきたために、Systemwalker Operation Manager が異常終了と判断してしまいました。Systemwalker Operation Manager はバッチプログラム内ではどのように処理を判断していますか？動作を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager に登録されたバッチファイルはバッチファイル中の最後に実行されたコマンド（プログラム）の終了コードを見て終了結果を判断しています。バッチファイルの処理自体が正常に完了していたとしても、終了コードが 0 以外の場合、Systemwalker Operation Manager では異常終了と判断します。
バッチファイル内で最後に実行された処理が 1 で復帰する場合、バッチファイル内に記述したコマンドの終了コードが正しいか確認してください。

バッチファイルの終了コードの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.6 ジョブスケジューラを使いこなすために

B.6.2 ジョブとしてバッチファイルを使う場合【Windows 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【設計／開発】

Q: シェルスクリプトまたはバッチファイルが異常終了した際に、ジョブの状態表示が赤になりません。環境変数などの設定が必要かどうか教えてください。

A: 環境変数などの設定は必要ありません。
Systemwalker Operation Manager では、シェルスクリプトまたはバッチファイルをジョブとして登録した場合、その中で実行された一番最後の処理の復帰値をジョブの終了コードとして使用します。
そのため、シェルスクリプトまたはバッチファイル内で処理が異常終了した場合でも、その後に正常終了する処理が行われてしまうと、ジョブは正常終了したものとして扱われます。
シェルスクリプトまたはバッチファイル内の処理が異常終了した場合は、異常終了を判定したあとに exit をするなどして、シェルスクリプトまたはバッチファイルが異常終了するように作成してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager がサポートしているクラスタシステム製品を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のバージョンレベルや動作 OS によって異なります。
マニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 3 章 動作環境
3.2 ソフトウェア資源
3.2.4 関連ソフトウェア

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager の旧バージョンレベルから新バージョンレベルへの資産の移行方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のバージョンレベルや動作 OS によって異なります。
マニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 3 章 動作環境
3.2 ソフトウェア資源
3.2.4 関連ソフトウェア

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker には SAP ERP(R/3)のジョブ管理機能があるそうですが、SAP（Unicode）に対してジョブ登録・管理は問題なくできますか？

A: SAP ERP のジョブを統合管理・自動化する製品として、「Systemwalker for ERP パッケージ ジョブ連携」があります。
本製品は「Systemwalker Operation Managaer」のオプション製品であり、Systemwalker Operation Manager + Systemwalker for ERP パッケージ ジョブ連携により SAP ERP ジョブの登録、実行が可能です。
V13.3.0 以降、SAP ERP 製品を統合管理・自動化する製品は、「Systemwalker for ERP パッケージ ジョブ連携」の SAP ERP ジョブ連携機能になりました。（V13.3.0 では「SAP R/3 ジョブ連携機能」）

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager において、ジョブを設定する際に実行予測時間、打ち切り時間等を設定できますが、指定した時間を超過した場合に、両方の設定では何が違うのですか？また、それぞれ設定時間を越えた場合、ジョブはどのような動きになりますか？

A: ● **実行予測時間：**
ジョブの実行予測時間で、1～35791384 分の範囲で指定できます。この値を越えると、イベントログ／シスログに警告メッセージが出力されます。
● **打ち切り時間：**
ジョブを打ち切り（強制終了）させる時間です。1～1666666 分の範囲で指定できます。この値を越えると、ジョブは異常終了します。

この 2 つの時間は同時に指定できます。同時に指定する場合は、「実行予測時間 ＜ 打ち切り時間」となるように指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager の、動作する OS は？

A: Systemwalker Operation Manager 動作環境を参照してください。
https://global.fujitsu/ja-jp/offering/operationmgr/

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager では、異なるシステム間での連携は可能ですか？

A: UNIX サーバ、Windows サーバ、グローバルサーバ、Windows クライアント上のジョブ連携が可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager では、バックアップ作業の自動化は可能ですか？

A: Arcserve などと組み合わせて、バックアップを自動化することが可能です。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットやグループの登録情報をインポート、エクスポートできますか？

A: すべてまとめて移行/移設する場合は、ポリシー抽出/配付が便利です。以下の場合は、後述する方法でインポート、エクスポートできます。

- 一部のジョブネットやグループを移行したい
- プラットフォーム、エディションやコード系など（*）が異なるため、ポリシー抽出/配付が利用できない

*「ポリシー情報の抽出/配付のサポート範囲」については、Systemwalker Operation Manager 解説書を参照してください。

1) コマンドによるインポート、エクスポート

■ジョブネット、ジョブの移行

移行元での作業

jobschprint -r プロジェクト名/ジョブネット名 [-sys サブシステム番号] >> ジョブネット名.txt

※リダイレクト先のファイル名は任意です。わかりやすいようにジョブネット名にしています。

移行先での作業

jobschsetnet -nent プロジェクト名 定義ファイル（上記で出力したファイル） [-sys サブシステム番号]

■グループ、グループ内ジョブネットの移行

移行元での作業

jobschprint -R プロジェクト名/グループ名 [-sys サブシステム番号] >> グループ名.txt

※リダイレクト先のファイル名は任意です。わかりやすいようにグループ名にしています。

移行先での作業

jobschsetgrp -ent プロジェクト名 定義ファイル（上記で出力したファイル） [-sys サブシステム番号]

※グループ内のジョブネットはあらかじめ同一プロジェクト内に登録済みである必要があります。

■カレンダの移行（V13.4.0 以降の機能）

移行元での作業

jobschprint -rh カレンダ名 >> カレンダ名.txt

※リダイレクト先のファイル名は任意です。わかりやすいようにカレンダ名にしています。

移行先での作業

(1) jobschsethol -ent 定義ファイル（上記で出力したファイル）

(2) クライアント（GUI）にて「年間休日の設定」を実施

■起動日雛形の移行（V13.4.0 以降の機能）

移行元での作業

jobschprint -rsp 起動日雛形名 [-sys サブシステム番号] >> 起動日雛形名.txt

※リダイレクト先のファイル名は任意です。わかりやすいように起動日雛形名にしています。

移行先での作業

(1) jobschsetcal -ent 定義ファイル（上記で出力したファイル） [-sys サブシステム番号]

2) クライアント（GUI）によるインポート、エクスポート（V13.3.0 以降の機能）

以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.5 定義情報をインポート/エクスポートする
4.5.1 GUI からインポート/エクスポートする

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

3) インポート、エクスポートでの注意事項
- 移行するジョブネットが利用するカレンダ、起動日雛形が移行先に存在する必要があります
- 階層ジョブネット、グループは、階層の深いジョブネットから上位へ順番に登録する必要があります
- 年を跨いで、エクスポート、インポートはできません。同じ年にエクスポート・インポートを実施してください
- コマンドでの移行の場合、コード系/改行コードが異なるサーバ間で移行する場合は、制御文のコード変換を実施の上、移行してください
- ジョブネットのメモ情報は、引き継ぐことはできません
- ジョブのアイコン位置情報は、V13.3.0 以降の情報をエクスポートした場合に引継ぐことができます
- ジョブネットが実行中にインポートはできません
- カレンダ、起動日雛形については、コマンドもしくはポリシー配付にて実施してください
- 利用ユーザーおよび、権限設定については、移行先の OS にてユーザーを作成してください。その後、各プロジェクトにユーザー権限を設定してください
- Enterprise Edition/Global Enterprise Edition から Standard Edition に移行する場合は、ジョブネット数の制限（最大 255）に注意してください

なお、ポリシー抽出/配付については、以下のマニュアルを参照してください。
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.13 既存環境を他のサーバ上に構築する場合の定義
上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 現在、別ドメインにあるクラスタ構成のスケジュールサーバと実行サーバを同一ドメインに変更します。この際、ドメインユーザーを使用してネットワークジョブを投入することはできますか？

A: ドメインユーザーを使用してネットワークジョブの投入ができます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Web 連携の設定方法を教えてください。

A: Web 連携は V13.3.1 以前の機能になります。
Web 連携の設定方法は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.3.0 導入手引書
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.13 Web ブラウザから使用する場合の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V13

【構築（導入／移行）】

Q: インストールする際、スタートアップアカウントはローカルアカウントでインストールし、導入後にドメインアカウントに変更して運用する手順を教えてください。

A: スタートアップアカウントを変更する際の手順は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.1 スタートアップアカウントの変更【Windows 版】
D.1.1 スタートアップアカウントを変更する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager を移行する際に、現行システムを停止する必要がありますか？また、現行システムを停止しないで移行する方法はありますか？

A: 同一バージョン間での移行は、無停止で移行できます。

■同一バージョン間で移行する場合
同一バージョン間の移行の際には、ポリシー抽出・配付により、システム無停止で移行できます。

■バージョンアップを伴う移行の場合
バージョンアップ先のバージョンが V11 以降の場合、バージョンリプレース時にポリシー抽出・配付することで、システム無停止で移行できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ネットワークでつながっていないサーバ間でジョブネット定義を移行できますか。

A: ネットワークで接続されていない場合、ファイル複写によるポリシー配付ができます。
ファイル複写によるポリシー配付の手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.13 既存環境を他のサーバ上に構築する場合の定義
2.13.2 ポリシー情報の配付
2.13.2.1 ファイル複写によるポリシー情報の配付

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ジョブネットを別サーバに移行する際、移行先サーバにあわせて設定変更を行いたいです。移行先サーバに反映させる前に定義を変更できますか？

A: 変更できます。
移行先サーバに反映させる前に定義を変更する方法は以下のとおりです。

1. 移行元サーバでジョブネット情報を抽出します。以下のコマンドをジョブネットごとに実行してください。
   jobschprint -r プロジェクト名/ジョブネット名 ［-sys サブシステム番号］ > ジョブネット名.txt
   ※出力時のファイルは任意です。わかりやすいようにジョブネット名.txt としています。

2. 手順 1.で抽出したファイルを移行先サーバに転送します。
3. 手順 1.で抽出したファイルを移行先サーバ用に編集します。
4. 手順 3.で編集したファイルを移行先サーバに登録します。以下のコマンドをジョブネットごとに実行してください。

   jobschsetnet -nent プロジェクト名 ジョブネット名.txt ［-sys サブシステム番号］
   ※ジョブネット名.txt は、手順 1 で出力したファイル名です。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントをインストールしたマシンの IP アドレスやホスト名を変更する場合、Systemwalker Operation Manager で必要となる作業について教えてください。

A: 業務連携機能を使用している場合は、設定の変更が必要になります。
作業の詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.2 IP アドレス、ホスト名の変更
D.2.2 Operation Manager クライアントの IP アドレス、ホスト名を変更する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition でクラスタシステムを構築する場合、サブシステム構築は必須なのか教えてください。

A: 1:1 運用待機クラスタ環境では、サブシステムは必須ではありません。2 ノード相互待機クラスタでは、サブシステムを作成する必要があります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のマニュアル「クラスタ適用ガイド」で、実行サーバをクラスタ構築する記載を見つけられませんでした。実行サーバはクラスタ構築できないのですか？

A: 実行サーバもクラスタ構築できます。スケジュールサーバおよび実行サーバで、導入およびインストールは同じ手順になります。
なお、実行サーバをクラスタ構成にした場合、フェールオーバした際には実行中のジョブは異常終了します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 必要分のライセンスは保有している状況で、サーバの CPU を増設する際、Systemwalker Operation Manager で考慮することを教えてください。

A: 考慮することはありません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【構築（導入／移行）】

Q: 旧バージョンをアンインストール後に、新バージョンをインストールする予定ですが、旧バージョンのアンインストール後に、手動でディレクトリやレジストリキーの削除などが必要ですか？

A: 旧バージョンのアンインストール後に、手動でディレクトリやレジストリキーの削除などは不要です。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降のインストールディレクトリ配下の mpcmtool/audit にあるテキストファイルをバックアップしないでシステムを復元した場合、システムに与える影響はありますか？

A: システムに与える影響はありません。
なお、該当ディレクトリ配下に存在するファイルは、監査用のログファイルです。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境で、データベースディレクトリだけを変更する方法を教えてください。

A: ［現在のデータベースを指定先に複写する］を利用することで変更できます。

■手順

1. クラスタシステムで Systemwalker Operation Manager のサービスを停止します。
2. ［環境設定クライアント］－［起動パラメタ］－［データベース］シートでディレクトリ欄を移行する新たなディレクトリに変更します。
   （注）新たなディレクトリに変更する作業は運用・待機の両系で行ってください。また、このとき［現在のデータベースを指定先に複写する］をチェックします。
   （注）［現在のデータベースを指定先に複写する］のチェックは、運用系だけで実施してください。
3. クラスタシステムで Systemwalker Operation Manager のサービスを起動します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【構築（導入／移行）】

Q: スケジュールサーバを 32bit 版の Windows OS で立ち上げていますが、実行サーバとして 64bit 版の Windows OS を追加します。32bit 版と 64bit 版の混在環境になりますが、問題点があれば教えてください。

A: 32bit 版と 64bit 版のプラットフォームが混在していても注意事項や制限はありません。
32bit 版と 64bit 版が混在するネットワークジョブにおいても特別な留意事項はありません。
32bit 版と 64bit 版のどちらかで統一しなくてはいけないということもありません。
導入や設定方法なども 32bit 版と同じです。

なお、64bit 環境で使用する際の留意事項は、ソフトウェア説明書に記載してありますので参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のサーバから Standard Edition のサーバにジョブネット定義情報を移行する方法を教えてください。

A: ジョブネット定義の移行は、jobschprint -r コマンド、および jobschsetnet -nche コマンドで行います。ジョブネットの移行手順は、以下のとおりです。

1. **ジョブネットおよびジョブの抽出**
   jobschprint -r コマンドを実行し、リダイレクト出力で、テキストファイルにジョブネット情報を任意の名前で保存（ジョブネット制御文作成）します。この情報にジョブネットおよびジョブの定義情報が書き込まれます。

   例：jobschprnt -r AAA/netA > C:¥netA.txt
   ※プロジェクト［AAA］内にあるジョブネット［netA］の定義情報を C ドライブ直下に「netA.txt」として保存

2. **ジョブネットの設定（変更）**
   jobschsetnet -nche コマンドでジョブネットを登録します。jobschsetnet -nche コマンドのオプションには、手順 1 で任意の名前で保存したテキストファイル名を指定します。

   例：jobschsetnet -nche AAA C:¥netA.txt
   ※プロジェクト［AAA］に、保存しておいた「C:¥netA.txt」の内容でジョブネットを変更

注意：移行先システムでプロジェクトは事前に作成してください。さらにプロジェクトのユーザーおよびアクセス権の設定も必要です。移行元のプロジェクトと同等に作成してください。なお、プロジェクトを作成するコマンドとして、jobschsetproject コマンドがありますが、多数のプロジェクトがある場合は、定義ファイル（プロジェクト情報制御文）を準備してください。

V13.3.0 以降の場合は、エクスポート・インポート機能でも移行できます。
エクスポート・インポートの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.5 定義情報をインポート/エクスポートする

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: UpdateAdvisor 形式の修正が適用されている状態ですが、Systemwalker Operation Manager をアンインストールすると、適用されている修正もすべて消えるか教えてください。

A: アンインストールすると適用されている修正もすべて消えます。
ただし、UpdateAdvisor で管理されている適用されたパッチの管理情報は削除されません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ポリシー情報の抽出／配付で、カレンダ情報の移行を実施した際、移行元のカレンダが移行先にない場合、または移行先にあるカレンダ情報が移行元にない場合はどのようになりますか？

A: 以下のようになります。

- **移行元にあるカレンダが移行先にない場合**
  移行先では新たに移行元に存在したカレンダが作成されます。
- **移行先にあるカレンダが移行元にない場合**
  移行先にもともとあるカレンダは削除されることなくそのまま残ります。
- **移行元、移行先両方に存在する場合**
  移行元の情報で移行先にあるカレンダが上書きされます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: コールドスタンバイ用のサーバの構築を行いますが、ジョブグループ、ジョブネット、およびジョブを移行する方法を教えてください。

A: バックアップコマンド「mpbko」およびリストアコマンド「mprso」を使用して、環境定義情報や運用管理情報を移行してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、スケジュールサーバがクラスタ構成です。実行サーバで環境設定を行いますが、ネットワークが接続されていない状態で［環境設定］－［運用情報の定義］－［クラスタ設定］シートの設定を行っても問題ありませんか？

A: スケジュールサーバと実行サーバのネットワークが接続されていない状態で設定を実施しても問題ありません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: アップグレードインストールの方法を教えてください。

A: すでに構築済の環境に新バージョンを上書きインストールすることでアップグレードインストールできます。
事前に旧バージョンのアンインストール作業などは必要ありません。また、資産の移行の必要もありません。
ただし、万一のアップグレード時のトラブルに対応するため、事前に環境のバックアップを作成しておくことをお勧めします。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、テストモード環境をサブシステムに構築する手順を教えてください。

A: サブシステムにテストモード環境を構築する場合は、最初にサブシステムを構築する必要があります。サブシステムは、以下のコマンドで構築できます。

```
createsubsystem.sh -sys サブシステム番号
```

テストモードの構築手順および注意事項については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.4 テストモードで運用する場合

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステムを新規作成するにあたり、既存のジョブネットを新規作成のサブシステムに移行する方法を教えてください。

A: ポリシーの抽出／配付で実現できます。
手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.15 既存環境を他のサーバ上に構築する場合の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Global Zone/Non-global Zone 環境によって、Systemwalker Operation Manager のインストール方法は変わりますか？

A: Global Zone/Non-global Zone 環境によってインストール手順が異なります。
以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 1 章 Systemwalker Operation Manager を導入する
1.4 UNIX へインストールする
1.4.3 インストール手順

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 性能テストに伴い、片方のノードの CPU を 1 つオフラインにして、1CPU で動作させる場合、どのような影響があるのか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、CPU の個数や特定の CPU を意識した動作をしないので、特に影響はありません。
ただし、クラスタ構成の場合は、不測の事態を避けるため、Systemwalker Operation Manager を停止した状態で、CPU の 1 つをオフラインにしてください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: HP 版 Systemwalker Operation Manager の環境を、上位バージョンの他 OS 版 Systemwalker Operation Manager に移行したいのですが、HP 版で設定していたジョブネットなどの設定情報を移行できますか？

A: 移行できます。ただし、移行方法は移行先の OS によって以下のようになります。

■HP 版から Solaris 版、AIX 版の場合
UNIX 版同士なのでポリシー抽出と配付で可能です。

■HP 版から Windows 版、Linux 版の場合

- **プロジェクト**
  移行できないので、Systemwalker Operation Manager のクライアント、または jobschsetproject コマンドのどちらかを用いて、事前にプロジェクトを新規作成してください。
- **グループ、グループ内ジョブネット**
  移行元：「jobschprint -R プロジェクト名/グループ名 >> グループ名.txt」を実行して制御文形式でファイルにリダイレクションします。
  移行先：「jobschsetgrp -ent プロジェクト名 グループ名.txt」を実行して登録します。
- **ジョブネット、ジョブの移行**
  移行元：「jobschprint -r プロジェクト名/ジョブネット名 >> ジョブネット名.txt」を実行して制御文形式でファイルにリダイレクションします。
  移行先：「jobschsetnet -nent プロジェクト名 ジョブネット名.txt」を実行して登録します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: mpbko／mprso コマンド、および swmove／swtrans コマンドの用途の違いを教えてください。

A: mpbko／mprso コマンドは、同一システムの資産をバックアップ／リストアすることを目的としたコマンドです。
swmove／swtrans コマンドは、製品をバージョンアップする際に、資産を移行することを目的としたコマンドです。
バージョンアップする場合は、swmove コマンドを使用してください。mpbko コマンドでバックアップしたデータを、バージョンが異なるサーバにリストアした場合の動作は保証していません。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 1 台のサーバ内に複数の Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降の環境を設定する際、ジョブの定義を繰り返し使用したいのですが、使用しているディレクトリだけを環境単位で一括で変更できるかどうか教えてください。

A: できます。
ジョブ定義変数を利用してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ジョブネットメモの定義情報について、他サーバに移行する方法を教えてください。

A: jobschnetmemo コマンドを使用して移行してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 本番環境と被災対策環境を設計しています。被災対策環境でジョブネットなどの動作を抑止する方法を教えてください。

A: 動作を抑止する方法としては、以下があります。

- ジョブネットを無効にする
- カレンダで休日にする
- Systemwalker Operation Manager のサービスを停止する

運用に合わせた方法を選択してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager を導入している環境で、サーバのネットワーク設定を変更する予定です。サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、および IP アドレスの変更による影響と、その対処方法について教えてください。

A: 影響と対処方法は以下のとおりです。

■サブネットマスク
クライアント業務連携機能の電源投入コマンド（PONCLI.EXE）を利用している場合、コマンドオプション、またはホスト情報定義ファイルに記載のサブネットマスクを変更する必要があります。
この設定変更以外には影響はありません。

■デフォルトゲートウェイ
デフォルトゲートウェイは製品として利用していないので影響はありません。

■IP アドレス
IP アドレスの変更に伴う影響と対処方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
　付録 D 導入環境の変更
　　D.2 IP アドレス、ホスト名の変更
　　　D.2.1 Operation Manager サーバの IP アドレス、ホスト名を変更する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ環境への組み込み時にサブシステム 0 をクラスタへ登録し、サブシステム 1 以降をローカルに配置することはできますか？

A: できません。
サブシステム 0 をクラスタへ登録する場合、サブシステム 1 以降も共有ディスク上の資源になるので、ローカルに配置することはできません。

なお、サブシステム 0 をローカルに配置し、サブシステム 1(サブシステム 0 以外)をクラスタへ登録することはできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、下位バージョンから上位バージョンへの移行作業において、クラスタ環境で複数サブシステムにポリシーを配付するタイミングについて教えてください。

A: マニュアル「Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編」の「2.2 インストール」でサブシステムを作成後に、「2.5 IP アドレスの設定」実施前にポリシー配付を行ってください。
なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager で、V13 のクライアントを V17 のクライアントにアップグレードインストールすることはできますか？

A: できます。
すでに構築済の環境に新バージョンをインストールすることでアップグレードインストールできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 Windows 版から Systemwalker Operation Manager V13.2.0 Windows for Itanium 版に Systemwalker Operation Manager の環境定義情報および定義情報を移行することはできますか？

A: できます。
ポリシーの抽出／配付で移行できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【構築（導入／移行）】

Q: プロジェクト単位でバックアップリストアが行えるか教えてください。

A: プロジェクト単位でジョブネットをバックアップ／リストアすることはできません。

プロジェクト内のジョブネット定義情報をエクスポート／インポートすることを検討してください。
V13.3.0 以降の場合は、クライアント機能でプロジェクト内のジョブネット定義情報をエクスポート／インポートできます。
V13.2.0 以前の場合は、プロジェクト内にあるすべてのジョブネットの情報を jobschprint -r コマンドを使って制御文形式でファイルに出力することでバックアップし、jobschsetnet コマンドを使ってリストアする方法を検討してください。
手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章ジョブをスケジュールする
4.5 定義情報をインポート/エクスポートする

4.5.1 GUI からインポート/エクスポートする
4.5.3 コマンドを利用してインポート/エクスポートする

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition において、待機系の方に設定されているアクセス権が運用系より多い状態で、運用系で mkbat コマンドで出力したファイルを待機系で実行してアクセス権の反映をした場合、待機系だけにある定義は残りますか？

A: 待機系の既存の定義については、以下の条件で残るか残らないかが決まります。

■プロジェクト所有者が異なる場合
プロジェクトが同じで、ユーザー名が違う定義が待機系に存在する場合は、運用系の定義に上書きされます。プロジェクトが異なる定義は、そのまま残ります。

■アクセス権が異なる場合
プロジェクトとユーザーが同じで、アクセス権の種類が違う定義が待機系上に存在する場合は、運用系の定義に上書きされます。プロジェクトやユーザーが異なる定義については、そのまま残ります。

なお、mkbat コマンドで出力するバッチファイル／シェルスクリプト内では、mpsetacl コマンドおよび mpchown コマンドを実行して、プロジェクト単位でユーザーを指定して、アクセス権および所有者を設定します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: クライアント端末の導入時、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能をインストールしませんでした。導入方法を教えてください。

A: 「クライアント（マスタスケジュール管理）」を追加インストールすることで導入できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: コマンド mpbko と swcolinf を同時に実行した場合、競合によりファイルが不整合を起こす可能性はありますか？

A: 不整合は発生しません。
mpbko と swcolinf で同じディレクトリを指定しても問題ありません。指定ディレクトリ配下に自動的に作成するディレクトリ名が異なるため不整合は発生しません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ジョブネットの移行方法を教えてください。

A: プラットフォームが同じであれば、ポリシーの抽出／ポリシーの配付で定義を移行できます。
異なるプラットフォーム間の場合は、以下の方法でジョブネットの移行を実施してください。

■プロジェクトの移行
GUI 上で新規作成してください。

■ジョブネットの移行
1. 移行元で以下のコマンドを実行します。なお、リダイレクト先のファイル名は任意です。

   jobschprint -r プロジェクト名/ジョブネット名 >> ジョブネット名.txt

2. 移行先で以下のコマンドを実行します。

   jobschsetnet -nent プロジェクト名 定義ファイル（上記で出力したファイル）

ただし階層化されたジョブネットの場合、事前に子ジョブネットをジョブネットの移行方法と同様の方法で移行させておく必要があります。子ジョブネットを移行したあと、親ジョブネットを移行してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: サーバの入れ替え（リプレース）および検証環境から本番環境への移行など、Systemwalker Operation Manager を別サーバへ移行する方法を教えてください。

A: ポリシー抽出／配付で移行できます。
ポリシー抽出／配付によって、環境設定、カレンダ情報、およびプロジェクトの情報など、設定情報はすべて移行できます。

移行方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker OperationMGR の動作環境を定義する
2.13 既存環境を他のサーバ上に構築する場合の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を、クラスタ環境から別サーバのクラスタ環境へ移行したいです。移行元と移行先の共有ドライブが別の場合（例 移行元：z ドライブ、移行先：y ドライブ）、移行が行えるかについて教えてください。

A: 行えます。
ポリシーの抽出と配付を使用して移行できますが、共有ディスクのドライブが違う場合は、以下のマニュアルの手順を実施してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.13 既存環境を他のサーバ上に構築する場合の定義
2.13.2 ポリシー情報の配付
a.データベースの格納ディレクトリが異なる場合

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Windows OS をインストール後、Systemwalker Operation Manager をインストールし、Systemwalker Operation Manager のホスト名など、何も設定を行っていない状態の環境で、Windows OS のホスト名を変更することで何か影響はありますか？

A: Systemwalker Operation Manager がインストール直後であり、Systemwalker Operation Manager として何の設定もしていない状態であれば、影響はありません。
OS のホスト名を変更後、Systemwalker Operation Manager の環境設定を行ってください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 定義情報などが格納されるディレクトリを教えてください。

A: 運用中に更新される Systemwalker Operation Manager の環境定義情報や運用管理情報の定義ファイルなどのディレクトリ構成については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 A 定義情報ファイルの格納先

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager をリストアをする際に、リストアコマンド mprso は Systemwalker Operation Manager の停止中に投入しても問題がないか教えてください。

A: 問題ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition において、他システムに環境を移行する際、ポリシー配付先がクラスタの場合、注意事項はありますか？

A: クラスタ環境へポリシー配付する場合の注意事項としては、以下のとおりです。

- ポリシー情報を配付されるとき、［ポリシーの適用］ウィンドウで［次回のサービス/デーモン起動時に適用する］を選択してください。
- ポリシー情報を配付して適用したあと、運用環境に合わせて［運用情報の定義］を変更してください。また必要に応じて、［クラスタ設定］シートを設定してください。
- 以下のマニュアルを参照の上、各ノードで管理される情報を統一してください。
  - Solaris/Linux/HP-UX/AIX 版の場合

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 2 章 導入
2.9 各ノードで管理される情報の統一
2.9.3 Systemwalker Operation Manager の環境定義の統一

- Windows 版の場合
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 2 章 導入
2.9 各ノードで管理される情報の統一
2.9.3 Systemwalker Operation Manager の環境定義の統一

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しています。移行元の V13 は、1:1 の運用待機でサブシステム運用していません。移行先の Systemwalker Operation Manager V17 は、相互待機でサブシステム運用する予定です。この環境でも移行できますか？

A: 移行できます。
移行手順は以下のとおりです。

1. 移行元の V13 の環境からポリシーを抽出します。
2. 移行先の V16 の環境に Systemwalker Operation Manager の環境を構築します。
3. 移行先の環境でサブシステム運用の環境を構築します。
4. 移行元のポリシーを移行先に送付します。このときに、移行先の 0 以外のサブシステムに導入します。
5. 移行先のクラスタ環境（2 ノード相互待機）を作成します。

なお、相互待機運用の場合、双方のシステムともライセンスが必要となりますので、ご注意ください。

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager の実行サーバを導入している Red Hat Enterprise Linux を 3.6 から 3.9 へバージョンアップします。それに伴い、スケジュールサーバ（Windows）で何か必要な作業が発生するか教えてください。

A: スケジュールサーバ（Windows）で必要な作業はありません。
実行サーバ（Linux）のポート番号や IP アドレスなど、OS のバージョン以外の環境が同一であれば、スケジュールサーバ（Windows）側で必要な作業はありません。

プラットフォーム : Windows Linux
バージョン : V13

【構築（導入／移行）】

Q: ポリシー抽出／配付を使用して環境移行を行いますが、環境移行直後にジョブが起動しないようにする方法を教えてください。

A: 以下の手順を実施してください。

■手順

1. ［ポリシーの抽出］－［環境定義］シートの［ジョブ制御］－［運用情報］を選択して、ポリシー抽出／配付し、配付先サーバの Systemwalker Operation Manager のサービスを再起動します。
2. 配付先サーバの環境設定から、［ジョブ制御］－［運用情報］を開き、［利用機能］シートから［サービス起動時にすべてのキューを停止する］を有効にし、Systemwalker Operation Manager サービスを再起動します。サービス再起動後、クライアント画面のキューサービス画面から、すべてのキューの状態が停止中であることを確認してください。
3. ［ポリシーの抽出］－［環境定義］シートの［ジョブ制御］－［運用情報］以外を選択して、ポリシー抽出／配付し、配付先サーバの Systemwalker Operation Manager のサービスを再起動します。
4. 配付先サーバのすべてのジョブネットを無効状態にします。
5. 配付先サーバの環境設定から、［ジョブ制御］－［運用情報］を開き、［利用機能］シートから［サービス起動時にすべてのキューを停止する］を無効にし、Systemwalker Operation Manager サービス再起動します。サービス再起動後、クライアント画面のキューサービス画面から、すべてのキューの状態が稼働中であることを確認してください。
6. ジョブネットを起動しても問題ない状況になりましたら、ジョブネットを無効解除してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: バージョンアップを実施する際、媒体にバックアップしてリストアすることはできますか？

A: できます。
ファイル複写によるポリシー情報の配付を実施してください。
手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.13 既存環境を他のサーバ上に構築する場合の定義
2.13.2 ポリシー情報の配付

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: クラスタ構成のシステムで Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しています。運用系と待機系の両方で、同時に Systemwalker Operation Manager の各プロジェクトに新規アカウントの権限を追加する方法を教えてください。

A: 運用系で mpsetacl コマンドを使用して設定を行い、そのあと mpcssave コマンドを実行してください。
ただし mpsetacl には以下の注意事項があります。

■mpsetacl の注意事項
- 本コマンドは、Systemwalker のクライアントでは実行できません。
- -a 指定の場合、ユーザー（-u オプション）、グループ（-g オプション）、または既知グループ（-w オプション）の指定が必須です。
- クラスタ運用している場合は、本コマンドを実行後、mpcssave コマンドを実行して、クラスタシステムの共有ディスクへのアクセス権情報を反映する必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ジョブネットの移行を行いますが、無効や停止状態も引き継ぐことができますか？

A: ポリシー抽出／配付の機能を使用すればできます。コマンドでは無効／停止状態を含めて移行することはできません。
環境設定画面からポリシー抽出を行い、移行先サーバに配付してください。ジョブネットの情報を移行する場合は、［登録情報］シートの［スケジュール・起動日雛形］を選択してください。また、環境設定などの情報も移行する場合は、以下のマニュアルを参照の上、必要な情報にチェックを入れてください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.13 既存環境を他のサーバ上に構築する場合の定義

V16.0.0 以降のバージョンレベルでは、インポート／エクスポート機能によってジョブネットを移行することで、引き継げます。
GUI からインポート／エクスポートする場合は、エクスポート時に[停止/無効の状態を出力する]を指定することで、無効や停止状態を出力できます。インポート／エクスポート機能の詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.5 定義情報をインポート/エクスポートする

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ポリシー抽出／配付とバックアップ／リストア(mpbko／mprso)の違いを教えてください。

A: ポリシー抽出／配付は、別サーバに同じ定義を移行することを目的とした機能です。バックアップ／リストア(mpbko／mprso)は、自身のサーバの退避／復元を目的とした機能です。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Windows の［スタート］/［アプリ］メニューから［Systemwalker Operation Manager］を選択しましたが、クライアント機能がありませんでした。クライアントインストールはできていないということですか？

A: できていません。
サーバ機能のデフォルトインストールでは、クライアント機能はインストールされません。オプション機能の選択で、クライアント機能を選択し、インストールを実施してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: SafeCLUSTER のクラスタ環境において、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のバックアップ手順を教えてください。

A: SafeCLUSTER のクラスタ環境でのバックアップ手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.4.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 3 章 運用
3.4 クラスタシステム運用時のバックアップ/リストア

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【構築（導入／移行）】

Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition が稼働しているシステムがあります。別サーバで新規にクラスタ環境を構築して、システムを移行する手順を教えてください。

A: シングル構成の移行先サーバに Systemwalker Operation Manager を導入し、移行元サーバから抽出したポリシーを配付します。その後、移行先サーバをクラスタシステム構築してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントをインストールしました。クライアントからマスタスケジュール管理（V13.3.1 以前では、スケジュール分散)機能だけをアンインストールできますか？

A: できません。
一部の機能をアンインストールしたり、追加インストールで機能削除することはできません。
そのため、一度クライアントをアンインストールし、再度必要な機能だけを選択してインストールしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 同一マシンで Systemwalker Operation Manager を V13.0.0 から V13.3.0 にレベルアップする場合、登録された資産はどのようにしたら移行できますか？

A: アップグレードインストールすることで移行できます。
Systemwalker Operation Manager を同一マシン上で移行する場合は、アップグレードインストールで行います。アップグレードインストールは、本質問バージョンに限らず、旧バージョンから新バージョンへのバージョンアップおよび資産の移行を行います。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【構築（導入／移行）】

Q: Red Hat Enterprise Linux の環境に、Systemwalker Operation Manager をインストールしました。システムパラメタチューニングするかどうかの判断材料、資料、適正値算出方法について教えてください。

A: システムパラメタに関する情報は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.2 システムの定義
2.2.3 システムパラメタのチューニング【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 同一バージョンレベルにおいて Standard Edition から Enterprise Edition にエディションアップする手順を教えてください。

A: アップグレードインストールを実施してください。また、資産はそのまま利用できます。
手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 1 章 Systemwalker Operation Manager を導入する
1.3 Windows へインストールする
1.4 UNIX へインストールする

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 が導入されているサーバの OS を、Red Hat Enterprise Linux 5.1 から Red Hat Enterprise Linux 5.3 にバージョンアップした場合の影響について教えてください。

A: 影響はありません。
Systemwalker Operation Manager V13.2.0 は Red Hat Enterprise Linux 5.3 に対応しています。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V13

【構築（導入／移行）】

Q: 現在「/etc/sysconfig/i18n」の設定が「ja_JP.UTF-8」になっていますが、Systemwalker Operation Manager をインストールするにあたって、変更が必要ですか？

A: 変更する必要はありません。
Systemwalker Operation Manager をインストールする際には「/etc/sysconfig/i18n」の設定値を参照して、設定値に対応する文字コードでインストールしています。

マニュアル「導入ガイド」に記載されている「設定値とコード系」の表は左側が「/etc/sysconfig/i18n」の設定値、右側がそれに対する Systemwalker Operation Manager インストール時の文字コードを示しています。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 分散実行先サーバのマザーボードを交換するため、サーバを停止します。その間も運用を行いますが、何か問題はありますか？

A: 問題ありません。
スケジュールサーバ上で次の依頼先ホストにジョブを依頼するので問題ありません。なお、停止していた分散実行先サーバが起動しても、分散

実行先サーバとして機能するまでに、最大 10 分の間隔が必要になることがあります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しており、V13 から V17 にバージョンアップをする予定です。クラスタ環境からシングル環境に変更します。これらの変更をする上で考慮すべき点があれば教えてください。

A: 同一サーバでのバージョンアップの場合は、一度クラスタ構成を解除し、バージョンアップを行います。別サーバでのバージョンアップの場合は、ポリシー抽出および配付を使用してください。
なお、バージョンアップ時に以下のエディション変更はできませんので、ご注意ください。

- Enterprise Edition→Standard Edition
- Global Enterprise Edition→Standard Edition
- Global Enterprise Edition→Enterprise Edition

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: バックアップ連携コマンド mpback が BrightStor ARCserve Backup r11.5 に対応しているかどうか教えてください。

A: 対応していません。
mpback を含む下記バックアップ連携コマンドは、BrightStor ARCserve Backup r11.1 まで対応していますが、r11.5 以降は対応しておらず、動作保証しません。

- mpsubasx コマンド
- mpscninf コマンド
- mpback コマンド
- mprest コマンド
- mpcopy コマンド
- mpasxinf コマンド

r11.5 以降の場合は、ARCserve のバックアップコマンド（cabatch）を利用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【構築（導入／移行）】

Q: ジョブネット定義を復元するために Systemwalker Operation Manager の運用中にリストア（mprso）することはできますか？

A: できません。
mprso コマンドでリストア実行時に Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンが停止している必要があるため、運用中に mprso コマンドでリストアすることはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Solaris 環境の Systemwalker Operation Manager で作成したジョブネットの情報およびカ

レンダ情報を、同一バージョンレベルの Linux 環境の Systemwalker Operation Manager に移行する方法を教えてください。

A: Solaris 環境から Linux 環境へカレンダ情報の移行方法はありません。
ジョブネットの定義情報については、クライアント GUI を使用する、または各サーバ上でコマンドを使用してのジョブネットのエクスポート／インポートでできます。ジョブネットの定義情報のエクスポート／インポートについては、以下のマニュアルをご参照ください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.5 定義情報をインポート/エクスポートする

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ジョブネット定義を復元する方法を教えてください。

A: 以下の手順を実施してください。
■手順
1. 復元に必要なジョブネット定義を jobschprint -r コマンドで事前に出力します。
jobschprint -r プロジェクト名/ジョブネット名 -detail > 出力先ディレクトリ/ファイル名

2. もとのジョブネット定義に復元するには jobschsetnet -nche コマンドを使用します。
jobschsetnet -nche プロジェクト名 ジョブネット定義ファイル名

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 同時起動ジョブネット数により、カーネルパラメタ「kernel.msgmnb」の値を設定する必要がありますが、この値が極端に大きすぎたりすると、どのような影響がありますか？

A: 例えばハードウェアのリソース不足、パフォーマンスが悪化する、期待したシステム性能が出ない、などの影響が考えられます。

プラットフォーム : Linux
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: SystemcastWizard を使用して、コールドスタンバイの Systemwalker Operation Manager をバックアップ／リストアできますか？

A: できます。
手順は以下のとおりです。ただし、留意点があります。
1. SystemcastWizard を利用して、現システムをバックアップする。
2. SystemcastWizard を利用して、手順 1.で採取したバックアップデータをリストアする。

留意点については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 1 章 起動・終了
1.1 起動方法
1.1.2 Systemwalker Operation Manager サーバの起動【UNIX 版】

SystemcastWizard と連携する場合

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager がインストールされた複数のサーバのうち 1 台を NetVault で代表バックアップ実施後、複数のサーバに NetVault でリストアした場合、Systemwalker Operation Manager では動作保証していますか？

A: 動作保証しません。
Systemwalker Operation Manager のバックアップ／リストアの際には、Systemwalker Operation Manager で提供しているコマンド（mpbko／mprso）で実行してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.0 から V13.3 以降にジョブネットを移行する手順を教えてください。

A: 以下の 3 つの移行方法があります。

■移行方法

- **jobschprint -r コマンドでジョブネットを抽出し、jobschsetnet コマンドで登録する方法**
  移行したいジョブネットだけを選択して移行できますが、登録する前に jobschprint -r コマンドで出力した制御文の文字コードを UTF-8 に変更する必要があります。

- **ポリシーの抽出および配付による方法**
  文字コードが異なる環境では実行できません。

- **Systemwalker Operation Manager クライアントからサーバに接続し、ジョブネットを右クリックしてエクスポートする方法**
  V13.3 以降のクライアントから V13.0 サーバに接続してジョブネットをエクスポートすれば、クライアント上で Shift_JIS で制御文が保存され、この制御文を移行先サーバに接続して登録できます。文字コードの変更作業は必要ありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Solaris 10 の環境から Solaris 11 の環境にリプレイスします。定義の移行手順について教えてください。

A: 移行元で swmove コマンドで情報を退避し、移行先で swtrans で退避情報を復元することで移行できます。
手順の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 移行ガイド
第 2 章 移行手順
2.2 別のマシンに移行する手順
2.2.2 UNIX 版の移行

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: サーバ環境の移行をします。ユーザー環境（アクセス権）だけ移行することはできますか？

A: できます。
mkbat コマンドを使用することで、移行先サーバに、移行元サーバの設定を移行することができます。
mkbat は、すでにプロジェクトに設定されているアクセス制御情報からアクセス権設定コマンド（mpsetacl）、および所有者設定コマンド（mpchown）のコマンド列を作成します。出力内容をバッチファイル／シェルスクリプトなどで作成して実行することで、移行元と同じアクセス権情報を設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: クラスタ環境の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の移行について、クラスタに登録したままで、swmove コマンドと swtrans コマンドを使用して移行できますか？

A: できます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: swmove コマンドによる環境移行時の業務への影響と、出力されるファイルの容量について教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止する必要があります。swmove コマンドの出力容量については、以下のマニュアルに記載している「バックアップ」の「退避先の空き容量を確認する」の算出式を利用して確認してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 3 章 運用環境をバックアップ・リストアする
3.1 バックアップ
3.1.3 UNIX サーバ環境をバックアップする

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールすることによって、Tomcat がインストールされることがありますか？

A: Systemwalker Operation Manager V13.4.0～V13.6.1 の場合に限り、Tomcat がインストールされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Solaris 版の Systemwalker Operation Manager で、クライアントは Solaris 上にインストールする必要がありますか？

A: 必要ありません。
Systemwalker Operation Manager のクライアントは、Windows 端末にインストールします。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Windows Server で Active Directory のドメインコントローラを作成する場合、Systemwalker Operation Mangaer をインストールするのは、ドメインコントローラの作成前ですか、それともあとですか？

A: ドメインコントローラの作成前後、どちらでも問題ありません。

■ドメインコントローラ作成前にインストールする場合
以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.5 ドメインコントローラへの昇格/ドメインコントローラからの降格

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。
■ドメインコントローラ作成後にインストールする場合
Systemwalker Operation Manager インストール時にスタートアップアカウントの入力を求められた場合は、ドメインユーザーを指定してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 旧環境から新環境に移行する際、5 台のサーバから 1 台のサーバにデータを集約することはできますか？

A: できます。
ただし、プロジェクト名やカレンダ名が重複する場合は、それぞれ名前を変えて集約する必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: MpWalker/JM 2.0 から Systemwalker Operation Manager V13 にデータ移行することはできますか？できる場合、移行手順を教えてください。

A: 移行することはできます。移行手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.4.0 バージョンアップガイド
付録 A MpWalker/JM のバージョンアップ【Windows 版】
付録 B MpWalker/JM またはジョブスケジューラのバージョンアップ【UNIX 版】

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris
バージョン　: V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V17.0.0 の新規環境の構築を検討しています。他の既存サーバには Systemwalker Operation Manager V16.0.0 をインストール済みです。別サーバに新規環境を構築する場合、V16.0.0 がよいですか？または V17.0.0 がよいですか？バージョンの違いによる非互換および変更点を教えてください。

A: バージョンの違いによる非互換および変更点は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リリース情報
第 1 章 追加機能の概要
第 2 章 互換に関する情報

なお、異なるバージョン間での運用もできるので、バージョンを統一する必要はありません。
ただし、異なるバージョンの製品を導入したサーバ間での運用については、以下の点に注意してください。

下位バージョンのクライアントから上位バージョンのサーバには接続できません。
ポリシー情報の抽出と配付については、上位バージョンのサーバから抽出した情報を、下位バージョンのサーバには配付できません。
詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
付録 A 旧バージョンとの整合性

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の運用待機のクラスタ構成で、サブシステム運用を検討しています。この場合、一部のサブシステムをクラスタ化することに問題はありませんか？

A: 導入されている Systemwalker Operation Manager のバージョンによっては、問題があります。
Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以前の場合は、一部のサブシステムだけをクラスタ構成とする運用はサポートしていません。
バージョンが V13.3.0 以降では、サブシステムの一部をクラスタ構成にする運用をサポートしています。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager クライアントマシンにおいて、Systemwalker ユーザーに書込み権限を許可する必要があるフォルダ名を教えてください。

A: 以下のフォルダをアクセス可能な状態にしてください。

- Systemwalker Operation Manager インストールフォルダ配下（デフォルトで C:¥systemwalker、V13.2.0 以前の場合は C:¥WIN32APP 配下）
- Windows のシステムフォルダ（C:¥WINDOWS 配下）
- Windows の TEMP フォルダ（%TEMP%配下）

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition をサブシステムがない状態のクラスタ構成で構築しています。これをサブシステム運用に変更したいと思います。 設定変更の作業の流れ、サービスの停止などを教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager をクラスタシステムからアンインストールし、サブシステム構築後、再度、 クラスタシステムへ登録する作業を行ってください。
作業の流れを PRIMECLUSTER Linux 版を例として以下に説明します。
なお、詳細な作業手順等については、各マニュアルを参照してください。

■クラスタ環境にサブシステム運用を導入する手順について
クラスタ構成を取っており、かつそのシステムでサブシステム運用を行いたい場合、以下の手順で実施してください。

1. PRIMECLUSTER システムから Systemwalker Operation Manager をアンインストール

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 5 章 PRIMECLUSTER Linux 版システム固有の手順
5.2 PRIMECLUSTER システムからのアンインストール
「1) RMS の停止と RMS Wizard の起動」から
「15)共有ディスクの不要なディレクトリの削除」までを参照して実施してください。

2. サブシステムを構築
以下のマニュアルを参照して実施してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.5 複数サブシステム運用の定義
2.5.1 サブシステム環境の作成
2.5.2 サブシステム用のポート番号の設定

3. PRIMECLUSTER システムに Systemwalker Operation Manager をインストール
以下のマニュアルを参照して実施してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 2 章 導入
第 5 章 PRIMECLUSTER Linux 版システム固有の手順

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager で、分散実行先のサーバを 4 台から 2 台に変更しました。除外したサーバでジョブが実行されていないか確認する方法を教えてください。

A: ジョブ実行履歴情報を確認してください。なお、分散実行機能によりネットワークジョブとして投入されたジョブの情報は、実行サーバ上では画面上で確認ができません。

■ジョブ実行履歴情報について
ジョブ実行履歴情報は、バイナリファイルで保存されているため、直接参照することはできません。mjsview コマンドで標準出力してください。

mjsview ログファイル名 > ファイル名

※ログファイルの格納先はデフォルトで以下になります。

Windows 版の場合：Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥
MpWalker.JM¥mpmjessv¥hist¥日付.log

Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の場合：/var/spool/mjes/hist/日付.log

ファイルの保存場所は、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］－［運用情報］－［運用情報の定義］－［ログ］シートで設定されています。

■mjesview コマンドによる出力結果（ジョブ実行履歴情報）の確認方法について
それぞれのサーバにおいて、除外したサーバに関する以下のログが記録されていないかについて、確認してください。

スケジュールサーバ
ジョブをネットワークジョブ（分散実行機能）で依頼した場合、以下のようなログが記録されます。

yyyy/mm/dd hh:mm:ss MJS003I job ジョブ名（ジョブ番号.HOST1）
step mjsrjob start on HOST2

HOST1：スケジュールサーバ（自サーバ）のホスト名
HOST2：実行サーバのホスト名

実行サーバ
ジョブをネットワークジョブ（分散実行機能）で受信した場合、以下のようなログが記録されます。

yyyy/mm/dd hh:mm:ss MJS007I job ジョブ名（ジョブ番号.HOST1）
accept from HOST2

HOST1：実行サーバ（自サーバ）のホスト名
HOST2：スケジュールサーバのホスト名

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager を Solaris 11 に導入したいです。kernel パラメタのチューニングについて、共有メモリとメッセージキューは加算なのか最大値なのか教えてください。

A: 共有メモリ project.max-shm-memory は加算です。メッセージキューprocess.max-msg-qbytes は最大値、project.max-msg-ids は加算です。
システムパラメタについては、以下のマニュアルをご参照ください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.2 システムの定義
2.2.3 システムパラメタのチューニング【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所をご参照ください。

プラットフォーム　：Solaris
バージョン　：V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager の移行作業において、swmove 移行用退避コマンドを

使用した場合、同じ環境に入っている Systemwalker Centric Manager に影響がありますか？

A: あります。
Systemwalker Centric Manager と共存している場合、swmove 移行用退避コマンドを実行することで、Systemwalker Operation Manager の全デーモンの他に Systemwalker Centric Manager の全デーモンも自動的に停止されます。
移行作業後に、soperationmgr -a コマンドを実行して、Systemwalker Centric Manager 側のデーモンも Systemwalker Operation Manager のデーモンと同時に再起動してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ネットワークジョブを実行する際に使用しているプロトコルの種類とポート番号を教えてください。また、番号はバージョンによって変更ありませんか？

A: ネットワークジョブの実行で使用するポート番号は、以下のとおりです。ポート番号はバージョンによって変更ありません。
mjsnet：9327/tcp（ネットワークジョブの依頼・監視用）
ジョブ依頼元サーバ→ジョブ実行サーバ
jmnet：9352/tcp（ネットワークジョブの強制終了用）
ジョブ依頼元サーバ→ジョブ実行サーバ
jmnet：9352/tcp（ネットワークジョブの終了通知用）
ジョブ実行サーバ→ジョブ依頼元サーバ

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールした際に選択した、インストール種別やオプション機能の選択内容を、製品インストール後に確認する方法を教えてください。

A: F3crfver 製品情報表示コマンドを以下のように実行することで、インストール種別の選択、オプション機能の選択を GUI 上で確認できます。
F3crfver.exe /OPER

表示された［バージョン情報］ウィンドウで［詳細］ボタンをクリックし、インストールされている機能を確認してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 現状のジョブネットの定義をベースに、ジョブネット制御文を使用してほかのシステムへ展開を考えていますが、起動日ビットパターンについては移行対象外にしたいです。ジョブネット制御文中の、起動日ビットパターンを削除して問題ありませんか？

A: 問題ありません。
起動日ビットパターン（jobschprintr）項目を移行対象外としたい場合は、起動日ビットパターン項目を削除し、ジョブネット制御文をインポートしてください。
起動日ビットパターン項目は、jobschprint コマンドにより生成された値以外が指定された場合の動作は保証されませんが、項目自体の削除については問題ありません。
V16.0.0 以降では、GUI のエクスポート機能において、[起動日ビットパターンを出力する]のチェックを外すことで、起動日ビットパターンをあらかじめ移行情報から外すことができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition インストール時にデフォルトで設定される起動スクリプトのファイル名を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition の場合、インストール時の起動スクリプトは「S99startswOperation」で固定です。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager で使用するポート番号が、別製品ですでに使用されていた場合はどのようになりますか？

A: サービスの起動に失敗します。その際、以下のようなメッセージが出力されます。

MpJmSrv: ERROR: bind() Address already in use
MpJmCal: ERROR: 0007: init_socket SSock <bind>() Address already in use (125)
MpJobsch: ERROR: 0412: bind() Address already in use
MpJobsch: ERROR: bind() Address already in use
MpMjes: ERROR: 10110: mjsnetsv : Failed in the bind of port number <number>/tcp.
MpMjes: ERROR: 10111: jmnetsv : Failed in the bind of port number <number>/tcp.
0xA818：通信制御部の初期処理で、制御パス確立受付けソケットのバインドに失敗しました。
0xA819：通信制御部の初期処理で、業務連携エンジン検索受付けソケットのバインドに失敗しました。
0xA81A：通信制御部の初期処理で、業務連携エンジン業務連携接続ソケットのバインドに失敗しました。
MpAosfB: エラー: 3016:アクション実行サーバが起動されていません。ホスト名:hhhh
mpnjsosv: エラー: 10264: 通信制御部の初期処理で、制御パス確立受付けソケットのバインドに失敗しました。
mpnjsosv: エラー: 10266: 通信制御部の初期処理で、業務連携エンジン業務連携接続ソケットのバインドに失敗しました。
0xe00aa201:サービス起動処理監視がタイムアウトしました。
Web サーバのセットアップに失敗しました。

これらのメッセージが出力された場合の対処について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 2 章 共通のトラブルシューティング
2.1 インストールに関するトラブル
2.1.5 NetWorker 等との共存環境で Systemwalker Operation Manager のエラーメッセージが表示される

第 8 章業務連携に関するトラブルシューティング
8.4 クライアント業務連携エンジンの動作がおかしい
8.4.1 クライアント業務連携エンジンの起動時にエラーが発生する

ポート番号の変更手順および注意事項については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.2 システムの定義
2.2.2 ポート番号の変更方法

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールしているサーバで、Arcserve を使用してバックアップした際に、Systemwalker Operation Manager の関連ファイルで、stdout というファイルがスキップされました。スキップされて問題ないファイルですか？

A: stdout のファイルは、一時ファイルのため、問題はありませんが、Systemwalker Operation Manager のバックアップを実施する場合は、mpbko コマンドを使用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager のあるバージョン／レベルのクライアントを利用している環境に別のバージョン／レベルの Systemwalker Operation Manager クライアントをインストールしたいのですが、共存できますか？

A: 共存できません。
Systemwalker Operation Manager クライアントは別のバージョン／レベルとは共存できません。
上位バージョン／レベルのクライアントから下位バージョン／レベルのサーバに接続して操作できますので、クライアントは上位バージョン／レベルを使用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12 V11 V10

【構築（導入／移行）】

Q: 既存環境のポリシーを抽出し、新規環境に配付を行いたいのですが、抽出元と配付先がネットワークで接続されていない場合、どのように対応をしたらいいか教えてください。

A: ネットワークで接続されていない場合、ファイル複写によるポリシー配付ができます。

ファイル複写によるポリシー配付の手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.13 既存環境を他のサーバ上に構築する場合の定義
2.13.2 ポリシー情報の配付
2.13.2.1 ファイル複写によるポリシー情報の配付

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Centric Manager と別のドライブに Systemwalker Operation Manager をインストールしたいと考えていますが、問題ありませんか？

A: 問題ありません。
Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager を別ドライブにインストールすることはできます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ジョブネット移行を予定しています。ジョブネットの移行方法は、現行サーバからのポリシー抽出し、移行先サーバへのポリシー配付という手順で対応を予定しています。この場合、2 台の現行サーバのジョブネットを 1 台の移行先サーバに移行することはできますか？

A: できます。
現行稼働中の 2 台のサーバから抽出したポリシー情報を 1 台のサーバに統合する形で配付することはできます。
なお、稼働中のサーバで同じプロジェクト名が使用されていないことが前提となります。
各サーバからのポリシー情報を抽出したあと、移行先サーバに配付してください。

手順は以下のとおりです。

A サーバ：現行サーバ A
B サーバ：現行サーバ B
C サーバ：移行先サーバ C

1. A サーバでポリシー情報の抽出し、C サーバに配付する
2. C サーバを再起動する
3. B サーバでポリシー情報の抽出し、C サーバに配付する
4. C サーバを再起動する

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager の移行において、プラットフォームが異なるため、jobschprint コマンド、jobschsetnet コマンド、および jobschsetgrp コマンドを使用して移行する予定ですが、グループの登録とジョブネットの登録は、どちらを先に実行するべきですか？

A: ジョブネット情報から登録してください。ジョブネットを登録したあとにグループを登録してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: ポリシー配付元でジョブ、ジョブネットおよびグループを無効状態にしている場合、そのステータスはポリシー配付先に引き継がれますか？

A: ジョブ、ジョブネットおよびグループが無効状態の場合は、ステータスは引き継がれます。
ポリシー配付先では、停止中または無効状態の場合は、その状態を引き継ぎます。それ以外の状態の場合は、ジョブ、ジョブネットおよびグループの状態が実行待ちとなります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager を新規にインストールしていますが、以下のエラーが発生し、正常にインストールできません。原因と対処方法を教えてください。

Microsoft Visual C++ 2005 Redistributable

Microsoft Visual C++ commandline option syntax error typecommand /? for error
[OK]

A: **[原因]**
Systemwalker Operation Manager のインストーラを 2 バイト文字を含むフォルダから起動していたことが原因と考えられます。

[対処方法]
Systemwalker Operation Manager の CD-ROM からインストールを行ってください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を WSFC のクラスタ構成で運用しています。運用系で変更した定義情報をポリシー配付で待機系に反映させる方法を教えてください。

A: 運用系の定義情報をポリシー抽出／配付で待機系に反映させる手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 4 章 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム固有の手順
4.6 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム運用時のポリシーの配付/適用

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Windows サーバで運用していた Systemwalker Operation Manager のジョブを、Linux サーバ（文字コード：UTF-8）へ移行したところ、コメント行の文字数オーバーにより、移行できないジョブがありました。原因と対処方法を教えてください。

A: **[原因]**
UTF-8 環境では、EUC や SJIS 環境に比べ入力可能文字数が少なくなります。これは、文字コードに起因したものです。

[対処方法]
ジョブのコメントを短く設定してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: 本番環境からテスト環境へ運用環境を復元しようとしたところ、「アクセスが拒否されました。」と出力され、復元ができません。原因と対処方法について教えてください。

A: **[原因]**
CD-R にコピーしたデータから復元したなどの理由により、復元先のフォルダが読み取り専用となったことが原因です。

[対処方法]
復元先のフォルダの読み取り専用属性を解除し、一度、Systemwalker Operation Manager をアンインストールしてください。その後、Systemwalker Operation Manager を再インストールして、復元作業を行ってください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 から V13.3.0 へバージョンアップ後、ジョブの標準出力および標準エラー出力のファイル名が変わりました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

Systemwalker Operation Manager V13.3.0 からジョブの標準出力および標準エラー出力のファイル名の形式が変更となったためです。

［対処方法］

Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ジョブの標準出力および標準エラー出力のファイル名は、以下となります。

Windows 版の場合
　プロジェクト名_ジョブネット名_ccccccccccccccc.log
　（ccccccccccccccc は任意の文字）

Solaris 版、Linux 版、HP-UX 版、AIX 版の場合
　プロジェクト名_ジョブネット名_nn.log
　（nn は任意の数字）

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 をインストール中に、「この種別では Web 連携機能がインストールされますが、IIS がインストールされていないため設定処理は行いません」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

インストールマシンに IIS がインストールされていないことが原因です。

［対処方法］

Systemwalker Operation Manager のインストールは正常に行われていますので、Web 連携機能を使用しない場合、メッセージは無視してください。
Web 連携機能を使用する場合は、IIS をインストールしてください。IIS をインストール後に、以下のマニュアルに従って設定してください。

Systemwalker Operation Manager V13.3.0 導入手引書
　第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
　　2.13 Web ブラウザから使用する場合の定義
　　2.13.1 WWW サーバ環境の設定

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.1 をインストール後、Systemwalker Operation Manager を起動したところ、 以下のエラーメッセージが出力されました。原因と対応方法を教えてください。

＜エラーメッセージ＞
component start : sh /opt/FJSVJMCMN/etc/rc3.d/start_jmcmn
/opt/FJSVJMCMN/bin/jmnetsv: error while loading shared libraries: libelf.so.1: cannot

open shared object file: No such file or directorycomponent start : sh /opt/FJSVJMCMN/etc/rc0.d/stsjmcmn

A: **［原因］**

「elfutils パッケージ」がインストールされていないことが原因です。

［対処方法］

「elfutils パッケージ」をインストールしてください。
Systemwalker Operation Manager V13.3.1 を動作させるために必要なソフトウェアについては、 ソフトウェア説明書を参照してください。

プラットフォーム : Linux
バージョン : V13

【構築（導入／移行）】

Q: Linux サーバに Systemwalker Operation Manager V13.3.0 をインストールしている際に、以下のエラーメッセージが出力されて、 インストールを継続できません。原因と対処方法を教えてください。

****
Invalid instration CD for RHEL4.use a correct instration CD and RUN setup.
****

A: **［原因］**

導入作業を行っているサーバの OS が、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 では動作を保証していない版数の Red Hat Enterprise Linux であることが原因です。

［対処方法］

Systemwalker Operation Manager V13.3.0 が動作を保証しているのは Red Hat Enterprise Linux 5 です。
動作保証をしている Linux OS 上に導入してください。

プラットフォーム : Linux
バージョン : V13

【構築（導入／移行）】

Q: Windows 7 に Systemwalker Centric Manager V13.3.0 のリモート監視、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 を インストールをしようとしたところ、以下のエラーメッセージが出てインストールができません。原因と対処方法を教えてください。

＜エラーメッセージ＞
「このシステムの環境変数（PATH）には、非常に多くのパスが設定されているため、本製品のインストールによって設定するパスが有効になりません。インストールを続行するには、必要のないパスを削除して環境変数（PATH）を短くする必要があります。」

A: **［原因］**

Systemwalker Centric Manager V13.3.0 および Systemwalker Operation Manager V13.3.0 が、Windows 7 に対応していないことが原因です。

［対処方法］

Systemwalker Centric ManagerV13.3.0 および Systemwalker Operation Manager V13.3.0 は、Windows 7 へインストールしないでください。
Windows 7 に対応しているのは、Systemwalker Centric Manager V13.3.1 および SystemwalkerOperation Manager V13.3.1 です。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0(Windows Server 2008)から、V16.0.0(Windows Server 2016)へ移行させたところ、ジョブ投入 API が復帰値-1 で異常終了するようになりました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
移行後の環境でプログラムのコンパイルを行っていないことが原因と考えられます。

［対処方法］
移行後の環境でプログラムのコンパイルを行ってください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager のインストール後に追加機能をインストールし忘れたと思い、再度製品メディアを挿入しましたが、その機能にすでにチェックがついています。この機能がインストールされているか確認する方法を教えてください。

A: 製品メディアを挿入し、インストールする際の機能の選択で、該当の項目にチェックがついていれば、その機能はインストールされています。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager がインストールされている環境において、一部のデータを誤って削除してしまいました。Systemwalker Operation Manager の再インストール方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager をアンインストール後に再度インストールを行ってください。アンインストール時に、パッチ情報についても削除されるため、インストール後に再度パッチを適用してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager とで、同じポート番号(下記)が使用されていました。問題ないか教えてください。

・イベント監視
JMEVT1 9371/tcp
・ アクション管理
JMACT1 9369/tcp
JMACT2 9370/tcp
JMACT3 6961/tcp
・ セキュリティ
mpaclmgr 4013/tcp
・ リモート電源制御
JMPWR 9373/tcp

A: 問題ありません。
Systemwalker Operation ManagerとSystemwalker Centric Managerにおいて、共通の機能で使用しているポート番号です。
そのままSystemwalker Operation Managerをインストールして問題ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: V11 から V13.4.0 へバージョンアップする際に、確認すべき非互換項目について教えてください。

A: 非互換項目は、バージョンアップガイドに記載があります。下位バージョンの非互換項目から順に確認してください。

Systemwalker Operation Manager V13.4.0 バージョンアップガイド
第 3 章 移行時の注意事項と非互換項目
3.6 V11.0L10/11.0 から V12.0L10/12.0/V12.0L11/12.1 への移行
3.7 V12.0L10/12.0/V12.0L11/12.1 から V13.0.0/V13.1.0 への移行
3.8 V13.0.0/V13.1.0 から V13.2.0 への移行
3.9 V13.2.0 から V13.3.0 への移行
3.10 V13.3.0 から V13.4.0 への移行

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager で必要なディスク容量について、教えてください。

A: Systemwalker Operation Managerで必要なディスク容量については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 3 章 動作環境
3.1 ハードウェア資源

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の実行サーバで、信頼ホストの定義をします。スケジュールサーバがクラスタ（1:1 運用待機）運用のため、[信頼ホスト名]には運用系／待機系各々の物理ホスト名（IP アドレス）と論理ホスト名（IP アドレス）のどちらを設定したらいいですか？

A: Systemwalker Operation Managerが、クラスタシステム上にクラスタリソースとして登録されているか否かで異なります。

- Systemwalker Operation Managerがクラスタリソースとして登録されている場合
  スケジュールサーバの[運用情報の定義]ウィンドウ-[クラスタ設定]シートで指定した論理 IP アドレスを設定してください。
- Systemwalker Operation Managerがクラスタリソースとして登録されていない場合
  運用系／待機系の各サーバの物理ホスト名を設定してください。
  クラスタアプリケーションとして登録されていない場合は、Systemwalker Operation Managerからの視点では運用系／待機系の区別はなく、2 台の独立したサーバの扱いで動作するためです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager を最新版にバージョンアップします。ユーザーアカウントに「バッチジョブとしてログオン」の権限を与える手順を教えてください。

A: 「バッチジョブとしてログオン」は、OS が管理している権限です。
Windows の[ローカルセキュリティポリシー]ウィンドウで、[ローカルポリシー]-[ユーザー権利の割り当て]を指定して設定してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12 V11

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager を最新版にバージョンアップします。ユーザーアカウントに「バッチジョブとしてログオン」の権限を与える必要のあるユーザーを確認する方法を教えてください。

A: 「バッチジョブとしてログオン」の権限を与える必要のあるユーザーは、以下の方法で確認してください。
■[ジョブ所有者情報の定義]ウィンドウに表示されているユーザー

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12 V11

【構築（導入／移行）】

Q: バージョンアップの手順や注意事項は、どのマニュアルに記載されていますか？

A: バージョンアップ時の手順、新機能／変更機能、バージョン間の非互換項目などについては、新バージョンのリリース情報および移行ガイドを参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールした直後に、エラーメッセージ「MpJmSrv: ERROR: 0028: shmget() No space left on device」がメッセージファイルに出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
システムパラメタの値が不適切であったことが原因です。

［対処方法］
システムパラメタの値を確認し、適切な値を設定してください。

システムパラメタの設定については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.2 システムの定義
2.2.3 システムパラメタのチューニング【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【構築（導入／移行）】

Q: カレンダ情報をポリシー抽出／配付で移行します。移行先サーバが複数サブシステム運用をしている場合、すべてのサブシステムに対してポリシー配付を行う必要がありますか？

A: 必要ありません。サブシステムのどれかを選んで配付してください。

カレンダ情報は、サブシステムごとに管理されていないため、どれかのサブシステムに対してポリシー配付するだけで、移行することができます。すべてのサブシステムへ配付する必要はありません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager をサーバにインストールしましたが、[Systemwalker Operation Manager]ウィンドウを起動させるメニューが見つかりません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
クライアントがインストールされていないと考えられます。
インストール時のデフォルト設定では、Operation Manager クライアントはインストールされません。

［対処方法］
クライアント機能を追加インストールしてください。
インストーラを実行し、[オプション機能の選択]画面で「Operation Manager クライアント機能」にチェックを入れることで追加インストールできます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager を導入しているシステムを、WORKGROUP からドメインメンバに変更します。ローカルユーザーでログオンする場合に、Systemwalker Operation Manager として問題はありますか？

A: 問題ありません。必要な対処もありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0 のクライアントをインストールし、起動しようとすると「.NET Framework がありません。インストールしてください。」とエラーが出ました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
Systemwalker Operation Manager V13.4.0 クライアントに必要な.NET Framework 2.0 がインストールされてないことが原因です。

［対処方法］
.NET Framework 2.0 をインストールしてください。

インストール方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.4.0 導入手引書
第 1 章 Systemwalker Operation Manager を導入する
1.3 Windows へインストールする
1.3.1 インストール前の注意事項
.NET Framework のインストール/アンインストールについて

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V13

【構築（導入／移行）】

Q: Systemwalker Operation Manager を DMZ のサーバ上に導入し運用することが可能か教えてください。

A: DMZ 上のサーバに導入して運用することは可能です。

留意事項として以下があります。
Systemwalker Operation Manager に関係するディレクトリ、ファイルへのアクセスを許可するユーザの限定

詳細は、以下のマニュアルを参照願います。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 4 章セキュリティ
4.1 セキュリティ指針
4.1.3 セキュリティ対策
4.2 Systemwalker Operation Manager のセキュリティ機能
4.2.2 アクセス制御

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

DMZ 上のサーバと外部ネットワーク上のサーバ間での連携はできません
ネットワークジョブによる連携、メッセージ事象による連携、複数サーバ監視での監視サーバ、被監視サーバ間の連携など、通信に利用するポート番号をファイアウォールにて解放する必要があるため、連携できません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager では、実行結果の表示はできますか？

A: できます。
標準出力・標準エラー出力を画面に表示します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットの起動日が、休日設定した日と重なった場合はどうなりますか？

A: ジョブネットのプロパティ設定により、休日の場合の起動処置が決まります。
[V13.4.0 以降の場合]
［起動日］シートの［詳細設定］ボタンで表示される［起動日のシフト処理］の［起動日が休日の場合の扱い］で設定できます。

[V13.3.1 以前の場合]

［カレンダ］シートの［休日の取り扱い］－［処置］で設定できます。
［起動しない］　：ジョブネットは起動しません。
［起動する］　　：休日を無視して、ジョブネットを起動します。
［前日にシフト］：前日の方向に起動日をシフトします。
［翌日にシフト］：翌日の方向に起動日をシフトします。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager では、起動日のシフト処理は、シフトされた日が休日の場合どうなりますか？

A: 起動日が休日の場合のシフト機能は、シフトされた日が休日の場合はさらにシフトします。
たとえば、月曜日が起動日で休日の場合、[前日にシフト]では日曜日が起動日になりますが、日曜日が休日の場合は土曜日に、土曜日が休日の場合はさらにシフトして金曜日が起動日となります。
シフトを行う上限値も設定できます。
起動日のシフト処理について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章ジョブをスケジュールする
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.15 起動日情報の詳細設定をする場合

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager では、複数サーバのジョブスケジュールを 1 台のクライアントから監視できますか？

A: できます。
システム全体のジョブの実行状況をサマリで一覧表示できるので、業務の進捗状況を一目で把握できます。また、事象通知により、状態変化の確認が容易です。
監視している業務の中から条件を絞り込んだ状態での監視や一括操作を行うこともできます。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブの実行制御ではどのような制御ができますか？

A:

- 実行優先順位（実行順番）
- 実行優先度（CPU 配分）
- ジョブ間の排他
- 同名ジョブの実行抑制
- 同時実行ジョブ数制限
- 投入ジョブ数制御

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブ間の排他とはどのようなことですか？

A: ジョブごとに仮想のリソースと排他属性を宣言し、ジョブ間の排他を行います。
以下のようなことができます。

- DB 更新ジョブの同時実行を抑止
- バックアップ中はジョブの実行を抑止

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager では、一日の運用開始時刻を 0 時以外に指定できますか？

A: できます。日変わり時刻を指定することで可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager では、複数台のスケジューラをまとめて監視することはできますか？

A: 複数サーバ監視画面において、複数サーバのジョブネットの一括表示や操作が行えます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager では、ジョブネットのツリー上での表示順を変えることはできますか？

A: クライアントの左側の業務選択ツリーに表示される並び順は、以下で設定できます。
［表示］－［業務選択ツリーの表示］－［名前順］または［登録順］
また、jobschmove コマンドを利用して、ジョブネットの登録順序を変更することが可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager では、ガントチャート画面は時間に合わせて自動的にスクロールされますか？

A: V13.2.0 より、更新時刻や更新時刻に最も近い起動予定時刻を持つジョブネットを、常に［ガントチャート］ウィンドウの中心に自動スクロールして表示させることができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager には、テスト環境から本番環境へ移行するときに、簡単・確実にジョブ定義を移行できる機能はありますか？

A: ポリシー情報を抽出、配付することで、簡単・確実にジョブ定義を移行することができます。
V13.3.0 からは、あらかじめジョブ定義変数を使用したジョブを定義しておき、ジョブが実行される時点でジョブ定義変数の値を一括置換することができるようになりました。ジョブ定義をそのまま移行するだけでなく、ジョブ定義内のパス環境などを、簡単に一括置換できるため、運用環境が異なるシステム間での資産移行を確実に、かつスムーズに行うことができます。
ジョブ定義変数についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.11 ジョブ定義変数を利用してジョブ登録情報を一括置換する場合

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager では、動的にパラメタの値を変えながら、ジョブを起動できますか？

A: V13.3.0 以降で、“可変パラメタ”を指定してジョブネットを起動することができます。
[登録－ジョブ]ウィンドウ-[基本情報]シートで、受信した可変パラメタに置き換えたい項目に変数“@.VPARAM@”を指定して、ジョブを定義してください。これによりメッセージ連携や手動で、異なるパラメタの値を渡してジョブを起動させることができます。
可変パラメタの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.13 メッセージ事象発生時に可変パラメタを利用したジョブネット連携をする場合
4.3.13.1 可変パラメタを利用してジョブネットを起動する場合
第 7 章ジョブを操作する
7.4 ジョブネットを可変パラメタ起動する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドでメッセージを発行したときに、受け取り先のジョブネットが存在しない場合、どのような動作を示すのかを教えてください。

A: jobschmsgevent コマンドでメッセージを発行した場合、内部で情報を保持します。ジョブネットが存在しない場合、その内部情報を受け渡さないだけですので、動作に影響を及ぼすことはありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、［ジョブネットの確認操作を有効とする］にチェックを入れていますが、フェールオーバ時のジョブネット自動再起動を行うサンプルコード［abendrerun.c］を使用した場合、自動的に再起動しますか？

A: サンプルコード［abendrerun.c］をそのまま使用した場合、［ジョブネットの確認操作を有効とする］にチェックが入っていてもフェールオーバ時にジョブネットは自動的に再起動します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタのスケジュールサーバで「実行継続モード」が有効と無効による違いによって、クラスタフェールオーバ時に実行中のジョブがどのように扱われますか？

A: 「実行継続モード」が有効でネットワークジョブのときにスケジュールサーバがフェールオーバした場合、ジョブは継続して実行中になります。それ以外は終了コード 239 で異常終了します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバを再起動した場合、発生済みのメッセージ事象はクリアされてしまいますか？

A: サーバを再起動しても、発生済みのメッセージ事象はクリアされず、カウントされた状態になります。
メッセージ事象がクリアされるのは、メッセージ事象が起動条件となっていたジョブネットが起動されたときか、発生済のメッセージ事象を無効にする jobschmsgclear コマンドが発行されたときになります。

■注意事項

メッセージ事象が発生したあと、起動時刻が到来する前に以下の変更を実施した場合、ジョブスケジューラはジョブネットの起動予定の再作成（再スケジューリング処理）を実施します。

- ジョブネットの起動日の変更
- ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウで情報を変更
- ジョブネットの一時変更の情報の設定／変更／解除
- 運用予定の変更
- 基準ジョブネットの起動条件の変更（※）

この再スケジューリング処理で、発生していたメッセージ事象はクリアされます。そのため、起動時刻が到来してもジョブネットは起動されません。

※）［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウの［起動日］シートで、［基準情報］で［他ジョブネット］を利用している場合、選択している基準ジョブネットの起動条件を変更したときも、起動予定の再作成を実施します。選択している基準ジョブネットの起動条件を変更した場合とは、以下のような場合です。

- ジョブネットの起動日の変更
- ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウで情報を変更
- ジョブネットの一時変更の情報の設定／変更／解除
- ［運用予定］ウィンドウで起動日を変更

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバ再起動時に、ジョブネットの設定やジョブのステータスがどうなるか教えてください。

A: 状態、設定などは保存されますが、実行中のジョブネットやジョブは、スケジュールサーバと実行サーバを同一にしている場合、異常終了になります。
また、スケジュールサーバと実行サーバを分けている場合、ネットワークジョブで（スケジュールサーバの再起動で）あれば jmmode（実行継続モード切り替えコマンド）の指定によります。実行継続モードが有効であればジョブの実行は継続され、無効の場合は異常終了になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER から Systemwalker Operation Manager が起動されているか確認する方法を教えてください。

A: PRIMECLUSTER から Systemwalker Operation Manager が起動されているか確認する方法は以下のとおりです。

1. PRIMECLUSTER の Web-Based Admin View のトップメニューから、［Global Cluster Service］を選択して表示される画面で、［Cluster Admin］を選択します。
   →接続するノードを選択するポップアップが表示されます。
2. ポップアップでノードを選択します。
   →RMS メインウィンドウが表示されます。
3. RMS メインウィンドウの RMS ツリーから、起動する Systemwalker Operation Manager のクラスタアプリケーションを選択した際に、［オンライン］と表示されていれば、PRIMECLUSTER から Systemwalker Operation Manager が起動されていることになります。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、バックアップで mpbko コマンドを使用しますが、クラスタ環境での使用方法を教えてください。

A: クラスタ環境でのバックアップ手順は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 3 章 運用
3.4 クラスタシステム運用時のバックアップ／リストア
3.4.1 クラスタシステム運用時のバックアップ手順

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager が同居している環境で、mpfwsec を poperationmgr 実行時に一括で停止するには、-a オプションを使用すればよいですか？

A: mpfwsec も同時に停止する場合については、poperationmgr のオプションである-a や-s を付けて実行してください。
mpfwsec は Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager が共通で使用するセキュリティデーモン（ACL マネージャのデーモン）のプロセスになります。
■-a を付与した場合
Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager の両方のデーモン（mpfwsec 含む）を同時に停止します。

■-s を付与した場合
Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager が同居している場合に、Systemwalker Operation Manager のデーモンと ACL マネージャのデーモン（mpfwsec）を停止します。

また、デーモン起動時については、soperationmgr を使用します。
soperartionmgr の-a オプションは、Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager の両方のデーモン（mpfwsec 含む）を同時に起動する場合に指定してください。-a を省略した場合は、Systemwalker Operation Manager のデーモンと ACL マネージャのデーモン（mpfwsec）を起動します。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: ジョブの操作（例えば、手動でジョブを起動するときなど）を行う際に、確認ダイアログ（実行するか否かの「はい」「いいえ」の確認）を出す設定方法を教えてください。

A: ジョブの操作時に、確認ダイアログを表示させる方法は以下のとおりです。

1. Systemwalker Operation Manager クライアントからサーバに接続します。
2. 接続後、画面左側（ツリー構成）の［ジョブスケジューラ］を選択します。
3. メニューバーの［ツール］より［操作確認の設定］を選択します。
4. 操作確認の設定画面が表示されますので、ジョブ・ジョブネット・グループの操作に対する確認ダイアログボックスの表示の可否を設定します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブに対して環境変数を渡す際の変数値について、例えば全角文字やスペースを含む文字列を設定する場合など、使用上の注意点や制限事項などがあったら教えてください。

A: 環境変数には、256 バイト以内で必ず値を設定してください。半角の空白は、先頭や末尾に持ってくると、文字列としては数えられませんが、文字列の途中では数えられます。全角の空白は、どこにあっても文字列として数えられます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブ動作中に、スケジュールサーバと実行サーバ間のネットワークが遮断された場合、実行サーバで実行中のジョブはキャンセルされてしまいますか？

A: 実行サーバで実行中のジョブはキャンセルされません。しかし、スケジュールサーバから実行サーバ側の実行中ジョブの状態確認ができませんので、ガントチャート上は異常終了の表示になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の画面でカレンダを選択し、右クリックすると使用状況を表示できます。ここでカレンダを使用しているジョブネット名を［カレンダ使用状況］ダイアログボックスで確認できますが、この情報をファイル出力できますか？

A: ［カレンダ使用状況］ダイアログボックスの情報をファイルに出力する機能はありません。

なお、jobschprint -a コマンドを使用し、出力内容をカレンダ名で検索することで使用しているジョブネットを確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行されたジョブの出力情報（標準出力／標準エラー出力）が参照できますが、過去（前日や前々日）の出力情報も参照できますか？

A: 過去の出力情報は参照できません。参照するには、Systemwalker Operation Manager の技術情報で公開している「定義テンプレート（ジョブネット前回履歴の世代管理テンプレート）」を利用してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager から Systemwalker Centric Manager への通知について、「MpJobsch」で通知されるものと、「Jobschexit」で通知されるものがあります。原因を教えてください。

A: **［原因］**
「MpJobsch」で通知されるものは、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シート（V13.3.0 以降の場合は、その先の［イベント出力の詳細設定］ウィンドウ）で異常終了、強制終了、実行中断を設定したときに出力されるメッセージです。
「jobschExit」で通知されるものは、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートで［Systemwalker Centric Manager との連携］の［自動通知／対処をする］にチェックをつけたときに出力されるメッセージです。
なお、Windows のイベントログや UNIX 系の SYSLOG には出力されません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行ユーザーをドメインユーザーにする方法を教えてください。

A: ジョブの実行ユーザーをドメインユーザーにする場合、プロジェクトの所有者にドメインユーザーを指定する必要があります。その際、以下の設定を行ってください。

- プロジェクトの所有者に「ドメイン名¥ユーザー名」の形式でドメインユーザーを指定する
- ローカルセキュリティポリシーなど上記で指定したユーザーに「バッチジョブとしてログオン」の権限を与える
- Systemwalker Operation Manager の［環境設定］－［運用情報］－［利用機能］で［ジョブを所有者の権限で実行する］にチェックする
- Systemwalker Operation Manager の［環境設定］－［ジョブ所有者］でプロジェクトの所有者のパスワードを設定する（ここではドメイン名は表示されません）

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows のサーバを Systemwalker Operation Manager の実行サーバとして使用しています。スケジュールサーバから実行されるジョブが、どの実行サーバで使用されているかの情報を、実行サーバ側で取得する方法を教えてください。

A: 現時点のジョブの実行状況は、qjstat ジョブ情報の表示コマンドで確認できます。
ジョブの実行履歴は、［環境定義］－［運用情報の定義］ウィンドウの［ログ］タブで指定されたフォルダ配下に格納されていますが、バイ

ナリ属性を含んでおり、直接参照できません。ジョブの実行履歴のログを参照する場合は、mjsview ログファイル出力コマンドを利用してください。

また、［環境定義］－［運用情報の定義］ウィンドウの［ログ］タブで稼働実績情報を取得している場合は、ジョブ実行制御の稼働実績情報ファイルを参照することでも確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降の Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のサブシステムから、V13.3.0 以降の Standard Edition の実行サーバに対して、ジョブを依頼することはできますか？

A: できます。
V13.2.0 以前はサブシステムごとにだけジョブを実行できましたが、V13.3.0 以降は違うサブシステムのジョブも実行することが可能になりました。
Standard Edition では、サブシステム構成にすることはできませんが、サブシステムから依頼されたジョブは実行できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager をドメイン参加させた場合の必要な作業を教えてください。

A: サーバ、ジョブ実行サーバ、クライアントで今回メンバサーバとなるドメインのユーザーが関与する場合は、Systemwalker ACL Manager サービスのスタートアップアカウントの変更が必要です。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの前回履歴の表示内容をバックアップする方法を教えてください。

A: 以下のどちらかの方法をご検討ください。

■出口機能を利用する方法
ジョブネット正常終了出口／異常終了出口で、プロジェクト名_ジョブネット名_数字.log を複写（退避）する処理を追加してください。ジョブネット正常終了出口／異常終了出口を利用することで、前回履歴ファイルの退避（複写）が可能になります。

ジョブスケジューラ機能は、ジョブネットが終了したときに、以下の出口を起動します。

- **ジョブネットが正常終了、疑似正常終了の場合**
  ジョブネット正常終了出口（Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥mpwalker.jm¥bin¥normalexit.bat、または normalexit.exe）
- **ジョブネットが異常終了または強制終了の場合**
  ジョブネット正常終了出口（Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥mpwalker.jm¥bin¥jobschexit.bat、または jobschexit.bat）

ジョブの前回履歴ウィンドウに表示される出力内容は、ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ配下に「プロジェクト名_ジョブネット名_数字.log」として保存されます。このファイルを、上記の出口で複写するようバッチファイルを記述してください。
なお、ファイル名の数字は、プロジェクトおよびジョブネットごとに決まります。プロジェクト名とジョブネット名に変更がない場合、この数値は変化しません。

例：SampleProject に登録されている JobNet2 の場合、以下のファイルに記録されます。
ファイル名:SampleProject_JobNet2_1390000000000000.log

■定義テンプレートを利用する方法
Systemwalker Operation Manager の技術情報で公開している定義テンプレート（ジョブネット前回履歴の世代管理テンプレート）を利用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダの操作を行う場合に必要な権限を教えてください。

A: カレンダの操作は管理者権限が必要です。Administrators グループのユーザーとなります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 階層化されているジョブネットにおいて、親ジョブネットの起動日を変更すれば、子ジョブネット側の起動日も反映されるのか教えてください。

A: 階層化されているジョブネットでは、親ジョブネットの中に登録されている、子ジョブネットのプロパティの［制御情報］シートの中で、［起動日のみ有効］にチェックが入っている、または入っていないにより、以下のとおり動作が異なります。

■［起動日のみ有効］にチェックが入っている場合
反映されません。親ジョブネットと子ジョブネットは、それぞれの起動日情報にしたがって起動されます。そのため、親ジョブネットに設定されている起動日が、子ジョブネット側に設定されていない場合は、該当日は親ジョブネットだけが起動されます。

■［起動日のみ有効］にチェックが入っていない場合
反映されるわけではありませんが、子ジョブネットは親ジョブネットに設定されている起動日情報に従って起動されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ユーザー種類で、参照だけ（ジョブの起動ができない）のユーザーを作る手順を教えてください。

A: プロジェクトを選択して、[セキュリティ]メニュー － [アクセス権]の順にクリックして表示されるウィンドウで参照権を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降の標準出力（stdout）および標準エラー出力（stderr）のファイル命名規約は変更されたのですか？

A: 変更されました。変更後のフォーマットは「プロジェクト名_ジョブネット名_ccccccccccccccccc.log」です。なお、「ccccccccccccccccc」は任意の文字を示します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 一般権限を持った OS ユーザーで、Systemwalker Operation Manager にログインして、プロジェクトの権限変更などを行うことはできますか？

A: Windows 版の場合は Administrators グループに属している ユーザー 、Solaris、Linux、HP-UX、および AIX 版の場合は root ユーザー が、アクセス権を変更できます。
ただし Solaris、Linux、HP-UX、および AIX 版の場合、Systemwalker Operation Manager の拡張ユーザ管理機能により、管理者権限をもつ ユーザー であれば変更できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 特定時間以降にイベントビューアに出力された特定メッセージを条件としてジョブネットを起動できますか？

A: 起動できます。
Systemwalker Operation Manager の環境設定にある［メッセージテーブル］の設定で、監視するメッセージとそのメッセージが出力されたことにより、ジョブネットに通知するメッセージ事象を登録します。
なお、特定時間のメッセージを監視するという設定はありません。これを実現するには、以下のように該当ジョブネットを制御するジョブネットを 2 つ作成する必要があります。

■例）9 時から 17 時までに出力されたイベントを契機にジョブネットを起動させる場合

1. **ジョブネット 1**
   イベントビューアに出力されたメッセージを受けて起動されるジョブネットを無効状態にするジョブネットです。起動時刻を 17 時にします。

   jobschcontrol プロジェクト名/ジョブネット名 disable

2. **ジョブネット 2**
   イベントビューアに出力されたメッセージを受けて起動されるジョブネットを無効解除するジョブネットです。起動時刻を 9 時にします。

   jobschcontrol プロジェクト名/ジョブネット名 enable

上記ジョブネットを作成することで、特定の時間に出力されたイベントを待ち合わせてジョブネットを起動させることができます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアント業務連携の fcopycli ファイル転送コマンドで、あるサーバ A から共有フォルダが存在するサーバ B にファイルを転送していますが「指定された第二ボリューム情報の獲得に失敗しました」のエラーで失敗します。対処方法を教えてください。

A: **［対処方法］**
事前に lgmanage パスワード管理コマンドを使って、パスワード管理簿を設定してください。
なお、メッセージ集の対処方法も参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ガントチャートの表示で翌日（未来日付）のジョブネットの起動予定は確認できますか？

A: ガントチャートでは、翌日以降の情報は確認できません。
運用予定画面や jobschprint -l（-L）コマンドで、ジョブネットが起動日なのか、非起動日なのかを確認することはできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタ構成で運用している場合、運用系に設定されたどのような情報が待機系に引き継がれないのですか？

A: 待機系に引き継がれないのは、以下の情報です。

- 共通の［監視ホスト］の定義
- ジョブスケジューラの［起動パラメタ］［監視許可ホスト］の定義
- ジョブ実行制御の［運用情報］［信頼ホスト］［ジョブ所有者］［ジョブフォルダ］の定義
- Web コンソール定義情報
- 業務連携の［パスワード管理簿］および［ホスト情報ファイル］
- マススタースケジュール管理（V13.3.1 以前ではスケジュール分散）機能の［仮想時間の設定］

これらは、各ノードで別々に情報が管理されているため、一方のノードで情報を変更しても、他方のノードには変更が反映されません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サービスまたはデーモンが停止したことを監視する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のプロセス監視機能（MpPmonO）により監視します。

■Windows 版の場合
イベントビューアで MpPmonO のソースを監視することで、サービスの異常を監視できます。

■UNIX 版の場合
SYSLOG で MpPmonO で始まるメッセージを監視することで、デーモンの異常を監視できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のサーバが 2 台あり、片方のサーバには「%¥Systemwalker¥MPWALKER.JM¥mpjmcl¥work¥policy」配下にファイルが存在しますが、もう片方のサーバには存在しません。この違いによってどのような機能差が生じますか？

A:「%¥Systemwalker¥MPWALKER.JM¥mpjmcl¥work¥policy」配下にファイルが存在することで、機能に違いが生じることはありません。
「%¥Systemwalker¥MPWALKER.JM¥mpjmcl¥work¥policy」フォルダ配下のファイルは、Systemwalker Operation Manager のクライアント機能で、ポリシーの抽出を行った場合に作成されます。
なお、ポリシー情報が不要であれば、ファイルを削除して問題ありません。ただし、ディレクトリは削除しないでください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが異常終了した場合に、翌日以降のジョブネット実行時に確認操作を不要とする方法を教えて

ください。

A: 環境設定画面（［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］－［利用機能 1］の［確認操作を有効とする］）で、確認操作のチェックを外しジョブスケジューラサービスを再起動してください。ただし、異常終了したジョブが、日変わり時刻になった時点で再スケジュールされることになるためご注意ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ディレクトリ名に半角スペースを含むコマンドをジョブとして登録できますか？

A: できません。ジョブ登録設定のコマンド欄には、半角スペースは使用できないので、バッチファイルにコマンドラインを記述して、ジョブとして実行してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが強制終了、異常終了した場合に、Systemwalker Centric Manager のマネージャに opfmt で通知しても問題ありませんか？

A: 問題ありません。ジョブの終了コード判定を行い、その終了コードにより後続ジョブを分岐させ、opfmt でメッセージ通知させてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 間隔起動のジョブネットを特定の時間から間隔起動を行うようにする設定方法を教えてください。

A: 特定の時刻から間隔起動を行うには、ジョブネットのプロパティ（［間隔起動］）で開始時刻を所定の時間に設定し、間隔起動を行うように設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3 以降で、ジョブネットごとに複写起動による起動の上限値はありますか？上限値がある場合、そのカウンタをクリアするタイミングはいつですか？特にタイミングはなく自動でクリアされないのであれば、クリアするための方法を教えてください。

A: ジョブネットごとに複写起動による起動の上限値はありません。ただし、複写起動については、ジョブネットを複写（コピー）後起動するため、ジョブネットの登録数やジョブを実行する場合の多重度の設定の影響を受ける場合がありますので、事前に数量を見積もる必要があります。

[ジョブネットの登録数について]
V13.8.0 以降の場合、複写起動された複写先のジョブネットは、ジョブネットの登録数のカウント対象になりません。このため、ジョブネット登録数の制限を受けません。
V13.7.0 以前の場合、複写起動された複写先のジョブネットは、ジョブネットの登録数のカウント対象になります。このため、Enterprise Edition では制限がありませんが、Standard Edition では 1 プロジェクトにつき最大 255 個の制限を受けます。

[ジョブの多重度について]
1 つのシステムにおけるジョブの多重度の上限は、V17.0.0 以降の場合 999 です。

V16.0.1 以前の場合は、Windows 版で 99、UNIX 版で 999 です。

[複写先ジョブネットの保存について]
V13.8.0 以降の場合、複写先ジョブネットの保存数を[複写先ジョブネットの保存数]で設定でき、複写先ジョブネット数が設定数を超えた場合には、古いものから順に自動で削除されます。
V13.7.0 以前の場合は、複写起動されたジョブネットは複写起動後も削除されず、残ったままになります。不要な場合は、jobschsetnet -ndel コマンドで削除するか、画面上から手動で削除してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 子ジョブネットに起動日を設定しましたが、非起動日にも子ジョブネットが起動します。起動日だけ起動させる方法を教えてください。

A: ジョブのプロパティの［制御情報］タブで、［起動日のみ有効］をチェックしてください。

具体的な手順は、以下のとおりです。
1. 業務選択ウィンドウで親ジョブネットを選択し、右クリック→［変更］を選択して、［ジョブネットの変更］ウィンドウを開きます。
2. 子ジョブネットをクリックし、右クリック→［プロパティ］を選択して、［登録 － ジョブ］ウィンドウを開きます。
3. ［制御情報］シートをクリックし、［起動日のみ有効］をチェックして、OK ボタンをクリックします。親ジョブネットを保存します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの終了コードについて、ジョブとして登録した実行プログラムやバッチプログラムなどの終了コードが、0 の場合だけが正常終了で、それ以外の場合は異常終了とみなされますか？

A: 0 が正常終了で、それ以外は異常終了と判定します。しかし、ジョブのプロパティの［基本情報］シートの［正常終了コード上限値］で正常とみなしたい終了コードを入力することで、この範囲を正常終了と扱うことができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のアクション定義画面で、メールでの通知機能を使用する場合に、メールアドレスの登録可能数の最大値を教えてください。

A: 制限はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブネットの状態を Systemwalker Centric Manager の標準スクリプトなどを使用して監視する方法があれば教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、ジョブネットの状態（状態の変化）をイベント出力（イベントログまたは SYSLOG）できます。これにより出力されるメッセージを Systemwalker Centric Manager で監視してください。

Systemwalker Centric Manager の［イベント監視の条件定義］で、下記マニュアルに記載されているメッセージを監視するように設定し

てください。
イベント出力については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義
［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シート

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の業務連携コマンドについて、クラスタ構成のマシンに対して、仮想 IP を使用して共有ディスクにファイル転送できるか教えてください。

A: OS の FTP コマンドで仮想 IP を指定してファイル転送ができる環境であれば、仮想 IP を使用してファイル転送できます。
仮想 IP を使用して、共有ディスクが利用できる環境であれば、fcopysvr ファイル転送コマンドを利用して、ファイル転送できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ジョブスケジューラの定義情報を GUI からエクスポートする機能がありますが、同等の操作をコマンドで実行することはできますか？

A: コマンドで実行することはできます。
GUI からエクスポートする場合、定義情報は CSV ファイルで出力されますが、コマンドから出力する場合、jobschprint コマンドで制御文として出力し、そのあと、jobschdeftocsv コマンドで CSV ファイルに変換する必要があります。
また、GUI ではプロジェクト全体でエクスポートできますが、コマンドを利用した場合はグループまたはジョブネット単位での出力になります。
コマンドを利用したエクスポートについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.5 定義情報をインポート/エクスポートする
4.5.3 コマンドを利用してインポート/エクスポートする

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバから SAP サーバにジョブ実行依頼を行ったあと、SAP サーバのジョブのステータスを確認するためのコマンドはありますか？

A: あります。
jobschprint -e（-E）、qjstat、および qstat コマンドがあります。Systemwalker for ERP パッケージ ジョブ連携の SAP ERP ジョブ連携機能コマンドには、r3stat コマンドがあります。

なお、ジョブの実行状態は、常に変化しており、コマンドの投入タイミングにより状況は変化します。そのため、コマンド投入時には実行中であった

としても、その数ミリ秒後には、終了している場合があります。
コマンドの応答までの処理時間も含まれるため、常に現在の状態を表示しているとは限らないことに注意してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager から起動した NetCOBOL のバッチジョブに対して、正常や異常と判断する項目が何か教えてください。

A: 正常または異常と判断する項目は、ジョブとして実行したプログラムの復帰コードです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、［運用情報の定義］で設定する［クラスタ設定］について、［スケジュールサーバ設定］および［実行サーバ設定］は何を行うために設定するのか教えてください。

A: ［スケジュールサーバ設定］は、スケジュールサーバ側のスプールディレクトリの設定や論理 IP アドレスの設定です。
［実行サーバ設定］は、実行サーバ側のネットワークジョブを受け付けるために必要な設定です。
通常は、スケジュールサーバ側（［スケジュールサーバ設定］）で設定を行い、実行サーバ側（［実行サーバ設定］）では設定しません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタ設定したサーバをアンインストールしないで、クラスタ設定だけを解除する方法を教えてください。

A: クラスタ設定だけを解除する方法は、以下のマニュアルで「10.アンインストール」以外の手順を実施してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 4 章 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム固有の手順
4.4 Microsoft(R) Fail Over Clustering システムからのアンインストール
「10. アンインストール」以外の手順を実施

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ユーザーごとに権限の変更はできますか？

A: ユーザーごとに権限の変更はできません。
ユーザーごとではなく、プロジェクト単位にアクセス権（更新権／登録権／操作権／参照権）を設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 登録ジョブネットを 1 日に複数回起動させた場合、すべての起動履歴を確認できますか？また、ジョブについても確認できますか？

A: 確認できます。ジョブについても確認できます。
クライアント画面上のジョブスケジューラから、プロジェクトまたはジョブネットを選択し、［ツール］ – ［ジョブネット履歴］または［ジョブ履歴］を選択することで起動履歴を確認できます。
また、ジョブネット履歴については、「jobschprint -f」または「jobschprint -g」でも確認できます。
なお、表示できる範囲は、ログファイル内（jobdb1.log～jobdb3.log）のうち、現在使用しているログファイルと 1 つ前のログファイルに格納されている範囲です。また、［環境設定］ – ［起動パラメタ］ – ［データベース］タブから、ログファイルサイズを変更できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ内ジョブネットの単独再起動はできますか？また、できるのであれば、単独再起動の方法を教えてください。

A: グループ内ジョブネットに対して起動操作はできません。
すでにグループに登録済みのジョブネットだけを個別に実行する場合の方法として、以下のような方法で代替できないか検討してください。

- 起動させたいジョブネットを複写して、起動させる。
- 起動させたくないジョブネットを無効にして、グループを起動する。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: UNIX 版スケジュールサーバから Windows 版の実行サーバ上のバッチファイルを、Administrator 権限または任意のユーザーで実行する方法を教えてください。

A: ネットワークジョブを利用して、UNIX 版スケジュールサーバから Windows の実行サーバ上のバッチファイルを実行するジョブを作成してください。

投入元が UNIX 版で投入先が Windows 版の場合、ジョブはジョブ実行制御サービスのログオンアカウントで実行されます。アカウントを投入元サーバと投入先サーバで一致させてください。任意の実行ユーザーで実行させたい場合は、ジョブ実行制御サービスのログオンアカウントを変更する必要があります。
また、投入先サーバの[運用情報の定義]ウィンドウ－[利用機能]シートで、[ジョブを所有者の権限で実行する]を指定しないでください。指定してある場合、ジョブが異常終了します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダ機能での一般的な国民の休日や祝日の設定方法と、設定済のテンプレートが公開されていないか教えてください。

A: カレンダを選択して［オプション］ – ［年間の休日設定］から何月何日や第何週の何曜日を指定してください。
設定済のカレンダは、Systemwalker Operation Manager 技術情報でアシストツール定義テンプレートとして公開されています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント画面上で、手動で強制終了の操作を行う場合と、jobschcontrol コマンドのオプションで cancel を指定した場合とで、ジョブネットに対する操作結果に違いが生じますか？

A: 操作結果に違いが生じることはありません。どちらの操作もジョブネットを強制終了する操作です。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2 以降の機能で、メッセージ連携を使用しています。送り元でメッセージが発生したかどうかと、送り先の方でメッセージが届いたかどうかを確認する方法を教えてください。

A: 送信元サーバでは、jobschmsgevent コマンドが正常終了したか（ジョブとして登録している場合はジョブが正常終了したか）を確認してください。
または、監査ログからも確認できます。操作種別は「SEND_MESSAGE」として記録されます。監査ログは「Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MPWALKER.JM¥mpcmtool¥audit」に格納されています。

送信先サーバでは、イベントログに以下のメッセージが記録されます。

「ID:2301 ソース:MpJobsch xxx メッセージ事象が発生しました」

※xxx はメッセージ事象名

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager を連携させて、ジョブが正常終了したことを通知するための設定を教えてください。

A: Systemwalker Centric Manager との連携では、ジョブが正常終了したことを通知することはできません。異常終了の場合は通知できます。
正常終了を監視する場合は、ジョブネットの正常終了をイベントログに出力し、そのメッセージを Systemwalker Centric Manager で監視してください。なお、設定変更の際には、ジョブスケジューラサービスの再起動が必要になります。
イベントログへの出力方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義
［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シート

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: あるジョブネットに対してメッセージ事象を発生させていますが、発生させたメッセージの消去方法と消去できたことの確認方法を教えてください。

A: 「jobschmsgclear -net プロジェクト名/ジョブネット名　［-sys サブシステム番号］」でメッセージを消去し、「jobschprint -a　［-sys サ

ブシステム番号］」で消去されているかを確認してください。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 0 時をまたがってジョブを実行します。日をまたいだジョブについても、前日の処理として実行する方法を教えてください。

A: 日変わり時刻を設定することで前日の処理として実行できます。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager がインストールされているディレクトリにセットされている変数を教えてください。

A: 「C:¥WIN32APP」にインストールした場合、
環境変数の PATH に「C:¥WIN32APP¥MPWALKER¥BIN;C:¥WIN32APP¥MPWALKER.JM¥BIN;」を追加しているだけで、
ディレクトリに対して環境変数はセットしていません。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で使用しているスタートアップアカウントに対して、ローカルのログオンを拒否する設定にしたいのですが、何か影響はありますか？

A: セキュリティポリシーの「ローカルでのログオンを拒否する」を設定しても、Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありません。
なお、クライアントのログオン時にスタートアップアカウントを使用している場合は、ログオンできなくなりますので、ログオンユーザー名を変更してください。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: あるジョブネットを毎年 4 月と 10 月の第 3 営業日だけ起動したい。のですが、［ジョブネットのプロパティ］ －［起動日］タブから基準情報を選択していますが意図した設定になりません。どのように設定すればよいのですか？

A: ジョブネットのプロパティの起動日とカレンダを組み合わせることで実現できます。
設定内容は以下のとおりです。

■ジョブネットのプロパティ［起動日］シート
基準情報：営業日
選択した営業日：第 3 営業日
※その他はデフォルトのままで結構です。

■カレンダ 1
4 月と 10 月以外の月をすべて非起動日にします。
※［オプション］ －［年間の休日設定］を利用すると簡単に操作できます。

■ジョブネットのプロパティ［カレンダ］シート
選択したカレンダ：上記で設定した「カレンダ 1」のカレンダを追加

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、1 つのジョブネットに 2 つのジョブが登録されていて、このうちの 1 つを無効化した状態にしたまま jobschsetnet コマンドで定義変更（具体的には起動時間の変更）をした場合、無効化していたジョブが無効解除されてしまうのですか？

A: V16.0.0 以降では、無効解除されません。

V13.3.0 以降の場合は、ジョブ制御文の operate オペランドで「DISABLE」を指定し jobschsetne コマンドを実行することで、無効状態のままにすることができます。

V13.2.0 以前の場合は、無効解除され、ジョブの状態は「実行待ち」になります。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「実行ユーザ名」に「AD¥administrator」のように、ドメインの administrator を指定できますか？

A: ジョブの登録画面にある「実行ユーザ名」では、ドメイン名¥ユーザー名の形式で指定可能です。
併せて、[ジョブ所有者情報の定義]ウィンドウで該当ユーザーの定義も実施してください。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動日雛形（月曜日から金曜日が起動日）を起動日に設定しているジョブネットを、特定の休日（日曜日）に起動させたいのですが、［運用予定］ウィンドウからジョブネットを 1 つずつ起動するように設定するしか方法はありませんか？

A: プロジェクトごとに［運用予定］ウィンドウを開き、起動日を設定してください。
ジョブネットの「起動日」（［運用予定］や［起動日］ウィンドウで設定した特異日）を一括して設定する GUI 上での操作やコマンドは用意していません。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトをまたいだジョブネットの起動はできますか？設定方法を教えてください。

A: プロジェクトをまたいだジョブネットの起動は可能です。
メッセージ事象を使用して連携させることができます。
具体的な手順は以下のとおりです。

1. 先に実行するジョブネットで、ジョブの最後に jobschmsgevent コマンドを登録します。

例：「jobschmsgevent a:プロジェクト名」
2. 後続の別プロジェクトのジョブネットは、手順 1 のメッセージを待ち合わせます。ジョブネットのプロパティにある［メッセージ］シートで、a のメッセージを待ち合わせる定義をしてください。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクト名／ジョブネット名は変更できますか？変更方法を教えてください。

A: プロジェクト名は変更できません。変更するには、プロジェクトを新規作成して、変更前のプロジェクトからジョブネットを複写してください。
また、ジョブネット名称は変更できますが、ジョブネット名は変更できません。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブを実行した際に、実行サーバ側のキューが停止状態だった場合、スケジュールサーバ上のジョブは実行中になりますが、これは正常な動作ですか？

A: 正常な動作です。
実行サーバのキューが停止状態である場合、スケジュールサーバ上のジョブは実行中になります。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.0.0 から V13.3.0 までのスケジュール分散機能で、クラスタ用サービスを登録します。stemregservice.exe コマンドで指定するユーザ名は、ドメインのユーザでも問題ないですか？

A: 「ドメイン名¥ユーザ名」の形式で指定することで問題ありません。なお、ドメインコントローラが参照できない場合、サービスの起動などが失敗することがありますので、運用上問題が発生しないようにご留意ください。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V13

【運用／保守】

Q: 毎月特定の日を非稼働日に設定していますが、その特定の日が土曜、日曜、または祭日だった場合、非稼働日を振り替えることはできますか？

A: ［年間休日の設定］ダイアログボックスの設定で、翌日を振替休日とすることができます。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステムの使用を検討しています。その際ジョブスケジューラ用のポートをサーバの services に登録するようマニュアルに書いてあります。ここで指すサーバとは、実行サーバとスケジュー

ルサーバのどちらですか？

A: スケジュールサーバで設定してください。なお、サブシステムのポートを設定していない場合、クライアント画面上からサブシステムを参照できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、［リカバリモードで起動した時、全てのキューを停止する］または［デーモン起動時に全てのキューを停止状態とする］をチェックしている場合、フェールオーバ後にキューを稼働状態で起動できますか？

A: 稼働状態では起動できません。
チェックしている場合、フェールオーバ後はキューが停止状態で起動します。このため、キューを稼働中の状態で起動させたい場合には、チェックしないでください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager が実行するアプリケーション側からの戻り値を受ける場合の推奨方法を教えてください。

A: 推奨の方法はありません。Systemwalker Operation Manager としては、実行するバッチが正常に戻り値を返すことができれば問題ありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監視ホストおよび監視許可ホストをホスト名で定義していますが、IP アドレスに変更することによって、既存のジョブネットに影響があるか教えてください。

A: 既存のジョブネットには影響ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境で、リソースの依存関係を設定する場合、事前にサービスを停止する必要がありますか？

A: 事前にサービスを停止してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドの復帰値について、マニュアル「リファレンスマニュアル」を参照しましたが、復帰値の記載がありません。正常終了および異常終了の復帰値を教えてください。

A: jobschmsgevent コマンドの復帰値については、ジョブの終了コードを確認してください。0 は正常、それ以外は異常になります。マニュアルには、終了コードとしては公開していません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 移行元で起動していた終了処理ジョブネットを、移行先でも起動させたいのですが、設定方法を教えてください。

A: 移行先の「Systemwalker MpJobsch」サービスのスタートアップアカウントと同名のプロジェクトを作成し、JSHEND ジョブネットを登録または複写してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 再起動後のサーバに対してメッセージ事象を発行したいと考えています。メッセージ事象の受信は、再起動後のサーバでも正常に行われるのか教えてください。

A: メッセージを発行する際に、メッセージを受信するサーバで Systemwalker Operation Manager のサービスが起動していれば、メッセージ事象は正常に受信およびカウントされます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 毎月最終月曜日に起動させたくない場合の定義として、毎月最終月曜日を休日とするカレンダを作成しました。ジョブネットのプロパティで毎日起動にして、カレンダで上記カレンダを選択しました。休日の取り扱いで「起動しない」を設定しました。この方法で実現可能ですか？
なお、ジョブネット自体はメッセージ起動のジョブネットです。

A: 実現可能です。
なお、メッセージ起動ということなので、ジョブネットのプロパティにある［メッセージ］タブで［起動日のみ有効］をチェックする必要があります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: [監視ホストの定義]ウィンドウに表示されている定義名の一部分のホスト名を、削除ではなく、表示させないようにしたいのですができますか？

A: 非表示にすることはできません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントの起動時、指定ユーザーでログインウィンドウを省略することはできますか？

A: 省略して、自動でログインすることはできません。毎回ログインする必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サービスのスタートアップアカウントに指定したユーザーについて、OS のパスワードを変更した後、［コントロールパネル］の［管理ツール］－［サービス］にある Systemwalker Operation Manager のサービスに設定されているパスワードを変更していない状態で、クラスタのフェールオーバが発生した場合、Systemwalker Operation Manager では、どのようなエラーメッセージがイベントログに出力されますか？

A: OS の Service Control Manager から、以下のようなメッセージが出力されます。

エラー: 7038: xxxxx サービスは、次のエラーのため現在構成されているパスワードを使って yyyyy としてログオンできませんでした:
ログオン失敗: ユーザー名を認識できないか、またはパスワードが間違っています。

エラー: 7000: xxxxx サービスは次のエラーのため開始できませんでした:
ログオンに失敗したため、サービスを開始できませんでした。

xxxxx：サービス名
yyyyy：アカウント名

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: インストール先フォルダを調べる方法について教えてください。

A: 以下の手順で確認できます。

1. ［スタート］／［アプリ］メニューから［Systemwalker Operation Manager］－［ツール］－［保守情報の収集］を右クリックして、［プロパティ］を選択します。
2. ［ショートカット］タブの［リンク先］でインストール先フォルダを確認します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの前回履歴には何が表示されますか？

A: ジョブの前回履歴には、ジョブが出力した標準出力内容および標準エラー出力内容が表示されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタ構成で Oracle と

Systemwalker Operation Manager をリソースグループで管理する場合、同じグループに所属させるときの問題点はありますか？

A: Systemwalker Operation Manager としては、別のアプリケーションと同じリソースグループに登録しても問題ありません。ただし、別のアプリケーションが異常終了した場合、正常動作中の Systemwalker Operation Manager もフェールオーバするのでご留意ください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 各プロジェクトに設定されている使用可能なユーザーとその各ユーザーに与えられているアクセス権の設定状況を確認する方法を教えてください。

A: プロジェクトの所有者ユーザーのアクセス権の設定状況を一括でリスト表示するコマンドはないため、以下の方法で確認してください。
アクセス権を確認するコマンドではありませんが、mkbat コマンドを実行し、作成されたファイルで、全プロジェクトの使用可能なユーザーのアクセス権の設定状況を確認できます。
mkbat コマンドは、各プロジェクトの「グループ・所有者・ユーザの情報」を出力します。
mkbat コマンドを実行し、出力結果を確認してください。

■実行例
Windows 版の場合
```
> mkbat -f c:¥temp¥acllist.txt -j
```

UNIX 版の場合
```
# mkbat -f /tmp/acllist.txt -j# mkbat -f /tmp/acllist.txt -j
```

上記コマンドを入力することで、ファイル（acllist.txt）が作成されます。acllist.txt は、以下の形式で出力されます。

［出力例］
アクセス権情報の出力はコマンドラインのアクセス権指定のオプション文字として出力されるため、読み替える必要があります。

Windows 版の場合
```
(1) mpsetacl -a -t "mpjobsch¥schedule¥proj1" -g "Administrators" -p w ･･･グループ
(2) mpchown -t "mpjobsch¥schedule¥proj1" -o "Administrator" -u ･･･所有者
(3) mpsetacl -a -t "mpjobsch¥schedule¥proj1" -u "Administrator" -p w ･･･ユーザ
(4) mpsetacl -a -t "mpjobsch¥schedule¥proj1" -u "user001" -p w ･･･ユーザ
(4) mpsetacl -a -t "mpjobsch¥schedule¥proj1" -u "user002" -p c ･･･ユーザ
(4) mpsetacl -a -t "mpjobsch¥schedule¥proj1" -u "user003" -p x ･･･ユーザ
(4) mpsetacl -a -t "mpjobsch¥schedule¥proj1" -u "user004" -p r ･･･ユーザ
```

UNIX 版の場合
```
(2) mpchown -t "mpjobsch/schedule/proj1" -o "root" -u ･･･所有者
(3) mpsetacl -a -t "mpjobsch/schedule/proj1" -u "root" -p w ･･･ユーザ
(4) mpsetacl -a -t "mpjobsch/schedule/proj1" -u "user001" -p w ･･･ユーザ
(4) mpsetacl -a -t "mpjobsch/schedule/proj1" -u "user002" -p c ･･･ユーザ
(4) mpsetacl -a -t "mpjobsch/schedule/proj1" -u "user003" -p x ･･ユーザ
(4) mpsetacl -a -t "mpjobsch/schedule/proj1" -u "user004" -p r ･･･ユーザ
```

［出力結果の説明］
(1) proj1 に対して「Administrators」グループにアクセス権（更新権）が与えられていることがわかります。-p オプションのあとに英字（wcxr の英字のどれか 1 つ）が付与されます。wcxr の各文字は、以下のアクセス権（更新権、登録権、操作権、または参照権）を表現しています。

［オプション文字とアクセス権］
w：更新権
c：登録権（V13.2 以降）
x：操作権
r：参照権

(2) mpchown では、proj1 に対して「Administrator」（Windows 版の場合）もしくは「root」（UNIX 版の場合）が所有者に設定されている（更新権が与えられている）ことがわかります。
(3) proj1 に対して「Administrator」（Windows 版の場合）もしくは「root」（UNIX 版の場合）に更新権が設定されていることがわかります。
(4) proj1 に対して「user001」に更新権、「user002」に登録権、「user003」に操作権、「user004」に参照権が設定されていることがわかります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS ログイン時に Administrator ではなく、別のユーザーでログインした場合、Systemwalker Operation Manager のクライアントは起動できますか？Administrators グループにそのユーザーを含める必要がありますか？

A: Systemwalker Operation Manager のクライアントを起動するのに、そのユーザーを Administrators グループに含める必要はありません。
クライアントを起動して、接続するサーバを指定し、ログインユーザーとパスワードの指定の際に、その接続するサーバに登録されているユーザーとパスワードを入力すれば、接続および操作ができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動日雛形を使用して、ジョブネットを 4 月の第 2 営業日と第 4 営業日だけ起動するように設定するための方法を教えてください。

A: 起動日雛形で 4 月 1 日だけ起動日として、ジョブネットの起動条件で起動日雛形を使用し、翌日に 1 日シフトするジョブネットと 3 日シフトするジョブネットを作成してください。また、土日が休日のカレンダを使用してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「日次」、「週末」、および「月末」の 3 つのジョブネットがあります。通常は「日次」だけで、週末は「日次」と「週末」、月末は「日次」と「月末」、週末および月末は「日次」「週末」「月末」の順番で起動させるには、どうしたらいいですか？

A: ジョブネットの階層化を検討してください。
毎日起動するジョブネットを親ジョブネットとして定義し、「日次」「週末」「月末」の 3 つのジョブネットを意図した順に起動するよう、子ジョブネットとして登録してください。それぞれのジョブネットに起動日を設定し、「起動日のみ有効」の設定をしてください。起動日になっているジョブネットだけ順番に起動されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Administrator のパスワードを変更した際、どのような時に、何をする必要がありますか？ なお、Systemwalker Operation Manager サービスのスタートアップアカウントには Administrator を指定していません。

A: 環境設定にある［ジョブ所有者］でプロジェクトの所有者が Administrator で、状態が「定義済」になっている場合に定義の変更が必要です。
また、業務連携を使用している場合、業務連携のパスワード管理簿にユーザとして Administrator を登録しているときに、業務連携コマンドを実行するサーバ上でパスワード管理簿に登録されている Administrator のパスワードを LGMANAGE.EXE コマンドを使用して変更する必要があります。
Systemwalker Operation Manager のサービスのスタートアップアカウントに、Administrator を指定していないとのことですので、上記以外は影響ありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバのユーザーパスワードを変更することで、連携するサーバとパスワードが不一致になる場合に考えられる影響を教えてください。

A: 業務連携機能のジョブが異常終了します。複数サーバ監視で接続時に認証画面が表示されます。また、Windows 版では、ジョブ所有者情報の定義を行っている場合、ネットワークジョブが異常終了します。
このような不具合が発生しますので、サーバのパスワードを変更する際は、以下のマニュアルの手順を確認した上でパスワードの変更を実施してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.9 ジョブ実行制御の定義
2.9.3 ジョブ所有者情報の定義【Windows 版】
2.11 業務連携の定義
2.11.1 パスワード管理簿の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システムの文字コードを変更した際の影響について教えてください。

A: システムのコード系と Systemwalker Operation Manager のコード系が一致していない場合、システムログへの書き込みが文字化けする、Systemwalker Operation Manager のコマンドが正常に出力できないなどの問題が発生します。

システムのコード系の変更が以下のどちらかに該当する場合は、Systemwalker Operation Manager のコード系をシステムのコード系に合わせることで、上記の問題を回避できます。
- システムのコード系を EUC から SJIS に変更する場合
- システムのコード系を SJIS から EUC に変更する場合

インストール時のシステムのコード系を変更する場合は、Systemwalker Operation Manager の登録情報を抽出したあと、Systemwalker Operation Manager を再インストールします。そのあとに抽出した登録情報をサーバに配付してください。手順は以下のとおりです。なお、不測の事態に備えるために、事前に mpbko および mpbkc コマンドで資産をバックアップしてください。

■手順
1. ポリシーを抽出します。
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの［ポリシー抽出］ボタンをクリックし、ポリシー抽出画面で、以下だけをチェックします。

   - 登録情報タブ
     - ジョブスケジューラの［スケジュール・起動日雛形］
     - ジョブスケジューラの［出口ファイル］（※1）
     - カレンダの［カレンダ］

- サービスアプリケーション起動の［サービスアプリケーション起動］（※1）

- 環境定義タブ
  - 共通の［監視ホスト］
  - ジョブスケジューラの［起動パラメタ］
  - ジョブスケジューラの［監視許可ホスト］
  - ジョブ制御の［運用情報］
  - ジョブ制御の［信頼ホスト情報］（※1）
  - ジョブ制御の［ノード名定義ファイル］（※1）

  ※1）設定していない場合（機能を利用していない場合）抽出不要です

2. Systemwalker Operation Manager をアンインストールします。

3. OS の［/etc/default/init］ファイルを編集し、文字コードを変更します。

4. Systemwalker Operation Manager を再インストールします。再インストール後は、システムを再起動してください。

5. ポリシーを配付します。

6. Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止します。

7. 7.［jobschconvert］コマンドを実行し、文字コードを変換します。

8. ジョブフォルダを設定していた場合、ジョブフォルダを設定します。また、共通パラメタを設定した場合、共通パラメタの定義を実施し、デーモンを再起動します。

プラットフォーム　：Solaris
バージョン　：V12

【運用／保守】

Q:［ジョブを所有者の権限で実行する］のチェックの有無によって、スケジュールサーバから、そのサーバとは別ドメインとなる実行サーバのバッチをネットワークジョブ実行する場合の作業を教えてください。

A: ネットワークジョブを実行する場合の作業は、Systemwalker Operation Manager の環境設定の内容に依存します。以下の場合に応じて、作業を実施してください。

■［ジョブを所有者の権限で実行する］をチェックしていない場合
［運用情報の定義］ウィンドウの［利用機能］シートの［ジョブを所有者の権限で実行する］をチェックしていない場合、ジョブはジョブ実行制御サービスのログオンアカウントで実行されます。そのため、スケジュールサーバのジョブ実行制御サービスのログオンアカウントと、実行サーバのジョブ実行制御サービスのログオンアカウントを同じにしてください。

■［ジョブを所有者の権限で実行する］をチェックしている場合
ジョブは以下の権限で実行されます。プロジェクト所有者のアカウントおよびパスワードを、スケジュールサーバと実行サーバで一致させる必要があります。そのため、実行サーバにプロジェクトの所有者と同一のアカウントを作成してください。

- **［実行ユーザ名］の指定がある場合**
  ［実行ユーザ名］で指定したユーザでジョブが実行されます。指定したユーザは、実行サーバ上にも作成してください。
- **［実行ユーザ名］の指定がない場合**
  プロジェクトの所有者の権限でジョブを実行します。

この際、［プロジェクトの所有者］に設定したユーザについて、スケジュールサーバ上の［環境設定］で［ジョブ所有者］の設定を行う必要があります。［プロジェクトの所有者］に設定したアカウントについて、パスワードを設定してください。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager が出力するログファイルについて、ログ出力先および各ログのファイル形式について教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager が出力するログファイルは以下のとおりです。

■ジョブスケジューラのログファイル
ジョブネットおよびジョブの実行履歴（開始時刻、終了時刻、終了コードなど）が格納されます。
ログ出力先は、以下のとおりです。

Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpjobsch¥jobdb 配下の jobdb1.log、jobdb2.log、jobdb3.log ファイル

ファイルはテキスト形式です。

■ジョブ実行履歴情報のログ
ジョブの投入／開始／終了／削除の日付、時刻およびジョブの終了コードが格納されます。
ログ出力先は、以下のとおりです。

Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpmjessv¥hist（デフォルト）

ファイルはバイナリ属性を含んでいるため、直接参照できません。mjsview コマンドを使って参照してください。

■稼働情報のログ
Systemwalker Operation Manager の［環境設定］－［運用情報］で設定している場合に出力されます。
出力ファイルは任意であり、デフォルト出力されるログではありません。
ファイルはテキスト形式です。

■監査ログファイル（V13.2.0 以降の場合）
Systemwalker Operation Manager 上で行われた操作の記録が保存されます。
ログ出力先は、以下のとおりです。

Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpcmtool¥audit¥mp_omgr_auditYYMMDD.log

ファイルはテキスト形式です。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 現在稼働しているシステムに対して、出口プログラム「jobsch.exit」を配置しても動作に影響はありませんか？また設定を行った出口プログラム「jobsch.exit」で障害が発生した場合、動作に影響はありませんか？

A: 配置することによる影響はありません。
なお、出口プログラムで実行中のままとなる障害が発生した場合、そのあとのジョブネットが起動できなくなるため、無限ループ処理などを含まないようにご注意ください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Job Designer で一括登録を行う場合、ジョブネット間で先行や後続といった実行順序の定義は行えますか？

A: Job Designer を使用する場合、グループは定義できませんが、階層化ジョブネットを定義すると、先行関係を定義できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー抽出／配付機能を使用して、カレンダ情報を配付する場合、SYSTEM_CALENDAR の情報も含まれますか？

A: 含まれます。
ポリシー抽出でカレンダ情報を抽出した場合、SYSTEM_CALENDAR も抽出され、ポリシー配付で上書きされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステムごとに持つ稼働実績情報ファイルを一本化することはできますか？

A: 一本化することはできません。サブシステムを作成した場合、サブシステムごとに稼働実績情報ファイルの格納先を設定する必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、クライアントの監査ログで出力される「LOGIN_OMGRCLIENT」は、［Systemwalker Operation Manager［ログイン］］ウィンドウでログインの成功または失敗に関わらずログが出力されますか？

A: 出力されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行時のカレントディレクトリが PATH 環境変数の先頭に追加されるのは正常な動作ですか？

A: 正常な動作です。
ジョブの実行時、実行先のディレクトリパスが PATH 環境変数の先頭に追加されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: デフォルトゲートウェイに対して、SNMP トラップをあげるような設定があるのかどうか教えてください。

A: デフォルトゲートウェイに対して、SNMP トラップをあげるような機能はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 子ジョブネットや孫ジョブネットに「起動日のみ有効」の項目を設定できますか？

A: 設定できます。ただし、AIX 版だけは V13.2.0 以降で設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: MANPATH は用意されていますか？ man コマンドでコマンドの解説を参照したいです。

A: man コマンドによるコマンドの解説は提供していません。
各コマンドの使用方法については、マニュアル「リファレンス集」を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、ジョブが流れている場合、PRIMECLUSTER の保守モードに切り替えることで、ジョブに影響が出るのか教えてください。

A: 運用中（ジョブの動作中）に、PRIMECLUSTER を保守モードに切り替えると、Systemwalker Operation Manager のデーモンが停止する場合があり、動作中のジョブに影響する可能性があります。そのため、運用中でない（ジョブが動作中でない）時間帯に、保守モードに切り替えて作業を実施するようにしてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mjdjalt コマンドで実行中のジョブ数より小さい値を指定した場合、実行中のジョブはどうなりますか？また、残りジョブ実行枠 1 のキューに対して、優先順位が同じ job を同時に投入した場合、どのような優先順位になりますか？

A: mjdjaltコマンドで実行中のジョブ数より小さい値を指定した場合、実行中のジョブはそのまま継続して動作し、実行完了後、設定が反映されます。
優先順位が同じ job を同時に投入した場合、ジョブ番号順にジョブが実行されます。
なお、本内容は、Windows 版、Solaris 版、および Linux 版は V12 以降、HP-UX 版は V13.0.0 以降、AIX 版は V13.2.0 以降の製品が対象になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行制御の qsub コマンドを使いシェルを実行しようとしています。qsub コマンドはシェルの終了を待たずに復帰しますが、終了を待ち合わせる方法はありますか？

A: qsub では、処理の終了は待ち合わせないので、終了コードを検出するのであれば、シェル内で別のファイルに終了コードを出力するような処理を行い、その内容を確認してください。また、終了を待ち合わせて、次の処理を行うのであれば、シェルで処理の最後にファイルを作成し、次の処理は chkfile コマンド【Windows 版】／jobschchkfile コマンド【UNIX 版】でファイルの有無を確認して実行してください。
なお、本内容は、Windows 版、Solaris 版、および Linux 版は V12 以降、HP-UX 版は V13.0.0 以降、AIX 版は V13.2.0 以降の製

品が対象になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが停止中にサービス／デーモンを停止しました。サービス／デーモン停止中に起動条件を満たし、そのあとにサービス／デーモンを起動しました。停止解除を実施しましたが、ジョブネットが起動されません。これは正常な動作ですか？

A: 正常な動作です。
サービス／デーモン停止中に起動条件を満たした場合、次回サービス／デーモン起動時にジョブネットは再スケジュールされるため、サービス／デーモン停止中に起動条件が満たされても停止解除時には実行されません。
なお、グループについては、サービス／デーモン起動時に再スケジュールは発生しないため、停止解除した時点で実行中になります。
サービス／デーモン停止中に起動条件を満たした場合に、次回サービス／デーモン起動後、停止解除後にジョブネットを起動する場合は、ジョブネットのプロパティで、電源未投入時の処置として次回電源投入時に起動するための設定をしてください。なお、この指定は、起動する時刻の指定が 1 つだけ（1 日 1 回起動）の場合に有効となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メモリ増設する場合、Systemwalker Operation Manager で実施する必要がある作業を教えてください。

A: 実施する作業はありません。

なお、必須の作業ではありませんが、メモリ交換によりハードウェア異常・破損が発生した場合に備えて、Systemwalker Operation Manager の環境をバックアップすることを推奨します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: デフォルトパスワード長を 8 文字から 9 文字に変更し、root のパスワードを 9 文字以上にする計画があります。Systemwalker Operation Manager V13.2.0 および V13.3.0 の運用に影響を与えないようにするには、何文字までにすればよいですか？

A: root ユーザのパスワードは、16 バイト以内にしてください。

Systemwalker Operation Manager の場合、以下の制限があります。

■クライアントのログイン画面のパスワード入力ボックス
- V13.2.0 の場合：最大 16 バイト
- V13.3.0 の場合：最大 50 バイト

■拡張ユーザ管理機能のユーザパスワード
- V13.2.0 の場合：最大 16 バイト（ただし、パスワードとして有効な長さは半角英数文字 8 文字まで）
- V13.3.0 の場合：最大 50 バイト（ただし、パスワードとして有効な長さは半角英数文字 8 文字まで）

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の「ジョブの実行予測時間」および「ジョブネットの終了予定時刻」の遅延メッセージを、Systemwalker Centric Manager で監視したいのですが、どのような監視方法がありますか？

A: 「ジョブの実行予測時間」および「ジョブネットの終了予定時刻」は「daemon.warning」または「user.warning」として SYSLOG に出力されるので、Systemwalker Centric Manager 側では warning メッセージを検知するようにしてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダ機能がありますが、このカレンダの情報を出力する方法はありますか？

A: カレンダ情報を出力するコマンドとして、jobschprint -h コマンドがあります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクト単位にユーザーのアクセス権を設定できますが、登録できるユーザー数には制限がありますか？

A: プロジェクトのアクセス権に登録できるユーザー数に制限はありません。OS で作成できる限りのユーザー数を登録できます。
ただし、クラスタ運用する場合は、登録ユーザー数が多いとノード切替に時間を要する場合があるため、検証の上、運用をお願いします。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブでファイル作成を行うと、ファイル権限のグループが swadmin で作成されます。どのようなルールで権限が設定されているのですか？

A: 環境設定から［共通パラメタ］を選択して表示される［Operation Manager 共通パラメタの定義］で利用者を限定している場合、ジョブで作成されたファイルは swadmin グループで作成されます。利用者を限定していない場合、ジョブの実行ユーザーが属すプライマリグループで作成されます。

なお、V16.0.0 以降は、新規インストール時のデフォルトで、利用者限定（［Operation Manager 共通パラメタの定義］ウィンドウの定義）が有効となっています。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、データベースディレクトリ配下に格納されるジョブの前回履歴を削除することによって、クラスタのフェールオーバの処理が速くなるか教えてください。

A: 速くはなりません。
プロセスの起動時には、ジョブの前回履歴を参照していないため、プロセス起動時間の短縮にはつながりません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager でスケジュールされているジョブネットを、状態に関係なく強制起動させる方法を教えてください。

A: 状態によっては、状態を変更しなければ、起動させることができない場合があります。
停止中の場合、停止解除してからであれば、起動操作できます。無効状態の場合、無効解除してからであれば、起動操作できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブで、jobschmsgevent コマンドのパラメタ「:プロジェクト名」に環境変数 JOBSCH_PROJECT を使用できますか？

A: 環境変数をシェルスクリプトやバッチファイル内で参照し、jobschmsgevent コマンドの引数とすることで、使用できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、監査ログの保存日数を mpsetlogsend_omgr コマンドで設定していますが、期限を過ぎても古い監査ログファイルが削除されないのはなぜですか？

A: 監査ログが削除されるタイミングは、システム日付が 0 時を過ぎた以降で、最初に監査ログが出力されたときです。新規に監査ログが作成されていないため、期限が過ぎた古い監査ログが削除されていないことが原因です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ化した実行サーバで、hvshut -l でクラスタを停止したあと、shutdown したいのですが、方法を教えてください。

A: 方法はありません。
hvshut を実施した時点でジョブの実行が打ち切られ、Systemwalker Operation Manager が動作するために必要となる共有ディスクも参照できなくなります。そのため、それ以降の shutdown を Systemwalker Operation Manager から制御することができません。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアント機能だけをインストールした Windows の PC から、GUI ではなく、コマンドでサーバ（Solaris または Windows）側のジョブネットを起動

できますか？

A: できません。
クライアント機能だけをインストールした PC から、コマンドを使用してジョブネットを起動することはできません。GUI から起動する必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、SYSLOG の facility=local0～7 を使用して、ログを出力しているか教えてください。また、使用している場合は何番を使用しているか教えてください。

A: local0～local7 のファシリティを使用して、ログを出力していません。
Systemwalker Operation Manager で使用しているファシリティレベルは「daemon」および「user」になります。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが異常終了した場合は「Mpjobsch: エラー: 9002」【Windows 版】／「MpJobsch: ERROR: 0330」【UNIX 版】のエラーメッセージが出力されますが、これをジョブの異常終了時にも適用できますか？

A: できません。
ジョブネット内のジョブ単位で異常終了時にメッセージを出力させることはできません。
ジョブで実行する処理の内部でエラーメッセージを出力する仕組みを作成してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトを削除したいのですが登録されているジョブネットをすべて削除しなければなりません。ジョブスケジューラデータベースディレクトリ配下の「プロジェクト名.xxx」ファイルを、すべて手動で削除してもいいですか？

A: 手動では削除しないでください。
クライアントまたは jobschsetnet -ndel コマンドでジョブネットを削除後にプロジェクトを削除してください。
V16.0.0 以降では、stemSchDelete コマンドで、指定したプロジェクト、および、そのプロジェクト内のジョブネットすべてを削除することができます。
V13.0.0～V13.4 の場合は、コンビニエンスツールとして、指定したサブシステム内のすべてのプロジェクト・ジョブネットを削除するコマンドを、技術情報サイトで提供しています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 4 つのジョブを A→B→C→D と登録している 1 つのジョブネットで、C のジョブがエラーになった場合、B の正常終了しているジョブから起動を行いたいのですが、何か方法はありますか？

A: あります。
再起動ポイントを指定することで、再起動時に再起動ポイントから起動できます。また、任意のジョブから起動したい場合は、起動したくないジョ

ブを無効化して、ジョブネットを起動してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント画面の［表示］－［表示開始時刻］の設定は、サーバに接続する各クライアントで設定する項目なのか、サーバ上で一括管理される設定なのか教えてください。

A: 各クライアントで設定する項目です。
そのため、あるクライアントで［表示開始時刻］を変更したとしても、別のクライアントの設定内容に影響を与えることはありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、jobschmsgevent -c コマンドのサフィックス機能を使用して、複写起動をしたジョブネットは自動的に削除されますか？

A: 自動的には削除されません。
GUI から複写起動されたジョブネットを右クリックして削除、または jobschsetnet -ndel コマンドを実行することで削除できます。

なお、V13.8.0 以降では、自動削除が可能な複写起動の機能が追加されています。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.12 複写起動を利用して多重実行する場合

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のサーバに接続して環境設定画面を起動できるユーザーを教えてください。

A: root ユーザ（スーパーユーザ）です。
すべてのジョブネットのスケジュールに影響を与えるため、root 以外のユーザが起動することを禁止しています。
なお、拡張ユーザ管理機能を使用すれば、root 以外でも環境設定画面を起動できます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の機能を利用して、他のシステムの Systemwalker Operation Manager が起動されたことを確認する方法について教えてください。

A: 起動確認したいシステムにダミーでネットワークジョブを投入し、正常終了すれば Systemwalker Operation Manager が起動していると判断できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントで表示される文字のフォントを大きくすることはできますか？

A: クライアントおよび環境設定のフォントサイズを変更することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、起動条件を持たないジョブネットを大量に登録した際の、ジョブスケジューラやジョブ実行制御等への影響について教えてください。

A: 以下の影響が考えられます。

- 日変わり到来時のスケジュール処理に時間がかかる（万単位であれば数分かかる場合もある）
- ジョブネットの起動・終了処理、およびジョブの起動・終了処理に時間がかかる

登録するプロジェクトを分割し、1 プロジェクトあたりのジョブネット数を減らすことで、上記の 2 つ目の影響は軽減できます。しかし、プロジェクトを分けてジョブネットを登録しても、上記の 1 つ目の影響に対しては効果ありません。
この場合、サブシステムを複数作成し、サブシステムごとに分割して、ジョブネットを登録することを推奨します。サブシステムを複数作成し、分割してジョブネットを登録することで、日変わり時刻到来時のスケジュール処理などが、サブシステムごとに同時並行して実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ユーザーのパスワードを変更する際に、必要になる作業について教えてください。

A: パスワードを変更するアカウントが以下の場合、Systemwalker Operation Manager で設定を変更する必要があります。

- Systemwalker Operation Manager のスタートアップアカウント
- プロジェクトの所有者
- 業務連携のパスワード管理簿の定義情報に登録されたユーザー

それぞれのユーザーのパスワードを変更した場合の手順は以下のとおりです。

■Systemwalker Operation Manager のスタートアップアカウント

1. Systemwalker Operation Manager のサービスを停止する。
2. スタートアップアカウントのパスワードを変更する。
3. Systemwalker Operation Manager のスタートアップアカウントのパスワードを変更する。
4. Systemwalker Operation Manager のサービスを起動する。
5. 必要に応じて Systemwalker Operation Manager 利用者のパスワード情報を変更する。
   I. ジョブ所有者のパスワードを変更する。
   II. 業務連携のパスワード管理簿の定義情報を変更する。

■プロジェクトの所有者

1. ［ジョブを所有者の権限で実行する］が有効になっている場合は、以下の手順 2 の作業を行います。
   ［ジョブを所有者の権限で実行する］が有効になっていない場合は、ジョブ所有者のパスワードを変更する必要はありません。
2. Systemwalker Operation Manager の環境設定から、ジョブ所有者情報を確認します。パスワード変更対象のユーザーが登録されている場合は、パスワード情報を変更後のパスワードに設定します。

■業務連携のパスワード管理簿の定義情報に登録されたユーザー
業務連携機能を使用している場合で、業務連携のパスワード管理簿にパスワード変更対象のアカウントを定義しているときは、パスワードの定義を変更します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ETERNUS NR1000 の Snapshot と Snapmirror 機能を使って、バックアップをとっています。Snapmirror でバックアップデータを取得する際、Systemwalker Operation Manager のサービス/デーモンを停止する必要があるか教えてください。

A: サービス/デーモンを停止してからバックアップを行ってください。
なお、原則として Systemwalker Operation Manager で提供している［運用環境保守ウィザード］または mpbko コマンド以外の方法は動作保証の対象外です。
バックアップツールを使用した場合でも、以下の条件を満たすことで、バックアップ／リストアはできますが、動作についてはお客様で十分検証を行った上で実行してください。

■条件
- OS のフルバックアップ／フルリストアの際に、Systemwalker Operation Manager のサービスが停止していること
- OS のバックアップ／リストアで、ファイルシステムの情報がフルリストア操作の前後で、同一となることが保証される方法であること
- OS のフルリストアのあとで、OS の動作が保証されていること

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットで OS 再起動のジョブを流しています。OS 再起動後に、続きのジョブを実行したいのですが、何か良い方法を教えてください。

A: OS 再起動後に続きのジョブを実行するためには、最低 3 つのジョブネットを作成してください。
1. 再起動させる前のジョブを起動させるジョブネット
2. 終了処理ジョブネット
3. 再起動後に動かすジョブを起動させるジョブネット

なお、「終了処理ジョブネット」と「再起動後に動かすジョブを起動させるジョブネット」については、以下に説明します。

■終了処理ジョブネットについて
1. JSHEND または JSHFORCE というジョブネット名を登録し、新しくジョブネットを登録します。また、終了処理ジョブネットはジョブスケジューラサービスのログオンアカウントに指定されているユーザ名と同じ名前のプロジェクトに登録します。
   JSHEND および JSHFORCE の詳細は以下のとおりです。

   JSHEND:
   終了処理ジョブネット起動時に、実行中のジョブネットがあった場合、そのジョブネットの終了を待ってから、ジョブの実行を開始します。ただし、グループの終了については待ち合わせません。

   JSHFORCE:
   終了処理ジョブネット起動時に、実行中のジョブネットがあった場合、実行中のジョブネットを強制終了してから、ジョブの実行を開始します。
   ※ジョブネット名称ではなく、必ずジョブネット名に登録してください。

2. 終了処理ジョブネットの中身のジョブを作成します。ジョブの内容は、正常終了するダミーのジョブでかまいません。ただし、マシンをシャットダウンするようなジョブは登録しないでください。

3. 上記の設定で終了処理ジョブネットの実行が終わると jobschendexit.bat（異常終了の場合は jobschnoendexit.bat）を呼び出します。

jobschendexit.bat:
ジョブスケジューラ、ジョブ実行制御サービスの停止処理を行う。

jobschnoendexit.bat:
何の処理も行わないプログラムです。

※格納場所は以下です。
Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥mpwalker¥bin

4. 「jobschendexit.bat」の中身に shutdown コマンドを書き加えます。文の最後の「f3crheet.exe system」を shutdown コマンドに書き換えます。

   ※shutdown コマンドについて
   スクリーンセーバが起動していて、解除時にパスワードロックする設定をしている場合には、shutdown コマンドに-f オプションをつける必要があります。オプションなしではシャットダウンできません。

■再起動後に動かすジョブを起動させるジョブネットについて

1. 新しくジョブネットを作成します。

2. ジョブネットのプロパティで［サーバ起動時に起動］をチェックします。
   ※［サーバ起動時に起動］をチェックする場合、ジョブネットの起動日を設定してください。起動日の設定がない場合は、ジョブネットは起動されません。

3. 再起動後に実行するジョブをそのジョブネット内に作成します。
   ※［サーバ起動時に起動］は Systemwalker Operation Manager のサービスを再起動させた場合でも起動してしまいます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、マニュアル「クラスタ適用ガイド Windows 編」の「Microsoft(R) Fail Over Clustering システム運用時のポリシーの配付/適用」の手順 7 で mpcssave コマンドを実行するマシンはどのマシンですか？

A: 共有ディスクが接続されているマシンで実行してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットで、異なるサーバで実行させるジョブに、先行後続関係を持たせることはできますか？

A: できます。
ネットワークジョブ機能を使って、異なるサーバでジョブを実行できます。ネットワークジョブはジョブ単位で設定できます。
設定は、ジョブの定義で［基本情報］シート－［ジョブをネットワークジョブとして投入する］をチェックして［依頼ホスト名］に異なるサーバ名を記述してください。
また、上記で設定したネットワークジョブおよびジョブは、ジョブネットの定義の画面上にある鉛筆のアイコン（接続線）で先行および後続関係を引くことができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER を使用したクラスタ環境でテストモードを使用する方法を教えてください。

A: 非クラスタ環境と同様に仮想時刻を設定し、ジョブスケジューラデーモンを再起動してください。
ただし、クラスタ環境の場合は、ジョブスケジューラデーモンはクラスタシステムに登録されているため、クラスタシステムに登録されたアプリケーションをオフラインからオンラインにして、デーモンを再起動してください。

プラットフォーム　: Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット一覧を CSV で出力したいのですが、どのようにすればよいか教えてください。

A: jobschprintcsv -n コマンドで、ジョブネットを CSV に出力できます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: テストモードでの運用について、テストモードを設定すると、見た目でテストモードに変わっていることはわかりますか？また仮想時間を変更するたびにサービスの再起動が必要ですか？

A: ジョブスケジューラの環境設定画面のテストモードタブから、現在のテストモードの設定状況を確認できます。また、設定変更時には、サービスの再起動が必要です。
テストモードに変わっていることは、以下に記述した見た目で判断できます。

- Systemwalker Operation Manager クライアントのガントチャートの右下に表示される「サーバ日時」に仮想時間によるサーバ日時が表示されます。
- jobschprint コマンドの出力結果で、ヘッダ部分に表示される「date:」「time:」に仮想時間によるサーバ日時が表示されます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: タイムアウト時間やタイムアウト発生時のリトライ回数についての設定項目を教えてください。

A: 設定項目は以下のとおりです。

■ネットワークジョブのリトライ（V13.0.0 以降の場合）
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［運用情報］－［ネットワーク］タブ－［ネットワークジョブで、接続エラー時のリトライの動作を変更する］

■ジョブ打ち切り設定（キュー単位）
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［運用情報］－［運用制御］タブ－［キュー名］を選択し、［編集］ボタンをクリックして、［キューの編集］ウィンドウ－［ジョブ経過時間を制限する］

■ジョブ打ち切り設定（ジョブ単位）
［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］タブ－［打ち切り時間］

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブの状態を詳細に出力するコマンドを教えてください。

A: jobschprint -p コマンドでジョブの状態を表示できます。
ただし、V13.2.0 以前では、ジョブ名は先頭から 24 バイト分までの表示となります。
V13.3.0 の場合、-long オプションを使用することで、300 バイト分すべて表示できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 環境設定ウィンドウにある［監視ホスト］ボタンは、どういうときに設定が必要ですか？

A: 複数サーバ監視機能を使用する場合、監視サーバがどのサーバを監視対象にするのかを設定する際に使用します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: マニュアル「運用ガイド」または「使用手引書」に記載されている「JOBSCH_JOBNET_DATE」環境変数はどのタイミングで値が設定されますか？

A: JOBSCH_JOBNET_DATE は、ジョブが実行されるタイミングで値が渡されます。ジョブネットが何日付けの構成で起動しているかを示す値が格納されています。

なお、本内容は、AIX 版だけは V13.2.0 以降の製品が対象になります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「JOBSCH_JOBNET_DATE」環境変数に設定された値を利用しての運用において、特定のジョブネットを指定して、環境変数の値を取得できますか？

A: 「JOBSCH_JOBNET_DATE」環境変数は、実行したジョブネット内だけで情報取得できます。特定のジョブネット情報を取得するようには指定できません。
なお、本内容は、AIX 版だけは V13.2.0 以降の製品が対象になります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: オンラインヘルプで、［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シートの実行ユーザで［省略した場合は、従来どおりのユーザ権限でジョブを実行します］とあります。「従来どおりのユーザ権限」の内容を教えてください。

A: 「従来どおりのユーザ権限」というのは、プロジェクトの所有者のことです。スケジュールジョブのデフォルトの実行ユーザはプロジェクトの所有者です。
なお、特定のジョブにおいて、プロジェクトの所有者以外のユーザでジョブを実行する場合には実行ユーザを指定してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschcontrol コマンドを使用してジョブネットを無効状態にする予定です。jobschcontrol コマンドは即反映される(完了復帰型)コマンドですか？

A: 即反映される(完了復帰型)コマンドではありません。jobschcontrol コマンドは、操作をサーバに依頼するだけのものです。コマンド実行が完了しても、ジョブネットへの操作が完了していることを保証するものではありません。そのため、本コマンドの完了後、しばらく経過してから、操作した処理が実施される場合があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mpbko コマンドを使用したバックアップで取得されるファイルの一覧を教えてください。

A: mpbko コマンドで取得されるファイルの一覧は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 A 定義情報ファイルの格納先

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 移行先にすでに同名のグループとジョブネットが存在する場合に、名前を変更してコピーするオプションを教えてください。

A: ジョブネット名およびグループ名を変更して移行するコマンドなどのオプションはありません。
ただし、jobschprint -r（-R）コマンドを実行して出力された定義ファイルを編集することでジョブネット名およびグループ名を変更して移行できます。

■ジョブネット名の変更
jobschprint -r コマンドを実行し、定義ファイルを作成します。
出力された定義ファイルを一般のエディタなどで表示し、以下のジョブネット制御文を変更してください。

jobnetname ジョブネット名

■グループ名の変更
jobschprint -R コマンドを実行し、定義ファイルを作成します。
出力された定義ファイルを一般のエディタなどで表示し、以下のグループ制御文を変更してください。

groupname グループ名

名前を変更した定義ファイルを、ジョブネットの場合は jobschsetnet -nent コマンド、グループの場合はまたは jobschsetgrp -ent コマンドで登録してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS 起動時、Systemwalker Operation Manager のデーモンは自動起動されると認識していますが、自動起動のための設定作業などは必要ですか？

A: 自動起動を設定するための作業は必要ありません。
デフォルトの状態では OS 起動時、Systemwalker Operation Manager のデーモンは自動起動されます。
運用の都合で自動起動させたくない場合は、swstop コマンドおよび swstart コマンドで自動起動の抑止／抑止解除ができます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS 起動時の Systemwalker Operation Manager のデーモン自動起動の際に、シェルなどを読み込んでいますか？また、シェルが存在した場合、シェル格納場所を教えてください。

A: OS 起動時、自動的に実行される rc スクリプトとして、soperationmgr コマンドがあり、以下のシンボリックリンクが存在しています。
/etc/rc3.d/S99startswOperation

このシンボリックリンクのリンク先は soperationmgr コマンドで、OS 起動時に自動実行されて、Systemwalker Operation Manager のデーモンが起動します。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 非起動日の設定および非起動日の設定確認をコマンドで行うことができますか？

A: ジョブネット制御文で起動日設定解除を指定し、jobschsetnet コマンドで変更できます。また、設定は jobschprint -s コマンドで確認できます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバから実行サーバにネットワークジョブとして長時間ジョブを依頼し、依頼後にスケジュールサーバがダウンした場合、ネットワークジョブとして実行されたジョブはどうなりますか？

A: ネットワークジョブ実行時に依頼元がダウンした際、ネットワークジョブの動作は［実行継続モード］の有効無効によって動作が異なります。設定ごとの動作は以下のとおりです。なお、jmmode コマンドで、現在の設定を確認できます。

- **実行継続モード無効：**
  依頼先のジョブが終了コード 239 で異常終了となりジョブの実行が中断される。
- **実行継続モード有効：**
  依頼先のジョブが継続して実行中となる。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キュー名を変更することはできますか？

A: できます。
キュー名は、環境設定の［運用情報］ボタンをクリックし、［運用制御］シート上で変更できます。反映するためには Systemwalker Operation Manager のジョブ実行制御デーモンの再起動が必要です。
なお、ジョブにすでに定義されたキュー名は動的には変わりません。キュー名の変更後に、ジョブに定義されているキュー名も変更後の名称にしてください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントで、ジョブの操作は一切行わせずに、ジョブネット状態の表示だけ行わせるようなセキュリティ設定ができますか？

A: できます。
なお、クライアント単位ではなく、クライアントから接続する際のユーザ単位で、プロジェクトごとにアクセス権（参照権）を設定することで状態表示だけさせることができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 休日情報制御文を作成してカレンダを登録していますが、登録できるカレンダに上限はありますか？

A: 登録できるカレンダに上限はありません。
ただし、カレンダの登録数が多くなると、日変わり時刻の到来時やカレンダ編集時の処理などが遅くなる場合があります。
登録件数は、100 件程度までにすることを推奨します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschsetproject コマンドを使用した場合、プロジェクト名を変更することはできますか？

A: jobschsetproject コマンドを使用してもプロジェクト名を変更することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker のプロジェクトの削除方法として、dbz、grz、または jsp ファイル（V13.3.1 以前の場合は、dbx、grp、または jsp ファイル）を直接削除する方法は動作保証されていますか？

A: プロジェクトの削除方法として、dbz、grz、および jsp ファイル（V13.3.1 以前の場合は、dbx、grp、および jsp ファイル）を削除することは動作保証していません。プロジェクトを削除する場合、プロジェクト内のグループおよびジョブネットを削除してください。
削除の方法としては、以下のどちらかで削除してください。

- GUI 操作で削除
- コマンドで削除

なお、コマンドで削除する場合、以下を実施してください。

- グループの削除として jobschsetgrp -del コマンド
- ジョブネットの削除として jobschsetnet -del コマンド
- プロジェクトの削除として jobschsetproject -del コマンド

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mpbko コマンドによるバックアップ時のジョブのステータスやリストア時の注意事項を教えてください。

A: ジョブの「実行中」にバックアップした場合、リストア後は終了コード 239 で異常終了します。
バックアップ／リストア時の注意事項については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 3 章運用環境をバックアップ・リストアする
3.1.1 バックアップ時の注意事項
3.2.1 リストア時の注意事項

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のサービスを停止しないで、時刻補正を行った場合の影響を教えてください。
時刻補正は、NTP サーバに接続して行う予定で、時間をかけて時刻の補正を行う予定です。

A: サービスを停止しないで、時刻変更（1 秒以内の補正）を実施した場合、補正した分（秒数分）ジョブネットの起動が遅れる場合があります。時刻補正を行うと、補正を行ったあとが起動時刻になっているジョブネットの起動に影響があり、補正分だけずれることになります。
Systemwalker Operation Manager のスケジュール情報は、スケジュールを行った時点（日変わり時刻や、ジョブネットの終了など）からの時間で保持しています。スケジュール情報は、「今から xxxx 秒後」として保持しており、時刻同期があった分だけスケジュールに差異が生じます。

例えば、日変わり時刻が 0:00 で、7:00 に起動する予定のジョブネットがあり、日変わり時刻から 7:00 の間に時刻同期があり、10 分進んだとすると、システム時刻上 10 分進みますが、Systemwalker Operation Manager のスケジュール情報としては、「25200 秒（7 時間）後」として情報を持っているため、7:10 に起動することになり、スケジュールどおりに起動しないことになります。

なお、補正が行われても、ファイルが破壊されたりして、動作しなくなるようなことはありません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットを右クリックして［起動日］から任意の日を起動日にしましたが、その後設定が削除されてしまいました。原因を教えてください。

A: 起動日を登録したあとで、下記の操作が行われたためです。下記操作により、起動日の再作成が行われ、［起動日］ウィンドウで設定したジョブネットの起動日（特異日）が削除されます。

■［ジョブネットのプロパティ］－［起動日］シートで起動日情報を変更した場合

■Systemwalker Operation Manager の環境設定にある［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［利用機能 2］シートの［起動日再作成の抑止］を指定していない状態で、
- カレンダ情報を変更または削除した場合
（変更した休日カレンダを指定しているジョブネットの起動日が再作成されます）
- 起動日雛形情報を変更した場合
（変更した起動日雛形を指定しているジョブネットの起動日が再作成されます）

■上記 3 つの操作（変更／削除）によって、
- 基準ジョブネットの起動日情報が削除された場合
- 基準ジョブネットの起動日を変更した場合
- 基準ジョブネット自体を削除した場合

- 基準ジョブネット指定を解除した場合
（対象の基準ジョブネットを指定しているジョブネットの起動日が再作成されます）

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 毎月 1 日に実行されるジョブネット A があり、毎月 3 日に実行されるジョブネット B があります。この場合、ジョブネットの A および B を待ち合わせて、ジョブネット C を起動することはできますか？

A: ジョブネット A および B でメッセージ事象を発行し、ジョブネット C の起動条件をその 2 つのメッセージ事象の AND 条件とすることで可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、クラスタを構成している環境について、フェールオーバ後に Systemwalker Operation Manager でスケジューリングされているジョブネットを起動させない方法を教えてください。

A: ［リカバリモードで起動した時、全てのキューを停止する］を選択することで、フェールオーバ発生後のジョブの起動を抑止できます。

この選択を行うことによって、Systemwalker Operation Manager のデーモンがリカバリモードで起動した場合、ジョブを実行待ち状態（キュー停止）にして、キューを手動で起動するまでジョブの実行を停止します。
フェールオーバによる待機系の Systemwalker Operation Manager のデーモン起動は、リカバリモードで行われるため、ジョブを実行待ちの状態にできます。

キュー停止の解除手順は、以下のとおりです。
1. クライアント画面の左ペインの［キュー］の項目を選択します。
2. 右ペインに表示されるキューを選択し、右クリックから［キュー操作］－［開始］を選択します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 他のサーバにあるシェルを、ネットワークジョブとして動作させる場合の PATH 環境変数は、どのような順番で設定されるのかを教えてください。

A: PATH 環境変数は以下のように設定されます。

1. ［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シート－［環境変数］で設定した PATH 環境変数

2. ［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シート－［ディレクトリ］で設定したディレクトリ
※未指定の場合、ユーザーのホームディレクトリが設定されます

3. 実行サーバ側のジョブ実行制御デーモンが内部的に設定する PATH 環境変数
※ジョブ実行制御デーモン起動時に設定する環境変数のうち、固定値は以下になります。

   /opt/FJSVMJS/usr/bin:/usr/bin

   また、ジョブ実行制御デーモンは、デーモン起動時の環境変数を引き継いで動作するため、可変値としては Systemwalker Operation Manager を起動した際の PATH 環境変数に依存します。

4. 実行サーバ側で指定したジョブフォルダのパス
※ジョブフォルダは Systemwalker Operation Manager の「デマンドジョブ」という機能で使用できるフォルダのことです。

5. ユーザーのスタートアップシェル（.login、.profile など）

6. ジョブの内部で設定した PATH 環境変数

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V17.0.0 で、サーバリプレイスのため、旧サーバからポリシー抽出し、新サーバにポリシー配付を行ったところ、ジョブの基本情報に設定してあったコメントがすべて文字化けしました。原因と対処方法について教えてください。

A: **［原因］**
文字コードが異なる環境からポリシー配付したことが原因です。
Systemwalker Operation Manager では、インストール時に「/etc/default/init」ファイルの LANG 設定を参照し、文字環境を決定します。その後、再インストールするまで変更されません。2 つのサーバで文字コードが異なっていたため、ポリシー配付後の環境で日本語文字の文字化けが発生しています。

［対処方法］
ポリシー抽出／配付機能では、同一コード系だけで実施してください。なお、例外として、ジョブスケジューラおよびカレンダについては、jobschconvert コマンドでコード変換できます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 間隔起動を指定したジョブネットの実行中に、次の起動時刻になった場合、実行中の処理完了後に起動できていない分の処理が即実行されますか？

A: 実行拒否となり起動されません。
なお、その次の起動時刻までに実行処理が完了していれば、実行拒否されないで、起動時刻になれば処理が開始されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: リカバリジョブに「元のジョブの再起動」を実行させる際、指定した時間に再実行させる方法を教えてください。

A: リカバリジョブで jobschchecktime コマンドを実行し、時間の待ち合わせを行ってください。
リカバリジョブの中で jobschchecktime コマンドを使用すると、指定した時刻にリカバリジョブが終了します。その結果、もとのジョブは指定した時刻に起動されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブとして登録できるファイルについて教えてください。

A: ジョブとして登録できるファイルは以下のとおりです。

■以下の実行ファイルです。
- 実行プログラム（.EXE .COM）
- バッチファイル（.BAT .CMD）
- JCL ファイル（.JCL）
- Systemwalker スクリプト（.SWT）
- ワークユニット（実行属性が「Interstage」の場合に実行可能です）

■dir や chdir などの内部コマンドは、そのままでは指定できません。内部コマンドを使用する場合は、バッチプログラム（.BAT）にしたり、cmd.exe を使用するなど、新しいコマンドインタプリタの環境で実行する必要があります。

■以下のジョブはジョブ実行制御で実行できないため、登録できません。また、常駐型のプログラムを起動するコマンドは、コマンド自体の処理が終了してもジョブとして終了しないので、注意が必要です。
- ウィンドウ系のコマンド（notepad、excel、word など。ただし、業務連携のクライアントアプリケーション起動コマンドを利用すれば可能）
- 対話型のコマンド（edlin など）
- 入力要求を行うコマンド（format、backup など）
- AT コマンドで実行要求を行った場合に正常に処理されないアプリケーション（「Schedule」および「Systemwalker MpMjes」サービスのログオンアカウントが同一で、/interactive オプションを指定しないで AT コマンドを実行する場合だけ）

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「キューごとのジョブ多重度が無制限」および「システム全体のジョブ多重度が 30」と設定している場合に、31 個以上ジョブを同時に実行すると実行待ちが生じますか？

A: 実行待ちが生じます。
キューの多重度が無制限であったとしても、システムの多重度を超えて実行されることはありません。
システムの多重度は、そのサブシステムで起動している実行ジョブ数の制限値です。キューの多重度はそのキューで起動している実行ジョブ数です。

例えば、以下のような状況の場合、queue1 にジョブを投入しても、すぐに実行されません。
システムの多重度 10
queue1 の多重度 無制限　queue1 の実行ジョブ数 3
queue2 の多重度 無制限　queue2 の実行ジョブ数 7

上記の場合、すでにシステムの実行ジョブ数が 10 になっているため、新たにジョブを投入しても、すぐにジョブは実行されないことになります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「システム全体のジョブ多重度が 30」と設定している場合に、31 個以上ジョブを同時に実行させることはできますか？

A: できません。
この場合、30 個までのジョブを同時に実行させることができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ多重度設定値の上限は「各キュー」および「システム全体」共に最大値が 99(V17.0.0 以降は

999)という認識であっていますか？それとも「各キュー」の上限値は無制限で、「システム全体」の上限値が 99(V17.0.0 以降は 999)となるのですか？

A: 「各キュー」および「システム全体」ともに最大値が 99(V17.0.0 以降は 999)になります。
なお、ともに 99 を指定した場合でも、システム（サブシステム）の多重度としては 99(V17.0.0 以降は 999)までです。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動条件がメッセージだけのジョブネットの終了予定時刻を設定できますか？

A: 起動条件がメッセージ条件だけの場合は、ジョブネットに対し終了予定時刻を指定できません。ジョブネット単位での終了予定時刻設定は、起動条件に時刻指定が必要になるためです。
終了予定時刻を設定するには、起動条件は時刻指定として、メッセージタブでメッセージ事象名を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER システムにおけるカレンダデーモンの停止方法を教えてください。

A: 停止方法は以下のとおりです。

1. クラスタシステムに登録されたアプリケーションをオフラインにして、クラスタシステムに登録された Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止します。

2. 運用系および待機系のすべてのサーバで poperationmgr コマンドを実行して、PRIMECLUSTER に登録されていない Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止します。

```
# /opt/systemwalker/bin/poperationmgr
```

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、デマンドジョブの分散実行運用を行っています。キューに設定しているホストグループについて、処理内容の同一のものが設定されているキューを、同一のホストグループに変更する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の環境設定で、キューに設定されているホストグループおよび構成ホストを変更できます。
設定手順は以下のとおりです。

1. ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］を起動します。
2. ［運用情報］－［運用制御］タブの［キュー］エリアから、対象となるキューを選択して、［編集］ボタンをクリックします。
3. ［キューの編集］ウィンドウで［ホストグループ］および［構成ホスト名］を変更します。
すでに登録されているホストグループを設定する場合、構成ホスト名が異なると設定内容を上書きする旨を確認するウィンドウが表示されます。構成ホスト名が同一の場合は、ウィンドウは表示されません。
4. ［OK］ボタンをクリックして、キュー編集画面を閉じます。
5. ［サービス制御］エリアのプルダウンメニューから［ジョブ実行制御］を選択して、［開始］ボタンをクリックします。
サービスを再起動する旨の画面が表示されるので、［はい］ボタンをクリックします。

なお、上記環境設定を行うことで、/etc/mjes 配下の設定ファイルが編集されます。編集前の状態との比較や状態を戻す場合は、あらかじめバックアップを作成することを推奨します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: V13.2.0 以降の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、監査ログ出力先として、/var/opt/FJSVftlo/audit/を指定しています。クラスタ構成で運用する場合、このディレクトリは共有されず、それぞれのサーバに蓄積されますか？

A: 運用系システムおよび待機系システムの各ローカルディスク（/var/opt/FJSVftlo/audit/）上に監査ログは出力されます。
デフォルトでは、監査ログは以下のファイル形式で出力されます。
/var/opt/FJSVftlo/audit/log/mp_omgr_auditYYMMDD.log

なお、監査ログ出力先を共有ディスク上に作成すると問題が発生するので、共有ディスク上には監査ログを出力しないでください。
問題とは、クラスタシステムで、待機系システムでは、ジョブスケジューラおよびジョブ実行制御デーモンは停止していますが、カレンダデーモン、業務連携デーモン、セキュリティデーモンなどクラスタシステム管理外のデーモンは起動しています。待機系システムでは共有ディスクを参照できないため、これらのデーモンから監査ログ出力時にエラーメッセージが SYSLOG に出力されます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Centric Manager で Systemwalker Operation Manager のプロセス監視をするにあたって、監視対象にしたほうが良いプロセス名を教えてください。

A: 監視対象にしたほうが良いプロセス名は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.14 保守のための定義
2.14.1 プロセス監視機能の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが終了遅延した際に SYSLOG にメッセージを出力できますか？

A: できます。
［ジョブネットの終了予定時刻を過ぎても終了しない場合に通知を行う］を設定することで、実行予測時間を超えてもジョブネットが終了しない場合に、通知メッセージを SYSLOG に出力できます。SYSLOG には、以下のようなメッセージが出力されます。
MpJobsch: WARNING: 0311: XXX YYY did not finish before Estimated end time.
XXX：プロジェクト名
YYY：ジョブネット名

なお、上記エラーメッセージを出力させるためには、/etc/syslog.conf に「user.warning」レベルのメッセージが、SYSLOG に出力されるように設定してください。
また、ジョブネットが終了予定時刻を過ぎた場合、ガントチャート上には「終了遅延」として表示されます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行予測時間を定義しています。このジョブが終了遅延すると SYSLOG にメッセージ出力されますが、このメッセージの中でコマンド名ではなく、ジョブ名を出力することはできますか？

A: できます。
ジョブの［基本情報］シートで［ジョブ名］を指定することで、コマンド名ではなく、ジョブ名を出力できます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で運用中の環境において、以下のサービス停止を検討しています。Systemwalker Operation Manager の動作には問題ありませんか？

```
# /etc/init.d/gamagent stop
# /etc/init.d/srvmagt stop
# /etc/init.d/eecd stop
# /etc/init.d/srvmagt_scs stop
# /etc/init.d/trpsrvd stop
# /etc/init.d/sv_fwdserver stop
# /etc/init.d/snmpd stop
```

A: 停止対象になっているサービスの起動を前提としたジョブをお客様側で定義している場合は、サービス停止によってジョブが異常終了するなどの影響が考えられますが、それ以外の処理には影響ありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の Linux サーバから qsub コマンドを使って、Windows サーバ上のバッチコマンドを実行しています。Windows サーバ上で起動された処理がループ状態になった場合の対処方法として、処理時間（エラップス）や CPU 時間リミット制限は可能ですか？また、手動で停止することはできますか？

A: qsub コマンドの-lt オプション、または［キューの作成/編集］ウィンドウで指定する［ジョブ経過時間を制限する］の設定を行うことで、指定秒数経過時に強制終了できます。

また、qdel コマンドを実行、またはジョブフォルダから実行中のジョブ名の削除を行うことで手動で強制終了できます。

プラットフォーム　: Windows Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.3.0 で、MSCS 環境でのクラスタ環境下においてのスタートアップアカウントの変更方法について教えてください。

A: スタートアップアカウントの変更方法は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.3.0 導入手引書
付録 D 導入環境の変更

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: ユーザのパスワードを変更して、MSCS クラスタ構成の運用系で以下の認証エラーが出力された場合、V11 から V13.6.0 までの Systemwalker Operation Manager の業務に影響はありますか？また、クラスタの切り替えは発生しますか？

AP:Userenv: エラー: 1006:xxxx.xxxxx ドメインにバインドできません。(資格情報が無効です)。グループポリシーの処理は中止されました。
SY:LSASRV: 警告: 40960:SPNEGO (Negotiator) :サーバー xxxx/xxxxx.xxxx.xxxxxx/xxxx.xxxxxx@xxxx.xxxxxx の認証エラーを検出しました。 認証プロトコル xxxxxxxx からのエラー コードは "実行しようとしたログオンは無効です。ユーザー名または認証情報に誤りがあります。(0xc000006d)" でした。 データ:6d0000c0

A: Systemwalker Operation Manager の影響としては以下が考えられます。

■クライアント画面のログインに失敗する
ログイン時にユーザー名およびパスワードを設定します。そのため、該当ユーザーのパスワードが古い場合はログインに失敗します。

■ジョブの起動に失敗する
［ジョブを所有者の権限で実行する］が指定されている場合、プロジェクトの所有者、または実行ユーザーの権限で実行されるので、そのユーザーに設定されたパスワードを利用します。
また、［ジョブを所有者の権限で実行する］が指定されていない場合、ジョブ実行制御サービスのログオンアカウントのパスワードを利用します。
そのため、該当ユーザーのパスワードが古い場合はジョブの起動に失敗します。

■サービスの起動に失敗する
サービスにはログオンアカウントおよびパスワードが設定されています。そのため、該当ユーザーのパスワードが古い場合はサービスの起動に失敗します。
また、サービスの起動に失敗するため、クラスタの切り替えが発生する場合があります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: ヒープの使用領域を 1 分ごとに取得するようにしました。ジョブを実行すると高くなる部分が存在します。Systemwalker Operation Manager の「Systemwalker MpMjes サービス」が利用する、デスクトップの領域を特定する方法を教えてください。

A: 「Systemwalker MpMjes サービス」を停止および起動した状態で、dheapmon.exe -s コマンドを実行し、その結果の差分を確認してください。

以下の手順で確認することができます。
1. dheapmon.exe -s コマンドを実行し、デスクトップヒープモニタの出力結果を保存する。
2. 「Systemwalker MpMjes サービス」を停止する。
3. dheapmon.exe -s コマンドを実行し、デスクトップヒープモニタの出力結果を保存する。
4. 「Systemwalker MpMjes サービス」を起動する。
5. dheapmon.exe -s コマンドを実行し、デスクトップヒープモニタの出力結果を保存する。

上記の手順で、1.と 3.を比較し、なくなっているウィンドウステーションが「Systemwalker MpMjes サービス」が使用していた領域です。
また、上記の手順で、3.と 5.を比較し、追加されているウィンドウステーションが「Systemwalker MpMjes サービス」が利用する領域です。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のバックアップしたデータから、設定内容を確認できますか？

A: 確認することはできません。
バックアップしたデータは複数のフォルダとファイルで構成されており、バイナリ化しているファイルが含まれているため、ファイルを参照して設定内容を確認、変更することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ事象の発生回数がクリアされる時間は日変わり時刻になりますか？

A: ［一日一回］の設定がされている場合、日変わり時刻到来時にメッセージ事象のカウントはクリアされます。
メッセージ事象は、ジョブネットを定義した時点から発生回数がカウントされます。
日変わり時刻をまたがり、再スケジュールされた場合もメッセージ事象の発生はクリアされません。
ただし、［一日一回］（メッセージ事象発生時のみ起動）を指定した状態で、ジョブネットが未起動のまま日変わり時刻を迎えた場合、日変わり時刻到来時にすべてのメッセージ事象の発生がクリアされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダの起動日／休日をコマンドで変更する方法を教えてください。

A: 休日制御文を作成し jobschsethol コマンドを実行してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V12.0L10 では、shutdown.exe が提供されていましたが、V13 以降の環境には shutdown.exe はないのですか？

A: Systemwalker Operation Manager V13 以降では、shutdown.exe が提供されていません。OS の shutdown.exe を使用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境で、poperationmgr コマンドで Systemwalker Operation Manager が正常に停止したことを確認する方法を教えてください。

A: クラスタを停止し poperationmgr を実行すると、下記のプロセスが停止します。ps コマンドの実行結果から下記プロセスが停止されていることを確認してください。

■運用系のプロセス
- MpFwsec（セキュリティ）
- f3crhcs2（カレンダ）
- mpjmsrv、jmnetsv（基盤）
- mjsdaemon、mjsnetsv（ジョブ実行制御）
- tskmnsrv（ジョブスケジューラ）

■待機系のプロセス
- MpFwsec（セキュリティ）
- f3crhcs2（カレンダ）
- mpjmsrv、jmnetsv（基盤）

また、Systemwalker Operation Managerと Systemwalker Centric Managerの共存環境では、poperationmgrコマンドだけでは Systemwalker Centric Managerと共通で使用している ACL Managerのプロセス（MpFwsec）が停止しません。
poperationmgr -sコマンドを実行してください。

クラスタシステムは、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Editionで利用できます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: ログファイル（jobdb*.log）サイズが最大値（99MB）まで拡張された状態で jobschprint -g yyyy mm dd でジョブの履歴を表示した時、動作が遅くなりますか？

A: 動作が遅くなる可能性があります。そのため見積もりを行い必要なサイズを指定してください。

ログファイル（jobdb*.log）サイズを最大値（99MB）まで拡張した状態で、jobschprint -gコマンド、jobschprintcsv -gコマンドを実行した際は Operation Managerクライアント画面上で「ジョブ実行履歴」「ジョブネット履歴」を参照した時と同様に動作が遅くなります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが異常終了したときにシェルやバッチを実行する方法はありますか？

A: あります。
対象となるジョブに対してリカバリジョブを作成することで、該当するジョブが異常終了したときに起動するジョブを作成することができます。
リカバリジョブに該当するジョブが異常終了したときに実行したいシェルを登録してください。リカバリジョブの設定方法は以下のとおりです。
1. 該当するジョブの後続に異常終了した時に実行したいシェルが登録されたジョブを追加します。
2. 手順 1 で追加したジョブについて、右クリックから［プロパティ］を選択します。
3. ［登録 – ジョブ］ウィンドウで［制御情報］タブを選択し、［リカバリ］をチェックします。

リカバリジョブ実行後、異常終了したジョブを再起動したい場合は、［元のジョブ再起動］をチェックしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタサーバでの運用中にカレンダ情報を途中で変更した場合、登録済みのジョブに対してカレンダ情報の不具合は起きますか？

A: 起きません。

カレンダ情報については、事前にカレンダ情報の自動反映の設定を有効にしておくことで、待機系に切り替わった際も運用系で変更された情報が自動的に反映されます。変更時におけるポリシー情報での抽出／配付は不要です。
設定が有効となっているか、calsetcluster -v の実行結果を確認してください。
クラスタシステムは、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で利用できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バックアップを採取したあとに新規にプロジェクトとジョブネットを登録し、バックアップのリストアを行いましたが、新規に登録したプロジェクトとジョブネットが登録されたままです。この動きは正しい動作ですか？

A: はい、正しい動作です。
リストアコマンド mprso でリストアされた場合、バックアップ後に新規に作成されたプロジェクトとジョブネットは、削除されません。
V16.0.0 以降では、指定したサブシステム内のすべてのプロジェクト・ジョブネットを削除する jobschinit コマンドを提供しています。
リストア前に、本コマンドを実行することで、バックアップ後に登録したプロジェクトとジョブネットをすべて削除できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バックアップを採取したあとに新規にプロジェクトとジョブネットを登録し、バックアップのリストアを行いました。バックアップ後に作成された起動日雛形はリストア時に削除されますか？

A: 削除されます。
起動日雛形はリストア時にバックアップ時点の情報になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobdb1.log のログはあり、かつ jobdb2.log、jobdb3.log がまだ生成されていない状態で、強制的にローテーションして jobdb2.log と jobdb3.log を生成させる方法を教えてください。

A: ［環境設定］－［起動パラメタ］－［データベース］のファイルサイズで設定する値を一時的に低くして、テスト用のジョブネットを実行し、サイクリックさせるようにしてください。
ジョブスケジューラのログファイル（jobdb1.log、jobdb2.log、jobdb3.log）はファイルサイズによってサイクリックにローテーションされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブスケジューラに登録されているジョブネットの情報を一括でテキストまたは CSV などに出力する方法を教えてください。

A: 以下のコマンドでプロジェクト名、ジョブネット名、ジョブネット名称を出力することができます。

■jobschprint -a（-A）コマンド
ジョブスケジューラに登録されているすべてのジョブネット（子ジョブネットを含む）のプロパティ情報を出力します。以下の情報を出力することができます。

- プロジェクト名（Project Name）
- ジョブネット名（Job Net）
- ジョブネット名称（Job Net Comment）

なお、プロパティ情報がすべて標準出力されるため、上記情報だけを出力したい場合は grep などを使用して出力情報を絞り込んでください。

■jobschprint -j（-J）コマンド
ジョブスケジューラに登録されているすべてのジョブネットおよびジョブの一覧を出力します。以下の情報を出力することができます。
- プロジェクト名（Project Name）
- ジョブネット名（Job Net）
- 子ジョブネット名（Job Net）

なお、ジョブネット、ジョブに関する情報を含んで標準出力されるため、必要な情報だけを出力したい場合は grep などを使用して出力情報を絞り込んでください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager をアンインストールして再度インストールしなおす際、アンインストールする前の設定値を一度全部退避しておいて再インストールした Systemwalker Operation Manager に対して復元する方法を教えてください。

A: 事前に mpbko コマンドでバックアップし、再インストールしたあと、mprso コマンドでリストアしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット履歴を CSV ファイルに出力する方法を教えてください。

A: jobschprintcsv -g コマンドを使用してください。標準出力に結果が出力されますので、リダイレクトしてファイルに保存してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Job Designer は、MetaFrame にインストールしても問題ありませんか？

A: Excel が対応していれば、Systemwalker Operation Manager Job Designer も対応していますので問題ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 運用日の月末 2 日前だけに起動するジョブネットを作成する方法を教えてください。

A: 起動日の設定で営業日を指定してください。
以下の設定を行うことで、運用日で月末から 2 日前を起動日に設定できます。

［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウの［起動日］シートを選択し、以下の内容で設定します。

■V13.4.0 以降の場合

1. 起動日エリアで［直接指定］を選択し、［編集］ボタンをクリックして、［起動日（直接指定）］ウィンドウを開きます。
2. ［基準の設定］エリアの［営業日］を選択し、［営業日の数え方］エリアで［月締めの日］を選択し、［選択した営業日］に［2 営業日前］を追加します。

上記以外の［起動日］シートの内容はデフォルトの状態で問題ありません。

■V13.3.1 以前の場合

1. ［基準情報］エリアで［営業日］を指定します。
2. ［営業日基準］エリアの［選択基準］エリアで［月締め日］を選択し、［選択した営業日］に［2 営業日前］を追加します。

上記以外の［起動日］シートの内容はデフォルトの状態で問題ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの開始と完了の予測時間の監視について、1 日 1 回の制約はありますか？

A: 1 日 1 回の制約はありません。
ジョブネットが起動されるたびに設定した予測時刻が有効になり、ログ出力が行われます。遅延が日をまたいだ場合も翌日の監視は無効となることがありません。
ただしメッセージ事象発生時に起動されるジョブネットの開始遅延を監視する場合は、以下の設定の前提条件があります。

■設定の前提条件

実行予測時間を設定するためには、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- ジョブネットの起動条件が［メッセージ事象発生時のみ起動］で、［一日一回］が設定されている
- ［開始予定時刻］が指定されている
- ［起動日］が指定されている

ジョブネット自体が 1 日 1 回しか起動しないため、実行予測できるのは、1 日に 1 回だけログ出力が行われることになります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー抽出配付について、ジョブネットの状態は抽出元のステータスがそのまま移行先に反映されますか？

A: ジョブ、ジョブネットおよびグループのステータスは、停止中、または無効状態の場合はそのまま引き継がれます。
それ以外の場合については、実行待ちとなります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 環境設定の起動パラメタの定義にある［ジョブネット起動 API］と［メッセージ待ち合わせ］の項目がグレーアウトになっていますが正常な状態ですか？

A: 正常な状態です。
UNIX 版では、環境設定の起動パラメタの定義にある［ジョブネット起動 API］と［メッセージ待ち合わせ］の項目は使用できません。
そのためグレーアウトになっています。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschsetnet -sent コマンドで起動日制御文を登録する場合、すでにジョブネットの起動日に設定されている日付を execday オペランドで起動日に指定することはできますか？

A: すでに起動日と定義されている日付を execday オペランドで指定することはできます。
ただし jobschsetnet -sent コマンドで起動日制御文を登録する場合、すでに起動日が設定されていても、制御文の内容で対象のジョブネットの起動日設定が上書きされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境の場合、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition の起動方法と停止方法を教えてください。

A: クラスタ環境の場合、Systemwalker Operation Manager の起動方法と停止方法は以下の手順です。

■停止方法
1. クラスタシステムに登録されたアプリケーションをオフラインにすることで、クラスタシステムに登録された Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止します。
2. 運用系、待機系のすべてのサーバで poperationmgr コマンドを実行して、クラスタに登録されていない Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止します。

■起動方法
1. 運用系、待機系のすべてのサーバで soperationmgr コマンドを実行して、PRIMECLUSTER に登録されていない Systemwalker Operation Manager のデーモンを起動します。
2. クラスタシステムに登録されたアプリケーションをオンラインにすることで、クラスタシステムに登録された Systemwalker Operation Manager のデーモンを起動します。

なお、上記手順でサービスを停止しない場合、フェールオーバが発生してしまいます。

クラスタシステムは、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で利用できます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 各製品のバージョン情報のハードコピーを採取したいのですが、F3crfver コマンドを使用すれば画面上でバージョン情報を表示できますか？

A: 表示できます。
また、クライアントが導入されている場合は、クライアント画面で［ヘルプ］メニューの［バージョン情報］を表示することでも、F3crfver コマンドと同様に確認することができます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［環境設定］－［共通パラメタ］項目から swadmin のユーザを使用できる設定を行いましたが、swadmin に属しているユーザが、Systemwalker Operation Manager でログインすると、ジョブ自身が見えません。原因を教えてください。

A: **［原因］**

Systemwalker ACL Manager サービスのスタートアップアカウントがドメインユーザーになっていないこと、またはユーザーが Active Directory 上で独自に作成された組織（OU）ツリー配下のアカウントを使用していることが原因と考えられます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager でジョブネットを構成し、5 分間隔で実行しています。毎回実行される標準出力をまとめて採取する方法はありますか？

A: 定義テンプレートの利用をご検討ください。

ソフトウェア技術情報サイトで、「定義テンプレート」を公開しています。定義テンプレートの中の「ジョブネット前回履歴の世代管理テンプレート」の利用を検討してください。

詳細については、下記の添付ドキュメントを参照してください。

アシストツールユーザーズガイド　定義テンプレート編
1.4 ジョブネット前回履歴の世代管理テンプレートの概要

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: セキュリティの観点から、Systemwalker Operation Manager をインストールしているディレクトリ、ファイルに対してパーミッションの変更を検討しています。パーミッションの変更は動作保証していますか？

A: 動作保証していません。

お客様自身で Systemwalker Operation Manager が使用するファイルやディレクトリのパーミッションを変更することは、動作保証していません。

セキュリティの観点から変更したいという要望であれば、「Operation Manager 利用者の限定」機能を利用してください。「Operation Manager 利用者の限定」機能は、swadmin グループに属するユーザーだけアクセスできるよう、一部ファイルやディレクトリのパーミッションを変更しています。

なお、V16.0.0 以降は、新規インストール時のデフォルト設定で、［Operation Manager 利用者の限定］（［Operation Manager 共通パラメタの定義］ウィンドウの定義）が有効となっています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット／ジョブの設定やスケジュール、実行結果などを参照するだけで、変更／実行を行うことができないユーザーを作成する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、プロジェクト単位でアクセス権を設定することができます。対象のユーザーに対して、アクセス権に「参照権」を設定することで、対象のユーザーに対して、実行結果などを参照するだけで、変更／実行を行うことができないように設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントインストール時に入力を求められるユーザを、インストール後に削除、または変更しても問題ありませんか？

A: 問題ありません。
クライアント機能インストール時に作成される Systemwalker アカウントは、クライアント PC 上から削除しても問題はありません。
ただし、Systemwalker Operation Manager に関わらず、サービスの起動アカウントに設定されている場合は該当のサービス処理にエラーなどが発生する恐れがありますので、Windows の管理画面からサービスの起動アカウントを確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、ジョブ実行制御のパラメタを変更後、クラスタサービスを止めずに Systemwalker Operation Manager を再起動する手順を教えてください。

A: 以下の注意事項をご一読の上、以下の作業手順で実施してください。

■注意事項
・すべて運用系で行ってください。
・管理者権限のあるユーザーで行ってください。
・ジョブが実行されていないタイミングで行ってください。
・Systemwalker Operation Manager のリソースの停止は不要です。

■作業手順
1. clgettree コマンドで、「omgrmonitor」リソースの ID をチェックする
   /etc/opt/FJSVcluster/bin/clgettree

2. clmonproc コマンドで、監視スクリプト（omgr_smonitor）の監視を停止する
   xxx には、手順 1.でチェックしたリソース ID を入力してください。
   /etc/opt/FJSVcluster/bin/clmonproc -e -r xxx

3. ジョブスケジューラ、ジョブ実行制御を停止する
   sh /opt/FJSVJOBSC/etc/rc0.d/K00JOBSCH
   sh /etc/opt/FJSVMJS/etc/rc0.d/K00MJS

4. ジョブスケジューラ、ジョブ実行制御を起動する
   sh /etc/opt/FJSVMJS/etc/rc3.d/S99MJS
   sh /opt/FJSVJOBSC/etc/rc3.d/S99JOBSCH

5. clmonproc コマンドで、監視スクリプト（omgr_smonitor）の監視を再開する
   xxx には、手順 1.でチェックしたリソース ID を入力してください。
   /etc/opt/FJSVcluster/bin/clmonproc -s -r xxx -a /opt/FJSVJMCMN/etc/script/omgr_smonitor -c 0

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブのカレントディレクトリに誤ったディレクトリを設定をした場合、ジョブは異常終了しますか？

A: 異常終了しません。

ジョブ登録時にディレクトリ欄で誤ったパスを指定した場合、ディレクトリ欄を省略した場合と同様の動作になります。誤ったパスでも異常終了はしません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの一覧と、ジョブネットに登録してあるジョブの一覧、ジョブの中身を見るためのコマンドを教えてください。

A: jobschprint -j コマンドを使用することでジョブネット一覧、ジョブ一覧、ジョブの中身を確認することができます。
コマンドの実行形式は以下のとおりです。なお、-sys オプションは省略できます。
jobschprint -j [-sys サブシステム番号]

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mpbko コマンドはシングルユーザモードで実行できますか？

A: mpbko コマンドはシングルユーザモードで実行できますが、以下の領域がマウントされている必要があります。
下記ディレクトリはデフォルト値です。インストール時に変更している場合は、それぞれ変更している領域をマウントしてください。

- プログラムの配置先：/opt
- 固定定義ファイルの配置先：/etc/opt
- 可変定義ファイルの配置先：/var/opt

また、クラスタ構成の場合、共有ディスクもマウントされている必要があります。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットまたはジョブが遅延している場合に、アラームを通知するなどの監視ができますか？

A: ジョブネットの起動予定時刻、ジョブの実行予測時間、ジョブネットの終了予定時刻を監視することができます。監視を設定することによって、メッセージが SYSLOG に出力されます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット終了後、ファイル転送処理を実行したいのですが、ジョブネット終了時にシェルスクリプトを実行することはできますか？

A: できます。
Systemwalker Operation Manager のジョブネット終了時にコマンドを実行する機構（正常終了出口、異常終了出口）があります。

jobsch.exit.normal（正常終了出口）と jobsch.exit（異常終了出口）内にファイル転送処理を作成しシェルスクリプトで登録すると、ジョブネットが終了すると jobsch.exit.normal（正常終了出口）、jobsch.exit（異常終了出口）を実行することができます。
一方、ジョブネットが終了時に出力するログをファイル転送処理のトリガとしたい場合は、別途 Systemwalker Centric Manager などのログ出力を監視する製品が必要になります。

■留意事項

- jobsch.exit.normal（正常終了出口）、jobsch.exit（異常終了出口）は、Systemwalker Operation Manager サーバにそれぞれ 1 つしか登録できません。対象の Systemwalker Operation Manager サーバのすべてのジョブネットの終了出口として動作します。出口処理を限定するには、プロジェクト名、ジョブネット名での判定処理を追加する必要があります。
- コマンドの処理に時間が非常にかかる場合は、バックグランド（コマンドの最後に&を付与して実行）で実行してください。
- ネットワークなどの問題や、転送先サーバの状態によりファイル転送などが失敗することがあります。Systemwalker Operation Manager 内部には、これらの問題について調査、解決に有効なログは残りません。ファイル転送製品のログを確認してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージが発生しているにも関わらず起動されないジョブネットに対して、jobschprint コマンドで開始遅延を確認できるオプションを教えてください。

A: jobschprint -n コマンドで情報取得してください。
なお、開始遅延は起動時刻を満たしているがメッセージ事象が発生していない場合だけステータスに表示されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 出力結果を電子ファイルで出力したいのですが、ジョブの実行履歴はどこに出力されるか教えてください。また、ログをコピーする際、Systemwalker Operation Manager を停止する必要はありますか？

A: 実行履歴は、ジョブ実行履歴、稼働実績情報ファイル、ジョブスケジューラのログファイル（jobdb1.log、jobdb2.log、jobdb3.log）に出力されます。
コピーする場合は Systemwalker Operation Manager を停止してから行ってください。
また、jobschprintcsv コマンドで履歴情報を出力し、加工する方法もあります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.0.0、V13.1.0、および V13.2.0 で、jobschprint などのコマンドがリモートデスクトップ環境でエラーとなって実行できない理由を教えてください。

A: リモートデスクトップで接続した場合、コンソールセッションとリモートセッションでセッションが異なることにより、jobschprint コマンドなどで情報共有（共有メモリの獲得）ができないためです。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: 現状 1 つのプロジェクトで複数のジョブネットに対してポリシーの配付を行っています。ジョブネットごとにポリシー配付することはできますか？

A: ジョブネットごとにポリシー配付することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: インストールフォルダの JOBDB の領域のログを採取したいのですが、ログがアクセス中でも採取してよいですか？

A: 運用中に JOBDB 配下のファイル採取は行わないでください。
Systemwalker Operation Manager 運用中は JOBDB 配下の各種ファイルにアクセスしています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 文字コードが EUC の既存サーバから、UTF-8 のサーバに環境移行できますか？

A: 移行できますが、以下にご注意ください。
ジョブネットごとに制御文を出力し、文字コード変換後に移行先サーバに登録してください。
Systemwalker Operation Managerの移行手順としては、通常、swmoveコマンドとswtransコマンドを使用しますが、この方法では、バージョンアップ前後でシステムの文字コード系が同じである必要があります。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブおよびジョブネットの停止、無効などを実施するジョブの作成方法を教えてください。

A: ジョブおよびジョブネットの停止、無効などを実施するジョブに以下のコマンドを登録します。

■ジョブネットを無効または停止する場合
jobschcontrol [プロジェクト名/]ジョブネット名 [control]

■ジョブを無効または停止する場合
jobschctljob [プロジェクト名/]ジョブネット名/ジョブ名 [control]

■上記コマンドのパラメタ説明
- プロジェクト名：ジョブネットの所属しているプロジェクト名です。複数のプロジェクトが存在する場合は省略できません。
- ジョブネット名：操作を実施したいジョブネット名です。省略できません。
- ジョブ名：操作を実施したいジョブ名です。省略できません。
- [control]：以下のステータスを指定することで、停止／停止解除、無効／無効解除が可能です。
  - pause：ジョブ／ジョブネットを停止します
  - continue：ジョブ／ジョブネットを停止前の状態にします
  - disable：ジョブ／ジョブネットを無効にします
  - enable：ジョブ／ジョブネットを無効前の状態にします

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトの所有者とジョブの実行ユーザーは異なるユーザーを指定しても問題ないですか？

A: 異なるユーザーを指定しても問題ありません。
ジョブのプロパティで実行ユーザーを指定した場合は、実行ユーザーが優先されます。実行ユーザーを設定していないジョブはプロジェクトの所有者のユーザーで実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブを所有者の権限で実行する、ジョブ所有者情報の定義追加、といった環境設定を実施後、サービスの再起動は必要ですか？

A: ジョブ実行制御のサービス再起動が必要です。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の情報をバックアップ／リストアする方法を教えてください。

A: バックアップ／リストアの方法として以下に記載する 2 種類の方法を提供しています。

■画面上からバックアップ／リストアを行う方法（Windows の場合）
Systemwalker Operation Manager 運用中に作成された、サーバ上のユーザー登録情報、管理情報（レジストリ）およびログ情報を、バックアップツールを使ってハードディスクに退避します。

1. Windows のスタートメニュープログラムから、［Systemwalker Operation Manager］－［ツール］－［運用環境の保守］を選択し、［運用環境保守ウィザード］画面を起動します。
2. ［次へ］ボタンをクリックし、［処理の選択画面］で［運用環境の退避］（バックアップ）、あるいは［運用環境の復元］（リストア）を選択し実行します。

■コマンドから実行する方法
Systemwalker Operation Manager サーバ上の環境定義情報やジョブのスケジュール情報といった運用管理情報を、指定したディレクトリにバックアップ／リストアします。

- mpbko：バックアップコマンド
- mprso：リストアコマンド

コマンドの実行にはシステム管理者（Administrators グループに属するユーザー／スーパーユーザー）権限が必要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows Server で DCOM を停止したときの、Systemwalker Operation Manager への影響を教えてください。

A: DCOM を停止した場合、自動運用支援機能の音声通知アクションを行っている場合だけ、音声通知ができない影響が発生します。
なお、Systemwalker Operation Manager 自身は DCOM に依存しないため、DCOM を停止しても上記の自動運用支援機能の音声通知アクションを行っていなければ、動作上問題は発生しません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メンバサーバの Active Directory ドメイン移行時の、注意点について教えてください。

A: ドメインユーザーを使用して Systemwalker Operation Manager を運用する場合、以下の設定が必要です。

1. スタートアップアカウントをドメインのユーザーに変更します。
   Systemwalker ACL Manager サービスのスタートアップアカウントをドメインユーザーに変更し、必要な権限を付与してください。なお、Systemwalker ACL Manager サービス以外のサービスについてはローカルユーザーで問題ありません。
2. プロジェクトのセキュリティ設定（アクセス権）をドメインのユーザーに変更します。
3. ジョブを所有者（ドメインのユーザー）権限で実行する場合、プロジェクトの所有者を変更し、ジョブ所有者の再定義を行います。
4. Systemwalker Operation Manager の利用者（Systemwalker Operation Manager に接続するユーザー）をドメインのユーザーで行う場合、利用者としてのユーザーをドメインに追加し、必要な権限を設定します。
5. リモートのサーバの共有ディレクトリにアクセスする場合、共有ディレクトリをジョブの所有者（ドメインのユーザー）でアクセスできるようにします。
6. クライアント業務連携を使用する場合、ユーザーとパスワードの再設定します。
   パスワード管理簿を再設定してください。各コマンドでユーザーを指定している場合は、ジョブの変更が必要です。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ内の複数のジョブネットの動作で、先行ジョブネットが異常終了した場合でも後続ジョブネットを起動させる方法はありますか？

A: あります。
先行ジョブネットの終了を待つ必要がなければ、先行後続関係のジョブネットの接続を解除し、グループ内の各ジョブネットの起動時刻をずらしてください。
先行ジョブネットの終了の待ち合わせおよび何かしらの異常を確認したい場合は、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［利用機能 1］シートで、ステータスオプションの［疑似正常を有効とする］を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ローカルジョブでは環境変数 JC_jobname でジョブ名は取得できましたが、ネットワークジョブの場合、実行サーバ側のジョブで、ジョブ名を取得する方法を教えてください。

A: ネットワークジョブの場合は、［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シートの［環境変数］で環境変数を定義し、ジョブ名を受け渡してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブのプロパティにある［終了コードに関わらず正常］のチェックボックスにチェックを付けると、ジョブが異常終了した場合でも正常終了し、状態を変更しなくても後続のジョブは起動しますか？

A: はい、異常終了（通常、終了コードが 0 以外）の場合でも、状態を変更するなどの対処をしなくても後続ジョブは起動します。

［終了コードに関わらず正常］は、終了コードに関係なくジョブを正常終了扱いにする場合に指定します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 新規サーバに対して Systemwalker Operation Manager をインストールする際、ホスト名や IP アドレスに関連する留意点はありますか？

A: 留意点はありません。
新規に Systemwalker Operation Manager をインストールする際、ホスト名や IP アドレスを意識してインストールする必要はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ内に矢印で紐付けないジョブネットを配置した場合、そのジョブネットの動作はどのようなものになりますか？

A: グループ内の単独ジョブネットに関しては、起動条件が満たされた時点で起動します。
また、グループに対して起動操作を行った場合は、先行ジョブネットの正常終了以外の起動条件は無視され、即起動します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、ジョブネット数 255 超えのメッセージが発生します。制限なのですか？

A: Enterprise Edition ですので制限ではありません。
ただし、1 プロジェクトに大量のジョブネットを登録すると性能が劣化しますので、ジョブネット数は 500 までを目安としてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットを起動する直前に確認のメッセージを表示させるような設定はないか教えてください。

A: 操作前に確認メッセージを表示させる設定があります。
設定については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 運用ガイド
第 7 章 ジョブを操作する
7.10 ジョブネット/ジョブ/グループの操作ミスを防止する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダを使用したジョブネットの運用予定日（起動日）の確認方法を教えてください。

A: jobschprint -l（-L）、-m（-M）、または-s（-S）コマンドを使用して確認してください。
なお、［運用予定］ウィンドウからでも確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダ作成で、休日とする日（土曜、日曜、および祝祭日）の設定方法について教えてください。

A: ［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウで、［カレンダの登録］ウィンドウを開いている状態で、［オプション］メニューから［年間休日の設定］ダイアログボックスを開いて設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint -r コマンドの出力結果にある standnet の項目の意味を教えてください。

A: standnet はそのジョブネットが起動日生成の時の基準ジョブネットとなるかを表します。値が SET であれば起動日生成の時の基準ジョブネットとなります。
なお、Systemwalker Operation Manager クライアントで、ジョブネットの［プロパティ］－［起動日］タブ－［基準ジョブネット］にチェックがついているジョブネットにはこの項目が出力されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 終日 5 分おきに流していたジョブを、特定の時間（例えば 5:00 から 6:00 の間）だけ流さないようにする設定はできますか？

A: ジョブネットを分けることでできます。
例えば 5:00 から 6:00 の間だけジョブを流さない場合、日変わり時刻から 5:00 までの起動条件、および 6:00 から日変わり時刻までの起動条件の 2 つのジョブネットを作成してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、ジョブスケジューラの操作履歴の参照方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降では、監査ログを出力できます。
出力した監査ログによりクライアントの操作状況を確認してください。
監査ログの見方については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 20 章 ファイルリファレンス
20.1 ログファイル
20.1.2 監査ログのファイル

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager 導入済環境のサーバマシンをドメインコントローラに昇格する方法を教えてください。

A: 以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.5 ドメインコントローラへの昇格/ドメインコントローラからの降格

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ構成の運用時、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のジョブが実行中にフェールオーバが発生し、異常終了（実行中断状態）になった場合、このジョブネットに対して何も操作をしなければ再起動されることはありませんか？

A: 何も操作しない場合は再起動されることはありません。
フェールオーバ中に異常終了（実行中断状態）になったジョブネットに対して、何も対処しなければ異常終了のままとなります。自動的に再実行などのリカバリ処理は行われません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、ジョブ実行中にフェールオーバが発生した場合、終了コード 239 で異常終了し、ジョブの前回履歴が表示されないため該当ジョブがどこまで進んだのかを判断ができません。実行履歴がわかるログファイルなどはありますか？

A: ありません。
終了コード 239 の場合は実行中断状態となり、ジョブの終了を確認する前にサービスが終了するため、ジョブの出力ファイルを取得することができません。このため、Systemwalker Operation Manager で実行履歴を確認することが困難です。
正常終了した場合、または 239 以外の終了コードで異常終了した場合はジョブの出力ファイルに処理結果が出力され、その内容を基に前回履歴の出力情報に履歴を表示します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のユーザー設定で、「何でもできる Admin ユーザー」、「ジョブを手動実行できるユーザー」、および「参照だけできるユーザー」の切り分け方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降の場合に切り分けできます。
Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降ではプロジェクト単位に「更新権」、「操作権」、「参照権」、または「登録権」の設定を行うことができます。設定方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド

第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.2 プロジェクトにアクセス権を設定する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 間隔起動のジョブネットで、ジョブが異常終了した場合に次回分の起動が自動で起動されないようにすることはできますか？

A: できます。
確認操作の設定を有効にすることで可能です。ただし以下は V13.2.0 までの手順です。V13.3.0 以降の場合は画面が異なるため手順が異なりますが、以下の手順と同様に環境設定画面の［利用機能 1］シートから設定できます。

■確認操作の設定を有効にする方法
1. ［スタート］/「アプリ」－［Systemwalker Operation Manager］－［環境設定］－［環境設定］の順に選択するとツールが起動します。
2. ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウを表示します。環境設定のウィンドウから［起動パラメタ］ボタンをクリックします。
3. ［利用機能 1］シートを選択します。
4. ［スケジュールオプション］の［ジョブネットの確認操作を有効とする］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。
5. 「変更点があります。保存しますか？」のポップアップが表示されるので、［はい］をクリックします。
6. 「ジョブスケジューラサービスを再起動する必要があります。」のポップアップが表示されるので、［OK］をクリックします。
7. 環境設定の画面に戻るので、ジョブスケジューラサービスを再起動します。［サービス制御］の［制御対象］でジョブスケジューラを選択し、［停止］をクリックします。「サービスを停止してもよろしいですか？」のポップアップが表示されますので、［はい］をクリックします。環境設定の画面に戻るので、［開始］をクリックします。

ジョブネットの起動を再開する場合は、ジョブネットを右クリックし、［操作］－［確認］を選択し、ジョブネットのステータスを確認済とします。
次回の起動条件が満たされたタイミングでジョブネットが実行されます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager から実行するジョブを Administrator ユーザー（ビルトインアカウント）で動作させるための設定方法を教えてください。

A: 設定方法は以下の 3 種類あります。いずれか 1 つを設定してください。

■ジョブの実行ユーザー名に指定する
「ジョブを所有者の権限で実行する」機能を有効に設定し、ジョブの実行ユーザー名に Administrator を指定します。
この場合ジョブごとにユーザーを指定するので、影響範囲をそのジョブだけに狭めることができますが、ジョブの 1 つ 1 つに設定する必要がありますので作業負荷が大きくなってしまうことがあります。

■プロジェクトの所有者に指定する
「ジョブを所有者の権限で実行する」機能を有効に設定し、プロジェクトの所有者に Administrator を指定します。
この場合プロジェクトごとに実行ユーザーを指定するので、影響範囲を狭めることができますが、プロジェクトごとに設定する必要があるため、設定する範囲が広い場合、作業負荷が大きくなってしまうことがあります。

■サービスのスタートアップアカウントに指定する
「ジョブを所有者の権限で実行する」機能を無効に設定し、ジョブ実行制御サービスのスタートアップアカウントに Administrator を指定します。
変更対象サービスは、Systemwalker MpJmSrv および Systemwalker MpMjes です。
この場合スタートアップアカウントを変更するだけですので、変更作業が少なくてすみますが、Systemwalker Operation Manager で運用するジョブ全体がそのユーザーで実行されるため、影響範囲が広くなってしまいます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: パッチ適用時に異常が発生した場合の、戻し方を教えてください。

A: UpdateSite（MW）形式の修正は、uam remove コマンドを使用することで適用前の状態に戻せます。
uam remove の使用方法については、UpdateAdvisor のヘルプ「修正を適用前の状態へ復元する（uam remove）」を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットのプロパティにある［起動日］タブから設定を行った場合、起動日ウィンドウから確認できるスケジュール以降のスケジューリングは有効となりますか？

A: 有効になります。
ジョブネットのプロパティにある［起動日］タブから起動日の設定をすれば、起動日ウィンドウから確認できるスケジュール以降のスケジュールも有効になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ構成を組んでいる Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の環境で、バックアップを取得する際のタイミングを教えてください。

A: タイミングは特にありませんが、運用環境の変更（ジョブネットの定義や環境設定の変更後など）のタイミングで行った場合、問題発生時にリストアする際の影響が小さいです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ構成の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition サーバで、カレンダ情報は共有されていますか？

A: カレンダ情報の自動反映が設定されている場合、運用系と待機系でカレンダ情報は共有されています。
未設定の場合は共有されません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダ機能だけをバックアップ／リストアできますか？

A: できます。ただし注意事項があります。
カレンダ情報だけのバックアップとリストアはポリシー情報の抽出と配付で可能ですが、以下の注意事項があるため、Systemwalker Operation Manager 全体のバックアップ／リストアをお勧めします。

■［カレンダ］のポリシー配付についての注意事項

1. ［カレンダの保存］ウィンドウで設定した反映開始日は、ポリシー配付されません。
2. ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［利用機能 2］シートで、［起動日再作成の抑止］オプションが設定されていない状態で、［カレンダ］だけをポリシー配付した場合、カレンダを使用しているジョブネットの起動日が再作成され、［起動日］ウィンドウで個別に設定したジョブネットの起動日情報はクリアされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境で、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のカレンダの自動反映が実施されているかどうかの確認方法を教えてください。

A: コマンド calsetcluster -v で確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境の場合、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のジョブのログファイルは共有ディスクに配置されますか？

A: 共有ディスクに配置されます。

Systemwalker Operation Manager から出力されるジョブのログファイルはジョブスケジューラのデータベースディレクトリ配下に配置されます。クラスタ環境の場合、ジョブスケジューラのデータベースディレクトリは共有ディスクに配置する必要があるため、配下のログファイルも共有ディスクに配置されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブとして、自動でバックアップを実施する方法を教えてください。

A: 以下のコマンドを使用して、Systemwalker Operation Manager のジョブとして自動でバックアップできます。

Windows 版の場合：　mpbko ドライブ名:ディレクトリ名 /d /SN
UNIX 版の場合：　mpbko -b ディレクトリ -d -SN

■注意事項

サイレントモードで処理する必要があるため、/d または-d オプションを指定してください。
処理中にサービスを停止させないようにするため、/SN または-SN オプションを指定してください。
なお、/d および-d を指定するため、バックアップ先は空の状態にしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 同一サーバで、Systemwalker Operation Manager のバックアップデータから部分的にリストアできますか？

A: バックアップデータからは部分的にリストアできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行サーバでジョブを実行中に、クラスタ環境のスケジュールサーバでクラスタ切り替えを行った場合、実行サーバ側のジョブ走行には問題ありませんか？

A: 問題ありません。
実行継続モードが有効になっている場合であれば、実行サーバでネットワークジョブが実行されている間に、スケジュールサーバでクラスタ切り替えが発生したとしても、実行サーバでのジョブ実行や後続のジョブ実行に影響は与えません。
なお、実行継続モードを有効にする手順は、クラスタ構築の際にすべてのサーバで行います。

実行継続モードはすべてのサーバで同じ設定にしてください。
実行継続モードは、jmmode check コマンドを実行して、JOB の状態が on になっていれば有効です。
なお、サービス/デーモンを停止しないで、実行継続モードを有効に設定することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットを起動させるコマンドで、階層化されたジョブネットの子ジョブネットを起動させる方法を教えてください。

A: 子ジョブネットは GUI、コマンドともに「起動」することができません。
したがって jobschcontrol または jobschctljob を使用して、以下の手順で代用してください。
1. 起動したくない子ジョブネットおよび親ジョブネット直下のジョブを無効状態とします。
2. 親ジョブネットを起動します。
3. 1.で無効化したジョブネット、ジョブを無効解除します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバ A、B の環境で A からジョブネットを起動させるコマンドを使用し、B のジョブネットを起動させる方法を教えてください。

A: 以下のいずれかの方法を実施してください。

■方法 1
サーバ A で、ネットワークジョブを利用してサーバ B のジョブネットを操作するため、jobschcontrol コマンドを実行します。

■方法 2
サーバ A で、ネットワークジョブを利用してサーバ B でメッセージ事象を jobschmsgevent コマンドを利用して発行します。サーバ B ではこのメッセージ事象を待ち合わせるようにします。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ファイル転送コマンドで、FTP の完了を待ってからファイル転送をする方法はありますか？

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager のファイル転送コマンドでは FTP が動作中であるかどうかを意識していません。ファイル転送前に FTP が利用されているか確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降のバージョンで拡張ユーザ管理機能を使用する場合、監査ログには拡張ユーザのアカウントは出力されますか？

A: 出力されます。
監査ログに出力されるユーザー名は、拡張ユーザ管理機能を使用していた場合には、拡張ユーザのユーザー名が出力されます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で拡張ユーザ管理機能を使用する場合、1:1 の運用待機構成の両ノードに対して mpsetusermode コマンドを実行する必要がありますか？

A: 両ノードに対して mpsetusermode コマンドを実行する必要があります。
両ノードの Systemwalker Operation Manager を停止した状態で、mpsetusermode コマンドを実行してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監視ホストを登録している場合、相手先のサーバは拡張ユーザ管理機能を有効にする必要がありますか？

A: ありません。
相手先サーバでは拡張ユーザ管理機能が無効であっても問題ありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットのプロパティで、起動条件の設定をなしから間隔起動に変更した場合、設定の反映に再起動は必要ですか？また、他のジョブネットへの影響はありますか？

A: 再起動は不要です。
他のジョブネットへの影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 基準ジョブネットに起動日が設定されていない場合、基準ジョブネットを利用する側のジョブネットも起動しませんか？

A: 起動しません。
基準ジョブネットに起動日が設定されていない場合、それを使用するジョブネットにも起動日が設定されないため、起動しません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 現在 1 つのサブシステムで Systemwalker Operation Manager を運用していますが、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のマスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能を使用して複数のサブシステムで運用できますか？

A: 運用できます。
以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 マスタスケジュール管理 ユーザーズガイド
第 1 章 概要
1.2 マスタスケジュール管理機能の運用形態
1.2.2 複数のサーバで運用する形態【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager がインストールされているドメインコントローラを降格し、再昇格する場合に必要な設定を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager がインストールされているドメインコントローラを降格、再昇格する場合の手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.5 ドメインコントローラへの昇格/ドメインコントローラからの降格

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Gigabit Ethernet カードの交換によって、Systemwalker Operation Manager のサーバの MAC アドレスおよび/etc/ethers が変わります。設定変更などの影響の有無について教えてください。

A: 以下のとおり影響はありません。

■/etc/ethers 変更による影響

/etc/ethers 変更による Systemwalker Operation Manager への影響はありません。対処は不要です。
ただし、IP アドレスに変更がある場合は影響があるため対処が必要です。以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.2 IP アドレス、ホスト名の変更

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

■MAC アドレス変更による影響
MAC アドレス変更による Systemwalker Operation Manager への影響はありません。対処は不要です。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行履歴の保存日数の変更方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager 環境設定クライアントを起動し、［運用情報の定義］ウィンドウ－［ログ］シートで［ジョブ実行履歴情報を保存する］の保存日数を変更してください。
ジョブ実行制御サービスを次回起動すると初期化モードで起動され、定義内容が反映されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS のバージョンによってインストール方法は変わりますか？

A: OS のバージョンによってインストール方法は変わりません。

プラットフォーム　: Windows Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブネットの起動予定時刻を過ぎても実行されない場合に通知を行う］を有効にしています。起動遅延のステータスになったジョブネットが SYSLOG に出力される条件を教えてください。

A: 環境設定のデザイアドステート管理の［ジョブネットの起動予定時刻を過ぎても実行されない場合に通知を行う］の設定では、以下の条件に該当し、起動遅延のステータスになったジョブネットの通知だけが行われます。

- 起動時刻とメッセージ事象発生の AND 条件で待ち合わせている（メッセージの条件で［起動時刻の到来を待つ］を指定している）ジョブネットで、起動予定時刻になっても待ち合わせているメッセージ事象が発生しない場合
- グループに属しているジョブネットで、先行のジョブネットが終了しないまま起動予定時刻を過ぎた場合
- グループに属しているジョブネットで、先行のジョブネットが異常終了または強制終了した状態のため、起動予定時刻を過ぎた場合
- グループに属しているジョブネットで、待ち合わせているメッセージが発生しないまま起動予定時刻を過ぎた場合
- 起動条件を［メッセージ事象発生時のみ起動］として、［一日一回］および［開始予定時刻］が指定されているジョブネットで、起動予定時刻を過ぎても待ち合わせているメッセージ事象が発生しない場合

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: クラスタシステムにリソース登録できる Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のデーモンを教えてください。

A: クラスタシステムにリソース登録できる Systemwalker Operation Manager のデーモンは以下のとおりです。

- ジョブスケジューラ（マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能を含みます）：tskmnsrv
- ジョブ実行制御：mjsdaemon、および mjsnetsv

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブおよびジョブネットは、一定の時間が経つとジョブ自体を異常終了させる制限時間の設定ができますか？

A: ジョブはできますが、ジョブネットはできません。
ジョブの打ち切り時間は、［登録－ジョブ］ウィンドウの［詳細情報］シートで設定できます。
ジョブネットについては標準の機能では打ち切り時間の設定は行えませんが、強制終了のコマンドを実行するジョブネットを作成することで設定できます。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降のポリシー抽出と配付について、［環境定義］シートの各項目の内容を教えてください。

A: ［環境定義］シートの各項目の内容は以下のとおりです。

- **［共通］－［監視ホスト］**
  環境定義で定義した監視ホスト情報を抽出する場合に選択します。
- **［共通］－［共通パラメタ］【UNIX 版】**
  環境定義で定義したセキュリティ情報を抽出する場合に選択します。
- **［アクション管理］－［アクション］【Windows 版】**
  環境定義で定義したアクションの実行環境の情報を抽出する場合に選択します。
- **［ジョブスケジューラ］－［起動パラメタ］**
  環境定義で定義した起動パラメタ情報を抽出する場合に選択します。
- **［ジョブスケジューラ］－［メッセージテーブル］【Windows 版】**
  環境定義で定義したメッセージテーブル情報を抽出する場合に選択します。
- **［ジョブスケジューラ］－［監視許可ホスト］**
  環境定義で定義した複数サーバ監視機能の監視を許可するホスト情報を抽出する場合に選択します。
- **［ジョブ制御］－［運用情報］**
  環境定義で定義した運用情報を抽出する場合に選択します。
- **［ジョブ制御］－［信頼ホスト］**
  環境定義で定義したネットワークジョブの信頼ホスト情報を抽出する場合に選択します。
- **［ジョブ制御］－［ジョブ所有者］【Windows 版】**
  環境定義で定義したジョブ所有者情報を抽出する場合に選択します。
- **［ジョブ制御］－［ノード名定義ファイル］**
  環境定義で定義したクラスタシステムのためのノード名情報を抽出する場合に選択します。
- **［マスタスケジュール管理］－［環境設定］**
  マスタスケジュール管理環境設定クライアントで設定したマスタスケジュール管理機能に関する環境設定の情報を抽出する場合に選択します。（V13.3.1 以前では、「マスタスケジュール管理」を「スケジュール分散」に読み替えてください。）

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager が出力するジョブの出力ファイルについて、ファイルの内

容、ファイル名、格納先、およびログファイルは循環して使用されるかどうかを教えてください。

A:

- **ファイルの内容**
  実行したジョブの出力情報（標準出力および標準エラー出力）を記録します。
- **ファイル名**
  - ジョブ名.o ジョブ番号（標準出力ファイル）
  - ジョブ名.e ジョブ番号（標準エラー出力ファイル）
  - ジョブ名.l ジョブ番号（ジョブリストファイル）
- **格納先**
  環境設定の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］－［出力ファイル］シートの［ジョブの出力ファイルを削除する］を選択していない場合、出力ファイルは、データベースディレクトリ（Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpjobsch¥jobdb）配下の work ディレクトリに出力・保存されます。
- **世代**
  循環されないため、世代はありません。ジョブの実行ごとにファイルが生成され、任意のタイミングで削除しない限り残り続けます。容量はジョブが出力する標準出力・標準エラー出力の内容によって変動します。
- 上記ログのデフォルトの設定は出力しない（ログを削除する）設定になっています。運用状況に応じて出力できますが、任意タイミングで削除しない限り増え続け、ディスク圧迫の要因になる可能性がありますので注意してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降が出力する監査ログファイルについて、ログファイルの内容、ファイル名、格納先、およびログファイルは循環して使用されるかどうかを教えてください。

A:

- **ファイルの内容**
  ジョブネットやジョブの実行実績の他、Systemwalker Operation Manager クライアントから操作した実績が記録されます。
- **ファイル名**
  mp_omgr_auditYYMMDD.log（例：mp_omgr_audit090727.log）
- **格納先**
  Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpcmtool¥audit
- **世代**
  mpsetlogsend_omgr コマンドで、1 日から 99 日(V16 以降は 999 日)まで、または無制限で保存できます。100 日目(V16 以降は 1000 日目)以降は順次削除されます。無制限の場合はログは削除されません。容量は、ホスト名や利用ユーザ名にも影響する値ですが、1 回 500 バイト程度を想定してください。
- 上記ログの保存期間によっては手動で削除しない限り増え続け、ディスク圧迫の要因になる可能性がありますので注意してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境で共有を行っている環境で、Systemwalker Operation Manager の管理領域があります。UFS ダンプと TAR コマンドでバックアップを取得、退避させておいてリストアできるか教えてください。

A: できません。
Systemwalker Operation Manager の管理情報の退避／復元は、mpbko コマンド／mprso コマンドを利用してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 常駐プロセス（サービス）の死活監視を行いますが、対象プロセス名を教えてください

A: 対象のプロセス名については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.14 保守のための定義
2.14.1 プロセス監視機能の定義
2.14.1.1 Systemwalker のプロセス監視

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、サブシステムごとに稼働実績ファイルを持つことはできますか？

A: できます。
複数サブシステム環境では、環境設定画面ログイン時に、サブシステム番号を選択します。各サブシステムの環境設定画面で、運用情報の定義－［ログ］シートで設定を行ってください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ適用の手順について、クラスタアプリケーションを 2 つ用意し、それぞれで Systemwalker Operation Manager を動作させたい（両ノードまたは片ノードで動作する）場合、2 ノード相互待機の構成で問題ありませんか？

A: 2 ノード相互待機構成で問題ありません。なお、サブシステム 0 は利用しないでください。サブシステム 1 や 2 などを利用してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、ジョブネット実行中に日変わり処理が行われ、後続のジョブネットに持ち越し処理を行っている場合、翌日になってもそのジョブは実行され、さらにその日に再度スケジューリングされますか？

A: ジョブネット実行中に日変わり処理が行われ、後続のジョブネットに持ち越し処理を行っている場合、翌日になってもそのジョブは実行され、さらにその日に再度スケジューリングされます。
なお、［起動日のみ有効］が指定されているジョブネットを持ち越した場合、持ち越された日が非起動日であったときは、メッセージ事象の発生は無視されます。持ち越された日が非起動日であった場合でも、メッセージ事象の発生により、ジョブネットを起動させたいときには、あらかじめ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［メッセージ］シートの［起動日のみ有効］を設定しないでジョブネットを登録しておいてください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 開始遅延状態のジョブネットを、日変わり時刻の到来で再スケジュールされず翌日に持ち越して実行可能にする方法について、より変更作業量が小さく運用影響の出ない方法を教えてください。

A: ジョブネットのプロパティ設定で、［日変わり時刻到来時に持ち越し処理を行う］を指定してください。
また、ジョブネット制御文を作成し、jobschsetnet コマンドで登録することもできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 稼働実績ファイルに記録される日時について教えてください。

A: ジョブの開始（コマンドの開始）と、終了（コマンドの終了）した時点の日時が記録されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブネットの確認操作を有効にする］にチェックを入れた場合、入れなかった場合の動きについて教えてください。

A: ［ジョブネットの確認操作を有効にする］にチェックを入れると、ジョブネットが異常終了した場合、「確認」操作を実施するまで、異常終了のままとなり、次回の起動条件を満たしてもジョブネットは起動されません。ジョブネットを起動するためには、「確認」操作を実施し、ステータスを「確認済み」としてください。
［ジョブネットの確認操作を有効にする］のチェックがない場合、何らかの異常対処が必要であった場合でも次回起動条件を満たしたときにはジョブネットが起動されます。

［強制終了を確認操作の対象とする］にチェックを入れた場合、上記と同じ動作をジョブネットが強制終了した場合にも行うことができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition V13.3.0 以降追加された、「ジョブネット起動時の可変パラメタ付与」機能はグローバルサーバ上のジョブに対しても利用できますか？

A: 利用できません。
グローバルサーバ上でのジョブについては可変パラメタを渡すことはできません。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschsetproject コマンドでプロジェクトを追加した際、既存のジョブなどの停止をせずにそのまま実行できるかどうか教えてください。

A: 実行できます。
実行中のジョブへの影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition を使用します。calcphost.def の IP アドレスの指定について、物理アドレスと仮想アドレスのどちらを指定すればよいですか？

A: calcphost.def では、カレンダ情報を反映させるノードの物理 IP アドレスを指定してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Job Designer で使用できる Systemwalker Operation Manager のバージョンを教えてください。

A: Job Designer で使用できる Systemwalker Operation Manager のバージョンは、以下のとおりです。

- Windows 版：V10.0L10～Job Designer と同じバージョンレベルまで
- Solaris 版：10.0～Job Designer と同じバージョンレベルまで
- Linux 版：V11.0L10～Job Designer と同じバージョンレベルまで

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition V13.3.0 以降で、クラスタ環境でスケジュールサーバから、実行サーバの待機系に対し、ネットワークジョブの発行はできますか？

A: できます。
待機系で、ローカル運用するサブシステムを作成することで、そのサブシステムに対してネットワークジョブを発行することができます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 本番システムから待機システムに、Systemwalker Operation Manager のジョブスケジューラの定義情報の定期的な移行をする際、jobschprint コマンドと jobschsetnet コマンドを利用して問題ないですか？
具体的な操作手順は以下を想定しています。
jobschprint -r コマンドで制御文出力
出力された制御文内の待機系環境に依存した部分（依頼先ホスト名など）を編集
編集した制御文を待機系環境に転送
待機系環境で jobschsetnet コマンドで転送された制御文によってジョブ制御情報を登録
またこの場合、登録した情報を無効状態で登録できるか教えてください。

A: 問題ありません。
ジョブネットのスケジュール情報を移行するのであれば問題ありません。ただし、ジョブネットの無効状態を指定できるのは、V13.3.0 からです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブを停止した場合と無効化した場合で、ジョブがどのように動作するか教えてください。

A: ジョブを停止中に起動時刻を迎えた場合には、停止解除後にジョブが起動されます。ジョブを無効化中に起動時刻を迎えた場合には、無効化解除後もジョブは実行されません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edotion で、クラスタシステムからネットワークジョブを投入する場合の設定について教えてください。

A: 以下のマニュアルの手順に従い、実行サーバにおける信頼ホストの定義、実行継続モードの統一を行ってください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編または Windows 編
第 2 章 導入
2.3 クラスタシステムからネットワークジョブを投入する場合の設定
2.3.1 jmmode コマンドによる実行継続モードの指定
2.3.2 ジョブ実行制御への論理 IP アドレスの設定

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager は、FLEXlm でライセンス管理を行う製品であるか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager は、FLEXlm でライセンス管理されていません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット制御文やプロジェクト制御文に、複数のジョブネットやプロジェクトの情報を記述して登録できるかどうか教えてください。

A: ジョブネット制御文に複数のジョブネットの定義内容を記述できますが、プロジェクト制御文、起動日雛形制御文、休日カレンダ制御文は、1 ファイルに 1 情報だけ記述できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 現在無効にされているジョブネット、ジョブの情報を抽出する方法を教えてください。

A: [ジョブネットの管理]ウィンドウ上で、ジョブネット/ジョブを「無効状態」で絞り込んで表示させてください。（ジョブの絞り込みは、V16.0.0 以降の機能）

＜絞り込み操作手順＞

- [ジョブネットの管理]ウィンドウの[表示]メニューで、[絞り込み]を選択する、または、 [Systemwalker Operation Manager]ウィンドウで[ジョブスケジューラ]を選択している時に、[ツール]メニューから[ジョブネット管理（絞り込み条件指定）]を選択する。
- 表示された[ジョブネットの絞り込み条件]ウィンドウで、下記の設定をした上で[絞り込み]ボタンをクリックする。
  - ジョブネットを絞り込む場合
    [ジョブネット]の状態から[無効状態]を指定する
  - ジョブを絞り込む場合
    [ジョブ]の[ジョブの状態で絞り込みを行う]を指定した上で、[無効状態]を指定する

また、jobschprint -n コマンドでジョブネットの現在の状態を表示することができます。jobschprint -p コマンドでジョブの現在の状態を表示することができます。これらの出力結果より、無効化されているジョブネットやジョブがあるかを確認してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サービス起動停止をユーザー側で制御することはできますか？

A: 以下のコマンドを利用して制御できます。

■ swstop サービス／デーモン起動の抑止コマンド
Systemwalker Operation Manager のインストール後にシステムの再起動を行った場合に、Systemwalker Operation Manager のサービスの起動を抑止します。

■ swstart サービス／デーモン起動の抑止解除コマンド
swstop で抑止した設定を解除し、システムの再起動を行った場合に、Systemwalker Operation Manager のサービスの起動します。

■ soperationmgr サービス／デーモン起動コマンド
Systemwalker Operation Manager に含まれる機能のサービス／デーモンを一括して起動します。

■ poperationmgr サービス／デーモン停止コマンド
Systemwalker Operation Manager に含まれる機能のサービス／デーモンを一括して停止します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サービス起動抑止コマンド（swstop）とサービス起動抑止解除コマンド（swstart）を使い、サービスの起動制御を行っています。このコマンドを利用することによって Systemwalker Centric Manager も、同時にサービス起動抑止がされてしまうのか教えてください。

A: swstop コマンドおよび swstart コマンドは、Systemwalker Centric Manager のサービス起動抑止およびサービス起動抑止解除も同時に行います。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行の優先度設定が、Systemwalker 内のどの範囲内で最優先となるのか教えてください。

A: ジョブの実行優先度は、そのジョブの設定となり、UNIX システムの nice 値の設定に相当し、Systemwalker Operation Manager 内での範囲ではなく、システムの範囲として考える必要があります。Systemwalker Operation Manager のジョブとしては、実行優先度に -20 を指定することにより、最優先の値となります。
なお、プロセスに設定されている nice 値は、ps -efl コマンドで表示される NI の項を参照することで確認できます。

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブスケジュールの起動日（特異日）設定後にサービス再起動を行うと、カレンダや起動日雛形を変更したときと同様に設定が消去されますか？

A: サービスを再起動してもジョブネットの起動日（特異日）が消去されることはありません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ構成で、一方のノードで日変わり時刻やシステムカレンダの設定を変えると、もう一方のノードにも反映されるのか教えてください。

A: クラスタ構成の場合、カレンダ情報の自動反映の設定を行うことにより、日変わり時刻やシステムカレンダを運用系と待機系とで自動的に反映させることができます。
詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

■Windows 版の場合
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 2 章 導入
2.8 自動反映の設定

■UNIX 版の場合
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 2 章 導入
2.7 自動反映の設定

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: MpMjes:WARNING 10091 に関して、マニュアルに解決方法が載っており、その中に jmmode コマンドの continue、cancel、および check という項目があります。これらを実行することによるシステムへの影響について教えてください。

A: システムへの影響はありません。jmmode コマンドの continue、cancel、および check はそれぞれ次のような処理をします。
continue は、ジョブの実行を継続するモードです。ネットワークジョブが実行中にスケジュールサーバがダウンしても、ジョブの実行を継続します。
cancel は、ジョブの実行を打ち切るためのモードです。ネットワークジョブが実行中にスケジュールサーバがダウンした場合、ジョブの実行を打ち切ります。
check は、現在のモードを表示するコマンドです。
なお、jmmode の設定（continue/cancel）は、スケジュールサーバと実行サーバで合わせてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクト情報制御文でプロジェクトの所有者を、システム管理者の root ユーザーとして定義しています。この所有者を拡張ユーザ管理機能を利用し、Systemwalker Operation Manager ユーザーへ変更することはできますか？

A: できません。拡張ユーザ管理機能が有効な場合についても、所有者には必ず OS ユーザーを指定する必要があります。
なお、アクセス権を Systemwalker Operation Manager ユーザーに付与することはできます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 運用中のジョブの正常終了コード上限値を変更する際に、ジョブネットの変更画面とジョブネットの監視画面で変更した場合の違いを教えてください。

A: ジョブネットの変更画面から変更した場合については、恒久的な設定となります。ジョブネットの監視画面から変更した場合は、一時的な変更となります。変更した情報は、ジョブネットの「再起動」操作を実行した場合だけ有効であり、ジョブネットの「起動」操作を行うと全ジョブネット内の一時変更情報がクリアされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが終了した際、他の Systemwalker Operation Manager が入っているサーバでその終了を検出し、続けてジョブネットを起動させるような設定はできますか？

A: できます。
運用環境に A サーバと B サーバが 2 台あると仮定して、以下に例をあげます。
1. A サーバ側のジョブネットの最後にもう一方の B サーバに対しメッセージ事象を発行するジョブを登録する。
2. B サーバ側で発行されたメッセージ事象をジョブネットに起動条件として設定する。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの起動条件に「開始予定時刻」がありますが、これはメッセージ事象が発生しても開始予定時刻になると起動するものなのか、開始予定時刻には関係がなく、メッセージ事象が発生すると、すぐに起動するものなのか教えてください。

A: 開始予定時刻には関係なく、メッセージ事象が発生すると起動します。
開始予定時刻の利用用途は、この時刻を過ぎてもメッセージ事象が発行されない場合に、開始遅延を通知するためのものです。
ジョブネットの開始遅延は、ジョブネットの状態で表示されます。併せて SYSLOG/イベントログにも通知することが可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの起動条件の「時刻起動」に複数の時刻を指定し、それぞれの起動時刻の到来、かつメッセージ事象の発生を条件として起動させることはできますか？

A: できません。

1 つのジョブネットで、ご質問にあるような起動条件を設定することはできません。ジョブネットの起動条件で、「時刻起動」に 1 つの時刻を指定した（1 日 1 回起動）場合だけ、メッセージ事象に対する「起動時刻の到来を待つ」を指定できます。ジョブネットの定義を複写し、複写したジョブネットの「時刻起動」に待ち合わせたい時刻を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトの所有者およびジョブ実行ユーザーに「root」を指定しています。「root」ユーザーのパスワード変更による Systemwalker Operation Manager への影響を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、以下の機能を利用している場合だけ、パスワード変更の影響を受けます。

- 拡張ユーザ管理機能
- 業務連携機能

■拡張ユーザ管理機能

mpusermode コマンドを実行し、拡張ユーザ管理機能を利用しているか確認してください。拡張ユーザ管理機能を利用している場合、mpsetpasswd コマンドで Systemwalker Operation Manager に登録されているパスワードを、新しいパスワードに再設定してください。

■業務連携機能

業務連携機能を利用している場合、パスワード管理簿にユーザ名およびパスワードが登録されています。
「/opt/FJSVsnjss/manage」ディレクトリ配下の ini ファイルの存在や、パスワード管理（lgmanage）コマンドで、パスワード管理簿の利用状況を確認してください。利用している場合には、必要に応じてパスワードを変更してください。

なお、mpsetpasswd は、V12.0L10/12.0 以降、lgmanage は、V11.0L10/11.0 以降で提供されています。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境で運用するときに、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の動作環境の定義を、どのタイミングで適用すべきか教えてください。このとき、クラスタ登録前、クラスタ登録後で、必要な定義はありますか？

A: 動作環境の定義はクラスタ登録前に行います。なお、変更はクラスタ登録後でもできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log のサイズを 3 個合計 99MB にしています。この 99MB は、ジョブの出力情報「プロジェクト名_ジョブネット名_xxx.log」ファイルを含まないサイズという認識でいいですか？

A: あっています。

プロジェクト名_ジョブネット名_xxx.log と、jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log の関連性はありません。プロジェクト名_ジョブネット名_xxx.log(注)はジョブが出力する標準出力などを記録するログで、このログはジョブが起動されるごとに上書きされます。また、出力サイズもジョブごとに異なるため、Systemwalker Operation Manager の設定で制限されることはありません。
注) ファイル名は、バージョン/OS によって異なります。

■V13.3.0 以降の場合
Windows 版：プロジェクト名_ジョブネット名_ccccccccccccccc.log”(ccccccccccccccc は任意の文字)
Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版：プロジェクト名_ジョブネット名_nn.log”(nn は任意の数字)

■V13.2.0 までの場合
Windows 版：“プロジェクト名_ジョブネット名_nnn.log”(nnn は任意の数字)
Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版：“プロジェクト名_ジョブネット名.log”

一方、jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log は、ジョブネットやジョブの開始時刻や終了時刻、終了コードなどが記録されます。このログは、環境設定でサイズを設定（3 つのログファイルの合計値ではありません。1 つのログファイルのサイズを設定）し、設定値を超えた場合にファイルが切り換わります。このログは Systemwalker Operation Manager のクライアント画面から該当のジョブネットを選択し、［ツール］－［ジョブネット履歴］または［ジョブ履歴］を選択して確認できます。ただし、参照できる内容は 3 つのログのうち、最新の 2 世代のログだけです。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、クライアント画面のカレンダの一覧の表示順序をソートすることはできますか？

A: できません。
カレンダの一覧は、カレンダの登録順固定で表示されます。GUI 画面では表示順を変更できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 毎月第 4 土曜日 25:00～29:00 の間で、サーバをリブートするジョブネットがあります。このジョブネットに対して、第 4 土曜日 0:00～24:00 の間に、jobschcontrol コマンドを実行した場合、ジョブネットを無効状態にすることはできますか？

A: できます。
ジョブネットの無効操作は、ジョブネットが終了している状態であれば実行できますので、ジョブネットの起動時刻を迎える前に、“jobschcontrol disable”を行えば、当日でも、前日でも、問題ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition でのリストア手順について、1:1 運用待機構成の場合は、運用系で mprso コマンドでリストアした後、mpcssave コマンドを実行するということでよいですか？

A: 1:1 の運用待機構成の場合は、運用系で mpcssave コマンドを実行してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット A と、ジョブネット B があります。ジョブネット B は、ジョブネット A が発行するメッセージ事

象の発生を待っています。異常終了したジョブネット B を手動で再起動し、状態が実行中の場合、その間に発生したメッセージ事象の、発生回数はカウントされますか？

A: ジョブネット B の「ジョブネット実行中も有効」の設定により、発生回数がカウントされるかどうかが異なります。「ジョブネット実行中も有効」が有効の場合には、カウントされます。「ジョブネット実行中も有効」が無効の場合には、カウントされません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キューを停止し、デーモンを停止／起動した場合、デーモン起動後に、ジョブネットが自動起動したのですが、正しい動作ですか？

A: 正しい動作です。
キューを停止しても、ジョブネットの起動は停止できません。キューの停止は、ジョブネットではなく、ジョブの実行を停止するものです。
キューを停止した場合、新たなジョブは起動されませんが、キューイングだけが実施されます。結果、ジョブは実行中でなく、実行遅延状態となります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットの複写のコマンドを実行する際に必要な権限を教えてください。

A: jobschsetnet -ncpy コマンド(V13.7.0 以前の場合は、-ncop コマンド)は、複写元のプロジェクトに対して「参照権」、複写先のプロジェクトに対して「登録権」以上の権限が必要です。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットのプロパティで、起動条件タブとメッセージタブで開始予定を設定する場合、（ANDTIME）の持ち越し処理で、起動条件である起動予定時刻が到来し、待ち合わせていたメッセージ事象が発生するまで、メッセージは残留しますか？

A: はい、起動予定時刻到来までメッセージは残留します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行継続モードを設定する場合、設定対象となるサーバはどれになるか教えてください。

A: スケジュールサーバおよび実行サーバが設定の対象になります。それぞれのサーバで、実行継続モードを統一してください。また、実行サーバが複数ある場合も設定の対象になります。スケジュールサーバ、実行サーバのどちらか、または両方でクラスタ環境の場合も、同様にすべてのサーバが対象になります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、スケジュールサーバをクラスタ運用しています。「テストモード」を有効にするには、再起動が必要とのことですが、テストモードが有効になるのはいつですか？

A: 運用系サーバから待機系サーバに切り替わった時点でテストモードは有効になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「仮想時間」の設定は、Systemwalker Operation Manager の再起動が行われた時点で適用されますか？

A: はい、そのとおりです。
「仮想時間」の設定は、Systemwalker Operation Manager の再起動が行われた時点で適用されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「仮想時間」の設定を行わない場合、Systemwalker Operation Manager の再起動完了後に、実時刻で動くという認識でよいですか？

A: はい、そのとおりです。
仮想時間の設定を実施していない場合、および仮想時間の解除をした場合、再起動後は実時刻（システム時刻）で起動します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 複数メッセージを待ち受けているジョブネットに、同じメッセージが複数回発行され、メッセージがそろった場合、メッセージ事象のカウント方法について教えてください。

A: ジョブネット起動時のメッセージ事象のカウント（減算）方法は以下のようになります。

- **メッセージ事象だけで待ち合わせるジョブネットの場合**
  待ち受けているすべてのメッセージ事象の発生回数が、1 減じられます。
- **メッセージ事象と起動時刻とで待ち合わせるジョブネットの場合**
  待ち受けているすべてのメッセージ事象の発生回数が、ジョブネット起動と共にクリアされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動予定時刻にジョブネットが実行中であった場合、ジョブネットが終了次第、実行されますか？または、ジョブネットが二重起動されますか？

A: ジョブネット実行中に、そのジョブネットの起動予定時刻がきた場合には実行されず(二重起動とはならず)、「実行拒否」となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition の運用中、マスタプロジェクトに、新規ユーザーのアクセス権を付与しました。日変わり時刻を過ぎて、当日分のプロジェクト（PJ+MMDD）が生成されても、アクセス権が付与されていません。アクセス権が付与される設定方法を教えてください。

A: 運用中に、マスタプロジェクトのアクセス権を変更した場合、再度プロジェクトに対して、マスタ設定を行う必要があります。stemSetPrjMaster コマンドで、マスタを再設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の移行（バージョンアップ移行）を、移行コマンド（swmove、swtrans）で実施した場合、［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウの［起動日］シートの［シフト処理］の情報は、正しく、移行、反映されますか？

A: 問題なく移行できます。

swmove および swtrans コマンドで移行できないものは以下の 2 つです。

- プロセス監視機能
- デーモン起動コマンドの定義

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、1:1 運用待機のクラスタ構成の場合、クラスタの一方のサーバでバックアップしたデータを、もう一方のサーバにリストアすることは問題ありませんか？
なお、リストア先では、共有ディスクをマウントした状態です。

A: 問題があります。

各サーバで個別に定義している情報（例えば、監視ホスト、監視許可ホストなどの環境設定情報）が、上書きされてしまう可能性があります。もし、他サーバの情報をリストアする場合は、リストア前に、これらの各サーバで個別に定義している情報について、同じ内容が設定されていたかを、留意する必要があります。バックアップしたデータを別のサーバにリストアすることは控え、それぞれのサーバでバックアップを採取しておくことをお勧めします。

なお、1:1 運用待機の構成でも、サブシステムの一部をクラスタ構成にする場合（Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降）があり、この場合は、バックアップしたサーバとは別のサーバにリストアすることはできません。サブシステムの一部をクラスタ構成にしている場合はバックアップ・リストア手順が複雑になります。
詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 3 章 運用
3.4 クラスタシステム運用時のバックアップ/リストア

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 3 章 運用
3.4 クラスタシステム運用時のバックアップ/リストア

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mpbko コマンドで-SN を指定した場合、Systemwalker Centric Manager のデーモンは停止しますか？

A: mpbko コマンドで-SN（UNIX 版の場合）を指定した場合、Systemwalker Centric Manager のデーモンも含めて、デーモンが停止することはありません。
なお、Windows 版では/SN を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の mpbko コマンドで-SN を指定しない場合、なぜ、Systemwalker Centric Manager のデーモンが停止するのですか？

A: Systemwalker Operation Managerと、Systemwalker Centric Managerで、共通のデーモン（セキュリティや自動運用支援など）が、存在するためです。共通のデーモンが停止することにより、Systemwalker Centric Manager も動作しなくなります。
なお、-SN は UNIX 版、/SN は Windows 版のオプションです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、ジョブネットから jobschprint コマンドを実行する場合、jobschmsgevent コマンドと同様に、-sys オプション指定なしで、ジョブネットが設置されている同一のサブシステム上で、コマンドを実行できるか教えてください。

A: jobschprint コマンドを、ジョブに直接実行するのではなく、シェルスクリプトから実行する jobschprint コマンドの-sys オプションの引数に、JOBSCH_SUB_SYSTEM 環境変数の値を指定することでできます。
ジョブスケジューラが設定する、JOBSCH_SUB_SYSTEM 環境変数を使用してください。jobschprint コマンドを、そのままジョブとして登録するのではなく、別途アプリケーション（シェルなど）を作成して、そのアプリケーション内で jobschprint コマンドの-sys オプションの引数として、JOBSCH_SUB_SYSTEM 環境変数の値を指定してください。

例）シェルの場合

```
#!/bin/sh
jobschprint -n -sys $JOBSCH_SUB_SYSTEM
```

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバ業務連携コマンドの execasvr（アプリケーション起動コマンド）の使い分けを教えてください。通常のネットワークジョブでも、似たような動きになるのに、このコマンドが用意されている意図を確認したいです。

A: execasvr（アプリケーション起動コマンド）は、ジョブの実行を依頼するが、ジョブの終了を待ち合わせたくない場合に有効なコマンドです。
このコマンドは、ネットワークジョブのように、サーバ間で連携するジョブを構成できますが、違う点としては、コマンドで実行依頼をしたあとに、すぐ復帰する点です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブスケジューラが SYSLOG に出力したログの内容が、Systemwalker Centric Manager の Systemwalker コンソール上に英語で表示されました。設定変更で日本語に変えられますか？

A: 日本語には変更できません。
ジョブスケジューラが SYSLOG に出力するメッセージ本文は英語表記です。なお、ユーザー固有の情報（ジョブネット名など）は除きます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschsetnet コマンドでジョブネットを登録する場合、子ジョブネットをすべて登録したあとに、親ジョブネットを登録する手順で正常に階層化ジョブネットを登録できますか？

A: 登録できます。
Jobschsetnet コマンドで、階層化ジョブネットを登録する場合は、子ジョブネットをすべて登録したあとで、親ジョブネットを登録してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 日変わり時刻について教えてください。例えば 22 時を日変わり時刻にした場合、22 時は時刻が 0 時とみなされるのですか？次の日付変更が 22 時に行われるのですか？

A: 時刻の考え方として、システム時刻の 22 時と、Systemwalker Operation Manager の 22 時は同じです。1 日の始まりの解釈として、システム時刻では 0 時ですが、Systemwalker Operation Manager では 22 時となり、22 時から翌日の 21 時 59 分 59 秒までが 1 日になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの動作について、特定の時間だけジョブを起動させない設定方法を教えてください。

A: ジョブを起動させたくない時間帯の前まで起動するジョブネットと、ジョブを起動させたくない時間帯のあとから起動するジョブネットを 2 つ登録してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント機能を、Windows の起動と同時にユーザー名およびパスワードの入力を省略して起動することはできますか？

A: できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: マニュアル「運用ガイド」または「使用手引書」に記載されている「ネットワークジョブの実行サーバを二重化」について、第 1 候補が異常とみなされる条件を教えてください。

A: 第 1 候補が異常とみなされる条件は以下のとおりです。

- サーバが停止している
- ネットワーク切断などでサーバが見つからない
- Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンが停止している

接続時には OS の connect 関数を使用しており、connect 関数がタイムアウトするまで待ち合わせます。サーバがダウンしている（ホストが見つからない）場合は、ホストを探すために多少時間がかかります。サービス／デーモンが停止している（ホストが見つかる）場合は即復帰します。なお、connect 関数がタイムアウトするまでの時間については、お客様環境のネットワーク回線や OS に依存します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動予定時刻に無効状態となっているジョブネットを、起動予定時刻が過ぎたあとに無効解除すると、起動しますか？起動しない場合は、起動させる方法を教えてください。

A: 起動しません。
無効状態のジョブネットは、起動時刻が到来した時点でスキップされ、正常終了状態となります。
このジョブネットを起動させるには、以下のいずれかを実施してください。

- クライアントから起動する（ジョブネットを選択し、右クリックで表示されるメニューから[操作]-[起動]）
- jobschcontrol コマンドで起動する
- 起動時刻を変更する

ジョブネットの操作と動作についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 14 章 スケジュールされた業務の状態と動作
14.1 ジョブ/ジョブネット/グループの状態と動作
14.1.4 ジョブネットの操作と動作

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが受け取ることのできるメッセージ事象の発生回数の上限値 255 回を超えてメッセージ事象を受け取ることはできますか？

A: 255 回を超えてメッセージ事象を受け取ることはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットおよびジョブの管理方法を教えてください。

A: ジョブネットおよびジョブは、プロジェクト単位にファイルで管理されています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバで SYSTEM_CALENDAR の内容を変更しましたが、この変更内容は実行サーバにも反映されますか？

A: スケジュールサーバおよび実行サーバは、別々のサーバになるため実行サーバには反映されません。
スケジュールサーバと同一内容にする場合は、実行サーバ側でも SYSTEM_CALENDAR の変更操作を実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER に割り当てられる IP アドレスを変更した際の影響を教えてください。

A: IP アドレスに変更がある場合は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.2 IP アドレス、ホスト名の変更
D.2.1 Operation Manager サーバの IP アドレス、ホスト名を変更する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 では、LDAP サーバとの連携できますか？

A: Systemwalker Operation Manager は LDAP 認証の機構を持っていないため連携できません。
Systemwalker Operation Manager で、直接 LDAP サーバへのユーザー認証結果を元にユーザーアクセスを制御をすることはできません。なお、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 は、パスワード認証（Basic 認証、MD5 認証）を使用しています。

ジョブに登録されているユーザーアプリケーション側で、認証する機構を実装することで、LDAP 認証が必要なアプリケーションは実行可能になります。ユーザーアプリケーションで認証に失敗した場合には、アプリケーション側で異常終了するように実装してください。LDAP 認証の成功および失敗は直接判断できないため、復帰コードを元に Systemwalker Operation Manager 側でジョブネットの異常終了として取り扱います。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: クラスタ構成の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition に対して、論理 IP アドレスを使ってネットワークジョブを投入したい。qsub コマンドでクラスタ構成の論理 IP アドレスに対してジョブを投入できますか？

A: qsub コマンドの-rh オプションで論理 IP アドレスを指定してジョブを投入できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ構成の Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition に対して、論理 IP アドレスを使ってネットワークジョブを投入する場合の動作について、ジョブの中で jobschprint コマンドを実行した場合、運用系の情報が返ってきますか？

A: 運用系の情報ということではありません。
jobschprint コマンド自体は運用系で実行されますが、ジョブネットおよびジョブの情報は共有ディスクに格納されており、その情報が出力されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: リストアを行った場合、ジョブネット登録時と同じ状態に復元されますか？

A: ジョブネット登録時ではなく、バックアップした時点の状態で復元されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschchecktime コマンドで、日変わり時刻をまたいで待ち合わせをする方法を教えてください。

A: jobschchecktime コマンドでは日変わり時刻をまたいで待ち合わせはできません。
そのため、「jobschsleep 120」（V13.7.0 以前の場合は、OS が提供するコマンド「sleep」）を使って、日変わり時刻の 1 分前に「sleep 120」を実行し、日変わり時刻経過後に再度時刻の待ち合わせを実施してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 分散実行のキュー制御をしている場合、それがどのサーバで実行されていたのかを、どうすれば確認できますか？

A: 稼働実績情報ファイルで確認できます。
稼働実績情報ファイルとは、実行されたジョブおよびジョブネットの稼働情報が CSV 形式で出力されるファイルです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 日変わり時刻を 4:00 に設定しています。時刻指定で 22:00 に起動し、4:00 前に完了するジョブがあります。このジョブを手動で実行し、「正常終了」の状態になりました。この状態でジョブは、起動条件に従って自動実行されますか？

A: はい、指定時刻の 22:00 に実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 分散実行を定義しているサーバで、「実行中ジョブ数÷［構成ホスト名］で指定した多重度」が同じ値の場合、どのサーバで実行が優先されますか？

A: 構成ホストで指定した順番にジョブが投入されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Java の VM をアップグレードすることで、Systemwalker Operation Manager に不具合が発生しますか？

A: Systemwalker Operation Manager では、影響はありません。
V13.3.1 以前は Java を利用していないため、影響はありません。
V13.4.0 以降は、製品独自の Java を利用しているため、別途インストールした Java をアップグレードしても、Systemwalker Operation Manager に影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: リカバリジョブについて、複数のジョブを先行ジョブに指定して実行することはできますか？

A: できません。
リカバリジョブの先行ジョブは 1 つしか指定できません。複数のジョブの異常を検知する場合は、該当するジョブを子ジョブネット内に作成し、子ジョブネットにリカバリジョブを作成してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ディスクのクリーンアップを目的に、定期的に「jobschbackup」フォルダの prm、jsp ファイルを削除したいと考えています。両ファイルを削除した場合の影響を教えてください。

A: prm、jsp ファイルは Systemwalker Operation Manager の内部構成ファイルであるため削除しないでください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprintcsv -n コマンドで出力されるジョブネットの出力順序はどのような順序になっていますか？

A: ジョブネットを登録した順番で出力されます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループやジョブネットの設定を変更した場合、どのように変更されたかを確認する方法を教えてください。

A: グループやジョブネットの設定変更前と設定変更後に、jobschprint -r(-R)コマンドを使用して、出力された各制御文を比較する必要があります。
jobschprint -R コマンドを使用することで、グループの設定情報をグループ制御文およびグループ内ジョブネット制御文で指定された情報を出力できます。

jobschprint -r コマンドを使用することで、ジョブネットの設定情報をジョブネット制御文およびジョブ制御文で指定された情報を出力できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition の 2 ノード相互待機環境で、ユーザーにプロジェクトの参照権を付与する手順を教えてください。

A: 両ノードに同じユーザーを追加して、mpsetacl コマンドでユーザーに参照権を付与してください。
なお、V13.2.0 以前の場合、mpsetacl コマンドを実行後、mpcssave コマンドを実行して、クラスタシステムの共有ディスクへのアクセス権情報を反映する必要があります。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: [監視－ジョブ]ウィンドウ－[前回履歴]シートの右下に［フォント］ボタンがありますが、一度変更しても記憶されずに元に戻ってしまいます。記憶させておくことはできませんか？

A: フォントの変更情報は保存しておくことはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、Systemwalker Operation Manager クライアントからジョブスケジューラ画面を起動している状態でクラスタ切り替えが発生した場合、クラスタ切り替え後は F5 キーで画面が更新されますか？または、切断されて再度接続する必要がありますか？

A: F5 キーを押下しても画面は更新されません。

Systemwalker Operation Manager クライアントからサーバに接続中にフェールオーバが発生した場合、サーバとの接続が切断されるので、フェールオーバ完了後に、クライアントを一度終了して再度サーバに接続するか、業務ツリーから他の機能（カレンダなど）を選択後に再度ジョブスケジューラを選択してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［環境設定］ – ［運用情報］ – ［ネットワーク］シートで、［ネットワークジョブで、接続エラー時のリトライの動作を変更する］をチェックしない場合の動作について教えてください。

A: チェックしない場合、ネットワークジョブで接続エラー時のリトライが行われません。
ただし、実行継続モードが有効になっている場合、実行継続モードの機能として 10 秒間隔で最大 6 回のリトライが行われます。
実行継続モードはスケジュールサーバと実行サーバのそれぞれで同じ設定にする必要があります。設定状況は jmmode check コマンドで確認できます。

■jmmode check コマンド出力結果例
- JOB on：ネットワークジョブの実行継続が有効でリトライされます。
- WRT off：ネットワークジョブのリトライには関係ありません。（スケジュール情報ファイルの二重化の指定です）

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS の webconsole サービスを停止した場合、Systemwalker Operation Manager に影響があるかどうか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager 運用中に webconsole サービスを停止しても問題が発生することはありません。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動時刻を設定したジョブネット内のジョブは、同時並行で実行されますか？

A: ジョブ同士に先行後続関係を設定していなければ、同時並行に実行されます。
起動時刻を設定したジョブネット内のジョブは、［運用情報の定義］ウィンドウで定義したジョブの多重度の数値まで同時並行で実行されます。
なお、同時実行したくない場合は、ジョブの多重度を調整することもできます。
また、あるジョブネット内のジョブと、別のジョブネット内のジョブを同時に実行させたくない場合には、排他制御によりジョブの実行を制限することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの終了コードが「0」と「21」の場合だけを正常終了として出力させる方法を教えてください。

A: 「0」と「21」の場合だけを正常終了とすることはできません。
実現するには、ジョブとして登録するプログラム内で終了コード「21」を「0」として復帰することをご検討ください。
また、Systemwalker Operation Manager の設定で「正常終了の上限値」に「21」を指定することで、「0」から「21」の範囲で復帰した終了コードを正常終了とすることができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システムに導入している Systemwalker Operation Manager が、SPARC M10 および SPARC Enterprise の XSCF の動作に影響するかどうか教えてください。影響する場合にはどのようなメッセージが出力されるのか教えてください。

A: SPARC M10 および SPARC Enterprise の XSCF の動作に影響はありません。
Systemwalker Operation Manager は SPARC M10 および SPARC Enterprise の XSCF と連携していません。そのため、動作に直接影響することはありません。また、メッセージも出力されません。
なお、SPARC M10 のサポートは、Systemwalker Operation Manager V13.4.1 以降になります。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: デマンドジョブのジョブフォルダパスを変更する手順を教えてください。

A: 以下の手順で変更してください。

1. 業務選択ウィンドウで、変更対象のジョブフォルダを選択して、右クリック－［削除］します。
（この時、実体は削除されません）
2. 業務選択ウィンドウで［ジョブ］を選択して、右クリック－［新規作成］－［ジョブフォルダ］で［ジョブフォルダの定義］ダイアログボックスを開きます。変更先のフォルダパスを指定し、ジョブフォルダを再作成します。
3. 変更元のジョブフォルダに存在した実ファイルを 2.で指定したフォルダパスに複写します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のコマンドで、ジョブネット名を変更する手順と、変更されたことを確認する方法を教えてください。

A: ジョブネット名を変更するコマンドは存在しません。そのため、以下の手順で変更および確認をしてください。

1. jobschsetnet -ncpy(V13.7.0 以前は-ncop)コマンドで複写先ジョブネット名に変更するジョブネット名を指定します。

   jobschsetnet -ncpy 複写元プロジェクト名／複写元ジョブネット名 複写先プロジェクト名／
   複写先ジョブネット名

2. jobschprint -r コマンドで複写先ジョブネット名が作成されていることを確認します。なお、標準出力に制御文が出力されます。

   jobschsetnet -r 複写先プロジェクト名／複写先ジョブネット名

3. jobschsetnet コマンドで複写元ジョブネットを削除します。

   jobschsetnet -ndel 複写元プロジェクト名／複写元ジョブネット名

4. jobschprint -r コマンドで複写元ジョブネット名が削除されていることを確認します。なお、標準出力に「ジョブネットが存在しません」とメッセージが表示されます。

   jobschsetnet -r 複写元プロジェクト名／複写元ジョブネット名

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブおよびジョブネットの修正ミスに備えて定義のバックアップ／リストアをポリシーの抽出／配付で行いたいと考えています。ジョブおよびジョブネットだけの修正を行う場合、ポリシーを抽出する際にはどの項目を抽出すればよいですか？

A: ［登録情報］シートで［スケジュール・起動日雛形］を選択してください。
なお、ジョブおよびジョブネットだけのバックアップ／リストアは以下の方法でもできます。

■バックアップ
jobschprint -r プロジェクト名／ジョブネット名 -detail > ジョブネット名.txt

■リストア
jobschsetnet -nche プロジェクト名 ジョブネット名.txt

上記コマンドはジョブネットごとに実施する必要があります。なお、この方法はサービスを停止する必要がないので、他のジョブネットに影響を与えません。そのため、修正するジョブネットの数が少ない場合に有効な方法です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行継続モードの設定の有無によって、ローカルジョブの実行結果に違いは発生しますか？

A: 違いは発生しません。
ローカルジョブについては、実行継続モードの設定の有無に関わらず、サーバダウン時に実行中だった場合、終了コード 239 で異常終了になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットで 255 個を超えるメッセージ事象を受信した場合、エラーになるのか教えてください。

A: エラーにはなりません。ただし、受信側のジョブネットでは 255 個を超えるメッセージ事象は認識されません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントから IP アドレス指定でサーバに接続しています。クライアント側でサーバのホスト名および IP アドレスを「hosts」ファイルに定義する必要はありますか？

A: 必要ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット異常終了出口プログラムを作成予定です。リファレンスマニュアルには、C 言語で作成した例が記載されていましたが、シェルスクリプトでも実現できますか？

A: シェルスクリプトでも実現できます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 移行用退避（swmove）コマンドで退避される資源には、ジョブに登録されているコマンドも含まれますか？

A: 含まれません。
Systemwalker Operation Manager で設定しているジョブなどの定義情報だけになります。そのため、ジョブに登録しているコマンドなどのお客様資産は別途移行する必要があります。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のマニュアル「導入ガイド」の「A.4 ジョブ実行制御に関する情報」に書かれているジョブ実行制御のスプールディレクトリはバックアップする必要があるのかないのか教えてください。

A: バックアップする必要はありません。
スプールディレクトリは一時ファイル格納パスです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint -l コマンドに前年（昨年）の年月を指定して実行した場合、正常に表示できますか？

A: 正常に表示できません。以下のエラーが表示されます。
MpJobsch: ERROR: 0413: 年の指定に誤りがあります

Systemwalker Operation Manager では、スケジュール情報を 3 年分（今年、来年、および再来年）保持しています。年が変わるタイミングで前年（昨年）分は削除され、再来年分のスケジュールが追加されます。また、3 年後以降のスケジュールも作成前のため保持していません。

このため、jobschprint -l コマンドでは、前年（昨年）分および 3 年後以降の結果は表示できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］の設定は、間隔起動やメッセージ事象発生時を起動条件にしているジョブネットでは有効になりませんか？

A: 有効にはなりません。

間隔起動やメッセージ事象発生時を起動条件にしているジョブネットでは有効にはなりません。時刻起動の指定が１つだけ（１日１回起動）の場合に有効になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの中に 5 個の連続するジョブがあります。その中の 2 個目のジョブが異常終了しました。その際に［リカバリ操作］で［指定のジョブから起動］を選択することで、エラーが発生したジョブから再実行できますか？

A: 再実行できます。
2 個目のジョブを選択し、右クリックして［リカバリ操作］－［指定のジョブから起動］を選択することで、エラーが発生したジョブから再実行できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、グローバルサーバ連携のジョブを実行した際に終了コード 128 で異常終了になりました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブ作成時に選択するアイコンと、連携しているホストが異なっていることが原因です。

［対処方法］
連携しているホストが MSP であれば MSP のアイコンを、XSP であれば XSP のアイコンを使用してジョブを登録してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ構成で切り替えを行った際、以下のエラーメッセージが表示され、Systemwalker Operation Manager が起動できませんでした。
クラスタソフトのメッセージ
「Process(/opt/FJSVJMCMN/etc/script/omgr_smonitor) has stopped.」
Systemwalker Operation Manager のメッセージ
「MpMjes: ERROR: 10063: mjsdaemon : The environment of the sub-system number does not exist.」
原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
デーモンの起動に必要なディレクトリを参照できない（マウントされていない）ことが原因です。

［対処方法］
デーモンの起動に必要なディレクトリを参照できるよう（マウント済み）にしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ構成（2 ノード相互待機）で切り替えを行った際に、Systemwalker Operation Manager の起動ができませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
カレンダなどのデーモン／サービスが起動されていなかったためにジョブスケジューラデーモン／サービスの起動に失敗している可能性があります。

［対処方法］
フェールオーバまたはフェールバックを行う場合、クラスタ運用しないデーモン／サービスは起動したままにしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、サブシステム 0 が起動しません。起動されるタイミングと、起動しない原因を教えてください。

A: サブシステム 0 はサーバ起動時に起動されます。
起動しない原因としては、デーモンの自動起動および停止設定に問題がある可能性があります。以下のマニュアルを参照して、設定を見直してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 2 章 導入
2.2 インストール
2.2.3 デーモンの自動起動・停止設定の解除

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、ホスト連携処理で異常が発生しました。ホスト側のログを見る限りでは、異常は発生していないようです。原因について教えてください。
なお、エラーメッセージ「mfexecu:GJL111E:受信に失敗しました。」が出力されていました。

A: ジョブ終了後に結果を取得する通信において、通信エラーが発生したことが原因です。
現象発生時間帯において、サーバとホスト間の通信で異常がなかったか、OS（ネットワーク）の観点で調査してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition V13.2.0 以前で、登録できるプロジェクトの最大数（256 まで）を拡張することはできますか？

A: 拡張することはできません。
そのため、サブシステムを分けて運用してください。または、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 では、登録できるプロジェクトの

最大数が 1000 に拡張されているため、V13.3.0 以降の利用を検討してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: qsub コマンドでジョブを実行した際、「ジョブ名.o ジョブ番号」、「ジョブ名.e ジョブ番号」、および「ジョブ名.l ジョブ番号」の 3 つのファイルが作成されますが、指定した場所に作成するオプションがあれば教えてください。

A: qsub コマンドでジョブを実行する際に、-o [path-name]stdout-file および-eo オプションを指定してください。または、-o [path-name]stdout-file および-e [path-name]stderr-file オプションを指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトの所有者権限と更新権限を保持しているユーザーID のユーザー名はそのままで、UID を変更する手順を教えてください。また、その際の注意点等があれば教えてください。

A: UID を変更する際は、Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止してから行ってください。
Systemwalker Operation Manager では、内部的に UID を意識して作成していません。該当ユーザーが所有しているプロジェクトに登録されているジョブが実行中に変更された場合、正しく動作しない可能性があります。
なお、UID を変更した場合、該当ユーザーが OWNER になっているファイルの UID もすべて変更してください。
Systemwalker Operation Manager のインストールディレクトリ配下に該当ユーザーが OWNER になっているファイルがある場合も、該当ファイルの UID を変更してください。ファイルの変更後、デーモンを再起動してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 終了を待たずにデマンドジョブをいくつも起動することはできますか？

A: ジョブを多重で起動することはできます。
qsub コマンドでジョブを投入した場合でも、GUI 画面からジョブを投入した場合でも同様にできます。
ジョブを投入するとキューに渡されます。キューでは何多重まで同時実行できるかを指定できます。
qsub コマンドや GUI からジョブを投入すると、渡されたキューで設定してある同時実行可能ジョブ数だけ、ジョブを同時実行できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: qsub コマンドは、ジョブの終了を待ち合わせないで、ジョブがキューに投入された時点で復帰しますが、Systemwalker Operation Manager の画面上からジョブを投入した場合も同様の動作になりますか？

A: 同様の動作になります。
なお、画面上からジョブを投入した場合、ジョブを投入した旨のポップアップメッセージが出力されてジョブの投入が完了します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、ジョブの出力情報に「GS:getwrk:エラー:獲得する業務一覧情報がありません。」というメッセージが出てきます。正常終了、異常終了等に関わらず出力されていますが、どのような経緯で出力されるものですか？

A: SymfoNET 側における業務管理簿に業務が定義されていない時に出力されます。これは、SymfoNET／基本運用側で出力されるメッセージです。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、サブシステムを構築した場合、Systemwalker Operation Manager クライアントからはどのように見えますか？

A: サブシステム単位で以下の項目が選択でき、サブシステムごとの情報を確認できるようになります。

- ジョブスケジューラ
- ジョブ
- キュー

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、ポリシーの抽出／配付を行いましたが、Global Enterprise Edition 固有の設定は配付されませんでした。Global Enterprise Edition の設定はポリシーの抽出対象外ですか？

A: 抽出対象外です。
Global Enterprise Edition 固有の設定（業務パスワードなど）はポリシー抽出の対象外になります。
そのため、Global Enterprise Edition の設定は配付先のサーバで再定義してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブのパラメタ欄を更新時に「ジョブ情報の一部が更新できませんでした。再度、ジョブネットを保存してください。」のエラーが発生しました。原因と対処方法について教えてください。

A: **［原因］**
Systemwalker Operation Manager のクライアント端末上のファイアウォールの設定で、ポート番号「9352/tcp」が利用できなかった可能性があります。

［対処方法］
クライアント端末上のファイアウォールの設定を見直してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［起動日］シートを選択できません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブネットのプロパティの［基本情報］シートで起動条件を［なし］に設定しているためです。

［対処方法］
起動条件を［なし］以外の設定にしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 毎日 19:30 に起動されるジョブが起動されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブネットが起動時刻前に停止操作されていたため起動できなかった可能性があります。

［対処方法］
誤操作を防止するため、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの［ツール］メニューで、［操作確認の設定］を実施し、確認ダイアログを表示するようにしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、運用系と待機系のサーバについて、ジョブスケジューラのアクセス権の設定が同じであることを確認するための方法を教えてください。

A: mkbat コマンドで確認できます。
以下のように-f オプションで指定したファイルの内容を確認することで、ジョブスケジューラのアクセス権を確認してください。
mkbat -f file 名 -j

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット実行中にシステムを再起動した場合、起動予定日時はクリアされてしまいますか？

A: クリアされません。
なお、実行中だったジョブネットは異常終了になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、運用系と待機系のサーバにおいて、ユーザー名が同じでもユーザーID が違っていると、クラスタ切り替え時およびその後の動作に問題が発生しますか？

A: 問題はありません。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobdb(n).log について、ログファイルの inode が変更されることはありますか？

A: あります。
jobdb(n).log は 3 世代で管理しています。すべてのファイルが設定された容量を超えた場合、古い jobdb(n).log を削除後に再作成しています。そのため inode は変更されます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の jobdb(n).log について、ログファイルへのログ出力は追記されるという認識でよいですか？

A: はい。ログファイルには追記で出力しています。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループを 30 分間隔で複数回実行するような設定はできますか？

A: できません。
グループは 1 日 1 回の起動を前提にしているためです。代替方法として、ジョブネットの階層化機能を利用してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: あるメッセージ事象を待ち受けているジョブネットを特定する方法はありますか？

A: あります。
jobschprint -a コマンドの実行結果（ジョブネットのプロパティ情報の出力）からメッセージ事象名で検索してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の画面で［接続ホスト名］コンボボックスに表示されるホストを追加したいのですが、追加方法を教えてください。

A: 監視ホストの定義名で［DEFAULT］を選択し、監視ホストを追加してください。
手順は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.4.1 Systemwalker Operation Manager の監視ホストの定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、プロジェクトへのアクセス権の設定方法について教えてください。

A: 設定方法は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.2 プロジェクトにアクセス権を設定する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キューの多重度とシステムの多重度の違いについて教えてください。

A: キューの多重度は、そのキューで起動している実行ジョブ数の制限値です。
システムの多重度は、そのサブシステムで起動している実行ジョブ数の制限値です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの実行履歴など、ログだけをバックアップ／リストアする方法を教えてください。

A: ログだけをバックアップ／リストアする方法はありません。
「ログファイル切換え出口」を利用したバックアップを検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントで、［発生状況］ボタンで［メッセージ事象一覧］ウィンドウが表示されますが、メッセージの発生回数をカウントするのは意味があるのですか？

A: 意味があります。
［メッセージ事象発生時のみ起動］および［ジョブネット実行中も有効］が指定されているジョブネットの場合、ジョブネットがあと何回連続起動するかを確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ内ジョブネットに登録されているジョブネット中の 1 つのジョブが異常終了したまま日変わり時刻を迎えました。異常終了したジョブは、本日の起動時間を迎えると起動されますか？

A: Systemwalker Operation Manager の設定によって動作が異なります。
確認操作を有効にしていない場合、日変わり時刻の到来とともにスケジュールされ、実行待ちの状態に変わり、起動時間を迎えると起動されます。
確認操作を有効にしている場合、確認操作を行わないと起動されません。
なお、確認操作は、環境設定の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］－［利用機能 1］シートで設定します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: データベースディレクトリの変更方法を教えてください。環境設定の画面でグレーアウトされている状況です。

A: 変更方法はありません。
ジョブスケジューラデーモンが使用するデータベースを格納するディレクトリは固定です。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブは、任意に LANG 指定をしない場合、「LANG=C」で実行されますか？

A: 「LANG=C」で実行されます。
LANG を指定する場合、ジョブの実行ユーザーのスタートアップシェル（.login、.cshrc、または.profile など）、ジョブ、またはアプリケーション内に LANG 環境変数を指定してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントへのログインユーザは、OS のユーザを参照しているのですか？または Systemwalker Operation Manager 独自の一覧を参照しているのですか？独自の一覧を参照している場合、その一覧を抽出する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の拡張ユーザ管理機能が有効であるか無効であるかで異なります。
拡張ユーザ管理機能とは、OS のユーザと紐付けて、Systemwalker Operation Manager 上で独自にユーザ管理を行う機能です。
無効の場合は、OS のユーザでログインします。
有効の場合は、Systemwalker Operation Manager ユーザ（別途定義したユーザ）でログインします。

現在の設定が有効であるか無効であるかは、mpusermode コマンドで確認できます。有効であった場合は、mpusers コマンドでユーザの一覧を抽出できます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: グループ内の先頭ジョブネットは、時刻起動で動作するのですが、これは正常な動作ですか？

A: 正常な動作です。
グループ内の先頭ジョブネットは時刻で起動します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、ジョブネットの登録や修正などを行った場合、ログなどに変更した情報が履歴として出力されますか？

A: どのジョブネットを追加した、変更した、といったログが出力されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システム全体の多重度を 99 から 999 に変更しようと考えています。変更する場合のリソース消費量等の考慮すべき点について教えてください。

A: 多重度を上げることによって、負荷による性能への影響が発生する可能性があります。どの程度の影響が発生するかは、環境（サーバ性能など）に依存するので、事前に検証を実施してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint -r コマンドを実行すると、ジョブネット制御文およびジョブ制御文で指定した情報を取得できますが、階層化ジョブネットの親ジョブネットを指定して、子ジョブネットの制御文を取得できますか？

A: 子ジョブネットの制御文は取得できません。
jobschprint -r コマンドで取得できる制御情報は、コマンドの引数に指定したジョブネットだけです。そのジョブネットに子ジョブネットが含まれていても、子ジョブネットの内容までは取得できません。
子ジョブネットについては、別途 jobschprint -r コマンドで制御文を取得する必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ハードディスクの復旧作業を実施しています。/var/opt だけを最新にして、他の領域を過去にバックアップした Systemwalker Operation Manager の情報でリストアしようとしているが動作保証されますか？

A: 動作保証していません。
Systemwalker Operation Manager のリストアは、Systemwalker Operation Manager が提供している方法で実施してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 間隔起動で起動するジョブネットについて、次の間隔起動の時間が到来してもジョブネットが実行中だったときの動作について教えてください。

A: その回のジョブネットは、実行拒否となり実行されません。
なお、さらに次の間隔起動の時間到来までにジョブネットの実行が完了していれば、そのタイミングで実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバで使用している sendmail の機能を停止した場合、Systemwalker Operation Manager に影響がないのか教えてください。

A: 影響ありません。
Systemwalker Operation Manager では、sendmail を使用していないので、sendmail の機能を停止しても影響ありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: コマンドで、ジョブネットの状態（実行中、実行待ち、正常終了、異常終了、疑似正常など）を取得する方法を教えてください。

A: jobschprint -n(-N)コマンドで、ジョブネットの状態（実行中、実行待ち、正常終了、異常終了、疑似正常など）を確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントの画面から、現在接続している Systemwalker Operation Manager サーバのホスト名を確認する方法を教えてください。

A: 画面上部にある接続ホスト名のコンボボックスから現在接続しているホスト名を確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 年が変わったタイミングで作成される 3 年後のカレンダのデフォルトをすべて休日にできますか？

A: できます。
カレンダの［年間の休日設定］ですべての日を休日にしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトごとにユーザーおよびアクセス権の一覧をコマンドで出力させる方法を教えてください。

A: mkbat コマンド（-j パラメタ）でアクセス権情報を出力できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ドメイン環境に属している実行サーバがドメインを抜けたあとに、その実行サーバ上でジョブを動作させたときの影響について教えてください。

A: ジョブの実行ユーザーがドメインユーザーであればジョブの起動に失敗します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 特定のジョブネットの状態を取得するコマンドはありますか？

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager で用意しているコマンドは、ジョブネットの状態を一覧で取得するものです。特定のジョブネットの情報を指定して取得することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブをスケジュールしています。起動時刻を変更したいので変更方法を教えてください。

A: ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウの［起動条件］で［時刻起動］の設定を変更してください。
［OK］ボタンをクリックし、再スケジュールの確認画面で［はい］をクリックすると再スケジュールが行われ、反映されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 他のサーバのサービス稼働状態を確認して処理を行うジョブネットを作成したいのですが、サービス状態確認コマンド（chksrv）でほかのサーバのサービス稼働状態も確認できますか？

A: できます。
Systemwalker Operation Manager のネットワークジョブを利用することで、他のサーバのサービス稼働状態を chksrv コマンドで確認できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの登録手順を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager クライアントから、プロジェクトとジョブネットを作成して、ジョブを登録してください。
詳細な手順は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows 版（Windows for Itanium 版ではない）で、電源スケジュールを設定して毎週金曜日にサーバをリブートさせたいです。設定手順を教えてください。

A: 電源制御スケジュールの標準パターンを以下の手順で編集してください。

1. 電源制御スケジュールで、「標準」パターンをダブルクリックして［電源制御パターン］ダイアログボックスを表示させます。
2. （24 時間稼働の場合、）月曜日から日曜日まですべて運転（青）にした上で、金曜日の指定の時間にリブート（ピンク）を設定します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバの再起動時に自動でジョブネットが実行されるように設定した場合、そのジョブネットが実行されるタイミングはいつになりますか？

A: Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンが起動したあとにジョブネットは起動します。
起動条件として［サーバ起動時に起動］を選択した場合、システム（OS）の起動と連動してジョブネットが起動するのではありません。システム（OS）の起動と連動して、Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンが起動して、そのあとにジョブネットが起動します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で 、ジョブネットの削除方法として、スケジュール情報ファイル（*.dbz V13.3.1 以前の場合：*.dbx）を直接削除することは動作保証していますか？

A: 動作保証していません。
ジョブネットを削除する場合は、GUI またはコマンドで削除してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: セキュリティ面や誤操作防止の観点から、Systemwalker Operation Manager クライアントからのサーバ接続を抑止したいです。抑止する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager クライアントには、OS のユーザー認証でログインすることになります。そのため、サーバ接続を抑止するには、サーバ機能を導入しているサーバ上のログイン ID およびパスワードを公開しないなどの対処を実施してください。
なお、Systemwalker Operation Manager では、サーバへの接続を抑止する機能はありませんが、クライアントにログインするユーザーごとにアクセス権を設定する機能を提供しています。これにより、セキュリティ面や誤操作防止を意識した運用を検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブスケジューラ情報印刷］ウィンドウで印刷種別に［ガントチャート］を選択した場合、ジョブネットの表示履歴に制限があるかどうか教えてください。

A: 制限はあります。
ジョブスケジューラ情報印刷でガントチャートを印刷した場合、［ガントチャート］ウィンドウと同様に、当日分の履歴は 24 世代までになります。当日分以外の履歴については、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］で指定したログファイルサイズの 3 世代を上限とした履歴までになります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS のネットワーク機能を停止させてから、OS を再起動するジョブネットを作成しようとしていますが、ネットワークインターフェイス無効時にローカルの JSHFORCE ジョブネットは問題なく実行されますか？

A: ローカルの JSHFORCE ジョブネットは問題なく実行されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バッチファイル起動のジョブを作成しているのですが、ジョブが実行中のままになってしまう現象が発生しました。ジョブの終了タイミングをどのように処理しているのか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、バッチファイルの終了、およびバッチファイルから起動されたプロセスの終了を待ち合わせています。
該当のジョブが実行中のままということは、例えばバッチファイル内のコマンドが実行中のままとなっているなどが考えられます。バッチファイル内の処理が正常に終了しているかを確認してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット内のジョブを 1 分間隔でループさせながら実行させるような設定はありますか？

A: ありません。
代替案としては、ジョブで指定したバッチファイルにおいて、1 分間隔でループさせるような処理を追加することを検討してください。ただし、無限ループにならないようにバッチファイルを作成してください。無限ループになった場合、ジョブを終了できません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13 の環境で jobschprint -r コマンドを実行して出力したジョブネット制御文を、V17 の環境に jobschsetnet -nent コマンドで登録できますか？

A: 登録できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブに登録されているプログラムの終了を待たずにジョブを終了させることはできますか？

A: サーバ業務連携コマンドのアプリケーション起動コマンドで実現できます。
詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 9 章 業務連携コマンド【Windows 版】
9.1 サーバ業務連携コマンド
9.1.1 EXECASVR.EXE アプリケーション起動コマンド

第 10 章 業務連携コマンド【UNIX 版】
10.1 サーバ業務連携コマンド
10.1.1 execasvr アプリケーション起動コマンド

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のバージョンを V13 から V17 に変更しようと考えています。クラスタ環境ではないのですが、実行サーバはクラスタ環境です。その場合、Standard Edition にするべきか、Enterprise Edition にするべきか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager を導入するサーバ自身がクラスタ環境でないのであれば、Standard Edition でも問題ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブごとに実行する OS のユーザーを変更できますか？

A: できます。
以下の設定を実施してください。

- ジョブの［詳細情報］シートにある［実行ユーザ名］の指定
- 環境設定の［運用情報の定義］ウィンドウにある［ジョブを所有者の権限で実行する］の指定
- 環境設定の［ジョブ所有者］で実行ユーザの追加
- ローカルセキュリティポリシーで実行ユーザに「バッチジョブとしてログオン」の権限を設定

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 管理画面にログインする際のユーザー名について、どのユーザーアカウントであれば画面にログインできるか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager で利用しているユーザー管理機能により異なります。
■拡張ユーザ管理機能を利用している場合
登録した Systemwalker Operation Manager のユーザーでログインできます。

■Systemwalker 認証リポジトリを利用している場合（V13.4.0～V16.0.1）
Systemwalker 認証リポジトリ上のユーザーでログインできます。

■上記以外の場合
OS に登録されているユーザーであればログインできます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 間隔起動で動作するジョブネットを登録してあります。起動されない場合、何かメッセージが出力されるのか教えてください。

A: 間隔起動のジョブネットで、ジョブネットが「実行中」または「警告」状態の場合、新たに次の起動条件が満たされると「実行拒否」となり起動されません。この際にイベントログにメッセージを出力させることができます。
設定は、環境設定の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シートで［ジョブネットの状態］の［実行拒否］をチェックしてください。

なお、メッセージは以下が出力されます。

MpJobsch: 警告: 9003: ジョブネットの実行を拒否しました
ジョブネット名称=XXXX ジョブネット名=YYYY プロジェクト名=ZZZZ

XXXX：ジョブネット名称
YYYY：ジョブネット名
ZZZZ：プロジェクト名

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 間隔起動で動作するジョブネットを登録してあります。［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シートで［ジョブネットの起動予定時刻を過ぎても実行されない場合に通知を行う］をチェックしている場合、間隔起動しているジョブネットが起動しないときにメッセージを通知できますか？

A: 本設定では、通知できません。間隔起動のジョブネットは対象外になっています。
間隔起動のジョブネットで、ジョブネットが「実行中」または「警告」状態の場合、新たに次の起動条件が満たされると、起動予定のジョブネットが「実行拒否」となり、実行されません。このときに、イベントログにメッセージを出力させることはできます。

設定は、環境設定の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シートで［ジョブネットの状態］の［実行拒否］をチェックしてください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 先行ジョブネットが発行したメッセージを受け取ると、数日後に後続ジョブネットが走る設定になっています。後続ジョブネットがメッセージを受け取っているかを確認する方法を教えてください。

A: 後続のジョブネットを選択した状態で、メニューの［ツール］から［メッセージ事象一覧］を選択し、その中の［メッセージ事象一覧］の［メッセージ事象］の［発生回数］を確認して、1 回以上になっていればメッセージを受け取っています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント業務連携機能が起動しているか確認する方法を教えてください。

A: クライアント業務連携機能はアイコンで常駐するので、常駐アイコンを確認してください。またプロセス名は「CNSCLENG.exe」です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット操作の「確認」が有効ではない環境において、ジョブネットが異常終了になった場合、再スケジュールを行う（実行待ち状態にする）にはどのようにするのですか？

A: 確認操作が有効でない場合、異常終了のジョブネットは日変わり時刻の到来とともにスケジュールされて、実行待ちの状態になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バッチファイルで分岐して終了コードを設定していますが、そのコードをそのままジョブの終了コードとして渡す方法を教えてください。

A: setecode コマンドを使用することで実現できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: EXECACLI.EXE コマンドを使用し、アプリケーションを起動して、終了を待ち合わせることのできる時間（/WE オプション）がマニュアル上「9600 秒」までになっていますが、この時間を長くすることはできますか？

A: 9600 秒を超える値は設定できません。起動してから終了するまでの時間が、9600 秒以内になるアプリケーションを指定してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: EXECACLI.EXE コマンドを使用し、アプリケーションを起動して、終了を待ち合わせることのできる時間（/WE オプションを使用）を超過してしまった場合に発生するエラーメッセージを教えてください。

A: 以下のエラーメッセージが出力されます。

0xa98f (YYY)：通知イベントの待ち合わせがタイムアウトしました。

YYY：業務連携コマンドが通知するシステムのエラーコード

プラットフォーム　: Windows

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット実行中に、OS のイベントビューアにエラーが出力された場合、Systemwalker Centric Manager でエラー検知をしています。このエラーをトリガーにジョブネットを終了することはできますか？

A: できます。
イベントビューアのエラーを検知した際に、アクションとして、ジョブネットを強制終了させるコマンドを実行してください。

jobschcontrol [プロジェクト名/]ジョブネット名 cancel [-sys サブシステム番号](注)
注）" [-sys サブシステム番号]"は Systemwalker Operation Manager EE のオプションです。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: FTP の設定で「匿名接続を許可する」のチェックを各サーバで外そうと検討しているのですが、Systemwalker Operation Manager としては問題ありませんか？

A: 問題ありません。
Systemwalker Operation Manager では、業務連携機能で FTP を使用する場合がありますが、匿名アクセスすることはありません。パスワード管理簿で一意のユーザーおよびパスワードを利用します。
そのため、Systemwalker Operation Manager では、FTP サイトの匿名接続を許可しない設定でも問題ありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V12

【運用／保守】

Q: 同時に実行される複数のジョブについて、あるジョブで異常終了した影響が、他のジョブに影響を与えることがありますか？

A: ジョブがそれぞれ別のジョブネットに属していて、メッセージ連携も行っていないのであれば、あるジョブが異常終了しても、他のジョブには影響ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ドメイン環境および複数サーバ環境において、ネットワークジョブの実行ユーザーの指定方法を教えてください。

A: プロジェクトの所有者で「ドメイン名¥ユーザー名」を指定してください。
なお、ジョブの詳細情報では実行ユーザーの指定はできません。実行ユーザーに「ドメイン名¥ユーザー名」を指定しても本指定は認識されません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブがどのユーザーで実行されるかを確認する方法を教えてください。

A: whoami コマンドを実行することで確認できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows のサービス「Distributed Link Tracking Client」について、このサービスが停止した場合、Systemwalker Operation Manager で何か考慮すべきことはありますか？

A: Systemwalker Operation Manager として考慮すべきことはありません。ただし、一度検証の上、サービスを停止することを推奨します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント画面を表示したまま運用することを検討しています。サーバ側でクライアントを自動切断するような設定があるのか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のサーバ側でクライアントを自動切断するような設定はありません。
なお、クライアント画面表示中にクライアントとサーバ間のネットワーク接続が切断されたり、サーバ側を再起動した場合などはポップアップメッセージが表示されます。その場合、復旧後に Systemwalker Operation Manager のクライアント画面で、表示したい機能を再選択することで再表示できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが「開始遅延」状態になっています。何か対処が必要ですか？

A: 対処が必要です。
ジョブネットの起動予定時刻に、メッセージ事象が発生していないため、開始遅延状態になっています。メッセージ事象の発行元の状況を確認してください。例えば、メッセージ事象を発生するジョブネットが異常終了していないか確認し、異常終了している場合は、必要な運用対処を実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ事象をクリアする方法を教えてください。また、Systemwalker Operation Manager クライアント側で、削除する方法はありますか？

A: 発生したメッセージ事象をクリアするには、サーバ上で jobschmsgclear コマンドを使用してください。
なお、クライアント側で、発生済みのメッセージ事象を削除することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager を使って、Systemwalker Operation Manager がインストールされていないリモートサーバのバックアップジョブを起動できますか？

A: mjrmtjob コマンドを利用したリモートマシンでのジョブ実行機能により、Systemwalker Operation Manager がインストールされていないサーバ上のジョブを起動することができます。（Linux 版 V13.9.0 以降、または、Windows 版/Solaris 版 V16.0.0 以降）
なお、上記より古いバージョンレベルの Systemwalker Operation Manager ではできません。リモートシェルを Systemwalker Operation Manager のインストールされているマシンで実行してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブをスタートアップアカウントから所有者の権限で実行するように設定を変更した場合、設定が正常に反映されているか確認する方法を教えてください。

A: ジョブの中で OS の whoami コマンドを実行することで、実行ユーザーを確認できます。また、ジョブに登録されているバッチファイルなどで、whoami コマンドを実行すると、ジョブの前回履歴に実行ユーザーが出力されます。ジョブの登録画面にあるコマンド欄に直接記述して実行する場合は「cmd.exe /c whoami」を指定してください。whoami 実行結果の中の USERDOMAIN、USERNAME で確認できます。
なお、OS によっては、whoami コマンドがデフォルトでインストールされていない場合があります。必要に応じて OS のリソースキットなどを入手してインストールしてください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 9:00 から 17:00 まで 5 分間隔で起動するジョブネットがあります。そのジョブネットを 12:00 から 13:00 の間は起動させたくない日がありますが、そのような設定はできますか？

A: できません。
間隔起動のジョブネットを、ある時間帯だけ起動させない設定はありません。
代替方法として、12:00 から 13:00 の間は起動させたくない日について、既存のジョブネットを複写して、9:00 から 12:00 まで 5 分間隔で起動するジョブネットと、13:00 から 17:00 まで 5 分間隔で起動するジョブネットでの運用を検討してください。

なお、既存のジョブネットと、新たに登録した各ジョブネットについては、重複起動しないように起動日を設定してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 先頭ジョブで jobschctljob.exe を実行して後続ジョブを停止した場合、後続ジョブは停止中になります。この状態の場合、後続ジョブは多重度にカウントされますか？

A: 停止中のジョブは、多重度にカウントされません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 削除したジョブネットの情報はどこかに格納されていますか？また戻すことはできますか？

A: ジョブネットの削除後は、ジョブネット情報およびジョブ情報はサーバ上から削除されます。
また、戻すためには、バックアップデータをリストアするか、ジョブネットの再登録を実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サービス起動時の後処理として、Windows のコマンドを実行させることはできますか？

A: できます。
Windows のコマンドをジョブとして登録し、そのジョブを登録したジョブネットの起動条件として［サーバ起動時に起動］を設定してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: レジストリの「RegisteredOrganization」使用者組織名および「RegisteredOwner」使用者名を変更した場合、Systemwalker Operation Manager で設定変更が必要ですか？

A: 設定を変更する必要はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの中でジョブを動かす時に一度 sleep させる機能はありますか？

A: V13.8.0 以降では、あります。
ジョブを一定時間待った後、実行させることができます。ジョブネット内で、実行開始を一定時間待たせたいジョブの先行ジョブとして、指定時間待ち合わせジョブ(jobchsleep コマンド)をスケジュールします。指定時間待ち合わせジョブに待ち合わせたい時間を指定すると、指定時間経過するまでジョブが完了しません。指定時間経過するとジョブが完了し、後続ジョブが起動します。

V13.70 以前のバージョンレベルでは、本機能はありません。代替案として、OS が提供するコマンド「sleep」を使って、sleep するジョブをジョブネット内に作成することを検討してください。
また、V13.4.0 以前のバージョンレベルでは、技術情報サイトで提供しているコンビニエンスツールを使用することで、実現できます。

Systemwalker Operation Manager 技術情報一覧
→コンビニエンスツール

Systemwalker Operation Manager アシストツール ユーザーズガイド コンビニエンスツール編
第 1 章 概要
1.2 コンビニエンスツールを使ってどんなことができるか
第 2 章 コンビニエンスツールの使用方法
2.2 Sleep コマンドの使用方法【Windows 版】

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 同一曜日に起動するジョブネット A およびジョブネット B が存在し、それぞれのジョブネットを毎週交互に実行したいです。設定方法を教えてください。

A: 2 つのジョブネットを交互に起動する機能はないため、ジョブネットが 1 週間ごとに交互に起動するような仕組みを作成する必要があります。
以下に作成例を示します。

■ジョブネット A
起動日:X 曜日
起動条件:メッセージ A が発生した時に起動
最終ジョブでファイル Y を作成する。

■ジョブネット B
起動日:X 曜日
起動条件:メッセージ B が発生した時に起動
最終ジョブでファイル Y を削除する。

■ジョブネット C
起動日:X 曜日
起動条件:時刻起動
chkfile または jobschchkfile コマンドを利用し、ファイル Y の存在有無に応じ、発行するメッセージを以下のように切り替えるジョブを登録する。

ファイル Y がないとき、メッセージ A を発行する。
ファイル Y があるとき、メッセージ B を発行する。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バックアップが途中で失敗した場合、そのバックアップデータはリストアデータとして使用できますか？

A: バックアップの途中で失敗したデータは、リストア時に使用できません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システム変更のため、レジストリ設定で HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlset¥Control¥FileSystem の NtfsDisable8dot3NameCreation=0（互換モード）を NtfsDisable8dot3NameCreation=1（旧システム互換機能を無効化）に変更する予定です。Systemwalker Operation Manager で問題が発生するかを教えてください。

A: 「NtfsDisable8dot3NameCreation」のレジストリ設定の変更による問題は発生しません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Java Plug-in v6.1.1 をサーバにインストールしても、Systemwalker Operation Manager では影響を受けませんか？

A: Java Plug-in の更新に伴う Systemwalker Operation Manager への影響はありません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブを所有者の権限で実行する］定義を保存しました。状態が反映されたかどうかを確認する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の初期化ファイルの execasuser パラメタを確認することで、［ジョブ所有者の権限で実行する］が有効か無効かの確認ができます。初期化ファイルの格納場所は以下のとおりです。
Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥
MpWalker.JM¥mpmjessv¥user¥initfile.txt

初期化ファイルに execasuser パラメタが存在する場合、設定は有効です。また execasuser パラメタが存在しない場合、設定は無効です。

なお、設定変更後にジョブ実行制御サービスを再起動する必要があります。再起動は、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの［サービス制御］－［制御対象］から［ジョブ実行制御］を選択し、［開始］ボタンをクリックしてください。
クラスタ運用している場合は、再起動方法が異なります。クラスタ適用ガイド Windows 編を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 親ジョブネット配下の子ジョブネットを起動する条件として、メッセージ事象を待ち合わせることはできますか？

A: 子ジョブネットの起動条件としてメッセージ事象を定義することはできません。
メッセージ事象待ち合わせジョブを子ジョブネットの先行ジョブとして定義することで、対象のメッセージ事象発生後に、子ジョブネットを起動させる運用が可能です。(V13.8.0 以降)

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 正常終了コードの上限値を 1 以上に設定しているジョブについて、ほかのジョブからそのジョブが終了コード 0 で終了しているのか、それとも 1 以上に設定した正常終了コードの上限値より小さい値で終了しているかを判別できませんか？

A: できます。
jobschprint -p コマンドでジョブの状態を確認できます。
また、環境設定で［疑似正常を有効とする］を有効にすることで、終了コード 0 で終了しているのか、0 以外で正常終了しているのかを判別できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドで、メッセージ事象を発生させた場合、ジョブネット単位にそのメッセージ事象が発生したかどうかを確認する方法を教えてください。

A: コマンドの場合は、jobschprint -a コマンドで確認してください。
GUI の場合は、［メッセージ事象一覧］ウィンドウで確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの実行時間を特定の時間内に限定し、ジョブネットが指定時刻に終了しなかった場合、強制終了させる設定はできますか？

A: できません。
ジョブネットには打ち切り時間を設定することはできません。
打ち切り時間はジョブ単位に設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが指定の時間内に終わらなかった場合、終了遅延を連絡する検知メッセージなどを出力させることはできますか？

A: できます。
ジョブネットに設定した終了予定時刻や実行予測時間をもとに、OS の SYSLOG またはイベントログに処理の遅延を通知することができます。
この通知メッセージを終了遅延検知に利用してください。

■V13.3.0 以降のバージョン／レベルの場合の設定例
1. ジョブネットの終了予定時刻／実行予測時間を設定します。
2. ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シート－［イベント出力］の［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］をチェックします。
3. ［ジョブ／ジョブネットの遅延監視管理］（V13.3.0 以前のバージョン／レベルの場合は、［デザイアドステート管理］）の［ジョブの実行予測時間を過ぎても終了しない場合に通知を行う］を有効にします。

■V13.2.0 までのバージョン／レベルの場合の設定例
1. ジョブネットの終了予定時刻／実行予測時間を設定します。
2. ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シート－［デザイアドステート管理］の、［ジョブの実行予測時間を過ぎても終了しない場合に通知を行う］を有効にします。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループを作成する際、ジョブネットを 2 つ用意して、それぞれの時刻で起動するように指定をしたいです。設定方法を教えてください。

A: グループの登録画面からジョブネットをダブルクリック後の［登録－ジョブネット］ウィンドウにおいて［起動時刻有効］にチェックすることで、該当ジョブネットは先行ジョブネットが終了しても指定した時刻まで待って起動します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ構成で動作する Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のジョブネットについて、実行中のまま切り替わって異常終了したジョブネットを自動的に再起動させる方法を教えてください。

A: 自動起動させるためのサンプルプログラムを提供していますので、サンプルプログラムの利用を検討してください。
サンプルプログラムについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド
第 2 章 導入

2.10(または 2.11) ジョブを再起動させる設定

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットを作成する際に必要となる設定項目の詳細を教えてください。

A: 各設定項目の詳細はオンラインヘルプに記載しています。
オンラインヘルプは、［Systemwalker Operation Manager］－［リファレンスヘルプ］で参照できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Oracle の文字コードを変更します。NLS_LANG の値の変更によって、Systemwalker Operation Manager に影響が出るか教えてください。

A: 影響はありません。
登録しているシェルの実行環境がそのままで、動作に問題がないかは Oracle 側にご確認をお願いします。
ただし、シェルの実行環境（実行ユーザーの LANG）を変更する場合、前回履歴の内容が文字化けするなどの問題が発生します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが打ち切り時間によって強制終了された場合、リカバリジョブが実行されるかどうか教えてください。

A: 実行されます。
打ち切り時間を迎えた場合、ジョブのステータスは異常終了（終了コード：255、詳細コード：40000322）になり、リカバリジョブは実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの間隔起動の開始時間にサーバが停止していた状態からサーバを起動する場合、自動で間隔起動は実行されますか？

A: 自動で間隔起動のジョブネットは実行されます。
間隔起動のジョブネットの開始時間にサーバが停止していた場合は、サーバ起動後、間隔起動のスケジュールに沿って自動でジョブネットが起動されます。手動起動する必要はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 認証局証明書を使用する Java アプリケーションはありますか？

A: ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、［時刻起動］のジョブネットと、［サーバ起動時に起動］のジョブネットがあります。この 2 つのジョブネットを停止状態とし、システムを停止した状態で起動時刻をまたぎ、そのあとにシステムを起動した場合、ジョブネットはどのような動作をしますか？

A: 以下の 3 つ起動条件のジョブネットの場合を例に挙げて、回答いたします。

1. ［時刻起動］
2. ［時刻起動］かつ［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］が指定
3. ［サーバ起動時に起動］

システムを停止した状態で起動時刻をまたぎ、そのあとにシステムを起動した場合、各ジョブネットは停止状態が継続されます。この状態で各ジョブネットの「停止解除」をした場合、2.および 3.のジョブネットだけ即起動されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Oracle をバージョンアップをすることで、Systemwalker Operation Manager 側で何か設定変更が必要ですか？

A: Oracle をバージョンアップしても、Systemwalker Operation Manager の設定変更は不要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの定義の変更コマンドで、すでにメッセージが発行されているものに対してジョブ定義変更を行った場合、引継ぎされますか？

A: 引継ぎされません。
ジョブネットのプロパティにおいて、ジョブネットのスケジュールに関する設定を変更した場合、ジョブネットは再スケジュールされ、メッセージ事象はクリアされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー配付時に配付する機能などを選択できますか？

A: 配付時にはできません。抽出時に配付したいポリシーを抽出しておいてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の機能すべての保守情報を収集するため swcolinf コマンドを実行する場合、オプションとして「-i all」と「-i server」のどちらを付与するのがよいですか？

A: 「-i all」オプションを付与してください。
「-i all」オプションでは、Systemwalker Operation Manager のすべての機能に関する情報が採取できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ミラーリングの解体にともない、デバイス名の変更が生じます。Systemwalker Operation Manager への影響はありますか？

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager はデバイス名を意識して処理をしていないのでデバイス名の変更による影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクト登録作業は他のジョブが起動しているタイミングに行っても問題ないか教えてください。

A: 問題ありません。
他のジョブが動作中でもプロジェクトを新規作成できます。また、特別な注意事項はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 何も対処されないで放置されたままの異常終了ジョブネットを、検知する機能や方法があれば教えてください。

A: 異常時の確認操作（確認操作を有効とする）が有効な場合は、［ジョブネットの管理］ウィンドウの絞り込みで、［異常終了］で絞り込むことで検知できます。
異常時の確認操作（確認操作を有効とする）が有効でない場合は、同様に［異常終了］で絞り込みを実施した場合、対処済、未対処を含めた異常終了状態のジョブネットで絞り込まれます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 定時起動でシェルスクリプトを動かしています。そのシェルスクリプトで、echo を使用して文字を出力をさせていますが、出力させた文字はどこで参照できるか教えてください。

A: echo の内容は Systemwalker Operation Manager の前回履歴の内容を確認することで参照できます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition インストール直後の状態で OS のバックアップを行い、リストアされた環境に、サブシステムありの状態の mpbko で採取したバックアップ資源をリストアすることはできますか？

A: できません。
Systemwalker Operation Manager インストール直後の状態では、サブシステムありのバックアップデータをリストアすることができません。事前にサブシステムを追加してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループに属している 2 つのジョブネットがあり、後続ジョブネットの起動条件がメッセージ事象です。先行ジョブが正常終了し、後続ジョブがメッセージの発生待ちになった場合、グループの状態はどのようになりますか？

A: グループの後続ジョブネットはメッセージが発生するまで実行待ちの状態になり、その間、グループ自体は実行中の状態となります。メッセージが発行されてジョブネットが正常終了するとグループ自体が正常終了します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS の内部コマンドを Systemwalker Operation Manager のジョブで実行する方法を教えてください。

A: バッチプログラム（.BAT）にしたり、cmd.exe をコマンド欄に指定し、オプションとして OS の内部コマンドを呼び出してください。
Systemwalker Operation Manager では OS の内部コマンドをそのままジョブとして実行することができません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschcontrol コマンドで別サーバのジョブネットを起動できますか？

A: できません。
このため jobschcontrol コマンドを実行するジョブを、別サーバへのネットワークジョブとして実行させてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット制御文の「offsetmode DAY」の意味について教えてください。

A: offsetmode DAY 制御文は、休日には関係なく、絶対日数で起動日シフトを行うという意味です。
offsetmode DAY 制御文は、ジョブネットのプロパティで［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［起動日］シートの［稼働日］のチェックがない場合に出力されます。

なお［稼働日］のチェックを外した場合は、暦日でシフトを行います。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 終了処理ジョブネットを利用してリブートを実現させたいです。JSHEND ジョブネットの動作について教えてください。

A: JSHEND ジョブネットが正常終了すると、正常終了シャットダウン出口が起動し、この出口で記述されているシャットダウンコマンドの実行によって、シャットダウンまたはリブートができます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows Update でパッチ適用予定ですが問題ありませんか？

A: 問題ありません。
Systemwalker Operation Manager では最新の OS の修正状態をサポートします。したがって、Windows Update で修正適用しても問題ありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット制御文およびジョブ制御文で指定された情報を出力する jobschprint コマンドを動かすときにシステムに負荷がかかりますか？

A: システムが Systemwalker Operation Manager の動作要求スペックを満たしている場合、jobschprint コマンドの実行でシステムに甚大な負荷を与えることはありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: リモートデスクトップで Systemwalker Operation Manager のサーバを操作できますか？

A: Systemwalker Operation Manager V13.3 以降の場合はできますが、V13.2 以前の場合はできません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows Management Instrumentation サービス（WMI サービス）を停止した場合、Systemwalker Operation Manager には影響がありますか？

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager は Windows Management Instrumentation サービス（WMI サービス）に依存してないため、WMI サービスを停止しても動作に影響はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 現在 hosts ファイルに自身の IP アドレスとホスト名だけを記述していますが、エイリアスを追加する予定です。Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありませんか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS の/userva スイッチを使用してシステム領域からユーザーメモリ領域を確保しようと思います。Systemwalker Operation Manager は動作保証しますか？

A: 動作保証しません。
OS の/userva スイッチを使用してユーザーメモリを増やすことは、Systemwalker Operation Manager ではサポート対象外です。
/userva スイッチを利用した場合、デスクトップヒープを代表とするリソース量が比例して小さくなります。そのため、リソース不足により、サービスおよびアプリケーションが正常に動作しなくなる可能性があります。
なお、/userva スイッチを使用した場合、Systemwalker Operation Manager だけではなくシステム全体が正常に動作できなくなる可能性があります。お客様責任において十分検証されることをお願いします。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの終了コードに 2 が返却されています。本当にシェルスクリプトが 2 を返却しているのか確認する方法を教えてください。

A: 終了コードを確認したいシェルスクリプトを呼び出すシェルスクリプトを作成し、その親シェルスクリプトで子シェルスクリプトの終了コードを確認してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 別サーバに発行したイベントもメールアクション実行の対象になりますか？

A: メールアクション実行の対象になりません。
Systemwalker Operation Manager では自サーバ上で発生したイベントを契機としたメールの送信はできますが、別サーバ上で発生したメッセージについては監視できません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition では、クラスタの切り替えや電源の切断を契機として、待ち受けているメッセージは消えますか？

A: クラスタの切り替えおよび電源の切断では待ち受けているメッセージは消えません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ事象機能の待ち受けているメッセージが消される契機を教えてください。

A: 以下を契機として、待ち受けているメッセージが消えます。

- jobschmsgclear コマンドを実行した場合
- ジョブネットのプロパティ変更時（jobschsetnet -nche コマンドを使用し、変更した場合もメッセージは消えます）
- ジョブネット起動時
- ジョブネットの起動条件が［メッセージ事象発生時のみ起動］で 1 日 1 回が指定されている場合の日変わり時刻時

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュール設定機能で、月末指定の起動日設定はできますか？

A: できます。
以下の方法で設定してください。

該当のジョブネットを右クリックし、［プロパティ］を選択して［ジョブネットのプロパティ］画面を表示します。

■V13.4.0 以降の場合

1. ［起動日］シートの起動日エリアで［直接指定］を選択し、［編集］ボタンをクリックして、［起動日（直接指定）］ウィンドウを開きます。
2. ［基準の設定］エリアの［毎月］を選択し、［月末の日を起動日にする］をチェックします。

■V13.3.1 以前の場合
［起動日］シートを選択し、以下の設定だけを行ってください。

- 基準情報：毎月
- 毎月基準：月末にチェック

該当のジョブネットを右クリックし、［起動日］を選択します。設定した内容が意図したとおりになっていることを確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 拡張ユーザ設定を実施した場合、OS ユーザーを使用した処理に影響はありますか？

A: ありません。
拡張ユーザ管理機能は Systemwalker Operation Manager の利用ユーザーを拡張するものであり、拡張されたユーザーは Systemwalker Operation Manager だけで管理しています。OS 側では Systemwalker Operation Manager で拡張されたユーザーを意識しません。このため、OS ユーザーを使用しての処理に影響が出ることはありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 2009 年 1 月 1 日 8 時 59 分 60 秒のうるう秒と同様に、今後うるう秒が発生した場合、Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サブシステムを追加するにあたり kernel.msgmni の値を増やした場合、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition に影響はありますか？

A: 影響はありません。
Systemwalker Operation Manager としては、kernel.msgmni の値が「4×利用サブシステムの数」分確保されていればよく、その確保された分を Systemwalker Operation Manager で使用するだけの動きになりますので、kernel.msgmnb の値を必要以上に増やしたことによる影響はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: IPv6 に対応していますか？

A: Systemwalker Operation Manager は、V13.6.0 以降で IPv6 に対応しています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: chkfile.exe -update で指定パスにファイルが置かれたあとに chkfile.exe が起動した場合、どのような動作になりますか？

A: 指定パスのファイルが更新されない限り終了しません。
-update オプションは、ファイルが存在しない場合は、作成されるまで待ちます。ファイルが存在した場合は、更新されるまで待つことを指定します。
また、-update、-wait、および-delete（V13.8.0 以降の場合は、さらに-fwait、-fdelete、-fupdate、-fsize も）がない場合は、ファイルの存在チェックだけを実施し、すぐに復帰します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの有効期間を GUI 以外で変更する方法について教えてください。

A: jobschprint -r コマンドを使用してジョブネット制御文を出力し、有効期間を修正したあと、jobschsetnet コマンドで変更登録してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブスケジューラのジョブネット名、起動タイミング、ジョブ名、コマンド名、ジョブの開始時刻、およびジョブの終了時刻の情報を標準出力に出力できますか？また、その出力でシステムが停止するなどの影響はありませんか？

A: jobschprint コマンドでジョブスケジューラが管理している情報を標準出力(stdout)に出力できます。jobschprint コマンドの実行でシステムが停止するなどの影響はありません。
ジョブの開始時刻／終了時刻以外の情報を出力するには、jobschprint -r コマンドをジョブネットごとに実行してください。
ジョブの開始時刻およびジョブの終了時刻を出力するには jobschprint -n コマンドを実行してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のすべてのプロジェクトに対して新規ユーザーに参照権を付与したいです。複数のプロジェクトに対して一括で権限を付与する方法はありますか？

A: Systemwalker Operation Manager には一括ですべてのプロジェクトに対して権限を付与する機能はありませんが、mpsetacl コマンドでプロジェクトに対して権限を付与するバッチファイルを作成して実行することで実現できます。
例えば、Pro1 および Pro2 というプロジェクトに対して、test というユーザーに参照権を付与する場合は以下のバッチファイルを作成してください。

```
mpsetacl -a -t "mpjobsch¥schedule¥Pro1" -u "test" -p r
mpsetacl -a -t "mpjobsch¥schedule¥Pro2" -u "test" -p r
```

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブに関して、ジョブの実行を実行サーバ側で抑止する方法を教えてください。

A: 環境設定にある信頼ホストの定義で設定してください。
ネットワークジョブなど、他サーバからのジョブの依頼の許可／拒否については、Systemwalker Operation Manager の環境設定にある信頼ホストの定義で設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 障害発生時、調査資料として保守情報の採取を行っています。Systemwalker Operation Manager では必要な情報だけを選択して採取することはできますか？

A: 保守情報収集では、採取する機能を選択することができ、機能を絞り込むことができます。
ただし、保守情報の採取時に、発生事象がどの機能によるものか判断する必要があります。また、調査の結果、当初絞り込んで採取した機能とは別な機能の資料が必要となる場合は、複数回の資料の採取が必要です。さらに、日時が経過するとログなどの情報が上書きされるため、再度事象発生時に保守情報の採取が必要となる場合もあります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットに設定されている起動時間の一覧を確認する方法を教えてください。

A: jobschprint -a コマンドで登録しているジョブネットの定義情報を抽出して確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブに登録したバッチファイルから Linkexpress のコマンドなどを実行していますが、ジョブはコマンドが実行された時点で正常終了となるのか、コマンドの復帰を待って正常終了となるのかわかりません。ジョブが終了するタイミングを教えてください。

A: ジョブを登録する時に選択するジョブアイコンの違いによって、ジョブが終了するタイミングは異なります。

■ジョブアイコンが［コマンド実行］の場合
ジョブは、バッチファイルとコマンドの両方が終了した時に終了します。

■ジョブアイコンが［サーバアプリケーション起動］の場合
ジョブは、バッチファイルを起動した時点で正常終了になります。したがって、以下のタイミングでジョブが正常終了することはありません。

- コマンドが実行された時
- コマンドが復帰した時

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブを実行する際の実行ファイルやバッチファイルは、スケジュールサーバか実行サーバのどちらに配置するのか教えてください。

A: ジョブのプロパティの［詳細情報］シートの［実行コマンドの転送］にチェックをしない場合は、実行サーバに実行ファイルやバッチファイルを配置してください。
［実行コマンドの転送］にチェックをする場合は、［コマンド］欄に記載された実行プログラムが実行サーバに転送されて、実行サーバ上で実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント画面で、プロジェクトが展開された表示のまま画面を閉じた場合、再度開いた時に、閉じたところからプロジェクトを再開することはできますか？

A: 一旦クライアント画面を閉じたり、ジョブスケジューラ以外が選択された場合、ツリーの情報が破棄されます。そのため、次回クライアント画面を表示させた場合、ツリーはすべて最小化された状態で表示されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット異常終了のアラーム発生時に Systemwalker Opereation Manager 上で、例えばデバックモードなどで詳しく状況を調べる方法はありますか？

A: ありません。
Systemwalker Opereation Manager 上で起動されたシェルスクリプトやバッチファイルなどのアプリケーション側の異常終了の原因を詳しく調べるための設定や方法はありません。アプリケーション側にて考慮願います。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの途中で異常終了が発生し、かつジョブネットが停止しない状態での異常通知を行いたいのですが、ジョブの異常は検知できませんか？

A: ジョブの異常終了を通知する機能はありません。
ジョブネット単位での通知となるので、ジョブネットが異常終了するまでは通知されません。
代替案として、ジョブ内で終了コードを検知してイベントログに書き込むような仕組みを作成する方法があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットやジョブを登録していますが、それらを無効状態にしてサーバを再起動した場合、無効状態がどうなるのか教えてください。

A: 無効状態のままとなります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「ジョブ 1→ジョブ 2→ジョブ 4」という経路と「ジョブ 1→ジョブ 3→ジョブ 5」という経路で実行されるジョブネットを実行します。ジョブ 3 が異常となった場合、ジョブ 2 とジョブ 4 はそのまま実行し、ジョブ 5 を走らせないための設定を教えてください。

A: 設定は不要です。
設定を行わなくても、ご希望どおりの動作をします。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループを開いてグループの監視画面を表示しましたが、ジョブネットが表示されません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
対象のジョブネットが非起動日であることが原因と考えられます。

［対処方法］
ジョブネットの起動日を確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: SYSTEM_CALENDAR を使用せず個別に作成したカレンダを使用した場合、日変わり時刻の設定を行うことはできますか？

A: できません。
日変わり時刻は、SYSTEM_CALENDAR にだけ設定でき、カレンダ単位で日変わり時刻を設定することはできません。

ただし、V13.9.0 以降の Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で複数サブシステム運用時には、サブシステム単位に日変わり時刻を設定することが可能です。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 運用上複数のホスト名を使い分けたく、hosts ファイルについて複数行で同一 IP アドレスに対して複数ホスト名を設定します。この場合、Systemwalker Operation Manager ではどちらのホスト名が採用されますか？

A: OS 上で認識しているホスト名が採用されます。
Systemwalker Operation Manager では hosts ファイルを直接制御する処理は行っていません。OS 上で認識しているホスト名および IP アドレスへの接続を実施します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: WSFC 構成で登録した Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition 関連リソースを別のグループに移動した場合、移動に関する注意点はありますか？

A: Systemwalker Operation Manager のジョブとして Oracle や Interstage などの処理をスケジューリングしている場合は、注意点があります。依存関係を利用し、Systemwalker Operation Manager よりも Oracle や Interstage などが先に起動するように設定する必要があります。
なお、依存関係を利用する方法については WSFC の設定になりますので、WSFC のマニュアルなどを確認してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.1.0 以降の 2 台の実行サーバを使用しています。マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合はスケジュール分散）機能を使用していない場合、マスタスケジュール管理機能のサービス（Systemwalker MpStem）は起動していますか？

A: 起動していません。
マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能が有効ではない場合、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能のサービス（Systemwalker MpStem）は起動していません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 新規作成のプロジェクトに登録されるアクセス権の定義情報はどのように決められるのか教えてください。

A: プロジェクト作成時には、GUI 上で必ず所有者を設定する必要があります。その他の権限ユーザー、権限付与はセキュリティメニューから追加してください。
Administrators および所有者に指定したユーザーには自動的に更新権が設定されます。
上記以外のユーザーは、すべてあとから追加されたアクセスユーザーとなり自動的に追加されることはありません。アクセス用のユーザーは、GUI

以外にコマンド（mpsetacl、mpcssave）で設定することもできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの動作はジョブの所有者の権限で起動されると思いますが、起動する際に所有者ユーザーは内部でログインシェルのようなものが動作してログインしてからジョブが動作するのですか？

A: ログインシェルが動作して実行ユーザーの環境を整えてからジョブが動作します。
Systemwalker Operation Manager のジョブは、ジョブ所有者のログインシェルを実行して実行ユーザー環境を整えてから、ジョブとして実行するコマンド／シェルを実行しています。なお、ジョブ所有者のログインシェルはパスワードファイル内に定義されたログインシェルです。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のコマンドで、ジョブネットの現在の状態を出力する方法を教えてください。

A: jobschprint コマンドまたは jobschprintcsv コマンドで、-n オプションを指定してコマンドを実行することで、ジョブネットの現在の状態が出力できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動日雛形を利用して毎月第 3 営業日を起動日とすることはできますか？

A: バージョン／レベルによってできるかできないかが異なります。
■V13.4.0 以降の場合
できます。

■V13.3.1 以前の場合
起動日雛形で設定することはできないため、営業日基準でジョブネットを作成してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット実行時に WARNING「job net has refused」が発生しました。原因を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブネットが実行拒否となった際に出力されるメッセージです。
本メッセージは、Systemwalker Operation Manager が何らかの異常を検知したものではないため、システムへの影響はありません。ジョブネットが以下の状態のときに起動条件が満たされると、実行拒否となり、ジョブネットは起動されません。

- ジョブネットが実行中または警告状態の時に、起動条件が満たされた。
- ジョブスケジューラ起動パラメタの定義から呼ばれる［確認操作の詳細設定］ウィンドウで［ジョブネットの確認操作を有効とする］が指定されている環境で、ジョブネットが異常終了状態の時に起動条件が満たされた。（注）
- ジョブスケジューラ起動パラメタの定義から呼ばれる［確認操作の詳細設定］ウィンドウで［強制終了も確認操作の対象とする］が指定されている環境で、ジョブネットが強制終了状態の時に起動条件が満たされた。（注）

- ジョブネットが停止中状態の時に、2 回以上の起動条件が満たされた。
- 持ち越し状態のジョブネットが本日の起動予定時刻を迎えた。

（注）V13.2.0 以前の場合は、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［利用機能 1］シート上で指定します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager クライアントでアクセス権の設定時に時々接続中のままタイムアウトになります。タイムアウト値を変更できるか教えてください。

A: 変更できます。以下の手順でタイムアウト値を変更してください。

1. /opt/systemwalker/etc/MpFwsec.ini ファイルのリンク元ファイルを確認します。
   ls -l /opt/systemwalker/etc/MpFwsec.ini

2. 現在設定されているタイムアウト時間を確認します。
   /opt/FJSVfwseo/bin/secgetini -f ファイル名（注） -s Connection -k TimeOut -i
   （注） 1.で確認したリンク元ファイル名

3. タイムアウト時間の設定を変更します。
   /opt/FJSVfwseo/bin/secsetini -f ファイル名（注） -s Connection -k TimeOut -v
   タイムアウト時間（単位:ミリ秒） -i
   （注） 1.で確認したリンク元ファイル名

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動日のところに営業日の設定がありますが、月初めが休日の場合、第 1 営業日が設定されるのはどの日か教えてください。

A: 翌日（休日明け）に設定されます。
営業日基準は、追加したカレンダから算出され、月初めが休日であった場合は翌日（休日明け）に設定されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行継続モードをスケジュールサーバと実行サーバで統一するために、実行サーバで jmmode コマンドを実行します。スケジュールされているジョブに影響がないか教えてください。

A: 実行継続モードを変更するために jmmode コマンドを実行する場合、Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンを停止する必要があるため、ジョブが実行中の場合には影響があります。その他の状態であれば影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 子ジョブネットに対してカレンダを割り当てて、親ジョブネットと異なるスケジュールで実行させることはできますか？

A: できますが、条件があります。
子ジョブネットに対して指定したカレンダをもとにジョブの起動日を親ジョブネットと別のスケジュールで実行させることができます。
ただし、子ジョブネットは、親ジョブネットの起動日を迎えないと処理できません。そのため、親ジョブネットが起動日となっていない日に子ジョブネットだけを起動日とすることはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のキューがありますが、再起動をするとキューが停止状態になってしまいます。再起動してもキューが停止しない設定方法を教えてください。

A: ［環境設定］－［運用情報の定義］ボタン－［利用機能］シートで［サービス起動時に全てのキューを停止する］(UNIX 版の場合は[デーモン起動時にすべてのキューを停止状態とする])を無効化してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［アクション環境設定］の定義をしておけば、なんらかのイベントが発生した際に、メール送信バッチなどを作成しなくても関係者全員へのメール送信などの操作が自動的に行われますか？

A: 行われません。

■Windows 版の場合
［アクション環境設定］だけではなんらかのイベントが発生した際に、メールを送信することはできません。メールを送信するためにはイベント監視の条件定義が必要です。条件定義の中で送信先のアドレスを設定すれば、［アクション環境設定］で定義した SMTP サーバ経由でメールが送信されます。

■Solaris/Linux/HP-UX/AIX 版の場合
イベント監視の機能は Windows 版だけの機能のため、UNIX 版では使用できません。UNIX 上で同様の機能を使用するためには、Systemwalker Centric Manager の導入をご検討ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のデーモン／サービスを停止する方法を教えてください。

A: クラスタ環境でのデーモン／サービスの停止は、クラスタシステムに登録されたアプリケーションをオフラインにしたあとに、停止コマンドを実行してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 稼働実績情報ファイルの出力内容のホスト名を、監視ホスト定義のホスト名と同一にするといった、任意のホスト名で出力できますか？

A: できません。
稼働実績情報ファイルのホスト名は固定名です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ連携で利用できるメッセージ事象名の制約をを教えてください。

A: 設定できるメッセージ事象名の長さは 12 バイトまでです。
12 バイトを超える文字を設定しないでください。
「 , 」、「 : 」、空白、仮名半角、およびユーザー定義文字は使用できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 業務手続き言語（JCL）の resource 文でジョブの排他属性「占有属性」を指定します。同じリソース名のジョブ A およびジョブ B をキューに投入した場合、ジョブ A が異常終了するとジョブ B は実行されますか？

A: 実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.1.0 までのログについて、ユーザーID のログインとログアウト、およびジョブネットでの日時を含めた実行結果が出力されますか？ログの有無を教えてください。

A: ユーザーID のログインとログアウトの情報を確認できるログはありません。ジョブネットの日時を含めた実行結果を確認できるログはあります。
ジョブネットの日時を含めた実行結果については jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log にジョブネットの起動、終了時刻、および終了コードなどはロギングされます。ただしジョブネットを操作したユーザー名はロギングされません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager が導入されているサーバが数日停止していました。［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］が設定されている場合のサーバ起動時のジョブネット起動について教えてください。

A: 日変わり時刻からサーバ起動時刻までの間にジョブネットの起動予定時刻がある場合は、サーバ起動時に起動します。
ジョブネットのプロパティで、［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］にチェックがある場合は、前回のサーバの停止日時または前回の日変わり時刻のうち、遅い方から現在時刻までの間に起動予定時刻があるものが、時刻が到来したとして扱われます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager を運用しているサーバで、ネットワーク機器や外部ストレ

ージなどのファームウェアのバージョンを上げようとしています。Systemwalker Operation Manager には影響がありますか？

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager では、ネットワーク機器や外部ストレージなどのファームウェアを意識した動作をしません。各機器のファームのアップデートに対する Systemwalker Operation Manager への影響はありません。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: デザインシートの入手方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の技術情報資材一覧でデザインシートが公開されていますので、ダウンロードしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しています。サブシステム運用を行っていない A サーバから、サブシステムを行っている B サーバのサブシステム 0 およびサブシステム 1 にネットワークジョブを実行することはできますか？

A: バージョン／レベルによって実行可否が異なります。

■構成
- A サーバ：サブシステム 0
- B サーバ：サブシステム 0 およびサブシステム 1

■V13.2.0 以前の場合
同一のサブシステム間でだけ、ネットワークジョブの投入ができます。
A サーバのサブシステム 0 から B サーバのサブシステム 0 へネットワークジョブを実行することはできますが、A サーバのサブシステム 0 から B サーバのサブシステム 1 へネットワークジョブを投入することはできません。

■V13.3.0 以降の場合
任意のサブシステムへネットワークジョブを依頼することができます。
ジョブを登録する際、コマンド欄にジョブを投入するサブシステムを「-rsys サブシステム番号 コマンド」の形式で指定してください。

■必要な設定
サブシステム運用を行っていないサーバから、サブシステム運用を行っているサーバにネットワークジョブを投入する場合は、すべてのシステムに利用するサブシステムのポートを設定する必要があります。また、各サブシステムのポート番号も統一する必要があります。
設定方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.5 複数サブシステム運用の定義
2.5.2 サブシステム用のポート番号の設定

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager 運用マシンのマザーボード交換の手順および注意点を教えてください。

A: 以下の手順で実施してください。

1. poperationmgr コマンドで、Systemwalker Operation Manager を停止します。
2. mpbko コマンドでバックアップします。
3. swstop コマンドで、Systemwalker Operation Manager の起動を抑止します。
4. マザーボード交換作業を行います。
   日付などの設定を行い、マザーボード交換前と同じ状態にします。
5. swstart コマンドで、Systemwalker Operation Manager デーモンの起動抑止を解除します。
6. システム再起動、または soperationmgr コマンドで、Systemwalker Operation Manager を起動させます。

注意事項については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.2.1 時刻の変更に関する注意事項
システムの年を変更/マザーボードを交換する場合の注意

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。
また、Systemwalker Operation Manager では、以下の機能で MAC アドレスを使用しています。

- クライアント業務連携機能 poncli 電源投入コマンド
  - ホスト情報定義ファイル“hostinfo.ini”内に記述
  - poncli コマンドのパラメタに指定

本機能を利用している場合は、指定する MAC アドレスを変更する必要があります。その他の機能では、MAC アドレス変更による影響はありません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ERP 自動起動のジョブについてはジョブ終了のステータスがあり、Systemwalker Operation Manager で ERP 自動起動のジョブの終了判断ができるか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager 側では終了判断はできません。ただし ERP 側でジョブの状態を確認するコマンドがある場合は、Systemwalker Operation Manager のジョブからステータスと処理終了の根拠を基に判定することはできます。
ERP 側で起動されているジョブの状態は、Systemwalker Operation Manager のプロセスとの関連性がないため、Systemwalker Operation Manager 側では関知できません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager ではジョブスケジューラサービス停止期間中に時刻起動で実行予定だったジョブネットは未実行のステータスとなりますが、この未実行状態をクライアントのガントチャートではなくコマンドで確認する方法はありますか？

A: ありません。
未実行ステータスを確認する方法はクライアントのガントチャートだけであり、コマンドで確認する方法はありません。
ジョブスケジューラサービス起動直後に、Windows の場合ではアプリケーションログに、UNIX の場合では SYSLOG に、未実行となったジョブネットの情報が以下のように出力されます。なお XXXX はプロジェクト名を、YYYY はジョブネット名を表します。

■Windows の場合
MpJobsch: 情報: 2287: XXXX YYYY は起動しませんでした

■Solaris/Linux/HP-UX/AIX 版
MpJobsch: INFO: 0287: XXXX YYYY は起動しませんでした
MpJobsch: INFO: 0287: XXXX YYYY did not start.

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの終了遅延監視について、動作を確認したいです。終了予定時刻になってもジョブネットが起動していない場合、必ず終了遅延イベントが発生するのか教えてください。

A: ［終了予定時刻］を設定した場合、イベントが発生します。

■［終了予定時刻］を設定した場合
［起動時刻］にひとつだけ値が設定されているときだけ、指定することができます。
起動日のジョブネットが指定した［終了予定時刻］を過ぎても終了状態でない場合に、イベントを発行できます。
そのため、起動日に起動条件を満たしていないジョブネットが［終了予定時刻］を過ぎた場合もイベントが発生します。

■［実行予測時間］を設定した場合
ジョブネットが開始してから終了までにかかる時間を指定します。
ジョブネットが実際に起動されてから［実行予測時間］で設定した時間を経過しても終了しない場合にイベントを出力できます。
ジョブネット起動からの相対時間であるため、実行遅延などが原因でジョブネットの起動が遅れた場合も、実際にジョブネットが起動してからの経過時間で終了しなかった場合にだけイベントが発生します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition V13.3.0 以降のクラスタ環境について教えてください。キューの設定やログ保存設定などジョブ実行制御の運用情報の定義が待機系へ引き継がれません。この動作は正しい動作ですか？

A: クラスタ構築手順に不足があると思われます。
Windows 版 Systemwalker Operation Manager はクラスタ構成としても、ジョブ実行制御の運用情報の定義は各ノードで保持しています。そのため定義を行ったあとは以下のマニュアルを参照の上、ポリシー抽出／配付などで設定を統一してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 2 章 導入
2.9 各ノードで管理される情報の統一
2.9.3 Systemwalker Operation Manager の環境定義の統一

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition V13.3.0 以降のクラスタ環境について教えてください。ジョブ実行制御のスプールディレクトリの設定が、Solaris/Linux/HP-UX/AIX では論理 IP アドレスだけでディレクトリの設定がされていませんが、Windows ではディレクトリと論理 IP の設定がされています。問題がありますか？

A: 問題ありません。

マニュアルの手順で構築した場合、そのようになります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition V13.3.0 以降のクラスタ環境について教えてください。Solaris で、データベースディレクトリを/var/opt/FJSVJOBSC ではなく、共有ディスクを直接指定していますが問題ありませんか？

A: 問題ありません。
クラスタ構成の場合、マニュアル「クラスタ適用ガイド」の「資源の共有ディスクへの移動」の手順を実施すると、共有ディスク/FJSVJOBSC がデータベースディレクトリとして定義・表示されます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition と Standard Edition の Job Designer で機能上の相違点はありますか？

A: 相違点はありません。
Enterprise Edition 版と Standard Edition 版に添付されている Job Designer に機能差はありません。全く同じ製品を添付しています。ただし、Enterprise Edition 版と Standard Edition 版ではシステムの制限があり、登録できるジョブネット数などに違いがありますが、Job Designer では意識していないため、ご注意ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットで、何分以内に終了しなければある特定のジョブを実行する、という設定ができるかを教えてください。

A: できません。
ジョブネットの実行予測時間（開始から終了までの時間）を指定して、その遅延を検知する方法であればあります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 10 から 20 までの終了コードを正常終了とする方法を教えてください。

A: 10 から 20 までを正常終了（0 から 9 までは異常）とすることはできません。
0 から 20 までを正常終了として扱う場合は、［正常終了コード上限値］に 20 を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが並行するジョブネットで、片方のジョブが正常終了して、もう片方が異常終了した場合、実行

中のジョブがすべて終了したら、当該ジョブネットは異常終了しますか？

A: 異常終了します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［年間の休日設定］で設定した内容は翌年にも引き継がれますか？

A: カレンダの年間休日の設定がされている場合は、休日設定の内容は引き継がれます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager について、終了処理ジョブネットで実行するバッチファイル内で記述する shutdown.exe コマンドは、OS で提供されているコマンドですか？

A: OS で提供されているコマンドです。
jobschendexit.bat または jobschnoendexit.bat 内で shutdown.exe コマンドを定義している場合は、通常 OS で提供されている shutdown.exe コマンドが実行されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Solaris/Linux/HP-UX/AIX のスケジュールサーバから Windows の 5 台の実行サーバのどれかにジョブを投入したいです。分散実行機能でできますか？

A: 分散実行機能でできます。
分散実行機能を使用した場合、ホストグループ内で「実行中ジョブ数÷［構成ホスト名］で指定した多重度」の値がもっとも小さいサーバでジョブが実行され、値が同じ場合は構成ホストで指定した順番に投入されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダ設定にある[オプション]メニューに［年間の休日設定］がありますが、この設定の［月の選択］で、［すべての月に設定する］を指定したことを確認する方法はありますか？

A: カレンダの登録画面で、すべての月に反映されていることを確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ファイルが作成されたことをトリガーにしてジョブネットを起動することはできますか？

A: できます。
chkfile コマンド(Windows 版 V12 以降)または jobschchkfile コマンドをジョブとして登録し、ファイルの作成を契機に後続ジョブを起動さ

せてください。chkfile コマンド／jobschchkfile コマンドでは、特定のファイルを待ち合わせ、ファイルが存在していれば終了コード「0」で復帰します。存在していなければ、ファイルが作成されるまで待ち合わせます。
なお、ジョブネットの起動条件に「ファイルの待ち合わせ」を指定することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットの異常終了時に Systemwalker Centric Manager に通知する設定になっていますが、どのジョブが異常終了したのか Systemwalker Centric Manager に通知する方法を教えてください。

A: 本設定では、どのジョブが異常終了したかまでは通知されません。そのため、ジョブネットが異常終了した場合に起動する出口を利用して、独自にログファイルを出力する出口プログラム、またはイベント出力する出口プログラムを作成してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition をクラスタ環境で運用しています。環境設定の［運用情報］ボタン－［運用制御］シートのキューで設定するホストグループにサーバを追加する作業は、運用系だけでよいのか、運用待機両方で必要なのか教えてください。

A: 運用系だけで行ってください。
また、設定後、運用系で Systemwalker Operation Manager のデーモンの再起動を実施する必要があります。
なお、クラスタ環境でのデーモンの起動／停止方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager 17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 3 章 運用
3.2 クラスタシステムにおけるデーモンの起動/停止

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システム上で実行されたすべてのジョブについて、ジョブ単位の実行履歴を確認する方法を教えてください。

A: メニューバーの［ツール］－［ジョブ履歴］で、ジョブスケジューラツリー配下で選択しているジョブネットに所属しているジョブの実行結果を確認してください。
なお、子ジョブネットに含まれているジョブの実行結果を確認する場合は、子ジョブネットを選択して［ジョブ履歴］を確認してください。
また、［ツール］－［ジョブネット履歴］を確認することでシステムで実行されたすべてのジョブネットの実行結果を確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager にトラブルが発生した場合、初期調査に必要な資料

（ログファイルなど）の採取方法を教えてください。

A: 保守情報収集ツールを使用して資料を採取してください。
保守情報収集ツールを実行すると、Systemwalker Operation Managerの障害調査に必要な基本資料を採取できます。保守情報収集ツールについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
付録 A 保守情報収集ツール

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Managerのスケジュールサーバを V13.0.0 から V17.0.0 にバージョンアップする際に、実行サーバ側で何か作業が必要ですか？

A: 実行サーバ側では、作業は不要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 異常終了したジョブを自動的に再実行し、再実行後、後続のジョブを実行できますか？

A: できます。
対象となるジョブに対してリカバリジョブを作成し、リカバリジョブが正常終了した場合に、異常終了したもとのジョブを自動的に再起動させることができます。リカバリジョブとは、ジョブが異常終了した際に実行されるジョブのことです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Managerで、異常終了したジョブの再実行の方法として、［操作］－［再起動］、［リカバリ操作］、および［フロー再起動］からの起動があると思いますが違いについて教えてください。

A: 違いは以下のとおりです。操作によって実行されるジョブが変わるのが大きな違いです。

■［操作］－［再起動］
異常終了または強制終了したジョブを再起動します。指定したジョブが正常終了または疑似正常した場合、その次の後続のジョブが実行されます。なおリカバリジョブが実行中の場合は、起動できません。

■［リカバリ操作］－［指定のジョブから起動］
指定したジョブから起動します。そのジョブが正常終了または疑似正常した場合、後続のジョブが実行されます。

■［リカバリ操作］－［次のジョブから起動］
指定したジョブの状態はそのままで、後続のジョブから起動します。その後続ジョブが正常終了または疑似正常した場合、その次の後続のジョブが実行されます。この操作はジョブネットアイコン以外のジョブに対してだけ可能です。

■［リカバリ操作］－［指定のジョブのみ起動］
指定したジョブだけを起動します。そのジョブが正常終了または疑似正常した場合でも、後続のジョブは実行されません。また、そのジョブが異常終了した場合でも、リカバリジョブは実行されません。この操作はジョブネットアイコン以外のジョブに対してだけ可能です。

■［フロー再起動］
ジョブの状態が異常終了になっているジョブ、強制終了になっているジョブ、または再起動ポイントが指定されているジョブから起動され、そのあとはフローに沿って起動されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの［プロパティ］－［終了コードに関わらず正常］にチェックしたのですが、ジョブ実行時にチェックが外れてしまいます。ジョブの設定変更を恒久的に変更する方法を教えてください。

A: ジョブの設定情報を恒久的に変更する場合、以下の手順でジョブネットの変更を実施してください。

■手順
1. 該当のジョブネットを右クリックします。表示されたメニューの中から、［変更］を選択すると［ジョブネットの変更］ウィンドウが表示されます。
2. ［ジョブネットの変更］ウィンドウで該当のジョブを右クリックし、［プロパティ］－［終了コードに関わらず正常］を選択します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット実行中に再度メッセージ事象が発生した場合どのように実行されますか？

A: ジョブネットが実行中に再び同じメッセージを受け取った場合、ジョブネットのプロパティで［メッセージ］シート－［ジョブネット実行中も有効］が設定されているか否かで動作が変わります。
［ジョブネット実行中も有効］が設定されている場合、ジョブネット実行中もメッセージが受け取られ、ジョブネットが終了次第、実行中に受理したメッセージに対応した起動を行います。そのため、到達したメッセージ分だけ起動と終了が連続します。同じジョブネットが並行して動作することはありません。
［ジョブネット実行中も有効］が設定されていない場合、実行中のメッセージが無視されます。そのため実行中でないときに到達したメッセージ分しか起動しません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS 起動時に Systemwalker Operation Manager を自動起動しない設定方法を教えてください。

A: swstop コマンドを実行してください。
swstop コマンドを実行することで Systemwalker Operation Manager サービスの自動起動を抑止できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが一定時間経過しても終了しない場合、ジョブは強制終了されるのですか？

A: 打ち切り時間の設定によって強制終了されるか・されないかが異なります。
打ち切り時間はジョブ単位に設定できます。ジョブに打ち切り時間を設定していない場合は、ジョブが強制終了することはありません。ジョブに打ち切り時間を設定している場合は、打ち切り時間で強制終了されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3 以降で、無効状態のジョブネットを jobschprint -r -operate でジョブネット制御文を作成し、jobschsetnet -nent でジョブネット制御文を登録すると無効状態でジョブネットは登録されますか？

A: 無効状態でジョブネットが登録されます。
ジョブネット制御文の operate 項目については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 4 章ジョブスケジューラコマンド
4.10.1 ジョブネット制御文

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバから分散実行で複数の実行サーバ上のジョブを起動させ、異常があった場合にどの実行サーバで異常が発生したか、または実行サーバ側でどのようなエラーが発生したかを判別する方法はありますか？

A: あります。
異常内容については、前回履歴情報の内容および mjsview コマンドの実行結果を確認してください。どの実行サーバで問題が発生したかについては、スケジュールサーバ上で、ログファイル出力コマンド mjsview の実行結果を確認してください。MJS003I のメッセージの「start on」のあとに実行サーバが出力されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ファイルの監視では、同時に監視するファイル数をいくつ以下で運用すればいいですか？目安を教えてください。

A: 目安はありません。
ファイルの監視は 1 秒に 1 回（デフォルトの場合）監視を行っており、ファイル数が増えるとサーバに負荷がかかります。負荷についてはサーバの性能に依存するため、具体的なファイル数の目安はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: SafeCLUSTER 運用でフェールオーバ時、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition でエラー通知できないか教えてください。

A: エラー通知できます。
SafeCLUSTER のフェールオーバ時のメッセージを監視し、そのイベントを契機にアクションを実行してください。
［イベント監視の条件定義］で、SafeCLUSTER のログまたはイベントログを監視し、アクションを設定してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: Red Hat Enterprise Linux ES 5 の環境で、Systemwalker Operation Manager V13.2.0 を使用してジョブ運用する際、64bit アプリケーションを動作させる上での留意点などはありますか？

A: ありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: ジョブが異常終了時に「MpJobsch: ERROR: 0330」のメッセージが SYSLOG に出力されますが、「Code=」の部分の値は何の値が出力されるのか教えてください。

A: ジョブネットの終了コードが出力されます。
終了コードについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 22 章 ジョブの終了コード
22.1 ジョブスケジューラの終了コード
22.2 ジョブ実行制御の終了コード

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Red Hat Enterprise Linux を 4.6 から 5.2 にバージョンアップする予定です。その際、Systemwalker Operation Manager のどのバージョン／レベルをインストールするべきか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager V13.2 以降を導入してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: Solaris/Linux/HP-UX/AIX 系 OS 上で Systemwalker Operation Manager のスケジュールサーバを使用した場合、イベント監視の条件定義を使用したメール送付はできますか？

A: できません。ただしスケジュールサーバ上に Systemwalker Centric Manager をインストールすればできます。
スケジュールサーバ上に Systemwalker Centric Manager をインストールした場合、ジョブネットの異常終了のメッセージを契機に、Systemwalker Centric Manager のイベント監視の条件定義を利用してメール送付することはできます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールすると、SYSTEM_CALENDAR に、デフォルトで、休日が設定されているのか、教えてください。

A: インストール直後のデフォルトでは、SYSTEM_CALENDAR に、休日は設定されていません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットを右クリックして、起動日を選択しようとしますが、グレーアウトしています。グレーアウトする原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブネットの起動時刻が設定されていないことが原因です。

［対処方法］
起動時刻を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: プロジェクト配下に登録されたジョブネットやグループを、一括で削除する方法を教えてください。

A: 一括で削除する方法はありません。1 つずつ削除してください。
Systemwalker Operation Manager が提供しているコマンドを、バッチファイルやシェルスクリプトなどで、繰り返し実行することで、複数のグループやジョブネットを削除できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: ジョブの設定で、標準出力と、標準エラー出力のファイルを指定する箇所があります。出力ファイルを確認すると、コマンドラインしか出力されていません。処理時間を表示する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、ジョブが出力する標準出力・標準エラー出力をファイルに書き出すだけで、ログとしてタイムスタンプなどを付加することはできません。シェルスクリプトなどでタイムスタンプを出力するように設計してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition または Enterprise Edition を、CentOS にインストールしたいです。CentOS をサポートしていないと思いますが、不具合はありますか？

A: CentOS を含む未サポート OS についてのご質問は、不具合情報を含めてお答えできません。
Systemwalker Operation Manager がサポートしている動作 OS は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書

第 3 章 動作環境
3.2 ソフトウェア資源
3.2.1 動作 OS

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ローカルセキュリティポリシーの設定で、「サービスとしてログオン」にある設定を、お客様の運用ルールで、「NETWORK SERVICE」だけにしたいのですが、Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？

A: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以前では、サービスのスタートアップアカウントに、「サービスとしてログオン」権限を与える必要があるため、「NETWORK SERVICE」だけに権限を付与した場合、Systemwalker Operation Manager のサービスが起動しない影響が考えられます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のサービスについて、Windows のサービスから、サービス名のプロパティを選択して、回復タブでエラー発生時に「サービスを再起動する」に設定して運用することに問題はありますか？

A: 問題はありません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キューの作成および削除を行う手順を教えてください。

A: キューの作成は、以下の手順に従ってください。

1. Systemwalker Operation Manager の環境設定クライアントを起動し、［運用情報の定義］ウィンドウの［運用制御］シートをクリックして、［キュー］欄にある［追加］ボタンをクリックします。
2. 起動したキューの作成ウィンドウから運用するキュー名などを設定して、［OK］ボタンをクリックします。

キューの削除は、以下の手順に従ってください。

1. Systemwalker Operation Manager の環境設定クライアントを起動し、［運用情報の定義］ウィンドウの［運用制御］シートをクリックして、［キュー］欄に表示されているキューの一覧から、削除の対象となるキューを選択します。
2. キューの一覧の下にある［削除］ボタンをクリックします。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キューの削除を行う操作は、業務運用中に行っても問題ありませんか？また、設定が反映されるのは、サービスの再起動後ですか？

A: 環境設定画面で削除した時点で、実行しているジョブへの影響はありません。

また、環境設定画面でキューを削除したタイミングでは、キューは削除されません。次回再起動した際に、キューの情報がサービスに反映されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバを再起動する場合、クライアント電源切断を使用して再起動ジョブを組むことはできませんか？なお、サーバでは、クライアント業務連携が起動していません。

A: ジョブでサーバの電源制御を行う場合は、シャットダウン出口を用いて、サーバを再起動してください。
詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.6 ジョブスケジューラを使いこなすために
B.6.1 任意の時刻にシステムをシャットダウンする【Windows 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: すでに登録済みの［ジョブ名］を変更するには、どのような手順で行えばよいですか？

A: Systemwalker Operation Manager クライアントで、対象ジョブネットを選択し、右クリックから［変更］を選択します。対象のジョブを選択し、右クリックからプロパティを選択します。［基本情報］シートで、ジョブ名の変更ができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの履歴の中で、ジョブが実行中断、実行拒否の状態になっています。この状態は、どのような場合に表示されるのか教えてください。

A: 実行中断は、ジョブネットが実行中、Systemwalker のサービス／デーモンを停止した場合に、設定される状態です。
実行拒否は、ジョブネットが実行中、停止状態のときに次の起動予定時刻が到来した際に、設定される状態です。

ジョブネットが実行中に、［Systemwalker MpJobsch］サービス／デーモンを停止（シャットダウン・リブートを含みます）した場合、ジョブネットが実行中断となり、ジョブネットの終了コードは 239 になります。

ジョブネットが実行拒否となる要因として、以下の 3 つがあります。
- ジョブネットが実行中または警告状態の時に、次の起動予定時刻が到来した場合
- ジョブネットが停止中に、2 回以上、起動予定時刻が到来した場合
- 確認操作が有効になっており、ジョブネットが異常終了のまま、新たに起動条件が満たされた場合

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、複数サーバの監視を設定する際、監

視対象サーバの Systemwalker Operation Manager のバージョンの制限はありますか？

A: すべてのバージョンを監視対象とすることができます。

詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
付録 A 旧バージョンとの整合性
A.2 複数サーバ監視の接続サポート範囲

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager と Arcserve で、バックアップ処理を実施するような連携はできますか？

A: Systemwalker Operation Manager のジョブとして、Arcserve の cabatch コマンドを登録することで、連携できます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントアプリケーション起動コマンド（EXECACLI.EXE）で、WE オプションの設定について教えてください。

A: /WE パラメタは、起動したアプリケーションの終了までの待ち合わせ時間を指定します。/WE パラメタの値は、1 から 9600 の整数を秒単位で指定します。それ以外の値を指定すると、エラーになります。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールします。対象のマシンをドメインコントローラに昇格する場合、製品インストール前後のどちらで実施するほうがよいですか？

A: 先にドメインコントローラに昇格するほうが、少ない手順で構築できますので、こちらを推奨します。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: NTP サーバと NTP クライアントの時刻同期がとれません。正しく時刻同期を取るため、NTP の設定を変更したいのですが、Systemwalker Operation Manager への影響を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、ジョブのスケジューリングに関して、システム時刻（日付）をベースに処理を行っています。そのため運用中にシステム時刻（日付）を変更することで、ジョブネットがスケジュールどおりに起動しなくなったり、サービスやデーモンが動作異常を起こしたりすることがあります。
このため、日付が過去に戻ったり、大きく時刻が変更されることがないように、徐々に時刻を補正してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 3 ヶ月に 1 回起動したいジョブがあります。設定方法を教えてください。

A: ジョブネットのプロパティの起動日の設定で、例えば毎年 1 月、4 月、7 月、10 月の何日という方法で、起動日を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバ環境を、Systemwalker Operation Manager V17.0.0 以降にバージョンアップしますが、一部のサーバは現行の Systemwalker Operation Manager V13.4.0 が残ります。この環境で問題なく運用できますか？

A: ネットワークジョブは、基本的にどのバージョンへも投入できます。複数サブシステム運用を行う場合は、組み合わせに問題がある場合があります。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
付録 A 旧バージョンとの整合性

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: LAN カードの型番と MAC アドレスの変更、およびチーミングの再設定をする際、Systemwalker Operation Manager では、追加で作業が必要になりますか？また運用に影響はありますか？

A: MAC アドレスが変更になることで、Systemwalker Operation Manager では、クライアント業務連携の電源制御を利用している場合、定義情報の中に MAC アドレスを指定する箇所があるため、編集が必要になります。
利用していない場合は、影響や変更箇所はありません。
また、チーミングの設定時は、サービス（クラスタリソース）を停止してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 階層化ジョブネットを定義し、子になっているジョブネットを特定の日に起動させる方法を教えてください。

A: 子になっているジョブネットに対して、任意の起動日を定義し、親ジョブネットに対して、右クリックして［変更］から対象の子ジョブネットのプロパティを開きます。［制御情報］シートにある［起動日のみ有効］をチェックすることで、任意の起動日に対してだけ、子ジョブネットを起動できます。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.4 ジョブを登録する

［図：［登録－ジョブ］ウィンドウー［制御情報］シート］
［起動日のみ有効］：

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ事象を連携し、ジョブネットを起動させる設定手順を教えてください。

A: メッセージを受け取るジョブネットでは、ジョブネットのプロパティの［メッセージ］シートで、待ち合わせるメッセージ事象を設定します。なお、メッセージ事象は jobschmsgevent コマンドで発行できます。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行サーバ上のファイルを削除するのにサーバ業務連携機能を使用します。業務連携コマンドの使用方法を教えてください。

A: サーバ業務連携を使用してファイルを削除する場合は、FCTRLSVR.EXE コマンドを使用します。
コマンドについての詳細は、Systemwalker Operation Manager リファレンス集を参照してください。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ制御文を作成する際、子ジョブネットを設定するときに、「jobname_jes（ジョブ実行制御でのジョブ名）」と「jobcomment（コメント）」は設定できますか？

A: 子ジョブネットの場合、「jobicon（アイコン種別）」に「JNET（ジョブネット）」を設定する必要があるため、「jobname_jes」と「jobcomment」は設定できません。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschsetnet -nent コマンドを利用してジョブネットを登録する際、コマンドで入力する定義ファイルの格納場所は、どの場所でもよいですか？

A: jobschsetnet コマンドのパラメタで指定する定義ファイルの格納場所は、任意の場所を指定してください。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブとして、Arcserve Backup のクリーニングを実行するジョブの登録方法を教えてください。

A: ［登録－ジョブ］ウィンドウー［基本情報］シートのコマンド欄にコマンドを指定してください。また、［基本情報］シートのパラメタ欄にコマン

ドに渡すパラメタを指定してください。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.4 ジョブを登録する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュール登録されているジョブネットがあるサーバをシャットダウンして、スケジュール時刻を過ぎた状態でサーバを起動した場合、ジョブネットの結果ステータスはどのように表示されますか？

A: ジョブネットの設定によって異なります。ジョブネットのプロパティの［基本情報］シート－［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］が設定されていない場合は、［未実行］ステータスとなり、当日分のジョブネットは実行されません。
［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］が設定されており、起動時刻が 1 つだけ設定されている場合は、サーバ起動後（正確には Systemwalker Operation Manager のサービス起動後）にジョブネットが起動します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットのプロパティの［起動日］シートで［起動日雛形］を選択した場合に、起動日雛形基準として「毎週月曜日～土曜日」を選択肢に表示させる方法を教えてください。

A: ジョブネットのプロパティの［起動日］シートで選択可能な起動日雛形基準は、あらかじめ「起動日雛形」として作成したものになります。事前に動作させたいスケジュールのパターンを「起動日雛形」として作成してください。
起動日雛形の登録について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.7 起動日雛形を登録する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: A サーバのジョブネットを B サーバに追加・更新を行う方法について、jobschsetnet コマンドで制御文を登録する方法以外にありますか？

A: 他に下記 2 つの方法があります。
■エクスポート／インポート（V13.3.0 以降）
任意のジョブネットを選択して、操作できます。
同名のジョブネットが B サーバに存在した場合は、上書き更新されます。

■ポリシー抽出／配付
A サーバのすべてのジョブネットを移行することになります。（個別に指定できません）

プロジェクト単位で配付されるため、B サーバに同名のプロジェクトが存在した場合は、上書き更新されます。
B サーバのみに存在するプロジェクトは、そのまま残ります。
Windows サーバと UNIX サーバ間での抽出／配付はできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［前回履歴］シートの［ジョブの出力情報（標準出力／標準エラー出力）］の内容が表示されるときと、されないときがありますが、表示される条件を教えてください。

A: ジョブを実行した際に、そのジョブで標準出力や標準エラー出力にメッセージが出力された場合に表示されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークドライブ（Active Directory ドメイン上のファイルサーバ）にファイルをコピーする際の Fcopysvr コマンドの設定について教えてください。

A: 一般ユーザーで転送する場合、lgmanager コマンドでパスワード管理簿ファイルを作成し、Fcopysvr コマンドで転送元ファイル、転送先ファイルの指定を行ってください。なお、ログイン定義名は OS に登録されているグループ名を指定します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブに登録した JCL 文について、どの制御でエラーが発生したのかを確認できますか？

A: できます。
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウで［運用情報］ボタンをクリックし、［運用情報の定義］ウィンドウの［利用機能］シートで［標準出力にジョブステップの区切りを出力する］をチェックすることで、Systemwalker Operation Manager の前回履歴からどのステップまで処理が進んだのか確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 他システム連携で、他システムから送信されたファイルをトリガとして、ジョブを起動する方式を考えています。chkfile では、-wait オプションを使用した場合、ジョブスケジューラに登録した時点で、ジョブが実行中のままとなるとあります。ジョブが実行中となってキューが詰まることを避けたいのですが、回避方法はありますか？

A: chkfile コマンドを利用する場合、ファイルの生成待ち受けを行う-wait オプションを指定すると、ファイル到着までを実行中として、処理を継続します。この場合、該当のジョブだけが、特定のキューを利用するようにして、キューのジョブ実行待ち受けが発生しないように調整してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループのジョブネットのジョブが異常終了した場合の、自動リカバリの方法について教えてください。

A: 重要なジョブについてリカバリジョブを登録し、ジョブ単位で再実行するようにしてください。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.1 ジョブのスケジュールに必要な知識
4.1.7 リカバリジョブについて

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ名がない（空白の）ジョブが存在するのですが、動作的に問題はありませんか？

A: ジョブ名が設定されていなくても、動作に問題はありません。ジョブ名は省略できます。
ただし、ジョブの操作コマンドを利用して、ジョブに対する操作（停止、無効など）をする場合、ジョブ名が設定されていないと、コマンドから操作できません（GUI からはジョブの操作を実施できます）。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブフローの中で、すでに正常終了したジョブから、ジョブネットを再起動させる方法を教えてください。

A: 該当ジョブの監視ウィンドウから再起動ポイントを設定し、下記の操作手順でジョブネットを再起動してください。

操作手順
1. Systemwalker Operation Manager の GUI 画面で該当のジョブネットを右クリックして、［開く］を選択します。
2. ［ジョブネットの監視］ウィンドウで再起動するジョブを右クリックして、［プロパティ］を選択します。
3. ［監視－ジョブ］ウィンドウの［制御情報］シートにある再起動ポイントにチェックを入れて［OK］をクリックします。該当ジョブのアイコンに緑の下向き矢印が表示されることを確認してください。
4. 該当のジョブネットを再起動します。

詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 7 章 ジョブを操作する
7.1 ジョブネットを操作する
ジョブネットの再起動について

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが長時間実行中となった場合、ジョブネットを強制終了する以外の対処方法はありますか？

A: 実行中のジョブネットに対しては、強制終了操作だけが有効です。
詳細（ジョブネットの状態と可能な操作との関係）については、下記のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.3 ジョブネットを登録する
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.5 ジョブ実行予測時間を監視する場合
第 7 章 ジョブを操作する
7.1 ジョブネットを操作する

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、実行中のジョブが現在どのようなプロセスを処理しているか、確認する方法を教えてください。

A: mjptree コマンドで確認できます。
ただし、mjptree コマンドは、ジョブプロセスの起動モードがトレースモードで起動されたジョブに対してだけ有効であり、V13.3.0 以降のデフォルト設定であるジョブオブジェクトモードの場合、利用できません。ジョブ実行制御の設定をトレースモードに変更するには、設定変更後、Systemwalker Operation Manager（ジョブ実行制御サービス）の再起動が必要です。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの実行履歴を期間指定（日付や時間）で出力する方法を教えてください。

A: ジョブネットの実行履歴は、jobschprint コマンドを利用して標準出力（stdout）に出力できます。
日付の指定方法は、X 日前（X:0～5）指定と特定日（YYYY MM DD）指定があります。時間指定はできません。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 5 章 ジョブスケジューラコマンド（印刷用）
5.6 jobschprint -f(-F)コマンド
5.7 jobschprint -g(-G)コマンド

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループの状態が警告状態になっています。これはどのような状態を意味していますか？またこの状態を解消するためには、サーバのリブートが必要ですか？

A: グループの状態が警告状態の場合は、実行中のグループに、警告、異常終了、強制終了のジョブネットが存在する状態を意味します。異常終了や、強制終了のジョブネットに対する対処（再起動など）を実施すれば、サーバをリブートする必要はありません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 同時実行ジョブ数を 30 以上に設定した状態で、ジョブが実際には同時実行されていないとき、サーバへの影響はありますか？

A: ありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ適用ガイドの「2.3.2 ジョブ実行制御への論理 IP アドレスの設定」で、スケジュールサーバがシングル構成で、実行サーバがクラスタ構成の場合に、実行サーバ側で設定する内容を教えてください。

A: 本設定（「2.3.2 ジョブ実行制御への論理 IP アドレスの設定」）は、スケジュールサーバがクラスタ構成の場合に必要となるものです。スケジュールサーバがシングル構成の場合には必要ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager が導入されていないサーバで、バッチファイルの起動とリターンコードを確認する方法を教えてください。

A: V16.0.0 以降では、mjrmtjob コマンドのオペランドでバッチファイルを指定し、ジョブとして実行することで、Systemwalker Operation Manager がインストールされていないリモートマシン上のバッチファイルを実行させることができます。バッチファイルの終了コードは、ジョブスケジューラに表示されます。なお、本機能の利用にあたっては、リモートマシン用ライセンスが必要です。

V13.8.0 以前の場合は、Systemwalker Operation Manager が導入されていないサーバ上では、バッチファイルの起動はできません。Systemwalker Operation Manager を導入し、スケジュールサーバからネットワークジョブを起動することで、バッチファイルの起動とリターンコードを確認することができます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Job Designer で、ジョブネットやジョブを定義して Systemwalker Operation Manager に登録する際、登録できるジョブネットの数およびジョブの数を教えてください。

A: Job Designer を利用する／しないにかかわらず、1 つのプロジェクト内に登録できるジョブネット数の上限は、Standard Edition は 255 個まで、Enterprise Edition は無制限です。
1 つのジョブネット内に登録できるジョブ数の上限は、エディションにかかわらず 255 個までです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［運用予定］ウィンドウに子ジョブネットが表示されていますが、親ジョブネットだけを表示できますか？

A: できません。

Systemwalker Operation Manager V13.0.0 から、子ジョブネットに起動日を設定できる機能を追加したことで、［運用予定］ウィンドウに子ジョブネットを表示するようになりました。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ACL マネージャの役割を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のユーザーのアクセス権管理を実施しています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 自動運用支援（アクション実行、イベント監視、およびアクション管理）が何をする機能か教えてください。

A: Windows のイベントログに出力されるメッセージを監視し、任意のメッセージが出力された場合、自動的にメール通知などのアクションを実施する機能です。

なお、Systemwalker Operation Manager で、自動運用支援を使用しない場合は、自動運用支援のサービスを停止できます。ただし、Systemwalker Centric Manager と共存している場合は、Systemwalker Centric Manager でメッセージの監視を行うときに自動運用支援のサービスを使用します。そのため、停止すると Systemwalker Centric Manager でのメッセージ通知などが実行できなくなります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの異常終了を発生させると、Systemwalker Centric Manager にメッセージが 2 件通知されます。なぜ 2 件通知されるのですか？

A: Systemwalker Operation Manager で、以下の 2 つの設定をともに実施している状態で、ジョブネットが異常終了／実行中断または強制終了したためです。

- Systemwalker Operation Manager の設定で［環境設定］－［起動パラメタ］－［イベント出力］で［Systemwalker Centric Manager との連携］の［自動通知／対処をする］をチェック
- Systemwalker Operation Manager の設定で［環境設定］－［起動パラメタ］－［イベント出力］（V13.3.0 以降の場合は、その先の詳細設定）の［ジョブネットの状態］で［異常終了］、［実行中断］および［強制終了］をチェック

ジョブネットが異常終了などした場合、上記 2 つの設定により、メッセージが 2 件通知されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 日次、週次、および月次のジョブネットがあります。これらのジョブネットが完了したあとに、毎日実行するジョブネットを用意したいです。どのように設定すれば実現できますか？

A: 日次、週次、および月次のジョブネットを子ジョブネットとした親ジョブネットを作成し、この親ジョブネットの最後に毎日実行する子ジョブネットを

追加することで実現できます。
なお、子ジョブネットには［登録－ジョブ］ウィンドウの［制御情報］シートで［起動日のみ有効］を設定する必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアントからサーバに接続している状態で LAN ケーブルを抜いた場合、エラーが出力されます。これは正常な動作ですか？

A: 正常な動作です。
通信が切断されたことを通知するためにエラーメッセージを出力しています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3 以降のサーバに接続して、プロジェクト名を入力すると「コード変換により、指定可能な最大バイト数を超えた入力領域があります。」のエラーが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
プロジェクト名が 50 バイトを超えていることが原因です。

［対処方法］
文字コードが UTF-8 の環境では、日本語は 3 バイト、アルファベットは 2 バイトで扱われるので、文字のバイト数を考慮してプロジェクト名を設定してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウに「［＊］の定義内容は、サービスを再起動後、有効になります。」と記述されていますが、サーバの再起動でも有効になりますか？

A: サーバの再起動でも有効になります。
サーバの再起動で、サービスの停止および起動が行われるため、サーバ再起動でも環境設定の反映はできます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 間隔起動のジョブネットが正常終了したあとに、そのあとの間隔起動を実行しないで終了させることはできますか？

A: できません。
定義を変更する、または無効化するなどの対応を検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キューの制限数までジョブが実行されている状態で、さらにジョブが投入された場合、実行待ちの状態になります。このとき、実行待ちのジョブはどのような順番で実行されるのですか？

A: 実行待ちのジョブは、実行中ジョブが終了すると、優先順位の高いものから実行されます。また、優先順位が同じものは、投入された順に実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キューの制限値はどのようになっていますか？

A: キューの制限値は以下のとおりです。

- **キューの数**
  64 個まで
- **システム全体および各キューの多重度**
  Windows 版の場合：99、Solaris/Linux/HP-UX/AIX 版の場合：999

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 1 つのジョブネット内に複数のジョブが構成されています。その複数のジョブを同時に実行させる方法を教えてください。

A: 先行および後続の依存関係を設定しなければ同時に実行できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ソフトウェア上の終了（画面右上の×ボタンクリックなど）を操作しないで、画面を終了することは製品動作上問題ありませんか？

A: 問題があります。
Systemwalker Operation Manager で提示している終了操作をしないで画面を終了した場合、ユーザーの接続セッションが残ってしまい、サービスを再起動するまで残り続ける事象が発生します。
それにより、クライアントが接続数オーバーで接続できなくなるので、必ず画面右上の×ボタン、または画面上のメニューから［ファイル］－［終了］を選択して、終了させてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブのスケジュールを組んでいます。起動日を変更する方法を教えてください。

A: 起動日は以下のどちらかで変更してください。なお、通常は「方法 1」で変更し、「方法 2」は微調整する際に使用することを推奨しています。

■方法 1
ジョブネットを右クリックし、［プロパティ］を選択して、表示されたウィンドウの［起動日］シートで変更する。

■方法 2
ジョブネットを右クリックし、［起動日］を選択して、表示されたウィンドウから起動日を変更する。

「方法 2」で設定された起動日はすべて特異日として扱われます。カレンダや起動日を変更したタイミングでクリアされる場合があるため、注意が必要です。起動日情報の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.1 ジョブのスケジュールに必要な知識
4.1.9 起動日情報について

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 新規に作成したプロジェクト配下にグループを作成する際、「登録できるジョブネットはありません」とメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
グループに登録できる条件を満たすジョブネットが登録されていないことが原因です。

［対処方法］
以下のマニュアルを参照し、グループに登録できるジョブネットの条件を確認して、グループを作成してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.1 ジョブのスケジュールに必要な知識
4.1.4 グループに登録できるジョブネットの条件について

なお、上記以外の製品バージョン／については、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: コンピュータ名を小文字から大文字に変更したときの影響について教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、意図しない動作を起こす可能性があります。そのため、以下のマニュアルの手順で変更してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.2 IP アドレス、ホスト名の変更

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 条件分岐の要因として、ジョブの終了コード以外に、指定できるものはありますか？

A: 終了コードの値による条件分岐に加え、判定ジョブを利用した条件分岐ができます。先行ジョブの実行結果によって、後続ジョブを実行分岐させることで、判定条件を満たしたときだけ特定の処理を行う運用ができます。また、判定条件を満たさない場合に異常終了とさせたり、リカバリジョブを利用して復旧させるような運用も可能です。
判定ジョブには、以下があります。

- ファイル存在判定ジョブ
- ジョブネット変数判定ジョブ
- サービス状態確認ジョブ
- ログファイル解析ジョブ

なお、V13.7.0 以前は、終了コードの値によってだけ条件分岐できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバを再起動する場合、Systemwalker Operation Manager のサービスは事前に停止させる必要がありますか？

A: 必要ありません。
再起動時（シャットダウン時）には、OS の Service Control Manager によってサービスの停止が行われます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のサービスを停止するにあたり、実行中のジョブがあればジョブの終了後にサービスを停止することはできますか？

A: できます。
終了処理ジョブネットを利用してください。詳細は以下のマニュアルをご参照ください。
なお、マニュアルの内容は、システムのシャットダウンについて記述されていますが、シャットダウンをサービスの停止と読み替えて参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.6 ジョブスケジューラを使いこなすために
B.6.1 任意の時刻にシステムをシャットダウンする【Windows 版】

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 3 章カレンダ/電源制御コマンド
3.1 f3crheet 待ち合わせ終了通知コマンド
第 19 章出口情報
19.6 正常終了/異常終了シャットダウン出口【Windows 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 同一のファイルを作成（更新）するジョブが複数あります。chkfile コマンドは、どのようなタイミングで実行させるべきですか？

A: 作成（更新）されたファイルを処理したいタイミングで chkfile コマンドを実行させてください。定期的に動作するジョブネットの中で、chkfile コマンドを実行することで、定期的に作成（更新）されたファイルに対して処理することができます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: パラメタ欄に入力する際、パラメタの中にファイルのパスを指定しても問題ありませんか？その際「C Programfiles」のようにスペースを含んでも問題ありませんか？

A: ファイルのパスを指定することは問題ありませんが、「C:¥Program files」のようにスペースを含めた文字列は指定しないでください。ファイルのパスを正しく処理できません。
この場合、文字列全体をダブルクォーテーション(")で囲むか、コマンドやパラメタを記述したバッチファイルをジョブとして登録してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、同じパラメタの jobschmsgevent コマンドを、1 つのジョブネットに対して、複数のユーザーから同時に複写起動した場合、同時実行されますか？

A: 複写起動により、異なるサフィックスを指定していれば、同時に実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 階層化ジョブネットの子ジョブネットを、他のジョブネット経由で起動できますか？

A: できません。
階層化ジョブネットの子ジョブネットは、上位階層のジョブネット経由での起動だけとなり、他のジョブネット経由で起動することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブ実行時に実行ユーザーを指定しないで、Systemwalker（システム）ユーザーでジョブ実行した場合は、レジストリの「HKEY_USERS」キーにユーザープロファイルをいつ読み込むのですか？

A: Systemwalker ユーザーのユーザープロファイルは、Systemwalker Operation Manager のサービス起動時に読み込まれます。
そのため、ジョブ実行時には、すでに Systemwalker ユーザーのユーザープロファイルが読み込まれた状態になります。再度読み込む処理はしていません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットのステータスが「開始遅延」の状態です。日変わり後に指定した時刻にジョブネットは起動しますか？

A: ジョブネットのプロパティの［日変わり時刻到来時に持ち越し処理を行う］の設定によって、日変わり時刻到来時の動作が異なります。

- **［日変わり時刻到来時に持ち越し処理を行う］をチェックしていない場合**
  日変わり時刻が到来すると、ジョブネットは再スケジューリングされて、ジョブネットの状態は「実行待ち」に戻ります。この場合、待ち合わせしているメッセージ事象が到着しても、再度起動時刻が到来するまでジョブネットは起動しません。

- **［日変わり時刻到来時に持ち越し処理を行う］をチェックしている場合**
  日変わり時刻が到来するとジョブネットの状態は「持ち越し」になります。この場合、待ち合わせしているメッセージ事象が到来すればジョブネットは即時起動します。なお、メッセージ事象が発生しないまま、次の起動時刻が到来してもジョブネットは起動しません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ファイル転送コマンド（FCOPYSVR.EXE および fcopysvr）は、どのような処理をして「終了（復帰）」となるのですか？

A: OS にファイル転送処理を依頼し、OS 側からのレスポンスを待ち、転送処理がすべて完了した時点で「終了（復帰）」となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バッチファイル内などで FCOPYSVR.EXE または fcopysvr コマンドを使用した場合、転送処理そのものが実際に終了していないのに、次のコマンドが実行されてしまうことはありますか？

A: ありません。
FCOPYSVR.EXE および fcopysvr コマンドは、OS にファイル転送処理を依頼し、OS 側からのレスポンスを待ち、転送処理がすべて完了した時点で終了（復帰）します。そのため、転送処理そのものが実際に終了していないのに、次のコマンドが実行されることはありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: PRIMERGY 標準のツールで「PROBEPRO」というものがありますが、このツールを停止しても Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありませんか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブのアイコンの状態を示す輪や×マークの色や、ガントチャート上のジョブネットの状態を示す帯の色をカスタマイズできますか？

A: できません。
GUI 上の色を変更する機能はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: SQL Browser サービスが起動していない場合、Systemwalker Operation Manager の動作に影響がありますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: VBScript 内から jobschcontrol.exe コマンドを起動するようにしたいのですが、VBScript 内でリターンコードを取得できません。サンプルソースがあれば教えてください。

A: サンプルソースはありません。
また、Systemwalker Operation Manager では、VBScript などのスクリプト内の事柄についてはサポート対象外になります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 子ジョブネットで［起動日のみ有効］を設定していない状態です。この状態で、親ジョブネットの起動日を設定していなくて、子ジョブネットだけ起動日を設定している場合、ジョブネットは親も子も起動されませんか？

A: 起動されません。
子ジョブネットで［起動日のみ有効］を設定していない場合、起動日は親ジョブネットの設定にしたがって起動します。
そのため、親ジョブネットの起動日が設定されていない場合、子ジョブネットは起動しません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトのアクセス権に設定できるユーザーおよびグループの数には制限がありますか？

A: OS に登録可能なユーザーおよびグループの数と同じです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの分散実行について、複数のスケジュールサーバから、同一の実行サーバに対して設定することができますか？

A: 設定できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの分散実行について、複数のスケジュールサーバから、同一の実行サーバに対して設定した場合の動作を教えてください。

A: それぞれのスケジュールサーバに設定した分散実行の設定に応じて、実行サーバの分散が行われます。他のスケジュールサーバから実行依頼したジョブ数（実行中ジョブ数）は考慮しません。「（それぞれのスケジュールサーバで依頼した実行中ジョブ数）÷（それぞれのスケジュールサーバの［構成ホスト名］で指定した多重度）」が最も小さいサーバに分散されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のサービスが起動している場合、ドメイン環境で自動的に行われる時刻同期による影響はありますか？

A: 影響はありません。
ドメイン環境で自動で行われる時刻同期は、動作中のアプリケーションに影響がないよう考慮し、補正されるため、Systemwalker Operation Manager のサービス起動中でも影響はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint -r コマンドを使用して、ジョブネットの内容をファイル出力し、ジョブネットを削除して、jobschsetnet -nent コマンドで登録した場合、無効状態のステータスは解除されますか？

A: V13.3.0 以降では、無効状態のまま登録が可能です。jobschprint -r コマンドに-operate オプションを指定することで、無効状態のステータスを出力することができます。-operate オプション指定で出力させた情報を、jobschsetnet -nent コマンドで登録した場合、ジョブネットは無効状態のステータスで登録されます。

V13.2.0 以前の場合は、jobschprint -r コマンドで-operate オプションが指定できません。jobschprint -r コマンドで抽出した情報には、ジョブやジョブネットのステータスを含みません。そのため、無効状態だったジョブやジョブネットは、実行待ちのステータスで登録されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバおよび実行サーバが、ドメインのメンバサーバの場合に、実行サーバだけを別のドメインに変更したときの影響を教えてください。

A: 影響はありません。
ただし、実行サーバ側の Systemwalker Operation Manager のサービスのスタートアップアカウントやローカルジョブの実行ユーザーが、変更前のドメインのドメインユーザーのときには設定の変更が必要になります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブを強制終了させたときの処理内容を教えてください。

A: WM_CLOSE メッセージを送信します。それでも停止しない場合は、Win32API の TerminateProcess API を使用して強制終了させています。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のグループにおいて、前のジョブネットが終了しなければ、特定の時間になっても次のジョブネットが動作しないようにしたいと考えています。どうすればよいですか？

A: ジョブネット間に起動順序を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブスケジューラに「SampleProject」という名前のプロジェクトが存在しますが、製品としてデフォルトで存在するものなのか教えてください。

A: 製品としてデフォルトで存在するものです。必要がなければ削除してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動日雛形を指定しているジョブネットの一覧を表示させるコマンドはありますか？

A: ありません。
ジョブネットの一覧を表示させる代替方法として、jobschprint -a コマンドで出力される「Job Net」、「Schedule Pattern」、および「Pattern Name」の項目を確認してください。
なお、GUI では、［起動日雛形情報の選択］ウィンドウで参照したい起動日雛形を選択し、［使用状況］ボタンで表示される［起動日雛形の利用のジョブネット］ウィンドウで対象の起動日雛形を使用しているジョブネット一覧を表示できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 後続ジョブを実行させないで、ジョブを中止する方法を教えてください。

A: 実行中のジョブネットに対して、強制終了を実施すれば後続ジョブが起動することはありません。
または、後続のすべてのジョブに対して無効操作を行ってください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 毎月最終営業日だけ起動するようにジョブを登録できますか？

A: できます。
以下の手順でジョブネットのプロパティを設定してください。

【V13.4.0 以降の場合】
1.　［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウの［起動日］シートで、詳細設定表示にした上で、カレンダで営業日の基準とするカレンダを選択

します。
2. 「直接指定」を選択して「編集」ボタンをクリックし、［起動日（直接指定）］ウィンドウを開きます。
3. 基準の設定で「営業日」を選択します。
4. 営業日の数え方で「月締め日」を選択します。
5. 「1 営業日前（月締め）」を選択（「選択した営業日」に追加）します。

【V13.3.1 以前の場合】
1. ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウの［カレンダ］シートで、営業日の基準とするカレンダを選択します。
2. ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウの［起動日］シートで、基準情報に「営業日」を選択します。
3. 選択基準に「月締め日」を選択します。
4. 「1 営業日前（月締め）」を選択（「選択した営業日」に追加）します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 1 つのサーバに複数のクライアントを接続して、操作しています。あるクライアントでジョブネットの追加／削除を実施した場合、その他のクライアントでログアウトすることなく表示を更新する方法を教えてください。

A: ［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの［表示］メニューで［業務選択ツリーの更新］を選択すると、業務選択ウィンドウの表示を更新できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のサービスの停止と起動を実行するコマンドを教えてください。

A: poperationmgr コマンドで停止できます。また、soperationmgr コマンドで起動できます。
なお、Systemwalker Centric Manager との共存環境では、poperationmgr コマンド実行時に、/a または-a オプションを指定しないで実行した場合、Systemwalker Centric Manager の運用に影響しない Systemwalker Operation Manager のサービスだけを停止します。同様に、soperationmgr コマンド実行時に、/a または-a オプションを指定しないで実行した場合、Systemwalker Centric Manager と共通のサービスを含めた Systemwalker Operation Manager のサービスだけを起動します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager が提供している API を使用してできるジョブの制御を教えてください。

A: ジョブスケジューラ API として、ジョブネット／グループの制御（強制終了／起動/再起動／停止／停止解除／無効／無効解除／確認／終了取消／持越解除）、ジョブネット起動時刻の変更などを行う API を提供しています。
ジョブ実行制御 API として、ジョブ投入、ジョブ保留／保留解除、ジョブ削除、ジョブの他キューへの移動などを行う API を提供しています。
API の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 17 章 API 情報

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS が Windows、Linux、および Solaris の環境において、Systemwalker Operation Manager のジョブスケジューラサービス／デーモンとジョブ実行制御サービス／デーモンの開始と停止の手順を教えてください。

A: ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの［サービス制御］－［制御対象］から［ジョブスケジューラ］または［ジョブ実行制御］を選択し、［開始］または［停止］ボタンをクリックすることで、サービス／デーモンの開始と停止が行えます。
なお、ジョブ実行制御をこの手順で停止した場合、ジョブスケジューラも停止されます。その状態から、ジョブ実行制御だけを起動しても、ジョブスケジューラは起動されません。別途、ジョブスケジューラも起動してください。
また、クラスタ構成の場合は、上記手順での開始および停止を実施しないでください。クラスタ構成で実施するとフェールオーバが発生します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［環境設定］の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートの［コンソールオプション］－［ログ情報をコンソール/SYSLOG に出力する］で指定するログファイルは、Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で設定した監査ログのことですか？

A: 監査ログのことではありません。
ジョブの実行履歴の情報（Info）レベルのメッセージを、コンソール/SYSLOG に出力するための設定です。
監査ログは、デフォルトで出力されるようになっています。監査ログについての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.4 Systemwalker Operation Manager 共通の定義
2.4.6 監査ログ出力の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループが動作中かどうかを確認するコマンドを教えてください。

A: jobschprint -x コマンドで確認できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー抽出／配付を実施した場合、配付先の元々の情報は上書きされてしまいますか？

A: 上書きされる場合があります。
プロジェクト単位で、同じプロジェクト名がある場合は上書きされます。
なお、ジョブネット名が同じでも、登録されているプロジェクト名が異なれば上書きされません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 環境設定を実施後、複数のサーバにポリシー配付を実施するとき、効率的にポリシーを配付する方法を教えてください。

A: 監視ホストの定義でフォルダを作成し、ポリシー配付時の配付先に対象のフォルダを選択することで、フォルダ配下に登録されているホストに対して、効率的にポリシーを配付できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サービス／デーモンが起動しているかどうかを確認する方法を教えてください。

A: プロセス動作状況表示コマンド（mppviewo）を実行して確認してください。これにより、Systemwalker Operation Manager のプロセス稼働状況が出力され、サービス／デーモンが正常に動作しているか確認できます。
なお、Red Hat Enterprise Linux の場合、chkconfig コマンドで管理するサービスとしては登録されません。そのため「service サービス名 status」コマンドではデーモンの稼働状況を確認できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サービス・アプリケーション起動機能を利用してサービスを起動する場合、手動で起動するときとは違い、サービス間の起動に時間間隔が十分とれないことが考えられます。そのため、依存関係のあるサービスを起動するときに影響はありませんか？

A: 以下の設定をすれば影響はありません。
起動するサービスと依存関係のあるサービスの場合は、その先行サービスを指定し、先行サービス未起動時の動作を指定できます。
先行サービス未起動時の動作としては、「続行」または「中断」を選択できます。

- 続行：先行サービスが開始していなくてもサービスを起動します。
- 中断：先行サービスとして指定したサービスが開始していなかったらサービスの起動を中断します。

なお、先行サービスを指定しただけでは、先行サービスは起動されません。先行サービスも自動起動する場合には、サービス一覧にサービスの登録が必要です。この場合、先行サービスは、先行サービスの指定を行っているサービスより先に登録しておく必要があります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブネットの管理］ウィンドウから表示させるジョブ履歴について、表示可能な日数を増やす方法を教えてください。

A: 参照先のログファイルのサイズを拡張してください。
拡張手順は以下のとおりです。

- ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウで［起動パラメタ］ボタンをクリックして、［データベース］シートで［ログファイルサイズ］を変更します。デフォルトは 3MB です。
- ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウでジョブスケジューラデーモンを再起動します。［サービス制御］の［制御対象］で［ジョブスケジューラ］を選択して、［開始］ボタンをクリックします。

なお、［ジョブネットの管理］ウィンドウからジョブ履歴を表示した場合、1 日単位で表示されます。前日以前のジョブ履歴を確認する場合は、［前日］ボタンをクリックして確認してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: /var/spool/mjes/hist/日付.log を確認する方法を教えてください。

A: mjsview コマンドで確認してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 使用している Systemwalker Operation Manager のバージョン、エディション、32bit 版か 64bit 版か、など製品情報を確認する方法について教えてください。

A: 以下のコマンドで確認してください。

- swpkginfo 製品情報表示コマンド(サーバ用)【UNIX 版】
- F3crfver.exe 製品情報表示コマンド【Windows 版】

詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 1 章共通コマンド
1.15 swpkginfo 製品情報表示コマンド(サーバ用)【UNIX 版】
1.16 F3crfver 製品情報表示コマンド

上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの標準出力および標準エラー出力（前回履歴の表示内容）はログなどに残りますか？残る場合、ログのファイル名、ローテーション方法、削除可否について教えてください。

A: 前回履歴のログファイルに残ります。

このログファイルは、ローテーションされません。ジョブネット起動時に削除され、実行結果は前回の 1 回分だけしか保存されません。ファイルは削除することもできます。

前回履歴のログファイルは、データベースディレクトリ配下に以下のファイル名で格納されます。

■V13.3.0 以降の場合
- Windows 版：“プロジェクト名_ジョブネット名_ccccccccccccccc.log”
（ccccccccccccccc は任意の文字）
- Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版：“プロジェクト名_ジョブネット名_nn.log”
（nn は任意の数字）

■V13.2.0 までの場合
- Windows 版：“プロジェクト名_ジョブネット名_nnn.log”
（nnn は任意の数字）
- Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版：“プロジェクト名_ジョブネット名.log”

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 環境設定の［ジョブスケジューラの起動パラメタの定義］において値を変更した場合、ジョブスケジューラサービス／デーモンの再起動で設定は反映されますか？

A: ジョブスケジューラサービス／デーモンの再起動で反映されます。
なお、起動パラメタの値を変更した際に、再起動を促すポップアップが表示されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが異常終了した場合、異常終了した旨のエラーが出力されますが、このメッセージを出力しないようにできますか？

A: できます。
環境設定の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シートで、［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］が指定され、［詳細設定］で異常終了にチェックが付いているので、この設定を解除してください。なお、V13.2.0 以前の場合は、［イベント出力］シート上で同様の設定を変更してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 先行ジョブネットおよび後続ジョブネットはどのようにしたら登録できますか？

A: 階層化ジョブネットの機能、またはグループ機能を使用することで、先行ジョブネットおよび後続ジョブネットを登録できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 2 つのジョブの正常終了を条件にジョブを起動させることはできますか？

A: できます。
2 つのジョブを先行ジョブとして登録し、その 2 つの先行ジョブが正常終了したあとに、後続ジョブを起動させることができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS 上の GID やユーザー情報（UID、ユーザー名、およびホームディレクトリ）を変更した場合、製品の動作に影響がないか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、GID やユーザー情報（UID、ユーザー名、およびホームディレクトリ）を意識して動作していませんが、GID やユーザー情報を変更する場合は、Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止してから実施してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、待機系で hvshut -l コマンドを実行して RMS を停止し、シャットダウンしています。運用系は OS のシャットダウンだけ（RMS は停止していない）しています。運用系で RMS を停止することによって、Systemwalker Operation Manager に影響がないか教えてください。

A: 影響があります。
クラスタアプリケーションとして Systemwalker Operation Manager のデーモンを登録している場合、運用系で RMS を停止すると、Systemwalker Operation Manager のデーモンが停止する可能性があります。もし、ジョブの実行中に、Systemwalker Operation Manager のデーモンが停止すると、実行中のジョブが強制終了されたり、OS のシャットダウンができなくなることがあります。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で提供されているパッチを適用する場合、サーバとクライアントで日程をずらして適用しても問題ありませんか？

A: 適用予定のパッチの修正情報ファイルなどに、関連環境への同時適用の記載がなければ、日程をずらして適用しても問題ありません。ただし、サーバとクライアント間で、データの整合性を保つ必要があるため、関連するマシンへの同時適用、または短期間での適用を推奨します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールするサーバのハードウェアをリプレースする予定です。ソフトウェアのライセンス変更などが必要になりますか？

A: ソフトウェアのライセンス変更などは必要ありませんが、前提条件があります。

Systemwalker Operation Manager をインストールしていたハードウェア（サーバ／パソコン）を、ハードウェアの更改、障害などで入れ替える場合、旧ハードウェアで使用したライセンスをそのままリプレース後のハードウェアでも使用できます。

ただし、以下の条件が前提になります。
- Systemwalker Operation Manager をアンインストールする
- 保有ソフトウェアがリプレース後のハードウェアをサポート対象にしている
- リプレース後のハードウェアのプロセッサ数が、旧ハードウェアと同じまたはそれ以下である

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 停止／起動／状態確認を一括で管理するスクリプトはありますか？

A: 一括で管理するコマンドはありません。
なお、停止、起動、状態確認はそれぞれ以下のコマンドで行えます。
停止：poperationmgr
起動：soperationmgr
状態確認：mppviewo

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブが 4 つ（ジョブ A、B、C、D）あり、ジョブ B はジョブ A の後続、ジョブ C はジョブ B の後続、ジョブ D はジョブ C の後続ジョブです。このとき、ジョブ B の結果を午前 4 時まで待って、正常終了しなかった、または実行中の場合、後続のジョブ C を起動させることはできますか？

A: ジョブネットを以下のように分けることで実現できます。
この方法では、ジョブ B が終了していなくても、ジョブ C を実行できます。もし、ジョブ B を終了させたい場合は、ジョブネット 3 の中でジョブ B を強制終了させる処理を定義してください。

- **ジョブネット 1**
  ジョブネット 1 を「ジョブ A→ジョブ B→メッセージ a」と定義します。なお、起動条件は想定している条件を設定してください。
- **ジョブネット 2**
  ジョブネット 2 を「ジョブ C→ジョブ D」と定義します。なお、起動条件は「メッセージ a」を待ち合わせます。
- **ジョブネット 3**
  ジョブネット 3 を「ジョブ B およびジョブ C を監視するジョブ」として定義します。起動条件は午前 4 時として、ジョブとして jobschprint -p コマンドを実行し、その結果によって「メッセージ a」を発行するかどうかを判定します。
  - **ジョブ B を監視する場合**
    jobschprint -p コマンドを実行し、Status が「Execute」または「Abend」の場合「メッセージ a」を発行する。
  - **ジョブ C を監視する場合**
    jobschprint -p コマンドを実行し、Start Time に当日の日付が入っていない場合「メッセージ a」を発行する。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、フェールオーバが発生し、実行中だったジョブが、終了コード 239 で異常終了しました。このジョブを再起動させる方法を教えてください。

A: 再起動させる方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 2 章 導入
2.11 ジョブを再起動させる設定
または、
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 2 章 導入
2.10 ジョブを再起動させる設定

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、子ジョブネットが異常終了した場合に、親ジョブネットも異常終了してしまいます。その理由を教えてください。

A: 親ジョブネットは、構成されるジョブや子ジョブネットの終了コードの中で、1 番大きい終了コードを取得してステータスを決定します。そのため、子ジョブネットが異常終了（終了コード 1 以上）した場合、親ジョブネットも異常終了します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition がクラスタシステム（PRIMECLUSTER）に登録されているか確認する方法を教えてください。

A: RMS メインウィンドウの、RMS ツリーに Systemwalker Operation Manager のクラスタアプリケーションがあることを確認してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降でクライアントからの操作履歴を採取したいです。クライアントからの操作履歴は監査ログとして、クライアントに格納されますか？また、監査ログの切り替え契機を教えてください。

A: クライアントからの操作履歴は監査ログとして記録されます。
操作した各クライアントに記録されるのではなく、操作されたサーバ側に記録されます。
また、監査ログの切り換え契機は、毎日午前 0 時です。1 日あたり 1 ファイル作成され、ファイル名に日付が含まれます。なお、ファイルは CSV 形式です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のパッチ(緊急修正)適用後に、パッチの適用状況を確認する方法について教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の修正は UpdateSite（MW）形式になります。
そのため、パッチ(緊急修正)の適用状況は、UpdateAdvisor ツールが提供している uam showup コマンドを利用して確認してください。詳細については、UpdateSite の「ドキュメント」から UpdateAdvisor（ミドルウェア）のヘルプを確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 無効状態のジョブネットがメッセージ事象を受け取ると、そのメッセージ事象は無視されますか？また、無効解除時には即起動されますか？

A: 無効状態のジョブネットがメッセージ事象を受け取っても、そのメッセージ事象は無視されます。メッセージは、発生回数としてカウントされません。
また、無効解除後に即起動することはありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブが 1 つだけ登録されている子ジョブネットのジョブが異常終了した場合に、親ジョブネットを再起動する手順で、子ジョブネットを無効状態にして再起

動する場合と、ジョブを無効状態にして再起動する場合では、動作に違いはありますか？

A: 両方の手順を実施した際、異常終了したジョブが起動されないという同じ結果になりますが、以下に関して違いが生じます。

■ジョブの状態が異なる
子ジョブネットを無効状態にして再起動する場合は、異常終了したジョブの状態は異常終了のままです。
ジョブを無効状態にして再起動する場合は、ジョブの状態は無効状態です。

■子ジョブネットの状態が異なる
子ジョブネットを無効状態にして再起動する場合は、子ジョブネットの状態は無効状態です。
ジョブを無効状態にして再起動する場合は、子ジョブネットの状態が異常終了から正常終了に変化します。

■ジョブ履歴およびジョブネット履歴の情報が異なる
GUI からジョブおよびジョブネットの状態の履歴を参照した場合、上記理由により表示内容が異なります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブに対して空き CPU に応じて処理能力を増減させる機能はありますか？

A: ありません。
ジョブごとに実行優先度を設定できますが、ジョブに対して空き CPU に応じて処理能力を増減させる機能はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブからシェルスクリプトを起動する時、ログインシェルが bash のときに読み込まれる環境設定ファイルは何ですか？

A: ジョブからシェルスクリプトを起動する時、ログインシェルが bash の場合、以下のファイルを読み込みます。

■/etc/profile
/etc/profile は毎回読み込みます。

■$HOME/.bash_profile
$HOME/.bash_profile は、ファイルが存在する場合、必ず読み込みます。

■$HOME/.bash_login
$HOME/.bash_login は、$HOME/.bash_profile が存在しない場合だけ読み込みます。

■$HOME/.profile
$HOME/.profile は、$HOME/.bash_profile および$HOME/.bash_login が存在しない場合だけ読み込みます。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、PRIMECLUSTER を使用してクラスタ運用中、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウから［起動パラメタ］ボタンをクリックして表示される［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの定義を、サービス起動中に反映させることはできますか？

A: 変更内容をサービス起動中に反映させることはできません。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition と、PRIMECLUSTER（HA Server）の環境で、テストのために意図的に障害を発生させて、正常にフェールオーバが発生することを確認する方法を教えてください。

A: ジョブスケジューラのプロセス tskwnsrv に SIGTERM を送信して停止してください。

手順は以下のとおりです。

1. tskwnsrv プロセスの PID を確認します。
   # ps -ef | grep tskwnsrv
2. tskwnsrv プロセスを停止します。以下のコマンドで「SIGTERM」が発行されます。
   # kill <手順 1 で確認した PID>

poperationmgr コマンドでデーモンを停止しても、フェールオーバは発生しません。これは、クラスタ構築時に、poperationmgr コマンドで停止するサービスの自動起動・停止の対象から、クラスタに登録するデーモン（ジョブスケジューラ、ジョブ実行制御）をはずしているためです。
フェールオーバの発生契機は多数ありますが、共有ディスクを強制的にアンマウントさせて、フェールオーバさせないでください。Systemwalker Operation Manager では、ジョブスケジューラデーモンの停止処理において、共有ディスクの情報を参照します。このため、共有ディスクが強制的にアンマウントされたあとでは、ジョブスケジューラデーモンの停止処理が正常に実施できなくなります（フェールオーバは完了します）。
共有ディスクのアンマウントによりフェールオーバが発生した場合、共有ディスクがアンマウントされたノードの tskwnsrv プロセスに、シグナル：SIGTERM を送信してください。なお、シグナル：SIGKILL は送信しないでください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットで 0 以外の異常終了コードを出力した場合に、異常終了したことをイベントログ／SYSLOG に出力しつつ、次の処理を続ける方法を教えてください。

A: 異常終了の状態で後続のジョブを実行させることはできません。疑似正常とする設定をしてください。

環境設定の［疑似正常を有効にする］をチェックし、［正常終了コード上限値］を設定することで、特定のジョブの終了コードが 1 以上の場合でも、疑似正常となり後続のジョブを実行できます。
ジョブの疑似正常とは、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウで、［疑似正常を有効とする］にチェックした場合に、終了コードが 1 以上、［正常終了コード上限値］以下のジョブの終了状態です。

疑似正常をイベントログ／SYSLOG に出力する場合は、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［イベント出力］シートの［詳細設定］ボタンをクリックして表示される［イベント出力の詳細設定］ウィンドウで、［疑似正常］をチェックしてください。（V13.2.0 以前の場合は、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［イベント出力］シートの［疑似正常］をチェックしてください。）

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows の管理ツールから Systemwalker Operation Manager V13.3.1 以前のスタートアップアカウントのユーザーを削除しても Systemwalker Operation Manager の運用に影響はないかどうか教えてください。

A: 影響があります。
Systemwalker Operation Manager のスタートアップアカウントを削除すると、Systemwalker Operation Manager で問題が発生しますので、スタートアップアカウントは削除しないでください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドでジョブネットを起動する場合、待ち受けるジョブネットで設定作業は必要ですか？

A: 必要です。
メッセージ事象を待ち受けるジョブネットのプロパティから、［基本情報］シートおよび［メッセージ］シートの設定を行ってください。設定内容については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.5 ジョブネット情報を設定する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブネットについて、Systemwalker Centric Manager と連携してジョブネットの実行状態を監視したいです。設定方法を教えてください。

A: 設定方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.12 Systemwalker Centric Manager と連携してジョブネットの実行状態を監視する場合の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブを一括登録する手順を教えてください。

A: ジョブネット制御文およびジョブ制御文を格納したファイルを作成し、jobschsetnet コマンドで登録してください。

また、制御文を jobschdeftocsv コマンドで CSV ファイルに変換し、CSV ファイルから GUI によるインポート機能を使って登録することもできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager にログインするユーザーごとに、実行権を有しているジョブネット以外は非表示にすることはできますか？

A: ジョブネットの表示について、ユーザ権限に基づいた、ジョブネットごとの表示／非表示の制御はできません。
Systemwalker Operation Manager にログインするユーザーごとの制御はプロジェクト単位の権限制御です。そのため代替案として、ジョブネットを別のプロジェクトに所属させる運用を検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: マニュアル「運用ガイド」の「ウィルスチェック製品を利用している場合の注意」の対処をしていない場合、どのような影響がありますか？

A: ウイルスチェック製品で内部ファイルにアクセスして排他がかかってしまうと、Systemwalker Operation Manager でアクセス失敗となりファイルが更新されないため、製品全体として不整合が発生する可能性があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント画面上の［接続ホスト名］の並び順を変更したいです。変更方法を教えてください。

A: ［接続ホスト名］は登録順で並んでいるため、削除および再登録を実施して変更してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監視ホストの定義を変更する際、サービス／デーモンの再起動は不要との認識でよいですか？また、設定値が反映されるのは、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウを再度立ち上げるタイミングですか？

A: サービス／デーモンの再起動は不要です。また、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウを再度起動することで、設定が反映されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監視ホストの定義を変更した場合、設定変更タイミングですでに立ち上げている［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウへの影響はありますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監視ホストの定義を変更した場合、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウ以外の機能への影響はありませんか？

A: 複数サーバ監視画面での並び順も変更されます。

監視ホストの定義では、複数サーバ監視クライアントのホスト選択ツリーに表示される監視ホストを定義します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint -p コマンドを実行すると Job Name が出力されますが、Job Name が長いため全部表示できません。Job Name の表示幅を広げることはできますか？また、ジョブの状態とジョブネット名称を同時に参照する方法はありますか？

A: -long オプションを指定することで、Job Name の表示幅を最大長まで出力できます。
V13.2.0 までは、Job Name の表示幅を広げることができません。
なお、ジョブの状態とジョブネット名称を同時に表示する方法はありません。D958

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ起動で 1 日 1 回としていますが、実行中のまま日変わり時刻を過ぎた場合、翌日メッセージが発生するとジョブネットは起動しますか？

A: メッセージ起動で 1 日 1 回のチェックがある場合、実行中のまま日変わり時刻を過ぎ、翌日ジョブネットが終了したあとにメッセージ事象が発生すれば起動します。メッセージ事象発生時に、まだ前日のジョブネットが実行中の場合は、起動しません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットに設定しているカレンダを当日に休日に変更することはできますか？また、該当のカレンダを使用しているジョブネットは当日起動しますか？

A: 当日分を含め未来のカレンダを休日に変更できます。
また、該当のカレンダを使用している実行中のジョブネットは終了時に休日として再スケジュールされて、起動しなくなります。実行待ちのジョブネットはカレンダが更新されたタイミングで休日として再スケジュールされて、起動しません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力シート］－［実行中断］チェックボックスにチェックし、［実行中断］を検知できるように設定変更する際の注意点を教えてください。

A: 設定後、Systemwalker Operation Manager のサービスの再起動または OS の再起動が必要となります。再起動は、グループやジョブネットが実行していないタイミングで実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 別セグメントのサーバに対してメッセージ事象を発行することはできますか？

A: できます。
サーバ間で正常に通信ができるのであれば、別のセグメントでもメッセージ事象を発行することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 運用環境保守ウィザードを使用して運用環境の復元を行う場合、Systemwalker Service Quality Coordinator の停止は必要ですか？

A: 不要です。
Systemwalker Operation Manager では、運用環境保守ウィザードでリストアを実施する場合に Systemwalker Service Quality Coordinator を停止する必要はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 子ジョブネット内のジョブが異常終了し、異常終了したジョブに対して［リカバリ操作］－［指定のジョブから起動］としてジョブが正常終了した場合、親ジョブネット内の後続ジョブネットは起動しますか？

A: 起動します。
リカバリ操作で子ジョブネット内ジョブが正常終了した場合、親ジョブネットの後続子ジョブネットは起動します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: セキュリティ強化を目的にシステム管理者（root/Administrator）および Systemwalker 用アカウントのパスワードを変更した場合、複数ホストの監視やネットワークジョブなど他サーバと連携していたときに連携先サーバ側でパスワード変更が行われずにパスワード不一致になった際に発生する事象を教えてください。

A: 以下の事象が発生します。

■Windows 版の場合
- 環境設定で［ジョブを所有者の権限で実行する］の設定をしていない場合、または設定していても実行ユーザーがシステム管理者（Administrator）の場合、ネットワークジョブが起動できません。
- パスワード管理簿にシステム管理者（Administrator）および Systemwalker ユーザーのパスワードが指定されている場合、業務連携が実行できません。
- 複数サーバ監視で、パスワードを変更していないサーバの監視ができません。

■Solaris 版、Linux 版、HP-UX 版、AIX 版の場合
- 実行ユーザーがシステム管理者（root）の場合、ネットワークジョブが起動できません。
- パスワード管理簿にシステム管理者（root）および Systemwalker ユーザーのパスワードが指定されている場合、業務連携が実行できません。
- 複数サーバ監視で、パスワードを変更していないサーバの監視ができません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12 V11

【運用／保守】

Q: jobschprint -e コマンドで出力される結果は、固定長の文字列ですか？

A: jobschprint -e コマンドの出力結果は固定長の文字列です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが警告状態となった時に、イベントログ／SYSLOG にメッセージを出力することはできますか？

A: できません。
ジョブネットが警告状態になった時に、イベントログ／SYSLOG にメッセージは出力されません。警告状態はガントチャートまたは jobschprint -n コマンドで確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブに対して環境変数を渡す場合、［登録/監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シート－［環境変数］に値を設定することで正しく引き渡されますか？

A: 正しく引き渡されます。
［登録/監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シート－［環境変数］で設定された環境変数は、ネットワークジョブに引き継がれます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のカレンダを変更した場合、Systemwalker Centric Manager のイベント監視の条件定義機能のアクション条件はいつ反映されるか教えてください。

A: 即時反映されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバからネットワークジョブとして起動したシェルが実行中にコネクションが切断された場合、実行中のジョブはどのようになるのか教えてください。

A: 実行中のジョブは以下の動作をします。
なお、実行継続モードについては jmmode コマンドで確認することができます。

■実行継続モードが無効の場合
実行サーバからスケジュールサーバに状態確認を実施しています。状態確認が失敗した場合、ジョブは異常終了します。なお、リトライは行いません。

■実行継続モードが有効の場合

実行サーバで実行中のジョブは実行し続けます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバから実行サーバに対して、Systemwalker Operation Manager としてコネクション切断時に状態確認を行っていますか？

A: スケジュールサーバから実行サーバに状態確認を実施しています。状態確認が失敗した場合、ジョブは異常終了となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの登録の際にジョブ名を入力しなければなりませんが、マニュアルに UTF-8 の文字コードの場合は日本語の文字が使用できないと記載があります。日本語の文字は使用できませんか？

A: 使用できません。
UTF-8 コードの環境では、ジョブ名に日本語を使用しないでください。
UTF-8 コードの環境でジョブ名に日本語コードを使用した場合、動作保証しません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: コマンドを使用して、登録してあるジョブをスキップする方法を教えてください。

A: 無効操作することでできます。
コマンドから実施する場合は、jobschctljob コマンドで disable オプションを使用して、ジョブを無効にしてください。
ジョブを無効にすることで、ジョブネット起動時にもジョブは実行されずにスキップされます。なお、無効を解除する場合は jobschctljob コマンドで enable オプションを使用してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: すでに存在するグループにジョブネットを追加で登録する場合の手順を教えてください。

A: 登録済みのグループにジョブネットを追加する手順は以下のとおりです。

■手順
1. 新たにグループに登録するジョブネットを作成します。
2. 手順 1.で作成したジョブネットを追加したいグループを選択し、右クリックで表示されたメニューから［変更］を選択してグループの変更ウィンドウを表示します。
3. ［ジョブネット］アイコンでジョブネット配置し、［登録－ジョブネット］ウインドウから手順 1.で作成したジョブネットを選択します。
4. 必要に応じてジョブネット起動順序を設定します。
5. ［ファイル］－［上書き保存］で保存します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットのスケジュール登録を行うにあたり、毎時 10 分に 60 分おきでジョブを起動したいのですが、起動条件の指定方法を教えてください。

A: 間隔起動でスケジュールを登録してください。日変わり時刻が 00:00 の場合は、［00:10］から［23:10］までの間に［60］分間隔を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 特定の期間だけジョブネットが起動しないように設定したいのですが、どのようにすればよいですか？

A: ジョブネットのプロパティの［起動日］シートの［運用期間］（V13.3.1 以前の場合は［運用期間］シート）で、無効期間を設定してください。
ただし変更によって、起動日が再作成され、発生済みメッセージ事象がクリアされるので注意してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition において、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前はスケジュール分散）機能のスケジュール情報の配付は、毎日実施するが特定日だけジョブネットを起動しないようにしたいと考えています。配付は実施するがスケジューリングはしないという設定はできますか？

A: できます。
カレンダおよび起動日の設定を利用して、特定の日を非起動日とすることでできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監査ログの設定を確認する方法を教えてください。

A: mpsetlogsend_omgr コマンドで確認してください。ただし監査ログ機能は、V13.2.0 以降の機能のため、V13.1.0 以前の製品バージョン／レベルでは使用できません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS で Red Hat Enterprise Linux 5 for x86 を使用した際に、OS の文字コードを EUC にしても Systemwalker Operation Manager Standard Edition および Enterprise Edition を使用できるか教えてください。

A: 使用できません。
Linux 版 Systemwalker Operation Manager では、UTF-8 環境だけを動作保証しています。

プラットフォーム　: Linux

バージョン　　: V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行予測時間を変更した際、Systemwalker Operation Manager のサービス再起動は必要ですか？

A: 必要ありません。
ただし、起動パラメタの定義を変更した場合は、定義を有効にするためにジョブスケジューラサービス／デーモンの再起動が必要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、スケジュール分散環境で同じジョブネットが同時起動するのを防止する方法を教えてください。

A: 以下のマニュアルを参照の上、運用指示の設定で［完了待ち］または［オペレータ対処］にしてください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 マスタスケジュール管理ユーザーズガイド
第 3 章 運用方法
3.3 持ち越しジョブネットの運用
3.3.1 運用指示の設定

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ハード異常によりサーバが一時的に停止していましたが、その間に実行されていない Systemwalker Operation Manager のジョブネットの確認方法を教えてください。

A: ［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウー［ガントチャート］ウィンドウで、サーバが停止していた時間帯に未実行で表示されているジョブネットが、実行されていないジョブネットです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition は、PRIMECLUSTER HA Server の Application、BasicApplication、SystemState3、または SystemState2 のうち、どのプロシジャリソースに登録していますか？

A: SystemState3 に登録しています。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS のホスト名を変更することでインストールされている Systemwalker Operation Manager に対して影響があるか教えてください。また、設定変更を行う必要があれば、その方法も教えてください。

A: 運用状況に依存しますが、サーバのホスト名を変更することでジョブ（ネットワークジョブ）の実行が失敗する、ジョブネットの監視ができなくなるなどの影響が発生する可能性があります。
Systemwalker Operation Manager を導入しているサーバのホスト名が変更になる場合の設定変更については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.2 IP アドレス、ホスト名の変更
D.2.1 Operation Manager サーバの IP アドレス、ホスト名を変更する

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 Q & A 集
第 1 章 環境に関する Q&A
1.1 Q: Operation Manager サーバの IP アドレスとホスト名の変更方法は

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キューを停止せずに分散実行のホストグループを追加する方法があるか教えてください。

A: ありません。
ホストグループの設定後に設定情報が反映されるのはサービス再起動後のため、キューを停止せずにホストグループを追加する方法はありません。
なお、ホストグループに構成ホストを追加する方法はあります（mjdjadd コマンド）。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 文字コードを UTF-8 から Shift_JIS に変更したところ、Systemwalker Operation Manager から出力されるエラーが SYSLOG で文字化けします。Systemwalker Operation Manager から出力されるメッセージをすべて抑止する方法を教えてください。

A: SYSLOG に一切出力させない設定はできません。
なお、Linux 版では Shift_JIS をサポートしていないため、Systemwalker Operation Manager から出力されるエラーが SYSLOG で文字化けします。

プラットフォーム : Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschcontrol コマンドの終了コード値と対応する発生事象について教えてください。

A: jobschcontrol コマンドの終了コード値は 0 および 1 だけです。0 はコマンドが正常に終了した場合、1 はコマンドが失敗した場合です。コマンドが失敗した場合、標準エラー出力にメッセージを出力するので、メッセージを確認してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の画面からジョブネットを複数選択して一括削除を行うことはできますか？

A: できません。
jobschsetnet -ndel コマンドでジョブネットを指定して削除してください。
V16.0.0 以降では、階層化されたジョブネットを指定して削除する場合、配下のジョブネットも併せて削除することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［運用情報の定義］ウィンドウ－［利用機能］シート－［ジョブを所有者の権限で実行する］のデフォルト値が、Windows 版の場合はチェックなし、Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の場合はチェックあり、となっています。プラットフォームによってデフォルト値が異なる理由を教えてください。

A: デフォルト値が異なる理由は、OS の仕組みに違いがあるためです。
Windows 版に関しては、特殊な設定（ユーザーへの特殊な権限の付与および事前のパスワード情報の定義）が必要となるため、実行権限を偽装する機能は、明示的に定義した場合だけ機能するようにしています。
Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版に関しては、root 権限を持つプロセスからであれば、指定した権限に偽装することができます。
このため、デフォルトで、ジョブの実行ユーザーの権限が制限されるようにしています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: xinetd プロセスを内部処理で起動させる動作がないか教えてください。

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager の内部処理では xinetd プロセスを起動させません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: CPU のハイパースレッドの設定を有効から無効にすることで、Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありますか？

A: ありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブスケジューラ情報印刷を使用して作成した監視図をファイルで保存し、Visio などで編集できますか？

A: できません。
ジョブスケジューラ情報印刷で出力したジョブネット監視図は、印刷はできますがファイル出力することができません。そのため、Visio などでの編集はできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 日変わり時刻として「07:55」を設定しています。クライアントの時刻表示（起動予定日時や開始日時など）を、日変わり時刻までを前日として表示させることはできますか？

A: できません。
起動予定日時や開始日時は、暦日で表示されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 拡張ユーザ管理機能で設定するパスワードと OS のパスワードは一致させる必要はありますか？

A: 拡張ユーザ管理機能で設定するパスワードと OS のパスワードを一致させる必要はありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ユーザーに OS への telnet は許可させない設定にしようとしています。OS のユーザーアカウントをロックした状態で Systemwalker Operation Manager を操作できますか？

A: アカウントロックされた OS ユーザーでは Systemwalker Operation Manager を操作することはできません。
代替案として拡張ユーザ管理機能の使用を検討してください。
拡張ユーザ管理機能で作成したユーザーアカウントだけを Systemwalker Operation Manager を操作するユーザーに公開し、OS のユーザーアカウントを非公開にすることで、telnet などの操作を許可させない運用ができます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 日変わり時刻が 07:55 で、毎日 5 時が起動時刻のジョブネットがあります。例えばシステム日付の 20 日に実行させない場合、起動日画面で 20 日を非起動日とすると、システム日付では 21 日が非起動日となってしまいます。システム日付ベースで変更できますか？

A: システム日付ベースでは変更できません。
非起動日は、日変わり時刻を基にした日付で設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブを多重で動かしていますが、そのうちの 1 つが異常終了して、他のジョブは正常終了しました。す

べてのジョブが終了のステータスにならなければ異常終了がイベントログ／SYSLOG に通知されないようですが、これは正常動作ですか？

A: 正常動作です。
異常終了の通知はジョブネットが終了した際に行われます。ジョブネット内の 1 つのジョブが異常終了となっても、他のジョブが終了するまで、ジョブネットは終了しません。したがって、すべてのジョブが終了しなければ異常終了の通知はされません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: あるジョブが実行中のとき、そのジョブを強制終了しないで後続のジョブを実行することはできますか？

A: 実行中のジョブを強制終了せずに後続のジョブを実行させることはできません。実行中のジョブが終了するまで待つか、または後続ジョブだけが登録されているジョブネットを別途作成して任意のタイミングで後続ジョブだけが登録されているジョブネットを起動してください。
なお、もとのジョブネットの後続ジョブは、無効操作を実施して実行されないようにしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Linux(32bit)版 Systemwalker Operation Manager でカレンダ API は使用できますか？

A: 使用できません。
ただしカレンダ情報を取得するコマンドとして、jobschprint -h を提供しています。jobschprint -h での代用を検討してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 親ジョブネットの起動日が 1 日から 10 日、子ジョブネット 1 の起動日が 1 日、および子ジョブネット 2 の起動日が 5 日のジョブネットを作成しています。この親ジョブネットを 20 日に［操作］－［起動］で操作した場合、子ジョブネット 1 および 2 は起動されますか？

A: 起動されます。
親ジョブネットを 20 日に［操作］－［起動］で操作した場合、配下の子ジョブネット 1 および子ジョブネット 2 は両方起動されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー配付後に、配付が正常に実行されて反映されたことを確認する方法を教えてください。

A: ポリシー配付および適用時にエラーが発生していない場合、配付および適用は正常に完了しています。なお、適用結果についてはクライアントや jobschprint コマンドで確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ファシリティ「syslog」でログ出力する場合はありますか？

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager で使用しているファシリティは「daemon」および「user」です。「syslog」は使用していません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Centric Manager との連携についてマニュアルを確認したところ、jobschgetoutput というコマンドが必要になることがわかりましたが、V13.3 から使用できるコマンドでした。V13.2 で同様の動作が実現できないか教えてください。

A: V13.2 で同様の動作を実現する方法はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: デュアルブート構成の 2 つの環境の切り替えを行う際に、Systemwalker Operation Manager のサービスを停止する必要はありますか？

A: 停止する必要はありません。
OS を再起動させたときに Systemwalker Operation Manager のサービスは自動的に停止するため、デーモンを停止する必要はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールジョブの前回履歴の表示について、ジョブが動いたときにメッセージが出力されると、標準出力にメッセージが出力されます。このメッセージは SYSLOG にも出力されますか？

A: 前回履歴は SYSLOG には出力されません。
前回履歴は、ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ配下の「プロジェクト名_ジョブネット名.log」（V13.3.0 以降の場合は、「プロジェクト名_ジョブネット名_nn.log」（nn は任意の数字））に記録され、ジョブが実行されるたびに上書きされます。

履歴を残したい場合は、標準エラー出力および標準出力をファイル出力してスクリプトで退避する、または上記前回履歴ファイルを退避する仕組みを作成してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager に登録してある時刻起動ジョブネットを、日変わり時刻をまたいで実行をする場合、問題はありますか？

A: 問題ありません。
時刻起動ジョブネットが日変わり時刻をまたいで動作することは問題ありません。ただし間隔起動の場合には、同じ内容の 2 つのジョブネットを作成し、日変わり時刻をまたがないように起動時刻を定義してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 本環境は、Windows OS をインストール後、Systemwalker Operation Manager をインストールし、Systemwalker Operation Manager のホスト名など、何も設定を行っていない状態です。Windows OS のホスト名を変更することによって何か影響はありますか？

A: 影響はありません。
Systemwalker Operation Manager がインストール直後であり、Systemwalker Operation Manager として何の設定もしていない状態であれば、影響はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット名称の登録について文字数の制限はありますか？

A: ジョブネット名称には文字数の制限があり、バージョン／レベルにより制限値が異なります。
Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以前のサーバに接続した場合、24 バイト以内で設定する必要があります。
Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降のサーバに接続した場合、100 バイト以内で設定する必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ名の登録について文字数の制限はありますか？

A: ジョブ名の登録について文字数の制限はあります。
ジョブ名は 64 バイト以内で設定する必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 階層化されたジョブネット（子ジョブネット）は、jobschsetnet -ndel コマンドで削除できますか？

A: V16 以降では、階層化されたジョブネットの場合、「jobschsetnet -ndel -mod 1」指定により、配下のジョブネットもあわせて削除することができます。
なお、V13 以前では、子ジョブネットを jobschsetnet -ndel コマンドで直接削除することはできません。ジョブネットの親子関係を解除後に削除してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「MpJobsch: ERROR: 0330」というエラーが発生し、ジョブは終了コード 139 で異常終了しました。終了コード 139 は Systemwalker Operation Manager が出力しているものですか？

A: 終了コード 139 は Systemwalker Operation Manager が出力するものではありません。実行しているジョブが出力しているものです。ジョブの終了コードのうち、201～256 までの値はジョブスケジューラで設定されています。201～256 以外の終了コード、および 201～256 内で

も未使用の終了コードは、Systemwalker Operation Manager が設定した値ではなく、ジョブ自身、すなわちジョブのコマンド欄に登録したコマンド、バッチファイル、シェルスクリプトなどが出力した値です。実行しているジョブが終了コード 139 で異常終了する原因を確認してください。
なお、ジョブの終了コードについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 22 章 ジョブの終了コード

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの修正や変更をしたときに、同じジョブネットのジョブ設定（無効状態）が変わらないようにするにはどうすればよいですか？

A: リカバリ変更を実施してください。ただし以下の注意点があります。
［ジョブネットの監視］ウィンドウで、［ファイル］メニューから［リカバリ変更］ができますが、以下の変更はできません。

- リカバリジョブを通常のジョブにすることはできません。
- アイコンがジョブネットのジョブの場合、ジョブネット名は変更できません。
- 子ジョブネットの［起動日のみ有効］は変更できません。

■注意点

- ジョブネット実行中はリカバリ変更できません。
- リカバリ変更した場合、ジョブの一時変更の情報はクリアされません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: PRIMECLUSTER で構成されたクラスタ上で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition をクラスタリソースに登録して動作させています。Systemwalker Operation Manager のプロセスが落ちてもフェールオーバをさせない方法を教えてください。

A: 監視スクリプトおよびデーモンを監視する状態遷移プロシジャをクラスタサービスから登録解除してください。
ただしデーモンの動作を制御する状態遷移プロシジャについてはデーモン起動および停止に必要なため、必ず登録してください。

プラットフォーム : Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: コマンドで、既存のジョブネットにジョブを追加する際に、ジョブネット内のジョブの順番を変更する方法を教えてください。

A: 制御文の pre_job を指定することで、追加したジョブの順番を制御できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 拡張ユーザ管理機能を利用していない環境でプロジェクトの所有者を変更します。該当プロジェクトに

対する元の所有者、新しい所有者、および設定済ユーザーのアクセス権がどうなるのか教えてください。

A: 元の所有者のアクセス権はなくなります。ただし元の所有者が root ユーザーの場合は更新権が残ります。
新しい所有者には更新権が設定されます。
他の既存のアクセス権は影響を受けません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の、ジョブネット名とジョブネット名称の違いを教えてください。

A: ジョブネット名とジョブネット名称の違いは以下のとおりです。

■ジョブネット名
プロジェクト内のジョブネットを識別するためのキーになる項目です。プロジェクト内でユニークで 50 バイト以内(V13.2.0 以前の場合は 8 バイト以内)の文字列である必要があります。jobschcontrol コマンドでジョブネットに対して操作を実施する場合にジョブネット名をパラメタとして指定します。

■ジョブネット名称
ガントチャートウィンドウなどへの表示名です。100 バイト以内(V13.2.0 以前の場合は 24 バイト以内)の文字列ですが、プロジェクト内でユニークである必要はありません。ジョブネットを登録時にジョブネット名称を指定しない場合は、ジョブネット名と同一の文字列がジョブネット名称になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの構成で、「A、B、C、D」というジョブがあった場合、通常は順番に構成されます。B だけ実行したくない場合にどのような設定をすればいいか教えてください。

A: B を動かしたくない場合は B を無効状態にすることで、実現できます。
無効状態のジョブはスキップされて次のジョブが起動されます。
なお、ジョブネットが起動する前、またはジョブネットが起動している場合は、ジョブ B が起動する前にジョブ B を無効状態にしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 間隔起動されるジョブネットがありますが、保守のため間隔起動されないよう無効状態にしています。この状態で手動でジョブネットを起動させ動作確認を行う方法を教えてください。

A: 以下の 2 つの方法を検討してください。ただし、無効解除を行う必要があります。
無効（disable）状態になったジョブネットは、jobschcontrol start コマンドを実行しても起動できません。

なお、以下はそれぞれジョブネットの状態が無効（disable）状態からの操作です。

■方法 A
間隔起動で起動時刻に到達する前に以下の操作を行う。
1. jobschcontrol ジョブネット名 enable：無効解除
2. jobschcontrol ジョブネット名 start：手動で起動し、動作確認を行う
3. jobschcontrol ジョブネット名 disable：無効状態にして間隔起動しない

■方法 B
ジョブネットのプロパティで起動条件を一時的に［なし］にし、スケジューリングされないようにする。
1. ジョブネットのプロパティー［基本情報］シートで、起動条件を［間隔起動］から［なし］に変更し［OK］をクリック（スケジューリングされなくなる）
2. jobschcontrol ジョブネット名 enable：無効解除
3. jobschcontrol ジョブネット名 start：手動で起動し、動作確認を行う
4. jobschcontrol ジョブネット名 disable：無効状態にする
5. ジョブネットのプロパティー［基本情報］シートで、起動条件を［なし］から［間隔起動］に変更し［OK］をクリック（スケジューリングされる）

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 日変わり時刻を 12 時 00 分とした場合、間隔起動で 12 時 00 分から 11 時 59 分までの間を指定したい場合は、［1200］から［1159］と指定すればよいですか？

A: ［1200］から［1159］と指定してください。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの間隔起動で 12 時 00 分から 11 時 59 分までを指定しています。12 時 00 分の日変わり時刻で日変わり処理に時間がかかり、当日の初回のジョブネットが 12 時 05 分の起動となった場合、60 分間隔では次回の起動は 13 時 05 分となりますか？

A: 13 時 00 分に次回のジョブネットが起動されます。
12 時 00 分からカウントして 60 分後である 13 時 00 分に 2 回目のジョブネットが起動されます。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 毎日 1 回起動するジョブネットがあります。該当のジョブネットが 24 時間以上実行され、翌日の起動予定時刻を超過した場合、翌日起動予定のジョブネットは「開始遅延」になりますか？

A: 開始遅延とはならず、実行拒否となります。
開始遅延は、毎日 1 回起動、かつメッセージ事象が発生した場合に、実行する設定がされているジョブネットが開始予定時刻に到達してもメッセージ事象が発生していないときに成立するものです。よって、毎日 1 回起動するという条件だけのジョブネットでは開始遅延は発生しません。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ起動時に一時ファイルが作成されますか？作成される場合、その一時ファイルが削除されるタイミングを教えてください。

A: 一時ファイルは作成されます。
作成された一時ファイルは、ジョブの終了時に削除されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが異常終了した場合に出力されるメッセージを教えてください。

A: ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シート（V13.3.0 以降の場合は、その先の［イベント出力の詳細設定］ウィンドウ）で、［異常終了］をチェックした場合、「MpJobsch: ERROR: 0330:」から始まるメッセージが出力されます。
［イベント出力］シートで、［自動通知/対処をする］をチェックした場合、「jobschExit: エラー:399:」から始まるメッセージが出力されます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの投入は qsub コマンドでできますか？

A: できます。
コマンドのパラメタについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 7 章 ジョブ実行制御コマンド
7.18 qsub ジョブの投入コマンド

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの削除は qdel コマンドでできますか？

A: できます。
コマンドのパラメタについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 リファレンス集
第 7 章 ジョブ実行制御コマンド
7.12 qdel ジョブの削除コマンド

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドはコマンドラインで実行できますか？

A: コマンドラインで実行できます。
コマンドのパラメタについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 4 章 ジョブスケジューラコマンド
4.18 jobschmsgevent コマンド

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 停止または無効の状態を一括で解除する方法はありますか？また、一括解除する際に特定のものだけを解除しないように例外を設けることはできますか？

A: 対象がジョブネットかジョブかで異なります。

■対象がジョブネットの場合
停止または無効状態をプロジェクト単位で一括で解除できます。
プロジェクト単位で操作する場合は、業務選択ウィンドウで対象のプロジェクトを選択後、［ファイル］メニューまたは右クリックから［一括操作］－［すべて停止解除］または［すべて無効解除］を選択してください。ただし、本手順では、プロジェクト単位で一括操作となり、例外を設けての解除はできません。
V17.0.0 以降の場合は、jobschoperate コマンドでも同様な操作が行えます。

プロジェクト横断で一括解除したい場合は、以下の手順で、［ジョブネットの管理］ウィンドウを利用した一括解除ができます。

1. ［ジョブネットの管理］ウィンドウで、［ジョブネットの絞り込み条件］ウィンドウからジョブネットの状態（停止または無効）の絞り込みを行います。
2. 表示されたジョブネットを全選択し、［ファイル］メニューまたは右クリックから［操作］－［停止解除］または［無効解除］を指定します。
   状態解除したくないジョブネットがある場合は、全選択から外してください。

■対象がジョブの場合
一括で解除できません。個別に解除してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Job Designer で一括編集ワークシートからジョブフローを生成する方法を教えてください。

A: 一括編集ワークシート上にある［ジョブ情報］欄に該当するセルをダブルクリックすることで［ジョブ情報］シートが新たに出力されます。［ジョブ情報］シートの右上にある［ジョブフロー生成］ボタンからジョブフローを生成してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバ再起動時（Systemwalker Operation Manager のサービス再起動時）にジョブネット停止状態は保持されていますか？

A: 保持されます。
ジョブネットが停止状態でサーバを再起動しても、停止状態のジョブネットは停止状態のままです。異常終了にはなりません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 停止状態のジョブネットに対して 2 回以上起動条件が満たされると 2 回目以降は実行拒否状態になるとマニュアルに記載がありますが、停止解除したあとに起動条件が満たされたジョブネットは正常に処理されますか？

A: 停止解除したあとに起動条件が満たされたジョブネットは起動されます。
ただし、2 回以上起動条件が満たされて停止解除した場合、起動するのは 1 回目に起動が予定されていたジョブネットで、2 回目以降のジョブネットは起動しません。その場合、運用環境に応じて、手動で 2 回目以降のジョブネットを起動させる必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の処理で smux サービスを使用していますか？

A: 使用していません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: SNMP の設定ファイルを使用していますか？SNMP を使用していない場合、またはデフォルトの状態のままだと何か運用に問題がありますか？

A: Linux 版の Systemwalker Operation Manager では、SNMP エージェントを使用しません。そのため、問題はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 分散実行機能により Windows サーバ上で起動されたバッチファイル内で異常を検知した場合は異常を検知したサーバを除き、残りの Windows サーバで分散実行を続行させることはできますか？

A: できます。
ただし、以下の方法を実施する必要があります。
異常を検知したサーバを除き、残りの Windows サーバへの分散を行う場合は異常を検知したサーバ上の Systemwalker Operation Manager のサービスを停止し、該当サーバに接続できない状態にする必要があります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: acpid サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: cpuspeed サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ia32el サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: messagebus サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: openibd サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: haldaemon サービスを停止した場合、動作に影響はありますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが警告状態や異常終了となった場合に Systemwalker Centric Manager に通知する方法を教えてください。

A: ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］で［起動パラメタ］ボタンをクリックし、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］－［イベント出力］シート（V13.3.0 以降の場合は、その先の［イベント出力の詳細設定］ウィンドウ）で［異常終了］をチェックし、イベントログ／SYSLOG に出力されるメッセージを Systemwalker Centric Manager で監視してください。
設定を反映させるためには、ジョブスケジューラサービス／デーモンの再起動が必要です。

なお、警告状態は、通知できません。このため、最終的に異常終了となった時点での通知となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker MpPmonO サービスがどのようなサービスなのか概要を教えてください。またサービスを止めていることによって、どのような影響が出ますか？

A: Systemwalker MpPmonO は Systemwalker Operation Manager のプロセスを 1 分間隔で死活監視するプロセスです。プロセスの異常を検知した場合、イベントログにエラーを出力します。
Systemwalker MpPmonO を停止すると Systemwalker Operation Manager のプロセスの監視が行われなくなります。別の方法で監視をしない限り、Systemwalker Operation Manager のプロセス停止に気付かない可能性があります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で出力されるジョブスケジューラのログファイルの詳細を教えてください。

A: ジョブネットおよびジョブの実行履歴（開始時刻、終了時刻、終了コードなど）が格納されます。詳細は以下のとおりです。

■出力されるログファイル名およびそのパス
ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ配下に、jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log というファイル名で出力されます。

■ログのローテーションの方法およびログファイルのサイズ
上記 3 ファイルをサイクリックで使用します。jobdb1.log→jobdb2.log→jobdb3.log→jobdb1.log と、ファイル単位でサイクリックに使用します。ログファイルのサイズは、［環境設定］－［起動パラメタ定義］－［データベース］シートで設定します。

■削除可否
削除すると Systemwalker Operation Manager が正しく動作しない可能性があるため、削除しないでください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で出力されるジョブ実行履歴情報のログには、ジョブの実行履歴が格納されるのですか？また、出力されるログファイルのパス、ログのローテーションの方法、および削除可否について教えてください。

A: ジョブの実行履歴が格納されます。詳細は以下のとおりです。

■出力されるログファイルのパス
デフォルトでは、Windows 版の場合は、Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpmjessv¥hist、Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の場合は、/var/spool/mjes/hist です。出力先を変更する場合は、［環境設定］－［運用情報の定義］ウィンドウの［ログ］シートで設定します。

■ログのローテーションの方法
保存日数で管理されます。保存日数については、初期値は 31 ですが、［環境設定］－［運用情報］－［ログ］シートで変更できます。

■削除可否
指定日数分しか残らず、過去のログは日付が変わった時点で削除されます。任意で削除できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で出力される稼働実績情報のログは、どのような設定をしている場合に出力されるログですか？また、出力されるログファイル名とそのパス、ログのローテーションの方法、および削除可否について教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の［環境設定］－［運用情報］－［ログ］シートで設定している場合に出力されるログです。詳細は以下のとおりです。

■出力されるログファイル名およびそのパス
ログファイル名は「日付.csv」で、格納先は任意に設定できます。デフォルトで出力されるログではありません。

■ログのローテーションの方法
保存日数で管理されます。保存日数については、初期値は 31 日ですが、［環境設定］－［運用情報］－［ログ］シートで変更できます。

■削除可否
指定日数分しか残らず、過去のログは日付が変わった時点で削除されます。任意で削除できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行ユーザーの確認方法を教えてください。

A: 以下の方法で現在のジョブの実行ユーザーを確認してください。

■確認 1
［環境設定］－［運用情報］－［利用機能］で［ジョブを所有者の権限で実行する］のチェックの有無を確認してください。
- チェックなしの場合：Systemwalker MpMjes サービスのスタートアップアカウントで実行します。確認完了です。
- チェックありの場合：確認 2 を実施してください。

■確認 2
ジョブのプロパティで、［詳細情報］シートの実行ユーザー名を確認してください。
- ジョブの実行ユーザーが登録されている場合：登録されているユーザーでジョブが実行されます。
- ジョブの実行ユーザーが登録されていない場合：プロジェクトの所有者の権限で実行されます。

［ジョブを所有者の権限で実行する］の設定が無効の場合はサービスのスタートアップアカウント、有効の場合はプロジェクトの所有者またはジョブの実行ユーザー名に指定したユーザーです。
Systemwalker Operation Manager のジョブの実行ユーザーは、デフォルトではインストール時に指定したサービスのスタートアップアカウントです。ただし、環境設定にある［ジョブを所有者の権限で実行する］を有効にした場合、プロジェクトの所有者またはジョブの実行ユーザー名で指定したユーザーでジョブが実行されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行予測時間を設定している状態で、実行予測時間を超過した場合に発生するメッセージを教えてください。

A: 発生するメッセージは以下のとおりです。なお、メッセージは SYSLOG に出力されます。

■Windows 版の場合
MpMjes: 警告: 9006:jobname は time 分が経過しても終了しません。
(Project Name=projectname,Job Net=jobnetname)

■Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の場合
MpMjes: WARNING: 10114: It doesn't end even if job name (jobname) lapses by end plan time (time) seconds.
(Project Name=projectname, Job Net=jobnetname)

●パラメタの意味
jobname：ジョブ名
time：定義された実行予測時間
projectname：プロジェクト名
jobnetname：ジョブネット名

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、カレンダで休日設定して、ジョブネットのプロパティで[起動日が休日の場合の扱い]（V13.3.0 以前では［休日の取り扱い］）を［起動しない］に設定しているジョブを、休日設定日に［操作］－［起動］で実行した場合、起動しますか？

A: 起動します。
カレンダで休日になっていても、手動で実行でき、起動します。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: オンラインバックアップを実施したデータのリカバリ時のジョブネットの状態について、日変わり時刻 0:00、バックアップ実行 1:00、リカバリを 4:00 に実施した場合、以下のようになると思います。正しいですか？
1:00 までに終了したジョブネットについては終了時の状態バックアップ実行中のジョブネットは強制終了状態 2:00～3:00 に実行されたジョブネットは状態表示されず、実行履歴も分からずリカバリ時もスケジューリングされないリカバリ時にスケジュールデーモンが起動されるため、このタイミングでスケジューリングが実施され、4:00 以降のジョブネットについては実行待ちでスケジューリングされる

A: それぞれの質問の回答は以下のとおりです。

1. 終了時の状態になります。
2. 強制終了ではなく、異常終了（終了コード=239）になります。ジョブ／ジョブネット／グループの実行中にバックアップを行い、その情報をリストアした場合、実行中だったジョブ／ジョブネット／グループは終了コード 239 の異常終了になります。このため、ジョブ／ジョブネット／グループが実行してない時間帯にバックアップすることを推奨します。
3. 2:00～3:00 の実行状況については、リストア後には認識されません。ガントチャート上は「未実行」になります。前回履歴もバックアップ時の状態に戻ります。スケジューリングは、2:00～3:00 の間の分はされません。リストア後の次回起動日時でスケジューリングされます。
4. バックアップ時点での状態でリカバリされ、その状態に応じてスケジューリングされます。例えば、ジョブネットが無効の場合は、リストア後のジョブネットも無効状態になります。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの中に子ジョブネットを作成しました。終了コードはどのように決まりますか？

A: ジョブネット内のジョブの終了コードの最大値がジョブネットの終了コードになります。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サービス／デーモンを再起動する際に、ステータスが「停止中」のジョブネットが存在していても問題ありませんか？また、サービス／デーモン再起動によるメッセージ状態の変更は起きませんか？

A: ステータスが「停止中」のジョブネットが、サービス／デーモン再起動中に存在していても問題ありません。また、サービス／デーモン再起動によるメッセージ事象の発生状況に変化は生じません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サブシステムのない環境から、サブシステムのある環境にネットワークジョブを投入する際に、各サーバで以下のポートを統一する必要がありますか？「jobsch_win1 5001/tcpjobsch_win2 5002/tcpmjsnet1 5101/tcpmjsnet2 5102/tcp」

A: 統一する必要はありません。
サブシステム運用を行っていないサーバから、サブシステム運用を行うサーバへのネットワークジョブの運用では、当該のポートは利用しないため、統一する必要はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12 V11

【運用／保守】

Q: jobschsetproject コマンドを使用して複数のプロジェクトを登録する場合、プロジェクト情報制御文のファイルに複数のプロジェクトを記載して登録できますか？

A: できません。
プロジェクト情報制御文のファイルには、1 つのプロジェクトしか記載できません。複数プロジェクトを登録する場合は、プロジェクトごとにファイルを分けてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監視ホスト定義を omgrmonitor コマンドで行う場合、CSV ファイルは Shift_JIS にするようにとマニュアルに記載があります。EUC の環境で構築しているので、vi エディタなどで見ると改行等が文字化けしています。問題ありませんか？

A: 問題はありません。
CSV ファイルは Shift_JIS で定義する必要があり、EUC の環境で確認した場合に文字化けしても問題はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドの復帰値の意味について教えてください。終了コード 1 と 244 で復帰することがあります。

A: 終了コード 1 は、コマンド構文の誤りなど利用方法に誤りがある場合に発生します。
終了コード 244 は、－h で指定したホストにアクセスできない（コネクトエラー）場合に発生します。
終了コードだけでは正確な現象を確認できないため、標準出力（前回履歴）を確認の上、マニュアルの「メッセージ集（または、メッセージ説明書）」で確認してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschdeftocsv コマンドで出力した CSV ファイルを使用して、ジョブネット登録バッチを作成および登録すると、ジョブのパラメタ欄の「"」が削除されてしまいます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

jobschdeftocsv コマンドでは、ジョブネット制御文やジョブ制御文を、そのままカンマ区切りで変換していますが、ジョブネット登録バッチ内で実行される jobschcsvtodef コマンド実行時に、CSV ファイル書式の仕様で「"」（ダブルクォーテーション）が文字列ではなく、項目区切り文字として扱われ、jobschdeftocsv コマンドで出力されていた「"」が削除されてしまうためです。

［対処方法］

現象は CSV ファイル書式の仕様に基づく動作のため、Systemwalker Operation Manager のコマンドでは対処できません。
jobschdeftocsv コマンドで出力した CSV ファイルを編集し、「"」が含まれている箇所に「"」を 2 つ追加してください。

以下の例を参考にしてください。
＜例＞

- 修正前
  jobA.bat,4,ジョブ A,,"C:¥Program Files¥test"log,jobA,,,1
- 修正後
  jobA.bat,4,ジョブ A,,"""C:¥Program Files¥test"""log,jobA,,,1

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの稼働日を jobschsetnet -sent コマンドで設定しましたが、過去日については設定前のままで、稼働日が変更されませんか？

A: jobschsetnet -sent コマンドでジョブネットの稼働日を設定した場合、過去日については変更されません。なお、当日分については変更できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行制御設定で、ジョブレコードを採取しています。ジョブの基本情報の箇所でジョブ名を省略した場合、ジョブレコードの中のジョブ名の項目には何が入りますか？

A: ジョブ登録時にジョブ名を省略した場合、ジョブ実行制御では下記のようにジョブ名を設定します。
ジョブファイル名を指定している場合は、ジョブファイル名のパス名および拡張子を取り除いたものをジョブ名とします。
qsub コマンドでジョブファイル名を指定しない場合は、STDIN をジョブ名とします。
また、ジョブ名の指定有無に関わらず下記の場合は、特定の文字が付与されます。

ジョブ名の先頭に数字が指定された場合、ジョブ名の先頭に「J」を付加します。ジョブ実行制御が管理するジョブ番号とジョブ名を区別するためです。
ネットワークジョブの実行サーバ側のジョブ名は、投入サーバ側のジョブ名の最後に「_」（半角アンダーバー）を付与します。ローカルジョブとネットワークジョブを区別するためです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0 のサーバからジョブネットの情報をエクスポートし、V16.0.0 のサーバにインポートした際に、登録情報が変更される、または新規に追加される項目があれば教えてください。

A: 登録情報を変更している項目はありませんが、新規に追加している項目は以下のとおりです。
[ジョブネットのプロパティ]－[基本情報]シートの[複写起動する]のチェック

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の運用ガイド（使用手引書）の「B.5.2 ジョブの実行環境について」に、Systemwalker Operation Manager で設定される環境変数がありますが、env コマンドを実行すると、JC_CHOST と JC_COMMENT が空になります。設定方法を教えてください。

A: JC_CHOST には、デマンドジョブ実行時の依頼元クライアントのホスト名が入ります。
JC_COMMENT には、デマンドジョブの「ジョブの内容」で指定したコメントが入ります。
ジョブスケジューラから実行する場合、JC_COMMENT を出力したいときには、コマンド欄の先頭に「-C」を入力してください。
また、JC_CHOST を出力したいときには、コマンド欄の先頭に「-ch」を入力してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブ/ジョブネットの実行履歴は、デフォルトで何日分保存されますか。また、保存日数の変更方法を教えてください。

A: ジョブおよびジョブネットの実行履歴の保持日数は、ログファイルの容量に依存するため、保存日数の定義および変更はできません。
ジョブ/ジョブネット履歴を表示するログ情報は、ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ（デフォルトで変更なしの場合）配下の jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log という 3 つのファイルから表示しています。これらの 3 つのログファイルは、jobdb1.log→jobdb2.log→jobdb3.log→jobdb1.log と、ファイル単位でサイクリックに使用します。
ジョブ履歴画面で表示される情報は、3 つのログファイルのうち、現在使用しているログファイルと、1 つ前のログファイルに蓄えられている情報の範囲となります。これら 3 つのログファイルのサイズ(デフォルト:3MB)は変更でき、サイズを大きくすることで、保存できる日数を増やすことができますが、保存できる日数はお客様の運用によって異なります。

詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義
■［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［データベース］シート
参考 ログファイルサイズの設定について

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: jobschev.txt が存在しない場合の動作を教えてください。

A: 起動パラメタファイル（jobschev.txt）が存在しない場合には、すべての項目がデフォルト値で動作します。
なお、起動パラメタファイル（jobschev.txt）は、環境設定クライアントの起動パラメタの定義を変更した際、新規に作成されます。
Systemwalker Operation Manager のインストール時に作成されるわけではありません。
起動パラメタファイル（jobschev.txt）は、インストール先の OS により格納場所が異なります。

Windows の場合：インストール先ディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpjobsch¥etc¥
Solaris の場合：/var/opt/FJSVJOBSC/etc
HP-UX の場合：/opt/FHPJOBSCH/db/etc
AIX の場合：/usr/FAIXJOBSC/db/etc
Linux の場合：/var/opt/FJSVJOBSC/etc

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［起動パラメタ］ウィンドウからログファイルのサイズ変更を実施しました。変更時は、jobdb*.log の最新が jobdb1.log で、1 つ前が jobdb3.log の状態でした。jobdb2.log に存在していた jobdb2.log の内容を、jobdb3.log にコピーし、ジョブ履歴から表示できるようにしました。現状では問題なく動作していますが、このまま運用してよいですか？

A: このまま運用すると、ジョブスケジューラの履歴情報が正しく表示できない場合があります。そのため、ジョブスケジューラを一度停止し、jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log を退避または削除してください。退避した場合でも、jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log に格納されている履歴情報はあとから参照できます。
詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.2 運用前に知っていただきたいこと
B.2.1 時刻の変更に関する注意事項
■システムの時刻の補正を行う場合の注意

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブで、簡単に JCL を使用しているかどうか確認する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager で提供している jobschprint -r コマンドを使用することで、ジョブネットおよびジョブの情報を取得できます。この方法でジョブのコマンド欄に直接、JCL（拡張子が jcl）が登録されているかどうかを確認してください。
しかし、ジョブのコマンド欄にシェルを登録し、シェルから JCL を呼び出している場合は、上記の方法では確認できません。そのため、サーバ上で「.jcl」を検索して確認する必要があります。なお、JCL はシェルスクリプトなどと同じく、お客様が作成および格納するファイルであるため、どのディレクトリに格納されているかは、環境によって異なります。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント連携機能を使用したいのですが、クライアント側でクライアント業務連携のアイコンが表示されません。表示方法を教えてください。

A: クライアントインストール時にクライアント機能を選択して、［詳細］ボタンからクライアント業務連携をインストールしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: シェルをジョブに登録した際、パスでシェルを起動していますか？それとも sh コマンドで起動していますか？また、その際に必要になる権限を教えてください。

A: ジョブを起動する際には、パスでシェルを起動します。シェルに必要な権限としては、ジョブの実行ユーザーがそのシェルを単体で実行できる権限が必要です。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［運用情報の定義］ウィンドウの画面上部にある［ジョブ制御］の多重度と、画面下部にある［キュー］の多重度の意味を教えてください。また、ともに定義されていた場合、どちらの多重度が有効となりますか？

A: ［運用情報の定義］ウィンドウの画面上部にある［ジョブ制御］で設定する［同時実行可能なジョブ数を制限する］の設定は、サーバ全体（サブシステム運用している場合にはサブシステム全体）で同時に実行できるジョブ数の制限になります。画面下部にある［キュー］で「queue1」、「queue2」、および「online1」を選択し、［キューの編集］ウィンドウにある［同時実行可能なジョブ数を制限する］の設定は、各キューごとで同時に実行できるジョブ数の制限となります。ともに定義されていた場合は、それぞれが有効となります。
なお、「online1」の多重度も、サーバ全体（サブシステム運用している場合にはサブシステム全体）の多重度を考える場合の値に含まれます。

例
- サーバ全体（サブシステム運用している場合にはサブシステム全体）の多重度：30
- queue1 の多重度：20
- queue2 の多重度：20
- online1 の多重度：10

上記の設定では、各キューでの多重度の合計が「50」になりますが、サーバ全体（サブシステム運用している場合にはサブシステム全体）の多重度が「30」です。この時、queue1 で 20 多重で実行中、queue2 で 10 多重で実行中となっている場合、online1 にジョブを投入しようとしても、システム全体の多重度「30」を超えるため、実行できません。実行遅延になります。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のサーバが 2 つある状態で、1 つのサーバから、もう 1 つのサーバのあるジョブが実行中かどうかを確認する方法があれば、教えてください。

A: ネットワークジョブで「jobschprint -e」または「jobschprint -p」コマンドで、実行中のジョブの情報を確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［登録－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シートのコマンド（シェル）が、カレントディレクトリと同一のディレクトリに格納されている場合、フルパス記載の必要がありますか？

A: コマンド（シェル）がカレントディレクトリと同一のディレクトリに格納されている場合、フルパス記載の必要はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントのログイン情報をログ採取する場合、監査ログの設定方法を教えてください。

A: 監査ログ出力機能は、標準で出力する設定になっています。デフォルトの出力先、および保存日数の変更を行う場合、mpsetlogsend_omgr コマンドで行います。
なお、監査ログ出力機能は、Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降でサポートしています。
監査ログ出力機能の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.4 Systemwalker Operation Manager 共通の定義
2.4.6 監査ログ出力の定義

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 2 章 セキュリティコマンド
2.18 mpsetlogsend_omgr コマンド

上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントは複数設置できますか？できる場合、操作に対して排他制御されるかどうかを教えてください。

A: できます。
Systemwalker Operation Manager のサーバに対して、最大 62 クライアントまで同時接続できます。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
付録 B 制限値
B.1 運用に関する制限値
■Systemwalker Operation Manager サーバへ接続できるクライアント数

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

また、サーバ側では、順次処理するため、排他制御は行いません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschcontrol コマンドでジョブネットの起動操作を行うと、「MpJobsch: ERROR: 0225: ジョブネットは保存中または制御中です」となる場合があります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブスケジューラサービス／デーモン、または他のジョブスケジューラのコマンドが、操作対象のジョブネットに対し処理を実施しているためです。

［対処方法］
数秒後にリトライすることで対処してください。
詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.9 ジョブスケジューラのコマンドまたは API の動作がおかしい
4.9.9 エラーメッセージ「ジョブネットは保存中または制御中です」が表示される

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトの所有者を確認するためのコマンドを教えてください。

A: jobschprint -o コマンドを実行することで、登録されているプロジェクト名とその所有者名の一覧を出力することができます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: アプリケーションをバックグラウンドで実行できますか？

A: execasvr コマンド（アプリケーション起動コマンド）で実行できます。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: backup コマンドを-SN オプションで実行した際、ジョブの状態はどのようになりますか？

A: 停止や無効状態のジョブは、バックアップ時のステータスのままリストアされます。実行中であったジョブは、リストア後は異常終了になります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブで jobschcontrol コマンドを実行していますが、エラーコード 1 となり失敗してしまいます。理由を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のインストール作業時に設定した言語環境と、現環境のシステムの言語環境が異なる場合に、エラーコード 1 が出力されます。
また、Systemwalker Operation Manager のインストール作業時に設定した言語環境と、ジョブの実行ユーザーのログインシェルで設定されている言語が異なる場合にも出力されます。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サービス／デーモンを再起動しないで、キューの登録および登録したキューを指定したジョブネットの登録はできますか？
なお、ジョブネットの登録は、jobschprint コマンドと jobschsetnet コマンドで行います。

A: できます。
キューの登録には、サービス／デーモンの再起動は必要ありません。
しかし、登録したキューをシステムに反映させるためには、再起動が必要です。
また、ジョブネットについては、登録自体はできます。指定したキューが未反映の場合には、ジョブネットの実行時エラーになります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、クラスタ運用をしている場合、リソースが異常（userApplication が Online 時に、Offline、Faulted 状態）になる契機について教えてください。

A: PRIMECLUSTER に登録された Systemwalker Operation Manager リソースは、ジョブスケジューラまたはジョブ実行制御のデーモンが異常となった契機で、リソースが異常となります。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが待ち受けるメッセージ事象を確認するためのコマンドを教えてください。

A: jobschprint -a コマンドで確認できます。
jobschprint -a コマンドの実行結果としてジョブネットのプロパティ情報が標準出力されますが、その出力結果に<MSG>というキーワードがあり、その中の Message キーに、ジョブネットが待ち受けているメッセージ事象名が表示されます。
また、そのメッセージ事象名に、*が表示されているものについては、メッセージ事象が発行されていることを示します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの終了予定時刻の設定と、一時変更の設定を行います。ジョブネットの変更が正しく行われたかどうかを確認する方法を教えてください。

A: jobschprint -r コマンドで、ジョブネット制御文およびジョブ制御文で指定した情報から確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境でのバックアップ（mpbko コマンドの実行）は、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition のデーモンの停止が必要ですか？

A: デーモンを停止させる必要がない場合もあります。
詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 3 章 運用
3.4 クラスタシステム運用時のバックアップ/リストア
3.4.1 クラスタシステム運用時のバックアップ手順

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 疑似正常の設定を実施する場合、デーモンの再起動は自動で行われますか？または手動で行う必要がありますか？また、他のサブシステムに影響を与えますか？

A: デーモンの再起動は手動で行う必要があります。ジョブスケジューラの再起動を行ってください。なお、ジョブスケジューラのデーモンは、サブシステムごとにあるため、他のサブシステムに影響を与えることはありません。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 1 つのネットワーク上に 2 台のスケジュールサーバを設置した場合、何か問題はありますか？

A: 問題はありません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント業務連携でアプリケーション起動するとき、実行サーバでスクリーンセーバーロック中であっても実行できますか？

A: 実行できます。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バックアップ／リストアについて、リストア後にスケジュール情報が戻っているかを確認する方法を教えてください。

A: jobschprint -r コマンドおよび jobschprint -R コマンドでバックアップ時とリストア時の情報を出力し、差分がないかを比較してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschcontrol コマンドと jobschmsgevent コマンドは、対象のジョブネットの状態を監視して終了するのか、それとも対象のジョブネットの状態の変更を待たずに終了するのかを教えてください。

A: jobschcontrol コマンドと jobschmsgevent コマンドは、対象のジョブネットの状態を監視していません。したがって、対象のジョブネットの状

態の変更を待たずに終了します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システムカレンダファイルを、他サーバに手動でコピーして使用しても問題はありませんか？

A: Systemwalker Operation Manager のシステムカレンダファイルを、他サーバに手動でコピーして使用することは、動作保証していません。
Systemwalker Operation Manager のポリシー情報の抽出／配付機能を使用して、カレンダファイルを移行してください。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.13 既存環境を他のサーバ上に構築する場合の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、環境設定画面に設定してある起動パラメタの設定は、運用系と待機系で設定しなくてはいけませんか？クラスタを切り替えた際に、運用系から待機系に引き継がれるのですか？

A: 運用系で設定してください。待機系での設定は不要です。起動パラメタの設定は、共有ディスク内部に保持しています。
また、クラスタを切り替えた際に引き継がれます。
なお、待機系で起動パラメタの設定がされていないように見えるのは、共有ディスクがマウントされていないことによるものです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、クラスタ環境を稼働させていますが、クラスタサービスを停止した状態で、Systemwalker Operation Manager を稼働させることはできますか？

A: できません。クラスタ構成から Systemwalker Operation Manager を外して運用することを検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、クラスタの操作で Systemwalker Operation Manager が再起動されるか教えてください。

A: クラスタ登録されているのであれば、クラスタ切り替え・切り戻しによって、ジョブスケジューラ・ジョブ実行制御は再起動されます。登録されていないカレンダなどは必要であれば、別途再起動してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Centric Manager との連携で、「ジョブネットの異常終了を監視してジョブネットの再起動／確認により自動的に対処済にさせる場合」と「イベントログ／SYSLOG に出力される実行履歴を利用して監視する場合」の違いを教えてください。

A: 「ジョブネットの異常終了を監視してジョブネットの再起動／確認により自動的に対処済にさせる場合」は、Systemwalker Centric Manager に、直接メッセージを送信し自動的に対処済にします。
「UX:jobschExit: エラー: ジョブネットが異常終了しました. ジョブネット名称=xxx ジョブネット名=xxx コード=xxx プロジェクト名=xxx サブシステム番号=xxx」というメッセージが、Systemwalker Centric Manager に通知されます。
一方「イベントログ／SYSLOG に出力される実行履歴を利用して監視する場合」は、Systemwalker Operation Manager でイベントログ／SYSLOG にジョブネット異常終了の内容のログを出力し、それを Systemwalker Centric Manager のログ監視で検知するという違いがあります。
SYSLOG に「MpJobsch: ERROR: 0330: ジョブネットが異常終了しました ジョブネット名称=XXXX ジョブネット名=YYYY コード=CCCC プロジェクト名=ZZZZ ProjectName=ZZZZ」が出力されますので、この内容を Systemwalker Centric Manager のログ監視で検知できるように、Systemwalker Centric Manager 側で設定を行います。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint コマンドが格納されているパスを教えてください。

A: jobschprint コマンドは「/usr/bin」配下に格納しています。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: swcolinf（保守情報収集コマンド）実行時に採取される情報はどのようなものですか？

A: トラブル調査に必要な情報です。主に以下の情報になります。

- ジョブの実行履歴
- Systemwalker Operation Manager の各種情報（ジョブ、カレンダ、トレースなど）
- SYSLOG および実行環境のシステム情報の一部

保守情報収集ツールについて詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 メッセージ集
付録 A 保守情報の収集方法

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所（V13.3.1 以前の場合は Systemwalker Operation Manager トラブルシューティングガイド）を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: swcolinf（保守情報収集コマンド）実行中に、内部ログの排他によるログの更新ができないなど、業務運用への影響はありますか？

A: ありません。
swcolinf 実行中に、各種内部ログに対して更新ができず、業務に影響を及ぼすことはありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mprso コマンドはシングルユーザモードで実行できますか？

A: mprso コマンドはシングルユーザモードで実行できます。
ただし、以下の領域がマウントされている必要があります。

- プログラムの配置先： /opt
- 固定定義ファイルの配置先： /etc/opt
- 可変定義ファイルの配置先： /var/opt

なお、上記ディレクトリはデフォルト値です。
インストール時に変更している場合は、それぞれ変更している領域をマウントしてください。
また、クラスタ構成の場合、共有ディスクもマウントしておく必要があります。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mprso リストアコマンドによるリストアを行います。mprso リストアコマンドおよび soperationmgr サービス／デーモン起動コマンド実行後の問題の有無について、確認方法を教えてください。

A: 異常を示すメッセージが出力されていないか、各コマンドの出力メッセージを確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Oracle の SYSTEM ユーザーのパスワードを変更した際に、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition において影響があるか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager は、Oracle と直接連携する製品ではないので、Oracle の SYSTEM ユーザーのパスワードを変更しても直接的な影響はないですが、例えば、SQL*PLUS に SYSTEM ユーザーがログインする処理が含まれたシェルスクリプトを、Systemwalker Operation Manager のジョブとして登録しており、シェルスクリプト内に SYSTEM ユーザーのパスワードが記載されているというような場合は、そのパスワードを変更するなど、シェルスクリプト側での対処が必要になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、ハードのリプレイス時に、クラスタ環境の Systemwalker Operation Manager のインストール、およびバックアップしておいた情報のリストア以外に作業が必要か教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のインストール後に、再度、クラスタ環境の構築が必要になります。そのあとにリストアを実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 2 つのメッセージを起動条件に動くジョブネットで、1 つのメッセージが到着した状態で翌日になった場合に、メッセージ事象がクリアされるタイミングを教えてください。なお、ジョブネットの設定内容は以下のとおりです。起動条件はメッセージだけ。時刻起動は設定していない。［すべてのメッセージ事象が発生した時に起動］を選択している。［一日一回］は指定していない。

A: 現在の設定内容の場合、日変わり時刻を越えて翌日になっても、メッセージ事象はクリアされません。
メッセージ事象をクリアする場合は、jobschmsgclear コマンドでクリアしてください。
なお、両方のメッセージがそろった時点で各メッセージ事象のカウントは 1 つ減ります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダの情報の削除を、コマンドで実行する方法を教えてください。

A: カレンダは以下のコマンドで削除できます。
jobschsethol -del カレンダ名

詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 4 章 ジョブスケジューラコマンド
4.2 jobschsethol コマンド

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの階層化（親ジョブネット）を設定することで、今までメッセージで連携していた日次と月次のジョブネットの起動振り分けを実現できますか？具体的には、日次処理では、3 つのジョブネットが「X→Y→W」の順番で起動する。また、月次処理では、ジョブネット W が「X→Y→W」と「X→Z→W」というように、ジョブネット Y と Z の両方が終了しないと起動しないようにする。

A: 実現できます。
親ジョブネットを 1 つ作成し、子ジョブネットとして、4 つのジョブネット W、X、Y、および Z を登録します。
ジョブネット X の次に起動するジョブネットとして、ジョブネット Y および Z を設定します。なお、ジョブネット Z では、月次処理として起動する起動日を設定し、［登録－ジョブ］ウィンドウ－［制御情報］シートで［起動日のみ有効］をチェックしてください。チェックしない場合は、ジョブネット X が終了するたびに起動してしまいます。
ジョブネット Y および Z の次に起動するジョブネットとして、ジョブネット W を設定します。ジョブネット W では、ジョブネット Y および Z の両方が終了すると起動するように設定します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: デマンドジョブの実行履歴を CSV ファイルで確認する方法を教えてください。

A: ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウで［運用情報］ボタンをクリックして、［運用情報の定義］ウィンドウの［ログ］シートで［稼働実績情報を保存する］に出力先ディレクトリを指定してください。指定したディレクトリに、デマンドジョブの実行履歴が、日付単位に CSV ファイルで出力されます。
詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 8 章 ジョブの履歴を参照する
8.4 ジョブ履歴出力

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー抽出／配付を使用して、Systemwalker Operation Manager の環境を移行します。移行できない情報はありますか？

A: ポリシー抽出／配付で、環境設定、カレンダ情報、およびプロジェクトの情報など、設定情報はすべて移行できます。
ただし、以下については移行できません。

- ジョブネットおよびジョブの実行履歴（ログ）
  移行はできませんが、実行履歴を移行前に退避しておくことで、移行後でも退避しておいた実行履歴を確認することはできます。実行履歴は、データベースディレクトリ配下に格納された jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log に出力されています。
  なお、移行前の環境で退避しておいた実行履歴を、移行後の環境に移動して運用することは、動作保証していません。

- ジョブネットのメッセージ事象の発生数
  メッセージ事象の発生数はクリアされます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行中のジョブを強制終了する際、実行されているアプリケーションやシェルスクリプトにシグナルなどが通知されるか教えてください。

A: シグナルが通知されます。
実行中のジョブを強制終了する際、実行されているアプリケーションやシェルスクリプトを SIGKILL で強制終了しています。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの複写時に、複写元と複写先で同一のジョブネット名を指定しても問題がないか教えてください。

A: 問題があります。
ジョブネットの複写時に、指定したプロジェクトの複写先に同一のジョブネット名が存在していた場合は、複写に失敗します。ジョブネット名を変更して複写してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブにシェルスクリプトを登録し、ユーザーの.profile を読み込み実行させる方法を教えてください。

A: ジョブに実行ユーザーが指定されている場合は、そのユーザーの.profile が自動的に読み込まれて実行されます。指定されていない場合は、プロジェクトの所有者の.profile が読み込まれて実行されます。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 過去のジョブネットの実行履歴の取得方法を教えてください。

A: jobschprint -g(-G)コマンドで取得できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの起動時刻（起動間隔）の単位を秒単位で設定できますか？

A: 秒単位での設定はできません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの状態の種類と意味を教えてください。

A: ジョブネットの状態には「実行待ち」、「実行中」、「警告」、「正常終了」、「異常終了」、「強制終了」、「疑似正常終了」、「停止中」、「無効状態」、および「確認済」があります。
それぞれの状態の意味は以下のとおりです。

実行待ち
ジョブネットの起動時刻の到来前などです。また、ジョブネット内のジョブも実行待ちになります。
実行中
ジョブネットが実行中の状態です。ジョブネット内の 1 つ以上のジョブが実行中（実行遅延）の状態です。また、先行ジョブが正常終了後、後続ジョブが停止中の状態であっても、ジョブネットは実行中の状態になります。
警告
ジョブネットが実行中の状態ですが、ジョブネット内に 1 つ以上のジョブが、強制終了または異常終了になっています。
正常終了
ジョブネットが正常に終了した状態です。
異常終了
ジョブネットが異常で終了した状態です。
強制終了
ジョブネットまたはジョブに対して強制終了操作を実施された状態です。
疑似正常終了
ジョブネット内のジョブが実行し、疑似正常終了したジョブが存在する状態です。ただし、異常終了および強制終了したジョブが存在しないことが前提です。
停止中
ジョブネットに対して、停止操作を実施したことによって設定される状態です。
無効状態
ジョブネットに対して、無効操作を実施したことによって設定される状態です。
確認済
異常終了および強制終了したジョブネットに対して確認操作を実施したことによって設定される状態です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 月末に起動し、平日であれば 20:30 に起動し、休日であれば 18:30 に起動するジョブネットの設定方法を教えてください。

A: 2 つの方法があります。

■方法 1
2 つのジョブネットを作成し、以下のように設定します。

- 1 つ目のジョブネットの設定
  - ［基本情報］シート：時刻起動「20:30」
  - ［起動日］シート：［直接指定］の［毎月］を指定し、［月末の日を起動日にする］にチェック
    ［詳細設定］ボタンで表示される起動日のシフト処理で、
    起動日が休日の場合の扱い「起動しない」
    カレンダで、休日カレンダ A を設定

  V13.3.1 以前の場合は、
  - ［起動日］シート：基準情報「毎月」、月末にチェック
  - ［カレンダ］シート：休日カレンダを設定し、休日の取り扱い「起動しない」

- 2 つ目のジョブネットの設定
  - ［基本情報］シート：時刻起動「18:30」
  - ［起動日］シート：［直接指定］の［毎月］を指定し、［月末の日を起動日にする］にチェック
    ［詳細設定］ボタンで表示される起動日のシフト処理で、
    起動日が休日の場合の扱い「起動しない」
    カレンダで、休日だけのカレンダ（休日カレンダ A とは正反対のカレンダ）を設定

  V13.3.1 以前の場合は、
  - ［起動日］シート：基準情報「毎月」、月末にチェック
  - ［カレンダ］シート：休日だけのカレンダ（休日カレンダ A とは正反対のカレンダ）を設定し、休日の取り扱い「起動しない」

■方法 2
月末の 18:30 に起動し、休日か平日かを判定し、即実行するか 2 時間 sleep するかをシェルスクリプトなどで判定する方法で、1 つのジョブネットで実現します。

- ジョブネットの設定
  - ［基本情報］シート：時刻起動「18:30」
  - ［起動日］シート：基準情報「毎月」、月末にチェック
  - ［カレンダ］シート：なし

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントをインストールした際、作成されたスタートアップアカウントのパスワードは変更できますか？できる場合、変更の際の留意事項があれば教えてください。

A: パスワードの変更はできます。
変更時の留意事項は特にありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: サーバ上に登録されているジョブネットが、どのカレンダを使用しているかを確認する方法を教えてください。

A: 登録されているジョブネットのプロパティ情報を出力するコマンド「jobschprint -a」を使用することで、サーバ上に登録されているジョブネットが使用しているカレンダ情報を確認できます。
なお、複数のサーバを一括で確認できないため、1 台ごとのサーバでコマンドを実行してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境において、環境設定の「起動パラメタ」の設定変更の際、運用を停止させない、またはできるだけ停止時間を短くするような方法を教えてください。

A: 以下のようなクラスタのフェールオーバを使用した環境設定の反映があります。

1. クライアントから運用系（ノード A）に接続する。ノード A で起動パラメタを設定後、サービスを再起動させないでポリシー情報を抽出する。
2. クラスタをフェールオーバさせる。
3. 待機系（ノード B）に配付する。この際、［次回のサービス起動時に適用する］を選択する。
4. クラスタをフェールオーバさせる。ノード A が運用系になり、サービスを再起動することで、設定内容が反映される。なお、ノード B では、次回フェールオーバ時に反映されます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: JCL 内で、stepstart 内の skip 文を同時に複数使用できますか？

A: できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MPWALKER.JM¥」が配置されているフォルダのドライブ使用量がいっぱいになったときの影響を教えてください。

A: 以下のような影響があります。

- ファイルシステムの空き容量がないときに、ジョブネットおよびグループの追加／変更処理ができません。
- 運用中のジョブの出力情報や履歴情報が書き込まれなくなります。
- ジョブ実行制御のスプールディレクトリ（Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MPWALKER.JM¥mpmjessv¥mjespool）の容量が少ない場合にジョブが実行できず、異常終了になるときがあります。
- Systemwalker Operation Manager にジョブとして登録しているバッチファイルやアプリケーションが、作業フォルダを使用するような処理があった場合に、容量不足でジョブが異常終了になる可能性があります。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バージョンアップの前にポリシーを抽出する場合、業務中に実施しても支障ありませんか？

A: 支障はありません。
ポリシーを抽出する場合、Systemwalker Operation Manager のサービスの停止は不要です。そのため、業務に影響はありません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境において、再起動時に考慮すべきサービスを教えてください。

A: 以下のマニュアルを参照の上、MpJmCal の停止／起動を考慮してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 4 章 Microsoft® Fail Over Clustering システム固有の手順
4.5 Microsoft® Fail Over Clustering システムにおけるサービスの起動/停止

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: バージョンアップする際、使用ポート番号について、ファイアーウォールの設定を見直す必要があります。jobsch_win1 および jobsch_win2 はどのような運用で必要になりますか？

A: 複数サブシステム運用を実施している場合に必要です。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: jobschprint コマンドの-n と-g オプションについて教えてください。

A: jobschprint -n は、登録されているジョブネットについて、現在の状態を出力します。
jobschprint -g は、ジョブネットの実行履歴を出力するコマンドです。ログファイル「jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log」から最新の 2 世代から情報を取得します。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行制御のジョブの多重度を超過した状態でスケジュールジョブを投入した場合、ジョブがどのような状態になるか教えてください。

A: ジョブを投入するキューの投入可能ジョブ数が多重度よりも多い状態の場合、ジョブは実行遅延となり、キュー内でジョブの実行待ち状態となります。
ジョブを投入するキューの投入可能ジョブ数が多重度よりも少ない、または等しい状態の場合、ジョブは投入できず、終了コード 243 で異常終了します。
詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 設計ガイド
第 6 章 ジョブの実行環境について検討する
6.2 キューの設定例
6.2.1 大量のジョブが一度に実行される場合

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 14 章 スケジュールされた業務の状態と動作
14.1 ジョブ/ジョブネット/グループの状態と動作
14.1.1 ジョブの状態

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.2 ジョブが異常終了する
5.2.6 ジョブがコード 243 で異常終了する
対処 5
5.3 ジョブが実行されない
5.3.7 ジョブが実行されず、遅延が発生する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows の標準バックアップ（リストア）機能の ASR（Automated System Recovery)を実行した場合、動作に影響はありますか？

A: 影響があります。
Systemwalker Operation Manager で OS のバックアップ機能を利用した運用は、動作保証しません。
Systemwalker Operation Manager のバックアップ／リストアは、Systemwalker Operation Manager で提供している、運用環境保守ウィザードの運用環境の退避／運用環境の復元を使用してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 階層化されているジョブネットで、子ジョブネットが異常終了した際、親ジョブネットも異常終了のままにする方法を教えてください。

A: ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［利用機能 1］シートで、［確認操作を有効にする］を設定してください。
［確認操作を有効にする］を設定することで、ジョブネットが異常終了した際に確認操作を行うまで、スケジューリングされません。
なお、V13.2.0 以前の場合は、［利用機能 1］シートの［スケジュールオプション］で、［ジョブネットの確認操作を有効にする］を設定してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブリストファイル（ジョブ名.I ジョブ番号）を作成しない方法、または定期的に削除する（蓄積されない）方法があれば教えてください。

A: ジョブスケジューラから起動したジョブの実行結果を残さないように変更するには、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウで、［起動パラメタ］をクリックすると表示される［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［出力ファイル］シートで、［ジョブの出力ファイルを削除する］をチェックしてください。ジョブスケジューラサービス／デーモンを再起動すると、この設定が有効になります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: データベース領域を保持している外部ディスクで、1GB の使用量増加現象が見受けられました。Systemwalker Operation Manager で、突然 1GB もの容量増加が見込まれる要因はありますか？

A: Systemwalker Operation Manager がジョブとして実行するシェルスクリプトやアプリケーションのログの出力量によっては、ファイルサイズが増大する可能性があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、システム時刻補正時の注意事項を教えてください。また、日付と時刻の設定画面自体を表示しても問題がないかについても教えてください。

A: ジョブスケジューラはシステムの現在時刻をベースにしてスケジューリング処理を行っているため、運用中にシステム時刻を変更すると、ジョブネットがスケジュールどおりに起動しなくなったり、サービスやデーモン動作に異常を来したりすることがあります。
システムの時刻を変更する場合は、ジョブスケジューラサービス／デーモンを停止してから行ってください。
システムの時刻や日付を過去に戻した場合は、ログ情報を削除したあと、システムをリブートしてください。
なお、日付と時刻の設定画面を表示すること自体は問題ありません。
時刻補正時の注意事項の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.2 運用前に知っていただきたいこと
B.2.1 時刻の変更に関する注意事項

上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 登録されているジョブネットを jobschprint コマンド以外で外的に確認する方法はありませんか？

A: ありません。
jobschprint コマンドおよびクライアントからの GUI 操作以外に確認する方法はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降で、ジョブスケジューラの設定変更（ジョブの定義修正・カレンダ修正など）をすると、その変更履歴は残りますか？

A: 変更履歴は残ります。
V13.2.0 以降では、Systemwalker Operation Manager へのログイン履歴、スケジュールおよびジョブ/キューの定義変更や操作履歴などを監査ログとして記録します。

監査ログについて詳細は、以下のマニュアルを参照してください。
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 4 章 セキュリティ
4.2 Systemwalker Operation Manager のセキュリティ機能
4.2.4 監査ログ出力

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.4 Systemwalker Operation Manager 共通の定義
2.4.6 監査ログ出力の定義

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 12 章 監査ログを分析する
付録 C 監査ログの検索キーワード一覧

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 20 章 ファイルリファレンス
20.1 ログファイル
20.1.2 監査ログのファイル

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17, V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが一定時間内に終了しない場合に、ジョブの実行を打ち切りたい(ジョブを異常終了させたい)のですが、設定方法を教えてください。

A: 打ち切り時間を設定することで、指定した時間内にジョブが終了しない場合に、強制終了させることができます。打ち切り時間が経過後、ジョブのステータスは「異常終了」になります。

［打ち切り時間］の設定手順は以下のとおりです。
1. 対象となるジョブネットを選択し、右クリックから［変更］を選択します。
2. ［ジョブネットの変更］ウィンドウで対象となるジョブを選択し、右クリックから［プロパティ］を選択します。
3. ［登録－ジョブ］ウィンドウの［詳細情報］タブで、［打ち切り時間］を有効にして時間を指定します。

［打ち切り時間］の指定について詳細は、以下のとおりです。
ジョブを実行する経過時間に制限を付ける場合に指定します。指定できる範囲は 1～1666666（分）までです。
実行予測時間を指定しているときは、実行予測時間よりも大きな数値を指定してください。
指定した時間でジョブの実行が打ち切られます。この場合、ジョブの終了コードは、0x40000322 となります。
打ち切り時刻（qsub コマンドの ld オプション）と同時に指定することはできません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブを、GUI ではなく、コマンドで強制終了させたいと考えています。ジョブを強制終了させるコマンドはありますか？

A: あります。
ジョブ、ジョブネット、およびグループの強制終了用のコマンドがあります。以下のコマンドでジョブ、ジョブネット、およびグループの操作ができます。
各コマンドで引数 cancel を使用することで強制終了できます。
- jobschctljob コマンド（ジョブの操作コマンド）
- jobschcontrol コマンド（ジョブネットの操作コマンド）
- jobschctlgrp コマンド（グループの操作コマンド）

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschcontrol コマンドを利用してジョブネットを停止状態にした場合、そのジョブネットは明示的に停止解除するまで停止し続けますか？また、停止状態のジョブネットがあることを定期的にログやメッセージで出力しますか？

A: 停止状態のままになります。
ジョブネットを停止状態にした場合、停止解除の操作を行うまでそのジョブネットは停止状態のままになります。また、停止状態のジョブネットがあることを定期的にログやメッセージで出力することはしません。
なお、停止状態のジョブネットの起動条件が複数回満たされた場合は、「実行拒否（refused）」になり、Systemwalker Operation Manager の［ジョブネットの履歴］画面でその旨のメッセージが出力されます。また、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］－［イベント出力］ウィンドウにおいて、「実行拒否」になったときにイベントログ／SYSLOG に出力する設定を行っている場合は、イベントログ／SYSLOG にその旨が記録（種類は警告）されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システム日付の変更（未来日付・過去日付）に伴う Systemwalker Operation Manager での注意事項を教えてください。

A: システム日付を変更する場合は、Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンを停止してから行ってください。
また、システム日付を過去日付に変更する場合は、以下のログファイルを削除する必要があります。

- ジョブスケジューラのデータベースディレクトリの jobdb1.log、jobdb2.log、jobdb3.log ファイル
- ジョブスケジューラのデータベースディレクトリの net.spool サブディレクトリ配下のすべてのファイル
- ジョブ実行履歴情報ファイル
- 稼働実績情報ファイル（保存するように設定している場合）
- イベントログ【Windows 版の場合】

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ運用時のリストア手順の中で使用する mpaclcls コマンドは、どんな設定をするコマンドですか？

A: mpaclcls コマンドは、セキュリティ情報を退避するための共有ディスクの情報を設定するコマンドです。
なお、退避自体については、mpcssave コマンドで実施されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用を行っています。1:1 運用待機の構成の場合、mpcssave コマンドを実行するだけで、運用系のセキュリティ情報を共有ディスクに反映できますか？

A: できます。
1:1 運用待機構成の場合は、mpcssave コマンドだけで、運用系のセキュリティ情報が共有ディスクに反映されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、Systemwalker Operation Manager 自身のプロセスを監視するツールはありますか？

A: あります。
Systemwalker Operation Manager のプロセスを監視するサンプルスクリプトがあります。必要にあわせて変更を行い、登録してください。
Linux 版におけるファイル名や格納先、編集方法や登録の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 5 章 PRIMECLUSTER Linux 版システム固有の手順
5.1 PRIMECLUSTER システムへの登録
5.1.1 状態遷移プロシジャの登録
5.1.1.2 監視スクリプトの作成

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を管理しています。状態遷移プロシジャ内でクラスタに登録しているデーモンプロセスを指定された間隔（デフォルト 10 秒）で監視していますが、この値の推奨値、最大値を教えてください。

A: 推奨値は 10 秒、最大値は sleep コマンドの仕様に依存します。
Systemwalker Operation Manager では、状態遷移プロシジャでデーモンを監視する間隔に 10 秒を推奨しています（変更例としてマニュアルに記載）が、この間隔は、システムの運用に合わせ、適切な値に変更してください。
しかし、共有ディスクが正常に参照できない状態では、Systemwalker Operation Manager の正常な動作を保証することができません。
そのため、状態遷移プロシジャのリトライ間隔を延ばしても、フェールオーバが発生する可能性があります。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: keepalive 値を変更することを検討しています。現状は、OS の標準値を採用していますが、変更した場合に影響があれば教えてください。

A: keepalive 値を変更することによる Systemwalker Operation Manager への影響はありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise

Edition では、クラスタに登録したアプリケーションをプロセス異常終了時に自動的に再起動させることができますか？

A: できません。
Systemwalker Operation Manager はプロセス異常終了時、自動的に再起動を行う機能はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: qsub コマンドでログ出力を抑止する方法はありますか？

A: ありません。
qsub コマンドのログ出力を抑止することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: qsub コマンドで出力されるログファイルを、削除した場合の影響を教えてください。

A: qsub コマンドで出力されるログファイルが存在しない場合、qsub コマンドで障害が発生した際に原因調査が実施できなくなります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント機能で、ログインアカウントのログインシェルを/sbin/nologin に設定することで、クライアントからの操作に影響が出ることはありますか？

A: ありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition をクラスタ環境で使用しています。起動時に、起動失敗と判断するために設定されているタイムアウト時間とリトライ回数の値はありますか？

A: 製品が提供しているサンプルスクリプトでは、タイムアウト時間は 60 秒です。しかし、この値は変更できます。リトライ回数は設けていません。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager クライアントにおいて、LinuxOS 上の PAM でアカウントロックされたユーザーでログインすると、ログインできてしまいます。ログインできなくすることはできますか？

A: できません。
Systemwalker Operation Manager は PAM に対応していないため、ログインできなくすることはできません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが「確認操作の必要あり」で異常終了しています。ジョブネット内のジョブ 1～5 は、数字の順番で実行されるように関連しています。ジョブ 2 が異常終了している状態でジョブ 3 から実行する方法を教えてください。

A: 以下の手順を実施してください。

■GUI による方法
［ジョブネットの監視］ウィンドウにおいて、ジョブ 2 を選択し、［ファイル］ – ［リカバリ操作］ – ［次のジョブから起動］を指定すると、ジョブ 3 以降を実行します。
ジョブ 2 をリカバリしたあとはジョブ 2 を選んで、［ファイル］ – ［リカバリ操作］ – ［指定のジョブのみ起動］でジョブ 2 だけを再起動できます。

■コマンドによる方法
以下のコマンドを実行し、ジョブネットを再起動します。
　jobschcontrol プロジェクト名/ジョブネット名 rerun next
コマンド実行により、異常終了したジョブを飛ばして、次のジョブから起動されます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager 上に登録したジョブネットを一括削除する方法はありますか？

A: V16.0.0 以降では、以下の方法があります。

- jobschinit コマンドで、指定したサブシステム内のすべてのプロジェクト・ジョブネットを削除することができます。
- stemSchDelete コマンドで、指定したプロジェクト、および、そのプロジェクト内のすべてのジョブネットを削除することができます。
- 階層化されたジョブネットを指定して削除する場合、配下のジョブネットも併せて削除することができます。

V13.0.0～V13.4 の場合は、コンビニエンスツールとして、指定したサブシステム内のすべてのプロジェクト・ジョブネットを削除するコマンドを、技術情報サイトで提供しています。
その他の V13 のバージョンレベルでは、一括削除する方法はありません。削除したいジョブネットの数だけ jobschsetnet -ndel コマンドを、バッチファイルやシェルスクリプトなどから実行してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 特定のジョブネットが決められた時刻までに終了していない場合は、アプリケーションを呼び出すように設定する方法を教えてください。

A: ジョブネットに終了予定時刻を指定して、さらにアプリケーションを呼び出す出口プログラムを作成してください。
ジョブネットに終了予定時刻を指定することで、ジョブネットが終了予定時刻になっても終了しない場合に「ジョブネット終了遅延出口」が呼び出されます。
ジョブネットの終了予定時刻を監視する運用の概要については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
　第 2 章 運用方法

2.2 ジョブスケジューラ
2.2.3 応用編
ジョブネットの終了予定時刻を監視する

ジョブネットの終了予定時刻の指定方法について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.7 ジョブネットの終了遅延を監視する場合

ジョブネット終了遅延出口について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 19 章 出口情報
19.8 ジョブネット終了遅延出口

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ履歴やジョブネット履歴のファイルサイズはどこで設定できますか？

A: ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ – ［起動パラメタ］ – ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ – ［データベース］シートでログファイルのサイズを設定できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システム時刻の変更による影響および変更する場合の手順について教えてください。

A: ジョブスケジューラの運用中は、システム時刻を変更してはいけません。
ジョブスケジューラは、システムの現在時刻をベースにしてスケジューリング処理を行っているため、運用中にシステム時刻を変更すると、ジョブネットがスケジュールどおりに起動しなくなったり、サービスやデーモンの動作に異常を来したりすることがあります。
システムの時刻を変更する場合は、ジョブスケジューラサービスまたはジョブスケジューラデーモンを停止してから行ってください。
また、システムの時刻や日付を過去に戻した場合は、ジョブスケジューラのログファイルへの出力順序が時間的に前後してしまうため、ジョブスケジューラの履歴情報が正しく表示できなかったり、メッセージ待ち合わせが正しく動作しなくなったりといった問題が発生します。システムの時刻や日付を過去に戻した場合は、上記のような時系列に出力されるログ情報をすべてクリアして、システムをリブートしてください。

具体的には以下のログファイルを削除してください。

- ジョブスケジューラのデータベースディレクトリの jobdb1.log、jobdb2.log、jobdb3.log ファイル
- ジョブスケジューラのデータベースディレクトリの net.spool サブディレクトリ配下のすべてのファイル
- ジョブ実行履歴情報ファイル
- 稼働実績情報ファイル（保存するように設定している場合）
- イベントログ【Windows 版の場合】

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Red Hat Enterprise Linux 環境に Systemwalker Operation Manager が導入されており、かつ、運用しているシステムで IPv6 機能を有効にしても問題ないですか？

A: IPv6 機能を有効にしても問題ありません。Systemwalker Operation Manager は、V13.6.0 以降で IPv6 に対応しています。
V13.4.1 以前の場合は、Systemwalker Operation Manager は IPv4 を利用しますので、IPv4 の機能を無効化しないでください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager クライアントから Linux サーバに接続する際、ログインユーザーのユーザー名とパスワードを入力しないように固定にする方法はありますか？

A: ありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Linux の udev 機能の by-id 名で運用することで問題がありますか？

A: 問題ありません。
本機能は、OS とデバイス間での機能となりますので、OS 上で正常に認識できる環境にすれば、Systemwalker Operation Manager としては運用に問題ありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition のクラスタ環境において、プロセスが異常終了した場合の動作について教えてください。

A: 通常、プロセスの異常終了（例外エラー）が発生した場合は、内部的にシグナル（SIGTERM）を発行してプロセスを終了させるため、SYSLOG にエラーを出力したり、エラー内容によっては core を出力するなどの処理が行われ、クラスタ構成の場合はフェールオーバします。また、Systemwalker Operation Manager のプロセスを監視するデーモンからもプロセス異常の通知が行われます。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 間隔起動で、日変わり時刻をまたいだスケジュールはできますか？

A: できません。
日変わり時刻をはさんで間隔起動の開始と終了の時刻を設定することはできません。日変わり時刻の前後で、間隔起動のジョブネットを 2 つに分けて作成してください。

例）
日変わり時刻：8:00
間隔起動の開始時刻が 3:00、終了時刻が 10:00 の場合

同じジョブネットを下記の 2 つ作成
一つ目のスケジュール：0300～0759
二つ目のスケジュール：0800～1000

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールしているサーバの hostid が変更されることにより、Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？

A: ありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Trend Micro ServerProtect for Linux をアップグレードした時、Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager は ServerProtect と連携する機能はありません。したがって、技術的には問題が発生することはありません。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットに時刻起動を設定しましたが、ジョブネット内のジョブに引き継がれています。個別に設定することはできますか？

A: できません。
ジョブはジョブネットに設定した時刻起動の時間をもとに動作するので、ジョブ単位で個別に設定することはできません。
個別に時刻起動させたいジョブを別々のジョブネットに登録し、そのジョブネットに起動時刻と起動日を設定して、グループに登録してください。
V13.8.0 以降の場合は、時刻待ち合わせジョブを利用する方法があります。時刻起動させたいジョブの直前に、時刻待ち合わせジョブを配置してください。時刻待ち合わせジョブは、指定時刻が到来すると終了し、後続ジョブが起動されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、Solaris から Windows へ「dmwf server」というサービスをネットワークジョブで起動しています。「dmwf server」のスタートアップアカウントは、ジョブ実行ユーザーと異なりますが、OS 再起動とジョブ実行による起動で違いはありますか？

A: ありません。
「dmwf server」サービスは、スタートアップアカウントで指定したユーザーで起動されるので、OS 再起動とジョブ実行による起動に違いはありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 既存ジョブネットを一括して新規プロジェクトに移動する場合の方法を教えてください。

A: V16.0.0 以降では、GUI 上でインポート／エクスポート機能を利用して一括で複写できます。複写元のプロジェクトを一括して削除する場合は、stemSchDelete コマンドで削除してください。

V13.9.1 以前の場合は、ジョブネットを個別に新規プロジェクトに複写して、もとのジョブネットを削除してください。

GUI 上でジョブネットを複写および削除する場合は、1 つずつジョブネットを選択して複写および削除してください。

コマンドで複写する場合は、jobschsetnet -ncpy(V13.7.0 以前は-ncop)コマンドで 1 ジョブネットごとに行ってください。削除は、jobschsetnet -ndel コマンドで同様に行ってください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの起動条件として、時刻とメッセージ事象の待ち合わせで登録している場合、起動時刻到来とメッセージ事象発生の AND 条件でジョブネットを起動させる方法を教えてください。

A: ［ジョブネットのプロパティ］－［基本情報］シートで時刻の定義を 1 つだけ行い、［メッセージ］シートの［起動時刻の到来を待つ］にチェックを付けた上で、メッセージ事象名の定義を行ってください。
なお、先に起動時刻が到来し、後にメッセージ事象が発生した場合、メッセージ事象が発生したタイミングでジョブネットが起動しますが、起動時刻到来後メッセージ事象が発生するまでの間、ジョブネットの状態は「開始遅延」となります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブ単位でスケジュールを出力するコマンドはありますか？

A: ありません。
なお、jobschprint -p コマンドで、ジョブの状態について出力することができます。また、jobschprint -l または-m コマンドで、ジョブネット単位でのスケジュール確認を行うことができます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 1 つのジョブネットの中に前後関係を持ったジョブが複数登録されています。それぞれのジョブを異なる時間で実行できますか？

A: できます。
ジョブネット内のジョブを異なる時間で実行させるには、時刻待ち合わせジョブを使用してください。jobschchecktime コマンド（時刻待ちコマンド）を、時刻を待ち合わせるジョブの先行ジョブとしてスケジュールします。jobschchecktime コマンドをジョブとして登録すると、待ち合わせ時刻が到来するまでジョブは終了しないので、後続のジョブを待ち合わせた時刻以降に実行することができます。jobschchecktime コマンドのオプションに待ち合わせしたい時刻を指定することで、その時間まで時刻待ち合わせジョブは実行中となります。
時刻待ち合わせジョブの登録は、［ジョブネットの新規作成／変更］ウィンドウ上の配置モードで、アイコン選択域より「時計」アイコンのジョブを選択してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 1 つのジョブネットの中に前後関係を持った 3 つのジョブが登録されています。それぞれのジョブを異なる日付で実行できますか？

A: できません。ジョブ単位で、日付（起動日）の指定はできません。
ジョブをジョブネットとし、グループまたは階層化ジョブネットを利用することで、それぞれのジョブネットを異なる日付で実行することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ事象を受けるだけのダミーのジョブネットを登録したいのですが、Systemwalker Operation Manager がダミージョブ用として提供しているコマンドなどはありますか？

A: ありません。
Systemwalker Operation Manager のジョブネット登録時にダミージョブとして何も処理をしないコマンドなどは提供していません。OS の sleep コマンドをご使用ください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 現在の時刻および仮想日付の設定がされている場合の時刻をコマンドで確認する方法を教えてください。また、日変わり時刻をコマンドで確認する方法もあわせて教えてください。

A: 以下のコマンドで確認できます。
［実行例］
jobschprint -f 0

コマンドのオプションを 0 にすることで当日の情報が出力されます。
実行結果先頭の「date」「time」に、現在の日付と時刻、仮想の場合は仮想の日付と時刻が表示されます。
「Day Change Time」に、日変わり時刻が表示されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 強制終了や異常終了のステータスでない場合にジョブネット内の任意のジョブから手動起動することはできますか？

A: できます。以下の手順で実行してください。

1. 該当のジョブネットをダブルクリック、または右クリック－［開く］を選択し、ジョブネットの監視画面を開く。
2. 実行させたくないジョブを右クリック－［操作］－［無効］を選択する。
3. ジョブネットの監視画面を閉じ、ジョブネットを右クリック－［操作］－［起動］を選択し、ジョブネットを起動させる。

実行後は、必要に応じてジョブを無効解除してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの登録時に、実行ユーザーの指定はできますか？

A: できます。ジョブの実行ユーザーを指定することができます。実行ユーザーの指定は、［登録－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シートの［実

行ユーザ名］で行ってください。
実行ユーザー名の指定について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.4 ジョブを登録する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager に登録しているカレンダ情報をファイルに抽出することができますか？その際、稼働日／非稼働日が日付ごとにわかりますか？

A: できます。稼働日／非稼働日がわかる形で出力できます。
jobschprint -h コマンドを使用してください。

［実行例］
jobschprint -h カレンダ名 >> 任意のファイル名※
^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^
※コマンドの最後にファイル出力を行うようリダイレクトしてください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ異常終了のあとに、GUI 画面で［操作］→［確認］操作で復帰処理を行いますが、同じ操作をコマンドラインで実施したいです。方法を教えてください。

A: jobschcontrol コマンドで実施できます。

以下のように実行してください。
jobschcontrol ジョブネット名 cope

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、サブシステム構成サーバから非サブシステム構成サーバへのネットワークジョブについて、「-rsys 実行先サブシステム番号」の指定は必須ですか？

A: 必須ではありません。
サブシステム構成のサーバから非サブシステム構成サーバに対してネットワークジョブを実行する場合は、「-rsys 実行先サブシステム番号」は必須ではありません。ただし、services ファイルにネットワークジョブ用のポート番号の設定が行われている場合、「-rsys 実行先サブシステム番号」を省略することはできません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 未来の日付に対してジョブネットの起動条件を一時的に（特定の日時の範囲で）変更することはできますか？

A: できます。
ジョブネットの一時変更により、特定の年月日の範囲で起動条件を変更することができます。一時変更の指定期間中、対象ジョブネットは変更した起動条件に従って起動します。指定期間を過ぎた時点で、もとの起動条件に戻ります。ただし、1 つのジョブネットに複数の一時変更設定はできません。
一時変更について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.4 ジョブのスケジュール情報を変更する
4.4.5 ジョブネットの起動設定を一時変更する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: V13.2.0 以降の Systemwalker Operation Manager で、ジョブネットの状態ステータスが「停止」になっていた場合に、いつ停止になったか調べる方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の監査ログを分析し、ジョブネット停止（PAUSE_JOBNET）情報がないかを確認してください。
監査ログについて詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 4 章 セキュリティ
4.2 Systemwalker Operation Manager のセキュリティ機能
4.2.4 監査ログ出力

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.4 Systemwalker Operation Manager 共通の定義
2.4.6 監査ログ出力の定義

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 12 章 監査ログを分析する
付録 C 監査ログの検索キーワード一覧

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 20 章 ファイルリファレンス
20.1.2 監査ログのファイル

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 の jobschprint -r コマンドで、出力される内容に「iconposition」とありますが、これは V13.3.0 から提供されたものですか？

A: そのとおりです。
jobschprint -r コマンドで、出力される「iconposition」は V13.3.0 から追加されたものであり、ジョブアイコンの位置情報を表します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブをスケジュール起動しています。ジョブに異常があった場合に、手動で対処しジョブを再起動する方法を GUI とコマンド両方について教えてください。

A: ジョブが異常終了した場合、以下のどれかの方法で再起動してください。

■GUI
ジョブが異常終了したジョブネットの［ジョブネットの監視］ウィンドウを開き、異常終了したジョブを選択して、［ファイル］－［操作］－［再起動］を選択します。

Systemwalker Operation Manager クライアント上で、該当のジョブネットを右クリックから［再起動］を選択します。（※）

■コマンド
ジョブを制御する jobschctljob コマンドを使用してください。
　jobschctljob　［プロジェクト名/］ジョブネット名/ジョブ名　rerun
ジョブネットを制御する jobschcontrol コマンドを使用してください。（※）
　jobschcontrol　［プロジェクト名/］ジョブネット名　rerun

（※）ジョブネットの再起動では、ジョブネット内のジョブのうち、異常終了したジョブから起動されます。また、異常終了したジョブよりも前に起動するジョブに再起動ポイントが設定されている場合、再起動ポイントより起動されます。先頭ジョブから起動させたい場合は、起動操作を行ってください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版サーバから Windows サーバのバッチを起動し、Windows バッチで echo 出力させた結果を Systemwalker Operation Manager のジョブの出力情報から見ると、改行が無くなってしまいます。改行コードを出力させる方法を教えてください。

A: スケジュールサーバ（Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版サーバ）側において、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］－［運用情報］－［運用情報の定義］－［利用機能］シート内［ファイルのコード変換を行う］を指定してください。これにより、改行コードがコード変換され、意図した結果が得られます。なお、上記環境設定の反映には、ジョブ実行制御デーモンの再起動が必要です。
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウからデーモンの再起動を行ってください。

［ファイルのコード変換を行う］についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
　第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
　　2.8 ジョブ実行制御の定義
　　2.8.1 運用情報の定義
　　［運用情報の定義］ウィンドウ－［利用機能］シート

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 仮想時間の変更を GUI 操作ではなく、コマンドで実現する方法はありますか？

A: ありません。
仮想時間の設定については、環境設定の画面インターフェースだけの提供です。コマンドラインでの設定方法はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットを実行する時にジョブネットを実行させるかどうか確認の問い合わせを表示させる方法を教えてください。

A: 以下の方法で、確認ダイアログボックスを表示できます。
［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの［ツール］－［操作確認の設定］により、［操作確認の設定］ウィンドウが表示されます。
［操作確認の設定］ウィンドウで、ジョブネットシートの「起動」をチェックしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット内のジョブが無効状態のままで、ジョブネットの構成を変更することはできますか？

A: V16.0.0 以降の場合は、無効状態のジョブの状態を変更しないで、ジョブネットの構成を変更することができます。
V13.9.1 以前の場合は、ジョブネットの構成を変更した場合、ジョブネットやジョブネット内ジョブの状態はリセットされ、「実行待ち」の状態になります。ジョブネットやジョブの状態を変更しないでジョブ情報を変更するには、ジョブ情報をリカバリ変更してください。
リカバリ変更についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.9.1 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.4 ジョブのスケジュール情報を変更する
4.4.9 ジョブ情報をリカバリ変更する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 休日情報制御文の yearset で EVERY を定義すると、何十年先もこの設定になりますか？

A: なります。
yearset に「EVERY」を定義すると毎年（何十年先も）同じパターンの休日設定となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 月・金に起動日を設定しているジョブネットに対し、恒久的に 1 月 1 日を非起動日とする設定方法を教えてください。

A: 以下の方法で設定してください。
新規の休日カレンダを作り、［年間休日の設定］ダイアログボックスで 1 月 1 日を休日として保存します。

1. 新規カレンダの休日設定
   [Systemwalker Operation Manager]ウィンドウで[カレンダ]を選択し、[ファイル]メニュー－[新規作成]－[カレンダ]を選択します。
   表示された[カレンダの登録]ウィンドウで、[オプション]メニュー－[年間の休日設定]を選択します。表示された[年間休日の設定]ダイアログボックスで、1 月 1 日を指定(赤色)して、[OK]ボタンをクリックします。
2. カレンダの登録
   休日設定したカレンダを保存します。
   [ファイル]メニューの[保存]を選択して表示される[カレンダの保存]ダイアログボックスで、[名前を付けて保存]ボタンをクリックします。[カレンダに名前を付けて保存]ダイアログボックスで、[カレンダ名]を入力し[保存]ボタンをクリックします。
   ジョブネットのプロパティの［起動日］シートで 2.のカレンダを選択し、［起動日が休日の場合の扱い］を「起動しない」にします。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ジョブネットを強制終了させましたが、次回起動時刻に対象のジョブネットを起動させるために何か操作が必要ですか？

A: ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［利用機能 1］シートで、［確認操作を有効とする］がチェックされており、［詳細設定］ボタンをクリックした場合に表示される［強制終了を確認操作の対象とする］にチェックがされている場合、確認操作が必要となります。
なお、［強制終了を確認操作の対象とする］にチェックがされていない場合、特に操作は不要です。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager　V17.0.0 運用ガイド
第 7 章 ジョブを操作する
7.1 ジョブネットを操作する
第 14 章 スケジュールされた業務の状態と動作
14.3 日変わり時刻とジョブネット/グループの動作
14.3.1 ジョブネットのスケジュールのされかた

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義
■［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［利用機能 1］シート

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットを強制終了させてしまいました。次回起動する場合の影響について教えてください。

A: ［現在の状態］に「確認操作の必要あり」が表示されている場合は、確認操作を行ってください。
当日スケジュールで起動条件が揃えば問題なく起動します。
強制終了されているため、ジョブとして登録された関連するアプリケーションの状態に問題がなければ正常に処理されます。
Systemwalker Operation Manager では、次回スケジュールで起動されます。
ただし、ジョブとして起動したプログラム、バッチファイルなどの影響については判断できません。プログラムが起動可能な状態である必要があります。
また、ジョブネットの起動条件として、前回ジョブネットが正常終了していることが条件になっている場合など、起動条件によっては起動しない可能性もありますので、該当のジョブが登録されているジョブネットの起動条件を確認してください。
［確認操作を有効とする］運用を行っている場合は、強制終了のジョブネットについて確認操作が完了するまで、次回スケジュールでは起動されません。

なお、確認操作を有効にするかどうか、強制終了を確認操作の対象にするかどうかは選択することができます。強制終了を確認操作の対象にしない場合、異常終了だけが確認操作の対象になります。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 環境設定およびキュー操作を利用するためのユーザーアカウントについて、root 以外で設定を行う方法を教えてください。

A: 拡張ユーザ管理機能を使用することで実現できます。
OS ユーザーによる認証を行っている場合、環境設定やキューの操作を root 以外では実施できませんが、拡張ユーザ管理機能を使用することで実現できます。
拡張ユーザ管理機能で Operation Manager ユーザーを作成し、管理者権限を付与すれば、root 以外のユーザーで環境設定などを設定することができます。
拡張ユーザ管理機能については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Opeartion Manager の動作環境を定義する
2.4 Systemwalker Operation Manager 共通の定義
2.4.3 ユーザの定義（拡張ユーザ管理機能を利用する場合）【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドを実行した際に「Warning:no access to tty;thus no job control in this shell...」のメッセージが前回履歴に記録されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
本メッセージは、C シェルが端末（tty）の属性を取得できない時に出力するものです。
C シェルの仕様ですので、Systemwalker Operation Manager 側で出力を抑止することはできません。
ジョブ実行制御では、ユーザーがあたかもログインしてシェルスクリプトを実行したかのようにジョブを実行しています。
本来のログインでは端末を確保しますが、ジョブ実行制御は端末を確保しないため、C シェルが端末の属性を取得できずに上記メッセージを出力します。

［対処方法］
ジョブ実行制御から起動するシェルスクリプトが端末の属性に依存した処理を行わない限り、該当のメッセージが出力される以外の影響はありません。

プラットフォーム　: Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブが異常終了しても後続のジョブが実行できるように設定する方法はありますか？

A: ありません。
後続ジョブは、先行ジョブが正常終了または疑似正常終了のステータスである場合に起動することができますので、異常終了のステータスの状態で、後続ジョブを起動させることはできません。後続ジョブを起動させたい場合は、先行ジョブが異常終了と判断されないようにする必要があります。下記 2 つの方法があります。

方法 1.
ジョブが異常終了しても後続ジョブを起動させ、かつジョブが異常終了したかどうかを判断したい場合は、「疑似正常」というステータスを有効とする方法があります。必要な設定は、環境設定において疑似正常を有効とすること、かつジョブの登録画面で正常終了コード上限値の設定です。以下の手順で設定してください。
■ジョブが異常終了しても疑似正常とする場合
＜疑似正常を有効とする設定＞
1. ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウで、［起動パラメタ］ボタンをクリックし、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウを表示します。
2. ［利用機能 1］シートを選択し、［ステータスオプション］－［疑似正常を有効とする］を指定します。
3. 設定を反映させるため、ジョブスケジューラサービスまたはジョブスケジューラデーモンを再起動します。

＜正常終了コード上限値の設定＞
1. 該当のジョブネットを選択し、右クリックで表示されるメニューから［変更］を選択し、［ジョブネットの変更］ウィンドウを表示します。
2. ジョブをダブルクリックし、［登録－ジョブ］ウィンドウを表示します。
3. ［基本情報］シートの［正常終了コード上限値］で、ジョブを正常終了とする終了コード上限値を任意に指定してください。

方法 2.
終了コードに関係なくジョブを正常終了とし、後続ジョブを起動させる方法があります。この場合は、先行ジョブに対して以下の設定を行ってください。
■終了コードに関係なく、ジョブを正常終了とする場合
1. 該当のジョブネットを選択し、右クリックで表示されるメニューから［変更］を選択し、［ジョブネットの変更］ウィンドウを表示します。
2. ジョブをダブルクリックし、［登録－ジョブ］ウィンドウを表示します。
3. ［基本情報］シートの［終了コードに関わらず正常］を指定してください。
本指定をした場合は、環境設定で［疑似正常を有効とする］を指定していても、どのような終了コードであっても、ジョブは正常終了となります（実行中断の場合に限り、異常終了となります）。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版の Systemwalker Operation Manager の jobschprint -n コマンドで表示されるステータスのうち、開始遅延にあたる「StartDelay」が使用されるようになったバージョンと、ガントチャートに「開始遅延」のステータスが表示されるようになったバージョンは同一ですか？同一である場合それは Windows 版も同様ですか？

A: 同一です。
また、Windows 版も同様にバージョンは V11 からとなります。
「StartDelay」が使用されるようになったバージョンと、ガントチャートに「開始遅延」のステータスが表示されるようになったバージョンは同一で、バージョンは V11 からです。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドでメッセージを出した場合、どこにログが出るか教えてください。

A: OS のアプリケーションログに出力されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: アクション定義で Systemwalker Operation Manager からメールを送信する設定した場合、SNMP サービスが起動しているとメールが送信できないということはありませんか？

A: ありません。
SNMP サービスの起動有無が Systemwalker Operation Manager のメール送信機能に影響を及ぼすことはありません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の機能で、TCP/UDP ポート（7、9、13、17、19）を使用しているか教えてください。

A: 使用していません。
Systemwalker Operation Manager では、「Simple TCP/IP Services」サービス停止時に停止する TCP/UDP ポート（7、9、13、17、19）を使用していませんので、上記ポートを停止しても Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 業務ジョブを監視する予定ですが、ジョブネットが正常終了しているか否かを確認するコマンドなどはありますか？

A: [ジョブネットの管理]ウィンドウ上で、[正常終了]状態のジョブネットだけを絞り込み表示して確認してください。
＜絞り込み操作手順＞
1. [ジョブネットの管理]ウィンドウの[表示]メニューで、[絞り込み]を選択する、または、 [Systemwalker Operation Manager]ウィンドウで[ジョブスケジューラ]を選択している時に、[ツール]メニューから[ジョブネット管理（絞り込み条件指定）]を選択する。
2. 表示された[ジョブネットの絞り込み条件]ウィンドウで、[ジョブネット]の状態から[正常終了]を指定した上で、[絞り込み]ボタンをクリックする。

なお、正常終了しているジョブネットだけを確認するコマンドはありません。
現在のジョブネットの状態を確認する jobschprint -n コマンドまたは jobschprintcsv -n コマンドを使用して、必要な情報だけを抽出してください。
コマンドの出力結果は標準出力に出力されますので、ファイルにリダイレクトしてください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: java.exe、iGateway.exe を使用する場合がありますか？使用するのであればどのような契機で使用されるのか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では java.exe、iGateway.exe を使用していません。
ただし、Systemwalker Operation Manager のジョブとして処理を実行する際に java.exe、iGateway.exe を使用する可能性はあります。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager が入っている環境にドキュメント ハンドリング ソフトウェア「DocuWorks」（富士ゼロックス社製）をインストールしたことにより、不具合が発生したことはありますか？

A: ありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ワークグループで構築した Systemwalker Operation Manager の環境をアクティブディレクトリのメンバーサーバとしてドメイン参加させた場合、ローカルユーザーでログオンし、ローカルユーザーでジョブを実行していた運用に影響が発生しますか？

A: 影響はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ある特定のデマンドジョブをシステム管理者権限で実行できるような方法を具体的に教えてください。

A: 以下のどちらかの方法で指定してください。

■Systemwalker Operation Manager のクライアントのジョブフォルダから、［ジョブ情報編集／投入］ダイアログボックス／ウィンドウ、または、［ジョブ選択／投入］ウィンドウを使用してジョブを投入する場合
Systemwalker Operation Manager にログインするユーザーをシステム管理者にしてください。

■qsub コマンドを使用する場合
-cu オプションにシステム管理者を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動日雛形を新規作成／更新する場合の注意点について教えてください。

A: 起動日雛形を変更した場合、変更した起動日雛形を参照しているジョブネットの起動日が再作成（再スケジュール）されることがあります。
起動日雛形を参照しているジョブネットの起動日を再作成するかどうかについては、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［利用機能 2］シート－［起動日再作成の抑止］の設定値によって動作が異なります。

起動日雛形を新規登録した場合、スケジュール処理は行われません。
起動日雛形を変更または削除した場合は、ジョブネットから参照していなくてもスケジュール処理が行われます。ただし、［起動日再作成の抑止］を有効にしている場合はスケジュール処理は行われません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システムカレンダの［年間休日の設定］ダイアログボックスの［振替休日を有効にする］の詳細な仕様を教えてください。

A: ［年間休日の設定］ダイアログボックスにおいて、毎週の［曜日選択域］で選択した曜日と［日付選択域］で選択した日付が同一日となった場合、翌日を自動的に休日とします。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS および Systemwalker Operation Manager のバージョンがスケジュールサーバと異なる実行サーバに対して、ジョブを制御することはできますか？

A: できます。
スケジュールサーバと実行サーバが異なるバージョン／レベルの組み合わせで、ジョブを制御することはできます。

ネットワークジョブの実行可能範囲のバージョンの整合性については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
付録 A 旧バージョンとの整合性
A.5 ネットワークジョブの実行可能範囲

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: すでに稼働中のサーバにおいて、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition のクラスタ環境設定が実施されているのか確認する方法を教えてください。

A: 以下のマニュアルにクラスタの構築手順の記載がありますので、この手順に従って、クラスタ設定が完了しているかを確認してください。
Systemwalker Operation Manager V16.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
または UNIX 編

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: SNMP エージェントのコミュニティ名を public から変更した場合、Systemwalker Operation Manager の動作に影響はありますか？

A: 影響はありません。
Systemwalker Operation Manager において、SNMP エージェントのコミュニティ名を意識した処理はありません。したがって、SNMP エージェントのコミュニティ名を変更した場合も動作に影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Java で作成したアプリケーションを Systemwalker Operation Manager のジョブとして実行した場合に、復帰値を正しく取得することができますか？

A: できます。
実行する Java アプリケーションが復帰値を返す場合は、Systemwalker Operation Manager でその値を取得することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ハード保守に伴い、その日に動作するジョブネットを停止しました。停止中に本来のジョブネットの起動時刻を迎えてしまったため、次の開始時間にジョブネットを正常に開始させたいのですが、停止中のジョブネットを「停止解除」すると即起動されるため、回避方法を教えてください。

A: 以下の操作を行うことにより、ジョブネットは次の開始時間に正常に起動します。

1. Systemwalker Operation Manager のクライアントから該当のジョブネットを選び、右クリックで［操作］を選択します。
2. ［無効］を選択し、ジョブネットを無効状態にします。
3. その後、［無効解除］を選択し、無効を解除します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: V13.3.0 以前の Systemwalker Operation Manager をインストールする際に設定したスタートアップアカウントのユーザー名とパスワードを確認する方法を教えてください。

A: スタートアップアカウントについては、「Systemwalker MpJobsch」や「Systemwalker MpMjes」サービスのログオンユーザーを確認してください。
パスワードについては、セキュリティ上の問題から、あとから確認する方法はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: V13.3.0 以前の Systemwalker Operation Manager のインストール時に、パスワードを設定してないユーザーをスタートアップアカウントとして設定できますか？

A: 設定できません。
スタートアップアカウントに設定するユーザーには、無期限パスワードが設定されている必要があります。
パスワードが設定されていないアカウントは、スタートアップアカウントに設定できません。
スタートアップアカウントに関する注意事項については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.3.0 導入手引書
第 1 章 Systemwalker Operation Manager を導入する
1.3 Windows へインストールする
1.3.2 インストール前の作業

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: V13.3.0 以前の Systemwalker Operation Manager のスタートアップアカウントをあとから変更することはできますか？

A: できます。ただし、インストール時に設定したスタートアップアカウントで起動しているサービスのログオンユーザーを、ローカルシステムアカウントに変更することは推奨しません。

スタートアップアカウントを後から変更する手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.3.0 導入手引書
付録 D 導入環境の変更
D.1 スタートアップアカウントの変更【Windows 版】
D.1.2 スタートアップアカウントを変更する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット／ジョブ／グループの操作ミスを防止する目的で、確認ダイアログボックスを表示する設定をしたいと考えています。設定対象はクライアント上の「Jobschr.ini」だけで問題ありませんか？

A: 問題ありません。
「Jobschr.ini」はクライアントの設定となるため、サーバに対して設定は必要ありません。ダイアログボックス表示の対処を行いたいクライアントで設定してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動日雛形を削除するコマンドを教えてください。

A: 「jobschsetcal -del 起動日雛形名」を実行し、削除してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動日雛形を削除したのですが、正しく削除されたことをコマンドで確認する方法を教えてください。

A: jobschprint -b コマンドで起動日雛形の一覧を取得し、削除した起動日雛形名が存在しないことを確認してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント業務連携の起動方法を教えてください。

A: クライアント側で、クライアント業務連携をスタートアッププログラムに登録してください。
スタートアッププログラムに登録する手順の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.11 業務連携の定義
2.11.2 クライアント業務連携の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 夜間バッチ業務処理中に停電などが起こった場合、バッチ業務を途中で中断し、マシンを停止したいと考えています。処理中のジョブネットを停止する方法（コマンド）を教えてください。

A: jobschcontrol コマンドを使用することで、実行中状態または警告状態のジョブネットを強制終了することができます。なお、その他の状態のジョブネットに対して実行するとエラーとなります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: V13.3.1 以前の Systemwalker Operation Manager において、サーバの Administrator のパスワードを定期的に変更した場合の留意点について教えてください。

A:

1. Windows の［コントロールパネル］の［管理ツール］ – ［サービス］で以下の Systemwalker Operation Manager のサービスについて、プロパティを開いてパスワードを変更するユーザーが設定されていないか確認してください。
   - Systemwalker ACL Manager
   - Systemwalker MpJmCal
   - Systemwalker MpAosfX
   - Systemwalker MpAosfP
   - Systemwalker MpAosfB
   - Systemwalker MpJmSrv
   - Systemwalker MpNjsosv
   - Systemwalker MpMjes
   - Systemwalker MpJobsch

2. 上記の 1.で確認したスタートアップアカウントに Administrator が設定されていれば、パスワード変更に伴い、設定を変更してください。スタートアップアカウントの変更を行う場合、以下のマニュアル箇所に記載のある手順で作業を実施し、設定を変更してください。

   Systemwalker Operation Manager V13.3.0 導入手引書
   付録 D 導入環境の変更
   D.1 スタートアップアカウントの変更【Windows 版】
   D.1.1 スタートアップアカウントのパスワードを変更する

3. 以下の箇所に該当ユーザーが設定されている場合、それぞれの箇所で、設定されている情報を変更してください。

   ■ジョブの実行ユーザーに設定されている

   Systemwalker Operation Manager V13.3.0 導入手引書
   第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
   2.8 ジョブ実行制御の定義
   2.8.1 運用情報の定義

   ■業務連携のパスワード管理簿にユーザーが定義されている

   Systemwalker Operation Manager V13.3.0 導入手引書
   第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
   2.10 業務連携の定義
   2.10.1 パスワード管理簿の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows

バージョン　　: V13

【運用／保守】

Q: Web クライアントのセッションタイムアウトの時間を教えてください。

A: 15 分です。
15 分間、何も操作が行われない場合、セッションは自動的にクローズされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが異常終了したあと、次回の起動条件の到来により、ジョブネットを起動させる手順（操作）について教えてください。

A: ［確認操作を有効とする］の設定が有効になっていない場合は、特に対処は不要です。
［確認操作を有効とする］の設定が有効になっている場合は、異常終了したジョブネットに対して、確認操作を実施してください。
ジョブネットが異常終了後、ジョブネットに対して確認操作（注 1）を実施することで、次回の起動予定日時がスケジュールされます。その結果、起動予定日時（注 2）にジョブネットが起動します。

- 注 1：業務選択ウィンドウ（左側のツリー）で異常終了したジョブネットを選択して右クリックし、［操作］－［確認］の順でメニューをクリックします。
- 注 2：ジョブネットがメッセージ事象の発生も待ち合わせている場合、確認操作後に発生したメッセージ事象は認識されます。

異常終了の場合のジョブネットの動作の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 14 章 スケジュールされた業務の状態と動作
14.3 日変わり時刻とジョブネット/グループの動作
14.3.1 ジョブネットのスケジュールのされかた

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 登録されているプロジェクトを削除したいので、削除予定のプロジェクトに登録されているジョブネットを別のプロジェクトに登録する方法を教えてください。

A: jobschprint -r コマンドでジョブネット制御文およびジョブ制御文を出力し、jobschsetnet -nent コマンドでその制御文を使用して別のプロジェクトに登録してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット内のジョブのいくつかを無効状態にし、ジョブネットにジョブを追加した場合に、無効状態のジョブのステータスは変化しますか？

A: V16.0.0 以降の場合は、無効状態のジョブのステータスはジョブネット変更後も変わりません。無効状態が保持されます。

V13.9.1 以前の場合は、無効状態のジョブは「実行待ち」の状態に変化します。V13.9.1 以前の場合のステータスの変化について、詳細を下記に示します。

ジョブを追加したことにより、ジョブネットの変更で［上書き保存］を実施したことになります。したがって、ジョブネット内のジョブのステータスは「実行待ち」になります。

階層化されたジョブネットの場合、同一階層上のジョブについて変更されます。

例：
以下の構成の場合

ジョブネット A
┣ ジョブネット B
┃　　┣ ジョブ 2
┃　　┣ ジョブ 3
┃　　┗ ジョブネット D
┃　　　　┣ ジョブ 5
┃　　　　┗ ジョブ 4
┣ ジョブ 5
┗ ジョブネット C
　　┣ ジョブ 6
　　┗ ジョブ 7

■ジョブ 2 を無効状態とした場合

- ジョブネット A にジョブを追加した場合：「無効状態」のまま
- ジョブネット B にジョブを追加した場合：「実行待ち」に変化
- ジョブネット C にジョブを追加した場合：「無効状態」のまま
- ジョブネット D にジョブを追加した場合：「無効状態」のまま

したがって、ジョブが無効状態から実行待ちに変化するのは、該当ジョブが登録されているジョブネットを変更した場合だけです。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: swmove コマンドを実行するとデーモンが自動停止されますが、起動も自動でされますか？

A: 自動起動されません。
swmove コマンドで自動的に停止された Systemwalker Operation Manager のデーモンは、そのまま停止状態となりますので、手動でデーモンの起動を実行してください。

プラットフォーム　：Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition でも swmove コマンドを使用して資産を移行できますか？

A: 移行できます。
なお、マニュアルでは、Enterprise Edition 版や Global Enterprise Edition 版に限定した機能についてはエディションが明記されています。エディションが明記されていないものについては、すべてのエディションで共通の機能です。

プラットフォーム　：Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: swmove コマンドを実行する際の実行ユーザーは root でもよいですか？

A: root ユーザーで実行できます。
swmove コマンドを実行する場合は、システム管理者（スーパーユーザー）権限が必要です。

プラットフォーム　: Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 環境設定の設定内容や、登録されているジョブネットの情報などの確認を、GUI 以外で行う方法を教えてください。

A: GUI を使用しないで確認できる設定項目は以下の内容です。
それ以外は GUI を使用して確認してください。

■環境設定内容について

- 共通
  - 監視ホスト
    omgrmonitor -export コマンドで監視ホスト情報を CSV 形式のファイルに出力できます。
- ジョブ制御
  - 運用情報
    以下のファイルに格納されています。
    【Windows 版】
    Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥
    MpWalker.Jm¥mpmjessv¥user¥initfile.txt

    【Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版】
    /etc/mjes/initfile

- 信頼ホスト
  以下のファイルに格納されています。
  【Windows 版】
  Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥
  MpWalker.Jm¥mpmjessv¥user¥mjhosts

  【Solaris 版/Linux 版/HP-UX 版/AIX 版】
  /etc/mjes/mjhosts

  なお、複数サブシステム運用を行っている場合は、ファイルの格納パスが以下のようになります。

  サブシステム番号 0：
  サブシステム運用していない場合と同じ

  サブシステム番号 1～9：
  【Windows 版】
  Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥
  MpWalker.Jm¥mpmjessv¥mjesn¥user¥　（「mjesn」の「n」はサブシステム番号）

  【Solaris 版/Linux 版/HP－UX 版/AIX 版】
  /etc/mjes/mjesn　（「mjesn」の「n」はサブシステム番号）

■登録されているグループおよびジョブネット情報について
登録されているグループおよびジョブネットの設定内容は、以下のコマンドでファイルに出力することができます。

- グループ：jobschprint -R コマンド
  グループ制御文およびグループ内ジョブネット制御文で指定された情報を出力します。
- ジョブネット：jobschprint -r コマンド
  ジョブネット制御文およびジョブ制御文で指定された情報を出力します。

■プロジェクトのアクセス権情報について

mkbat コマンドを使用することで設定内容をファイルに出力することができます。
ただし、mkbat コマンドは、すでにプロジェクトに設定されているアクセス制御情報からアクセス権設定コマンド（mpsetacl）、所有者設定コマンド（mpchown）のコマンド列を作成するものです。サーバ間で同一の定義を使用する場合などに利用しますが、現在の設定内容を確認することもできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 以下のサービスを停止したいと考えています。Systemwalker Operation Manager が、echo（7/tcp，udp）、sunrpc（111/tcp，udp）、printer（515/tcp）サービスを使用することがないか教えてください。

A: printer（515/tcp）は、JCL の prt オペランドを使用している場合に影響があります。printer（515/tcp）を停止していると、印刷ができません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監視を推奨しているログを教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager では、監視を推奨しているログはありません。
重大なエラーについては、OS のイベントログ／SYSLOG に出力されます。したがって、監視を行う場合は、OS のイベントログ／SYSLOG を監視してください。
なお、V13.3.0 以降では、ジョブネットの状態監視を行いたい場合は、環境設定クライアントの［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シート内の［イベントの出力］で［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］をチェックし、［詳細設定］でログの出力条件（ジョブネットの状態）を指定することでイベントログ／SYSLOG に出力することができます。

※ジョブネットが異常終了や強制終了した場合などにイベントログ／SYSLOG に出力することができます。
また、Systemwalker Centric Manager と連携する場合は、Systemwalker Centric Manager に直接ジョブネットの異常終了を通知することもできます。
環境設定クライアントの［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シート内の［Systemwalker Centric Manager との連携］で［自動通知／対処をする］を指定すると、Systemwalker Operation Manager でジョブネットが異常終了した場合に、Systemwalker Centric Manager の監視画面に異常イベントが表示されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint -n コマンドの出力結果で、当日に起動予定のジョブネットについて、［Status］が「Normal」の場合と「Wait」の場合があります。［Status］が「Wait」になるのは、どんな条件の場合ですか？

A: 当日に起動予定がある場合は「Wait」状態になります。実行が正常終了すると「Normal」になります。1 日複数回起動するジョブネットは、初回起動後に「Normal」状態になりますが、その後も起動条件に従って、ジョブネットが実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バックアップ／リストア機能について、ジョブネットの無効状態を維持したまま実施することはできます

か？

A: できます。
mpbko コマンド／mprso コマンドを使用して、ジョブネットの状態を維持したまま、退避／復元することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 導入手引書の「ポート番号一覧」に記載されているポート番号が、現在の環境では services ファイルに記載が追加されていないのですが、問題ないか教えてください。

A: 問題ありません。
導入手引書に記載されているポート番号の初期値は、明に services ファイルに記載しなくても有効なポート番号です。
ただし、以下の場合は、services ファイルにポート番号を記載してください。

- ポート番号の初期値がすでに他製品で使用されており、Systemwalker Operation Manager の利用するポート番号を変更したい場合
  services ファイルに記載したポート番号が優先されます。
- 複数サブシステム運用をする場合
  サブシステム用のポート番号を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 特定の曜日に実行しているジョブネットがあります。過去に遡り、そのジョブネットの開始時間および終了時間を確認する方法を教えてください。

A: ジョブネットの起動時刻および終了時刻は、jobschprint -f コマンドまたは jobschprint -g コマンドで確認してください。
ただし、曜日の指定およびジョブネットの指定はできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット制御文の「messagemode」について教えてください。

A: メッセージ条件を指定します。
メッセージ事象の待ち合わせ条件（AND/OR）、起動条件（ORD/COG/BOT/UNC）、および起動時刻との条件（ANDTIME/ORTIME）を組み合わせて指定します。
messagemode オペランドを指定する場合は、messagename オペランドも指定してください。
下記の例では、以下の設定を意味しています。

例）
messagename MSG1,MSG2
messagemode AND,COG,ORTIME

AND－［すべてのメッセージ事象が発生した時に起動］にチェックがあることを示します。
MSG1、MSG2 の 2 つのメッセージすべてがそろった場合に起動します。
COG－［起動日のみ有効］にチェックがあることを示します。
ORTIME－［起動時刻の到来を待つ］のチェックがないことを示します。
起動予定時刻が到来するか、待ち合わせていたメッセージ事象が発生した時にジョブネットが起動されます。
ジョブネット制御文の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 リファレンス集
第 4 章 ジョブスケジューラコマンド
4.11 jobschsetnet コマンド
4.11.1 ジョブネット制御文

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 通常は時刻起動しているジョブネットを特定の日だけ時刻起動させない方法を教えてください。

A: 以下の方法で起動日設定を行い、対象日をジョブネットの非起動日にすることで対応できます。

1. **［起動日］ウィンドウを表示する**
   ［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの業務選択ウィンドウで［ジョブスケジューラ］を選択します。
   ここで設定対象のジョブネット上で右クリックし、メニューから［起動日］を選択して、［起動日］ウィンドウを表示します。
2. **非起動日に変更する**
   非起動日を左クリックします。対象日が選択された状態になります。
   そのまま右クリックしてポップアップメニューから［非起動日］を選択して変更します。
   なお、対象日をダブルクリックすることでも起動日と非起動日を交互に変更することができます。
   変更が終了したら、［OK］ボタンでウィンドウを終了します。
   確認のウィンドウが表示されるので、確認の上［はい］ボタンをクリックします。

また、複数のジョブネットに対して同じ日を起動日または非起動日とする場合は、起動日雛形を設定することもできます。
起動日雛形の設定方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.7 起動日雛形を登録する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブおよびジョブネットのコマンドによる手動起動の方法を教えてください。オプションなどの詳細も教えてください。

A: **■ジョブネットの起動方法について**

jobschcontrol コマンドを使用してください。
jobschcontrol コマンドはジョブネットを制御（強制終了／起動／再起動／停止／停止解除／無効／無効解除／確認／終了取消／持越解除）します。

記述形式：
jobschcontrol ［プロジェクト名/］ジョブネット名 control
※「control」の部分に制御項目を記述します。

ジョブネットを起動させる場合は以下のように実行します。
例）
jobschcontrol プロジェクト名/ジョブネット名 start

■ジョブの起動方法について

ジョブネット内のジョブを単体で起動することはできません。
ただし、ジョブを制御（強制終了／再起動／停止／停止解除／無効／無効解除）するコマンドとして、jobschctljob コマンドが提供されています。
jobschctljob コマンドを使用してジョブネット内の起動させたいジョブ以外のジョブを無効状態とし、jobschcontrol でジョブネットを起動することで、ジョブネット内の起動させたいジョブだけを起動することはできます。

記述形式：
jobschctljob ［プロジェクト名/］ジョブネット名/ジョブ名 control
※「control」の部分に制御項目を記述します。

ジョブを無効状態とする場合は以下のように実行します。

例）
jobschctljob プロジェクト名/ジョブネット名/ジョブ名 disable

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブのステータス確認、起動操作、異常終了したジョブの再起動、無効および無効解除操作をコマンドで行う方法を教えてください。

A: jobschprint コマンドおよび jobschctljob コマンドを使用してください。
なお、ジョブを単体で起動することはできません。

■ジョブのステータス確認方法
jobschprint -p （-P）コマンドを使用してください。
該当ジョブの実行結果で Status 列を確認してください。
特定のジョブのステータスだけを確認する場合は、grep などを使用してジョブ名をキーにして抽出してください。

■ジョブの起動方法
未実行のジョブ単体の起動操作はできません。
ジョブネット内に複数のジョブがあり、単体のジョブだけを起動する場合は、そのジョブ以外を無効状態にして、ジョブネットを起動してください。

■異常終了したジョブの再起動方法
■ジョブの無効方法
■ジョブの無効解除方法
jobschctljob コマンドを使用してください。

形式：
jobschctljob ［プロジェクト名/］ジョブネット名/ジョブ名 control

※control で操作を指定します。
rerun：異常終了した、または、強制終了させたジョブを再起動します。
disable：ジョブを無効状態にします。
enable：ジョブを「無効」を行う前の状態にします。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 1 つのジョブネット内に、起動順序が Job A→Job B→Job C という前後関係を持った 3 つのジョブがあり、Job B が異常終了している場合にコマンドで Job B だけ再起動する方法および Job B→Job C を再起動する方法を教えてください。

A: **■Job B だけを再起動する手順**
1. Job C を無効状態にします。

jobschctljob ［プロジェクト名/］ジョブネット名/ジョブ名(Job C) disable

2. ジョブネットまたは Job B を再起動します。

ジョブネットを再起動する場合：
jobschcontrol ［プロジェクト名/］ジョブネット名 rerun

Job B を再起動する場合：
jobschctljob ［プロジェクト名/］ジョブネット名/ジョブ名(Job B) rerun

3. 次回の実行に備えて Job C の無効を解除します。
jobschctljob ［プロジェクト名/］ジョブネット名/ジョブ名(Job C) enable

■Job B を起動し、Job B 完了後に Job C も起動する手順
ジョブネットまたは Job B を再起動します。

ジョブネットを再起動する場合：
jobschcontrol ［プロジェクト名/］ジョブネット名 rerun

Job B を再起動する場合：
jobschctljob ［プロジェクト名/］ジョブネット名/ジョブ名(Job B) rerun

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの状態のうち、「疑似正常」と「警告」を使用できるようにするにはどうしたらよいですか？

A:

■疑似正常
環境設定クライアントの［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］－［利用機能 1］シート内の［疑似正常を有効とする］を選択することで、疑似正常終了のステータスを表示することができます。
なお［疑似正常を有効とする］を選択しないと、疑似正常終了状態は正常終了として状態表示されます。

［疑似正常終了］と表示されるのは、ジョブ、ジョブネットおよびグループの状態が以下の場合です。

- ジョブ：終了コードが 1 以上、正常終了コード上限値以下の場合
- ジョブネット：ジョブネットを構成するジョブが疑似正常終了だけか疑似正常終了と正常終了である場合
- グループ：グループを構成するジョブネットが疑似正常終了だけか疑似正常終了と正常終了である場合

■警告
ジョブネットが以下の状態になった場合の状態であるため、設定の必要はありません。

- 同じジョブネットの中に、異常終了ジョブと実行中ジョブ、または強制終了ジョブと実行中ジョブが存在する状態であり、ジョブネット内に複数のルートが存在する場合

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの状態のうち、「正常終了」、「疑似正常」、「異常終了」および「警告」の終了状態を、ジョブの終了コードごとに自由に割り振ることはできますか？可能な場合はその方法を教えてください。

A:

警告は終了状態ではないため、ジョブの終了コードごとに割り振ることはできません。
また、終了コード別に警告状態への変更を行うこともできません。
なお、疑似正常については、正常終了コードの上限値を考慮することで実現できます。ただし、疑似正常を有効とした場合における正常終了は、ジョブの終了コードが 0 の場合となります。
疑似正常を有効としない場合における正常終了については、正常終了コードの上限値を考慮することで実現できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「ジョブごとの実行時間」を過去に遡ってテキスト形式で取得することはできますか？

A: できます。
ジョブ実行制御が出力するログファイルをもとに、mjsview コマンドでジョブ単位での実行時間を確認できます。下記のように終了時刻(b)から開始時刻(a)を減算することで実行時間を取得できます。

（a）yyyy/mm/dd hh:mm:ss MJS001I job jobname(jobno.hostname) start at queuename
（b）yyyy/mm/dd hh:mm:ss MJS002I job jobname(jobno.hostname) stop RC(rc)|EC(ec)

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Job Designer で定義したジョブネット定義を英大文字と英小文字で同一の CSV ファイル名で出力したところ、1 つしか出力されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
CSV ファイルの出力先フォルダが同一のため、英大文字および英小文字の違いについては、同じファイルとして扱われたことが原因です。
Windows では、ファイル名の大文字および小文字は関係なく同一のファイル名として扱われます。

［対処方法］
CSV ファイルの出力先フォルダを変更するか、CSV ファイル名が同じにならないように変更してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバにスケジュール情報を配付しましたが「MpStem: ERROR: 10108: スケジュールサーバが存在しません。(000.000.000.000)」が出力されて、抽出段階ですべて失敗するようになりました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
スケジュール管理コマンドの起動時に指定したスケジュールサーバ、または抽出したスケジュール情報のスケジュールサーバが存在していません。

［原因］
スケジュールの配付先のサーバが管理サーバに設定されていないことが原因です。

［対処方法］
スケジュール分散環境設定で、配付先のホストを追加してください。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 マスタスケジュール管理 ユーザーズガイド
第 3 章 運用方法
3.1 運用日ごとにスケジュール情報を管理する運用
3.1.1 マスタ情報の定義
3.1.1.3 ジョブネットの登録
分散するスケジュールサーバの設定【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager を EUC コードの環境で運用しています。アンインストールしないで Shift_JIS コードに変更できますか？

A: 変更できません。
Systemwalker Operation Manager の再インストールを検討してください。
なお、コマンドの実行ユーザーの LANG 環境変数を変更する方法は、前回履歴（ジョブの出力情報）が文字化けするため、お奨めできません。

プラットフォーム　: Solaris HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition を PRIMECLUSTER と連携させています。状態遷移プロシジャの登録結果を確認するため、tskmnsrv プロセスに対して kill コマンドを実行したのですが、状態遷移が起きませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
tskmnsrv プロセスに対して、kill コマンドを実行していることが原因です。

［対処方法］
プロセスに、シグナル SIGTERM を kill コマンドにより送信して停止してください。
詳細は以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 Q & A 集
第 7 章 クラスタ運用に関する Q & A
7.1 Q: フェールオーバのテストを行う場合の留意事項は【UNIX 版】】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドを実行しましたが「MpJobsch: ERROR: 0017: The jobscheduler failed to attach shared memory.」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブスケジューラが使用している共有メモリを、他のプロセスによって誤って解放されてしまったためと思われます。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager のデーモンを再起動してください。
デーモンの再起動は、poperationmgr デーモン停止コマンドおよび soperationmgr デーモン起動コマンドを使用してください。
クラスタ環境の場合のデーモンの再起動について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 3 章 運用
3.2 クラスタシステムにおけるデーモンの起動/停止

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットからジョブ（hvshut コマンド）を実行した際に、実行したジョブが最後まで実行されないで、途中で終了してしまいます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブとして hvshut コマンドを登録および実行していることが原因です。
hvshut コマンドを実行すると、クラスタシステムの RMS が停止するため、Systemwalker Operation Manager のジョブが強制終了されてしまいます。

［対処方法］
ジョブとして hvshut コマンドは登録および実行しないでください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でスケジュール分散／マスタスケジュール管理運用を実施していますが、先日の運用日管理プロジェクトが削除されずに残ってしまいます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

保管世代数の設定によってプロジェクトが保管されていたことが原因です。この設定によって、保管世代数だけプロジェクトが保管されます。

［対処方法］
保管する世代数を確認してください。
保管する世代数を変更する場合は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 マスタスケジュール管理ユーザーズガイド
第 3 章 運用方法
3.1 運用日ごとにスケジュール情報を管理する運用
3.1.2 スケジュール情報の分散
3.1.2.4 スケジュール情報の保管

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: あるサブシステムから jobschprint -r コマンドで取得した制御文を使用して、jobschsetnet コマンドで別のサブシステムに反映させましたが、起動日のウィンドウ上で設定した特異日が反映されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

jobschprint -r コマンド実行時に「-detail」のパラメタを指定していないことが原因です。
本パラメタを指定しないと、特異日情報は出力されません。

［対処方法］
jobschprint -r コマンド実行時に「-detail」のパラメタを指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「MpJobsch: ERROR: 0043: プロジェクト名 The jobscheduler failed to read job net information file.」のメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
スケジュール情報の open、lockf、または read のどれかで失敗したため、読み込めませんでした。

［原因］
ディスクフルの影響により、スケジュール情報ファイルの作成に失敗していることが原因です。

［対処方法］
ディスクフルの状況を解消後、以下のマニュアルを参照して、スケジュール情報ファイルの復元を実施してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.3 運用中に注意していただきたいこと
B.3.5 スケジュール情報ファイルの復元について

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 開発機から本番機への Systemwalker Operation Manager のジョブネットの移行を jobschsetnet -nent コマンドで実施しました。移行先のクライアント上の業務選択ツリーには追加された情報が表示されたのですが、ガントチャートには表示されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
クライアントに対してジョブネットの絞り込み機能を使用している、または登録後に当日を非起動日に編集したことが原因です。

［対処方法］
クライアントに対してジョブネットの絞り込み機能を使用していないか、または登録後に当日を非起動日に編集していないかを確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストールしている環境で、/var ディレクトリ配下を tar コマンドでバックアップするとエラーになります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
tar コマンド実行中に、/var/opt 配下にジョブネットが動作中に作成した一時ファイルが削除された可能性があります。

［対処方法］
poperationmgr コマンドで、Systemwalker Operation Manager を停止してから、tar コマンドを実行してください。

なお、Systemwalker Operation Manager では、tar コマンドでバックアップしたデータをリストアしたときの動作を保証していません。
Systemwalker Operation Manager の環境をバックアップする場合は、mpbko コマンドを使用してください。

クラスタ環境の場合、Systemwalker Operation Manager の停止方法は以下の手順です。
1. クラスタシステムに登録されたアプリケーションをオフラインにすることで、クラスタシステムに登録された Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止します。
2. 運用系、待機系のすべてのサーバで poperationmgr コマンドを実行して、クラスタに登録されていない Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止します。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint コマンドを実行するシェルスクリプトを、Systemwalker Operation Manager の自動運用でスケジュール起動したときと、手動で起動したときとで出力結果に差異があります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブ実行ユーザーのスタートアップシェルで LANG 環境変数を指定していない可能性があります。

［対処方法］
実行ユーザーの LANG 環境変数を Systemwalker Operation Manager インストール時の言語種別と同じにしてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mpbko -SN コマンドをジョブとして登録し、バックアップした情報を、mprso コマンドでリストアしましたが、バックアップのジョブは正常終了していたのに、リストア時にはバックアップのジョブが異常終了（終了コード 239）になっています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブの実行中にバックアップを行い、その情報をリストアしたことが原因です。

［対処方法］
ジョブの実行中にバックアップを行い、その情報をリストアした場合、実行中だったジョブは終了コード 239 の異常終了になります。
バックアップのジョブは正常終了しているので問題はありません。ジョブとしてバックアップコマンドを登録した場合は、本動作になります。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが終了コード 255（40000132）で異常終了しました。原因と対象方法を教えてください。

A: **［原因］**
実行サーバがシャットダウンしていたことが原因です。

［対処方法］
実行サーバの起動を確認後、ジョブネットを再起動してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ事象を待ち合わせるジョブネットが持ち越しになっています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブネットが待ち合わせているメッセージ事象が発生していないことが原因です。

［対処方法］
メッセージ事象が発生するように運用を見直してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブのコマンド欄にネットワークドライブ上のコマンドを指定できません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブのコマンド欄にネットワークドライブ上のコマンドは指定できません。

［対処方法］
ジョブのコマンド欄には、ネットワークドライブではなく、UNC パス（例：¥¥サーバ名¥xxxxxxx）で指定してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: FCOPYSVR.EXE を登録しているジョブが終了コード 43 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
FCOPYSVR.EXE で指定した転送元ファイルがない可能性があります。

［対処方法］
転送元ファイルが存在していることを確認してから、再度実行してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの最初のジョブが異常終了したため、後続のジョブが実行されないようにしたいのですが、強制終了しようとすると「実行中または警告状態でないため、強制終了できません」と表示されます。後続のジョブは実行されないのですか？

A: 後続のジョブは実行されません。
ジョブネット内の先行ジョブが異常終了した場合、後続ジョブは実行されないので、そのままで問題ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブで、環境変数に PATH を設定してバッチファイル／シェルスクリプトを起動させようとしましたが、動作しないで異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブファイルを格納したディレクトリが環境変数 PATH に登録されていないことが原因です。
以下のディレクトリは、Systemwalker Operation Manager がジョブファイルを起動する際に検索されません。

- ユーザー環境変数の環境変数 PATH に設定しているディレクトリ【Windows 版】
- スタートアップファイル（「/etc/profile」、「.profile」など）で環境変数 PATH に登録しているディレクトリ【Solaris 版／Linux 版／HP-UX 版／AIX 版】

［対処方法］

以下のいずれかの対処を実施してください。

- ［コマンド］欄に、ジョブファイルをフルパスで指定してください。【Windows 版／Solaris 版／Linux 版／HP-UX 版／AIX 版】
- ディレクトリ］欄に、ジョブファイルを格納しているディレクトリ名をフルパスで指定してください。【Windows 版／Solaris 版／Linux 版／HP-UX 版／AIX 版】
- ジョブファイルを格納したディレクトリをシステム環境変数の環境変数 PATH に登録し、OS を再起動してから再度ジョブを投入してください。【Windows 版】

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager に登録したジョブから、PDF ファイルをプリンタで印刷したいのですが、登録したジョブを実行すると処理が実行中のまま返ってきません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

画面起動を伴うジョブを実行している可能性があります。

［対処方法］

画面起動を伴うジョブを実行する場合は、クライアント業務連携の EXECACLI.EXE アプリケーション起動コマンドを使用してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブが終了コード「255」、詳細コード「40000132」で異常終了しましたが、実際の処理は終了していました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

スケジュールサーバから実行サーバへのネットワークジョブの投入に成功したが、そのあとのスケジュールサーバから実行サーバの状況確認の通信に失敗したことが原因です。
ジョブ実行制御の実行継続モードが無効の場合、ネットワークジョブ投入後、スケジュールサーバから実行サーバに対して、定期的に状況確認が行われます。その状況確認の際に通信異常が発生すると、実際のジョブの処理は正常終了していても、ネットワーク異常を示す詳細コードでジョブが異常終了することがあります。

［対処方法］

スケジュールサーバから実行サーバへのネットワークジョブ投入時、ネットワークジョブ投入後のスケジュールサーバから実行サーバへの実行状況確認時の通信については、［運用情報の定義］ウィンドウの［ネットワーク］シートでリトライを設定できるので、本設定を実施した運用を検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager を UTF-8 の環境で使用しています。ジョブネットを開いて、プロパティを見ようとしましたが「文字コードがおかしい」という内容のポップアップが出力されて確認できません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

文字コードが UTF-8 の環境において、UTF-8 以外の文字コードを出力したことが原因です。

［対処方法］

UTF-8 の環境では、UTF-8 以外の文字コードは出力しないでください。

また、文字コードが UTF-8 の環境では、標準出力および標準エラー出力に UTF-8 以外の文字コードを出力している場合は、［登録－ジョブ］ウィンドウの［基本情報］シートで［標準出力/エラー出力を保存しない］をチェックして出力結果を保存しないようにしてください。文字コードが UTF-8 の環境で UTF-8 以外の文字コードを保存すると、出力情報が表示できない場合があります。

プラットフォーム　: Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Windows 版の Systemwalker Operation Manager で、jobschmsgevent コマンドを用いてメッセージ事象を発生させて、そのメッセージを Systemwalker Centric Manager で監視し、アクション定義でメール送信をさせて、正常に動作していますが、Solaris、Linux、HP-UX、または AIX 版の Systemwalker Operation Manager では同様の処理が正常に動作しません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

SYSLOG にメッセージ出力しない jobschmsgevent コマンドを使用したことが原因です。
Solaris、Linux、HP-UX、または AIX 版の Systemwalker Operation Manager では、jobschmsgevent コマンドを用いてメッセージ事象を発生させた場合、SYSLOG にメッセージを出力しません。そのため、Systemwalker Centric Manager で SYSLOG を監視していても、jobschmsgevent コマンドで発生させたメッセージ事象は検知できません。

［対処方法］

アプリケーションなどで、logger コマンドなどを用いて SYSLOG にメッセージを出力し、そのメッセージを Systemwalker Centric Manager で監視するように定義してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: swadmin グループにユーザーを追加することで Systemwalker Operation Manager の使用権限を操作しています。OS のコマンド（usermod など）で swadmin グループに新規追加したユーザーで GUI にログインしたところ、［操作］がグレーアウトされていました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

OS のコマンド（usermod など）を使用してユーザーが所属するグループを変更しただけで、Systemwalker Operation Manager で必要なプロジェクトのアクセス権の設定を実施していないことが原因です。

［対処方法］

スケジュールサーバでグループの変更を実施した場合は、以下のコマンドを実行して、Systemwalker Operation Manager に変更した情報を認識させてください。

■Windows 版の場合
> mpsetacl -a -t mpjobsch¥schedule¥プロジェクト名 -u ユーザー名 -p w

■Solaris、Linux、HP-UX、または AIX 版の場合
mpsetacl -a -t mpjobsch/schedule/プロジェクト名 -u ユーザー名 -p w

なお「-p」には、指定するアクセス権に応じて、以下を指定してください。
w：更新権
c：登録権
x：操作権
r：参照権

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 異常終了したジョブの後続ジョブを選択して、［リカバリ操作］－［指定のジョブから起動］を選択すると「異常終了または強制終了でないため、操作できません。」のメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
指定されたジョブは異常終了状態または強制終了状態ではないので、指定の操作はできません。

［原因］
ジョブネットの監視画面で、異常終了したジョブを選択していないことが原因です。

［対処方法］
ジョブネットの監視画面で、異常終了したジョブを選択し、右クリックでポップアップメニューを表示します。ポップアップメニューの［リカバリ操作］－［次のジョブから起動］を選択すると、異常終了したジョブを実行しないで、次のジョブから起動できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の GUI から、異常終了したジョブで右クリックし、［リカバリ操作］－［次のジョブから起動］を選択して、異常終了したジョブの後続ジョブを起動しています。同様な処理をコマンドで実現する方法はありますか？

A: あります。
jobschcontrol コマンドで同様な動作を実現できます。以下のように jobschcontrol コマンドを実行してください。
jobschcontrol ［プロジェクト名/］ジョブネット名 rerun next

rerun 用オプションの next を指定することで、異常終了したジョブに対して［次の再起動のみ無効］を設定してからジョブネットを再起動しているため、異常終了したジョブを飛ばして、後続ジョブから起動できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 複数のジョブが同時に異常終了しました。SYSLOG には「MpMjes: ERROR: 10093: F3CUB_LOG_PIPE write error occurred. error code=」のメッセージが出力されていました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
ジョブ実行制御の内部ファイルへの書き込みエラーが発生しました。

［原因］
以下の可能性があります。
- ディスク容量不足
- ジョブの同時大量投入による一時的な資源不足

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager が使用しているディスク領域の容量を確認してください。容量に不足がなく、現象が頻発する場合は、ジョブの同時投入を分散させてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行時に「Unable to find the job file specified. Job not queued.」のメッセージが出力されて、ジョブが失敗しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
指定されたジョブファイルが見つかりません。

［原因］
以下の可能性があります。
a. 指定したジョブファイルのファイル名が違っている。
b. 指定したディレクトリにジョブファイルが存在しない。
c. ジョブファイルを格納したディレクトリが環境変数 PATH に登録されていない。
d. ジョブファイルのファイル名に拡張子が指定されていない。【Windows 版】
e. スケジュールサーバのジョブファイルを実行サーバに転送して実行しようとしているが、［登録－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シートの［実行コマンドの転送］にチェックがない。

［対処方法］
指定したジョブファイル名について、原因別に以下の対処をしてください。
a. 正しいファイル名を指定して、再度ジョブを投入してください。
b. 指定したディレクトリにジョブファイルを格納して、再度ジョブを投入してください。
c. 以下のいずれかを実施して、再度ジョブを投入してください。
   - ［コマンド］に、ジョブファイルをフルパスで指定してください。
   - ［ディレクトリ］に、ジョブファイルを格納しているディレクトリ名をフルパスで指定してください。
   - ジョブファイルを格納したディレクトリを、システム環境変数の環境変数 PATH に登録し、OS を再起動してください。【Windows 版】
d. 拡張子を含めたファイル名に修正して、再度ジョブを投入してください。【Windows 版】
e. スケジュールサーバのジョブファイルを実行サーバに転送して実行する場合は、［登録－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シートの［実行コマンドの転送］にチェックしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブネットの起動予定時刻を過ぎても実行されない場合に通知を行う］を設定していますが、通知メッセージが出力されるサーバと、出力されないサーバがあります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
通知メッセージが出力されないサーバの syslog.conf で、warning のメッセージを出力しない設定になっていることが原因です。
ジョブネットが起動予定時刻を過ぎても起動されない場合の通知メッセージは warning のメッセージですが、syslog.conf に warning 以上

のメッセージを SYSLOG などに出力しない記述をしている場合は通知メッセージは出力できません。

［対処方法］
通知メッセージが出力されないサーバの syslog.conf に、warning 以上のメッセージを SYSLOG などに出力する記述を追加してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の GUI 上で、あるジョブネットのジョブの色が赤くなっています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブが異常終了したことが原因です。

［対処方法］
ジョブが異常終了した原因を取り除き、必要に応じて再起動などの対処を実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ファイル改ざん監視ツール（tripwire）を導入しているのですが、以下のファイルが監視に引っ掛かりました。
/etc/opt/FJSVftlo/pmon/mon_cal.ini
/etc/opt/FJSVftlo/pmon/mon_jobs.ini
/etc/opt/FJSVftlo/pmon/mon_mjs.ini
/etc/opt/FJSVftlo/pmon/monprocesslist
すべて Systemwalker Operation Manager のファイルだと思いますが、これらのファイルが更新されるタイミングを教えてください。

A: 該当ファイルは、Systemwalker Operation Managerのプロセス監視のタイミングで、ファイルの削除／作成を繰り返しています。そのため、ファイル改ざん監視ツールで検知された可能性があります。該当のファイルはファイル改ざん監視ツールの監視対象外にしてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ある時間からジョブの一部が実行遅延の状態となり、その後のジョブも受け付けられない現象が発生しています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
メッセージキューの枯渇が原因と考えられます。

［対処方法］
OS を再起動してください。また、システムパラメタを確認してください。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.13 ジョブスケジューラの動作がおかしい
4.13.4 ジョブスケジューラサーバの処理がハングアップしてしまう【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　：Solaris　Linux　HP-UX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Arcserve のコマンド「cabatch」を含むバッチをジョブとして実行したところ、権限不足で異常終了します。ローカル実行すると正常終了します。 原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブの実行ユーザーに carootと同等の権限がないことが原因です。

［対処方法］

ローカル実行時のユーザー（Administrator）を実行ユーザーとする、またはスタートアップアカウントに caroot と同等の権限を与えてください。

■ジョブの実行ユーザーを任意に変更する場合

［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの［運用情報］をクリックして表示される［利用機能］シートで［ジョブを所有者の権限で実行する］をチェックし、初期化モードでジョブ実行制御サービスを再起動してください。これによって、ジョブの実行ユーザーはプロジェクトの所有者またはジョブの［詳細情報］で指定したユーザーで実行されます。なお、実行ユーザーには以下の準備が必要です。

- ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの［ジョブ所有者］をクリックし、プロジェクト所有者のパスワードを設定する
- 実行ユーザーにはローカルセキュリティポリシー［バッチジョブとしてログオン］の権利を与える

■carootと同等の権限を与える場合

1. 以下のコマンドを実行し、現状のアカウントを確認します。実行結果は「アカウント@サーバ名@IP アドレス」となるので、アカウントとサーバ名を控えます。
   ca_auth -equiv whoami

2. 以下のコマンドを実行し、現在のアカウントに同等アカウントを作成します。このコマンドの実行後、caroot のパスワードを入力してください。このコマンドがエラーなし（メッセージなしで、プロンプトが戻ってきたら正常終了）で実行された場合、同等アカウントが正常に作成されています。
   ca_auth -equiv add [user] [host] caroot caroot [carootのパスワード]

3. ca_auth コマンドを実行し、同等の権利があるか確認します。同等の権利がある場合は、「Equivalent BrightStor user for [user]@[host]：caroot」のように出力されます。
   ca_auth -equiv getequiv [user] [host]

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: サーバがダウンしたため、サーバを再起動しました。ところが、Systemwalker Operation Manager の時刻起動するグループやジョブネットの先頭ジョブがすべて「実行遅延」となっており、確認したところキューが停止していました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

リカバリモードで起動されており、設定によってキューが停止した状態で起動されたためです。
リカバリモードで起動した理由は、前回の停止処理でサービスが正常に停止する前にサーバが停止されたためです。また、Systemwalker Operation Manager の環境設定で［運用情報の定義］ウィンドウー［利用機能］シートの［リカバリモードで起動した時、全てのキューを停止する］の設定がされています。

［対処方法］

リカバリモードで起動してもキューが停止されないように、環境設定で［リカバリモードで起動した時、全てのキューを停止する］のチェックを外し

てください。
なお、設定を変更した場合は、Systemwalker MpMjes サービスの再起動が必要です。
また、当設定は、設定を変更するサブシステムすべてで行ってください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境で、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition はクラスタ登録していません。片方のサーバのジョブネットを起動したタイミングで、もう一方のサーバでも同じジョブネットが起動されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

クラスタを構築したサーバで、メッセージ事象を発生させたことが原因と考えられます。
クラスタで構築されたサーバに出力したイベントログの情報は、クラスタ上の他サーバのイベントログにも出力されます。

［対処方法］
クラスタの構築された環境では、メッセージ事象の情報が両サーバへ出力してしまうため、以下のどちらかの対処をしてください。

- メッセージ事象によるジョブネット起動を止めて、jobschcontrol コマンドに切り替える。
- メッセージ事象の文字列を、クラスタの環境内で一意にして、クラスタの運用系および待機系で同一のメッセージを待ち合わせないようにする。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition において、クラスタシステムで運用環境保守ウィザードの運用環境の退避を実施して正常終了しましたが、共有ディスク上の必要なデータファイルが退避されていません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

クラスタシステムセットアップ時に mpsetcluster コマンドを実行していない可能性があります。
運用環境保守ウィザードではクラスタシステムのセットアップが完了していない場合でも、正常に運用環境の退避が終了しますが、クラスタセットアップが完了していない場合、共有ディスク上のデータではなくローカルディスク上のデータを採取します。そのため、必要な共有ディスク上に存在するデータを退避できません。

［対処方法］
mpsetcluster コマンドを運用系および待機系で実行し、クラスタセットアップを完了させたあと、運用環境保守ウィザードで環境のバックアップを行ってください。

本環境では mpsetcluster コマンドが実行されていないため、バックアップ処理でクラスタ環境と認識していません。以下のマニュアルの手順が抜けているので、実施してから運用環境保守ウィザードやバックアップコマンドによる退避を行ってください。

Systemwalker Operation Manager 17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 4 章 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム固有の手順
4.1 Microsoft(R) Fail Over Clustering システムへの登録
4.1.1 1:1 運用待機、N:1 運用待機の場合の登録
4)クラスタ情報の登録

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager サーバをドメインコントローラとして使用しています。サーバ側に登録されているユーザーID で、ログインできない場合があります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ログインユーザーが Active Directory の Users コンテナに登録されていないことが原因です。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager で利用するユーザーを Users コンテナ配下に登録してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: NetWorker との共存環境で Systemwalker Operation Manager を使用しています。OS 再起動後、「ERROR: 10002: Systemwalker Operation Manager のプロセス (mpjmsrv)が正常に動作しているか確認してください。」が発生し、Systemwalker Operation Manager の画面が開きません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
NetWorker のプロセスが、Systemwalker Operation Manager で使用するポートを使用しているためです。

［対応方法］
ポートが競合しないように、以下の対処を実施してください。

■対処方法（一時対処）
まず、NetWorker を停止し、Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンを再起動してください。また、必要に応じて、今回のエラーの影響で動作していなかった処理を起動するなどの対処を実施してください。

■対処方法（恒久対処）
NetWorker などとの共存環境では、以下のマニュアルに掲載されている問題が発生する場合があります。対処手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 2 章 共通のトラブルシューティング
2.1 インストールに関するトラブル
2.1.5 NetWorker などとの共存環境で Systemwalker Operation Manager のエラーメッセージが表示される

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 前回履歴を確認すると、20000 行以降の標準出力が表示されません。これは正常な動作ですか？

A: 前回履歴の正常な動作です。前回履歴は、20000 行までしか表示できません。
前回履歴の表示については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.4 ジョブのスケジュールに関して知っていただきたいこと
B.4.2 ジョブの標準出力および標準エラー出力

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: コントロールパネルのサービスで、Systemwalker Operation Manager のジョブ実行制御サービスを停止しましたが、イベントログにプロセス監視のエラーメッセージが出力されませんでした。これは正常動作ですか？

A: 正常動作です。
コントロールパネルのサービスで Systemwalker Operation Manager 関連サービスを正常終了させた場合、プロセス監視のエラーメッセージは出力されません。コントロールパネルのサービスでの停止操作は、正常な停止操作であるため Systemwalker Operation Manager サービスのプロセス監視は異常として検知しません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: イベントログに「SY:Win32k: Warning: 244:デスクトップ ヒープがなくなったためデスクトップを作成できませんでした。」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
システムで大量のアプリケーションが実行され、Windows が割り当て可能なデスクトップヒープが枯渇したことが原因です。

［対処方法］
アプリケーションの実行タイミングをずらすなど負荷が集中しないようにして調整してください。また、必要に応じてデスクトップヒープのチューニング、またはジョブの多重度の制限をしてください。
デスクトップヒープサイズの調整について詳細は、以下のマニュアルの「対処方法」を参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.2 ジョブが異常終了する
5.2.16 ジョブが例外コード 0xC0000142 で異常終了する【Windows 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を管理しています。ジョブネット履歴は、以前は 2 週間分過去のものが見えていましたが、今は 1 週間程度過去のものまでしか見えません。原因および対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
クラスタの両ノードで jobdb のログファイルサイズが異なっている環境で、ノードが切り替わったために発生したと考えられます。

［対処方法］
クラスタの各ノードでログファイルサイズ設定をそろえてください。
環境設定を両系のサーバで一致させる方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 2 章 導入

2.9 各ノードで管理される情報の統一
2.9.3 Systemwalker Operation Manager の環境定義の統一

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「MpJobsch: エラー:7300:func=jobschmsgevent -main:ReportEvent()997: 重複した I/O 処理を実行しています。」というメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A:

［メッセージの意味］
システム関数でエラーが発生しました。

［原因］
jobschmsgevent 発行をしたときに、イベントログ（アプリケーションログ）が容量不足であったことが原因です。

［対処方法］
以下のどれかの対処を実施してください。
- アプリケーションイベントログをクリアする
- イベントログのプロパティで、ログサイズを十分に大きくする
- イベントログのプロパティで、必要に応じてイベントを上書きする設定をする

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行サーバのリプレースを行ったあと、ネットワークジョブが異常終了します。また、シェル内の 2 バイト文字が文字化けしています。原因と対処方法を教えてください。

A:

［原因］
実行ユーザーのスタートアップシェルに LANG 環境変数を設定していないため、LANG が C でジョブが実行されたことが原因です。

［対処方法］
以下のマニュアルを参照の上、/etc/profile に LANG を設定してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.3 ジョブの動作がおかしい
4.3.12 ジョブが正常に動作しない【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: シェルスクリプトを実行するネットワークジョブを実行依頼したところ、ジョブが終了コード 255（詳細コード：40000016）で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A:

［原因］
ネットワークジョブで実行依頼を行ったシェルスクリプトが実行サーバに存在しない可能性があります。

［対処方法］
実行サーバに該当のシェルスクリプトを格納してください。

プラットフォーム　：Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 で、別サーバの資産をリストアしたところ、「MpJobsch: ERROR: 0029: The number of projects has exceeded the maximum number (256).」というエラーが発生し、ジョブスケジューラが起動できませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［メッセージの意味］
ジョブスケジューラに登録できるプロジェクト数の上限値（256）を超えました。

［原因］
資産のリストアによってプロジェクト数が増加し、ジョブスケジューラのプロジェクト数の上限値を超過したことが原因です。
プロジェクト数が上限値を超過した場合、本メッセージを出力してジョブスケジューラ機能は起動に失敗します。Systemwalker Operation Manager のリストアコマンド（mprso）では、既存の環境にバックアップされた資産に含まれるプロジェクトを追加します。そのため、プロジェクト構成の異なる別サーバでバックアップした資産をリストアする場合、本現象が発生することがあります。
なお、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降では、ジョブスケジューラに登録できるプロジェクト数の上限値は 1000 個です。

［対処方法］
リストア前に不要プロジェクトを削除する、またはコンビニエンスツールのスケジュールの初期化コマンドでプロジェクトを削除してください。
なお、コンビニエンスツールは Systemwalker Operation Manager 技術情報サイトで入手してください。

プラットフォーム　：Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 時刻とメッセージ事象の両方を待ち合わせているジョブネットが、起動時刻到来前に起動しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
前日にメッセージ事象が発生しておらず、メッセージ事象の発生が 1 日遅れて発生していることにより、前日分が起動されたためです。

［対処方法］
メッセージ事象の発生処理を確認してください。ただし、運用として想定した動作の場合は対処不要です。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 毎週土曜日の午前 9 時に起動するジョブがあります。先週の土曜日の 9 時は起動しないよう設定を行いましたがジョブが起動してしまいました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
休日カレンダまたは起動日雛形を変更したため、非起動日の設定がクリアされていた可能性があります。

［対処方法］
［起動日再作成の抑止］を設定してください。

設定方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義
■［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［利用機能 2］シート

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: chkfile.exe -wait コマンドを同時時間帯に複数のジョブネットで起動すると、あとから起動したジョブについては状態が実行遅延状態となってしまいます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
同名ジョブを同時に実行していた可能性があります。
環境設定の［同名ジョブを同時に実行しない］が有効の場合、あとから実行したジョブは実行遅延となります。

［対処方法］
ジョブ名を変更して実行してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント業務連携を使用して、メッセージが出るジョブを動作させましたが、コンソール画面上に表示されず、リモート接続されている別画面に表示されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
リモート接続されている別画面でクライアント業務連携が起動していたことが原因です。
クライアント業務連携は、1 つのホスト内（1 つのセッション）で 1 つだけ起動できます。そのため、リモートデスクトップでログインした際に、クライアント業務連携が起動されていた場合、他のセッションでは起動できなくなります。

［対処方法］
以下の方法で対処してください。
1. 特定のユーザーのスタートアップだけに cnscleng.exe（クライアント業務連携）を登録する。
2. 1.のユーザーでは特定のセッションだけでログインする。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブを投入するとログファイル「ジョブ名.I ジョブ番号」と「ジョブ名.log」が大量に出力されています。削除か移動をさせたいですが、操作をして問題ありませんか？

A: 問題ありません。
運用に問題がなければ削除してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループを実行中に強制終了させ、ジョブネットをグループに追加しました。そのあと実行待ちの状態になり、「再起動」の操作で「強制終了または異常終了または確認済でないため再起動できません」が表示されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

グループの実行後にグループ内のジョブネットの変更／追加を行ったことが原因です。
グループを実行中に強制終了などをさせてから、グループ内のジョブネットの変更／追加を行った場合、そのグループは再スケジューリングされ、次回の起動を待っている状態となるため、「再起動」の操作はできません。

［対処方法］

「起動」操作で起動しなおしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager を導入しているサーバを再起動したところ、MPJMCAL と MPJOBSCH のサービスが起動しなくなりました。イベントログにはエラーメッセージ「MpJmCal: エラー: 7: ファイル操作に失敗しました。(system_calendar)」が出力されています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**

ファイルのアクセス処理でエラーが発生しました。

［原因］

休日カレンダの情報を格納しているファイルが破損している可能性があります。

［対処方法］

バックアップデータを使用して、リストアを実施してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 終了予定時刻が設定されているジョブネットの制御文を出力し、「alarmtime 0500」の行を削除して、「jobschsetnet -nche」でジョブネットを変更しましたが、終了予定時刻が削除されません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブネットの制御文の指定に誤りがあることが原因です。alarmtime が記述されていない制御文を使って、「jobschsetnet -nche」でジョブネットを変更した場合、終了予定時刻の設定は変更されません。

［対処方法］

終了予定時刻を削除する場合、「alarmtime」と設定する必要があります。制御文を変更してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行したジョブで「MJS881S ジョブ名(jobno) COMMUNICATION ERROR OCCURRED

FOR dbhost，CODE(2，274C)」のエラーが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
回線エラーが発生しました。

［原因］
実行サーバのサービスを停止していたことが原因です。

［対処方法］
実行サーバ側のサービスを起動してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: PRIMECLUSTER 上に構築した Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、フェールオーバ後にプロジェクトのアクセス権を選択した際、「プロジェクトのアクセス権情報が存在しません（2:3）」が表示されます。設定情報は表示されません、また追加操作もできません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
プロジェクトのアクセス権情報が存在しません。

［原因］
クラスタ環境設定時に、移動した資源へのシンボリックリンクの作成が一部で実施されていないことが原因です。また、セキュリティ情報の自動反映の設定がされておらず、セキュリティ情報が運用系と待機系で一致していないことも原因です。

［対処方法］
以下の手順を実施してください。

■手順
1. 移動した資源へのシンボリックリンクを作成してください。移動した資源へのシンボリックリンクの作成方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 2 章 導入
2.6 資源の共有ディスクへの移動
2.6.1 1:1:1 運用待機（サブシステムなし）、1:1 運用待機（サブシステムあり）、N:1 運用待機、カスケードの場合の資源の移動
移動手順
PRIMECLUSTER（Solaris 版、Linux 版）、Oracle Solaris Cluster の場合
5）移動した資源へのシンボリックリンクの作成
2.6.2 2 ノード相互待機の場合の資源の移動
移動手順
PRIMECLUSTER（Solaris 版、Linux 版）、Oracle Solaris Cluster の場合
5）移動した資源へのシンボリックリンクの作成
2.6.3 1:1 運用待機（サブシステムあり、一部クラスタ運用）の場合の資源の移動
移動手順
PRIMECLUSTER（Solaris 版、Linux 版）、Oracle Solaris Cluster の場合
5）移動した資源へのシンボリックリンクの作成

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

2. プロジェクトの情報として正しい方の環境を運用系とした状態で、mpaclcls コマンドおよび mpcssave コマンドを実行し、セキュリティ情報を自動反映させるようにしてください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のクライアイトからジョブネットの出力情報を開こうとした際に、「出力ファイルのオープンに失敗しました」、「MpJobsch: ERROR: 0412: fopen() Too many open files」、および「MpJobsch: ERROR: 0151: The jobscheduler failed to read job net output information.」のエラーメッセージが表示されます。原因と対処を教えてください。

A: ［原因］

Systemwalker Operation Manager のサーバとクライアント間のネットワークが以下の要因で切断されてファイルディスクリプタ（接続）が残存し、Systemwalker Operation Manager が確保するディスクリプタ数（接続数）が上限値に達している可能性があります。

- 過去にジョブスケジューラと接続するクライアントマシンとのネットワークが不安定になっていた。
- 過去にクライアントの終了操作で以下のどちらかを行っていた。
  - タスクマネージャで Systemwalker Operation Manager クライアントを強制終了させた
  - Systemwalker Operation Manager のクライアントを起動している状態で電源を切断した

［対処方法］

ネットワークが不安定の場合、安定するようにしてください。また、タスクマネージャでの Systemwalker Operation Manager クライアントの強制終了、およびクライアントを起動している状態での電源の切断をしないでください。
現象発生時には、以下の手順で、ファイルディスクリプタを初期化してください。

■手順

1. tskwnsrv プロセスのプロセス ID を確認します。コマンド実行例は以下のとおりです。

```
# ps -ef | grep tskwnsrv
root   6972   6896   0 20:32:05 ?   0:00
/opt/FJSVJOBSC/bin/tskwnsrv 2500 /var/opt/FJSVJOBSC 0 -1
```

2. 1.で確認したプロセス ID を指定して、kill -HUP コマンドを実行します。コマンド実行例は以下のとおりです。

```
# kill -HUP 6972
```

このコマンドを実行することにより、ディスクリプタの初期化が実施されます。実行中のジョブネットやジョブの動作に影響はありません。
本コマンドは、30 秒以内に複数回実行しないでください。また、このコマンドを実行すると、接続中のクライアントマシンで、ジョブスケジューラとの接続が一度切断されます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 毎日起動予定のグループが本日起動しませんでした。原因を教えてください。

A: ［原因］

［起動］操作で、事前にグループを起動させている可能性があります。
グループは 1 日 1 回起動する動作をします。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループに所属するジョブネットが「異常終了」し、再起動してジョブネットの状態は「正常終了」になりましたが、グループの状態が「警告」になっています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

グループに所属するジョブネットが「異常終了」状態となり、再起動後のグループの実行が終了していないことが原因です。グループの状態が「警告」状態となるのは、グループが実行中であり、グループに「警告」、「異常終了」、または「強制終了」状態のジョブネットが存在する場合です。「異常終了」または「強制終了」状態のジョブネットを再起動し、グループに「警告」、「異常終了」、または「強制終了」状態のジョブネットが存在しなくなっても、グループとしては「警告」状態のままとなりますが、グループが終了した時点で「正常終了」、「疑似正常」などの状態表示に戻ります。

［対処方法］

グループが終了した時点で「正常終了」、「疑似正常」などの状態表示に戻るので、対処は不要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ファイアウォールから、制限しているポート番号 9327 による通信が行われた旨の「AP: MpCNappl: ERROR: 106: ネットワークで事象が発生しました。」というトラップ通知がありました。ポート番号 9327 は、Systemwalker Opration Manager で使用したようです。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ネットワークジョブの依頼／監視で利用するポート番号 9327 をファイアウォールで制限していることが原因です。

［対処方法］

ファイアウォールの設定を見直してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ内ジョブネットの起動日を変更しましたが、起動予定日時が反映されません。正常な動作ですか？

A: 正常な動作です。

以下の場合、ジョブスケジューラはグループ内ジョブネットの起動日時の算出を実施しません。グループ内ジョブネットの起動日を変更しても、起動予定日は変更されない状態になります。

- 本日のスケジュールが終了している場合（グループが終了状態）
- 本日スケジュールが存在しない、かつ起動予定時刻を過ぎている場合

上記状態の場合、日変わり時刻の時点でグループの起動日が再作成され、正しい起動日を設定する動作をします。また、グループを選択し、右クリックで［グループの変更］ウィンドウを起動して［ファイル］メニューの［上書き保存］を行うことで、起動予定日時が反映されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キューの追加を行い、Systemwalker Operation Manager を再起動したところ、既存のキューの多重度が変更されてしまいました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブ実行制御サービス／ジョブ実行制御デーモンを、初期化モードで起動したことで、一時変更されたキューの多重度が初期化ファイルの情報で上書きされたことが原因です。

［対処方法］

Systemwalker Operation Manager クライアントでキューを選択し、［キューの操作］および［定義変更］を行った場合に設定が一時

変更となります。また、キューの属性変更コマンド（qalter）を利用した場合も、同様に一時変更の状態になります。

多重度を恒久的に設定する場合は、［運用情報の定義］ウィンドウで設定情報を変更してください。次回のサービス／デーモン起動時に、自動的にジョブ実行制御サービス／ジョブ実行制御デーモンが初期化モードで起動されます。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition が、クラスタ環境で使用する状態遷移プロシジャリソースのリソース異常監視間隔および監視ロジックについて教えてください。

A: リソース異常監視間隔および監視ロジックについては、環境構築時に作成した状態遷移プロシジャや、デーモンを監視するためのスクリプト「omgr_smonitor」に依存します。「omgr_smonitor」ファイルを確認してください。サンプルスクリプトでは、10 秒間隔で、ジョブスケジューラデーモン、ジョブ実行制御デーモンの動作を確認しています。
詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 4 章 PRIMECLUSTER Solaris 版システム固有の手順
4.1 PRIMECLUSTER システムへの登録
4.1.1 状態遷移プロシジャの作成
4.1.1.1 デーモンの動作を制御する状態遷移プロシジャファイルの作成
4.1.1.2 監視スクリプトの作成
4.1.1.3 デーモンを監視する状態遷移プロシジャの作成
4.1.2 状態遷移プロシジャの登録
4.1.3 状態遷移プロシジャを使用するリソースの登録
4.1.4 クラスタアプリケーションおよびリソースの登録

第 5 章 PRIMECLUSTER Linux 版システム固有の手順
5.1 PRIMECLUSTER システムへの登録
5.1.1 状態遷移プロシジャの作成
5.1.1.1 デーモンの動作を制御する状態遷移プロシジャファイルの作成
5.1.1.2 監視スクリプトの作成
5.1.1.3 デーモンを監視する状態遷移プロシジャの作成
5.1.2 状態遷移プロシジャの登録
5.1.3 状態遷移プロシジャを使用するリソースの登録
5.1.4 クラスタアプリケーションおよびリソースの登録

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　：Solaris　Linux
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: fcopysvr を使用したファイル転送をしたところ、転送元ファイルが存在するにもかかわらず、「0xB52B(0x0) 転送元ファイルが見つかりません。」というエラーメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
パラメタで指定したファイルが見つかりません。

［原因］
転送元ファイルのサイズが、2GB を超えている可能性があります。

［対処方法］
ファイルを分割する、またはファイルのサイズを小さくしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが異常終了したため確認操作をしようとしましたが、［確認］がグレーアウトされた状態です。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
［ジョブネットの確認操作を有効とする］が、以下の画面において指定されていなかったことが原因です。

- Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降
  環境設定の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［利用機能 1］シートの［異常時の確認操作］で［詳細設定］ボタンをクリックして出力される［確認操作の詳細設定］ウィンドウ

- Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以前
  環境設定の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［利用機能 1］シートの［スケジュールオプション］

［対処方法］
［ジョブネットの確認操作を有効とする］を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の処理が遅い状態となっています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
プロジェクトに大量のジョブネットが登録されている可能性があります。
1 つのプロジェクトに大量にジョブネットを登録した場合、そのプロジェクト内のジョブネットの起動予定時刻付近で、jobschcontrol コマンドや jobschsetnet コマンドを多数実行すると、スケジュール情報ファイルに大量のアクセスが集中し、スケジュール実行が遅延することがあります。

［対処方法］
大量にジョブネットが登録されているプロジェクトを別のプロジェクトに分割するなど、プロジェクトに登録されるジョブネット数を減らしてください。また、起動予定時刻付近で大量にスケジュール情報ファイルにアクセスするコマンドなどを実行しないようにしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットがエラーになった場合、Systemwalker Centric Manager に通知する設定にしています。しかし、ジョブが異常終了しても、Systemwalker Centric Manager に通知がされませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
異常終了となったジョブ以外に実行中のジョブがあり、ジョブネットが終了されなかったことが原因です。ジョブネット内に実行中のジョブが存在した場合、別のジョブで異常終了となっても、ジョブネットは「警告」状態となり、実行中のジョブが終了しない限り、ジョブネットは異常終了とはなりません。

［対処方法］
ジョブ終了出口で、異常終了時に Systemwalker Centric Manager の opfmt コマンドを実行する方法があります。

ジョブ終了出口については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 19 章 出口情報
19.3 ジョブ終了出口

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschsetnet コマンドを実行時に「MpJobsch: ERROR: 0084: パラメタに誤りがあります 3 行目です」が出力されて、ジョブが異常終了となります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
定義ファイル中のオペランドに対するパラメタに誤りがあります。

［原因］
ジョブネット制御文の 3 行目に指定されているパラメタに誤りがあることが原因です。

［対処方法］
ジョブネット制御文中のパラメタを修正してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: cpio コマンドを実行してシステムのバックアップを行っていますが、mjespool ディレクトリ配下のいくつかのファイルのバックアップの取得に失敗してしまいます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブ実行時に生成される一時ファイルが、Systemwalker Operation Manager のデーモンに排他制御されていることが原因です。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager のバックアップを行う場合は、mpbko コマンドを使用してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS のファイルシステムごとバックアップ／リストア(Solaris の場合:ufsdump／ufsrestore コマンド)を実施したとき、Systemwalker Operation Manager に影響はありますか？

A: 影響があります。
OS のバックアップ／リストアによる復旧は、動作保証していません。
Systemwalker Operation Manager で提供しているバックアップコマンド mpbko でバックアップしたあと、OS のファイルシステムをリストア後に、リストアコマンド mprso で Systemwalker Operation Manager のデータをリストアしてください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシーの抽出および配付をしたところ、抽出元と配付先のサーバでファイルサイズの異なるファイルがあります。問題はありますか？

A: 抽出および配付でエラーが発生していなければ問題ありません。
ログファイルなど、抽出／配付していないファイルがある可能性があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー抽出で抽出したポリシー情報は、どこに格納されますか？

A: 配付する前のポリシー情報は、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウを起動した PC 上の、以下のディレクトリ配下に格納されます。
Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpjmcl¥work¥policy

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ターミナルサービスを使ってサーバをリモートで操作したとき、Systemwalker Operation Manager のジョブを登録するコマンドがエラーになります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ターミナルサービスからコマンドを実行したことが原因です。

［対処方法］
ジョブスケジューラのコマンドを実行する場合は、Systemwalker Operation Manager が導入されているサーバ上のコマンドプロンプトなどから、直接実行してください。
なお、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降では、ターミナルサービス（リモートデスクトップ）に対応しています。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12 V11

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 でジョブネットを実行した際に、「MpJobsch:エラー :7300:func=GetTsct : OpenFileMapping() 2:指定されたファイルが見つかりません。」というエラーメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
システム関数でエラーが発生しました。

［原因］
リモートデスクトップ環境で、ジョブスケジューラコマンドを実行したことが原因です。
本エラーメッセージは、リモートデスクトップ（ターミナルサービスのクライアント）上から、ジョブスケジューラのコマンド（jobschprint など）を実行した場合に発生します。
Systemwalker Operation Manager V13.2.0 では、ジョブスケジューラのコマンドは、リモートデスクトップ上での動作に対応していません。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager V13.2.0 で、ジョブスケジューラコマンドを実行する際は、リモートデスクトップを使用しないで直接実行してください。
なお、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降では、リモートデスクトップ対応しています。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: ［登録－ジョブ］ウィンドウの表示が、クライアントによって異なります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
クライアントごとにコマンドアシスタントの設定が異なっていることが原因です。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager の GUI で任意のジョブネットを右クリックし、［変更］を選択します。メニューの［表示］から、［コマンドアシスタントを使う］にチェックが入っているかどうかを確認します。必要に応じて本設定を、各クライアントで統一してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 電源制御設定で、リブートを毎日 4:00 に実行しています。2 回リブートが実行されました。確認したところ、システム時刻を変更しているようです。2 回リブートが実行された原因を教えてください。

A: **［原因］**
システム時刻を変更したことで、4:00 が 2 度到来し、2 回リブートが実行された可能性があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint コマンドおよび jobschsetnet コマンドでジョブネット情報を登録した際に、V13.2.0 以前ではジョブネット内のジョブの並びが崩れてしまう現象が発生しています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
Systemwalker Operation Manager 13.2.0 以前の jobschprint コマンドおよび jobschsetnet コマンドでは、ジョブの並びを設定できません。

［対処方法］
ポリシー抽出および配付機能が利用できる場合は、［ポリシーの抽出］ウィンドウー［登録情報］シートで［スケジュール・起動日雛形］を選択して配付してください。この場合、すべてのプロジェクトのジョブネットの情報が配付されます。ジョブネットごとに個別で配付することはできません。
ポリシー抽出および配付機能が利用できない場合は、適宜、ジョブの並びを再設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: 「MpJobsch:エラー:7300:サービス: func=JOBSCH_dbfile_open:CreateFile()32:プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。」および「MpJobsch:エラー:6046:サービス :ログ情報の書き込みに失敗しました」というメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**

- 「MpJobsch:7300:サービス: func=XXXX:CreateFile()32:プロセスはファイルにアクセスできません。」の意味
  システム関数でエラーが発生しました。
- 「MpJobsch: 6046:サービス :ログ情報の書き込みに失敗しました」の意味
  ログ情報の open、lockf、write、または時刻取得のための time のいずれかで失敗したため、ジョブネット／ジョブの開始／終了メッセージを書き込めませんでした。

［原因］
他のアプリケーションがジョブのログファイル（jobdb1.log、jobdb2.log、および jobdb3.log）にアクセスしていたことが原因です。

［対処方法］
運用中にジョブのログファイルにアクセスしないでください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行が起動予定時刻よりも遅れます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
多数のジョブが同時に起動されている可能性があります。

［対処方法］
同時に起動するジョブ数を減らす（起動時刻を調整する）、大量のジョブを同時に起動する場合には複数サブシステムに分けるなどの対処を検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ内の並列した 2 つのジョブネットのうち、1 つが異常終了した場合、再起動することができませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
グループ内に実行中のジョブネットがあるため、グループの状況は実行中となり、グループが再起動できないことが原因です。

［対処方法］
以下の手順を実施してください。
1. グループの監視画面で異常終了したジョブネットを選択する。
2. 選択したジョブネットを右クリックして［操作］を選択し、［再起動］をクリックする。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を Microsoft(R) Fail Over Clustering のクラスタシステム上で運用しています。クラスタ構成の待機ノードでバックアップしてリストアしたところ、正常にリストアできませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
バックアップ手順の 1 つ、「共有ディスクをオンラインにする」が実行されていないため、バックアップを行う際に共有ディスクが参照できない状態であった可能性があります。

［対処方法］

バックアップは、以下に示すマニュアルの該当箇所をすべて実施してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 4 章 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム固有の手順
4.7 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム運用時のバックアップ/リストア
4.7.1 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム運用時のバックアップ手順

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows スケジュールサーバから Linux 実行サーバへネットワークジョブを実行すると、認証エラー（0x40000913）が表示され、ジョブが異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
該当ジョブの実行ユーザー（アカウント）が、スケジュールサーバおよび、実行サーバの両方に登録されていないことが原因です。

［対処方法］
スケジュールサーバおよび、実行サーバの両方で実行ユーザーのアカウントを OS に登録してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用（1:1 運用待機、サブシステムなし）をしています。運用系サーバから待機系のサーバに対してジョブを投入できますか？

A: できません。
待機系ではジョブ実行制御のサービスが停止しているため、ネットワークジョブを投入することができません。クライアント業務連携機能を使用してジョブを投入してください。
クライアント業務連携について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 2 章 運用方法
2.8 業務連携

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 9 章 業務連携コマンド【Windows 版】
9.2 クライアント業務連携コマンド
9.2.3 EXECACLI.EXE アプリケーション起動コマンド
第 10 章 業務連携コマンド【UNIX 版】
10.2 クライアント業務連携コマンド
10.2.3 execacli アプリケーション起動コマンド

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: swadmin グループに参加しているのにもかかわらず、「Not registered to swadmin

group.」のメッセージでジョブ実行に失敗します。原因と対処方法について教えてください。

A: **［原因］**
ジョブの実行ユーザーを定義していないことが原因です。

［対処方法］
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ – ［ジョブ所有者］ – ［ジョブ所有者情報の定義］ウィンドウ(＊)で、ジョブの実行ユーザーを定義してください。

(＊) V13.7.0 以降では、［運用情報の定義］ウィンドウ – ［利用機能］シートの［ジョブ所有者設定］ボタンからも呼び出せます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット（共有リソースオンライン）が終了コード（243）で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
Systemwalker Operation Manager の内部ファイルにウイルスチェックソフトがアクセスしたことが原因と考えられます。

［対処方法］
ウイルスチェックソフトによるアクセス対象から Systemwalker Operation Manager を外してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 別サーバの Systemwalker Operation Manager と連携させてジョブを実行していますが、mpjobsch error ; 7300 と 8418 のエラーが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
jobschmsgevent 実行時に認証エラーが発生していることが原因です。

［対処方法］
jobschmsgevent でホスト名指定している場合、依頼元と依頼先で、同じユーザー名／パスワードでないと認証エラーになります。パスワードを変更したくない場合、jobschmsgevent でホスト名指定せず、ネットワークジョブの依頼ホスト名を設定し、ネットワークジョブとして実行してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 運用予定でジョブネットの起動日を設定しましたが、後日確認すると設定内容がリセットされていました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
カレンダを変更したことにより、特異日がクリアされたことが原因です。「起動日再作成の抑止」機能（※）が無効の場合、カレンダを変更したことにより、そのカレンダを引用しているジョブネットの特異日（［運用予定］ウィンドウや［起動日］ウィンドウで設定した起動日）がクリアされます。

（※）「起動日再作成の抑止」機能は、休日カレンダまたは起動日雛形を変更した場合に、変更した休日カレンダまたは起動日雛形を使用しているジョブネットの起動日を再作成したくない場合に再作成を抑止できる機能です。

［対処方法］
以下のいずれかを行ってください。
- 「起動日再作成の抑止」機能を有効にする。
  ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［利用機能 2］シートの［休日カレンダ／起動日雛形を使用しているジョブネットの起動日再作成を抑止する］を指定することで有効となります。
- カレンダ変更後、そのカレンダを引用しているジョブネットの起動日（特異日）を確認し、適宜、起動日を再設定する。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ事象と起動時刻を待ち合わせているジョブネットが、メッセージ受信前に起動されます。

A: **［原因］**

以前に発生したメッセージ事象が残ったままとなっていたことが原因です。そのため、発生済みメッセージ事象と起動時刻の条件を満たし、ジョブネットが起動しました。

［対処方法］
jobschmsgclear コマンドで、発生済みとなっているメッセージ事象をクリアしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、あるキューに対してジョブネットを実行すると「終了コード：243 ジョブの出力情報：No Such Queue : bunsan_Queue3. Job not Queue Queued」と出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

キュー作成後にジョブ実行制御サービスを再起動していないため、作成したキューが有効になっていないと考えられます。

［対処方法］
キュー作成後は、ジョブ実行制御サービスを再起動してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント業務連携を実行するジョブを起動すると「0xb007(0x410e): 業務連携エンジンへの処理開始要求が受け付けられませんでした（10061）」のエラーが発生します。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブ実行時にクライアント業務連携エンジンが起動されていないことが原因です。

［対処方法］
ジョブとしてクライアント業務連携機能を実行する場合は、クライアント業務連携エンジンを起動状態にしてください。［スタート］／［アプリ］メニューの「Systemwalker Operation Manager」サブメニューから［クライアント業務連携］を選択して起動できます。
Windows にログインした際に、自動的にクライアント業務連携エンジン（cnscleng.exe）を起動させることもできます。自動起動のための設定方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.10 業務連携の定義

2.10.2 クライアント業務連携の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager 運用中のシステムで、サーバシャットダウンから 2 時間ほど経過してから、ジョブが終了コード 239 で異常終了の通知がされました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
前回、サーバシャットダウンでジョブスケジューラのサービス／デーモンが停止した時に、ジョブが実行中だった可能性があります。この場合は、次回のサービス／デーモン起動時に認識され、その時点で異常終了したという扱いになります。そのため、2 時間ほど経過して通知されたように見えています。

［対処方法］
ジョブの実行中にシャットダウン処理を行わないように運用を見直してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットを選択し［ジョブ一覧］ウィンドウ上で、［発生状況］をクリックしても、メッセージ事象の発生回数が「0」のままになっているものがあります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**メッセージ事象が発生していないことが原因です。

［対処方法］設定内容を見直し、メッセージ事象を発生させてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの異常終了後に、確認処理をしていないのにもかかわらず、ジョブが実行されているようです。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
Systemwalker Operation Manager のスケジュール機能からの実行ではなく、手動でバッチファイル、コマンドを実行したことが原因と考えられます。

［対処方法］
手動でバッチファイル、コマンドを実行していないかをご確認ください。Systemwalker Operation Manager から実行されたジョブについては、［ジョブの履歴］ウィンドウでご確認ください。［ジョブの履歴］ウィンドウについての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 8 章 ジョブの履歴を参照する
8.2 スケジュールジョブの履歴表示

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: initfile.txt（Solaris 版、Linux 版、HP-UX 版、AIX 版の場合は、initfile）を編集し、キューの設定をしましたが、設定結果が反映されません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンを初期化モードで再起動していないことが原因です。

［対処方法］
mjstop -c コマンドを実行後、サービス／デーモンの再起動をしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブで、リモートサーバ上での認証処理がエラー（0x40000913）となりました。原因と対処方法を教えてください

A: **［原因］**
ジョブの実行ユーザーがロックアウトされていると考えられます。

［対処方法］
以下の方法に従い、対象ユーザーのロックアウトを解除してください。

■ロックアウト解除手順
1. ［コントロールパネル］→［管理ツール］→［コンピュータの管理］の順に選択して、［コンピュータの管理］ウィンドウを開きます。
2. ［コンピュータの管理］ウィンドウの左側のツリーで、［ローカルユーザーとグループ］を選択して、右側のウィンドウで［ユーザー］をダブルクリックします。
3. 右側のウィンドウで、［Administrator］を右クリック－［プロパティ］を選択し、［Administrator のプロパティ］ウィンドウを開きます。
4. アカウントのロックアウトのチェックボックスのチェックをはずし、［OK］ボタンをクリックします。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが疑似正常終了しています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
該当ジョブネット内に終了コードが 1 以上、正常終了コード上限値以下の疑似正常終了状態のジョブがあることが原因です。

［対処方法］
正常動作です。
ステータスが「疑似正常」の場合、日変わり時刻とともに本日分のジョブネットがスケジュールされ、「実行待ち」となります。そのため、対処は不要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが異常終了しました。「MpJobsch，エラー，サービス ，7300，N/A，HANBAIDB，func=JOBSCH_dbfile_write:WriteFile() 112:ディスクに十分な空き領域

がありません。」のメッセージが出力されていますが、実際の空き容量は余裕のある状態です。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
Systemwalker Operation Manager のインストールドライブに十分な空き容量がないことが原因です。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager インストールドライブの容量を確保してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を Microsoft(R) Fail Over Clustering のクラスタ構成で運用しています。信頼ホストの定義から特定サーバを削除する方法を運用系･待機系それぞれについて教えてください。

A: 以下の手順で、運用系／待機系でそれぞれ信頼ホストを削除し、サービス再起動を実施します。

1. ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの起動
［スタート］/［アプリ］－［Systemwalker Operation Manager］－［環境設定］を選択し、“Systemwalker Operation Manager 環境設定［ログイン］”ウインドウを表示し、以下を入力します。

［ホスト名］に運用系の物理 IP アドレスを入力
ユーザーID とパスワードを入力後、[ログイン]ボタンをクリックし、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウを起動します。

（V13.3.1 以前の場合
- ［接続先ホストを指定する］にチェックを入れ、運用系の物理 IP アドレスを入力
- ［ログインユーザを指定する］にチェックを入れ、ユーザ名とパスワードを入力後［OK］ボタンをクリックし、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウを起動します。）

2. ［信頼ホストの定義］ウィンドウの表示
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウで、［信頼ホスト］ボタンをクリックし［信頼ホストの定義］ウィンドウを表示します。

3. 定義を削除する
削除する信頼ホスト名を選択し、［削除］ボタンをクリックします。［OK］ボタンをクリックして、設定内容を保存します。

4. 待機系においても、1.～3.を実施します。
待機系に接続する際は、待機系の物理 IP アドレスを入力してください。

5. 設定内容の反映
［フェールオーバークラスターマネージャー］で、Systemwalker Operation Manager 用のクラスタサービスをオフライン→オンラインを実施します。待機系では、次回フェールオーバ時に反映されます。
なお、待機系で即時反映させたい場合には、フェールオーバ→フェールバックを実施してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが「MJS810E RECEIVE : STDOUT FILE NOT FOUND ON <ホスト名>」のログを出力し、RC=255(0x40000008)で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブ実行制御プロセスが、ジョブ情報ファイルを操作しようとしましたが、バックアップソフトやウイルスチェックソフトなどのアプリケーションが、ジョブ

情報ファイルにアクセスしていたため一時的にアクセスできなかったことが原因と考えられます。

［対処方法］
ジョブ実行時は、バックアップソフトやウイルスチェックソフトなどのアプリケーションがジョブ実行制御のスプールディレクトリ配下にアクセスしないようにしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Administrator のパスワードを変更するとジョブが「ユーザ名、またはパスワードが誤っています。」「error code=255(40000913)」で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
パスワードの長さが、Systemwalker Operation Manager のパスワードの長さ制限以上である可能性が考えられます。

［対処方法］
パスワードを以下の制限値以内で設定してください。
- Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以前の場合：14 バイト
- Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降の場合：50 バイト

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】★★★ここから★★★

Q: ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［テストモード］シートの［仮想時間の設定］で過去日に変更しましたが、反映されません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
仮想時間に過去日を設定したことが原因です。

［対処方法］
仮想時間に過去日を設定することはできません。現在から未来の日付と時間を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition でクラスタ運用しています。クラスタの運用系で MpJobsch と MpMjes のスタートアップの種類が［手動］となっていても、soperationmgr コマンドで起動され、クラスタリソースもオンラインとなります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
クラスタの運用系では、スタートアップの種類に関わらずローカルのサービスとクラスタ上のサービスを起動し、クラスタリソースもオンラインとなるためです。なお、クラスタの待機系では、ローカルのサービスかつスタートアップの種類が自動のサービスを起動します。しかし、クラスタ上のサービスは起動しません。また、Systemwalker Operation Manager のクラスタリソースもオンラインになりません。

［対処方法］
正常動作なので、対処は不要です。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ内に複数のジョブネットがある構成で、いくつかのジョブネットを無効にしています。グループ内の先頭のジョブネットが起動時刻を迎えて起動しましたが、後続のジョブネットが実行待ちのまま起動されませんでした。原因を教えてください。

A: 実行待ちのジョブネットの前のジョブネットが無効状態で、かつ、無効化されているジョブネットに［起動時刻有効］オプションが設定されていることが原因です。この場合、前のジョブネットの起動時刻になるまで後続ジョブネットは実行待ちとなります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgevent コマンドでメッセージ事象を発生させようとしたところ「エラーコード：6052 間違った形式です」というエラーでジョブが異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
メッセージ事象名の文字数が最大文字数である 12 バイトを超えているためと考えられます。

［対処方法］
メッセージ事象名を 12 バイト以内で指定してください。

本メッセージの他の原因については、以下のマニュアルを参照してください。
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.14 ジョブスケジューラからエラーメッセージが通知される
4.14.11 jobschprint コマンドでジョブのスケジュール情報を取得すると、「MpJobsch:エラー :6052:間違った形式です」が出力される

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 複数サーバ監視ウィンドウから操作対象サーバを選ぶと、ユーザー認証ウィンドウは表示されますが、ID およびパスワードを入力しても操作対象サーバに接続できず、タイムアウトが発生しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
複数サーバ監視クライアントと被監視サーバが通信できる IP アドレスが監視ホスト定義に登録されていないことが原因と考えられます。これにより、接続できずタイムアウトが発生しました。

［対処方法］
監視ホスト定義を修正して、通信可能な被監視サーバの IP アドレスを設定してください。
監視ホストの定義方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.4 Systemwalker Operation Manager 共通の定義
2.4.1 Systemwalker Operation Manager の監視ホストの定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobdb1.log を退避するジョブが異常終了となりました。原因と対処方法を教えてください。

A:

［原因］

jobdb1.log を複写するタイミングで、並列に実行するジョブの起動、終了が重なり、jobdb1.log へのアクセスが競合したことが原因です。

［対処方法］

ログファイル切換え出口を利用して、jobdb1.log の退避をしてください。ログファイル切換え出口についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 19 章 出口情報
19.4 ログファイル切換え出口

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの起動条件として、時刻とメッセージ事象の待ち合わせで登録している場合、起動時刻到来とメッセージ事象発生の OR 条件でジョブネットを起動させる方法を教えてください。

A:

［ジョブネットのプロパティ］ – ［基本情報］シートで時刻の定義を行い、［メッセージ］シートでメッセージ事象名の定義を行います。

なお、［メッセージ］シートで［起動時刻の到来を待つ］はチェックしないでください。チェックしないことにより、ジョブネットの時刻条件とメッセージの待ち合わせ条件は別々の起動条件として扱われるため、起動時刻の到来だけ、またはメッセージ事象の発生だけの条件で起動されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ内でネットワークドライブ接続を実行しています。その状態で OS 再起動すると、ジョブ内で参照しているネットワークドライブ先のファイルを参照できません。原因と対処方法を教えてください。

A:

［原因］

システム停止時、先にネットワーク接続の後処理が完了する場合があることが原因です。

［対処方法］

ネットワークドライブ接続をジョブ内で行っている場合は、切断についても、必ずジョブに登録されたアプリケーション内で実施してください。
アプリケーションが、ネットワークドライブを参照できない場合の対処方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.4 ジョブが正常に動作しない
5.4.11 アプリケーションがネットワークドライブを参照できない【Windows 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブを実行すると、［ファイルのコード変換を行う］の定義をしているにもかかわらず、「コード変換に失敗しました」のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

前回履歴ファイルに変換できないコードが含まれている可能性が考えられます。

［対処方法］

前回履歴の情報が不要であればファイルを削除し、必要であればファイルから変換できない文字コードを取り除いてください。
なお、前回履歴ファイルは、ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ直下に「プロジェクト名_ジョブネット名.log」という名称で格納されています。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動時刻とメッセージ事象の AND 条件で起動するグループ内ジョブネットを定義しています。通常は時刻経過後にメッセージを受けて起動しますが、時刻を迎えた時点で起動してしまいました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

起動時刻以前にメッセージ事象が発生していたと考えられます。前日、余分にメッセージ事象が発生していたなどが挙げられます。

［対処方法］

日変わり時刻などで、メッセージ事象を jobschmsgclear コマンドでクリアしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバを Linux、実行サーバを Windows で運用しています。業務アプリケーション連携の execacli コマンドの/ae パラメタで、パス名に空白がないにもかかわらず「ae オプションに無効な指定が行われました。」のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

execacli コマンドの/ae で指定するパス名の「¥」がエスケープシーケンスと判断されたことが原因と考えられます。

［対処方法］

Linux から Windows 側のアプリケーションを起動する場合は、execacli コマンドの/ae で指定するパス名の「¥」を「¥¥」と設定してから実行してください。

プラットフォーム　: Windows Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブとして実行すると正常終了しますが、ローカルで実行すると異常終了してしまいます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ローカルジョブとネットワークジョブでジョブに引き継がれる環境変数が異なるため、この差異が影響していると考えられます。
ローカルジョブの場合、ジョブスケジューラなどの親プロセスの環境変数を引継ぎますが、ネットワークジョブの場合は親プロセス（ジョブ実行制御）の環境変数の一部しか引き継ぎません。

ローカルホストのスタートアップシェルに、ジョブの動作に必要な環境変数が設定されていないと考えられます。

［対処方法］
以下のどちらかの対処をしてください。
- 環境変数を.profile などのシェルのスタートアップファイルに定義する
  ジョブが起動すると、ジョブ実行ユーザーのログインシェルに対応するスタートアップファイルが読み込まれたあとに、ジョブとして登録されたスクリプトやコマンドが実行されます。よって、ジョブ実行ユーザーのログインシェルに対応するスタートアップファイルを編集し、対処してください。
- シェルスクリプト自体の先頭に設定を追加する

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントでサーバに接続すると「コネクト要求が拒否されました。Systemwalker Operation Manager サーバが起動されていないか、～」のメッセージが出力されます。原因を教えてください。

A: 以下のいずれかの原因が考えられます。確認し、それぞれに合った対処を実施してください。
- 接続先のサーバで Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンが起動されていない(*)
- 9367 のポートが、ファイアウォールなどで遮断されている
- 接続先のサーバ名を間違えている
- クライアント・サーバ間のネットワークに異常がある

＊　クラスタ環境の場合はクラスタリソースが起動されていない。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。jmmode コマンドで実行継続モードを変更しようとしましたが、変更されません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
クラスタ構成のシステムで、poperationmgr コマンドだけで Systemwalker Operation Manager を停止していることが原因と考えられます。

［対処方法］
クラスタ構成の場合は、各クラスタシステムにおけるサービス／デーモンの停止の手順で Systemwalker Operation Manager を停止し、共有ディスクをマウントしてから jmmode コマンドで実行継続モードを変更してください。
各クラスタシステムにおけるサービス／デーモンの停止についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 4 章 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム固有の手順
4.5 Microsoft(R) Fail Over Clustering システムにおけるサービスの起動/停止

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 4 章～第 8 章内の各クラスタシステムにおけるデーモンの起動/停止

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise

Edition でクラスタ運用をしています。サーバ再起動時に Systemwalker Operation Manager の OMGRMONITOR リソースが Fault となり、userApplication の自動起動に失敗します。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

デーモン自動停止設定の解除を実施していないことが原因と考えられます。

［対処方法］

デーモン一括停止用ファイルをカスタマイズし、自動停止設定を解除してください。
自動停止設定の解除方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 2 章 導入
2.2 インストール
2.2.3 デーモンの自動起動・停止設定の解除

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブスケジューラのサービス／デーモンが起動していないことがあります。原因を教えてください。

A: **［原因］**

swstop サービス／デーモン起動の抑止コマンドにより、意図的にサービス／デーモンの停止を行っている可能性が考えられます。必要に応じて、swstart サービス／デーモン起動の抑止解除コマンドで起動してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ガントチャートの日付が未来の日付になっています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

Systemwalker Operation Manager の環境をテストモードに変更したことが原因です。

［対処方法］

テストモードを解除してください。テストモードは、以下の手順で確認してください。
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ→［起動パラメタ］→［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［テストモード］シート

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。「FJSVcluster: ERROR: prmd: 6782: The process (/opt/FJSVJMCMN/etc/script/omgr_smonitor) was not able to be executed. (errno:2)」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

omgr_smonitor ファイルの文字コードまたは改行コードに誤りがあると考えられます。

［対処方法］
omgr_smonitor ファイルの文字コードまたは改行コードを修正してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 7 時 50 分に起動するジョブネットがあり、6 月 13 日を非起動日としましたが、起動してしまいました。日変わり時刻は 7 時 55 分です。なぜ起動したのか教えてください。

A: 日変わり時刻は、「その運用日が始まる時刻」です。日変わり時刻より前の時間は前日となります。
質問の場合は、7時55分から6月13日が開始となりますが、それより前の7時50分が起動時刻だったため、Systemwalker Operation Manager としては「6 月 12 日」となるために、ジョブネットが起動しました。
7 時 50 分に起動するジョブネットについて、6 月 13 日を非起動日としたいのであれば、Systemwalker Operation Manager における設定では 6 月 12 日を非起動日とする必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。クラスタ起動時に「MpJobsch: INFO: 0346: 0x0173c005　The IPC resource which corresponded to this key was made.」が SYSLOG に出力されます。メッセージの意味と対処方法を教えてください。

A: **［メッセージの意味］**
Systemwalker Operation Manager のジョブスケジューラ機能が起動時に、IPC リソースを確保したことを表す情報メッセージです。ジョブスケジューラが何らかの異常を検知していることを表すメッセージではありません。

［対処方法］
対処不要です。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理機能（V13.3.1 以前ではスケジュール分散機能）を利用しています。配付したジョブスケジュールが突然消えたため、ジョブが動きません。原因を教えてください。

A: モードを「日ごとスケジュール管理（テストモード）」（V13.3.1 以前では、「運用日管理スケジュール（テストモード）」）から「日ごとスケジュール管理」（V13.3.1 以前では、「運用日管理スケジュール」）に変更したことで、「日ごとスケジュール管理（テストモード）」時に配付済みであったスケジュールが削除された可能性があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット全体を無効化したあとで、他のスケジュールサーバから抽出したポリシーを無効化したスケジュールサーバへポリシー配付したところ、無効化が解除されジョブが起動してしまいました。原因と対処

方法を教えてください。

A: **［原因］**
ポリシー配付の実施に伴い、抽出元と抽出先で同一のプロジェクト名のジョブネットについては、抽出元の状態（無効化されていない状態）となるためです。

［対処方法］
ジョブネットを無効化したい場合は、ポリシー配付後に、再度無効化処理を実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ登録画面の［詳細情報］シートで［実行ユーザ名］を指定すると、255 のエラーを出力しジョブが実行できません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
環境設定の［共通パラメタ］の機能において、［Operation Manager 利用者の限定］を選択して Systemwalker Operation Manager の利用ユーザーを制限していることが原因と考えられます。

［対処方法］
ジョブを実行するユーザーは、swadmin に所属したユーザーを指定してください。

なお、V16.0.0 以降、新規インストールで、利用者限定([Operation Manager 共通パラメタの定義]ウィンドウの定義)が有効(デフォルト設定)となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 異常終了したジョブネットについて、異常終了の原因を取り除いたあと、何か操作は必要ですか？

A: ［確認操作の詳細設定］ウィンドウで［ジョブネットの確認操作を有効とする］の設定が有効になっている場合には、ジョブネットを選択して右クリック－［操作］－［確認］を実施してください。それにより、日変わり時刻前であれば、ジョブネットの状態が「確認済」、日変わり時刻後であれば「実行待ち」となります。なお、［ジョブネットの確認操作を有効とする］の設定がされていない場合は、次回の起動予定で起動されるため、対処不要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行継続モードを設定しているにもかかわらず、ネットワークジョブ実行中にスケジュールサーバの再起動をすると、ジョブが 239 で異常終了となります。理由を教えてください。

A: poperationmgr コマンドでスケジュールサーバの停止をしたことによるものです。実行継続モードの場合、スケジュールサーバがシステムダウンした場合にジョブが継続して実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: デーモンを再起動した時に、一部のデーモンが起動しない現象が発生しました。原因と対処方法を教

えてください。

A: **［原因］**

kill コマンド（SIGKILL の送信）で、ジョブスケジューラおよびジョブ実行制御デーモンを停止させたことが原因と考えられます。
ジョブスケジューラのデーモンを kill コマンド（SIGKILL の送信）により終了させていた場合、次回起動時に、正常にデーモンを起動できない場合があります。

［対処方法］

システムを再起動してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschsetnet コマンドにおいて、ジョブネットの req_host の更新が行えず、「エラー：MpJobsch: ERROR: 0086: job に誤りがあります」が出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブ情報の変更の場合、ジョブの全情報を記述したジョブ制御文ファイルを用意する必要がありますが、変更箇所だけ記述したジョブ制御文を用いて jobschsetnet コマンドを実行していたことが原因です。

［対処方法］

ジョブ情報の変更の場合、変更しない項目も含めたジョブ制御文を用意してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合はスケジュール分散）機能を利用しています。日ごとスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合は、運用日管理スケジュール）のマスタ設定を行ったプロジェクトのアクセス権が、未来のプロジェクトに反映されません。原因と対処方法を教えください。

A: **［原因］**

マスタ設定を行ったあとにアクセス権を変更したことが原因です。アクセス権を変更した場合は、マスタ再設定を行わないと、アクセス権が有効になりません。

［対処方法］

アクセス権設定後に、再度、マスタ設定を実施してください。運用中に、マスタプロジェクトのアクセス権を変更した場合、再度プロジェクトに対してマスタ設定を行う必要があります。マスタ再設定を行わないとスケジュール情報の登録時にプロジェクトのアクセス権が有効となりません。また、すでに登録されている運用日管理プロジェクトにはアクセス権の変更は有効になりません。必要に応じ、運用日プロジェクトに対し、アクセス権の設定を行う必要があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブ起動が失敗します。「MJS819E USERNAME username REFUSED BY HOST(xxxxxx), BECAUSE PERMISSION DENIED」のエラーが出力され、終了コード「255 (0x40000913)」で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: ［メッセージの意味］

ネットワークジョブの実行が拒否されました。以下のいずれかが原因と考えられます。

［原因 1］

投入先サーバ側の［信頼ホストの定義］ウィンドウの定義情報の設定により、ジョブの実行が拒否されたためです。

［対処方法 1］

投入先サーバ側の［信頼ホストの定義］ウィンドウの定義情報の設定を見直し、以下のどちらかの対処をしてください。

- ［すべてのホストからの投入を許可する］を選択する
- ［登録したホストからの投入を許可する］を選択し、スケジュールサーバのホスト名（注）を定義する

注： 以下のコマンドで表示されるホスト名を指定します。

［Windows］： hostname コマンド

［UNIX］： uname -n コマンド

ただし、スケジュールサーバにおいて、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウー[運用情報の定義]ウィンドウー[クラスタ設定]シートー[スケジュールサーバ設定]で論理 IP アドレスを指定している場合は、同じ論理 IP アドレスを指定します。

なお、信頼ホストの定義は、設定変更後にジョブ実行制御サービス／デーモンの再起動が必要になります。

［原因 2］

投入元サーバが Solaris/Linux/HP-UX/AIX 版で投入先サーバが Windows 版の環境で、投入先サーバの［ジョブを所有者の権限で実行する］にチェックしてあることが原因です。チェックがある場合、ジョブが異常終了します。

［対処方法 2］

投入先サーバの［運用情報の定義］ウィンドウー［利用機能］シートで［ジョブを所有者の権限で実行する］のチェックを外してください。
投入元サーバが Solaris/Linux/HP-UX/AIX 版で投入先サーバが Windows 版の場合、ジョブはジョブ実行制御サービスのログオンアカウントで実行されます。アカウントを、投入元サーバと投入先サーバで一致させてください。
なお、運用情報の定義は、設定変更後にジョブ実行制御サービス／デーモンの再起動が必要になります。

［原因 3］

ジョブの投入先サーバにスケジュールサーバ上で登録している実行ユーザーアカウントが登録されていないことによるものです。

［対処方法 3］

メッセージ MJS819E USERNAME username ～ にて、username で表示されたユーザーを投入先サーバで登録してください。

［原因 4］

投入先サーバの［Operation Manager 利用者の限定］の設定により、ジョブの実行が拒否されました。ジョブを実行したユーザーにジョブの実行権限がないことが原因です。

［対処方法 4］

メッセージ MJS819E USERNAME username ～ にて、username で表示されたユーザーを投入先サーバにおいて swadmin グループに所属させてください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition で、マスタスケジュール管理（V13.3.1 以前の場合は、スケジュール分散）機能を利用しています。日変わり時刻が 0:00 で、起動予定時刻が 0:01 のジョブネットが、0:05 に起動されてしまいます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

運用日ごとに抽出、配付、登録されたスケジュール情報は、日変わり時刻の到来を契機に適用されます。
日変わり時刻から、スケジュール情報の適用時+5 分の間に、ジョブネットの開始予定時刻が指定されている場合、ジョブネットの開始予定時刻をスケジュール適用時の 5 分後に補正し、ジョブネットが動作するためです。
起動時刻の補正は以下の条件のジョブネットに対して行われます。

- ジョブネットの投入先運用日（-d オプション）が当日である
- ジョブネットの起動条件が「時刻起動（単一起動）」である
- ジョブネットの開始予定時刻を経過している

［対処方法］

対処は不要です。 動作上の問題ではありません。

また、起動時刻の補正を解除することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。f3crhcs2（カレンダデーモン）が起動していません。原因を教えてください。

A: poperationmgr コマンドを実行していると考えられます。また、カレンダデーモンは、クラスタからの起動ではなく、システムの起動時または、soperationmgr コマンドにより起動します。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。非運用系の待機ノードで、オンラインバックアップを行ったところ、「errno = 2、Server error occured in component : bkmjs」のエラーが発生してバックアップに失敗しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
オンラインバックアップの手順では不必要な共有ディスクのシンボリックリンクを作成していたことが原因と考えられます。

［対処方法］
オンラインバックアップは、「デーモン起動中のバックアップ手順」どおりに実施してください。「デーモン起動中のバックアップ手順」についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 3 章 運用
3.4 クラスタシステム運用時のバックアップ/リストア
3.4.1 クラスタシステム運用時のバックアップ手順
「デーモン起動中のバックアップ手順」

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: qsub コマンドでサブミットしたジョブが、約 1 時間後に実行されたようです。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
［同時実行可能なジョブ数を制限する］の設定により、同時に実行されるジョブが制限され、実行が遅延したものと考えられます。

［対処方法］
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［運用情報］－［運用情報の定義］ウィンドウ－［運用制御］シートで、［同時実行可能なジョブ数を制限する］の値を確認し、適切な値にしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 の環境において、コンソール上から jobschmsgevent コマンドで可変パラメタを指定しましたが、「MpJobsch: ERROR: 0323」が出力されて実行できません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

Systemwalker Operation Manager V13.2.0 では可変パラメタを使用しての実行はできません。

［対処方法］

jobschmsgevent コマンドの可変パラメタは V13.3.0 からの機能です。
使用される場合は、Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降へバージョンアップをしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ実行中に Systemwalker Operation Manager のサービスを再起動しても、グループが異常終了せずに実行中になります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

実行継続モードが有効になっているためです。

［対処方法］

対処は不要です。
実行継続モードが有効な場合に、メッセージ待ち状態のジョブネットが存在するグループが異常終了しないのは、正常な動作です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブが、実行中のままとなり終了しません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

実行サーバ側のキューのジョブの多重度が少なく設定されているため、ジョブが実行されていなかった（実行遅延だった）ことが考えられます。

［対処方法］

実行サーバ側のキューのジョブの多重度を見直す、または投入先のキューを変更して実行遅延とならないようにしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 特定のキューだけ停止しています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

qstop キューの停止コマンドで、キューを停止したことが原因と考えられます。

［対処方法］

qstart キューの起動コマンドで起動させてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。マニュアルに従って、Systemwalker Operation Manager を停止したあと、mppviewo コマンドで停止状況を確認しましたが、MpFwsec プロセスが停止されませんでした。原因を教えてください。

A: Systemwalker Operation Managerと Systemwalker Centric Manager が共存する環境であることが原因です。クラスタ適用ガイドの各クラスタシステムにおけるデーモンの停止方法に従って Systemwalker Operation Manager を停止した場合、Systemwalker Centric Manager の運用に影響しない Systemwalker Operation Manager のデーモンだけ停止します。よって、ACL マネージャのプロセス（MpFwsec）は停止しません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループを強制終了した状態で、グループに登録しているジョブネットを削除すると、未来の日付でスケジューリングされてしまいます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
終了前のグループの設定を変更したことが原因です。
終了前のグループに対して設定を変更した場合、グループおよびグループ内ジョブネットは再スケジュールされ、未来の起動予定日時が設定されます。

［対処方法］
グループの設定変更は、起動予定日の起動予定時刻前に実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットでジョブを時刻起動した場合に「プロセスはファイルにアクセスできません。別のプロセスが使用中です。」のエラーメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ジョブスケジューラがジョブネットの定義情報ファイルにアクセスしようとしたところ、他のアプリケーションがこのファイルにアクセスしていたことが原因です。

［対処方法］
ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ配下のファイルにアクセスするようなアプリケーションが存在しないか確認し、ジョブスケジューラの動作中は、ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ配下のファイルへアクセスしないよう対処してください。
ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ配下のファイルにアクセスするアプリケーションの例として、バックアップソフトや、ウイルスチェックソフトが考えられます。バックアップソフトや、ウイルスチェックソフトの使用時の注意事項についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.2 運用前に知っていただきたいこと
B.2.2 バックアップ製品を使用する場合の注意【Windows 版】
B.2.3 ウィルスチェック製品を利用している場合の注意

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システム時刻に遅れが発生したため、ジョブスケジューリングが基準時刻と合わない状況となりました。対処方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の運用に支障がない時間に、システム時刻の補正を定期的に実施してください。
システム時刻の補正にあたっての注意事項についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.2 運用前に知っていただきたいこと
B.2.1 時刻の変更に関する注意事項

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 運用環境保守ウィザードで運用環境の復元をしたところ、イベントログにエラー「Failed to restore the data」が発生しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
退避元のプロジェクトのアクセス権に設定されたアカウントが、復元先サーバの OS に存在しないことが原因です。

［対処方法］
退避元でプロジェクトの所有者、アクセス権に設定されたアカウントが復元先に存在するか確認し、存在しない場合は復元先の OS に作成してください。以下の手順で確認してください。

1. プロジェクトの所有者の確認方法
   i. 退避元で Systemwalker Operation Manager の GUI にログインします。
   ii. 左側ツリーの［ジョブスケジューラ］より、プロジェクトを選択します。
   iii. 上段メニューより［セキュリティ］－［所有者］と選択します。
   iv. すべてのプロジェクトで i.～iii.を繰り返します。

2. プロジェクトのアクセス権に設定されたアカウントの確認方法
   退避元でコマンドプロンプトより、mplstacluser コマンドを実行します。

3. 上記 1.2.で確認したアカウントが復元先の OS に存在するか確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行中にサーバを再起動すると、ジョブが異常終了してしまいます。このような状況での正しいサーバの停止／起動方法を教えてください。

A: サーバの再起動を行う場合は、事前に Systemwalker Operation Manager のジョブが実行されていないかを確認してください。ジョブが実行されている場合は終了するまで待つか、ジョブを強制終了後、サーバを再起動させてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: セキュリティ製品で保護しているディレクトリに、Systemwalker Operation Manager のプロセスである mjsini がアクセスして、セキュリティのメッセージが 100 個ほど出力されています。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

qsub コマンドに指定した出力先ファイル（-o オプション）が、該当ディレクトリ配下であると考えられます。

［対処方法］

Systemwalker Operation Manager の異常ではありませんので、対処不要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「MpJmSrv: ERRPOR: 0037: An error has been detected in Systemwalker ACL Manager (API). (code = 16,　0)」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

以下の 2 種類の原因が考えられます。

1. 必要なコード変換パッケージ SUNWjfpu がインストールされていないため、コード変換に失敗している
2. 不正な入力文字をユーザー名またはパスワードに入力しているため、コード変換に失敗している

［対処方法］

原因番号に対応して、それぞれ以下の対処を行ってください。

1. SUNWjfpu パッケージをインストールしてください。
2. 正確なパスワードを入力してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトを参照すると画面が応答しなくなり、「×」ボタンで画面を閉じました。このとき「MpJobsch:ERROR:0412:read() Connection refused」メッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

該当プロジェクトに多数のジョブネットが登録されており、表示処理に時間がかかっていたことが原因です。また、表示がされないため、「×」ボタンで画面を閉じたことで、MpJobsch:ERROR:0412:read() Connection refused」のエラーが出力されています。

［対処方法］

プロジェクトを分割するなど、プロジェクト内のジョブネット数を少なくしてください。プロジェクトに登録されるジョブネット数が増えるとジョブネットの操作性能に影響を与えます。以下の目安を参考にしてください。あくまでも目安ですが、以下の値を超える場合は、表示性能などに注意してください。

- Standard Edition 版： 最大 255 個までを制限としています。
- Enterprise Edition 版/Global Enterprise Edition 版： 制限はありませんが、以下の登録数を目安としてください。
  - Windows 版： 最大 300 個
  - Solaris 版／Linux 版／HP-UX 版／AIX 版： 最大 500 個

なお、V13.9.1 以降の Enterprise Edition 版/Global Enterprise Edition 版では、最大 15000 個を目安としてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの同時実行数を 999 にして ls だけのジョブ 300 個を同時実行したところ、200 個を越えた辺りから遅延します。通常 ls コマンドは、1 分程度で終了しますが、200 個を越えると 5 分ぐらいかかります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
マシン性能を越えるジョブを投入しているのが原因です。

［対処方法］
同時実行するジョブの数を抑えてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: あるアカウントで Systemwalker Operation Manager のクライアントにログインしましたが、プロジェクトを作成できません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
プロジェクトの作成を、Administrators グループ所属ユーザーまたはスーパーユーザー以外で行おうとしたことが原因と考えられます。

［対処方法］
プロジェクトの作成は、Administrators グループ所属ユーザーまたはスーパーユーザーで行ってください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Job Designer で「起動日雛形名」にカンマ“，”を含む文字列を追加したところ、「オペランドに入力不可能な文字があります。」というエラーが表示されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
「起動日雛形名」に使用できない文字列を追加したことが原因です。

［対処方法］
使用不可文字（;、'、=、空白、カナ文字、改行、およびユーザ定義文字）以外で定義してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブ実行時に「MJS881S:COMMUNICATION ERROR OCCURRED FOR ホスト名，CODE(3，0000)」が出力され、ジョブが失敗しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
スケジュールサーバと実行サーバ間でネットワーク通信異常が発生したためです。

［対処方法］
両サーバ間のネットワーク通信に異常がなかったか確認してください。なお、その他の原因および対処方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschcontrol コマンドを実行すると「MpJobsch: ERROR: 0275: プロジェクト名が指定されていません」が発生し、ジョブが異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
プロジェクトが 2 つ以上あり、jobschcontrol コマンドのオプションにプロジェクト名を指定していないことが原因です。

［対処方法］
以下のどちらかの対処を実施してください。
- 不要なプロジェクトを削除し、プロジェクトを 1 つにする
- jobschcontrol コマンドのオプションにプロジェクト名を指定する

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行に遅延が発生します。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
同時実行するジョブネットが大量にあることが原因と考えられます。

［対処方法］
実行時間帯をずらして、一度に大量のジョブネットを起動させないようにしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: qstat コマンドでキューの状態表示を確認すると、投入可能ジョブ数が多重度（maxexec）を超えていないのにキューイング中ジョブ数　（que）に「1」が表示されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
qstat コマンドの実行時に、ジョブが que に格納されたことが原因です。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager では、投入されたジョブを一度 que に格納後、実行するため一時的にキューイング中ジョブ数（que）に「1」が表示されます。そのタイミングで qstat コマンドがその状態を出力したためです。対処の必要はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 保守情報の収集ツールを実行した際に以下のようなエラーが発生しました。原因と対処方法を教えてください。

＜保守情報の収集ツールの実行結果＞
***** INFORMATION *****
It collected in the following environments.
(LANG=ja)
Could not collect the following files due to the following errors.
Copy these files manually to an appropriate location for each function.
[FJSVMJS]
cpio: ”/var/spool/mjes/mjespool/_work/stdout/48805” の fstatat() 中にエラーが発生しました,
errno 2, ファイルもディレクトリもありません。
cpio: ”/var/spool/mjes/mjespool/_work/stdout/48817” の fstatat() 中にエラーが発生しました,
errno 2, ファイルもディレクトリもありません。
：：：～省略～（類似メッセージが多数出ている）
cpio: ”/var/spool/mjes/mjespool/queue1/49011” の fstatat() 中にエラーが発生しました,
errno 2, ファイルもディレクトリもありません。
5611008 ブロック
24 個のエラー
/var/spool/mjes,br>

なお、上記エラーメッセージの後に、以下のメッセージも出力されていました。
Systemwalker Operation Manager information has collected successfully.

A: **［原因］**
資料採取とジョブの終了処理が同タイミングで実施されたことによるものです。ジョブの一時ディレクトリおよび一時ファイルが削除され、これらのファイルが採取できなかったことを示すメッセージが出ています。以下のメッセージも出力されており、資料採取は正常に行われています。
Systemwalker Operation Manager information has collected successfully.

［対処方法］
資料採取は正常に行われており、システムの異常を示すものではないので対処不要です。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V12 V11

【運用／保守】

Q: 翌日の時刻起動のスケジュールを行っているにもかかわらず、画面の「起動予定日時」に時間が表示されません。原因を教えてください。

A: 翌日分の場合は、時刻起動のスケジュールを行っても「起動予定日時」には日付しか表示していないためです。「起動予定日時」の時刻は当日だけ表示されます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ内に登録した先行 2 つのジョブネットよりも 3 番目が早く実行されていました。ジョブネットの実行順序を無視して 3 番目が実行されるのはなぜなのですか？

A: 前日分のジョブネットが本日に持ち越されたため、3 番目のジョブネットが先に実行したように見えたと考えられます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スクリプト単体で実行した際の set の内容と、Systemwalker Operation Manager で同スクリプトを実行した際の set の内容が異なります。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

環境変数は実行環境によって変化することが原因です。

［対処方法］

実行するにあたって問題が発生する場合は、該当の環境変数を、.profile などの設定ファイル上で定義してください。
Systemwalker Operation Manager 実行環境における環境変数についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.5 ジョブの実行に関して知っていただきたいこと
B.5.2 ジョブの実行環境について

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行優先度を指定してジョブを実行しましたが、ジョブの実行優先順位が 31 になっています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブの実行優先順位をつけずにジョブを投入しているためです。
実行優先度と実行優先順位に関連はありません。
実行優先度は、CPU の割り当てに相当するものです。実行優先順位は、投入済のジョブを実行する順位です。

［対処方法］

実行優先順位をつけて、ジョブを投入してください。
実行優先順位は、［登録－ジョブ］ウィンドウー［基本情報］シートのジョブの［コマンド］欄に、「-p 数字 コマンド名」で指定してください。
（「数字」は実行優先順位で、0～63 までの値を設定します。0 がプライオリティが最低で、63 が最高となります。）

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「stdout」というファイルが増えてディスクを圧迫しています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブが実行中であることが原因です。
本ファイルは、ジョブで実行しているバッチファイル、シェルおよびプログラムが出力する標準出力のファイルであり、ジョブが実行中にだけ作成され、終了すると削除されます。

［対処方法］

ジョブを定期的に停止する運用をご検討ください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 前年にクライアントからエクスポートした CSV ファイルを今年インポートしたところ、ビットパターンの部分でエラーとなりました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

前年の起動日ビットパターンが含まれていることが原因です。

［対処方法］
年をまたいでエクスポートを行う場合は、起動日ビットパターンを削除してください。起動日ビットパターン項目は、jobschprint コマンドや、クライアントからのエクスポートにより生成された値以外が指定された場合の動作は保証されませんが、項目自体の削除については問題ありません。

なお、V16.0.0 以降では、エクスポート時に起動日ビットパターンを出力しない指定が可能です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。mpbko コマンドで取得したバックアップデータを、サイズを大きくした共有ディスクにマウントポイントを変更し、mprso コマンドでリストアしましたが、データがリストアされていません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
共有ディスクにディレクトリがないことが原因です。mprso コマンドは、ディレクトリ作成を行いません。

［対処方法］
ディレクトリ構成を復元したあと、mprso コマンドでリストアしてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、メッセージと時刻の両方で起動するジョブネットを定義しています。メッセージが発生していない状態で起動予定時刻になった場合に、SYSLOG に「MpJobsch 0310」の WARNING が出力されます。本メッセージの出力を抑止する方法を教えてください。

A: ［イベント出力の詳細設定］ウィンドウにおいて、［ジョブネットの起動予定時刻を過ぎても実行されない場合に通知を行う］のチェックを外してください。本ウィンドウは、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［起動パラメタ］ボタン－［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートで、［イベント出力］の［詳細設定］ボタンをクリックすると表示されます。
なお、設定を有効にするには、ジョブスケジューラデーモンの再起動が必要です。再起動はジョブネットが実行されていない時間帯に実施してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Global Enterprise Edition で、ホスト側の TSS ユーザーID のパスワードを変更した際に、ジョブ連携ができなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
ホスト側（GS）でパスワードを変更した場合、Systemwalker Operation Manager 側でも mfusrpasswd コマンド（利用者パスワード登録コマンド）でパスワード変更が必要ですが、この作業を実施していないことが原因です。

［対処方法］
mfusrpasswd 利用者パスワード登録コマンドで、パスワード変更を実施してください。
Systemwalker Operation Manager では、ホスト側（GS）にジョブを依頼する際に、パスワード情報を渡しています。そのため、ホスト側

（GS）でパスワードを変更した場合、併せて Solaris 側でも、mfusrpasswd コマンドを利用して、パスワード情報を設定しなおしてください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの終了コードの意味が分かりません。

A: 終了コードの意味が分からない場合は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.1 ジョブの実行結果がおかしい
5.1.1 ジョブの終了コードの意味がわからない

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが異常終了しました。異常終了したジョブの後続ジョブから起動させたい場合の対処方法を教えてください。

A: 異常終了したジョブの直後のジョブから起動したい場合は、ジョブネットの監視画面で異常終了ジョブを右クリックし、［リカバリ操作］－［次のジョブから起動］を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットに登録したシェルスクリプト内で、カレントディレクトリ上のコマンドが NOT FOUND となり実行することができません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
PATH 環境変数にシェルスクリプトの実行に必要なディレクトリパスを指定していなかったことが原因です。

［対処方法］
PATH 環境変数に必要なパスを指定してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクト名に半角括弧「(」および「)」が入っていると、jobschprint -r がエラーとなります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
シェルが「(」を特別な文字として扱っていることによるものです。

［対処方法］
「'プロジェクト名/ジョブネット名'」のようにシングルクォーテーションで囲ってください。

記載例
jobschprint -r 'プロジェクト名/ジョブネット名' > 任意のファイル名

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバとクライアント間の通信が切れてしまい、クライアントからジョブネットの状態が確認できない状況になりました。サーバ側でジョブネットを操作する方法を教えてください。

A: サーバ側のコマンドプロンプトまたはコンソールで、jobschcontrol コマンドを使用して、該当のジョブネットに対して操作を行ってください。その後、jobschprint -n コマンドを使用して、該当のジョブネットの状態を確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「fctrlsvr /delete」コマンドで削除されないファイルが存在します。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
2GB 以上のファイルを扱っていることが原因と考えられます。

［対処方法］
fctrlsvr コマンドでは、2GB 以上のファイルを扱うことができません。2GB 以上のファイルは rm コマンドで削除してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバから実行サーバにネットワークジョブを投入した際、実行サーバの処理はすぐに終了しますが、スケジュールサーバでジョブの状態が更新されるまでに時間がかかります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**
実行サーバでスケジュールサーバの名前解決ができないことが原因です。実行サーバからスケジュールサーバにジョブの状態通知ができず、スケジュールサーバから実行サーバに確認に行ったタイミングで状態が更新されるため、時間がかかります。

［対処方法］
実行サーバ側でスケジュールサーバのホスト名から名前解決および通信ができるように設定してください。
その他の原因および対処方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.4 ジョブが正常に動作しない
5.4.9 ネットワークジョブが終了するまでに時間がかかる

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システム起動時にメッセージ発行するジョブネットを作成していますが、本年最初の定期リブート時にそのジョブネットが実行されませんでした。原因と対処方法について教えてください。

A: **［原因］**

［起動日］ウィンドウで起動日を設定した場合、3 年分しか起動日が登録できていません。ジョブネットの起動日が設定されていないことが原因と考えられます。

［対処方法］

再度、ジョブネットを選択して右クリック－［起動日］－［起動日］ウィンドウで起動日を設定してください。
なお、上記の方法では、また 3 年後に同様の現象が発生する可能性があるため、未来の日付すべてに対して有効にしたい場合は、以下のウィンドウでジョブネットの起動日を設定してください。

該当ジョブネットを選択して、右クリック－［プロパティ］－［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［起動日］シート

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システムカレンダ情報が、年が変わったタイミングで、すべてクリアされてしまいました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

システムカレンダを更新したのが、3 年前であったことが原因です。
カレンダの登録で設定できる情報は、本年を含め 3 年分であるため、3 年前に設定したカレンダ情報は、3 年前／2 年前／1 年前の 3 年分です。

［対処方法］

翌年度のカレンダ情報を登録してください。半永久的な設定にする場合は、［年間休日の設定］ダイアログボックスで休日を設定してください。

プラットフォーム　：Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 夜間バッチが動作する時間帯に複数のジョブが例外コード：0xc0000142 で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブの多重度の設定値が高く、デスクトップヒープが枯渇したことが原因と考えられます。

［対処方法］

ジョブの多重度は 30 以内を目安に設定してください。ジョブの多重度は、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［運用情報］－［運用情報の定義］ウィンドウ－［運用制御］シートで設定します。
他の対処方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.2 ジョブが異常終了する
5.2.16 ジョブが例外コード 0xC0000142 で異常終了する【Windows】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「MpAosfP: エラー: 156: 電源停止コマンド（MpStpSv.EXE）がみつかりませんでした。電源制御ソフトウェア、およびシステムパスの設定を確認してください。」のエラーが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

［電源制御対象ホストの設定］ダイアログボックスで、実際に使用されているソフトウェアと異なる設定を選択していることが原因と考えられます。

［対処方法］

［電源制御対象ホストの設定］ダイアログボックスで、使用されているソフトウェアに合致する設定を選択してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが終了コード 239 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブが実行中にサーバのシャットダウンを行ったことが原因です。

［対処方法］

ジョブが実行中に、シャットダウンやリブートを実施しないようにしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager サーバで「AP:MpJobsch: エラー: 9002:ジョブネット :ジョブネットが異常終了しました ジョブネット名称=xxxx ジョブネット名=yyyy コード=2 プロジェクト名=zzzz」と出力されました。原因と対処について教えてください。

A: **［原因］**

ジョブに登録されている実行ファイルまたはバッチファイルが、終了コード 2 で終了したことが原因です。

［対処方法］

ジョブに登録されている実行ファイルまたはバッチファイルの処理を確認してください。
ジョブの終了コードのうち、201～256 までの値はジョブスケジューラで設定されています。201～256 以外の終了コード、および 201～256 内でも未使用の終了コードは、Systemwalker Operation Manager が設定した値ではなく、ジョブ自身、すなわちジョブのコマンド欄に登録したコマンド、バッチファイル、シェルスクリプトなどが出力した値です。コマンド、バッチファイル、シェルスクリプトなど、ジョブ自身を調査してください。
なお、ジョブスケジューラが設定する終了コードについての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 22 章 ジョブの終了コード
22.1 ジョブスケジューラの終了コード

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが終了コード 9 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブに登録されている実行ファイルまたはバッチファイルが、終了コード 9 で異常終了したことが原因です。

［対処方法］

ジョブに登録されている実行ファイルまたはバッチファイルの処理を確認してください。
ジョブの終了コードのうち、201～256 までの値はジョブスケジューラで設定されています。201～256 以外の終了コード、および 201～256 内でも未使用の終了コードは、Systemwalker Operation Manager が設定した値ではなく、ジョブ自身、すなわちジョブのコマンド欄に登録したコマンド、バッチファイル、シェルスクリプトなどが出力した値です。コマンド、バッチファイル、シェルスクリプトなど、ジョブ自身を調査してください。
なお、ジョブスケジューラが設定する終了コードについての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 22 章 ジョブの終了コード
22.1 ジョブスケジューラの終了コード

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 異常終了したジョブネットが次回の起動時刻で起動するかどうかについて教えてください。

A: 異常終了したジョブネットが次回の起動時刻で起動するかどうかについては、環境設定の設定内容によります。

［確認および対処方法］

［ジョブネットの確認操作を有効とする］および［グループの確認操作を有効とする］がチェックされている場合、異常終了したジョブネットおよびグループは確認操作を行うまで、次回の起動が抑止されます。本設定がされていない場合は、次回の起動時刻で起動します。

本設定の確認方法は、以下のとおりです。

V13.3.0 以降の場合：
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］－［起動パラメタ］－［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［利用機能 1］シートの［異常時の確認操作］－［確認操作を有効にする］にチェックがあるか、チェックがある場合、［詳細設定］ボタンをクリックすることで表示される［確認操作の詳細設定］ウィンドウを確認してください。

V13.2.0 以前の場合：
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］－［起動パラメタ］－［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［利用機能 1］シートの［スケジュールオプション］を確認してください。

上記設定が有効で、かつ次回の起動時刻で起動させたい場合は、クライアントより該当のジョブネットを右クリックし、［操作］－［確認］を実施し、「確認済」ステータスに変更してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 3 か月に 1 度実行するジョブネット A と日次ジョブネット B を、A→B の順にシーケンシャルに実行する方法を教えてください。

A: ジョブネットの階層化を検討してください。

- ジョブネット A→ジョブネット B の順で起動するよう、第 1 階層ジョブネットに子ジョブネットとして、登録してください。
- それぞれのジョブネットに起動日を設定し、「起動日のみ有効」の設定をしてください。

起動日になっているジョブネットだけ順番に起動されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ジョブネット実行中にサーバ再起動を行ったところ、ジョブネットが終了コード 239 で異常終了しましたが、Systemwalker Centric Manaegr に通知されません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブネットの状態が「異常終了」の場合だけ、イベント出力する設定であったことが原因です。終了コード 239 は、ジョブネット実行中にサービス／デーモンが停止したことで実行ができなかったという「実行中断」の状態です。

［対処方法］

「実行中断」の場合にもイベント出力する設定に変更してください。設定は、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［起動パラメタ］－［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートで、［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］にチェックをして［詳細設定］ボタンをクリックして表示される、［イベント出力の詳細設定］ウィンドウで行います。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 新規に追加したジョブネットの起動条件を［サーバ起動時に起動］に設定しましたが、サーバを再起動しても対象ジョブネットが起動されません。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

ジョブネットに起動日を設定していないことが原因です。［サーバ起動時に起動］が指定されていても、起動日の設定がなければ、ジョブネットは起動しません。

［対処方法］

ジョブネットの起動日を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブとして top コマンドを実行するとエラーとなります。原因と対処方法を教えてください。

A: **［原因］**

top コマンドは、制御端末を必要とするため、ジョブとして実行できないコマンドです。Systemwalker Operation Manager では制御端末を必要とするコマンドは実行できません。

［対処方法］

Systemwalker Operation Manager 以外で実行してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが「abnormal end code=255.(40000322)」で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブの実行時間が、［打ち切り時間］で設定された値を超過したことが原因です。そのためにジョブが強制終了されました。

［対処方法］

［登録／監視－ジョブ］ウィンドウー［詳細情報］シートで設定する［打ち切り時間］を大きな数値にするか、ジョブの処理を見直してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 1 クライアントでジョブネットの履歴を参照すると、他のクライアントで応答が返ってきません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ログファイルサイズの設定値が大きいことが考えられます。ジョブの履歴情報を取得するには、ログファイルの内容を利用します。ログファイルのサイズが大きい場合、ログファイルを処理する時間が長くなり、［ジョブの履歴］ウィンドウの表示に時間がかかります。Systemwalker Operation Manager サーバが 1 台のクライアントへの転送処理に時間を要していることにより、他のクライアントの処理が滞っていると考えられます。

［対処方法］

ログファイルサイズを見積もり、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［データベース］シートで［ログファイルサイズ］の値を小さくするよう設定をしてください。
ログファイルサイズの見積もりについての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.16 Systemwalker Operation Manager クライアントの動作がおかしい
4.16.17 [ジョブの履歴]ウィンドウの表示に時間がかかる

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: FCOPYSVR.EXE ファイル転送コマンドが、「0xb005(0x0): 転送元ユーザのパスワード取得に失敗しました。（指定したユーザは登録されていません。）」（V13.2.0 以降では、「0xb005: 転送元アクセスユーザのパスワード取得に失敗しました。」）で異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

FCOPYSVR.EXE ファイル転送コマンドで指定したユーザーがパスワード管理簿に登録されていないことが原因です。

［対処方法］

パスワード管理簿を確認し、登録されているユーザーを指定してください。未登録の場合は、LGMANAGE.EXE パスワード管理コマンドでパスワード管理簿にユーザーを登録してください。
パスワード管理簿についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.10 業務連携の定義
2.10.1 パスワード管理簿の定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: OS のシステム日付を未来から過去に戻したところ、カレンダの日付は戻らず、ジョブネットも終了状態のままです。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

Systemwalker Operation Manager が運用中に、システム日付を変更したことが原因です。Systemwalker Operation Manager の運用中は、システム日付の変更操作を行わないでください。

［対処方法］
システム日付の変更は、Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンを停止してから行ってください。
ジョブスケジューラはシステムの現在時刻をベースにしてスケジューリング処理を行っているため、運用中にシステム時刻を変更すると、ジョブネットがスケジュールどおりに起動しなくなったり、サービスやデーモンの動作に異常を来したりすることがあります。
システム時刻の変更に関する注意事項についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.2 運用前に知っていただきたいこと
B.2.1 時刻の変更に関する注意事項

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが実行中のまま終了しません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブとして起動したアプリケーションが、実行中のまま終了しないことによるものです。

［対処方法］
アプリケーション自身の見直しをしてください。
その他の原因についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.4 ジョブが正常に動作しない
5.4.5 ジョブが実行中のまま終了しない（その 1）
5.4.6 ジョブが実行中のまま終了しない（その 2）【Windows 版】
5.4.7 ジョブが実行中のまま終了しない（その 3）【Windows 版】
5.4.8 ジョブが実行中のまま終了しない（その 4）【UNIX 版】

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行履歴にアプリケーションによるエラーが出力され、実際ジョブネットが動かない状態になっています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブ実行履歴にアプリケーションによるエラーが出力されていることから、ジョブに登録しているアプリケーションが異常終了したことが原因です。

［対処方法］
アプリケーション自身の処理を確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント画面で特定のプロジェクトを選択して、［セキュリティ］－［アクセス権］を操作すると、［アクセス権設定］画面が表示されますが、「ドメイン名の一覧が取得できませんでした」というメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

Systemwalker ACL Manager サービスのスタートアップアカウントに、 ドメイン上の管理者ユーザーを指定していないことが原因です。

［確認方法］
以下の手順に従って、Systemwalker ACL Manager サービスのスタートアップ アカウントにドメイン上の管理者ユーザーが指定されているかを確認してください。

1. ［コントロールパネル］の［サービス］から Systemwalker ACL Manager のプロパティを表示し、 ［ログオン］タブからアカウント名を確認します。
2. ドメインコントローラ上で、［コントロールパネル］－［管理ツール］－［Active Directory ユーザーとコンピュータ］を 選択し、1.で確認したアカウントが Administrators と DomainAdmins のメンバになっているかを確認します。
3. ドメインコントローラ上で、［コントロールパネル］－［管理ツール］－［ドメイン コントローラ セキュリティ ポリシー］を 選択し、1.で確認したアカウントに［オペレーティングシステムの一部として機能］の権限が設定されているかを確認します。

上記の手順 2.および 3.のどちらか一方でも確認できなかった場合は、対処方法に従って対処をしてください。

［対処方法］
Systemwalker ACL Manager サービスのスタートアップアカウントにドメイン上の管理者ユーザーを指定していない場合、 以下の手順に従ってスタートアップアカウントを変更してください。

1. poperationmgr コマンドで、Systemwalker Operation Manager を停止します。
2. Systemwalker ACL Manager サービスのログオンアカウントを以下の条件を満たすドメインユーザーに変更します。
   - Systemwalker のスタートアップアカウントとして必要な権限を保持している。
   - Administrators グループに所属し、［オペレーティングシステムの一部として機能］の権限を保持している。
   - DomainAdmins グループの権限を所有している。
   - ドメインの“Users”オブジェクト配下に登録されている。
3. soperationmgr コマンドで、Systemwalker Operation Manager を起動します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 終了コード:255 であるにもかかわらず正常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

該当ジョブに対して、［監視－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シートで以下が定義されていることが原因です。

- 「正常終了の上限値」に 255 が設定されている
- 「終了コードに関わらず正常」を有効にしている

［対処方法］
正常終了としない場合には、上記設定を見直してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ起動するジョブネットが実行中にメッセージ事象が再度発生しましたが、ジョブネットが終了後、ジョブネットは再度起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［メッセージ］シートにおいて、［ジョブネット実行中も有効］にチェックがされていないことが原因です。

［対処方法］
ジョブネットが実行中に発生したメッセージ事象を有効として、メッセージ事象が発生した回数分、ジョブネットを繰り返し起動する場合は、［ジョブネットのプロパティ］－［メッセージ］シートにおいて、［ジョブネット実行中も有効］にチェックをしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: handle.exe の実行を含むバッチファイルを Systemwalker Operation Manager のジョブで実行したところ、実行中のままジョブが終了しません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
handle.exe は初回起動時に認証画面を出力することが原因です。Systemwalker Operation Manager は、画面応答を求めるプログラムを実行する場合、ジョブが実行中のままになり、終了しません。

［対処方法］
ジョブ実行ユーザーで Windows にログオンし、コマンドプロンプトで handle.exe を実行して画面に応答してください。
その後にジョブを実行することで、実行中となる事象を回避できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: この間までバックアップ処理に失敗すると、メールでの通知がされていたのに、最近メールでの通知がされなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation Manager サーバから SMTP サーバへの接続に失敗していることが原因と考えられます。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager サーバと SMTP サーバとの通信環境を確認してください。
メール通知がされない現象で、他の原因および対処方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 7 章 イベント監視・アクション管理に関するトラブルシューティング【Windows 版】
7.1 アクションの実行がおかしい
7.1.5 アクションが実行されない（メール）

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 異常終了のメッセージを別の端末にポップアップすることができません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
宛先のコンピュータで Messenger サービスが無効または停止していることが原因です。

［対処方法］
宛先のコンピュータで Messenger サービスを起動してください。
ポップアップが表示されない場合の他の原因および対処方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 7 章 イベント監視・アクション管理に関するトラブルシューティング【Windows 版】
7.1 アクションの実行がおかしい
7.1.4 アクションが実行されない（ポップアップメッセージ）

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 異常終了のメッセージを別の端末にポップアップすることができません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
宛先に IP アドレスが指定されていることが原因です。

［対処方法］
宛先に IP アドレスを指定することはできません。ユーザー名、コンピュータ名、ドメイン名のどれかを指定してください。
ポップアップが表示されない場合の他の原因および対処方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 7 章 イベント監視・アクション管理に関するトラブルシューティング【Windows 版】
7.1 アクションの実行がおかしい
7.1.4 アクションが実行されない（ポップアップメッセージ）

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブの登録を行う際に、コマンド欄をフルパスで記述し、かつ、ディレクトリ欄も設定した場合にネットワークジョブが起動できませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［運用情報の定義］ウィンドウ－［旧互換］シートの［ジョブ登録時に指定したディレクトリに移動し、実行する］が設定されている状況で、ジョブの定義情報のディレクトリ欄にネットワークジョブ依頼元サーバのパスを指定していたことが原因です。

［対処方法］
［運用情報の定義］ウィンドウ－［旧互換］シートの［ジョブ登録時に指定したディレクトリに移動し、実行する］にチェックがある場合は、ネットワークジョブ依頼先サーバのディレクトリを指定してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: WindowsOS のユーザーのパスワードを変更したところ、ジョブが終了コード 255（0x40000913）で異常終了するようになりました。［ジョブを所有者の権限で実行する］は設定しています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation manager の環境設定でパスワード変更がされていなかったためです。［ジョブを所有者の権限で実行する］が設定されている環境で、OS に登録されているユーザーのパスワードを変更した場合には、Systemwalker Operation manager の環境設定にある、パスワードの変更も必要となります。

［対処方法］
Systemwalker Operation manager の環境設定から以下の手順で、パスワードの変更を実施してください。
［Systemwalker Operation Manager 環境定義］ウィンドウー［ジョブ所有者］→［ジョブ所有者情報の定義］ウィンドウ（＊）において、変更対象ユーザーを選択して、プルダウンメニューの［ユーザー］－［定義］で表示される［パスワード情報の定義］ダイアログボックスにおいて、変更したいパスワードを設定してください。
（＊）V13.7.0 以降では、［運用情報の定義］ウィンドウー［利用機能］シートの［ジョブ所有者設定］ボタンからも呼び出せます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行継続モードの変更手順を教えてください。

A: jmmode 実行継続モード切り替えコマンドを使用して、実行継続モードを変更してください。

［操作手順］
1. 以下のサービス／デーモンを停止する
・ジョブスケジューラサービス／デーモン
・ジョブ実行制御サービス／デーモン

2. jmmode 実行継続モード切り替えコマンドを実行する

3. 以下のサービス／デーモンを起動する
・ジョブ実行制御サービス／デーモン
・ジョブスケジューラサービス／デーモン

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager をインストール中「00650:セットアップ用 DLL のロードに失敗しました」のポップアップメッセージが出力され、インストールできませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
日本語が含まれているフォルダ上に、インストールデータをコピーしてインストールしたことが原因と考えられます。

［対処方法］
インストール用メディアからインストールを実施してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット内のジョブが異常終了したのに、ジョブネットの状態が「異常終了」とならず、「警告状態」となりました。原因を教えてください。またこの場合に、ジョブネットの状態を「警告状態」ではなく、「異常終了」にするにはどうしたらよいですか？

A: ［原因］
実行中のジョブが存在していたことが原因です。ジョブネットの警告状態は、ジョブネットの中に異常終了または強制終了のジョブがあり、別のルートに実行中のジョブが存在する状態です。特に対処は不要です。実行中のジョブがすべて終了することで、異常終了となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ファイル転送コマンド FCOPYSVR.EXE を実行すると、以下のメッセージが出力され、ファイル転送ができません。原因と対処方法を教えてください。

■Windows 版
0x29d1 (YYY): FTP サーバのログインに失敗しました
■Solaris、Linux、HP-UX、AIX 版
0xB521 FTP サーバにログインできませんでした。回線接続に失敗しました

A: ［原因］
FTP サーバとの認証が正常に行えなかったことが原因です。

［対処方法］
以下の手順で対処してください。
1. ユーザーの妥当性の確認／FTP サーバ設定の妥当性の確認
　コマンドの引数に設定したユーザーで、FTP サーバに接続して認証が行えるか確認してください。認証が失敗した場合は、認証可能なユーザーを設定してください。
2. パスワード管理簿の設定
　1.で認証できたユーザーのパスワードと同じものを、LGMANAGE.EXE コマンドを用いてパスワード管理簿のログイン定義名に対し、再度設定してください。
　設定後に再度、FCOPYSVR.EXE コマンドを実施してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。クラスタ環境下で、資源を共有ディスクに移動したあとに、jmmode コマンドで実行継続モードを変更する方法を教えてください。

A: すでにクラスタシステムへの登録が完了している場合には、以下の手順で実行継続モードを変更してください。
1. クラスタアプリケーションを停止する
2. poperationmgr コマンドで Systemwalker Operation Manager のデーモンを停止する
3. 共有ディスクを手動でマウントする
4. jmmode コマンドを実行する

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの再起動をしたときに、どのジョブから実行されるのか教えてください。

A: 設定により、以下の 3 種類のパターンがあります。

・異常終了したジョブから実行を開始する
　異常終了したジョブより前のジョブ、または別系統（異常終了したジョブと先行／後続関係のない）ジョブに再起動ポイントが設定されている場合は、再起動ポイントの設定を解除してから、ジョブネットを再起動してください。
・異常終了したジョブの前にある任意のジョブから実行を開始する
　再起動ポイントを異常終了したジョブより前の任意のジョブに設定して、ジョブネットを再起動してください。
・異常終了したジョブを飛ばして直後のジョブから実行を開始する
　異常終了したジョブに［監視－ジョブ］ウィンドウー［制御情報］シートの［次の再起動のみ無効］オプションを設定して、ジョブネットを再起動してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 先行ジョブが異常終了した場合、後続ジョブを実行待ちのままにする方法を教えてください。（2 つのジョブは別ジョブネットです。）

A: 異常終了したジョブが所属するジョブネット以外のジョブネットを、実行待ちの状態でジョブを実行させないようにはできません。
ジョブが異常終了したタイミングで、異常終了したジョブ／ジョブネット自身以外を、jobschcontrol コマンドですべて停止／無効にするようにジョブを組むなどを検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ガントチャートで、実行待ちのジョブネットの［状況］の値が、0/5 であったり 5/5 となっていたりします。［状況］箇所の数値は何を意味しますか？

A: ［状況］欄は、「実行開始されたジョブ数／ジョブネットを構成する全ジョブ数」を示します。
本日ジョブが起動されたかどうかで分子の値が変わってきます。
子ジョブネット、およびリンクジョブネット 1 つは 1 ジョブとしてカウントされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「疑似正常」を SYSLOG へ出力する定義を実施する場合、「疑似正常」のファシリティ.レベルの設定は、スケジュールサーバ側だけでよいですか？

A: スケジュールサーバ側だけでよいです。疑似正常のメッセージは、ジョブスケジューラで出力されますので、スケジュールサーバだけの変更になります。
/etc/syslog.conf でファシリティレベル「user.info」のメッセージが SYSLOG に出力されるように設定してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V12 V11

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。Systemwalker Operation Manager のカレンダ情報

が、運用系から待機系へ連携しません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
カレンダ反映先ホスト定義ファイル（calcphost.def）のノード情報として論理 IP アドレスを設定したことが原因と考えられます。

［対処方法］
カレンダ反映先ホスト定義ファイル（calcphost.def）へは、物理 IP アドレス、または物理 IP アドレスに対応付けられているホスト名を記載してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 操作ミス防止のために、［操作の確認］ダイアログボックスで設定をしていましたが、いつの間にかチェックが外れていました。元に戻す方法を教えてください。

A: [操作の確認]ダイアログで再度設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監視画面で、業務ツリーから［ジョブスケジューラ］を選択すると「ジョブスケジューラサービスと接続中です」のメッセージ表示のまま応答がありません。原因と対処方法を教えてください。

A: 以下のいずれかが、原因と考えられます。

1） 接続クライアント数の上限を超えた
Systemwalker Operation Manager サーバへ接続できるクライアント数は 62 個までです。jobschprint -u コマンドにてクライアントの接続数を確認してください。
［対処方法］
上限を超えている場合は、以下を実施してください。
応答がないクライアント画面を一度終了させてください。接続数は 62 個までの範囲で利用してください。
なお、クライアントをタスクマネージャから終了させるなど、通常の終了操作で終わらせていない場合、余分に接続数がカウントされ本現象となります。この場合、Systemwalker Operation Manager サーバを再起動してください。クライアントを終了する場合は、通常の終了操作でクライアントを終了させてください。

2） ジョブスケジューラが使用するポート番号を、他のアプリケーションで使用している
［対処方法］
ジョブスケジューラで使用するポートを他のアプリケーションが使用しないようにしてください。ポート番号の確認と変更については、以下に示すマニュアルを参照してください。
“導入手引書”または“導入ガイド”の“ポート番号の変更方法”

3） ジョブスケジューラの使用するポート（デフォルト:9297/tcp）が、ファイアーウォールなどで遮断されている
［対処方法］
ファイアーウォールの設定を見直してください。

4） サーバのホスト名、IP アドレスが[監視ホスト定義名]の一覧に正しく登録されていない
［対処方法］
[監視ホストの定義]ウィンドウで、監視サーバから接続可能な接続サーバのホスト名、IP アドレスを正しく登録して、クライアント画面を再度起動してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。依頼元サーバ（1:1 運用待機でサブシステムなし）から各サーバ（シングル構成）／（1:1 運用待機）／（ N:1 運用待機）／（相互待機サブシステム有り）へネットワークジョブを投入し、依頼元サーバで一元管理する方法を教えてください。

A: 依頼元のスケジュールサーバ上にサブシステムを作成することで、今までどおり、スケジュールサーバ上でジョブの一元管理ができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: /var/opt/FJSVJOBSC/log/配下のファイルのアクセス権の比較を行ったところ、同じ環境のサーバで違いがありました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［Operation Manager 利用者の限定］の設定が対象サーバで異なっているためです。該当ファイルは、［Operation Manager 利用者の限定］の設定の有無でアクセス権が異なります。

［対処方法］
［Operation Manager 利用者の限定］の設定を以下の方法で、確認してください。
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［共通パラメタ］－［Operation Manager 共通パラメタの定義］ウィンドウ－［Operation Manager 利用者の限定］にチェックがあるかどうかを確認してください。

なお、V16.0.0 以降は、新規インストール時のデフォルト設定で、利用者限定（［Operation Manager 共通パラメタの定義］ウィンドウの定義）が有効となっています。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループに属する特定のジョブネットだけ起動日を変更することはできますか？またその場合、他のジョブネットに影響はありませんか？

A: できます。
該当ジョブネットが基準ジョブネットになっていなければ、他のジョブネットへの影響はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 本日分のスケジュールで実行済のグループがあります。そのグループ内のジョブネットの起動日を変更して起動しましたが、起動日が反映されません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
実行済のグループであることが原因です。実行済のグループは起動日を変更しても、本日分の再スケジュールは行われず反映されません。

［対処方法］
日変わり時刻時に変更操作が反映され、次回の起動予定日が確定するため、そのあとに反映されていることを確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 本日実行済のグループ内のジョブネットについて追加／修正を考えています。同じ日にグループを再スケジュールさせる方法を教えてください。

A: 以下の手順で、グループは再スケジュールされます。

1. 実行済のグループ内ジョブネットを未来の時刻に設定しなおす。
2. ジョブネットをグループに追加する。
3. 作成したグループを上書き保存する。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition 環境のグループ内ジョブネットを、Standard Edition 環境へ移行しようとしたところ、移行できませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

グループ内ジョブネット数が 51 個以上あるためです。
1 つのグループ内に登録できるジョブネット数は以下のとおりです。

Standard Edition の場合：最大 50 個
Enterprise Edition の場合：最大 255 個
Global Enterprise Edition の場合：最大 255 個

［対処方法］

1 つのグループ内ジョブネット数が 50 個以下になるようにグループを分割して登録してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが「実行中」の状態で、サーバをリブートをしたところ、ジョブネットから起動したバッチが途中までしか処理をしませんでした。これは正常な動作ですか？

A: Systemwalker Operation Managerとしての正常な動作です。サーバをリブート・シャットダウンする場合は、実行中、終了遅延および警告のジョブネットがないことを確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 直接実行するとコマンドプロンプトが起動するジョブを、Systemwalker Operation Managerから起動したらコマンドプロンプトが起動しません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

Systemwalker Operation Managerのジョブは画面が見えない環境（バックグラウンド）で起動されるためです。

［対処方法］

コマンドプロンプトを表示させるには、クライアント業務連携コマンドの EXECACLI.EXE アプリケーション起動コマンドを使用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「セキュリティ」→「アクセス権」の操作をしようとすると「ドメインの一覧が取得できませんでした(0:0)」のエラーが出力されて操作ができません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker ACL Manager サービスのログオンアカウントにドメインの管理者権限がないことが原因です。

［対処方法］
サービスのログオンアカウントにドメインの管理者権限を付与してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition でクラスタ運用をしています。Mpsetcluster.exe クラスタ情報の登録／削除コマンドが、Windows のボリュームマウントポイント機能に対応しているか教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager はボリュームマウントポイント機能を利用した環境での動作は想定しておらず、mpsetcluster.exe コマンドも対応していません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: JCL 内の file 文で印刷を行った場合、印刷の終了を待たずに次のジョブが実行されてしまいます。理由を教えてください。

A: JCL 内の file 文で印刷を行った場合、印刷はジョブの実行が終了したあとに実行されるため、印刷の終了を待たずに次のジョブが実行されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 投入元サーバの各サブシステムからネットワークジョブとして依頼したジョブを、投入先サーバ上のサブシステム 0 に投入する方法を教えてください。

A: service ファイルでネットワークジョブ用のポート番号の設定を行わなければ、投入先サーバのサブシステム 0 でジョブが実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 新規ジョブネットを毎日 1 回の時刻起動で登録したいのですが、設定方法を教えてください。

A: 以下の手順で設定してください。

1. 起動時刻の設定をする
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウー［基本情報］シートで、起動条件に［時刻起動］を選択して、時刻を設定します。

2. 起動日の設定をする
・V13.4.0 以降の場合
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウー［起動日］シートの起動日で［直接指定］を選択し、［詳細設定］ボタンをクリックします。表示される［起動日（直接指定）］ウィンドウで、基準の設定で［毎年］を選択して、曜日の設定で［すべて選択］をクリックします。

・V13.3.1 以前の場合
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウー［起動日］シートの基準情報で［毎年］を選択し、毎年基準で［毎日］ボタンをクリックします。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが終了コード「2」と「172」で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブに登録されている実行ファイルまたはバッチファイルが、終了コード「2」および「172」で終了したことが原因です。

［対処方法］
ジョブに登録されている実行ファイルまたはバッチファイルの処理を確認してください。
ジョブの終了コードのうち、201～256 までの値はジョブスケジューラで設定されています。201～256 以外の終了コード、および 201～256 内でも未使用の終了コードは、Systemwalker Operation Manager が設定した値ではなく、ジョブ自身、すなわちジョブのコマンド欄に登録したコマンド、バッチファイル、シェルスクリプトなどが出力した値です。コマンド、バッチファイル、シェルスクリプトなど、ジョブ自身を調査してください。
なお、ジョブスケジューラが設定する終了コードについての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 22 章 ジョブの終了コード
22.1 ジョブスケジューラの終了コード

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint -f 0 コマンドでジョブネットの実行結果の履歴情報を出力していますが、日を持ち越した前日のジョブネットの実行履歴を得ることができません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
jobschprint -f 0 コマンドでは、前日起動のジョブネットの履歴情報は表示できないためです。

［対処方法］
前日起動のジョブジョブネットの履歴情報は、jobschprint -f 1 コマンドを実行してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの実行途中でジョブの標準出力を参照する方法はありますか？

A: ジョブの実行途中の標準出力を確認する方法はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 文字コードの確認方法を教えてください。

A: 以下のコマンドを実行して、「CODE:」で表示される値を確認してください。

```
# /opt/FJSVftlo/bin/swpkginfo
```

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの LANG 環境変数に C が設定されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブの実行ユーザーのスタートアップシェルに、LANG 環境変数が設定されていないことが原因です。
ジョブスケジューラデーモンは、LANG 環境変数に「C」を設定して動作しています。このため、ジョブの実行ユーザーのスタートアップシェルに LANG 環境変数が設定されていない場合、LANG 環境変数に「C」を設定したまま、ジョブが動作します。

［対処方法］

ジョブの実行ユーザーのスタートアップシェル（.login .cshrc .profile など）に LANG 環境変数とその値を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが長時間終わらないため、ジョブを強制終了し、ジョブの実行結果を確認したところ、Y/N の入力要求で止まっていました。ジョブからの入力要求に対して応答を返す方法を教えてください。

A: 入力要求に対して応答を返すことはできません。

Systemwalker Operation Manager のジョブは、画面が見えない環境（バックグラウンド）で動作しているため、［OK］ボタンを押すといった、画面への入力要求にこたえることができません。このため、入力待ちに陥ったジョブは終わらなくなります。
入力要求を必要としないコマンドを登録して使用してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが終了コード「255(000003e7)」で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

終了コードの括弧内のコード 000003e7（10 進:999）でジョブ自身が終了していることが原因です。

［対処方法］

ジョブとして登録しているアプリケーション自身を確認してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループ内ジョブネットが異常終了したため、グループに対して確認操作を行ったが、異常終了したジョブネットは「異常終了」のままとなっています。何か対処は必要ですか？

A: 対処は不要です。グループに対して確認操作を行っていれば、グループ内ジョブネットが異常終了のステータスのままでも問題ありません。起動予定時刻が到来すれば起動しますので、特に作業の必要はありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの現在の状態が「確認済」の場合、起動することはできるか教えてください。

A: 現在の状態が「確認済」になっているジョブネットを起動することはできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブとしてバッチファイルを 1 つ登録しています。バッチファイル内に 3 つの処理があり、はじめの 2 つの処理が失敗していて、一番最後の処理が成功していると正常終了となりますが、これは仕様ですか？

A: 仕様です。
バッチファイルの終了コードは、バッチファイル中の最終コマンド（プログラム）の復帰コードが引き継がれます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの投入先キュー名を、クライアントの GUI からではなくコマンドで指定する方法を教えてください。

A: 以下のコマンドを使用してください。

jobschprint -r コマンドでジョブネット制御文およびジョブ制御文をファイルに出力し、ジョブ制御文の queuename オペランドのパラメタを編集します。
jobschsetnet -nche コマンドで、編集したファイルを指定し、ジョブネットを変更します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: トラブルシューティングガイドには、デフォルトホスト名に自サーバを指定すると、1 つのジョブが 2 回起動するため多重度が消費されると記載してありますが、ジョブ投入上限値の範囲内であれば問題なく動作するということですか？

A: 問題はあります。
デフォルトホストに自サーバを指定してジョブを実行させた場合、余分にプロセスが生成されるため、リソース不足が発生しやすく安定稼働に支障があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブに登録したアプリケーションが出力したログを［監視－ジョブ］ウィンドウ－［前回履歴］シートの［ジョブの出力情報（標準出力／標準エラー出力）］画面に表示させる方法を教えてください。

A: type コマンドを使用してログファイルを標準出力することにより、［ジョブの出力情報（標準出力／標準エラー出力）］画面に表示させることができます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット単位にプロジェクト名、ジョブネット名称、ジョブ名、および開始時間を出力する方法を教えてください。

A: jobschprint -r コマンドを使用してください。

なお、当コマンドにはオペランドにプロジェクト名、ジョブネット名が必要となりますので、jobschprintcsv -n -title の出力結果をもとにプロジェクト名、ジョブネット名を取得してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブとしてアプリケーションが実行している時、Systemwalker Operation Manager はどういう情報を取得して、アプリケーションの終了とジョブの終了を関連付けているのですか？

A: Systemwalker Operation Manager は、ジョブとして実行しているアプリケーションのプロセスを監視し、プロセスが終了すれば、ジョブも終了します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブのステータスで、「実行待ち」と「実行遅延」の違いを教えてください。

A: 実行待ちとは、ジョブが本日スケジュールされており、実行を待っている状態です。
実行遅延とは、キューが停止している場合や実行多重度を超えている場合に、実行の順番を待っている状態です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 富士通の UpdateSite に対応しているバージョンを教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の UpdateSite 対応は、V13.0 以降です。
なお、Linux for Itanium 版の UpdateSite 対応は、V12.0L10 以降です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: hvshut コマンドおよび hvcm コマンドを使用して RMS の起動、停止する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager から RMS の起動および停止はできません。
RMS に Systemwalker Operation Manager を登録している場合は、RMS を停止した時に終了コードが取得できなくなります。
また、RMS 停止時は Systemwalker Operation Manager が停止しているため、RMS 起動もできません。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 共有ディスクに格納すべきファイルを誤って削除してしまいました。Systemwalker Operation Manager を再インストールする以外の復旧方法があれば教えてください。

A: ファイルをバックアップしていない場合は、復旧する方法はありません。マニュアル記載の手順に従って Systemwalker Operation Manager を再インストールしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントからの通信中に障害が起きた場合のタイムアウト時間を教えてください。

A: ネットワーク障害時のタイムアウト時間については、コネクト関数のタイムアウト値に準じます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 肥大化するログファイルはありますか？

A: 肥大化するログファイルはありませんが、ジョブ（アプリケーション）自身が出力する標準出力ファイルや標準エラー出力ファイルが肥大化する可能性がありますので注意してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: カレンダ設定を変更した際の影響の有無を教えてください。

A: 影響はあります。
運用中にカレンダ設定を変更した場合、個別に起動日を設定している（特異日を設定している）場合は起動日が消えてしまいます。また、停止中やメッセージ待ちのジョブネットですでに起動予定時刻を過ぎている場合、起動予定日が次回のものとなってしまうなどの影響があります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の任意のプロジェクトに、ジョブを使用してシステムをリブートするジョブネットを登録し、システムをリブートする方法を教えてください。

A: 任意のプロジェクトを使用してリブートすることはできません。システムのリブートは終了処理ジョブネットを登録してできますが、終了処理ジョブネットを登録するプロジェクトのプロジェクト名は、任意の名前を設定することはできません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 設定ファイル「UNIX 版：/etc/mjes/initfile」「Windows 版：インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpmjessv¥user¥initfile.txt」(ジョブ実行制御の初期化ファイル)は被監視サーバでも必要ですか？

A: 必要です。
「UNIX 版：/etc/mjes/initfile」「Windows 版：インストールディレクトリ¥MpWalker.JM¥mpmjessv¥user¥initfile.txt」(ジョブ実行制御の初期化ファイル)は、Systemwalker Operation Manager の被監視サーバとしての動作に必要な設定も含んでいます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: RAID 電池を交換したところ、バックアップに失敗しました。RAID 電池の交換により、Systemwalker Operation Manager にどのような影響があるのか教えてください。

A: 影響はありません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「The job net has started.」という Systemwalker Operation Manager のメッセージを SYSLOG に出さないようにすることはできますか？

A: できます。
環境設定の［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［イベント出力］シートで、以下のチェックを外すことでできます。

V13.3.0 以降の場合
［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］をチェックし［詳細設定］ボタンをクリックして表示される、［イベント出力の詳細設定］ウィンドウの［ジョブネットの開始］

V13.2.0 以前の場合
［ジョブネットの開始］

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 7:00 に起動、4:00 に電源切断の設定をしています。年始だけは、8:00 に起動する場合のスケジュールの設定方法を教えてください。

A: 「電源制御パターン（個別）」を作成して、年始当日の設定をしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットのステータスで、「End delayed」「Start delayed」「Carried over」と表示されています。この意味を教えてください。

A: End delayed は「終了遅延」、Start delayed は「開始遅延」、Carried over は「持ち越し」です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシーの抽出を行う場合に、停止状態のジョブに影響があるか教えてください。

A: 影響はありません。
なお、ポリシー配付先のサーバには、停止状態のまま反映されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブ所有者情報の定義］ウィンドウの［状態］が定義済の状態を未定義に変更することはできますか？できるのであればその手順を教えてください。

A: できます。
ジョブ所有者情報ファイルを削除することにより、［ジョブ所有者情報の定義］ウィンドウの［状態］を「未定義」にすることができます。
ジョブ所有者情報ファイルについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 導入ガイド
付録 A 定義情報ファイルの格納先
A.4 ジョブ実行制御に関する情報

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「/etc/opt/FJSVftlo/pmon/mon_mjs.ini」ファイルについて教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager のプロセス監視機能で使用するファイルです。監視間隔のタイミングで削除／作成されます。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: 日時起動のジョブネットが現在実行中で、23:59 に次のジョブネットの起動時刻を迎えます。前日に

起動したものが終わらないので平行実行させたいのですが、方法を教えてください。

A: ジョブネットの複写により、新しいジョブネットを作成し、起動してください。実行中のジョブネットは二重起動できません。また、実行中のジョブネットが終了後、スケジューリングされますので、抑止のため、起動日を調整してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタ環境で Systemwalker Operation Manager の mpbko コマンドの-SN オプションを使用することはできますか？

A: できます。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、単一のサーバで単一のサブシステムのスケジュールサーバから、クラスタ環境で複数サブシステムになっているサーバにネットワークジョブを実行させようとしたところ、エラーが発生しました。構成や運用形態を変更しないでネットワークジョブを投入する方法を教えてください。

A: V13.3.0 以降の場合は、-rsys パラメタを指定することで可能です。
-rsys についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章ジョブをスケジュールする
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.10 任意のサブシステムにネットワークジョブを依頼する場合

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

V13.2.0 以前の場合は、構成や運用形態を変更することなく、サブシステム 0 から他のサブシステムへネットワークジョブを投入することはできません。
実行サーバの構成変更を検討してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 環境変数追加による影響を教えてください。

A: 影響はありません。
環境変数を追加しても Systemwalker Operation Manager の機能には影響はありません。

プラットフォーム : Solaris
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: リモートデスクトップでサーバに接続して Systemwalker Operation Manager を起動し、ジョブ

スケジューラに登録されたジョブネットをダブルクリックして［監視－ジョブ］ウィンドウを開くとエラーが発生します。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］Systemwalker Operation Manager クライアントをリモートデスクトップ経由で操作したためです。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager クライアントをインストールした端末から操作してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V12

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブネットのバックアップ、リストアを行うために、mpbko コマンドと mprso コマンドを実行しました。その結果、Systemwalker Centric Manager が起動していない状態になったのですが、仕様どおりですか？

A: 仕様どおりです。
Systemwalker Centric Manager と共存する環境で mprso コマンドを実行すると、Systemwalker Centric Manager のサービスも同時に停止します。mprso コマンドを実行後、Systemwalker Centric Manager のサービスを起動してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: BrightStor Arcserve Backup でフルバックアップを行うと、「Systemwalker Operation Manager インストールディレクトリ ¥MPWALKER.JM¥mpmjessv¥mjespool¥queue1¥XXXXX¥stdout」ファイルが使用中でスキップされます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation Manager の動作中にバックアップソフトウェアを使用してフルバックアップしているためです。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager の動作中にバックアップする場合は、mpbko コマンドを利用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13 以降の、すべての修正（緊急修正・応急修正などすべて）を入手する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager V13 以降の製品については、SupportDesk-Web の「UpdateSite」で修正が公開されていますので、そこから取得してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: JSHFORCE ジョブネットが実行されると、実行中のジョブネットが強制終了されます。原因と対処方

法を教えてください。

A: ［原因］
終了処理ジョブネット（JSHFORCE）は、起動時に動作中のジョブネットを強制終了後に終了処理を実行するためです。

［対処方法］
実行中のジョブを強制終了させたくない場合は、終了処理ジョブネット（JSHEND）を使用してください。JSHEND の場合は、実行中のジョブネットの終了を待ってから終了処理ジョブネットが起動されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13 以降の修正を、UpdateAdvisor を使用せずに修正適用できますか？

A: Systemwalker Operation Manager V13 以降の修正は、UpdateSite での UpdateAdvisor をインストールして修正を適用する方法しかありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ事象を発行するジョブネットと、発行されたメッセージ事象と時刻の両方を待ち合わせているジョブネットの起動順序が入れ替わりました。原因を教えてください。

A: ［原因］
該当のジョブネット以外からメッセージ事象が発行され、そのメッセージが蓄積されていることが原因と考えられます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 登録済みのグループ内ジョブネットに対して Systemwalker Operation Manager の画面上で起動操作を行おうとしても、「起動」がグレーアウトになっていて、操作できません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
グループ内ジョブネットについては、起動操作ができないためです。

［対処方法］
起動操作を行う場合は、ジョブネットをグループの対象から外すなどの運用を検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: fcopysvr コマンドでのデータ転送ジョブが異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Windows のファイルサイズの制限（2GB）を超えていると考えられます。

［対処方法］
fcopysvr コマンドでファイルサイズの大小比較、サイズのチェックは行っていません。転送ファイルのサイズを、以下の例を参考に、2GB を超えないよう調節してください。
・ 転送対象のファイル生成時にサイズをチェックする。
・ 転送対象のファイルを圧縮する。転送先でファイルを解凍する。
・ 分割、結合可能なファイルであれば、ファイル分割し複数回数で転送する。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: イベントログに「func=JMSRV_read:recv() ソケット関数にエラーが発生しました（コード＝10054）」が発生しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation Manager クライアントをタスクマネージャなどから強制終了させていると考えられます。

［対処方法］
エラーメッセージに対する対処は不要です。
しかし、頻繁に本メッセージが出力される場合は、クライアントが正常に終了されない運用となっているか、ネットワークの経路上に問題が発生している可能性があります。発生状況の経過を確認してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが終了コード 250 で異常終了し、「Unable to find the job file specified.」「Job not queued.」というメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［メッセージの意味］
「Unable to find the job file specified.」
指定されたジョブファイルが見つかりません。

「Job not queued.」
ジョブはキューイングされませんでした。

［原因］
指定したディレクトリにジョブファイルが存在しないことが原因です。
ジョブ実行制御機能は、依頼されたジョブをキューに入れ（キューイング）順次実行しますが、キューイングの前に依頼されたジョブファイルの存在チェックを行います。
その際、該当のジョブファイルが見つからない場合は、該当のメッセージを出力し、終了コード 250 で異常終了します。

［対処方法］
指定したディレクトリにジョブファイルを格納して、再度ジョブを投入してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブに登録したバッチファイルまたはシェルスクリプトを実行すると、正常に動作しているのに［前回履歴］シートの［終了コード］には「255」と出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
バッチファイルまたはシェルスクリプトの終了コードが 255 以上であることが原因です。

［対処方法］
バッチファイルまたはシェルスクリプトが出力する終了コードを見直してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ドメインコントローラの降格作業があり、該当サーバで Systemwalker Operation Manager のサービスが起動できなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ドメインコントローラの降格作業にあたって、Systemwalker Operation Managerとして必要な手順を実施していないことが原因です。

［対処方法］
Systemwalker Operation Managerでは、ドメインコントローラの降格作業に伴い、以下の作業が必要です。

1. 環境のバックアップ
2. 作業前に登録されているユーザーを記録する
3. ドメインコントローラを降格する
4. ローカルグループの情報を確認／設定する
5. 不明なアカウント情報を削除する
6. 必要なアクセス許可を設定する
7. ローカルグループに所属するユーザーを設定する
8. スタートアップアカウントを変更する
9. ジョブ所有者情報の定義を再設定する

詳細な手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0　導入ガイド
付録 D　導入環境の変更
D.5 ドメインコントローラへの昇格/ドメインコントローラからの降格

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以前において、サービスが起動しません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ユーザーのパスワードを変更していることが原因と考えられます。

［対処方法］
Systemwalker Operation Managerのスタートアップアカウントのパスワードを、変更後のパスワードに更新してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: ジョブ自体は成功していますが、ログ上は失敗したメッセージが記録されています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
正常終了コード上限値が終了コードより小さい値だったためと考えられます。

［対処方法］
［登録－ジョブ］ウィンドウー［基本情報］シートで、［正常終了コード上限値］を正しく設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: chkfile コマンドでネットワークドライブに存在するファイルをチェックすることができません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ネットワークドライブを参照できていないことが原因と考えられます。

［対処方法］
ネットワークドライブを参照するには、バッチファイルにネットワーク接続を行う処理（net use）を追加してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが終了コード 256 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブネットの強制終了操作を実施したことが原因です。

［対処方法］
対処不要です。
強制終了を行った場合は、終了コードは 256 となります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の起動／停止で、soperationmgr コマンドまたは poperationmgr コマンドを実行した際、必ず「Warning /opt/systemwalker/bin/rc.mpfwsec start has been started」の Warning メッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation Manager と Systemwalker Centric Manager が同居しているため、poperationmgr を実行しても MpFwsec デーモンプロセスが停止されず、起動状態であったことが原因です。
Systemwalker Centric Manager が同居している環境で poperationmgr コマンドに-s オプションを指定しなかった場合は、ACL マネージャのデーモンを停止せずに Systemwalker Operation Manager のデーモンだけを停止します。したがって、soperationmgr コマンドを実行時に、すでに ACL マネージャのデーモンが起動されていることになり、今回のメッセージが出力されます。
なお、「MpFwsec」は Systemwalker Operation Manager の ACL マネージャのデーモンプロセスです。

［対処方法］
ps コマンドで「MpFwsec」プロセスを確認し、正常に動作している場合は、対処は不要です。
警告メッセージについては無視しても問題ありません。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー情報の配付時に、「配付先サーバのポリシー情報が適用されていないため、ポリシー配付できません。」というメッセージが表示されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ポリシー情報を配付後、Systemwalker Operation Manager を再起動する前に、再度ポリシー配付を実施したことが原因です。

［対処方法］
ポリシーを配付する場合は、前回配付したポリシーが Systemwalker Operation Manager サーバの再起動により適用されたあとに実施してください。
本メッセージが表示された場合の原因と対処方法については、下記マニュアルも併せてご確認ください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 2 章 共通のトラブルシューティング
2.6 ポリシーに関するトラブル
2.6.2「配付先サーバのポリシー情報が適用されていないため、ポリシー配付できません」ポップアップが出力され、ポリシー配付ができない

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 管理者権限で作ったジョブネットを、他のユーザーから確認できません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
プロジェクトに対して、参照権などのアクセス権が設定がされていないことが原因です。

［対処方法］
プロジェクトに対して、アクセス権を設定してください。［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの業務選択ウィンドウで、対象プロジェクトをクリックして、［セキュリティ］メニューの［アクセス権］をクリックし、権限を設定をします。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mpbko コマンドにより環境バックアップ処理が完了すると、Systemwalker Operation Manager のデーモン／サービスがすべて停止されてしまいました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
mpbko コマンドは Systemwalker Operation Manager のデーモン／サービスを停止する仕様のためです。

［対処方法］
mpbko コマンドを実行すると Systemwalker Operation Manager のデーモン／サービスが停止されますので、soperationmgr コマンドで Systemwalker Operation Manager を起動してください。
なお、mpbko コマンドに-SN オプション(Windows 版の場合は、/SN オプション)を付加することで、デーモン／サービスを停止しないでバックアップできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、以下のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

■Windows 版
MpJobsch: エラー: 7022: XXXX ジョブネットの情報にエラーレコードが見つかりました
■Solaris、Linux、HP-UX、AIX 版
MpJobsch: ERROR: 0043: XXXX ジョブネット情報ファイルの読み込みに失敗しました

A: ［原因］
メッセージが多発しなければ一時的な負荷の影響と考えますが、Systemalker Operation Manager に問題が発生していないか確認するため、ジョブネット定義画面を開くことができるか確認してください。
正常に表示することができない、またはメッセージが多発する場合は、データベースファイルに問題が発生していることが考えられます。

［対処方法］
スケジュール情報を、データベースディレクトリ配下の jobschbackup ディレクトリから復元してください。
復元の方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.3 運用中に注意していただきたいこと
B.3.5 スケジュール情報ファイルの復元について

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの間隔起動で、2100～0830 の間の 10 分間隔で設定すると、開始時刻と終了時刻が矛盾している旨の警告が出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation Manager の仕様です。
間隔起動では、日変わり時刻をまたいで設定することはできません。

［対処方法］
日変わり時刻の前後でそれぞれジョブネットを用意してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバの再起動を実施したところ、Systemwalker Operation Manager の一部のサービスが起動できなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
起動できないサービスのスタートアップアカウントのパスワードを変更している可能性があります。

［対処方法］
該当サービスのスタートアップアカウントのパスワードを変更してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバをリブート後、メッセージ事象の発生を契機に起動するジョブネットが起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
サーバのリブートにより、メッセージ事象を発生させる処理が実行されていないと考えられます。

［対処方法］
メッセージ事象を発生させる処理を確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: mprso コマンドでの復元を考えていますが、バージョンアップ前に取得したバックアップデータしかありません。リストアできますか？

A: mprso コマンドでのリストアにおいては、同じバージョン／レベルのバックアップデータである必要があります。このため、バージョンアップ前のバックアップデータでは、リストアできません。
リストア時の注意事項については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 3 章 運用環境をバックアップ・リストアする
3.2 リストア
3.2.1 リストア時の注意事項

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システムをリブートしたあと、Systemwalker Operation Manager が自動起動しない時があります。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ウイルスチェックソフトなどにより、内部ファイルがロックされてアクセスできないことが考えられます。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager の内部ファイルに外部からアクセスしないようにしてください。
ウイルスチェック製品を利用している場合、Systemwalker Operation Manager が正常に動作しないことがあります。ウイルスチェック製品を利用している場合は、以下のディレクトリおよびそのディレクトリ配下のディレクトリ／ファイルをウイルスチェックの検索対象としないでください。
・ジョブ実行制御ディレクトリ
インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpjmessv
・ジョブ実行制御のスプールディレクトリ
初期値は、インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpmjessv¥mjespool
・ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ
初期値は、インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpjobsch¥jobdb
・カレンダ情報ディレクトリ
インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpjmcal¥caldb
・マスタスケジュール管理機能（V13.3.0 以前はスケジュール分散機能）のデータベースディレクトリ

インストール先のディレクトリ配下の MpWalker.JM¥mpstemsv

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker MpJobsch サービス、および Systemwalker MpAosfB サービスが起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
イベントログが正常に参照できない状態であることが原因と考えられます。

［対処方法］
イベントログファイルの再作成完了後に、Systemwalker Operation Manager を起動してください。
なお、イベントログファイルの再作成が完了しているかどうかは、イベントログがイベントビューアで正しく表示できるかを確認することで判断できます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「MpPmonO: エラー: 10002: Systemwalker Operation Manager のプロセスが正常に動作しているか確認してください。」のメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［メッセージの意味］
プロセス監視により、Systemwalker のプロセスの異常を検出しました。Systemwalker のプロセスが正常に動作をしているか確認をする必要があります。

［原因］
エラーメッセージが出力されているプロセスのサービス／デーモンが起動していないことが原因です。

［対処方法］
mppviewo プロセス動作状況表示コマンドで、再度プロセスの動作状況を確認してください。起動していないサービス／デーモンがある場合、Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンを再起動してください。

その他の原因についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 2 章共通のトラブルシューティング
2.2 プロセスに関するトラブル
2.2.1 プロセスの異常が表示される

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが起動予定時刻になっても起動されず、以下のメッセージが出力されました。原因と対処方法を教えてください。

■Windows 版
MpJobsch:警告:4305:XXXX YYYY は起動予定時刻を過ぎても起動されませんでした
■Solaris、Linux、HP-UX、AIX 版

MpJobsch: WARNING: 0310: XXXX YYYY は起動予定時刻を過ぎても起動されませんでした

A: ［原因］
時刻起動かつメッセージ事象待ち合わせのジョブネットについて、起動時刻は到来していますが、メッセージ事象が発生していないか、または先行ジョブネットが正常終了していないためと考えられます。

［対処方法］
必要に応じて、メッセージ事象を発生させてください。先行ジョブネットが正常終了していない場合は、正常に終了していない原因を取り除いてください。
メッセージの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 メッセージ説明書
第 2 章 イベントビューアまたは SYSLOG に出力されるメッセージ
2.10 MpJobsch で始まるメッセージ

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットを削除したあと、jobschprint -f コマンドで実行履歴を確認しましたが、結果が表示されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
出力対象のプロジェクトにジョブネットが存在しないことが原因です。

［対処方法］
jobschprint -f を実行してもジョブネットの存在しないプロジェクトの履歴は表示されません。
表示が必要な場合、ダミーのジョブネットをプロジェクトに登録しておくことで、表示させることができます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クラスタの待機系サーバ上で「jobschprintcsv -f 1」を実行したところ、「MpJobsch: ERROR: 0016 JOBDB_PATH が見つかりません」というエラーメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［メッセージの意味］
データベースディレクトリが存在しないか、データベースディレクトリへのシンボリックリンクがありません。

［原因］
クラスタの待機系で「jobschprintcsv -f 1」を実行したためです。

［対処方法］
「jobschprintcsv -f 1」コマンドは運用系サーバで実行してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの起動と同タイミングで jobschprintcsv -n コマンド実行しますが、ジョブネットの状態が実行待ちのままとなっています。原因を教えてください。

A: ジョブスケジューラデーモン／サービスによるジョブネットの起動処理中に、jobschprintcsv コマンドが実行されたことが原因と考えられます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「MpMjes: ERROR: 10092: F3CUB_LOG_PIPE open error occurred.error code=xxxx」のエラーについて、メッセージの意味、原因および対処方法を教えてください。

A: ［メッセージの意味］
ジョブ実行制御の内部ファイルのオープンに失敗しました。

［原因］
現象発生時刻周辺で、FIFO ファイル（F3CUB_LOG_PIPE）への処理が集中しているために FIFO に十分な空きスペースが存在しないことが原因です。

［対処方法］
頻発しなければ、無視しても問題はないエラーのため、対処は不要です。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアントからサーバに接続すると「ユーザ名またはパスワードが違います」というメッセージが出力されてログインできません。対処方法を教えてください。

A: ユーザー名やパスワードに誤りがないか確認してください。また、パスワードの有効期限切れや、アカウントが無効となっていないかも併せて確認してください。
これらについて、適宜対処を実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: /var/tmp 配下に Systemwalker Operation Manager の複数のファイルが存在し、DISK 容量を圧迫しています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
出口プログラム起動時に作成される一時ファイルを削除していないことが原因と考えられます。

［対処方法］
一時ファイルを確認して、以下の形式の記述があるファイルを rm コマンドなどで削除してください。

ジョブ名
終了コード
状態

防止策としては、出口プログラムを起動するときに、一時ファイルのファイル名が引数として渡されるため、この引数に渡されたファイルを出口プログラム内で削除してください。

プラットフォーム　: Solaris HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 12 月 31 日まで起動していたジョブネットが 1 月 1 日から起動しなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブネットの［起動日］ウィンドウで起動日を設定していたことが原因と考えられます。

［対処方法］
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［起動日］シートで起動日を設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが実行されない現象が発生します。ジョブ履歴に disabled と skipped と表示があります。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
該当ジョブネットが無効状態のためです。

［対処方法］
無効状態を解除してください。また、無効操作が適切なものかも確認してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの起動をメッセージ事象だけで制御している環境で、起動日から除外したにもかかわらず、直前のジョブネットから発行されたメッセージ事象を受け取って起動してしまいました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［メッセージ］シートの［起動日のみ有効］が選択されていないことが原因です。

［対処方法］
起動日以外にメッセージをカウントしたくない場合は、［起動日のみ有効］を選択してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows 環境から Solaris、Linux、HP-UX、AIX 環境へネットワークジョブを実行しようとしたところ、「No such user on this machine. Job not queued.」のエラーとなりました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［メッセージの意味］
「No such user on this machine.」
プロジェクトの所有者または実行ユーザーが、OS の管理するユーザー情報に登録されていません。
ネットワークジョブの場合、実行ユーザーが、スケジュールサーバの OS が管理するユーザー情報に登録されていません。

「Job not queued.」
ジョブはキューイングされませんでした。

［原因］
ユーザーの指定方法に誤りがあることが原因です。
ネットワークジョブを実行する場合、スケジュールサーバおよび実行サーバの両方に同じユーザーが存在する必要があります。

［対処方法］
ネットワークジョブを実行する場合、スケジュールサーバおよび実行サーバの両方に同じユーザーを作成してください。
なお、Solaris、Linux、HP-UX、AIX サーバにおいて管理者権限（root）で実行させる場合は、Windows サーバに「root」ユーザーを作成する必要はありません。
Systemwalker Operation Manager は、Windows サーバにおいてジョブの実行ユーザーが Administrators グループに所属しているユーザーの場合は、ジョブは、Solaris、Linux、HP-UX、AIX サーバでは管理者権限（root）で実行されますので、ジョブの実行ユーザーを Administrators グループに所属しているユーザーにしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 監視ホストの定義を、クラスタ環境へポリシーの抽出と配付で移行する手順について教えてください。

A: ポリシーの抽出画面で「監視ホスト」を選択して抽出してください。
クラスタ環境に配付する場合は、［次回のサービス/デーモン起動時に適用する］を選択してください。
なお、Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンを状態遷移の対象としていないのであれば［すぐに適用する］で、配付後すぐに再起動を実施しても問題ありません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: SYSLOG に「MpJobsch: ERROR: 0422: Failed to convert the standard output or the standard error code for the job. The job result file contains illegal characters.」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［メッセージの意味］
ジョブの標準出力／標準エラー出力のコード変換に失敗しました。ジョブの出力情報ファイルにコード変換不可能な文字が含まれています。

［原因］
コード変換不可能な文字がジョブネットの前回履歴に出力されたことが原因です。
本エラーは、コード変換不可能な文字がジョブネットの前回履歴に出力された状態で、該当ジョブのプロパティまたは出力情報を参照すると発生するメッセージです。

［対処方法］
該当ジョブの標準出力または標準エラー出力結果に、コード変換不可能な文字を含まないようにしてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバに NIC が 2 枚あります。ネットワークジョブ運用において、実行サーバ側が、スケジュールサーバとの通信を行うにあたって、認識してほしいと思っている NIC ではない方を認識しています。これを変更する方法を教えてください。

A: 実行サーバからスケジュールサーバへの通信時に、通信先のスケジュールサーバの IP アドレスを変更したい場合は、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウー［運用情報の定義］ウィンドウー［クラスタ設定］シートにおいて、使用する IP アドレスを指定してください。

ネットワークジョブの投入において、実行サーバのホスト名は、以下で設定した情報を使用します。

［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シートの［依頼ホスト名］
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［基本情報］シートの［デフォルトホスト名］
qsub コマンドの-rh オプション

この時、スケジュールサーバは、ネットワークジョブ投入時に自ホストの実ホスト名を実行サーバに通知しています。
なお、自ホストの実ホスト名とは、uname コマンドで取得されるホスト名です。
実行サーバでジョブ終了後、実行サーバからスケジュールサーバへジョブの終了を通知しています。
スケジュールサーバへの通知は、スケジュールサーバから通知されたホスト名で名前解決を実施した結果（スケジュールサーバの IP アドレス）を使用して実施します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行履歴情報が当日と前日以外表示できません。ログ保存場所のディレクトリには 7 日分のログがあります。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ログファイルサイズが小さいことが原因です。
ジョブネットおよびジョブ履歴は jobdb1.log、jobdb2.log、jobdb3.log の最新世代の 2 ファイルの情報を表示しています。
このファイル内に格納されている情報分しか表示されません。
なお、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［運用情報の定義］ウィンドウ－［ログ］シートの［ジョブ実行履歴情報を保存する］の保存場所にあるファイルは参照していません。

［対処方法］
ログファイルサイズの最大値を大きくすることで、表示できる日数を長くすることができます。

ログファイルサイズ変更方法
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［データベース］シートの［ログファイルの設定］の値を変更します。
本値を必要以上に大きくすると、ジョブネット履歴や、ジョブ履歴の表示に時間がかかり、同時にクライアント機能を利用しているお客様へも影響が出ます。見積りにより、適切な値を指定してください。
なお、設定を有効にするには、サービス／デーモンの再起動が必要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: サーバ間でメッセージ事象によりジョブネットを連携していますが、メッセージ発行元のメッセージ事象発生時刻より、メッセージ起動の別サーバのジョブネットの起動時刻が早い状態となっています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
システム時刻が両サーバでずれていることが原因です。

［対処方法］
ジョブの終了時刻はシステム時刻をもとに記録していますので、両サーバでシステム時刻をそろえてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 時刻起動、かつメッセージ事象を待ち合わせているジョブネットのスケジュールを後日に起動するように変更しましたが、当日にメッセージを受け付けて実行されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
起動時刻到来前に将来の起動時刻を設定したことが原因です。

［対処方法］
メッセージ事象を待ち合わせているジョブネットを実行したくない場合は無効化操作をしてください。
起動条件の時刻を当日の将来時刻設定した場合は、起動時刻をあとに延ばしたことになります。そこにメッセージが発行されると起動条件がそろうため、そのメッセージ事象を待ち合わせているジョブネットは実行されます。
当日にメッセージ待ち受けのジョブネットを起動したくない場合は、ジョブネットを無効化するか、当日の過去時刻を設定してください。
メッセージ事象が発生しても認識しない状態については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 4 章 ジョブスケジューラコマンド
4.18 jobschmsgevent コマンド

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブを実行したところ、［監視－ジョブネット］ウィンドウ－［前回履歴］シートで文字化けした内容が表示されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
OS の文字コードと異なる文字コードでメッセージを出力したことが原因です。

［対処方法］
出力するメッセージは OS の文字コードと同じにしてください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行時に、処理の出力メッセージを確認すると stty のエラーが 1 つ表示されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
実行ユーザーのスタートアップファイルで端末設定の処理を行っていることが原因です。

［対処方法］
端末設定などの処理を行わないよう、スタートアップファイルを修正してください。
スタートアップファイルの修正方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.5 ジョブの実行に関して知っていただきたいこと
B.5.9 シェルのスタートアップファイルの変更について【UNIX 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブが実行中になったまま終了しません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
実行サーバ上の該当 queue が停止状態であることが原因と考えられます。

［対処方法］
該当 queue の開始操作を実施し、ジョブを再実行してください。
クライアントより［状態］が［停止中］の該当 queue に対し、右クリックメニュー［キュー操作］から［開始］を選択します。
該当 queue の［状態］が［稼働中］に更新されたことを確認し、該当ジョブを実行してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが出力した実行ログと、Systemwalker Operation Manager の［監視－ジョブネット］ウィンドウ－［前回履歴］シートで、内容に差異があります。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
実行ログにバイナリデータである NULL 文字が含まれているため、出力情報が正しく表示されないことが原因です。
バイナリデータや半角カナ文字が含まれてると、出力情報が正しく表示できません。
［対処方法］
ジョブから標準出力および標準エラー出力に対して NULL 文字などのバイナリコードや半角カナ文字を出力しないようしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブに登録した、日本語を読み込ませるシェルスクリプトが、実行時に異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブの実行ユーザーのスタートアップシェルに LANG 環境変数を設定しないで実行したことが原因と考えられます。

［対処方法］
スタートアップシェルに LANG 環境変数を設定してください。

プラットフォーム　: Solaris
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ガントチャート画面で、実行履歴があるはずのジョブネットが表示されません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ガントチャートの［絞り込み条件の設定］ウィンドウで、ガントチャートに表示する情報を絞り込む条件を指定している可能性があります。

［対処方法］
［絞り込み条件の設定］ウィンドウで、すべての状態を表示するように設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: qsub コマンドで-e オプション（標準エラー出力）の指定をしていますが、指定したディレクトリに出力されず、カレントディレクトリに出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
qsub コマンドを投入時の-e オプションの path-name の指定が間違っている、または指定した path-name へのアクセス権がないことが原因です。

［対処方法］
qsub コマンドの-e オプションの path-name の指定を修正してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschchkfile コマンドで、対象とするファイル名にワイルドカードを指定しましたが、上手く動作しません。原因と対処を教えてください。

A: ［原因］
jobschchkfile コマンドでファイル名にワイルドカードを指定したためです。

［対処方法］
jobschchkfile コマンドのファイル名には、固定のファイル名、またはリストファイル名を使用してください。

なお、V13.8.0 以降では、ファイル名の一部または全体にワイルドカードを使用することが可能です。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットを実行したところ，終了コード 255（40000999）で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。「MJS819E USERNAME username REFUSED BY HOST(hostname)，BECAUSE PERMISSION DENIED」

A: ［原因］
［Operation Manager 共通パラメタの定義］ウィンドウー［Operation Manager 利用者の限定］が設定されており、かつジョブネットの実行ユーザーが swadmin グループに属していないことが原因と考えられます。

［対処方法］
［Operation Manager 利用者の限定］の設定を解除するか、本利用者を swadmin グループに所属させてください。
なお、その際、プライマリグループではなく、セカンダリグループとして、swadmin グループに所属させる必要がありますので、ご注意ください。

なお、V16.0.0 以降は、新規インストール時のデフォルトで、利用者限定（［Operation Manager 共通パラメタの定義］ウィンドウの定義）が有効です。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 で、jobschprint -n コマンドを実行したとこ

ろ、 以下のエラーが表示されました。原因と対処方法を教えてください。
＜エラーメッセージ＞
MpJobsch:エラー :7300:func=GetTsct:OpenFileMapping() 2:指定されたファイルが見つかりません
MpJobsch:エラー :6017:共有メモリの獲得に失敗しました
MpJobsch:エラー :6014:データベースディレクトリ(DBPATH)が間違っているか、Systemwalker MpJobsch サービスが起動されていません

A: ［原因］
リモートデスクトップ（ターミナルサービスのクライアント）上で コマンドを実行していることが原因と考えられます。

［対処方法］
ジョブスケジューラのコマンドを実行する場合は、 Systemwalker Operation Manager サーバが導入されているサーバ上のコマンドプロンプトなどから直接、 実行するように対処してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V13

【運用／保守】

Q: クライアントのガントチャートに間隔起動のジョブネットの実行履歴が一部表示されません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
実行履歴が 1 日あたり 24 世代を超えたことが原因と考えられます。
起動された実績は、最大 24 世代分までしか表示されません。
例えば、ジョブネットを 5 分間隔で起動している場合、その時点の直近の 2 時間分しか表示されません。

［対処方法］
実行履歴が 1 日あたり 24 世代を超えた場合、24 世代より以前のジョブネットの実績状況を確認したい場合は、Systemwalker Operation Manager クライアントの［ツール］－［ジョブネット履歴］を選択するか、または以下のコマンドで確認してください。

jobschprint -g yyyy mm dd
指定した日付［yyyy mm dd］のジョブネットの実行結果の履歴情報を表示します。

jobschprintcsv -g yyyy mm dd
指定した日付［yyyy mm dd］のジョブネットの実行結果の履歴情報を CSV 形式で表示します。CSV 形式のため出力結果をファイルに保存すると、ジョブネットの実行結果の履歴情報を表計算ソフトなどで管理することができます。

jobschprint -f P
［P］日前のジョブネットの実行結果の履歴情報を表示します。
［P］には 0～5 が設定できます。

jobschprintcsv -f P
［P］日前のジョブネットの実行結果の履歴情報を csv 形式で表示します。
［P］には 0～5 が設定できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント業務連携のオプションで待ち時間 300 秒に設定（WE に 300）してバッチファイル起動していますが、数十秒で「0xa98f（0x0）通知イベントの待ち合わせがタイムアウトしました。」が発生します。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
クライアントとサーバ間で時刻差が発生していたことが原因と考えられます。

クライアント業務連携において、履歴に表示される処理開始時間／処理終了時間は、共にサーバのシステム時刻を表示しています。
クライアント業務連携のオプションで待ち時間が設定されている場合は、まず、サーバから処理の依頼がクライアントに投げられますが、その依頼と同時に、タイムアウト時間をサーバのシステム時刻から計算し、その時刻をクライアントに通知します。
したがって、クライアントのシステム時刻が例えば 2 分進んでいる環境の場合は、サーバ時刻 12:00 に処理が開始されると、クライアントでは 12:02 に処理が開始され、12:05 にタイムアウトが発生し、サーバに結果を返します。このとき、サーバ時刻は 12:03 のため、タイムアウト時間よりも早く処理が終わったようにみえます。

［対処方法］
サーバとクライアント間のシステム時刻をあわせてください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動条件が時刻起動でメッセージ事象を待ち受けるジョブネットに対して、日変わり時刻が過ぎたあとにメッセージ事象を発生させましたが、ジョブネットが起動しません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［メッセージ］シートで［起動日のみ有効］をチェックしていることが原因です。
［起動日のみ有効］をチェックしている場合で、メッセージ事象を発生させた日が起動日でない場合は、ジョブネットは起動しません。

［対処方法］
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［メッセージ］シートの［起動日のみ有効］のチェックを外して運用を行ってください。
［起動日のみ有効］のチェックを外すことにより、日変わり後に、持ち越したあとの日が起動日でない場合についても対象のジョブネットが起動するようになります。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で起動しているジョブが終了コード：255（0x00000000）で異常終了します。終了コードの意味やジョブの出力情報が何も表示されていません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブとして実行しているプログラムやシェルスクリプトが、終了コード：255 で異常終了していることが原因です。

［対処方法］
プログラムやシェルスクリプトが、終了コード：255 となる原因を調査してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 以下のエラーメッセージを出力して、tskmnsrv のプロセスが異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

＜エラーメッセージ＞
MpJobsch: ERROR: 0037: The daemon failed to write job net output information.
MpJobsch: INFO: 0053: The jobscheduler daemon has ended.
UX:MpPmonO: ERROR: 10002: Check if the Systemwalker Operation Manager process (tskmnsrv) is running properly.

A: ［原因］
ジョブに登録されているプログラムから標準出力・標準エラー出力として 2GB 以上のファイルを出力していることが原因と考えられます。

［対処方法］
ファイルのサイズが 2GB を超えないようにしてください。
ジョブの標準出力および標準エラー出力の注意事項については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.4 ジョブのスケジュールに関して知っていただきたいこと
B.4.2 ジョブの標準出力および標準エラー出力

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 緊急修正を適用時、「対象製品またはコンポーネントがインストールされていないか、修正適用管理簿に登録されていません。修正の適用はできません。」が発生し、適用できません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
インストールされている製品のレベルと緊急修正が対象としている製品のレベルが一致していないことが原因です。

［対処方法］
インストールされている製品のバージョン／レベルと緊急修正が対象としている製品のバージョン／レベルは一致させてください。
インストールされている製品のバージョン／レベルの確認は、swpkginfo コマンドを使用してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: グループに対して、強制終了操作後に再起動操作を実施した際に、「強制終了または、異常終了または、確認済みでないため再起動できません。」が表示されて、再起動操作が実施できません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［強制終了を確認操作の対象とする］を指定せず、日変わり時刻を超えていることによるものです。

［対処方法］
日変わり時刻を経過後にグループを再起動する場合は、［強制終了を確認操作の対象とする］を指定してください。

■V13.3.0 以降の場合
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウー［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［利用機能 1］シート内の［異常時の確認操作］で［確認操作を有効とする］をチェックし、［詳細設定］ボタンをクリックして表示される［確認操作の詳細設定］ウィンドウの［強制終了を確認操作の対象とする］

■V13.2.0 以前の場合
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウー［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［利用機能 1］シート内の［スケジュールオプション］の［強制終了を確認操作の対象とする］

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager において、「/opt/FJSVJOBSC/etc/rc3.d/start_jobs did not start daemon」となり、soperationmgr が正常起動しません。原因と対処方法を教えてください。SYSLOG には以下のメッセージが出力されています。「MpJobsch: ERROR: 0131: Failure in Host IP address retrieval.」

A: ［原因］
/etc/hosts ファイルに自ホストの IP アドレスが登録されていないことが原因と考えられます。

［対処方法］
/etc/hosts において、以下の例のように自ホストのホスト名と IP アドレスを設定してください。

［例］
127.0.0.1 localhost
XX.XX.XX.XX HostName

プラットフォーム　: Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブが終了コード:255(0x40000913)で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブを所有者の権限で実行するために必要な設定が不足していることが原因と考えられます。

［対処方法］
ジョブを所有者の権限で実行するために必要な、以下の設定を行ってください。

1. [Systemwalker Operation Manager 環境設定]ウィンドウで[運用情報]をクリックすると表示される[運用情報の定義]ウィンドウ－[利用機能]シートで[ジョブを所有者の権限で実行する]チェックボックスをチェックします。Windows サーバから Windows サーバへのネットワークジョブで、ジョブを所有者の権限で実行する場合、スケジュールサーバおよび実行サーバの両サーバにて当チェックボックスをチェックします。

2. [Systemwalker Operation Manager 環境設定]ウィンドウの[制御対象]ドロップダウンリストボックスで[ジョブ実行制御]選択し、[開始]ボタンで同サービスを再起動します(この時、ジョブスケジューラのサービスも同時に再起動されます)。 ※クラスタ運用の場合は、クラスタアプリケーションの停止/起動により再起動します。

3. [Systemwalker Operation Manager 環境設定]ウィンドウで[ジョブ所有者]をクリックすると表示される[ジョブ所有者情報の定義]ウィンドウ(*)で、プロジェクト(ジョブスケジューラの定義項目)、または、ジョブフォルダ(ジョブ実行制御の定義項目)に対して設定された、ジョブの所有者、または、実行ユーザ名(ジョブスケジューラの定義項目)で指定したユーザを登録します。指定するパスワードが間違っている場合もあります。正しいパスワードを指定します。Windows サーバから Windows サーバへのネットワークジョブで、ジョブを所有者の権限で実行する場合、スケジュールサーバにてジョブの所有者を登録します。
(*) V13.7.0 以降では、[運用情報の定義]ウィンドウ-[利用機能]シートの[ジョブ所有者設定]ボタンからも呼び出せます。

4. ジョブの起動アカウントとして使用するアカウントに対し“バッチジョブとしてログオン”の権限を与えます。また、ドメインユーザの場合も、実際にジョブを投入するサーバおよび実行するサーバの両方で実施します。
設定は以下から行ってください。
－ [コントロールパネル]－[管理ツール]のローカルセキュリティポリシー
・ ジョブを実行するサーバがドメインコントローラの場合、ドメインセキュリティポリシーで実施します。
・ ジョブを実行するサーバがドメインメンバサーバの場合、ローカルセキュリティポリシーで実施します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ドメインユーザー権限のユーザーに一部のジョブネットの操作権を与えましたが、ジョブネットが見えません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ユーザーが ActiveDirectory の組織単位（OU）配下にアカウントがあることが原因です。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager は ActiveDirectory の組織単位（OU）配下のアカウントの利用はできません。
ActiveDirectory の Users 直下にアカウントを追加し、Systemwalker Operation Manager でアクセス権を付与してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブネットが異常終了したにもかかわらず、イベントログまたは SYSLOG にジョブネットの実行履歴が出力されません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートで、以下の項目にチェックがないことが原因です。
■V13.3.0 以降の場合
［イベントの出力］の［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］
［イベントの出力］の［詳細設定］ボタンをクリックして表示される［イベント出力の詳細設定］ウィンドウの［ジョブネットの状態］の［異常終了］

■V13.2.0 以前の場合
［ジョブネットの状態］の［異常終了］

［対処方法］
以下の項目をチェックしてください。
■V13.3.0 以降の場合
［イベントの出力］の［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］
［イベントの出力］の［詳細設定］ボタンをクリックして表示される［イベント出力の詳細設定］ウィンドウの［ジョブネットの状態］の［異常終了］

■V13.2.0 以前の場合
［ジョブネットの状態］の［異常終了］

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: CSV ファイルから jobschsetnet コマンドでジョブネットを登録しようとすると、「jobname_jes」の項目に誤りがあるというエラーメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
「jobname_jes（ジョブ実行制御でのジョブ名）」に使用できない文字を入力していることが原因と考えられます。

［対処方法］
ジョブ実行制御でのジョブ名は、以下のとおり、入力規則の文字以外で 64 バイト以内で指定してください。

■ジョブ実行制御でのジョブ名
個々のジョブを区別するためのジョブ名を 64 バイト以内で指定します。空白、仮名半角、ユーザー定義文字および以下の半角文字は ジョブ名として使用できません。

/ ? * ; , ¥ " < > | : ( ) ' . $ `

1 文字目に # を指定することはできません。
ネットワークジョブおよび分散実行ジョブの場合は、& を指定することはできません。
ジョブ実行制御で使用するジョブ名としても利用されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 保守情報収集の際に「システムモードが実行モードです。インストールモードに切り替えてください。」とメッセージが出ました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ターミナルサービスの設定が実行モードであることが原因です。

［対処方法］
ターミナルサービスを使用している場合は、システムモードを「インストールモード」に切り替えてから、収集してください。

モードの変更方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.2.0 導入手引書
第 1 章 Systemwalker Operation Manager を導入する
1.3 Windows へインストールする
1.3.2 インストール前の作業

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: Administrators 権限を持たないユーザーで Systemwalker Operation Manager にログインし、Administrators 権限が必要な処理を行うジョブを実行したところ、権限エラーにならずに、処理が完了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation Manager でバッチファイルを実行した実行ユーザーに、Administrators 権限が付与されていることが原因です。
［対処方法］
ジョブの実行ユーザーの権限を確認してください。
■［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［運用情報の定義］－［利用機能］シートで、［ジョブを所有者の権限で実行する］にチェックが入っている場合
該当ジョブの［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シートで、［実行ユーザ名］にユーザーが設定されている場合
設定したユーザーでジョブは実行されます。
該当ジョブの［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シートで、［実行ユーザ名］にユーザーが設定されていない場合
ジョブの所属するプロジェクトの所有者で実行されます。
プロジェクトの所有者は［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの業務選択ウィンドウで、対象プロジェクトをクリック、次に［セキュリティ］メニューから［アクセス権］を選択し、表示される［アクセス権設定］ウィンドウで確認してください。
■［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［運用情報の定義］－［利用機能］シートで、［ジョブを所有者の権限で実行する］にチェックが入っていない場合
ジョブは、Systemwalker Operation Manager のサービスのログインアカウントで実行されます。
Systemwalker MpMjes サービスのログオンアカウントを確認してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschsetnet -nent コマンドを実行すると「MpJobsch:エラー :6071:定義ファイルがオープンできません」のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブネット定義ファイルを参照できない状態であったことが原因です。
jobschsetnet -nent コマンド実行時のカレントディレクトリがジョブネット定義ファイルの保存ディレクトリとなっていないか、ジョブネット定義ファイルのファイル名または保存ディレクトリの指定に誤りがあることが原因と考えられます。

［対処方法］

ジョブネット定義ファイルの保存ディレクトリを、コマンド実行時のカレントディレクトリとしてください。
または、jobschsetnet コマンドに、登録済みのプロジェクト名、および正しいジョブネット定義ファイルを指定して実行してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: shutdown.exe を実行しシステムをシャットダウンさせるジョブを作成し実行しましたが、終了コード 239 で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブとして shutdown.exe を登録して、実行していることが原因です。

［対処方法］

システムのシャットダウンは、終了処理ジョブネットを利用し、シャットダウン出口よりシャットダウンさせてください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以前でジョブネットを作成し、V13.3.0 以降にバージョンアップしたあと、jobschprint -r コマンドを実行しましたが、出力結果に iconposition の項目が出力されませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

V13.2.0 以前では、iconposition をサポートしておらず、ジョブネット制御文に項目が設定されていないことが原因です。iconposition は省略可能な項目です。省略した場合は、自動的にアイコンが配置されます。その後、ジョブネットに対して変更処理を行うまでは、iconposition は表示されない仕様です。V13.2.0 以前から V13.3.0 以降にバージョンアップしたあとには、V13.2.0 以前には iconposition は存在しないため、ジョブネット制御文に、iconposition を省略してジョブネットを登録したことになるため、jobschprint -r コマンドを実行しても、出力されません。

［対処方法］

Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以前で定義したジョブネットに対して、V13.3.0 以降で jobschprint -r コマンドの実行結果で iconposition を出力させたい場合は、GUI からジョブネットに対して上書き保存をするなどの操作でジョブネットの定義を変更することで、iconposition は出力されます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager の間隔起動しているジョブネットから「MpJobsch: Warning: 9003: ジョブネット :ジョブネットの実行を拒否しました」というメッセージが出力されまし

た。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
前回起動したジョブネットの処理時間が通常よりもかかったことが原因と考えられます。
ジョブネットが実行中に新たな起動予定時刻が到来した場合、ジョブネットは、「実行拒否」（refused）となります。Systemwalker Operation Manager では、同一のジョブネットは二重に実行できない動作であるため、前回起動されたジョブネットが実行中である場合、さらに時刻が到来して起動しようとしても実行拒否されます。

［対処方法］
発生頻度が高い場合は、起動間隔の時間を延ばすなどの見直しをしてください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バッチファイルやシェルスクリプトをジョブとして実行していますが、標準出力された情報が前回履歴に表示されません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
アプリケーション起動コマンド（EXECACLI.EXE）を使用して実行していることが原因と考えられます。
アプリケーション起動コマンド（EXECACLI.EXE）で呼び出されたバッチファイルやシェルスクリプトで標準出力された情報は、前回履歴への出力ができません。

［対処方法］
アプリケーション起動コマンド（EXECACLI.EXE）を使用しないでバッチファイルやシェルスクリプトを実行してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブを実行時に「例外コード 0xc0000142」で異常終了しました。マニュアル「トラブルシューティングガイド」の対処方法にあるデスクトップヒープのサイズを調整することによる影響を教えてください。

A: デスクトップヒープは OS の資源になり、OS の処理・各アプリケーション（デスクトップ オブジェクト）が実行する際、メニュー、フック、文字列、ウィンドウが格納されます。

※システム上のすべてのデスクトップ オブジェクトには、デスクトップヒープが関連付けられています。
Windows Server 2008 以降を利用する場合、デスクトップヒープとして利用できるシステムの領域が拡張されているため、影響はありません。
Windows Server 2008 以降を利用する場合は、以下による調整を実施してください。

以下のレジストリ(SharedSection)の第 3 パラメーターを“3072”に変更します。
・キー：HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥Control¥Session Manager¥SubSystems
・名前：Windows
・値：SharedSection の第 3 パラメーター
－ 変更前(Windows Server 2012 の例)
SharedSection=1024,20480,768
－ 変更後(Windows Server 2012 の例)
SharedSection=1024,20480,3072(*)
(*)SharedSection の第 3 パラメーターの値が 3072 より大きい場合は、変更しないでください。

Windows Server 2003 以前を利用の場合は、Systemwalker Operation Manager 環境設定の、［運用情報の定義］ウィンドウ－［利用機能］シート－［ジョブを所有者の権限で実行する］の値によってデスクトップヒープの調整方法が異なります。

ケース 1.
［ジョブを所有者の権限で実行する］のチェックを付けた場合
SharedSection の 3 つ目の値を小さくします。

ケース 2.
［ジョブを所有者の権限で実行する］のチェックを付けていない場合
SharedSection の 3 つ目の値を大きくします。

それぞれの調整をした場合の影響は、以下のとおりです。

ケース 1.
同時に実行できるデスクトップ オブジェクトは増えますが、個々のオブジェクトが使用する資源（メニュー、フック、文字列、ウィンドウ）が SharedSection の値を超える場合、ヒープ不足に陥る可能性があります。

ケース 2.
同時に実行できるデスクトップ オブジェクトは減りますが、個々のオブジェクトが使用できる資源が増えるため、ヒープ不足の可能性は低くなります。

［注意事項］
・レジストリを編集する際には、事前にバックアップの作成をお願いします。
・レジストリの SharedSection の値を変更した場合、変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートで、［実行中断］にチェックを入れましたが、実行中断が発生した際に、「9002/ジョブネットが異常終了しました」というイベントがイベントログに出力され、実行中断であることが分かりません。対処方法を教えてください。

A: 対処の必要はありません。
［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シートで［実行中断］（注）をチェックし、実際に実行中断が発生した場合は、該当のイベントが表示されます。

注）V13.3.0 以降の場合は、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］－［イベント出力］シートの［イベントの出力］の［詳細設定］ボタンをクリックして表示される［イベント出力の詳細設定］ウィンドウで指定します。

メッセージ本文には、「異常終了しました」と表示されますが、メッセージの補足情報として、実行中断を意味する「コード=239」が表示されます。
これは、Systemwalker Operation Managerとして正常動作となります。

［イベント出力］シートの定義項目と実際に出力されるイベントログの関係については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 において、スタートアップアカウントの変更後、ジョブが正常に起動しません。なお、前回履歴に「クライアントは、要求された特権を保有しておりません」と表示されています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
スタートアップアカウントの変更時の作業内容に不足があることが原因です。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager サービスのスタートアップアカウントに必要な条件をすべて満たしているか、確認してください。
なお、上記の権限が不足している場合は、ローカルセキュリティポリシーで必要な権限を設定後、Systemwalker Operation Manager のサービスを再起動してください。
スタートアップアカウントに必要な条件については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.3.0 導入手引書
第 1 章 Systemwalker Operation Manager を導入する
1.3 Windows へインストールする
1.3.4 インストール後の注意事項

プラットフォーム : Windows
バージョン : V13

【運用／保守】

Q: ポリシー配付後に Systemwalker Operation Manager のサービスを再起動すると、Systemwalker MpMjes サービスが起動されなくなり「MpMjes: エラー: 6107: record パラメタの path オペランドに記述したディレクトリを見つけられませんでした。」のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［メッセージの意味］
初期化ファイルの record パラメタの path オペランドに記述したディレクトリを見つけられませんでした。

［原因］
稼働実績情報ファイルの格納先がポリシー配付先に存在しなかったことが原因です。

［対処方法］
抽出元サーバのジョブ実行履歴情報および稼働実績情報の保存場所を［運用情報の定義］ウィンドウの［ログ］シートで確認し、抽出元サーバの保存場所と同じディレクトリを、配付先サーバに作成してください。
なお、ポリシー配付を再度実施する必要はありません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「プロトコルデータの受信ができませんでした」というポップアップメッセージが表示されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation Manager サーバとクライアント間で通信中に一時的にネットワークが切断されたことが原因と考えられます。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager クライアントから再度、Systemwalker Operation Manager サーバに接続してください。
なお、本メッセージは、サーバ側のスケジュール処理やジョブネットの起動処理などには影響を与えません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 終了処理ジョブネット内のジョブが異常終了した場合、再起動を実施しても「終了処理中のため指定

の操作はできません。」というメッセージが表示され実行できません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
終了処理ジョブネットが実行されたため、ジョブスケジューラ機能が、すべてのジョブネットの起動抑止をしたことが原因です。
Systemwalker Operation Manager の終了処理ジョブネットが実行されるとジョブスケジューラ機能は、以下の処理を抑止します。

・終了処理ジョブネットの後続のジョブネットの起動
・起動時刻の到来、メッセージ事象の発生によるグループ／ジョブネット／ジョブの起動
・起動、再起動操作によるグループ／ジョブネット／ジョブの起動
・プロジェクト／グループ／ジョブネット／ジョブ／起動日雛形の定義情報の変更

この際、異常終了した終了処理ジョブネットも含め、起動および再起動を実施すると「終了処理中のため指定の操作はできません。」のメッセージを表示します。
なお、終了処理ジョブネットが異常終了すると、異常終了時の出口プログラムである jobschnoendexit.bat が実行されますが、標準状態の jobschnoendexit.bat は何の処理も行いません。

［対処方法］
ジョブスケジューラサービスを再起動してください。
また、終了処理ジョブネットを動作させたことにより、ジョブスケジューラサービスが再起動されるまで、新たなジョブネットの起動がされない状態となることを考慮して、異常終了時の出口プログラムを適宜見直してください。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ドメインユーザーをプロジェクトの所有者に設定しようとしたところ、「指定のプロジェクトにはアクセス権がありません。」のメッセージが出力され、プロジェクトの所有者に設定できません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker ACL Manager のサービスのスタートアップアカウントにドメイン上の管理者ユーザーを指定していないことが原因です。

［対処方法］
ドメインユーザーをプロジェクトの所有者として指定する場合は、Systemwalker ACL Manager のサービスのスタートアップアカウントにドメイン上の管理者ユーザーを指定してください。

プラットフォーム　：Windows
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition から抽出したポリシーを、Systemwalker Operation Manager Standard Edition に配付できますか？

A: Enterprise Edition で抽出したポリシーを Standard Edition に配付することはできません。下位エディションに配付することはできません。

ポリシー情報の抽出および配付のサポート範囲については、以下のとおりです。

■エディションの違いによるサポート範囲
SystemWalker/OperationMGR 5.0 以降のエディションにおいては、以下の組合せができます。
・ 抽出元：Standard Edition 版
　配付先：Standard Edition 版、Enterprise Edition 版、Global Enterprise Edition 版
・ 抽出元：Enterprise Edition 版
　配付先：Enterprise Edition 版、Global Enterprise Edition 版
・ 抽出元：Global Enterprise Edition 版
　配付先：Global Enterprise Edition 版

Global Enterprise Edition 版で抽出したポリシー情報を、Standard Edition 版、Enterprise Edition 版に配付することはできません。
Enterprise Edition 版で抽出したポリシー情報を、Standard Edition 版に配付することはできません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のジョブがエラーコード（0x40000322）で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

＜ジョブ実行制御の前回履歴メッセージ＞
ジョブ実行制御：ジョブ job-name（jobno.hostname）はジョブの実行経過時間の制限値を超えたため強制終了しました。終了コードは 0x40000322 です。

A: ［原因］
［登録／監視－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シートの［打ち切り時間］に設定された時間を経過してもジョブが実行中であったため、Systemwalker Operation Manager で強制終了されたことが原因です。

［対処方法］
ジョブに設定されている［打ち切り時間］を見直してください。
または、打ち切り時間までにジョブが終了するように、運用を見直してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バッチ処理で jobschmsgevent を実行し、発生したメッセージを受信して起動するジョブネットがあり、そのジョブネットを続けて複数回実行させると、イベントログに「MpJobsch: エラー: 7435: XXXX YYYY ZZZZ 可変パラメタが指定されたメッセージ事象は無視されました」が出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブネットが実行中に、可変パラメタを指定してメッセージ事象を発生させたことが原因です。

［対処方法］
ジョブネットが終了後に、可変パラメタを指定してメッセージ事象を発生させるようにしてください。
可変パラメタの受信とメッセージ事象の受け付けの詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章ジョブをスケジュールする
4.3 必要に応じて行う設定
4.3.13 メッセージ事象発生時に可変パラメタを利用したジョブネット連携をする場合
4.3.13.3 可変パラメタの受信とメッセージ事象の受け付けについて

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット 1（毎日 8:00 起動）、ジョブネット 2（毎月曜日 10:00 起動）が存在しています。ジョブネット 1 の処理が 2 時間以上かかり、ジョブネット 2 の起動に重なる場合があるため、これを避ける方法を教えてください。

A: 関連ジョブネットを 1 つのグループとして登録してください。1 つのグループとして登録することで先行ジョブネットが実行中の時には後続ジョブネットは実行を待ち合わせます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: VBS ファイルをジョブとして登録し、実行した際に異常終了となります。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブの［コマンド］欄に VBS ファイルを直接指定しているためです。VB スクリプトはジョブとして直接起動できません。

［対処方法］
以下のようにジョブを定義してください。
ジョブの［コマンド］欄に cscript.exe、［パラメタ］に VBS ファイル名を指定してください。または、ジョブの[コマンド]欄に「cscript.exe xxx.vbs」と記述するか、「＜格納フォルダ＞¥xxxxx.bat」と記述して、そのバッチファイル内で VB スクリプトを呼び出してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブ実行時に、指定されたパラメタの一部が渡りません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ネットワークジョブ実行時の［パラメタ］欄に半角空白が含まれていることが原因です。

［対処方法］
［登録／監視－ジョブ］ウィンドウー［基本情報］シートの［パラメタ］欄のパラメタをすべてダブルクォーテーションで囲んでください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブのコマンド欄に「C:¥Program Files¥....¥xxx.exe」のように指定すると「Unable to find the job file specified. Job not queued.」のメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
コマンドのパスの途中にスペースが含まれていることが原因です。

［対処方法］
コマンドのパスにスペースが存在する場合は、以下のように、ダブルクォーテーションを前後に指定してください。
「"C:¥Program Files¥....¥xxx.exe"」

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Centric Manager で以下の Systemwalker Operation Manager のメ

ッセージを検知しました。「MpJobsch: 警告: 9004:ジョブネット :ジョブネットの実行をスキップしました」原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブネットの起動条件が満たされた時に、ジョブネットが「無効状態」であることが原因です。

［対処方法］
ジョブネットの実行が必要な場合は、ジョブネットの無効解除を行ってください。
なお、ジョブネットは無効解除後、ジョブネットの起動条件が満たされた時に実行されるようになります。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager からジョブを実行したところ、追加したシステム環境変数が参照できていません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
システム環境変数を変更後、Systemwalker Operation Manager のサービス再起動を実施していないためです。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager のサービス再起動、または OS の再起動を実施してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブで常駐プログラムを起動したところ、設定された打ち切り時間で実行サーバのプロセスが強制終了されました。ネットワークジョブの場合でも、実行サーバ上のプロセスを強制終了するのですか？

A: ネットワークジョブの場合でも、打ち切り時間を設定している場合は、終了監視の一環としてプロセスの強制終了を行います。ジョブの終了監視を行いたくない場合は、クライアント業務連携機能でアプリケーションを起動してください。または、打ち切り時間を設定せず、バッチファイルで業務が終了した時間に終了復帰をするようにしてください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 常駐アプリケーションを Systemwalker Operation Manager のジョブとして実行したのですが、実行中のまま終了しません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブとして起動したアプリケーションが、終了していないことが原因です。
Systemwalker Operation Manager から起動されたジョブは、そのジョブの子孫プロセスまで、動作状況が監視されています。バッチファイルから、常駐プロセスなどを起動し、その後、バッチファイル自身は終了するといった構成のジョブであった場合でも、そのバッチファイルの終了が、ジョブの終了になるわけではありません。

［対処方法］
サーバ業務連携、またはクライアント業務連携を利用して常駐アプリケーションを起動してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットの定義情報をエクスポートし、別のサーバへインポートしたところ、ジョブネットメモが登録されません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
インポート／エクスポートではジョブネットメモは登録できません。

［対処方法］
ジョブネットメモは以下のどちらかの方法で登録してください。
・該当ジョブネットを右クリックし、ジョブネットメモを選択した画面から登録する
・jobschnetmemo コマンドを使用する

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 以降の監査ログの内容を確認したところ、以下のとおり、「RESTART_JOBNET」の返り値に「F」が記録されていますが、実際にジョブが起動されているログがありません。原因と対処方法を教えてください。
"RESTART_JOBNET","SUBSYSTEM=0;PROJECT=プロジェクト名;JOBNET=ジョブネット名;","ジョブネットを再起動します。",F, "MPJOBSCH","PID=xxxx;",

A: ［原因］
再起動操作が行えない状態のジョブネットに対して、再起動操作を行ったことが原因と考えられます。なお、F は、失敗を意味するログです。

［対処方法］
必要であれば、起動操作などを実施してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: イベント監視の条件を保存したところ、「29 行目にすべてのメッセージに一致する条件が定義されています…」というメッセージが表示されました。これはどういう意味ですか？

A: イベント監視の条件定義は、1 行目から下の行にむけて、条件に合致するかチェックを行っていきます。
29 行目に、すべてのメッセージに一致する条件がある場合は、チェックがそこで終了し、30 行目以降に条件を設定してもチェックされない、という警告のメッセージです。
イベントログの条件を追加する場合は、29 行目より上に条件を追加してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager 上でネットワークジョブを利用したジョブが異常終了（0xC0000005）しています。実際のジョブ自体は正常終了しているにもかかわらず、Systemwalker Operation Manager 上では異常終了と判断されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

ジョブとして起動したアプリケーションが、不当なメモリにアクセスしていることが原因と考えられます。

［対処方法］
ダンプをアプリケーションの作成者に送付し、解析を依頼してください。
作業手順の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.2 ジョブが異常終了する
5.2.14 ジョブが例外コード 0xC0000005, 0xe06d7363 で異常終了する【Windows 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットから起動したバッチファイルが、「jobschExit: エラー: 399:ジョブネットが異常終了しました。～例外コードは 0xc0000005 です」で異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ユーザーアプリケーションが不当なメモリにアクセスしていることが原因と考えられます。

［対処方法］
ユーザーアプリケーションを調査してください。
確認のポイントや原因、クラッシュダンプの採取方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.2 ジョブが異常終了する
5.2.14 ジョブが例外コード 0xC0000005, 0xe06d7363 で異常終了する【Windows 版】

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バッチファイルの中で、「echo %username%」を実行しても、Systemwalker Operation Manager のサービスのログオンアカウントが表示されてしまいます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ネットワークジョブの実行ユーザーの確認を%USERNAME%環境変数の値で行っていることが原因です。
%USERNAME%環境変数はスケジュールサーバ上で動作するジョブ（ローカルジョブ）の場合にだけ有効な環境変数で、ネットワークジョブの場合には、%USERNAME%環境変数の値は意味を持ちません。

［対処方法］
ジョブの実行ユーザーの確認は、whoami コマンドを使用してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブで Arcserve のスクリプトを使用し、バックアップを実行すると、「Get equiv

failed ... reason : No equivalence exists for this user/host pair」のメッセージが表示されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブの実行ユーザーに caroot 権限がないことが原因と考えられます。

［対処方法］
ジョブの実行ユーザーに caroot 権限を付与してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager を運用しているサーバで、標準出力ファイルが肥大化し、ハードディスクの空き容量がなくなりました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブとして起動しているアプリケーションで、標準出力に対し大量の出力を行っているためです。

［対処方法］
アプリケーションが出力する標準出力の量を見直してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブの前回履歴に「""の使い方が誤っています。」と出力され、終了コード:255（0x00000000）でジョブが終了します。原因と対処方法を教えください。

A: ［原因］
ジョブに登録したバッチファイルの記述において、「""」の使い方に誤りがあるものと考えられます。

［対処方法］
バッチファイルの内容を正しい記述に修正してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: バッチファイルの復帰コードとして、setecode コマンド以外の値が引き継がれます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
setecode コマンドがバッチファイルの最終コマンドになっていないため、バッチファイル中の最終コマンドの復帰コードが引き継がれたことが原因です。

［対処方法］
setecode コマンドがバッチファイル中の最終コマンドになるようにバッチファイルを修正してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: アプリケーション起動コマンド（EXECASVR.EXE）を使用して、バッチファイルから Windows サービスを開始するように設定し、正常終了したのですが、実際には実行できていません。手動でコマンドを実行した場合は、問題なく正常に実行されています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Windows サービスを開始するために必要な権限が、ジョブの実行ユーザーに与えられていないことが原因と考えられます。

［対処方法］
アプリケーション起動コマンド（EXECASVR.EXE）の/UN パラメタにユーザーを指定して、ジョブを実行してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Java のプログラムをバッチファイルとして Systemwalker Operation Manager のジョブに登録して実行したところ、「実行中」のまま終了しません。バッチファイルの中で設定している環境変数:JAVA_HOME を、JRockit 環境にして実行した場合は Systemwalker Operation Manager は「実行中」のままとなり終了しませんが、JRE 環境にした場合は正常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
バッチファイルから呼び出されている Java のプログラムが実行中のままとなり、終了しないことが原因と考えられます。

［対処方法］
アプリケーション提供元に確認してください。
Systemwalker Operation Manager では、ジョブとして実行したプロセス配下で実行されるすべてのプロセス（子孫プロセス）を 1 つのジョブと見なしています。
これらすべてのプロセスが終了しない限り、ジョブは終了となりません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降において、GUI からエクスポートで出力した CSV ファイルを使用して、jobschsetnet -nent コマンドや jobschsetnet -nche コマンドで登録することができません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
jobschsetnet コマンドは、制御文ファイル（テキスト形式）を読み込んで登録・変更する仕様のため、エクスポートで出力した CSV ファイルを使用して登録・変更はできません。

［対処方法］
jobschcsvtodef コマンドで CSV 形式の登録情報を制御文形式に変換したあと、jobschsetnet コマンドを実行してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ガントチャートおよびジョブネット履歴で、1 日に 1 回しか起動しないはずのグループ配下のジョブネットが 1 日に 2 回実行しているように見えます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］

一度、未来日付でジョブネットを起動して、システムの日付を過去に戻したためと考えられます。

［対処方法］
システムの時刻や日付を過去に戻した場合は、ジョブスケジューラのログファイルへの出力順序が時間的に前後してしまうため、ジョブスケジューラの履歴情報が正しく表示できなかったり、メッセージ待ち合わせが正しく動作しなくなったりといった問題が発生します。システムの時刻や日付を過去に戻した場合は、上記のような時系列に出力されるログ情報をすべてクリアして、システムをリブートしてください。
具体的には以下のログファイルを削除してください。
・ ジョブスケジューラのデータベースディレクトリの jobdb1.log、jobdb2.log、jobdb3.log ファイル
・ ジョブスケジューラのデータベースディレクトリの net.spool サブディレクトリ配下のすべてのファイル
・ ジョブ実行履歴情報ファイル
・ 稼働実績情報ファイル（保存するように設定している場合）
・ イベントログ【Windows 版の場合】

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Centric Manager と共存している環境で、Systemwalker Operation Manager の poperationmgr コマンドを実行しましたが、停止されないサービスがあります。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］poperationmgr /a コマンドを実行していないことが原因です。

［対処方法］Systemwalker Centric Manager と共通で使用するサービスを停止する場合は、poperationmgr /a コマンドを実行してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Job Designer において、Operation ワークシートで登録形態を「削除」とし、ジョブネット削除用のバッチジョブを作成すると、「オペランドの項目長が指定された長さを超えています」というエラーメッセージが出力されます。ファイル名は半角 160 文字以内で指定しています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］［登録ファイル名］に、ファイル名を入力していることが原因です。

［対処方法］登録形態「削除」の場合には、［登録ファイル名］にはジョブネット名を入力してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 異なる起動時刻が設定されている 3 つのジョブネットをグループとして登録しました。仮想時間を設定し、グループに含まれるジョブネットが設定した時刻どおりに起動するかどうかを確認したところ、意図していない起動時刻以前のジョブネットが起動されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［グループのプロパティ］ウィンドウの設定で［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］が有効になっている状態で、仮想時間を設定したことが原因です。本設定により、設定した仮想時間以前の起動予定のものも起動しました。

［対処方法］
［電源未投入時の処置として電源投入時に起動］が有効となっているジョブネットを起動させたくない場合は、無効操作により起動させない

方法を検討してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: クライアント業務連携の電源切断コマンド（POFFCLI.EXE）の「/SD」オプションに「down」を指定して電源を切断しようとしましたが、「電源が切れる状態になりました」の状態で止まってしまいました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
電源切断コマンド（POFFCLI.EXE）の「/SD」オプションに「down」を指定していることが原因です。

［対処方法］
電源切断を行う場合は、電源切断コマンド（POFFCLI.EXE）の「/SD」オプションを「poff」に変更してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 前日にジョブネットが異常終了し、そのままなにも操作せずにいたところ、翌日もスケジュールどおりに起動され、再度異常終了しました。前日に異常終了した場合、翌日以降の起動は抑止したいのですが、そのような運用はできますか？

A: できます。
［ジョブネットの確認操作を有効にする］の設定を有効にすることで、異常終了したジョブネットは、オペレータが「確認」の操作を行うまでは起動が抑止されます。
なお、［ジョブネットの確認操作を有効にする］の設定が無効になっている場合は、日変わり時刻の到来とともにジョブネットが実行待ちとなり、予定どおり実行されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 複数サーバ監視の画面で、サーバの状態が接続不可やアクセス拒否となっています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
被監視サーバにおいて、監視許可ホストに指定したホスト名から名前解決して得られる IP アドレスと、監視ホストのプライマリ IP アドレスが一致していないことが原因と考えられます。

［対処方法］
監視サーバ側、被監視サーバ側で以下の対処をしてください。

監視サーバ側
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの［監視ホスト定義の選択］ウィンドウで、監視サーバの IP アドレスを監視サーバのプライマリ IP アドレスに設定してください。

被監視サーバ側
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの［監視許可ホストの定義］ウィンドウで、監視サーバのプライマリ IP アドレスが定義されているか確認し、定義されていない場合は定義してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー情報の配付を実施すると、「Systemwalker MpMjes サービスの開始に失敗しました。コード=0x607」のエラーメッセージが出力されます。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
配付先サーバに［運用情報の定義］ウィンドウ－［ログ］シートの［ジョブ実行履歴情報を保存する］に記述されているディレクトリが存在しないことが原因です。

［対処方法］
［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウ－［運用情報の定義］ウィンドウ－［ログ］シートの［ジョブ実行履歴情報を保存する］に記述されているディレクトリを配付先サーバに作成してください。なお、ポリシー配付を再度実施する必要はありません。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 疑似正常終了が表示されません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［疑似正常を有効とする］が選択されていなかったことが原因です。

［対処方法］
Systemwalker Operation Manager の環境設定で、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］－［利用機能 1］シート内の［疑似正常を有効とする］を選択することで、疑似正常終了のステータスを表示することができます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行時のカレントディレクトリが意図しないディレクトリになっています。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブ実行時のカレントディレクトリの指定がないことが原因です。

ジョブ登録時に、［登録－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シートの［ディレクトリ］が指定されている場合
ジョブは、指定されたディレクトリへ移動後、実行されます。
なお、この動作は、［運用情報の定義］ウィンドウ－［旧互換］シートの［ジョブ登録時に指定したディレクトリに移動し、実行する］にチェックがある場合です。
チェックがない場合は、ジョブ実行制御の一時作業域で実行されます。

ジョブ登録時に、［登録－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シートの［ディレクトリ］が指定されていない場合
ジョブは、ジョブ実行制御サービスの一時作業領域へ移動後、実行されます。

［対処方法］
［登録－ジョブ］ウィンドウ－［基本情報］シートの［ディレクトリ］にカレントディレクトリを指定してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のバッチファイルから rsh を実行する時、実行ユーザーに Administrator を指定しましたが、systemwalker ユーザーで実行され、ジョブが異常終了します。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
環境設定で［ジョブを所有者の権限で実行する］が選択されていないことが原因です。

［対処方法］
［運用情報の定義］ウィンドウー［利用機能］シートの［ジョブを所有者の権限で実行する］にチェックをつけてください。
また、上記の設定以外に、以下の作業が必要です。

・ジョブ所有者のそれぞれのユーザーID に対して、ローカルセキュリティポリシーで「バッチジョブとしてログオン」の権限を与えます。
・［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウで［ジョブ所有者］ボタンをクリックして表示された［ジョブ所有者の定義］ウィンドウ(*)で、ジョブ所有者情報の定義を行います。
（*) V13.7.0 以降では、[運用情報の定義]ウィンドウ-[利用機能]シートの[ジョブ所有者設定]ボタンからも呼び出せます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット履歴を参照しようとすると、砂時計のマークが出たままになり、応答がなくなります。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ログファイルサイズを最大（99MB）にしていることが原因と考えられます。
履歴情報を取得するためにログファイルの内容を利用します。ログファイルのサイズが大きい場合は、ログファイルを処理する時間が長くなり、表示に時間がかかります。

［対処方法］
ログファイルサイズを見積もり、適正な値を設定してください。見積もった結果のログファイルサイズが、目安として 20MB を超える場合（注）は、［ジョブの履歴］ウィンドウの表示時間や、他の Systemwalker Operation Manager クライアントへのレスポンスの影響を十分検証した上で設定してください。

注）マシン性能や通信性能により、ログファイルサイズの適正値は変化します。あくまで参考値と考えてください。

ログファイルサイズの見積もりについては、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ネットワークジョブを動作させたところ、「終了コード:255(0x40000132)ネットワークジョブにおいて回線エラー、相手サーバーダウンなど、ジョブの続行が不可能になりました」というエラーが表示されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
実行サーバのサーバ高負荷、またはスケジュールサーバと実行サーバ間のネットワーク回線の不具合が原因と考えられます。

［対処方法］
実行サーバのサーバ高負荷、およびネットワーク回線の状況を確認してください。
なお、ネットワークジョブのリトライ間隔と回数の設定を見直すことで、ジョブの実行が失敗しても、リトライ処理を行うことができます。
リトライの設定については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.8 ジョブ実行制御の定義
2.8.1 運用情報の定義
■［運用情報の定義］ウィンドウの［ネットワーク］シート

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のプロジェクトに対するアクセス権の設定を Active Directory のグループに対して行いましたが、そのグループに所属しているユーザーでログオンしてもプロジェクトが見えない状態です。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
該当のグループ、ユーザーのどちらか、または両方が、Active Directory の OU 配下のユーザーであることによるものです。

［対処方法］
ドメインの「Users」オブジェクト配下に登録してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットにジョブを追加しましたが、ジョブの［コマンド］欄に Windows のコマンドである「date /t」を入力をするとエラーになります。原因と対処方法を教えください。

A: ［原因］
Windows の内部コマンドは、そのままではジョブとして登録することができません。
cmd.exe のオプションとして登録する必要があります。

［対処方法］
［登録／監視］ウィンドウ－［基本情報］シートの［コマンド］欄に登録する際に、「cmd.exe /c」を追加し、「cmd.exe /c date /t」と登録してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブが異常終了しました。異常終了したジョブ以降の特定のジョブから起動させたい場合の対処方法を教えてください。

A: ジョブネットの監視画面で、次回起動させたくないジョブ（起動させたい特定のジョブより前のジョブすべて）を「無効」操作して、ジョブネットを「起動」してください。なお、無効状態となったジョブは、次回スケジュール起動時に起動しません。次回スケジュール起動時に起動させるためには、上記のリカバリ処理が終了後、ジョブを「無効解除」してください。無効状態のジョブはジョブネット操作で起動すると、疑似的に正常終了（スキップ）するので、無効解除後は正常終了となります。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 拡張ユーザ管理機能で作成した Operation Manager ユーザーをプロジェクトのアクセス権の設定で使用することはできますか？

A: できます。
拡張ユーザ管理機能で作成した Operation Manager ユーザーをプロジェクトのアクセス権（更新権や参照権など）の設定で使用することは可能です。
詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 解説書
第 4 章 セキュリティ
4.2 Systemwalker Operation Manager のセキュリティ機能
4.2.1 拡張ユーザ管理機能【UNIX 版】

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.2 プロジェクトにアクセス権を設定する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris　Linux　HP-UX　AIX
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが異常終了した場合に、メールで管理者に通知させる方法を教えてください。

A: 以下の順で設定を行う必要があります。
1. ジョブネットの異常終了時にイベントログにエラーとしてメッセージ出力するように設定します。
2. イベントログにエラーとして通知された契機でメールを送信するための設定を行います。

設定についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義
2.9 イベント監視の定義【Windows 版】
2.9.2 アクション実行環境の定義

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 11 章 イベント監視・アクション管理をする【Windows 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ環境でのログファイルサイズの変更手順を教えてください。

A: 以下の手順で変更してください。

1. ［Systemwalker Operation Manager 環境設定［ログイン］］ウィンドウでログインします。
2. ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウを表示します。
3. ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［データベース］シートで［ログファイルの設定］のログファイルサイズを変更し、［OK］ボタンをクリックします。
4. ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウで［閉じる］ボタンをクリックします。
5. クラスタをフェールオーバさせ、待機系に切り替えます。
6. フェールバックさせ運用系に切り替えます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: イベントログに出力されるイベント ID が、［9002］の場合はすべて異常終了のメッセージですか？

A: 違います。

Systemwalker Operation Manager において、イベントログに出力されるイベント ID の［9002］は、すべてが異常終了のメッセージではありません。
［イベント出力の詳細設定］ウィンドウの［ジョブネットの状態］で指定する［異常終了］／［強制終了］／［実行中断］のメッセージもイベント ID［9002］として出力されます。
ジョブネットの状態に対応してイベントログに出力される、イベント ID およびテキストの内容について詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.7 ジョブスケジューラの定義
2.7.1 起動パラメタの定義
［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウの［イベント出力］シート

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 日をまたぐ処理を実施する際に、24 時間表記ではなく 48 時間表記にできますか？

A: 48 時間表記にすることはできません。

「基準ジョブネット」「他ジョブネット」の機能を利用して翌日に 24 時間表記でジョブネットを登録する（動作させる）ことを検討してください。
「基準ジョブネット」「他ジョブネット」については、以下のマニュアルを参照してください。
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.5 ジョブネット情報を設定する
なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ登録時のディレクトリ指定で、ディレクトリ名に空白が含まれている場合の登録方法を教えてください。

A: 以下のように登録してください。

1. 空白を含むコマンドやパスをバッチファイルに記述する。
2. 1.のバッチファイルを空白を含まない名前のフォルダに格納する。
3. 作成したバッチファイルをジョブとして Systemwalker Operation Manager へ登録する。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: スケジュールサーバと実行サーバの間でシステム時刻に差がある場合、何か問題はありますか？

A: 問題ありません。
なお、スケジュールジョブは、スケジュールサーバのシステム時刻によって起動（制御）されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 無効期間を指定したジョブネットが起動されてしまいました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［ジョブネットのプロパティ］－［基本情報］シートで［メッセージ事象発生時のみ起動］を指定し、かつ、［起動日のみ有効］の指定がないことが原因です。

［対処方法］
［メッセージ事象発生時のみ起動］を指定し、かつ、［起動日のみ有効］の指定を行ってください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット内の特定のジョブだけ特定の日付に起動しないような設定はできますか？

A: できます。
以下のように設定してください。
特定の日に起動させたくないジョブを子ジョブネットとして定義し、対象のジョブネットの中に登録します。さらに、該当の子ジョブネットには起動日を設定した上で、［登録－ジョブ］ウィンドウ－［制御情報］シートで［起動日のみ有効］を指定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschcontrol コマンドはジョブネット単位でジョブネットの操作を行うコマンドですが、ジョブ単位の操作を行うコマンドはありますか？

A: あります。
ジョブ単位の制御には、jobschctljob コマンドを使用してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.3.0 以降で、ジョブネットに［実行予測時間］を設定し、［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］を有効にしていますが、ジョブネットの実行が実行予測時間を超過した場合に Systemwalker Centric Manager へメッセージが通知されません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
［ジョブネットの終了予定時刻を過ぎても終了しない場合に通知を行う］が有効になっていないためと考えられます。

［対処方法］
［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートで［詳細設定］ボタンをクリックして表示される［イベント出力の詳細設定］ウィンドウで、［ジョブネットの終了予定時刻を過ぎても終了しない場合に通知を行う］を有効にしてください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 を V13.4.0 にバージョンアップしたときに、jobschmsgevent コマンドはそのまま使用できますか？

A: 非互換があるため、jobschmsgevent コマンドに指定するメッセージ事象名の長さに注意が必要です。V13.3.0 以降は、jobschmsgevent コマンドに指定するメッセージ事象名が 12byte に制限されます。

詳細は、以下のバージョンアップガイドを参照してください。
Systemwalker Operation Manager V13.4.0 バージョンアップガイド
第 3 章 移行時の注意事項と非互換項目
3.9 V13.2.0 から V13.3.0 への移行

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: サーバ起動時にジョブネットを起動する方法を教えてください。

A: 起動したいジョブネットの起動条件に［サーバ起動時に起動］を設定してください。あわせて、必ず起動日を設定してください。
設定についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 運用ガイド
第 4 章 ジョブをスケジュールする
4.2 ジョブのスケジュールを登録する
4.2.5 ジョブネット情報を設定する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 終了処理ジョブネットを作成しましたが、シャットダウンできません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
終了処理ジョブネットが登録されているプロジェクト名と Systemwalker MpJobsch サービスのスタートアップアカウントが異なることが原因と考えられます。

［対処方法］
終了処理ジョブネットが登録されているプロジェクト名と Systemwalker MpJobsch サービスのスタートアップアカウントを同一にしてください。
詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager　V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.6 ジョブスケジューラを使いこなすために
B.6.1 任意の時刻にシステムをシャットダウンする【Windows 版】

また、その他の原因や対処方法については、以下に記載がありますので、参考にしてください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.8 終了処理ジョブネットの動作がおかしい【Windows 版】
4.8.3 終了処理ジョブネットが正常終了しても、サーバがリブート/シャットダウンしない

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: あるジョブの処理が、想定している実行時間より長くかかっている場合に、処理を打ち切って再起動する方法を教えてください。

A: 打ち切り時間とリカバリジョブの定義をすることで、該当のジョブが打ち切り時間内に終了しない場合や異常終了した場合に、一度だけ再起動させることができます。

［設定手順］
■打ち切り時間の設定
［ジョブネットの変更］ウィンドウで該当のジョブを選択し、右クリックからプロパティを選択します。［登録－ジョブ］ウィンドウー［詳細情報］シートで［打ち切り時間］にチェックを入れ、任意の時間を設定します。
（この設定により、打ち切り時間の到来と同時にジョブは異常終了します）
■リカバリジョブの設定
該当ジョブの後続ジョブとして、リカバリジョブを作成します。
リカバリジョブには、正常終了するような任意のジョブを登録し、［登録－ジョブ］ウィンドウー［制御情報］シートで［リカバリ］にチェックを入れた上で、［元のジョブ再起動］を指定します。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ガントチャートで過去の実績を参照すると、表示されるまでに時間がかかります。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation Manager の環境設定で、ログファイルサイズに大きな値を設定していることが原因と考えられます。

［対処方法］
ログファイルサイズを見積もり、適正な値を設定した上で、Systemwalker Operation Manager のサービス／デーモンを再起動してください。

詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング

4.16 Systemwalker Operation Manager クライアントの動作がおかしい
4.16.17 ［ジョブの履歴］ウィンドウの表示に時間がかかる

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトの所有者と実行ユーザー名の両方が設定されていた場合に、スケジュールジョブはどちらの権限で実行されますか？

A: ［登録－ジョブ］ウィンドウー［詳細情報］シートで指定された［実行ユーザ名］の権限で実行されます。

プラットフォーム : Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行サーバ側で、ジョブ実行履歴を確認する方法を教えてください。

A: ジョブの実行履歴を実行サーバ側で確認する場合は、mjsview コマンド（ログファイル出力コマンド）を利用してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ起動するジョブネットを定義しています。このジョブネットが、メッセージ事象が発生したにもかかわらず、起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
メッセージを待ち合わせるジョブネットに［起動日のみ有効］が設定されているためと考えられます。
［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウー［メッセージ］シートの［起動日のみ有効］が設定されていると、非起動日にメッセージ事象が発生した場合には、受け取ることができません。

［対処方法］
［起動日のみ有効］の設定を外すか、ジョブネットの起動日にメッセージ事象が発行されるようにしてください。
メッセージ事象が受け付けられない場合についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 14 章 スケジュールされた業務の状態と動作
14.4 メッセージ事象とジョブネットの動作
14.4.3 メッセージ事象の受け付けについて

なお、上記以外の製品レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

また、ほかの原因や対処方法については、以下に記載がありますので、参考にしてください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.2 ジョブネットの動作がおかしい
4.2.9 メッセージ事象が発生しているにもかかわらず、ジョブネットが起動しない

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: BrightStor Arcserve Backup r11.5 のバックアップジョブを Systemwalker Operation Manager のジョブネットに組み込んで実施していますが、終了コード"25"が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
BrightStor Arcserve Backup r11.5 の環境において、mpsubasx コマンドを利用してバックアップされていることが原因です。

［対処方法］
BrightStor Arcserve Backup r11.5 を使用している場合は、mpsubasx コマンドによるバックアップ連携は、動作を保証していません。
Arcserve で提供されているバックアップコマンド（cabatch コマンド）を利用してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット遅延監視の設定をしていますが、警告メッセージが SYSLOG に記録されません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
/etc/syslog.conf に daemon.warning/user.warning の情報が出力されるよう設定をしていないことが原因と考えられます。

［対処方法］
以下の設定をしてください。
/etc/syslog.conf に、daemon.warning/user.warning の情報が出力されるように設定してください。
1.を実施後、syslogd に対して HUP シグナルを送信してください。

設定についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.13 ジョブスケジューラの動作がおかしい
4.13.25 デザイアドステート管理（ジョブ／ジョブネットの遅延監視）の機能が有効とならない

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager クライアントで、ホスト名／ユーザーID／パスワードを指定し［ログイン］ボタンを押すと、待機状態（砂時計）になってしまいログインできません。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
Systemwalker Operation Manager 共通基盤デーモンが使用するポート番号（9367/tcp）が、他のプロセスによって使用されていることが原因と考えられます。

［対処方法］
他プロセスのポート番号を変更するか、Systemwalker Operation Manager のポート番号を変更してください。

Systemwalker Operation Manager が使用するポート番号とその変更方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド

付録 C ポート番号一覧
第 2 章 Systemwalker Operation Manager の動作環境を定義する
2.2 システムの定義
2.2.2 ポート番号の変更方法

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブから起動しているバッチファイル内で、処理がすべて正常終了した場合に「setecode 0」を設定しています。本ジョブがエラーメッセージ「ジョブ実行制御 : ジョブ XXXXX の実行中に例外が発生しました。例外コードは 0xc0000005 です。」を出力して異常終了しました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
ジョブとして起動されるアプリケーションが不当なメモリにアクセスしたことが原因です。ジョブから起動されたバッチファイルで「setecode 0」を設定しても例外処理が発生した場合には、ジョブは異常終了します。

［対処方法］
例外コード「0xC0000005」で異常終了する場合の対処方法については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.2 ジョブが異常終了する
5.2.15 ジョブが例外コード 0xC0000005, 0xe06d7363 で異常終了する【Windows 版】

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブとしてバッチファイルを起動すると終了コード 255（0xe0434f4d）が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
例外コード：0xe0434f4d は、Systemwalker Operation Manager が設定するコードではありません。
このため、アプリケーション側の問題となります。
アプリケーションが、例外コード：0xe0434f4d で異常終了したことが原因です。

［対処方法］
アプリケーション自身について、異常終了（例外コード：0xe0434f4d）の原因を調査してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ファイル作成を待つ（chkfile/jobschchkfile）ジョブを定義しています。本ジョブが、ファイル作成途中にもかかわらず正常終了し、後続ジョブが実行されてしまいました。
原因と対処方法を教えてください。

A: ［原因］
chkfile コマンド(V13.7.0 以前の場合)および jobschchkfile コマンドは、ファイルの作成を待ち合わせますが、作成完了を待ち合わせませ

ん。このため、サイズの大きなファイルを作成した場合、作成開始から作成が完了するまでのタイミングで、chkfile、jobschchkfile コマンドは正常終了する場合があります。

［対処方法］
chkfile コマンド(V13.7.0 以前の場合)および jobschchkfile コマンドで大きいサイズのファイルの作成を待ち合わせる場合、作成後にダミーの（小さいサイズの）ファイルを待ち合わせるなどの考慮をしてください。
V13.8.0 以降の Windows 版の chkfile コマンドは、-a オプション指定で、ファイル作成完了を待ち合わせることができます。-a オプションを指定してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 親ジョブネットの起動日を月曜日から金曜日、子ジョブネットの起動日を月曜日から土曜日と設定していていますが、子ジョブネットが土曜日に起動しません。子ジョブネットを土曜日に起動させるための設定方法を教えてください。

A: 子ジョブネットは、親ジョブネットの起動に連動して起動します。親ジョブネットが起動日でない場合、子ジョブネットも起動しません。
子ジョブネットを土曜日に起動させたい場合は、親ジョブネットの起動日に土曜日を追加してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 新規のキューを作成する際、反映させるにはサービス／デーモンの再起動が必要だと聞きました。事前に新規のキューを作成する設定だけしておいて、数日後にサービス／デーモンを再起動させても問題ないですか？

A: 問題ありません。
サービス／デーモンを再起動させるまで新規のキューの設定は反映されませんが、数日後にサービス／デーモンを再起動させることは問題ありません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager を運用中に、運用予定のないジョブネットの一括削除を行った場合、ジョブネットの実行に遅延が生じることはありますか？

A: 実行中のジョブネットに遅延が生じる可能性があります。
ジョブスケジューラは、プロジェクトごとにまとまったジョブネットを管理対象として扱っています。そのため、短期間に大量にジョブネットに対しての操作（削除など）を行った場合は、遅延が生じる可能性があります。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 出力されるジョブ／ジョブネットに関するログについて、説明されているマニュアル箇所を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager が出力するジョブ／ジョブネットに関するログについては、以下のマニュアル箇所でまとめて説明をしています。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 20 章 ファイルリファレンス
20.1 ログファイル

Systemwalker Operation Manager V13.6.1 以前の場合は、下記のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.6.1 Q & A 集
第 1 章 環境に関する Q & A
1.8 Q: Systemwalker Operation Manager が出力するログファイルの種類とサイズ（保存期間）、保存世代は

また、履歴については、下記マニュアルを併せて参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 8 章 ジョブの履歴を参照する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: キューの多重度とそのキューで実行中のジョブ総数を確認する方法を教えてください。

A: キューの多重度とそのキューで実行中のジョブ総数は、［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウの業務ツリーから「キュー」を選択して表示される［キュー状態表示／操作］ウィンドウを確認してください。
また、qstat コマンドで確認することもできます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: [アクション環境設定]ダイアログボックス-[メール]シートの[SMTP サーバ]に IP アドレスを記載しています。将来的に IP アドレスが変更になることを考慮して、これをホスト名に変更しても問題ないですか？

A: 問題ありません。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 子ジョブネットやリンクジョブネットに対する「起動」操作はできますか？

A: できません。
ジョブネット内に配置したジョブネット（子ジョブネット、リンクジョブネット）に対して、「起動」操作はできません。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ実行制御の初期化ファイルには、GUI から設定した内容が反映されますか？

A: 反映されます。

ジョブ実行制御の初期化ファイルには、[Systemwalker Operation Manager 環境設定]ウィンドウの[運用情報]ボタンから表示される[運用情報の定義]ウィンドウで設定した内容が反映されます。

ジョブ実行制御の初期化ファイルについての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 B 運用情報をファイルで定義する
B.1 初期化ファイル(ジョブ実行制御)

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 日変わり時刻を 7 時 00 分に設定しています。jobschchecktime コマンドのオプションで「-wt 0800」を指定して、本コマンドが 24 時 00 分に実行された場合、翌日の 8 時 00 分までコマンド実行を待ち合わせますか？

A: 待ち合わせません。
jobschchecktime コマンドは、日変わり時刻を基準の時刻とするため、-wt オプションで指定した時刻を過ぎて本コマンドが実行された場合、待ち合わせを行わずに即時終了します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: システム時刻を変更する場合に、Systemwalker Operation Manager でバックアップしておくべきファイルを教えてください。

A: バックアップが必要な資産は、以下のとおりです。

■ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ配下のファイル
Windows 版 ： Systemwalker Operation Manager をインストールしたディレクトリの MpWalker.JM¥mpjobsch¥jobdb
Solaris 版 ： /var/opt/FJSVJOBSC
Linux 版 ： /var/opt/FJSVJOBSC
上記をサブディレクトリを含めてバックアップしてください。

■カレンダ情報のディレクトリ
Windows 版 ：Systemwalker Operation Manager をインストールしたディレクトリの MpWalker.JM¥mpjmcal¥caldb
Solaris 版 ： /var/opt/FJSVjmcal/caldb
Linux 版 ： /var/opt/FJSVjmcal/caldb
上記をディレクトリごとバックアップしてください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager が動作しているサーバが、ドメインコントローラとして動作しています。このサーバをドメインコントローラから降格させるときに、Systemwalker Operation Manager について必要な作業手順を教えてください。

A: ドメインコントローラから降格を行う場合に必要な作業内容および手順については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 導入ガイド
付録 D 導入環境の変更
D.5 ドメインコントローラへの昇格/ドメインコントローラからの降格

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ「MpJobsch: WARNING: 0332: The job net has skipped. JobNetComment=XXXX JobNetName=YYYY ProjectName=ZZZZ」が出力されました。メッセージが出力された原因と出力させない方法を教えてください。

A: [メッセージが出力された原因]
以下の 1）2）が共に満たされたことにより、メッセージが出力されました。
1） [ジョブスケジューラ起動パラメタの定義]ウィンドウ-[イベント出力]シートから開く[イベント出力の詳細設定]ウィンドウで、[ジョブネットの状態]-[スキップ]が選択されている。（V13.2.0 以前の場合は、[ジョブスケジューラ起動パラメタの定義]ウィンドウ-[イベント出力]シート上で設定）
2） 起動条件が整った時点で、ジョブネットが無効状態であったことからスキップされた。

[メッセージを出力させない方法]
[イベント出力の詳細設定]ウィンドウで、[スキップ]のチェックを外してください。なお、本設定は、全ジョブネットに対して有効になります。

プラットフォーム : Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動パラメタの定義の[イベント出力の詳細設定]ウィンドウで設定を変更した場合、すぐに有効になりますか？

A: なりません。
設定を反映させるためには、ジョブスケジューラサービス／デーモンの再起動を実施してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「実行継続モード」とは何ですか？

A: 実行継続モードとは、スケジュールサーバのシステムダウン時に、ネットワークジョブ・分散実行ジョブの実行を実行サーバ側で継続するかどうかを決定するための定義です。有効と無効の状態があります。初期値は、無効の状態です。

■有効の場合
ネットワークジョブ・分散実行ジョブは強制終了されず、実行が継続されます。次回スケジュールサーバが正常に起動されたタイミングで、実行サーバへジョブの状態を確認し、状態を取得します。

■無効の場合
ネットワークジョブ・分散実行ジョブは、強制終了されます。

なお、実行継続モードを有効にしても、実行サーバがシステムダウンした場合は、実行中のネットワークジョブは異常終了し、実行は継続されません。実行継続モードは、実行サーバのシステムダウン時に業務を継続するかどうかを設定するものではなく、スケジュールサーバのシステムダウン時に業務を継続するかどうかを設定するものです。

実行継続モードは、jmmode コマンドで変更（設定）します。
実行継続モードは、連携するすべてのサーバサブシステムで統一してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 強制終了させたジョブは実行させずに、次のジョブから実行させるには、どうしたらいいですか？

A: [ジョブネットの監視]ウィンドウで、強制終了しているジョブを右クリックし、[リカバリ操作]-[次のジョブから起動]を選択してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のサーバ間で、ネットワークジョブを使用してジョブの実行制御を行いたいと考えています。サブシステム運用でなくても使用できますか？

A: できます。
ネットワークジョブは、サブシステム運用でなくても使用できます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 手動で起動したジョブの実行時間が一定以上経過した場合にタイムアウト検知がしたいのですが、ジョブを強制終了させる場合も併せて、設定方法を教えてください。

A: 実行時間が一定以上経過した場合に、終了はさせずにメッセージ出力で検知する場合とジョブを強制終了させる場合の設定方法を説明します。

■イベントログ／SYSLOG にメッセージ出力させる場合
　あらかじめ、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートで［詳細設定］ボタンをクリックして表示される［イベント出力の詳細設定］ウィンドウで、［ジョブの実行予測時間を過ぎても終了しない場合に通知を行う］を有効にしてください。
　対象ジョブの［登録－ジョブ］ウィンドウ－［詳細情報］シートの［実行予測時間］で、ジョブの起動から終了までの予測時間を指定します。
　これにより、実行予測時間が経過してもジョブが終了しない場合に、イベントログ／SYSLOG にメッセージが出力されます。

■ジョブを強制終了させる場合
　［登録－ジョブ］ウィンドウ-［詳細情報］シートの［打ち切り時間］で、ジョブの実行経過時間の制限値を設定できます。［打ち切り時間］で指定した時間が経過すると、実行中のジョブが強制終了されます。

なお、上記を共に設定することで、メッセージ出力した上で、ジョブを強制終了させることもできます。その場合は、［打ち切り時間］に指定する値が［実行予測時間］に指定する値よりも大きくなるように設定してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: テスト用に作成したキューが不要となったため削除します。反映するにはサービス／デーモンの再起動が必要なため、すぐには反映させず、1 週間後に反映させる予定です。これにより何か不具合は生じますか？

A: 問題ありません。
変更内容が有効になるのは、ジョブ実行制御サービス／デーモンを次回起動した時になりますが、すぐに反映させないことで不具合は生じません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 環境変数である JC_JOBNAME について、ネットワークジョブの場合はジョブ名の末尾に「_」（アンダーバー）が付加されますか？

A: ネットワークジョブの場合、JC_JOBNAME 環境変数のジョブ名の末尾には、「_」（アンダーバー）が付加されます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager から実行したバッチジョブの結果と直接バッチジョブを起動した場合の結果とが異なっています。原因と対処方法を教えてください。

A: [原因]
Systemwalker Operation Manager からバッチジョブを実行するための実行権限が与えられていないことが原因と考えられます。
Windows 版 Systemwalker Operation Manager の場合、ジョブは“Systemwalker MpMjes”サービスの権限で動作します。また、[運用情報の定義]ウィンドウ-[利用機能]シートで[ジョブを所有者の権限で実行する]を指定している場合は、ジョブの実行ユーザーが指定されていれば実行ユーザー、ジョブの実行ユーザーが指定されていなければプロジェクトの所有者で動作します。

[対処方法]
該当ジョブの実行ユーザーを確認し、必要に応じて変更してください。

実行ユーザーの変更については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 5 章 ジョブ実行制御に関するトラブルシューティング
5.1 ジョブの実行結果がおかしい
5.1.7 権限不足でジョブが正常動作しない【Windows 版】

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager のポリシー抽出／配付で、[カレンダ]と[スケジュール・起動日雛形]の移行を行いましたが、一部のジョブネットの起動日が反映されていません。原因を教えてください。

A: 該当ジョブネットに対して、[起動日]ウィンドウで起動日を設定していたためと考えられます。
Systemwalker Operation Manager は、[カレンダ]のポリシー適用時に「カレンダ情報が変更された」と認識します。その際、変更したカレンダを使用しているジョブネットに対して、起動日の再作成を行います。その際、[起動日]ウィンドウで設定された起動日は特異日として扱われ、クリアされます。
なお、特異日がクリアされないようにするには、ポリシーの配付前に、配付先で起動日再作成の抑止機能を有効にしてください。

起動日再作成の抑止機能を有効にする方法についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manage V16.0.0 活用ガイド
第 1 章設計編
1.2 起動日の微調整をしたい

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 前日に実行予定だったグループが実行待ちの状態になっています。前日分のスケジュールを破棄し、本日分をスケジュールする方法を教えてください。

A: グループが前日のスケジュールで実行待ちの状態の場合は、グループに対して無効操作をしてから無効解除操作を行ってください。これにより、前日分の起動予定が破棄され、本日分がスケジュールされます。

なお、本日分のグループのうち、最初に実行されるジョブネットの起動時刻がすでに到来していた場合は、グループを手動で起動してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager に登録されたグループが、実行待ちの状態で日変わり時刻を迎えました。翌日も該当グループの起動予定がある場合、どのように起動されますか？

A: グループが実行待ちのまま日変わり時刻が到来した場合、実行待ち状態が引き継がれます。実行待ちのグループの起動条件が満たされたときに前日分のグループが実行され、実行終了後に当日分のスケジュールが作成されます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0 をインストールしましたが、スタートアップアカウントの入力画面がなく、スタートアップアカウントは作成されませんでした。Systemwalker Operation Manager は、どんな権限で動作しますか？

A: 「LocalSystem」の権限で動作します。
Systemwalker Operation Manager V13.4.0 以降では、インストール時にスタートアップアカウントが作成されません。

詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.4.0 バージョンアップガイド
第 1 章 バージョンアップ概要
1.2 V13.4.0 で変更された機能
1.2.2 スタートアップアカウント/サービス起動アカウント

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager サーバでアクション実行機能を使い、ジョブネットが終了

するとクライアントへポップアップ通知する設定をしていますが、ポップアップ通知がされない場合があります。原因と対処方法を教えてください。

A: [原因]
アクション実行を行うサーバ側で、Windows にログインしていないためと考えられます。Windows にログインした状態でないと、アクションは実行されません。

[対処方法]
Windows にログインした状態で、アクション実行の運用を行ってください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブスケジューラに登録されているプロジェクト単位、またはジョブスケジューラ自体を無効化することはできますか？

A: プロジェクト単位やジョブスケジューラ自体を無効化することはできませんが、プロジェクト内に対して一括操作で無効化することはできます。

プロジェクトを選択して、［ファイル］メニューまたは右クリックから［一括操作］－［すべて無効］を選択することで、プロジェクト内のすべてのジョブネット／グループを一括して無効化することができます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: プロジェクトに付与するアクセス権の設定において、ドメインのグループに対してアクセス権を付与することはできますか？

A: できます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット内の先行ジョブが終わっても、後続ジョブをすぐに起動したくない場合、意図的に先行ジョブの終了を遅らせることはできますか？

A: 意図的にジョブの終了を遅らせることはできません。

V13.8.0 以降では、後続ジョブの前に待ち合わせジョブを登録することで、後続ジョブを一定時間待った後、実行させることができます。ジョブネット内で、実行開始を一定時間待たせたいジョブの先行ジョブとして、指定時間待ち合わせジョブ(jobchsleep コマンド)をスケジュールします。指定時間待ち合わせジョブに待ち合わせたい時間を指定すると、指定時間経過するまでジョブが完了しません。指定時間経過するとジョブが完了し、後続ジョブが起動します。

V13.7.0 以前のバージョンレベルでは、Systemwalker Operation Manager のコンビニエンスツールで、代替方法を提供しています。先行後続ジョブの間にコンビニエンスツールのスリープするジョブを登録することで、後続ジョブの起動を遅らせることができます。

コンビニエンスツールのダウンロードおよびマニュアル参照は、ソフトウェア技術情報サイト
（URL：https://docs.fujitsu/documents/2589/systemwalker-operation-manager-technical-index.pdf）から行ってください。

プラットフォーム : Windows

バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが疑似正常終了をした場合のイベントを、Systemwalker Centric Manager で検知させメールを送付するアクションを定義していますが、疑似正常終了してもメールが送付されません。原因と対処方法を教えてください。

A: [原因]
［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［イベント出力］シートで、［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］の設定がされていないことが考えられます。

[対処方法]
［異常通知をイベントログ/SYSLOG に出力する］の設定を行い、［詳細設定］ボタンから表示される［イベント出力の詳細設定］ウィンドウで、［疑似正常］にチェックをつけてください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、実行中のグループに当日起動予定のジョブネットを追加しましたが、起動時刻が到来しても該当ジョブネットが起動しませんでした。原因と対処方法を教えてください。

A: [原因]
グループにジョブネットを追加したことにより、グループの起動予定が再作成されたためと考えられます。
起動予定が到来し、実行待ちのグループ内ジョブネットに対して、フロー／起動条件／起動日の変更を行った場合は、以降の起動予定がグループ全体で翌日以降に再スケジューリングされるため、当日は起動されません。

[対処方法]
グループ内ジョブネットの変更は、グループの起動予定時刻以前か、グループの終了後に実施してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 強制終了させたジョブを再起動させる方法を教えてください。

A: ［ジョブネットの監視］ウィンドウで、強制終了させたジョブを選択して右クリックし、［リカバリ操作］－［指定のジョブから起動］を選択するか、［フローの再起動］を選択してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 同時に起動できるジョブ数（多重度）の制限値を教えてください。

A: 1 つのシステムにおけるジョブの多重度の上限値は、999 です。
V16.0.1 以前の場合は、Windows 版で 99、UNIX 版で 999 です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 実行サーバの Systemwalker MpMjes サービスのスタートアップアカウントを「administrator」に変更しました。ネットワークジョブで使用したい環境変数は、「administrator」のユーザー環境変数に登録するのですか？

A: システム環境変数に登録してください。
Systemwalker Operation Manager から起動されるアプリケーションが参照できる環境変数は、システム環境変数だけです。ユーザー環境変数に登録しても参照することができません。
そのため、ネットワークジョブで使用したい環境変数は、実行サーバのシステム環境変数に登録してください。
また、当該ジョブの範囲で環境変数を設定したい場合は、[登録 – ジョブ]ウィンドウ-[詳細情報]シートの「環境変数」で、値を設定してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ある特定の日のジョブネットの起動予定を変更したいので、[運用予定]ウィンドウ、または起動日雛形での変更を考えていますが、それぞれの影響範囲がジョブネットなのかプロジェクト全体なのか教えてください。

A: [運用予定]ウィンドウで変更する場合、影響範囲は変更対象のジョブネットだけです。変更された日は特異日として、[運用予定]ウィンドウの表示どおりにジョブネットが動作します。
起動日雛形を変更する場合、起動日雛形を利用しているすべてのジョブネットに影響が発生します。対象のジョブネットは、[ジョブネットのプロパティ]ウィンドウの起動日に関する情報に従って、起動日が再作成されます。
なお、[ジョブネットのプロパティ]ウィンドウの起動日に関する情報（[起動日]/[カレンダ]/[運用期間]シート※）を変更し、起動日が再作成された場合、設定した特異日はクリアされるため、注意してください。

※[起動日]/[カレンダ]/[運用期間]シートは、V13.3.1 以前の場合。V13.4.0 以降は、[起動日]シート。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager サーバ停止状態のまま、ジョブネット起動予定時刻を過ぎました。その後、サーバを手動で起動した場合に該当ジョブネットは起動しますか？

A: サーバ停止中に起動予定時刻を迎えたジョブネットのサーバ起動後の動作は、[ジョブネットのプロパティ]ウィンドウ-[基本情報]シートの「電源未投入時の処置として電源投入時に起動」の設定により異なります。
・「電源未投入時の処置として電源投入時に起動」がチェックありの場合
　サーバ起動時にジョブネットが起動します。
・「電源未投入時の処置として電源投入時に起動」がチェックなしの場合
　サーバ起動後にジョブネットは起動しません。サーバ起動後の直近の次の起動予定がスケジュールされます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: コマンドを直接実行した場合と、Systemwalker Operation Manager のジョブとして実行した場合とで、実行ユーザー／実行ディレクトリ／環境変数にどんな違いがあるかを教えてください。

A: 以下の違いがあります。

・実行ユーザー
　直接起動：OS のログオンアカウント、または指定したアカウント
　ジョブ起動：ジョブ実行制御サービスのログオンアカウント、または指定した実行ユーザー
・実行ディレクトリ
　直接起動：起動したディレクトリ
　ジョブ起動：一時ディレクトリ、または指定したディレクトリ
・環境変数
　直接起動：システム環境変数、およびユーザー環境変数
　ジョブ起動：システム環境変数

上記についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。
　Systemwalker Operation Manager V17.0.0 Q & A 集
　　第 5 章 ジョブ実行制御に関する Q & A
　　5.4 Q: 直接起動と Systemwalker Operation Manager からの起動における実行環境の差異は【Windows 版】

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ A が異常終了した場合にリカバリジョブが実行されるように定義しています。リカバリジョブの「元のジョブ再起動」設定により、ジョブ A が再実行された結果、再び異常終了した場合にはどうなりますか？

A: ジョブネットが異常終了します。
リカバリジョブは、「元のジョブ再起動」を有効にすることで、1 回だけジョブ A を再起動することができます。再起動されたジョブ A が再び異常終了した場合は、ジョブネットが異常終了します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 子ジョブネット内のジョブが異常終了した場合に、子ジョブネットの次のジョブから起動する方法を教えてください。

A: 異常終了した子ジョブネットのプロパティ画面で、［次の再起動のみ無効］を設定し、親ジョブネットを再起動してください。
これにより、異常終了した子ジョブネットは無効扱いとなるため、中のジョブを実行することなく正常終了となり、次のジョブから起動されます。

■手順
1.　異常終了している子ジョブネットの右クリックメニューで、［プロパティ］を選択し、子ジョブネットの［監視 – ジョブ］ウィンドウを表示させます。
2.　［制御情報］シートで［次の再起動のみ無効］にチェックをし、［OK］で画面を閉じます。
3.　親ジョブネットの右クリックメニューの［操作］から［再起動］を選択します。
　なお、［次の再起動のみ無効］を使用した場合は、次回分の再起動時のみ無効扱いとなるため、その後無効解除などの作業は不要です。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.4.0 以降で、ジョブネットのプロパティから起動日選択のために、カレンダを呼び出し[編集]ボタンを押すと、「実行時エラー”429”ActiveX コンポーネントは、オブジェクトを作成できません。」と表示されました。原因と対処方法を教えてください。

A: [原因]
Systemwalker Operation Manager クライアント機能をインストール後に、.NET Framework をインストールしたことが原因と考えられます。
.NET Framework は、Systemwalker Operation Manager クライアント機能をインストールする前にインストールされている必要があります。

[対処方法]
クライアント機能のインストール時に自動設定される内容を、手動で設定してください。

■設定方法
システム管理者権限で、コマンドプロンプトから以下を実行してください。

[Windows のディレクトリ]¥Microsoft.NET¥Framework¥v2.0.50727¥regasm.exe [Operation Manager のインストールディレクトリ]¥mpwalker.jm¥bin¥Fujitsu.OPMGR.Forms.Interop.dll /tlb:[Operation Manager のインストールディレクトリ]¥mpwalker.jm¥bin¥com.Fujitsu.OPMGR.Forms.Interop.tlb
---
Systemwalker Operation Managerと.NET Framework のインストール／アンインストールに関する注意事項については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V13.4.1 導入手引書
第 1 章 Systemwalker Operation Managerを導入する
1.3 Windows へインストールする
1.3.1 インストール前の注意事項

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager デーモン再起動時に以下のエラーが出力されます。原因と対処方法を教えてください。「/opt/FJSVJMCMN/bin/jmnetsv: error while loading shared libraries: libelf.so.1: cannot open shared object file: No such file or directory」

A: [原因]
「elfutils パッケージ」がインストールされていないか、Systemwalker Operation Manager の 32bit 版導入環境に、64bit 版の「elfutils パッケージ」がインストールされている、またはその逆であることが原因と考えられます。
elfutils パッケージは、Systemwalker Operation Manager の必須パッケージです。
[対処方法]
Systemwalker Operation Manager に合わせたアーキテクチャの最新 elfutils パッケージをインストールしてください。elfutils パッケージのインストール後に、Systemwalker Operation Manager を再起動してください。
なお、システムの再起動は必要ありません。

プラットフォーム : Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager クライアントでジョブスケジューラを選択すると「コネクト要求が拒否されました。Systemwalker Operation Manager サーバが起動されていないか、または、ポート番号が一致しません」が出力されました。原因と対処方法を教えてください。

A: [原因]
ジョブスケジューラサービス／デーモンが起動直後であったためと考えられます。ジョブスケジューラサービス／デーモンは、起動が完了するまで、Systemwalker Operation Manager クライアントからの要求を受け付けません。
ジョブスケジューラサービス／デーモンの起動に時間がかかる原因として、以下が考えられます。

ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ中に存在するファイルが多い場合（起動時にジョブスケジューラが権限をチェックするため）
スケジュール情報が非常に多い場合（スケジュール処理に時間がかかるため）

[対処方法]
しばらく待ってから再度、Systemwalker Operation Manager クライアントで、ジョブスケジューラを選択してください。
本メッセージが出力された場合の原因／対処の詳細については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.16 Systemwalker Operation Manager クライアントの動作がおかしい
4.16.7 ジョブスケジューラサービスの起動直後に、Systemwalker Operation Manager クライアントでジョブスケジューラを選択すると「コネクト要求が拒否されました。Systemwalker Operation Manager サーバが起動されていないか、または、ポート番号が一致しません」が出力される

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 起動日設定時に基準情報で[毎月]を指定し[月末]にチェックした場合、閏年や 30 日までしかない月についても、月の末日にジョブネットは起動しますか？

A: 起動します。他に設定は必要ありません。
なお、閏年の場合は、自動的に 2/29 を月の末日とします。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 「基準ジョブネット」とは何ですか？

A: 他のジョブネットの起動日設定の基準となるジョブネットのことです。他のジョブネットから、起動日の基準として参照することができるようになります。

基準ジョブネットにするには、［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［起動日］シートの［基準ジョブネットとする］（V13.3.1 以前の場合は、［基準ジョブネット］）を指定します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブ名が格納される JC_JOBNAME 環境変数の内容（ジョブ名）で、先頭にジョブ名にはない「J」が付加されています。問題ありませんか？

A: 問題ありません。
ジョブ名が数字で始まる場合に、JC_JOBNAME 環境変数の先頭に「J」が付加されます。
例えば、ジョブ名に「12345678」と設定したジョブを実行した場合、該当ジョブの JC_JOBNAME 環境変数の内容は「J12345678」となります。
なお、64 バイトを超えるジョブ名が指定されていた場合は、「J」を含めた先頭 64 バイトがジョブ名として有効になります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: あるプロジェクト配下のジョブネットすべての起動日の確認ができるコマンドを教えてください。

A: jobschprint -l、jobschprint -m または jobschprint -s コマンドを使用してください。

■jobschprint -l、jobschprint -m コマンド
コマンド実行ユーザーが参照可能なジョブネットについて、指定した年月の運用予定一覧を出力します。-l の場合はジョブネット名称も出力します。
［運用予定］ウィンドウに近い形式で確認することができます。

■jobschprint -s コマンド
コマンド実行ユーザーが参照可能なジョブネットについて、3 年分（今年／来年／再来年）の起動日一覧を出力します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、1 つのプロジェクトに 255 個を超えてジョブネットを登録したら、メッセージ「MpJobsch: Warning: 0334: ジョブネット数が上限を超えました。」が出力されました。対処方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager Standard Edition の場合は、1 つのプロジェクト内に登録できるジョブネット数は、最大 255 個までです。
上限を超えたプロジェクトに不要なジョブネットがある場合は、そのジョブネットを削除し、上限を超えないようにしてください。
削除するジョブネットがない場合は、上限を超えたプロジェクトとは別のプロジェクトにジョブネットを登録してください。
1 プロジェクト内に上限(255)を超えたジョブネットを登録したい場合は、Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition を使用してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、1 つのプロジェクトに登録するジョブネット数が、制限値の 255 個を超えてしまった場合、どのような問題が発生しますか？

A: Systemwalker Operation Manager Standard Edition で、同一プロジェクトに登録できるジョブネット数の制限値は 255 個です。
制限値を超えて登録した場合に発生する可能性のある問題については、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.2 ジョブネットの動作がおかしい
4.2.2 意図した時間にジョブネット/ジョブが起動しない
4.9 ジョブスケジューラのコマンドまたは API の動作がおかしい
4.9.10 ジョブスケジューラのコマンドまたは API の実行に時間がかかる
4.13 ジョブスケジューラの動作がおかしい
4.13.9 ジョブスケジューラが起動するまでに時間がかかる
4.13.10 ジョブネットの操作に時間がかかる
4.16 Systemwalker Operation Manager クライアントの動作がおかしい
4.16.3 クライアントのレスポンスが遅い/返ってこない

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ起動ジョブネットを登録しています。発生したメッセージ事象とジョブネットの動作について知りたいので、説明されているマニュアル箇所を教えてください。

A: メッセージ事象とメッセージ起動ジョブネットの動作については、以下のマニュアルで説明しています。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
第 14 章 スケジュールされた業務の状態と動作
14.4 メッセージ事象とジョブネットの動作

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: jobschprint -g コマンドを実行して出力されるジョブネット実行履歴情報をクリアしたいのですが、クリアする方法を教えてください。

A: ジョブスケジューラサービス／デーモンを停止した上で、以下のジョブネットの履歴ファイルを削除してください。
ジョブスケジューラのデータベースディレクトリ配下の jobdb1.log/jobdb2.log/jobdb3.log

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ運用をしています。ジョブネット実行履歴情報をクリアする手順を教えてください。

A: 以下の手順に従って作業してください。

[手順]
1. Systemwalker Operation Manager のデーモン／サービスを停止します。
2. 共有ディスクをマウント（オンラインに）し、jobdb1.log/jobdb2.log/jobdb3.log を削除します。
3. 共有ディスクをアンマウント（オフラインに）します。
4. Systemwalker Operation Manager のデーモン／サービスを起動します。

なお、クラスタシステムにおけるデーモン／サービスの起動／停止についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 4 章 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム固有の手順
4.5 Microsoft(R) Fail Over Clustering システムにおけるサービスの起動/停止

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 4 章 PRIMECLUSTER Solaris 版システム固有の手順
4.3 PRIMECLUSTER システムにおけるデーモンの起動/停止
第 5 章 PRIMECLUSTER Linux 版システム固有の手順
5.3 PRIMECLUSTER システムにおけるデーモンの起動/停止
第 6 章 Oracle Solaris Cluster システム固有の手順
6.3 Oracle Solaris Cluster システムにおけるデーモンの起動/停止

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ガントチャートの表示情報が格納されているログファイルを教えてください。

A: ガントチャートは、データベースディレクトリ配下の jobdb1.log/jobdb2.log/jobdb3.log ファイルから表示しています。
表示される情報は、3 つのログファイルのうち、最新 2 世代のファイルに保存されている情報の範囲です。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: イベント発生時にメール通知させたいのですが、SMTP のポート番号の変更方法を教えてください。

A: ポート番号の変更は、Windows OS の services ファイルの smtp 行を変更してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: イベント発生時にメール通知させたいのですが、SMTP 認証に対応していますか？

A: 対応していません。
Systemwalker Operation Manager では、SMTP 認証や POP before SMTP、SMTP-AUTH の POP 認証に対応していません。メール送信には、これらの認証を必要としない SMTP サーバを使用してください。

プラットフォーム : Windows
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットのプロパティを変更すると、メッセージ事象の発生状況はクリアされますか？

A: クリアされます。
ただし、以下の情報だけを変更した場合、発生済みのメッセージ事象はクリアされません。

■［ジョブネットのプロパティ］－［基本情報］シート
・ ジョブネット名称
・電源未投入時の処置として電源投入時に起動
・［サーバ起動時に起動］の［一日一回］
・デフォルトホスト名
■［ジョブネットのプロパティ］－［起動日］シート
・ 基準ジョブネットとする

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition および Global Enterprise Edition のクラスタ環境で、Systemwalker Operation Manager が正常に起動していることを確認する方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager の mppviewo コマンドと OS の ps コマンドで確認してください。

通常、Systemwalker Operation Manager のプロセスの動作状況は、mppviewo コマンドで確認できます。しかし、クラスタ環境の場合は、ジョブ実行制御デーモンとジョブスケジューラデーモンは、プロセス監視対象から外されているため、mppviewo コマンドでは確認が行えません。
これらのデーモンについては、ps コマンドで確認してください。ps コマンドを実行し、以下のプロセスが起動されていることで確認できます。

mjsdaemon、mjsnetsv（ジョブ実行制御デーモン）
tskmnsrv（ジョブスケジューラデーモン）

プラットフォーム　: Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが終了コード 239 で異常終了すると、ID:9002 のイベントが出力されます。終了コード 239（実行中断）の場合はイベント出力しないようにする方法を教えてください。

A: ［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートから開く［イベント出力の詳細設定］ウィンドウで、［ジョブネットの状態］－［実行中断］のチェックを外してください。
（V13.2.0 以前の場合は、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シート上で設定）
これにより、実行中断のイベントは出力されなくなります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: デスクトップヒープの設定について、Systemwalker Operation Manager をバージョンアップしたことによる影響はありますか？

A: 影響はありません。
しかし、Windows Server 2008 以降を利用されている場合、デスクトップヒープとして利用できるシステムの領域が拡張されています。このため以下の設定を推奨しております。ご確認をお願いします。

以下のレジストリ(SharedSection)の第 3 パラメタを“3072”に変更します。
・キー：HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥Control¥Session Manager¥SubSystems
・名前：Windows
・値：SharedSection の第 3 パラメタ
－ 変更前(Windows Server 2012 の例)
SharedSection=1024,20480,768
－ 変更後(Windows Server 2012 の例)
SharedSection=1024,20480,3072(*)
(*)SharedSection の第 3 パラメタの値が 3072 より大きい場合は、変更しないでください。

［注意事項］
・レジストリを編集する際には、事前にバックアップの作成をお願いします。
・レジストリの SharedSection の値を変更した場合、変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。
・上記設定の"3072"はデフォルトの推奨値であり、具体的な数値はジョブ運用の規模に応じて、以下を参照して調整してください。
Systemwalker Operation Manager V17.0.0 運用ガイド
付録 B 留意事項
B.2 運用前に知っていただきたいこと
B.2.9 デスクトップヒープについての注意【Windows 版】
なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 当日のスケジュールが反映されるタイミングを変更する方法を教えてください。

A: 当日のスケジュールの作成は、日変わり時刻を契機に行われます。
変更する場合は、日変わり時刻の変更が必要です。
[Systemwalker Operation Manager]ウィンドウのツリーで、[カレンダ]-[SYSTEM_CALENDAR]を選択し、[オプション]メニュー-[日変わり時刻]を選び、時刻を変更してください。
なお、日変わり時刻の変更は、ジョブネットの起動予定日が変わる場合があるなど、運用に影響を及ぼすため注意が必要です。
日変わり時刻の変更および注意事項についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 運用ガイド
第 2 章 カレンダを設定する
2.2 日変わり時刻を設定する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 日変わり時刻の変更方法を教えてください。

A: ［日変わり時刻の登録］ダイアログボックスで変更してください。
以下の操作でダイアログボックスを表示できます。
・［Systemwalker Operation Manager］ウィンドウのツリーで、［カレンダ］－［SYSTEM_CALENDAR］を選択し、［オプション］メニューで［日変わり時刻］を選択

日変わり時刻の変更には、注意が必要です。変更による影響については、以下のマニュアル箇所の「注意」の記載を参照してください。

Systemwalker Operation Manager V16.0.0 運用ガイド
第 2 章 カレンダを設定する
2.2 日変わり時刻を設定する

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: [ジョブネットのプロパティ]ウィンドウ-[基本情報]シートの「運用指示」がグレーアウトされています。理由を教えてください。

A: マスタスケジュール管理機能（V13.3.1 以前はスケジュール分散機能）の環境が、構築されていないためです。
本項目は、マスタスケジュール管理機能が有効な場合に設定可能となります。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［基本情報］シートの「運用指示」は、何を設定する項目か教えてください。

A: マスタスケジュール管理機能（V13.3.1 以前はスケジュール分散機能）有効時に、「当日中にジョブネットの実行ができずに翌日に持ち越さ

れた場合、どのように対処するのか」を決めるための設定項目です。
「打ち切り」「完了待ち」「並列走行」「オペレータ対処」から選択できます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: マスタスケジュール管理機能（V13.3.1 以前はスケジュール分散機能）で、「運用指示」の設定内容ごとのジョブネットの動作について教えてください。

A: 「運用指示」の設定内容の違いによるジョブネットの動作については、以下のマニュアルで説明しています。参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 マスタスケジュール管理 ユーザ-ズガイド
第 4 章 監視/操作
4.2 持ち越しジョブネットを監視/操作する
4.2.1 持ち越しジョブネットの状態と操作について
4.2.1.4 運用指示ごとのジョブネットの動作

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: マスタスケジュール管理機能（V13.3.1 以前はスケジュール分散機能）で、「運用指示」が有効になるのはいつですか？

A: 日変わり時刻のタイミングで、有効になります。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: グループ内ジョブネットとして先行ジョブネット A に続く後続ジョブネット B を定義しています。ジョブネット B は、メッセージ起動のジョブネットで、起動条件には「起動時刻の到来を待つ」を設定していませんが、起動時刻とメッセージ事象の発生が共に成立しないと起動しません。原因を教えてください。

A: 後続ジョブネット B に［起動時刻有効］が設定されているためです。
グループ内の先行ジョブネットのあるジョブネットが［起動時刻有効］となっている場合、［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［メッセージ］シートの［起動時刻の到来を待つ］の指定にかかわらず、先行ジョブネットの正常終了、およびメッセージ事象の発生と起動予定時刻の到来を待ち合わせます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブネットが「疑似正常」で終了した場合、イベントログ／SYSLOG にメッセージ出力されますか？

A: インストール時の設定では、出力されませんが、以下の設定を行うことで、出力させることができます。

疑似正常をイベントログ／SYSLOG に出力する場合は、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウ－［イベント出力］シートの［詳細設定］ボタンをクリックして表示される［イベント出力の詳細設定］ウィンドウで、［疑似正常］をチェックしてください。（V13.2.0 以

前の場合は、［ジョブスケジューラ起動パラメタの定義］ウィンドウー［イベント出力］シートの［疑似正常］をチェックしてください。）

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition または Global Enterprise Edition で、クラスタ運用を行っています。運用系から待機系のサーバに対してネットワークジョブを投入しましたが、ジョブを起動できません。理由を教えてください。

A: フェールオーバしていない待機系の Systemwalker Operation Manager にネットワークジョブの実行を指示したためと考えられます。
フェールオーバしていない待機系のサーバでは、Systemwalker Operation Manager の機能は使用できません。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager を停止させずに OS のシステム時刻を変更してしまいました。影響と対処方法を教えてください。

A: Systemwalker Operation Manager を停止させずにシステム時刻を変更した場合、ジョブネットが意図した時刻に起動しない、履歴が正しく表示されないなど動作に影響が出ます。

下記マニュアルを参照し、記載の手順で対処してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 トラブルシューティングガイド
第 4 章 ジョブスケジューラに関するトラブルシューティング
4.2 ジョブネットの動作がおかしい
4.2.1 意図しない時間にジョブネットが起動した
対処 2

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　：Windows　Solaris　Linux
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 は、SolarisOS のパスワード暗号化方式の MD5 に対応していますか？

A: Systemwalker Operation Manager V13.2.0 は、MD5 認証方式に対応していません。
このため、クライアントの接続時に Systemwalker Operation Manager のプロセスが停止するという問題が発生します。
Systemwalker Operation Manager は、V13.3.0 以降で MD5 認証方式に対応しています。

プラットフォーム　：Solaris
バージョン　：V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブを所有者の権限で実行する］の指定の有無でジョブ実行時の権限はどのように変わるか教えてください。

A: ［ジョブを所有者の権限で実行する］の指定の有無によるジョブ実行時の権限は、以下のとおりとなります。なお、［ジョブを所有者の権限で

実行する］は、［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの［運用情報］をクリックして表示される［運用情報の定義］ウィンドウー［利用機能］シートで設定できます。

■［ジョブを所有者の権限で実行する］指定なしの場合
Systemwalker MpMjes サービスのログオンアカウントで実行されます。

■［ジョブを所有者の権限で実行する］指定ありの場合
・スケジュールジョブの場合
プロジェクトの所有者、または［登録－ジョブ］ウィンドウ-［詳細情報］シートの［実行ユーザ名］が指定されている場合は、指定したユーザで実行されます。
・デマンドジョブの場合
ジョブを投入したユーザで実行されます。ただし、qsub コマンド、またはジョブ投入 API で、-cu オプションを指定した場合は、-cu オプションに指定したユーザで実行されます。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Centric Manager でジョブの監視を行います。Systemwalker Operation Manager でジョブが異常終了した際、ジョブ単位でイベントログ／SYSLOG に出力させて検知するにはどのような方法がありますか？

A: イベントログ／SYSLOG へのメッセージ出力は、ジョブネット単位です。
ジョブ単位で出力させたい場合は、「ジョブ終了出口」を利用してください。ジョブ終了出口を作成した場合、ジョブ名／終了コード／状態が格納された一時ファイルが出力されます。ジョブ終了出口で、この一時ファイルを読み込み、イベントログに出力するプログラムを作成してください。

ジョブ終了出口についての詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 リファレンス集
第 19 章 出口情報
19.3 ジョブ終了出口

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager Enterprise Edition で、クラスタ運用しています。フェールオーバを発生させずに Systemwalker Operation Manager の各サービス／デーモンを再起動する方法を教えてください。

A: クラスタリソースの停止後、poperationmgr コマンド、soperationmgr コマンドでその他のサービス／デーモンを再起動してください。

手順の詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド Windows 編
第 4 章 Microsoft(R) Fail Over Clustering システム固有の手順
4.5 Microsoft(R) Fail Over Clustering システムにおけるサービスの起動/停止

Systemwalker Operation Manager V17.0.0 クラスタ適用ガイド UNIX 編
第 3 章 運用
3.2 クラスタシステムにおけるデーモンの起動/停止

なお、上記以外の製品バージョン／レベルについては、該当するマニュアル箇所を参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ［ジョブネットのプロパティ］ウィンドウ－［メッセージ］シートの［ジョブネット実行中も有効］の指定の有無による動作の違いを教えてください。

A: ジョブネット実行中に待ち合わせているメッセージ事象が発生した場合のジョブネットの動作に以下の違いがあります。

・「ジョブネット実行中も有効」を指定した場合

　ジョブネット実行中にメッセージ事象が発生しても、メッセージを「有効」として扱います。有効として処理するため、起動条件を満たしたと認識され、実行中のジョブネットが終了後、すぐに再度ジョブネットが起動します。ジョブネット実行中に発生したメッセージ回数分、ジョブネットが繰り返し起動されます。

・「ジョブネット実行中も有効」を指定しない場合

　ジョブネット実行中にメッセージ事象が発生しても、メッセージを「無効」として扱います。無効として処理するため、実行中のジョブネットは終了後に起動されません。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: 疑似正常を有効にし、イベント出力設定をしています。ジョブネットが疑似正常の場合に、警告メールを送信させたいのですが、設定方法を教えてください。

A: 疑似正常がイベントログに通知された契機で、メールを送信させるための設定を以下のように行ってください。

1. Systemwalker Operation Manager 画面で、[オプション]メニューから[イベント監視の条件定義]ウィンドウを表示させます。
2. [環境設定]メニュー-[アクション環境設定]を起動します。
3. [アクション環境設定]ダイアログボックス-[メール]シートの「E-Mail」で、[SMTP サーバ名]/[From アドレス]の設定を行います。
4. [イベント監視の条件定義]ウィンドウ-[イベント]メニュー-[イベントの追加]-[イベントログ]を選択し、イベントログのメッセージを特定する条件を設定します。ジョブネットが疑似正常すると、以下のメッセージがイベントログに出力されるようになるため、イベント監視の条件定義でヒットさせるように定義してください。

　<イベントログメッセージ>
　ログ：アプリケーションログ
　イベント ID：9005
　ラベル名：MpJobsch
　エラー種別：情報
　説明：ジョブネットが疑似正常終了しました ジョブネット名称=a ジョブネット名=b コード=c プロジェクト名=d

5. 追加したイベントを右クリックし[アクションの設定]を選択します。
6. [アクション定義]ダイアログボックス-[メール]シートを選択し、[メールによる通知を行う]にチェックを入れます。
7. 宛先リストに通知先のアドレスを指定します。

　[イベント内容を送信する]にチェックをつけることで、表題や送信したい文字列を指定することができます。必要に応じて[詳細]ボタンから、メールで送信する情報を設定してください。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: メッセージ事象を待ち受けるジョブネットを定義しています。このジョブネットを手動で起動した場合にメッセージの発生回数はクリアされますか？

A: クリアされません。

手動でジョブネットを起動したときには、スケジュールで定義された起動条件に従って起動されるわけではないため、メッセージ事象の発生はクリアされません。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: jobschmsgclear コマンドを実行すると、[メッセージ事象一覧]ウィンドウで表示される「発生日時」はクリアされますか？

A: クリアされません。
[メッセージ事象一覧]ウィンドウの「発生日時」は、最後にメッセージ事象が発生した日時が表示されたままになります。「発生回数」だけが「0」にクリアされます。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 複数のメッセージ事象を待ち受けるジョブネットを定義しています。メッセージ事象の発生回数が異なる状態で、このジョブネットに対して jobschmsgclear コマンドを実行すると、発生回数はどうなりますか？

A: 発生済のすべてのメッセージ事象の発生回数が「0」になります。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: 日変わり時刻をまたいで実行されたジョブネットがあります。このジョブネットが終了した日のガントチャートを確認すると該当ジョブネットが表示されていませんでした。理由を教えてください。

A: [ガントチャート]ウィンドウには、本日が非起動日のジョブネットは表示されないためです。ガントチャートは、ジョブネットの起動予定（開始）時刻を基に、25 時間分の情報を表示します。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット内のあるジョブが異常終了し、ジョブネットが「確認済」の状態となっています。日変わり時刻を迎えると、このジョブネットおよび、ジョブネット内の各ジョブの状態は「実行待ち」に変わりますか？

A: ジョブネットの状態は、日変わり時刻のタイミングで「実行待ち」に変わりますが、ジョブはジョブネット起動のタイミングで状態が変わります。

日変わり時刻を迎えると、該当ジョブネットの状態は、「確認済」から「実行待ち」に変わります。該当ジョブネット内の各ジョブの状態は、日変わり時刻を迎えた時点では変化はありません。無効化しているジョブを除き、該当ジョブネット起動時に先頭ジョブが「実行中」、後続ジョブが「実行待ち」となり、順次実行されていきます。なお、前回異常終了したジョブも同様です。

プラットフォーム　: Windows　Solaris　Linux
バージョン　: V17　V16　V13

【運用／保守】

Q: グループの情報をコマンドで移行する方法を教えてください。

A: グループの情報は、以下の手順で移行してください。

1. ジョブネットが登録された状態で、jobschprint -R コマンドを実行し、グループ制御文およびグループ内ジョブネット制御文を抽出します。
2. 1.で抽出した情報をもとに、移行先で jobschsetgrp -ent を実行して登録します。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: エクスポート／インポート機能を利用し、ジョブネットの情報を同一サーバの別のプロジェクトにコピーします。ジョブネット名が同じために、コピーした別プロジェクトのジョブネットと元々のジョブネットが混同して処理されるようなことはありますか？

A: ありません。
ジョブスケジューラは、プロジェクトを先頭とするツリー構造で各情報を認識します。そのため、プロジェクトが異なればジョブネット名が同一でも、別のジョブネットとして扱われ、混同して処理されるようなことはありません。また、ジョブスケジューラが出力するログにもプロジェクト名が記載されているので混同するようなことはありません。
ただし、ジョブネットの起動条件がメッセージ事象であった場合には、注意が必要です。メッセージ事象を発生させる jobschmsgevent コマンドを、プロジェクト名を指定しないで実行した場合に、発生したメッセージ事象を両方のジョブネットが受け取ってしまいます。区別する必要がある場合は、プロジェクト名を指定して、jobschmsgevent コマンドを実行してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブネット情報のエクスポート時に該当のジョブネットが実行中であっても問題ありませんか？また、エクスポート／インポート時に該当のジョブネット以外のジョブネットが実行中であっても問題ありませんか？

A: 問題ありません。
エクスポート時に該当のジョブネットが実行中であっても問題ありません。
また、エクスポート／インポート時に該当のジョブネット以外のジョブネットが実行中であっても、問題なくエクスポートできます。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ジョブとしてバッチフレームワークジョブを登録します。ジョブ名の規約や制限で、他のジョブとの違いがありますか？

A: Systemwalker Operation Manager におけるジョブ名の規約に加えて、バッチフレームワークジョブ側の規約に従う必要があります。

バッチフレームワークジョブ側の規約については、Interstage Job Workload Server のマニュアルを参照してください。

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager クライアント V13.6.0 以降にて、以下の画面表示に数分かかります。原因と対処方法を教えてください。

－ 起動日雛形の新規作成を実施（「新規作成」ボタンの選択。起動日雛形情報ウィンドウの表示）

– [起動日(直接指定)] ウィンドウの表示

A: Systemwalker Operation Manager クライアントの各実行ファイルには発行元明示のためデジタル署名が施されています。デジタル署名された実行ファイルがインターネットへアクセスすることなく起動された場合、Windows は Authenticode 署名を確認することができず遅延する場合があります。

以下の画面表示に遅延が発生する場合の回避方法を示します。
- 起動日雛形の新規作成を実施（「新規作成」ボタンの選択。起動日雛形情報ウィンドウの表示）
- [起動日(直接指定)] ウィンドウの表示

以下のいずれかの方法にて、回避します。
1. Systemwalker Operation Manager クライアントが導入されているクライアントパソコンをインターネットへアクセスできるようにする。（デジタル署名を確認できるようにする）
2. 次の手順に従って、Systemwalker Operation Manager クライアントで、Authenticode 署名の機能を無効にする。（デジタル署名の検証を無効に設定する。）
 Systemwalker Operation Manager クライアントが導入されているクライアントパソコンで作業します。

【手順】
①<V13.6.0～V13.7.0 の場合> 「jmclient.exe.config」という名前のファイルを作成します。
 <V13.8.0 以降の場合> [インストールディレクトリ]mpwalker.jm¥bin¥配下の「jmclient.exe.config」を開きます。

② ①のファイルにエディタで下記を記入(V13.8.0 以降の場合は、<runtime>から</runtime>の間を追加)します。
●V13.6.0～V13.7.0 の場合

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<configuration>
    <runtime>
        <generatePublisherEvidence enabled="false"/>
    </runtime>
</configuration>
```

●V13.8.0 以降の場合の例

```
<?xml version ="1.0"?>
<configuration>
    <startup useLegacyV2RuntimeActivationPolicy="true">
      <supportedRuntime version="v2.0.50727"/>
      <supportedRuntime version="v4.0"/>
    </startup>
    <runtime>
      <generatePublisherEvidence enabled="false"/>
   </runtime>
</configuration>
```
---

③ <V13.6.0～V13.7.0 の場合>ファイルを「jmclient.exe」と同じ場所（「[インストールディレクトリ]mpwalker.jm¥bin¥」配下）に配置します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: ポリシー情報が適用された際に、配付していない情報が存在します。原因を教えてください。

A: 配付先に登録されている情報は抽出元の情報で上書きされます。しかし、配付先にのみ存在する情報は、削除されません。このため、以下の情報が、残存しているものと思われます。

<「ポリシーの抽出」画面>「環境定義」シート>
・「監視ホスト」選択時
配付先にのみ存在する監視ホスト定義

<「ポリシーの抽出」画面>「登録情報」シート>
・「Operation Manager ユーザ」選択時
配付先にのみ存在する Operation Manager ユーザの情報

・「カレンダ」選択時
配付先にのみ存在するカレンダの情報

・「スケジュール・起動日雛形」選択時
配付先にのみ存在するプロジェクトの情報（プロジェクトのアクセス権の情報含む）

業務連携管理コマンド「lgmanage」で作成するパスワード管理簿の情報のうち、配付先にのみ存在するグループ（※1）の情報
※1）「lgmanage」コマンドの「/lg」オプションで指定したもの

マスタスケジュール機能が有効な場合、配付先にのみ存在するマスタプロジェクトの情報
なお、運用日管理プロジェクト（末尾に＋mmdd が付与されているプロジェクト）は配付されません。

・「出口ファイル」選択時
配付先にのみ存在する出口ファイルの情報

・「ジョブフォルダ」選択時
配付先にのみ存在するジョブフォルダの情報

プラットフォーム　: Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Windows Server 2008 以降では、デスクトップヒープの領域が拡張されていると思いますが、Systemwalker Operation Manager の運用にあたり、デスクトップヒープのチューニングはどのようにすると良いですか？

A: 以下のようにチューニングをお願いします。
以下のレジストリ(SharedSection)の第 3 パラメーターを“3072”に変更します。
・キー：HKEY_LOCAL_MACHINE¥System¥CurrentControlSet¥Control¥Session Manager¥SubSystems
・名前：Windows
・値：SharedSection の第 3 パラメーター
－ 変更前(Windows Server 2012 の例)
SharedSection=1024,20480,768
－ 変更後(Windows Server 2012 の例)
SharedSection=1024,20480,3072(*)
(*)SharedSection の第 3 パラメーターの値が 3072 より大きい場合は、変更しないでください。

［注意事項］
・レジストリを編集する際には、事前にバックアップの作成をお願いします。
・レジストリの SharedSection の値を変更した場合、変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、ジョブを実行する際に実行ユーザーを指定したい。ど

のような設定が必要となるか教えてください。

A: 以下の設定が必要となります。

1. ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウで［運用情報］をクリックすると表示される［運用情報の定義］ウィンドウ－［利用機能］シートで［ジョブを所有者の権限で実行する］チェックボックスをチェックします。Windows サーバから Windows サーバへのネットワークジョブで、ジョブを所有者の権限で実行する場合、スケジュールサーバおよび実行サーバの両サーバにて当チェックボックスをチェックします。

2. ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウの［制御対象］ドロップダウンリストボックスで［ジョブ実行制御］選択し、［開始］ボタンで同サービスを再起動します（この時、ジョブスケジューラのサービスも同時に再起動されます）。
※クラスタ運用の場合は、クラスタアプリケーションの停止/起動により再起動します。

3. ［Systemwalker Operation Manager 環境設定］ウィンドウで［ジョブ所有者］をクリックすると表示される［ジョブ所有者情報の定義］
ウィンドウ(＊)で、プロジェクト（ジョブスケジューラの定義項目）、または、ジョブフォルダ（ジョブ実行制御の定義項目）に対して設定された、ジョブの所有者、または、実行ユーザ名(ジョブスケジューラの定義項目)で指定したユーザを登録します。Windows サーバから Windows サーバへのネットワークジョブで、ジョブを所有者の権限で実行する場合、スケジュールサーバにてジョブの所有者を登録します。
(＊) V13.7.0 以降では、［運用情報の定義］ウィンドウ－［利用機能］シートの［ジョブ所有者設定］ボタンからも呼び出せます。

4. ジョブの起動アカウントとして使用するアカウントに対し“バッチジョブとしてログオン”の権限を与えます。また、ドメインユーザの場合も、実際にジョブを投入するサーバおよび実行するサーバの両方で実施します。
設定は以下から行ってください。
－ ［コントロールパネル］－［管理ツール］のローカルセキュリティポリシー
・ ジョブを実行するサーバがドメインコントローラの場合、ドメインセキュリティポリシーで実施します。
・ ジョブを実行するサーバがドメインメンバサーバの場合、ローカルセキュリティポリシーで実施します。

プラットフォーム　: Windows
バージョン　: V17 V16 V13

【運用／保守】

Q:「MpJmSrv: ERROR: 0028: socket() Address family not supported by protocol」のメッセージが出力されました。対処方法を教えてください。

A: OS の設定で IPv6 が無効設定の環境の場合、Operation Manager のサービス起動時に、本メッセージが出力されます。
IPv6 を使用しない環境（IPv4 を利用する環境）では影響はありませんので、対処は不要です。
IPv6 を使用する場合は、IPv6 環境を有効にしてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q:「MpJobsch: ERROR: 0412: socket() Address family not supported by protocol」のメッセージが出力されました。対処方法を教えてください。

A: OS の設定で IPv6 が無効設定の環境の場合、Operation Manager のサービス起動時に、本メッセージが出力されます。
IPv6 を使用しない環境（IPv4 を利用する環境）では影響はありませんので、対処は不要です。
IPv6 を使用する場合は、IPv6 環境を有効にしてください。

プラットフォーム　: Solaris Linux
バージョン　: V13

【運用／保守】

Q: Systemwalker Operation Manager で、今年のカレンダ設定時に、昨年のカレンダ情報およ

び起動日情報を参考にしたい。昨年のカレンダ情報および起動日情報を確認する方法を教えてください。

A: 昨年のカレンダ情報および起動日情報を参照することはできません。カレンダの設定は、今年／来年／再来年の 3 年分を保持しているため、過去の日付における設定を確認する方法はありません。
年変わりの前に、下記のようにそれぞれの情報をテキスト形式で出力するコマンドを実行し、結果をファイル保存してください。コマンドでは、今年以降 3 年分の情報が出力されます。
[カレンダ情報の出力]
 jobschprint -h カレンダ名 [-sys サブシステム番号] > 出力ファイル名
[起動日情報の出力]
 jobschprint -s [-sys サブシステム番号] > 出力ファイル名

上記コマンドを、年変わりの前に起動(年 1 回起動)するジョブネットにジョブとして登録するなどして、確実にバックアップする運用を検討してください。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【運用／保守】

Q: あるファイルの更新を契機にジョブを起動する方法を教えてください。

A: あるファイルの更新を契機にジョブを起動するには、jobschchkfile -update コマンド(Windows 版では chkfile -update コマンド)をジョブとしてスケジュールしてください。ジョブネット内の先頭ジョブとして登録することにより、ファイル更新を待ち合わせて後続の処理を行うことができます。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【技術サポート】

Q: Systemwalker Operation Manager Standard Edition を現在シングル構成で運用しています。今後クラスタ構成に構築しなおす場合の手順の流れを教えてください。

A: 手順の概要は以下のとおりです。

■手順の概要
1.Standard Edition から Enterprise Edition へのアップグレードインストールを行います。
2.資源をバックアップします。
3.クラスタシステムを構築します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V12

【技術サポート】

Q: 疑似正常終了した場合の動作について教えてください。

A: 疑似正常となった場合は、正常終了と同じ動作となります。このため、継続して後続のジョブやジョブネットが動作します。

プラットフォーム : Windows Solaris Linux HP-UX AIX
バージョン : V17 V16 V13

【その他】

Q: 本番機の不要ファイル削除作業実施中に、当方で内容把握していないファイルの存在を確認しまし

た。ファイル名は［シェル名.o 数字］、［シェル名.e 数字］、［シェル名.l 数字］です。何のファイルかを教えてください。

A: 実行ジョブが出力した、それぞれ以下のファイルです。
・ジョブ名.e ジョブ番号：標準エラー出力ファイル
・ジョブ名.o ジョブ番号：標準出力ファイル
・ジョブ名.l ジョブ番号：ジョブリストファイル

qsub コマンドでジョブを実行した場合、［シェル名.o 数字］と［シェル名.e 数字］ファイルは、必ず出力されます。
また、［シェル名.l 数字］は、他のサーバに依頼した場合（ネットワークジョブ）、必ず出力されます。 これらのファイルは qsub コマンドで実行した場合は自動的に削除されることはありません。qsub コマンドではなく、ジョブスケジューラよりスケジューリ ングを行って、ジョブを投入した場合は、Systemwalker Operation Manager の［環境設定］－［起動パラメタ］－［出力ファイル］で、［ジョブの出力ファイルを削除する］の設定を行えば、自動的に削除されます。

qsub コマンドで実行した場合は自動的に削除されませんので、定期的に削除を行ってください。

なお、これらのファイルは出力先を変更することができます。出力先を変更するには qsub コマンドのパラメタで「-e」、「-o」または「-eo」で出力先のディレクトリを指定してください。

プラットフォーム　：Solaris
バージョン　：V17 V16 V13

輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

商標について

記載されている会社名、システム名、製品名、サービス名などの固有名詞は一般に各社の登録商標または商標です。
また、本文および図表中に記載されている会社名、システム名、製品名、サービス名などには必ずしも「TM」、「(R)」を付記しておりません。

改版履歴

2026.02.20 第 1 版

© 2026 Fujitsu Limited